

# 白井北中道Ⅲ遺跡(2)

— 縄文時代編：本文編 —

一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査(その2)報告書 第6集

2009

国 土 交 通 省  
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

# 白井北中道Ⅲ遺跡(2)

— 縄文時代編：本文編 —

一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査(その2)報告書 第6集

2009

国 土 交 通 省  
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



口絵1. 白井北中道Ⅲ遺跡出土浅鉢：左〔Ⅳ区J58号土坑P2〕・右〔Ⅳ区遺構外P390〕



口絵2. 白井北中道Ⅲ遺跡出土獣面・人面土器：上段〔左から、Ⅲ区J1号住居No.32、Ⅳ区J3号住居P81・P82、Ⅳ区遺構外P125・P396〕、2段〔左から、Ⅴ区Y1号住居P31・P33・P34・P35・P37〕、3段〔左から、Ⅴ区遺構外P27・P200・P201・P202・P203〕、下段〔左から、Ⅴ区遺構外P204・P206・P208・P210・P211〕



口絵 3. 白井北中道Ⅲ遺跡出土石鏃：上段〔左から、Ⅰ区遺構外 S1・S3・S4・S6・S9、Ⅱ区遺構外 S1・S4・S5、Ⅲ区遺構外 S4・S5・S8・S10・S12・S28・S34〕、2段〔Ⅲ区遺構外 S65・S71・S78、Ⅳ区 J1 号住居 S2・S3・S14、Ⅳ区 J3 号住居 S2・S4・S5、Ⅳ区 J4 号住居 S1、Ⅳ区遺構外 S19・S32・S34・S39・S44〕、3段〔Ⅳ区遺構外 S105・S145・S152・S188・S192・S195・S198・S199・S220・S224・S227・S235・S244・S249・S250・S265・S87〕、4段〔Ⅳ区遺構外 S297・S304・S313、Ⅴ区 Y1 号住居 S3・S11・S15・S16・S19・S20、Ⅴ区遺構外 S42・S104・S137・S180・S181・S247・S248・S255、Ⅴ区 3 号トレンチ S3、Ⅴ区 J2 号土坑 S1〕、下段〔Ⅴ区 7 号トレンチ S2、8 号トレンチ S2、Ⅴ区遺構外 S98・S108・S109・S139・S147・S159・S167・S168・S190・S211・S228・S238・S245・S258〕



口絵 4. 白井北中道Ⅲ遺跡出土石鏃：上段〔左から、Ⅲ区遺構外 S85、Ⅳ区 J1 号住居 S10・S11・S12・S13、Ⅳ区 J3 号住居 S9、Ⅳ区遺構外 S28・S47・S58・S109〕、中段〔左から、Ⅴ区 Y1 号住居 S21、Ⅴ区 Y4 号住居 S1・S2、Ⅴ区 7 号トレンチ S3、Ⅴ区遺構外 S4・S18・S45・S65・S117〕、下段〔左から、Ⅴ区遺構外 S141・S142・S148・S160・S176・S184・S218・S246・S251・S256〕



口絵 5. 白井北中道Ⅲ遺跡出土石器(大): 上段[左から、Ⅲ区遺構外 S42、Ⅳ区 J1 号住居 S8・S9、Ⅳ区 J3 号住居 S7・S8、Ⅳ区 J3 号土坑 S2]、2 段[左から、Ⅳ区 22 号土坑 S3、Ⅳ区遺構外 S1・S24・S41・S67・S69]、3 段[左から、Ⅳ区遺構外 S90・S97・S134、Ⅴ区 J1 号住居 S2・S3、Ⅴ区遺構外 S21]、下段[左から、Ⅴ区遺構外 S66・S76・S84・S99・S226・S257]



口絵 6. 白井北中道Ⅲ遺跡出土石器(小): 上段[左から、Ⅲ区遺構外 S17・S61・S79、Ⅳ区 J1 号住居 S6・S7、Ⅳ区 J3 号住居 S6、Ⅳ区 J4 号土坑 S1、Ⅳ区 J13 号土坑 S1]、2 段[左から、Ⅳ区 J42 号土坑 S1、Ⅳ区遺構外 S23・S29・S48・S59・S83・S95・S96]、3 段[左から、Ⅳ区遺構外 S110・S112・S130、Ⅴ区 J1 号住居 S1・S4、Ⅴ区 8 号トレンチ S4、Ⅴ区遺構外 S1・S28・S56]、下段[左から、Ⅴ区遺構外 S105・S110・S122・S126・S161・S162・S200・S201]



口絵 7. 白井北中道Ⅲ遺跡出土装身具等:上段[左から、Ⅳ区J4号遺物集中P8、Ⅳ区遺構外S61・S187・S253・S314]、下段[左から、Ⅴ区J5号土坑S1、Ⅴ区8号トレンチS6、Ⅴ区遺構外S67・S118・S140・S143]



口絵 8. 白井北中道Ⅲ遺跡出土磁石:上段[左から、Ⅳ区J1号住居S30、Ⅳ区J3号住居S16、Ⅳ区遺構外S82・S240]、下段[左から、Ⅳ区遺構外S275(上)・S300(下)、Ⅴ区J1号住居S9、Ⅴ区遺構外S116・S123]

# 序

一般国道17号は、関東と北陸を結ぶ大動脈であり、本県においては県北の山間部と県南の平野部とを結ぶ地域の主要道路であります。この国道は、渋川市と旧子持村（平成18年2月に渋川市と合併）の市街地を通過することや国道353号と接続するなどの諸条件から、交通渋滞が恒常的になっていました。その交通渋滞解消のため、全長5.5kmの鯉沢バイパスが計画されました。平成8年10月には、渋川市東町から国道353号バイパスとの交差点までの2.3kmが開通し、さらに終点の旧子持村上白井までの3.2kmについても平成20年7月に開通し、全長5.5kmの鯉沢バイパスが全面開通しました。この供用により、交通渋滞が大幅に緩和されることになりました。

国道353号バイパス交差点から終点までの埋蔵文化財調査は、一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財調査（その2）として、平成14年8月に当時の建設省関東地方整備局長・群馬県教育委員会教育長・財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長の三者で協定書を締結し、調査の運びとなりました。本書は、その内、平成15年から平成17年にかけて発掘調査を実施した、旧子持村大字白井に所在する白井北中道Ⅲ遺跡の調査報告書です。

白井北中道Ⅲ遺跡の報告書は、『白井北中道Ⅲ遺跡（1）：弥生時代以降編』がすでに平成21年2月に刊行されています。その続刊となる本書『白井北中道Ⅲ遺跡（2）：縄文時代編』は、主に縄文時代前期の諸磯式土器を伴う、住居・掘立柱建物・配石遺構・集石遺構・埋甕・土坑・焼土・ピット等についての報告です。これらの中でも、縄文時代前期の竪穴住居6軒が報告の中心となります。また、本遺跡の遺構外から出土した多くの土器や石器も特徴的です。土器には深鉢・浅鉢・有孔浅鉢等が多く、イノシシの顔を造形した獣面土器も認められます。石器では石鏃・石錐・石匙・砥石・打製石斧・磨石・凹石・石皿・多孔石等、様々な道具が認められます。これらの遺物を通して、当時の縄文時代人の様々な道具を垣間見ることが出来ます。本書で、白井北中道Ⅲ遺跡の報告はすべて終了することになりますが、この地域には縄文時代から現代まで継続して人々が生活をしてきたことが明らかになりました。

今回の報告書刊行に至るまでには、国土交通省関東地方整備局、同高崎河川国道事務所、群馬県教育委員会、旧子持村教育委員会、地元関係者の皆様方に格別のご尽力を賜りました。ここに記して、心から感謝申し上げます。本報告書が群馬県のみならず、広く歴史資料として活用されることを祈念し、報告書の序といたします。

平成21年7月吉日

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団  
理事長 高橋 勇夫

# 例 言

- 1 本書は、一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う白井北中道III遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 遺跡所在地 群馬県渋川市白井地内（旧：北群馬郡寺持村大字白井地内、平成18年2月市町村合併）
- 3 事業主体 国土交通省 関東地方整備局
- 4 調査主体 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 5 調査期間 平成15(2003)年1月6日～平成17(2005)年7月30日 [途中中断期間あり]
- 6 整理期間 平成19(2007)年4月1日～平成21(2009)年3月31日 [弥生時代以降編を含む]
- 7 発掘調査組織 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

(1) 発掘調査担当 [( ) の現職記載が無い者は、平成21年3月31日時点で群埋文に所属している。]

平成14年度：平成15(2003)年1月6日～同年3月31日

杉山秀宏（群馬県立歴史博物館）・唐沢友之（嬭恋村立東小学校）・松原孝志（沼田市立沼田東小学校）

平成15年度：平成15(2003)年4月1日～同16(2004)年3月31日 [但し、全期間担当者は榑崎と齋藤のみ]

榑崎修一郎・齋藤 聡・井上昌美（群馬県企画部世界遺産推進室：文化庁へ派遣）・井原陽一（玉村町立玉村中学校）・吉田和夫（前橋市立朝倉小学校）

平成16年度：平成17(2005)年2月8日～同年3月31日

齊藤利昭・水田福夫（群馬県立前橋女子高等学校）

平成17年度：平成17(2005)年4月1日～同年7月30日

女屋和志雄・齋藤 聡

(2) 事務担当

高橋秀夫・小野宇三郎・津金沢吉茂・木村祐紀・住谷永市・吉田 豊・神保信史・萩原 勉・矢崎俊夫・萩原利通・佐藤明人・中東耕志・西田健彦・右島和夫・巾 隆之・関 晴彦・中沢 悟・国定 均・笠原秀樹・宮前結城雄・丸岡道雄・植原恒夫・石井 清・竹内 宏・高橋房雄・小山建夫・須田朋子・柳岡良宏・吉田有光・今泉大作・清水秀紀・栗原幸代・佐藤聖行・森下弘美・田中賢一・阿久沢玄洋・今井もと子・内山佳子・若田 誠・佐藤美佐子・本間久美子・北原かおり・狩野真子・武藤秀典・松下次男・吉田 茂

8 整理組織

(1) 整理担当

整 理 担 当 平成19・20年度 榑崎修一郎

整 理 班 員 平成19年度 茂木範子・島崎しづ子・猪野熊洋子・大塚京子・佐々木雅子  
平成20年度 茂木範子・新井雅子・猪野熊洋子・下田真弓

遺 構 写 真 各現場担当者

遺 物 写 真 平成19・20年度 佐藤元彦

保 存 処 理 平成19年度 関 邦一・小材浩一・津久井桂一・多田ひさ子・森田智子  
平成20年度 関 邦一・小材浩一・津久井桂一・多田ひさ子

器 械 実 測 平成19年度 田所順子・伊東博子・岸 弘子

平成20年度 田所順子・岸 弘子・小池益美

デジタル版組 平成20年度 牧野裕美・市田武子・酒井史恵・廣津真希子・安藤美奈子・高梨由美子・



(2) 事務担当

高橋勇夫・津金沢吉茂・木村祐紀・萩原 勉・飯島義雄・相京建史・佐藤明人・西田健彦・大木紳一郎・  
国定 均・笠原秀樹・佐嶋芳明・石井 清・須田朋子・斉藤恵利子・柳岡良宏・矢島一美・田口小百合・  
齋藤陽子・高橋次代・今井もと子・内山佳子・若田 誠・佐藤美佐子・本間久美子・北原かおり・  
狩野真子・武藤秀典

9 本文執筆 編集 橋崎修一郎

本文 関根慎二（縄文土器観察表）・左記以外は橋崎が執筆。

10 本遺跡の出土遺物及び図面・写真等の資料は群馬県埋蔵文化財調査センターで保管している。

11 発掘調査及び報告書作成にあたっては、次の方々に有益な指導と助言を賜った。記して感謝の意を表す次第である（名前の五十音順）。

石井克巳・飯島静男・麻生敏隆・岩崎泰一・板井美枝・関根慎二・谷藤保彦・土肥 孝・野村正弘

## 凡 例

1 調査区域には、国家座標に基づいて4m間隔のグリッドを設定した。本報告書で用いる原点Aa-0は、日本平面直角座標系第IX系のX=57,400m、Y=-72,300m（日本測地系対応）である。

2 本文中で使用した地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図「鯉沢」・「波川」・「金井」・「伊香保」、20万分の1地勢図「宇都宮」・「長野」である。

3 本書では、榛名山の噴出物である榛名二ツ岳波川テフラをHr-FA（又はFA）と表記し、榛名二ツ岳伊香保テフラをHr-FP（又はFP）と表記した。

4 遺構及び遺物実測図の縮尺は各図中に表示してある。また、挿図中の「L=○〇m」は、断面図の水糸標高を示す。

5 本文中では、掘立柱建物を「建物」、竪穴住居跡を「住居」と表記した。挿図中では、1号建物を「1建」、1号住居を「1住」、1号土坑を「1土」、1号ピットを「1ピ」等と表記した。また、建物や住居等に伴う遺構の場合、1号ピットを「P1」等と表記した。

6 挿図中の網掛け部分（スクリーン）は次のことを意味する。



7 住居の面積は、デジタルプランニメーターで3回計測した平均値を記載した。

8 土層断面の註記に用いた色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修の「新版標準土色帖」に従った。

# 目 次

口 絵
序
例 言
凡 例
目 次
図 目 次
表 目 次

《第1分冊：本文編》	
第1章 調査の経緯と調査の方法…………… 1	3. 集石……………109
第1節 調査の経緯…………… 2	4. 埋壘……………112
第2節 調査の方法…………… 4	5. 遺物集中……………113
第2章 地理的・歴史的環境…………… 9	6. 土坑……………123
第1節 遺跡の位置と周辺の地形…………… 10	7. 焼土……………152
第2節 周辺の遺跡…………… 11	8. 倒木……………153
第3節 基本土層…………… 15	9. トレンチ……………155
第3章 I区の調査…………… 17	第2節 IV区遺構外……………156
第1節 I区遺構外出土遺物…………… 19	第7章 V区の調査……………233
第4章 II区の調査…………… 21	第1節 V区遺構……………235
第1節 II区遺構…………… 23	1. 住居……………235
1. 土坑…………… 23	2. 掘立柱建物……………242
第2節 II区遺構外…………… 23	3. 集石……………243
第5章 III区の調査…………… 25	4. 土坑……………246
第1節 III区遺構…………… 27	5. ビット……………249
1. 住居…………… 27	6. トレンチ……………251
2. 土坑…………… 32	第2節 V区遺構外……………257
第2節 III区遺構外…………… 34	第8章 ま と め……………317
第6章 IV区の調査…………… 61	第1節 白井北中道III遺跡縄文面遺構・遺物まとめ ……318
第1節 IV区遺構…………… 63	第2節 鯉沢バイパス縄文面調査遺跡集成 ……319
1. 住居…………… 63	第3節 白井北中道III遺跡出土縄文顔面付き土器 ……323
2. 配石遺構……………107	《第2分冊：写真編》
	写真図版目次
	写真図版表紙
	写真図版 (PL.140)

## 挿図目次

第1章第1図	白井北中道田道跡位置図 (S = 1 : 20万) ……	2
第1章第2図	白井北中道田道跡位置図 (S = 1 : 20,000) ……	3
第1章第3図	白井北中道田道跡調査区位置図 ……	5
第1章第4図	白井北中道田道跡グリッド配置図 ……	6
第2章第1図	段丘面分類図 (「子持村図・上巻」を改定) ……	10
第2章第2図	周辺道跡位置図 (S = 1 : 25,000) ……	13
第2章第3図	白井北中道田道跡基本土層柱状図 ……	16
第3章第1図	I区グリッド配置図 ……	18
第3章第2図	I区縄文面 遺構外出土縄文土器 ……	19
第3章第3図	I区縄文面 遺構外出土縄文土器(1) ……	19
第3章第4図	I区縄文面 遺構外出土縄文土器(2) ……	20
第4章第1図	II区グリッド配置図 ……	22
第4章第2図	II区J 1 (103)号土坑 ……	23
第4章第3図	II区J 2 (102)号土坑 ……	23
第4章第4図	II区縄文面 遺構外出土縄文土器 ……	23
第4章第5図	II区縄文面 遺構外出土縄文土器 ……	24
第5章第1図	III・IV・V区縄文面 住居位置図 ……	26
第5章第2図	III区J 1号住居出土縄文土器 ……	27
第5章第3図	III区J 1号住居 ……	28
第5章第4図	III区J 1号住居出土縄文土器(1) ……	29
第5章第5図	III区J 1号住居出土縄文土器(2) ……	30
第5章第6図	III区縄文面 土坑位置図 (1/400) ……	32
第5章第7図	III区J 1 (44)号土坑 ……	32
第5章第8図	III区J 2 (48)号土坑 ……	32
第5章第9図	III区J 3 (45)号土坑 ……	32
第5章第10図	III区J 4 (46)号土坑 ……	32
第5章第11図	III区J 5 (50)号土坑 ……	33
第5章第12図	III区J 5 (50)号土坑出土縄文土器 ……	33
第5章第13図	III区J 6 (49)号土坑 ……	33
第5章第14図	III区J 7 (47)号土坑 ……	33
第5章第15図	III区グリッド配置図 ……	35
第5章第16図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(1) ……	36
第5章第17図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(2) ……	37
第5章第18図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(3) ……	38
第5章第19図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(4) ……	39
第5章第20図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(5) ……	40
第5章第21図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(1) ……	46
第5章第22図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(2) ……	47
第5章第23図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(3) ……	48
第5章第24図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(4) ……	49
第5章第25図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(5) ……	50
第5章第26図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(6) ……	51
第5章第27図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(7) ……	52
第5章第28図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(8) ……	53
第5章第29図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(9) ……	54
第5章第30図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(10) ……	55
第5章第31図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(11) ……	56
第5章第32図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(12) ……	57
第5章第33図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(13) ……	58
第5章第34図	III区縄文面 遺構外出土縄文土器(14) ……	59
第6章第1図	III・IV・V区縄文面 住居位置図 ……	62
第6章第2図	IV区J 1 (6)号住居遺物出土状況 ……	63
第6章第3図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居 ……	65
第6章第4図	IV区J 1 (6)号住居跡 ……	66
第6章第5図	IV区J 2 (7)号住居跡 ……	66
第6章第6図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居断面 ……	67
第6章第7図	IV区J 1 (6)号住居ピット断面 ……	68
第6章第8図	IV区J 2 (7)号住居ピット断面 ……	69
第6章第9図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居出土縄文土器(1) ……	70
第6章第10図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居出土縄文土器(2) ……	71
第6章第11図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居出土縄文土器(3) ……	72
第6章第12図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居出土縄文土器(4) ……	73
第6章第13図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居出土縄文土器(5) ……	74
第6章第14図	IV区J 1 (6)・J 2 (7)号住居出土縄文土器(6) ……	75
第6章第15図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(1) ……	79
第6章第16図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(2) ……	80
第6章第17図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(3) ……	81
第6章第18図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(4) ……	82
第6章第19図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(5) ……	83
第6章第20図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(6) ……	84
第6章第21図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(7) ……	85
第6章第22図	IV区J 1 (6)号住居出土縄文土器(8) ……	86
	J 2 (7)号住居出土縄文土器 ……	86
第6章第23図	IV区J 3 (4)号住居 ……	89
第6章第24図	IV区J 3 (4)号住居跡・溝断面 ……	90
第6章第25図	IV区J 3 (4)号住居遺物出土状況 ……	90
第6章第26図	IV区J 3 (4)号住居・ピット断面 ……	91
第6章第27図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(1) ……	92
第6章第28図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(2) ……	93
第6章第29図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(3) ……	94
第6章第30図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(4) ……	97
第6章第31図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(5) ……	98
第6章第32図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(6) ……	99
第6章第33図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(7) ……	100
第6章第34図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(8) ……	101
第6章第35図	IV区J 3 (4)号住居出土縄文土器(9) ……	102
第6章第36図	IV区J 4 (2)号住居出土縄文土器 ……	104
第6章第37図	IV区J 4 (2)号住居 ……	105
第6章第38図	IV区J 4 (2)号住居跡 ……	106
第6章第39図	IV区J 4 (2)号住居・ピット断面 ……	106
第6章第40図	IV区J 1号礫石 ……	107
第6章第41図	IV区J 1号礫石出土縄文土器 ……	108
第6章第42図	IV区J 1号礫石出土縄文土器 ……	108
第6章第43図	IV区J 1号礫石 ……	109
第6章第44図	IV区J 1号礫石出土縄文土器 ……	110
第6章第45図	IV区J 2号礫石・出土縄文土器 ……	111
第6章第46図	IV区J 1号埋壁・出土縄文土器 ……	112
第6章第47図	IV区J 1号埋壁出土縄文土器 ……	112
第6章第48図	IV区J 1 (2)号遺物集中出土縄文土器(1) ……	113
第6章第49図	IV区J 1 (2)号遺物集中出土縄文土器(2) ……	114
第6章第50図	IV区J 2 (3)号遺物集中出土縄文土器 ……	115
第6章第51図	IV区J 3 (4)号遺物集中出土縄文土器 ……	116
第6章第52図	IV区J 3 (4)号遺物集中出土縄文土器 ……	117
第6章第53図	IV区J 4 (5)号遺物集中出土縄文土器 ……	117
第6章第54図	IV区J 4 (5)号遺物集中出土縄文土器(1) ……	118
第6章第55図	IV区J 4 (5)号遺物集中出土縄文土器(2) ……	118
第6章第56図	IV区J 4 (5)号遺物集中出土縄文土器(3) ……	119
第6章第57図	IV区J 4 (5)号遺物集中出土縄文土器 ……	119
第6章第58図	IV区J 5 (6)号遺物集中出土縄文土器・石器 ……	120
第6章第59図	IV区J 5 (6)号遺物集中出土縄文土器 ……	121
第6章第60図	IV区J 6 (7)号遺物集中出土縄文土器 ……	122
第6章第61図	III区縄文面 土坑位置図 (1/400) ……	122
第6章第62図	IV区J 1 (212)・J 2 (213)号土坑 ……	123
	J 1 (212)号土坑・出土縄文土器・石器 ……	123
第6章第63図	IV区J 3 (209)号土坑・出土縄文土器 ……	124
第6章第64図	IV区J 6 (242)号土坑 ……	124
第6章第65図	IV区J 7 (241)号土坑 ……	124
第6章第66図	IV区J 4 (221)号土坑・出土縄文土器 ……	125
第6章第67図	IV区J 4 (221)号土坑出土縄文土器 ……	125
第6章第68図	IV区J 5 (210)号土坑・出土縄文土器・石器 ……	126
第6章第69図	IV区J 8 (240)・J 9 (239)号土坑 ……	127
第6章第70図	IV区J 10(238)号土坑 ……	127
第6章第71図	IV区J 11(236)号土坑 ……	127
第6章第72図	IV区J 12(237)号土坑 ……	127
第6章第73図	IV区J 13(214)号土坑・出土縄文土器 ……	128
第6章第74図	IV区J 13(214)号土坑出土縄文土器 ……	128
第6章第75図	IV区J 14(218)号土坑 ……	129
第6章第76図	IV区J 15(217)号土坑・出土縄文土器 ……	129



第7章第10回	V区J1号架石出土縄文土器・石器	244
第7章第11回	V区J2号集石	245
第7章第12回	V区J2号架石出土縄文土器	245
第7章第13回	V区J1号～J3号土坑位置図	246
第7章第14回	V区J1(96)号土坑・出土縄文土器	246
第7章第15回	V区J3(95)号土坑	246
第7章第16回	V区J4(126)号土坑	246
第7章第17回	V区J2(94)号土坑・出土縄文土器・石器	247
第7章第18回	V区遺構位置図	248
第7章第19回	V区J5(128)・J6(127)号土坑	248
第7章第20回	V区J5(128)号土坑出土縄文土器	248
第7章第21回	V区J7(129)号土坑	249
第7章第22回	V区J1号～J7号ピット、 J1号～J4号ピット断面	249
第7章第23回	V区J5号～J7号ピット断面	250
第7章第24回	V区J8号～J11号ピット	250
第7章第25回	V区2号・3号・6号・8号トレンチ 出土縄文土器	251
第7章第26回	V区2号・3号・4号・7号・8号トレンチ 出土縄文土器	253
第7章第27回	V区3号・4号・7号・8号トレンチ 出土縄文土器	254
第7章第28回	V区Y1(2)号住居出土縄文土器	255
第7章第29回	V区グリッド配置図	258
第7章第30回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器①	259
第7章第31回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器②	260
第7章第32回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器③	261
第7章第33回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器④	262
第7章第34回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑤	263
第7章第35回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑥	264
第7章第36回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑦	265
第7章第37回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑧①	273
第7章第38回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器②	274
第7章第39回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器③	275
第7章第40回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器④	276
第7章第41回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑤	277
第7章第42回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑥	278
第7章第43回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑦	279
第7章第44回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑧	280
第7章第45回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑨	281
第7章第46回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑩	282
第7章第47回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑪	283
第7章第48回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑫	284
第7章第49回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑬	285
第7章第50回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑭	286
第7章第51回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑮	287
第7章第52回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑯	288
第7章第53回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑰	289
第7章第54回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑱	290
第7章第55回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑲	291
第7章第56回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑳	292
第7章第57回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器㉑	293
第7章第58回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器㉒	294
第7章第59回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器㉓	295
第7章第60回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器㉔	296
第7章第61回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器㉕	297
第7章第62回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器㉖	298
第7章第63回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器㉗	299
第7章第64回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器㉘	300
第7章第65回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器㉙	301
第7章第66回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器㉚	302
第7章第67回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器㉛	303
第7章第68回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器㉜	304
第7章第69回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器㉝	305
第7章第70回	V区縄文面 遺構外出土縄文土器㉞	306

第7章第71回	IV区Y1号住居出土土器 〔白井北中道遺跡①〕より再掲載	311
第7章第72回	V区Y1号住居出土土器① 〔白井北中道遺跡①〕より再掲載	311
第7章第73回	V区Y1号住居出土土器② 〔白井北中道遺跡①〕より再掲載	312
第7章第74回	V区Y1号住居出土土器③ 〔白井北中道遺跡①〕より再掲載	313
第7章第75回	V区Y1号住居出土土器④ 〔白井北中道遺跡①〕より再掲載	314
第7章第76回	V区Y2号住居出土土器① 〔白井北中道遺跡①〕より再掲載	314
第7章第77回	V区Y2号住居出土土器② 〔白井北中道遺跡①〕より再掲載	315
第7章第78回	V区Y3号住居出土土器 〔白井北中道遺跡①〕より再掲載	315
第7章第79回	V区Y5号住居出土土器 〔白井北中道遺跡①〕より再掲載	315
第7章第80回	V区Y4号住居出土土器 〔白井北中道遺跡①〕より再掲載	315
第8章第1回	周辺遺跡分布図(S=1:20,000)	321
第8章第2回	白井北中道遺跡出土縄文版面付き土器①	325
第8章第3回	白井北中道遺跡出土縄文版面付き土器②	326

## 表 目 次

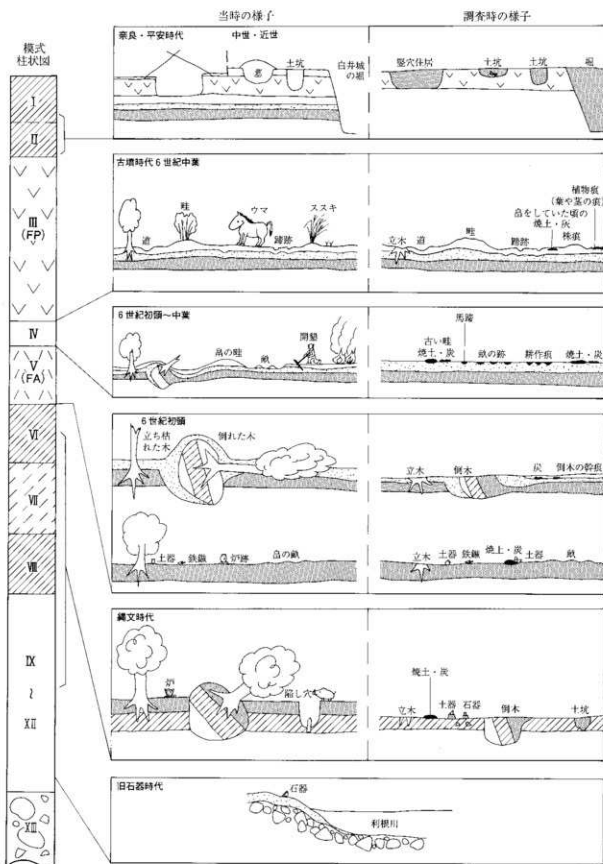
第1章表1	調査面図式表	4
第2章表1	周辺遺跡一覧表	14
第2章表2	鯉沢バイパス(その2)面積一覧表	16
第3章表1	I区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	19
第3章表2	II区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	20
第4章表1	III区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	23
第4章表2	III区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	24
第5章表1	III区J1号住居出土縄文土器観察表	27
第5章表2	III区J1号住居出土縄文土器観察表	31
第5章表3	III区J5(50)号土坑出土縄文土器観察表	33
第5章表4	III区縄文面 遺構外出土縄文土器まとめ	36
第5章表5	III区縄文面 遺構外出土縄文土器まとめ	36
第5章表6	III区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	41
第5章表7	III区J4号トレンチ出土縄文土器観察表	52
第5章表8	III区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	59
第6章表1	IV区J1(6)号住居ピットまとめ	66
第6章表2	IV区J2(7)号住居ピットまとめ	66
第6章表3	IV区J1(6)・J2(7)号住居縄文土器観察表	76
第6章表4	IV区J1(6)号住居縄文土器観察表	87
第6章表5	IV区J2(7)号住居縄文土器観察表	87
第6章表6	IV区J3(4)号住居縄文土器観察表	95
第6章表7	IV区J3(4)号住居縄文土器観察表	103
第6章表8	IV区J4(2)号住居縄文土器観察表	104
第6章表9	IV区J1号配石出土縄文土器観察表	108
第6章表10	IV区J1号配石出土縄文土器観察表	108
第6章表11	IV区J1号架石出土縄文土器観察表	110
第6章表12	IV区J2号架石出土縄文土器観察表	111
第6章表13	IV区J1号埋戻出土縄文土器観察表	112
第6章表14	IV区J1号埋戻出土縄文土器観察表	112
第6章表15	IV区J1(2)号遺物集中出土縄文土器観察表	114
第6章表16	IV区J2(3)号遺物集中出土縄文土器観察表	115
第6章表17	IV区J3(4)号遺物集中出土縄文土器観察表	116
第6章表18	IV区J3(4)号遺物集中出土縄文土器観察表	117
第6章表19	IV区J4(5)号遺物集中出土縄文土器観察表	119
第6章表20	IV区J4(5)号遺物集中出土縄文土器観察表	119
第6章表21	IV区J4(5)号遺物集中出土縄文土器観察表	120
第6章表22	IV区J5(6)号遺物集中出土縄文土器観察表	120
第6章表23	IV区J6(7)号遺物集中出土縄文土器観察表	121
第6章表24	IV区J6(7)号遺物集中出土縄文土器観察表	121

第 6 章表25	IV区 J 1 (212)・J 2 (213)号土坑出土 縄文土器観察表	123
第 6 章表26	IV区 J 1 (212)号土坑出土縄文土器観察表	123
第 6 章表27	IV区 J 3 (209)号土坑出土縄文土器観察表	124
第 6 章表28	IV区 J 4 (221)号土坑出土縄文土器観察表	125
第 6 章表29	IV区 J 4 (221)号土坑出土縄文土器観察表	125
第 6 章表30	IV区 J 5 (210)号土坑出土縄文土器観察表	126
第 6 章表31	IV区 J 5 (210)号土坑出土縄文土器観察表	126
第 6 章表32	IV区 J 13(214)号土坑出土縄文土器観察表	128
第 6 章表33	IV区 J 13(214)号土坑出土縄文土器観察表	128
第 6 章表34	IV区 J 15(217)号土坑出土縄文土器観察表	129
第 6 章表35	IV区 J 17(244)号土坑出土縄文土器観察表	131
第 6 章表36	IV区 J 18(215)号土坑出土縄文土器観察表	132
第 6 章表37	IV区 J 18(215)号土坑出土縄文土器観察表	132
第 6 章表38	IV区 J 19(246)号土坑出土縄文土器観察表	133
第 6 章表39	IV区 J 20(208)号土坑出土縄文土器観察表	133
第 6 章表40	IV区 J 20(208)号土坑出土縄文土器観察表	134
第 6 章表41	IV区 J 22(211)号土坑出土縄文土器観察表	136
第 6 章表42	IV区 J 22(211)号土坑出土縄文土器観察表	137
第 6 章表43	IV区 J 25(248)号土坑出土縄文土器観察表	138
第 6 章表44	IV区 J 28(234)号土坑出土縄文土器観察表	139
第 6 章表45	IV区 J 29(235)号土坑出土縄文土器観察表	139
第 6 章表46	IV区 J 37(228)号土坑出土縄文土器観察表	142
第 6 章表47	IV区 J 40(226)号土坑出土縄文土器観察表	143
第 6 章表48	IV区 J 40(226)号土坑出土縄文土器観察表	143
第 6 章表49	IV区 J 41(225)号土坑出土縄文土器観察表	144
第 6 章表50	IV区 J 42(219)号土坑出土縄文土器観察表	145
第 6 章表51	IV区 J 42(219)号土坑出土縄文土器観察表	145
第 6 章表52	IV区 J 43(230)号土坑出土縄文土器観察表	146
第 6 章表53	IV区 J 46(227)号土坑出土縄文土器観察表	146
第 6 章表54	IV区 J 53(399)号土坑出土縄文土器観察表	148
第 6 章表55	IV区 J 55(392)号土坑出土縄文土器観察表	149
第 6 章表56	IV区 J 56(390)号土坑出土縄文土器観察表	149
第 6 章表57	IV区 J 57(165)号土坑出土縄文土器観察表	150
第 6 章表58	IV区 J 58(101)号土坑出土縄文土器観察表	150
第 6 章表59	IV区 J 59(372)号土坑出土縄文土器観察表	151
第 6 章表60	IV区 I 号トレンチ出土縄文土器観察表	155
第 6 章表61	IV区 I 号トレンチ出土縄文土器観察表	155
第 6 章表62	IV区 I号一括出土縄文土器観察表	155
第 6 章表63	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器まとめ	156
第 6 章表64	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器まとめ	156
第 6 章表65	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	173
第 6 章表66	IV区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	228
第 7 章表 1	V区 J 1 (4)号住居出土縄文土器観察表	239
第 7 章表 2	V区 J 1 (4)号住居出土縄文土器観察表	241
第 7 章表 3	V区 J 1号竪立柱建物ピットまとめ	242
第 7 章表 4	V区 J 1号架石出土縄文土器観察表	243
第 7 章表 5	V区 J 1号架石出土縄文土器観察表	243
第 7 章表 6	V区 J 2号架石出土縄文土器観察表	245
第 7 章表 7	V区 J 1 (96)号土坑出土縄文土器観察表	246
第 7 章表 8	V区 J 2 (94)号土坑出土縄文土器観察表	247
第 7 章表 9	V区 J 2 (94)号土坑出土縄文土器観察表	247
第 7 章表10	V区 J 5 (128)号土坑出土縄文土器観察表	248
第 7 章表11	V区土坑まとめ	249
第 7 章表12	V区ピットまとめ	250
第 7 章表13	V区 2号トレンチ出土縄文土器観察表	252
第 7 章表14	V区 3号トレンチ出土縄文土器観察表	252
第 7 章表15	V区 6号トレンチ出土縄文土器観察表	252
第 7 章表16	V区 8号トレンチ出土縄文土器観察表	252
第 7 章表17	V区トレンチ出土縄文土器観察表	254

第 7 章表18	V区 Y 1 (2)号住居出土縄文土器観察表	256
第 7 章表19	V区縄文面 遺構外出土縄文土器まとめ	257
第 7 章表20	V区縄文面 遺構外出土縄文土器まとめ	257
第 7 章表21	V区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	266
第 7 章表22	V区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表	307
第 7 章表23	IV区 Y 1号住居出土土器観察表	316
第 7 章表24	V区 Y 1号住居出土土器観察表	316
第 7 章表25	V区 Y 2号住居出土土器観察表	316
第 7 章表26	V区 Y 3号住居出土土器観察表	316
第 7 章表27	V区 Y 4号住居出土土器観察表	316
第 7 章表28	V区 Y 5号住居出土土器観察表	316
第 8 章表 1	白井北中道田道跡縄文遺構まとめ	318
第 8 章表 2	白井北中道田道跡縄文遺構まとめ	318
第 8 章表 3	国道17号 (磐沢バイパス) 縄文面掘出 遺構まとめ	320
第 8 章表 4	国道353号道跡 (磐沢バイパス) 縄文面掘出 遺構まとめ	322
第 8 章表 5	国道353号道路縄文面掘出遺構まとめ	322
第 8 章表 6	縄文塚面付土器観察表	326

## 文中写真目次

第 1 章写真 1	白井北中道田道跡空撮	1
第 1 章写真 2	掘出した磐沢バイパス	8
第 2 章写真 1	白井北中道田道跡空撮	9
第 3 章写真 1	I 区縄文面グリッド調査状況 [南→]	17
第 4 章写真 1	II 区縄文面グリッド調査状況 [南→]	21
第 5 章写真 1	III区 J 1号住居全景 [東→]	25
第 5 章写真 2	III区 J 1号住居全景 [南→]	27
第 6 章写真 1	IV区 J 1 (6)号・J 2 (7)号住居全景 [東→]	61
第 6 章写真 2	IV区 J 1 (6)号・J 2 (7)号住居全景 [東→]	64
第 6 章写真 3	IV区 J 2 (7)号住居全景 [東→]	64
第 6 章写真 4	IV区 J 2 (7)号住居埋没跡 [上→]	66
第 6 章写真 5	IV区 J 3 (4)号住居空撮 [上→]	88
第 6 章写真 6	IV区 J 3 (4)号住居遺物出土状況 [北→]	102
第 6 章写真 7	IV区 J 4 (2)号住居全景 [西→]	104
第 6 章写真 8	IV区 J 4 (2)号住居全景 [東→]	104
第 6 章写真 9	IV区 J 4 (2)号住居炉台全景 [東→]	104
第 6 章写真10	IV区 J 1号配石全景 [南→]	107
第 6 章写真11	IV区 J 1号架石遺物出土状況 [西→]	109
第 6 章写真12	IV区 J 1号架石遺物出土状況 (近接) [西→]	109
第 6 章写真13	IV区 J 2号架石全景 [南→]	111
第 6 章写真14	IV区 J 1号埋没遺物出土状況 [南→]	112
第 6 章写真15	IV区 J 1 (2)号遺物集物全景 [南→]	113
第 6 章写真16	IV区 J 2 (3)号遺物集物全景 [西→]	115
第 6 章写真17	IV区 J 3 (4)号遺物集物遺物出土状況 [南→]	116
第 6 章写真18	IV区 J 4 (5)号遺物集物遺物出土状況 [東→]	118
第 6 章写真19	IV区 J 4 (5)号遺物集物 P 4 出土状況 [北→]	118
第 6 章写真20	IV区 J 5 (6)号遺物集物遺物出土状況 [南→]	120
第 6 章写真21	IV区 J 6 (7)号遺物集物遺物出土状況 [南→]	121
第 6 章写真22	IV区 J 1号出土状況 [南→]	152
第 7 章写真 1	V区 J 1 (4)号住居全景 [南→]	233
第 7 章写真 2	V区 J 1 (4)号住居全景 [南→]	235
第 7 章写真 3	V区 J 1号竪立柱建物全景 [南→]	242
第 7 章写真 4	V区 J 1号架石全景 [西→]	243
第 7 章写真 5	V区 J 1号架石全景 [東→]	243
第 7 章写真 6	V区 J 2号架石全景 [南→]	245
第 7 章写真 7	V区 J 2号架石近接 [南→]	245
第 7 章写真 8	V区 J 2号架石全景 [東→]	245
第 8 章写真 1	白井北中道田道跡空撮	317



調査内容の模式図 (「白井遺跡群—古墳時代編—」群馬県埋蔵文化財調査事業団, 1997)

## 第1章 調査の経緯と調査の方法

左奥に見えるのが子持山（標高1,296m）。手前から奥にかけて蛇行して流れているのが、利根川。河岸段丘がよく発達している。白井北中道Ⅲ遺跡は、5つある面の内、約14,000年前～13,000年前頃に形成された白井面に立地している。中央部の白線が、白井北中道Ⅲ遺跡。



第1章写真1 白井北中道Ⅲ遺跡空撮（南から）



## 第1節 調査の経緯

一般国道17号は、東京を起点として関東と北陸を結ぶ大動脈である。この国道は、渋川市及び平成18(2006)年2月に渋川市と合併した旧子持村の市街地を通過し、旧子持村鯉沢で長野・草津方面に向かう国道353号と接続することなどから、交通渋滞が恒常的なものとなっていた。この交通渋滞解消のため、渋川市東町で現在の国道17号と分岐し、市街地を迂回しながら旧子持村上白井で国道17号と再び合流する4車線、約5.5kmの一般国道17号(鯉沢バイパス)道路改築工事が計画された。

本事業は、事業地を大きく2分割する計画が進められ、渋川市東町から旧子持村上白井の、同事業と並行して進められた国道353号バイパスの接続部分までが、平成8(1996)年に供用を開始された。その後、旧子持村上白井から同村上白井の終点までの間については、国土交通省高崎河川国道事務所(当時、国土交通省高崎工事事務所)から、平成13(2001)年10月に一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査(その2)として群馬県教育委員会文化財保護課に事業照会があった。同課は、6世紀代に2度噴火した榛名山の火山灰・軽石に埋もれた遺跡が存在する旨を回答した。その後、事業者である国土交通省高崎工事事務所と協議を進め、発掘

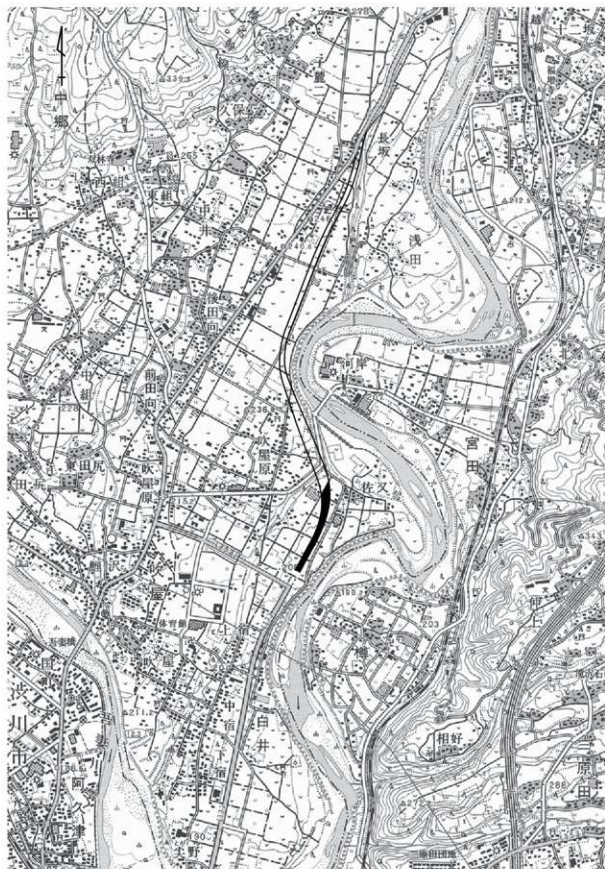
調査を財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施することになった。

平成14(2002)年8月30日付で、国土交通省関東地方整備局長並びに群馬県教育委員会教育長、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長は、一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査(その2)に関する協定書を締結した。また、国土交通省関東地方整備局長と財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長は、平成14(2002)年度の埋蔵文化財発掘調査に係る委託契約を締結し、発掘調査を進めることとなった。8遺跡、約115,000㎡に及ぶ発掘調査は平成17(2005)年7月まで実施し、整理事業は平成17(2005)年4月から開始した。

白井北中道川遺跡の発掘調査は、平成15(2003)年1月～平成16(2004)年3月・平成17(2005)年2月～6月にかけて、途中中断をはさんで4年度にわたって実施された。この調査期間には、白井十二遺跡の調査も含まれている。整理業務は、平成19(2007)年4月～平成21(2009)年3月にかけて実施した。弥生時代以降編は、すでに、平成21年2月に刊行済みである。本報告書は、縄文時代以降編として報告し、本書で報告書の完結となる。なお、鯉沢バイパスは平成20(2008)年7月に全面開通した。



第1章第1図 白井北中道川遺跡位置図(S=1:20万)



第1章第2図 白井北中道Ⅲ遺跡位置図 (S=1:20,000)

## 第2節 調査の方法

調査区は、村道を境として、南から北にかけてⅠ区～Ⅴ区まで5箇所に分けて調査を実施した。なお、当初の調査時は、Ⅵ区を設けて調査を実施していたが、平成15(2003)年の調査途中で字名が異なることが判明したため、このⅥ区は遺跡名を「白井十二遺跡」として分けた。なお、「白井十二遺跡」の報告書は、すでに平成20年3月に刊行済みである。

調査区域には、国家座標に基づいて4m間隔のグリッドを設定した(第1章第4図参照)。南北をアルファベット、東西をアラビア数字で呼称し、南東隅のグリッド杭の名称をグリッドの名称とした。白井北中道Ⅲ遺跡の原点 Aa-0 は、日本平面直角座標系第ⅠX系のX=57,400m、Y=-72,300m(日本測地系対応)である。

本遺跡周辺では、古墳時代における榛名山の二度の噴火に伴う6世紀初頭の降下火山灰であるHr-FA(Haruna Futatsudake Ash)[以下、FA]と6世紀中頃の降下軽石であるHr-FP(Haruna Futatsudake Pumice)[以下、FP]の層が堆積しており、調査はこれらの鍵層のそれぞれ上面・下面あわせて4面、さらに縄文時代の遺物包含層及び旧石器時代の試掘調査を行うこととした。

当初、縄文時代の遺物包含層の試掘調査は全体面積の約25%、旧石器時代の試掘調査は約12.5%を対

象に行った。その結果、Ⅳ区において縄文時代前期の竪穴住居跡等が検出されたため、Ⅳ区においては対象を拡大し、縄文時代の調査を行った。

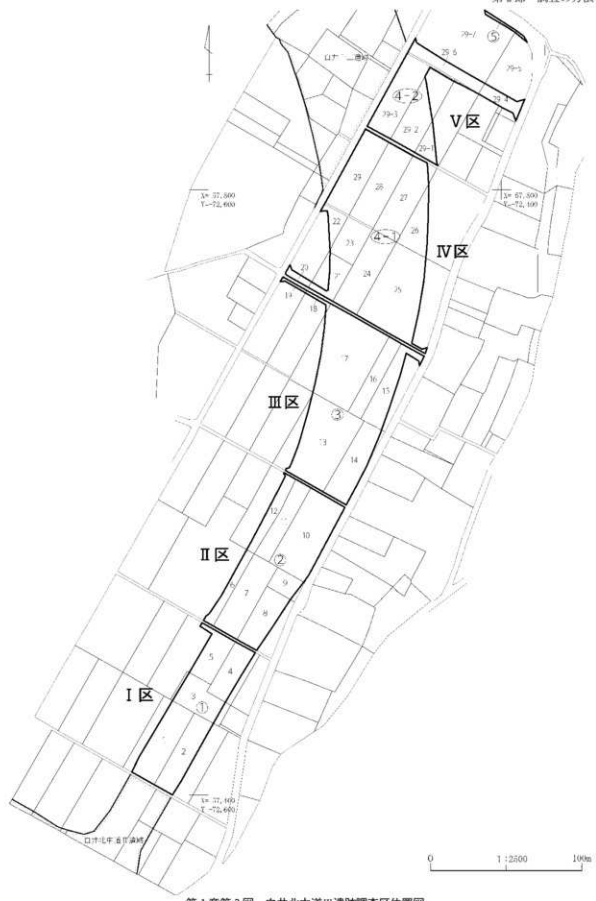
調査にあたっては、表上層とHr-FP層の除去については大型掘削重機(バックホー)を用い、その他は基本的に手作業により遺構・遺物の検出を行った。

Ⅰ面のFP上では、古代の竪穴住居・主に中世～近代の掘立柱建物・伏室・溝・土坑の調査を行った。また、FP降下後にFPを掘りこんで築造された古墳時代終末期の古墳1基の調査も行った。

Ⅱ面のFP下では、古墳時代6世紀中葉の地表面が保存されており、主に放牧地を中心として、道・畦状遺構・立木痕・倒木痕の調査をした。6世紀初頭に降下したFAの上と下を3面(FA上)と4面(FA下)に分けて調査を実施した。平成20年2月に刊行済みの「白井北中道Ⅲ遺跡(Ⅰ):弥生時代以降編」では、この3面と4面を合わせて3面として報告した。5面では、弥生時代終末期～古墳時代初頭の住居を検出した。6面では、縄文時代竪穴住居・掘立柱建物・配石遺構・集石遺構・遺物集中遺構・土坑・ピット等を検出し、包含層を調査した。旧石器時代の遺構及び遺物は、検出されなかった。本報告書では、この6面の縄文時代の遺構・遺物を報告する。

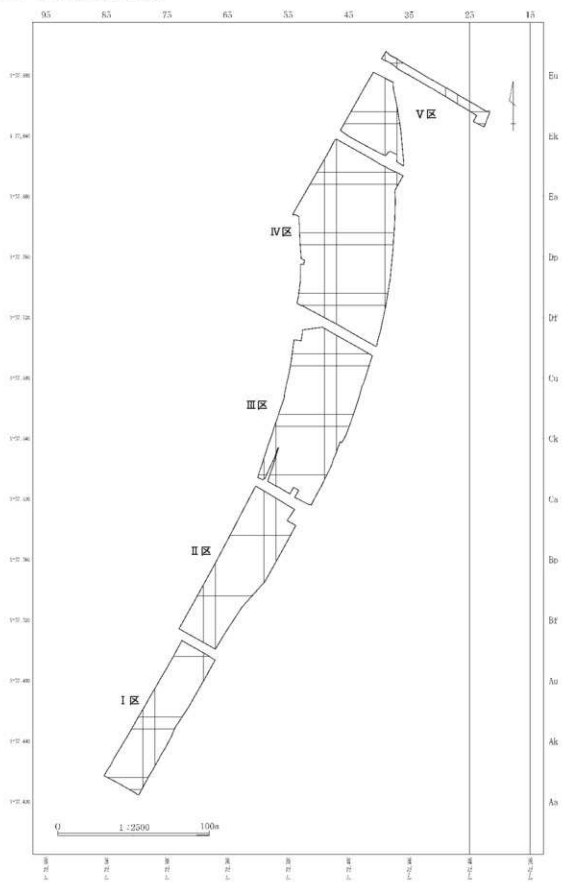
調査面模式表

調査面の呼称		主 要 内 容	備 考
基本土層	調査面		
Ⅰ(表土)		1面:古墳以降 古墳(7世紀)・竪穴住居(10世紀)・掘立柱建物・土坑・溝	Hr-FP層上面の調査
	→1面		
Ⅱ(Hr-FP)		2面:古墳時代(6世紀中葉) 道・畦状遺構・倒木痕・立木痕・弥生～古墳時代住居の凹み	Hr-FP層下面の調査
	→2面		
Ⅲ		3面:古墳時代。6世紀初頭のFA降下後から6世紀中頃のFP降下までの30年に堆積した層	Hr-FA層上下面の調査
	→3面		
Ⅳ(Hr-FA)		4面:古墳時代(6世紀初頭) 立木痕	*調査時は、FA上面を3面・FA下面を4面として調査したが、報告書ではFA上下面を3面として報告する。
	→4面		
Ⅴ		5面:弥生時代～古墳時代前期 弥生時代終末期～古墳時代初頭の住居	
	→5面		
Ⅵ～Ⅸ		6面:縄文時代 縄文時代前期竪穴住居・掘立柱建物・土坑	



第1章第3図 白井北中道III遺跡調査区位置図

第1章 調査の経緯と調査の方法



第1章第4図 白井北中道III遺跡グリッド配置図

## 調査日誌抄録

\*実際の発掘調査は、白井十二遺跡と同時並行して行われたが、『白井十二遺跡』の報告書はすでに平成20年3月に刊行されているため、当該遺跡部分の日誌は割愛した。また、白井北中道Ⅲ遺跡は、『白井北中道Ⅲ遺跡(Ⅰ)：弥生時代以降編』をすでに平成21年2月に刊行しているため、縄文時代の調査に係わる部分に限った。

## 平成14年度

## ◎第1期調査

## ・平成15(2003)年

- 1月6日(日)：唐澤友之・松原孝志の2名着任。
- 1月9日(日)：試掘トレンチ3箇所確認。
- 1月20日(日)：作業員発掘作業開始。
- 2月3日(日)：杉山秀宏着任。調査体制は、杉山秀宏・唐澤友之・松原孝志の3名となる。
- 3月5日(日)：Ⅱ区縄文包含層調査開始。
- 3月24日(日)：Ⅱ区旧石器試掘。
- 3月26日(日)：ⅢB区縄文包含層用グリッド設定。
- 3月27日(日)：Ⅱ区埋め戻し。
- 3月31日(日)：杉山秀宏・唐澤友之・松原孝志の3名離任。

## 平成15年度

## ◎第2期調査

## ・平成15(2003)年

- 4月1日(日)：桒崎修一郎・齋藤 聡・井原陽一・井上昌美の4名が着任。なお、井原と井上は、年度内に幾つかの別の遺跡に異動したため、通年担当者、は、桒崎と齋藤のみ。
- 4月4日(日)：前任者の杉山秀宏と現場引き継ぎ。
- 5月7日(日)：Ⅱ区・ⅢB区縄文包含層のグリッド調査。
- 6月2日(日)：Ⅰ区縄文包含層のグリッド調査。
- 6月10日(日)：Ⅰ・ⅢB区縄文包含層の調査終了。
- 6月11日(日)：Ⅰ・ⅢB区埋め戻し開始。
- 7月3日(日)：Ⅰ区縄文包含層のグリッド調査。
- 7月11日(日)：Ⅰ区縄文包含層のグリッド調査終了。
- 7月14日(日)：Ⅰ区埋め戻し開始。
- 8月11日(日)：ⅢA区縄文包含層のグリッド調査。

- 8月20日(日)：ⅢA区縄文包含層のグリッド調査。午前中、国土交通省関東地方整備局高崎河川国道事務所主催で当事業団共催の「日本のボンベイ子持村の歴史を知ろう」を遺跡にて実施。遺跡・遺物の見学を行い、発掘体験を行う。親子10名参加。
- 8月22日(日)：よみうり文化センター横浜主催の「赤城山麓の遺跡をめぐる」会員28名が遺跡見学。
- 9月8日(日)：ⅢA区縄文包含層の調査終了。
- 9月9日(日)：ⅢA区埋め戻し開始。Ⅳ区縄文包含層のグリッド調査開始。
- 9月10日(日)：ⅤA区縄文包含層の調査。同1号集石の調査。
- 9月12日(日)：ⅤA区2号集石の調査。
- 11月4日(日)：吉田和夫着任。
- 11月12日(日)：財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団評議員が遺跡視察。
- 11月19日(日)～同月21日(日)：渋川市立金島中学校2年生徒2名が職場体験で来跡。
- 11月28日(日)：吉田和夫離任。

## ・平成16(2004)年

- 1月7日(日)：Ⅳ区東(ⅣB区)縄文包含層調査。
- 1月16日(日)：Ⅳ区東(ⅣB区)Ⅰ号埋壘調査。
- 1月19日(日)：Ⅳ区東(ⅣB区)Ⅰ号集石調査。
- 1月21日(日)：Ⅳ区東(ⅣB区)Ⅰ号配石、Ⅱ号・Ⅲ号・Ⅳ号遺物集中調査。
- 1月22日(日)：Ⅳ区東(ⅣB区)Ⅲ号・Ⅳ号遺物集中調査。
- 1月27日(日)：Ⅳ区東(ⅣB区)2号住居調査。
- 2月4日(日)：Ⅳ区東(ⅣB区)Ⅳ4・Ⅳ6号住居、Ⅳ210号土坑調査。
- 2月9日(日)：Ⅳ区東(ⅣB区)縄文住居及びⅤ区の弥生住居の空撮・空調実施。
- 2月25日(日)：Ⅳ区東(ⅣB区)・Ⅴ区上(ⅤB区)縄文包含層調査。
- 3月6日(日)：現地説明会実施。前夜の雪にもかかわらず、175名の来跡者。
- 3月11日(日)：Ⅳ区東側(ⅣB区)縄文住居の空撮・空調実施。
- 3月15日(日)：Ⅴ区上(ⅤB区)埋め戻し開始。
- 3月17日(日)：Ⅴ区上(ⅤB区)埋め戻し終了。

## 第1章 調査の経緯と調査の方法

- 3月23日(火)：Ⅳ区東(ⅣB区)1号住居調査。  
3月24日(水)：遺構の調査終了。  
3月31日(火)：発掘区埋め戻し終了。楠崎修一郎・齋藤 聡・井原陽一・井上昌美の4名離任。

### 平成16年度

平成16(2004)年4月～平成17(2005)年1月の調査は無い。

#### ◎第3期調査

- ・平成17(2005)年
- 2月8日(火)：齊藤利昭・水田福夫の2名着任。Ⅳ区西側(ⅣC区)表土掘削開始[2月14日まで]。  
3月7日(月)：Ⅳ区西側(ⅣC区)FP軽石掘削作業。  
3月31日(火)：齊藤利昭・水田福夫の2名離任。

### 平成17年度

#### ◎第4期調査

- ・平成17(2005)年
- 4月1日(金)：女屋和志雄・齋藤 聡の2名着任。  
4月11日(月)：Ⅲ区東側(ⅢD区)表土掘削開始[4月13日まで]。  
4月19日(火)：Ⅲ区東側(ⅢD区)FP軽石掘削開始

[4月21日まで]。

- 5月6日(金)：Ⅳ区西側(ⅣC区)Ⅵ層造物上げ。  
5月10日(火)：Ⅳ区西側(ⅣC区)重機によるⅥ層除去。  
5月12日(木)：Ⅳ区西側(ⅣC区)Ⅶ層上面調査。  
5月16日(月)：Ⅲ区東側(ⅢD区)Ⅵ層トレンチ調査。Ⅳ区西側(ⅣC区)Ⅶ層調査。  
5月18日(水)：Ⅲ区東側(ⅢD区)重機によるⅥ層除去開始[5月20日まで]。  
5月19日(木)：Ⅲ区東側(ⅢD区)Ⅶ層上面調査。  
5月20日(金)：Ⅳ区西側(ⅣC区)Ⅷ層上面調査。  
5月26日(木)：Ⅳ区西側(ⅣC区)5面(縄文)の空撮・空測実施。  
5月30日(月)：Ⅲ区東側(ⅢD区)・Ⅳ区西側(ⅣC区)トレンチ調査。  
6月3日(金)：Ⅲ区東側(ⅢD区)・Ⅳ区西側(ⅣC区)調査終了。  
6月7日(火)：Ⅳ区西側(ⅣC区)埋め戻し開始。  
6月10日(金)：Ⅳ区西側(ⅣC区)埋め戻し終了。  
6月13日(月)：Ⅲ区東側(ⅢD区)埋め戻し開始。  
6月17日(金)：Ⅲ区東側(ⅢD区)埋め戻し終了。  
7月29日(金)：女屋和志雄・齋藤 聡の2名離任。



第1章写真2 開通した鯉沢バイパス

## 第2章 地理的・歴史的環境

奥に見えるのが榛名山二ツ岳（標高1,344m）。古墳時代の6世紀初頭及び中頃に、現在の二ツ岳付近で2度にわたる大規模な噴火を起こした。白井北中道Ⅲ遺跡では、6世紀初頭の降下火山灰であるFA(Hr-FA)と6世紀中頃の降下軽石であるFP(Hr-FP)が認められる。特に、FPは、1m以上もの厚さで堆積している。

そのため、6世紀中頃の生活面がそのまま保存されていた。中央部の白線が、白井北中道Ⅲ遺跡。



第2章写真1 白井北中道Ⅲ遺跡空撮（北東から）



## 第1節 遺跡の位置と周辺の地形

白井北中道Ⅲ遺跡は、群馬県の中央部やや北寄りに位置する渋川市白井〔調査時は子持村白井：平成18(2006)年2月市町村合併〕に所在している。渋川市北部の旧子持村は新潟へ向かう国道17号と長野方面に向かう国道353号の分岐点にあたり、交通の要衝となっている。

旧子持村は東に赤城山、西に榛名山、北に子持山・小野子山と三方を山に囲まれ、関東平野の北端部に位置している。また北から利根川、北西から吾妻川が流下し、村の南端部でそれらが合流する。

山地から平野部への変換点にあたる村の南部では、利根川と吾妻川により形成された河岸段丘が発達している。これらの段丘面は形成年代の古い順に、雙林寺面・長坂面・西伊保面・白井面・浅田面と呼ばれており、白井北中道Ⅲ遺跡は白井面に立地している。

白井北中道Ⅲ遺跡付近は標高207～210mで、北西



第2章第1図 段丘面分類図(『子持誌・上巻』を改変)

に隣接する上位段丘の長坂面との比高はおよそ20mである。白井北中道Ⅲ遺跡付近の白井面は概ね平坦であるが、北から南へ向かって徐々に標高が低くなっている。また、上位段丘に近い西から下位段丘に近い東に向かっても緩やかに下がっている。

白井面の形成された年代は、段丘礫層上に浅間山起源の浅間板鼻黄色軽石〔As-YP〕が部分的に認められることから、およそ1.4～1.3万年前頃と考えられる。

この地域は、古墳時代に2度の大きな火山災害に見舞われたことが特筆される。いずれも榛名山の噴火によるもので、6世紀初頭の噴火に伴う降下火山灰は、FA (Futatsudake Ash) [榛名二ツ岳渋川テフラ (Hr-FA)] と呼ばれ、6世紀中葉の噴火に伴う降下軽石は、FP (Futatsudake Pumice) [榛名二ツ岳伊香保テフラ (Hr-FP)] と呼ばれている。FPは、東北地方南部まで分布が確認されている。

FAは主に火山灰と火砕流堆積物で、白井北中道Ⅲ遺跡付近では最大でも厚さ10cm程度であるが、南に行くほど厚くなり、約2.5km南の白井二位屋遺跡では約40cm堆積している。FPは主に軽石で、白井北中道Ⅲ遺跡付近では厚さ100～150cmが残存している。旧子持村はFPの降下した範囲の中心軸上に位置しており、黒井峯遺跡では最大200cmに及ぶ堆積が認められる。なお、白井北中道Ⅲ遺跡は噴火口から東北東へ約10kmの位置に所在している。

この地域の主な産業はこんにゃくの生産と軽量ブロックの製造である。これらはFP層の存在によるものである。なぜなら、FP軽石は、水はけが良いためにこんにゃくの生産に適し、火山性軽石であるFP軽石内には気泡が多く存在するために軽量ブロックの製造に適しているからである。

白井北中道Ⅲ遺跡の西およそ1.5kmには、この軽石層に埋もれた古墳時代のムラ、黒井峯遺跡(国指定史跡)がある。ちなみに、この黒井峯遺跡は、軽量ブロックの原料としてFP軽石を採取中に発見されている。

## 第2節 周辺の遺跡

白井北中道Ⅲ遺跡が所在する旧子持村とその周辺では、数多くの遺跡が調査されている。

### (1) 旧石器時代

この地域での旧石器時代の遺跡の存在は、長い間知られていなかった。実際、1987(昭和62)年に出版された『子持村誌』上巻では、1974(昭和49)年に子持山麓での表面採集石器と1984(昭和59)年の押手遺跡出土細石核石器の2点が紹介されているのみである。その後、見立溜井遺跡・諏訪西遺跡・中畦遺跡・房谷戸遺跡等の発見により事例が追加されている。また、吹屋犬子塚遺跡で浅間白糸降下軽石〔As-Sr〕下及び浅間板鼻褐色軽石〔As-BP〕下石器群が、吹屋中原遺跡で浅間板鼻黄色軽石〔As-YP〕下石器群が確認されている。

国道17号舞浜バイパス関連でも、吹屋遺跡で浅間板鼻黄色軽石〔As-YP〕下、中郷遺跡で浅間板鼻褐色軽石〔As-BP〕下、上白井西伊熊遺跡で浅間白糸降下軽石〔As-Sr〕から浅間板鼻褐色軽石〔As-BP〕にかけての石器群が検出されている。特に、上白井西伊熊遺跡では、瀬戸内技法を使用した石器約6,000点が検出されており、注目されている。

ちなみに、それぞれのテフラの年代は、浅間板鼻褐色軽石〔As-BP〕が約2～1.8万年前、浅間白糸降下軽石〔As-Sr〕が約1.6万年前、浅間板鼻黄色軽石〔As-YP〕が約1.4～1.3万年前である(小菅・大工原・麻生、2004)。

白井北中道Ⅲ遺跡においては、旧石器時代の遺物及び遺構は検出されなかった。

### (2) 縄文時代

#### ①縄文草創期

縄文草創期の遺跡は、旧石器同様に長い間知られていなかった。実際、1987(昭和62)年に出版された『子持村誌・上巻』には、縄文草創期の遺跡は紹介されていない。縄文草創期の遺跡として、白井北中道遺跡、吹屋伊勢森遺跡、中郷田尻遺跡が知られている。本白井北中道Ⅲ遺跡では、明確な縄文草創期の遺物及び遺構は検出されていないが、調査区北部

のⅤ区と道をはきんで位置する白井十二遺跡では、草創期の遺物として、約4,650点の土器片及び黒曜石製石鏃が検出されている。

#### ②縄文前期

縄文前期の遺跡は、この地域から多数調査がなされている。吹屋犬子塚遺跡、吹屋中原遺跡、吹屋伊勢森遺跡、吹屋遺跡、中郷遺跡、上白井西伊熊遺跡、黒井峯遺跡、押手遺跡等が知られている。また、利根川対岸には、見立溜井遺跡、諏訪西遺跡、中畦遺跡、三原田城遺跡等で集落が検出されている。

白井北中道Ⅲ遺跡でも住居が6軒検出されている。また、住居の他、掘立柱建物1棟・配石遺構1基・集石遺構4基・遺物集中6箇所・土坑76基・ピット11基・焼土1基・倒木1箇所等の遺構も検出されている。遺物は、土器では踏碓b式を中心として1,232点を掲載し、石器は石鏃と打製石斧を中心として866点を掲載した。

#### ③縄文中期

縄文中期の遺跡は、中郷遺跡で集落が検出されており、利根川の対岸には三原田遺跡や房谷戸遺跡等がある。

### (3) 弥生時代

弥生時代の遺跡は、長い間、知られていなかった。実際、1987(昭和62)年に出版された『子持村誌・上巻』によると、弥生時代の遺構は無く、黒井峯遺跡、押手遺跡、白井の大宮姫神社等で、弥生後期の楕圓土器の遺物の出土があるのみである。利根川対岸にある渋川市〔旧赤城村〕樽遺跡では、1938(昭和13)年に杉原荘介による発掘で「樽式土器」として命名され、群馬県における弥生時代後期の指標土器となった。

白井北中道Ⅲ遺跡からも、樽式土器を伴う弥生時代終末期～古墳時代初頭に属する竪穴式住居6軒が検出されている。これだけまとまった数の検出は、旧子持村地区では初めてのことである。

### (4) 古墳時代

本地域は、古墳時代の遺構が多数検出されている。

特に、6世紀初頭のFA及び6世紀中頃のFPに埋もれた遺構が特筆される。

#### ① FA 下遺構

6世紀初頭の榛名山の噴火によるFAの遺構としては、FA下水田が有名である。このFA下水田が検出された遺跡として、吹屋犬子塚遺跡、中郷恵久保遺跡、吹屋三角遺跡、中郷田尻遺跡、吹屋笹屋遺跡、北牧大境遺跡、吹屋瓜田・鯉沢瓜田遺跡、北牧相ノ田遺跡、畑中遺跡、坂之下遺跡がある。

#### ② FP 下遺構

6世紀中頃の榛名山の噴火によるFP下の遺構としては、集落・古墳・畠・水田・放牧地がある。

##### ・集落

FP下集落を検出した遺跡として、黒井峯遺跡、西組遺跡、押手遺跡、田尻遺跡、八幡神社遺跡、吹屋恵久保遺跡がある。

##### ・FP下畠

FP下畠を検出した遺跡として、吹屋伊勢森遺跡、白井北中道Ⅱ遺跡、吹屋中原遺跡、中郷恵久保遺跡、西組遺跡、押手遺跡、田尻遺跡、八幡神社遺跡、中組遺跡、池田沢東遺跡、猫持久保遺跡、宮田諏訪原遺跡、吹屋恵久保遺跡がある。

##### ・FP下水田

FP下水田を検出した遺跡として、中郷恵久保遺跡、吹屋三角遺跡、中郷田尻遺跡、吹屋笹屋遺跡、北牧大境遺跡、吹屋瓜田・鯉沢瓜田遺跡、西組遺跡、北牧相ノ田遺跡、畑中遺跡、後田遺跡、宮田畦畔遺跡がある。

##### ・FP下放牧地

このFP下放牧地は、多くの遺跡から検出されている。白井十二遺跡、吹屋伊勢森遺跡、吹屋遺跡、中郷遺跡、上白井西伊熊遺跡、白井北中道Ⅱ遺跡、白井北中道遺跡、白井丸岩遺跡、白井南中道遺跡、白井二位原遺跡、白井大宮遺跡、吹屋犬子塚遺跡、吹屋中原遺跡、源光寺裏遺跡、白井佐又遺跡がある。白井北中道Ⅲ遺跡でも、道・畦・立木・倒木等が検出されている。

##### ・FP下古墳

FP下の古墳として、中ノ峯古墳、浅田遺跡、伊熊・有瀬古墳群、丸子山遺跡等が調査されている。

#### ③ FP 上遺構

昭和10(1935)年に、県下全域にわたって古墳の分布調査が実施され、昭和13(1938)年に出版された『上毛古墳総覧』によると、旧子持村では、合計47基の古墳が記載されている。

白井北中道Ⅲ遺跡では、この『上毛古墳総覧』に記載されていない、7世紀終末期の円墳が1基検出されている。本古墳は、FPを掘りこんで構築しているが、昭和10(1935)年の調査時にはすでに墳丘部が削平されていたために、認識されなかったものと推定される。なお、『上毛古墳総覧』に記載された大塚(稲荷塚)[長尾村14号]・斧塚[長尾村15号]は、古墳でない可能性もある。

#### (5) 古代

白井南中道遺跡・白井二位屋遺跡で、奈良・平安時代の集落が、北牧大境遺跡、中郷田尻遺跡で、平安時代の集落が検出されている。また、平安時代の製鉄遺跡である金井製鉄遺跡は保存されている。

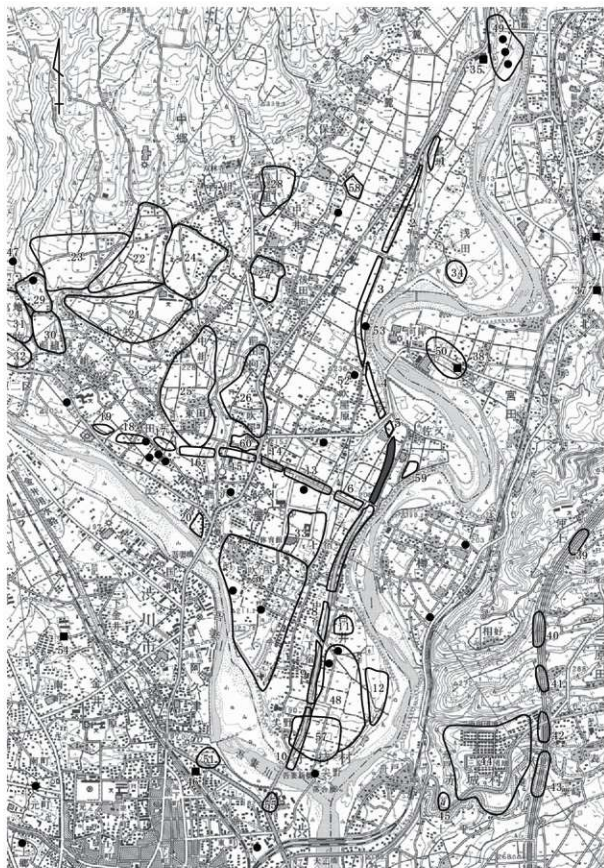
白井北中道Ⅲ遺跡では、須置器を伴う平安時代の竪穴住居が1軒検出されている。

#### (6) 中・近世

中世の城跡として、仁位屋城、白井上城遺跡がある。また、白井城跡は、中近世の城跡である。

#### 参考文献

- 石井克己・梅沢重昭 1994 『黒井峯遺跡』、説書新聞社、p.230
- 大本柳一郎 2004 『第5章、群馬弥生研究の歩み』、『群馬の遺跡3、弥生時代』(財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団編)、上毛新聞社、p.151-171。
- 小宮符夫・大工原豊・麻生敏隆 2004 『群馬の巨石器』、みやま文庫、p.175
- 関口博幸 2005 『第5章、ナクマンゾウのプレリュード』、『群馬の遺跡1、巨石器時代』(財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団編)、上毛新聞社、p.79-101



第2章第2図 周辺遺跡位置図 (S=1:25,000)

第2章表1 周辺遺跡一覧表

No.	遺跡名	概要	文献	No.	遺跡名	概要	文献	
	白井北中道日遺跡	縄文前期住居、弥生～古墳集落、FP下道・FP下放牧地、7C古墳、平安住居	本書	20	北牧相ノ田遺跡	FA下水田、FP下水田	47	
	1	白井西伊勢遺跡	旧石器、縄文前期集落、FP下放牧地	31	畑中遺跡	FA下水田、FP下水田	24	
	2	中郷遺跡	縄文前・中期集落、FP下放牧地	32	後田遺跡	FP下水田	50	
	3	吹屋遺跡	縄文前期集落、FP下放牧地	33	源空寺裏遺跡	FP下放牧地	23	
	4	吹屋伊勢森遺跡	縄文草創期遺物・前期集落、FP下高	20	浅田遺跡	FP下古墳	29・30	
	5	白井十二遺跡	縄文草創期・前期、FP下放牧地	14	25	白井中学校校庭遺跡	古墳時代集落	38
	6	白井北中道日遺跡	FP下高・放牧地	19	36	猫侍久保遺跡	FP下道・畠	53
	7	白井北中道日遺跡	FP下高・放牧地	6	37	宮田諏訪原遺跡	FA下祭祀、FP下道・畠	53
	8	白井丸岩遺跡	FP下放牧地	9・10	38	宮田畦野遺跡	FP下水田	40
	9	白井南中道遺跡	FP下放牧地、奈良平安集落	8・10	40	見立瀬井遺跡	旧石器、縄文前・中期集落	54
	10	白井二位原遺跡	FP下放牧地、奈良平安集落	5・11	41	中郷遺跡	旧石器、縄文前・中期集落	4
	11	白井大宮遺跡	FP下放牧地	7	42	三原田城遺跡	縄文前期集落	3
	12	源原遺跡	古墳前期集落	50	43	谷戸遺跡	旧石器、縄文中期集落	2
	13	吹屋大子塚遺跡	縄文前期集落、FA下水田、FP下放牧地	6	44	三原田遺跡	縄文前期～後期集落	39
	14	吹屋中原遺跡	縄文前・中期集落、FP下高・放牧地	6	45	樽遺跡	弥生時代集落	55
	15	中郷久保遺跡	4～5C集落、FA・FP下水田・畠	13	46	坂之下遺跡	FA下水田	51
	16	吹屋三角遺跡	FA下水田、FP下水田	16	47	中ノ家古墳	FP下古墳	41
	17	中郷尻遺跡	縄文草創期遺物、5C集落、FA・FP下水田	18	48	白井古墳群	FP下古墳	44
	18	吹屋根屋遺跡	5C集落、FA・FP下水田	15	49	伊熊・有瀬古墳群	FP下古墳	44
	19	北牧大境遺跡	FA・FP下水田、平安集落	12	50	河原古墳群	FP下古墳	37
	20	吹屋川・源原瓜遺跡	FA下水田、FP下水田	17・46	51	坂下町古墳群	FA下古墳	57
	21	黒井家遺跡	縄文集落、FP下集落	45	52	大塚(新荷塚)遺跡	FP上古墳? (長尾村14号)	37
	22	西組遺跡	FP下集落・水田・畠	42	53	菅塚遺跡	古墳? (長尾村15号)	37
	23	押手遺跡	縄文集落、FP下集落・畠	43	54	金井鉾鉄遺跡	平安製鉄跡	52
	24	麓野遺跡	FP下高	40	55	東町間下遺跡	中近世水田	1
	25	田尻遺跡	縄文集落、FP下集落・古墳・畠	23～35	56	白井城遺跡	中近世城跡	44・56
	26	八幡神社遺跡	FP下集落・畠	23	57	仁位屋城跡	中世城跡	56
	27	中組遺跡	FP下道・畠	22	58	白井上城跡	中世城跡	56
	28	池田沢東遺跡	FP下道・畠	21	59	白井佐又遺跡	FP下放牧地	48
	29	丸子山遺跡	FP下・FP上古墳	24	60	吹屋久保遺跡	FP下集落・畠	49

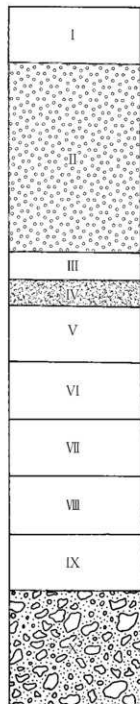
## 文献

- 群理文 1998 『東町間下遺跡』
- 群理文 1989・1992 『房谷戸遺跡Ⅰ』、『房谷戸遺跡Ⅱ』
- 群理文 1987 『三原田城遺跡』
- 群理文 1986 『中郷遺跡・源原瓜遺跡』
- 群理文 1994 『白井遺跡群：集落編Ⅰ』
- 群理文 1996・1998 『白井北中道日遺跡・吹屋大子塚遺跡・吹屋中原遺跡』第1冊・第2冊
- 群理文 1993・2002 『白井大宮遺跡Ⅰ・Ⅱ』
- 群理文 1996 『白井遺跡群：集落編Ⅱ』
- 群理文 1998 『白井遺跡群：縄文時代編』
- 群理文 1997 『白井遺跡群：古墳時代編』
- 群理文 1993 『白井遺跡群：中世編』
- 群理文 2004 『北牧大境遺跡』
- 群理文 2006 『中郷久保遺跡』
- 群理文 2006 『吹屋伊勢森遺跡』
- 群理文 2007 『吹屋根屋遺跡』
- 群理文 2007 『吹屋三角遺跡』
- 群理文 1996 『吹屋瓜遺跡』
- 群理文 2007 『吹屋川遺跡』
- 群理文 2008 『白井十二遺跡』
- 群理文 2007 『吹屋遺跡』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1988 『年報7』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1989 『年報8』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1992 『年報11』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1993 『年報12』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1994 『年報13』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1995 『年報14』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1996 『年報15』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1997 『年報16』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1998 『年報17』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1999 『年報18』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2000 『年報19』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001 『年報20』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 『年報21』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2003 『年報22』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2004 『年報23』
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2005 『年報24』
- 群馬県 1938 『上毛古墳地誌』
- 群馬県教育委員会 1991 『群馬県遺跡台帳Ⅰ 東北編』
- 群馬県企業局 1980～1992 『三原田遺跡』第1～3編
- 群馬県史編纂委員会 1986 『群馬県史 資料編2』
- 子持村教育委員会 1980 『中ノ家古墳』
- 子持村教育委員会 1985 『西組遺跡発掘調査報告書』
- 子持村教育委員会 1987 『押手遺跡発掘調査報告書』
- 子持村編纂室 1987 『子持村誌 上巻』
- 子持村教育委員会 1991 『黒井家跡』
- 子持村教育委員会 2000 『鶴沢瓜遺跡』
- 子持村教育委員会 2000 『北牧相ノ田遺跡』
- 子持村教育委員会 2005 『白井佐又遺跡発掘調査報告書』
- 子持村教育委員会 2006 『吹屋久保遺跡』
- 渋川市教育委員会 石井克己氏のご教示による。
- 渋川市教育委員会 1988 『坂之下遺跡』
- 渋川市教育委員会 1988 『金井鉾鉄遺跡発掘調査報告書』
- 赤城村教育委員会 2004 『宮田諏訪原遺跡Ⅱ・猫侍久保遺跡』
- 赤城村教育委員会 1985 『見立瀬井遺跡』
- 杉原荘介 1939 『上野野跡遺跡調査報告概要』『考古学』第10巻第10号
- 山崎 一 1972 『群馬県古墳地誌の研究』
- 北群馬・渋川の歴史編纂委員会 1971 『北群馬・渋川の歴史』

## 第3節 基本土層

白井北中道Ⅲ遺跡では、段丘礫層を基盤とし、その上に砂礫層、ローム層、黒ボク土が堆積し、さらにHr-FAと厚いHr-FPが堆積している。

- I層：黒褐色土。現在の耕作土でHr-FPを含む。  
層厚約30cm～60cm。
- II層：榛名二ツ岳伊香保テフラ（Hr-FP、6世紀中頃）。層厚約100cm～150cm。
- III層：黒褐色土。榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA、6世紀初頭）降下後から、榛名二ツ岳伊香保テフラ（Hr-FP）降下までの約30年間に堆積した層。層厚約5cm～10cm。
- IV層：榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA、6世紀初頭）。道下や畦状遺構下等に、部分的に残存。
- V層：黒色～黒褐色土。白色軽石、黄褐色軽石を含む。
- VI層：黒褐色～暗褐色土。淡色黒ボク土。白色軽石、黄褐色軽石を含む。
- VII層：黒褐色～暗褐色土。ローム漸位層。部分的に白色軽石、黄褐色軽石を含む。
- VIII層：暗褐色～黄褐色土。ローム層。軟質。部分的に明黄褐色軽石を含む。
- IX層：褐色～明黄褐色土。ローム層。硬質。As-YPを含む。
- X層：砂礫層。シルト層、細粒～粗粒砂層、拳大の礫を含む層まで様々な層の互層。



第2章第3図 白井北中道Ⅲ遺跡基本土層柱状図

第2章 地理的・歴史的環境

第2章表2 経沢バイパス（その2）面積一覧表

道跡	地区	土地 番号	地区面積 ㎡	道跡	地区	土地 番号	地区面積 ㎡	道跡	地区	土地 番号	地区面積 ㎡	道跡	地区	土地 番号	地区面積 ㎡
白井北中道田道跡	1	1	3,461.3	吹屋伊勢森	吹屋伊勢森	49	6,337.4	吹屋	(13)	105	3,914.9	吹屋	26	165	230.7
		50				106				166					
		51				107				167					
		52				108				169					
		53				109				172					
	54	110	174												
	55	111	166												
	56	112	168												
	56-2	113	170												
	57	114	171												
	58	115	173												
	59	116	175												
	60	117	176												
	61	118	177-2												
	62	119	177-2												
	63	120	178												
	64	121	180												
	65	122	184												
	66	123	186												
	67	124	189												
	68	125	191												
	69	126	196												
	70	127	199												
	71	128	201												
	71-1	129	201-1												
	72	130	205												
	73	131	206												
	74	132	179												
	75	133	181												
76	134	182													
77	135	183													
78	136	185													
79	137	187													
80	138	188													
81	139	190													
82	140	192													
83	141	193													
84	142	194													
85	143	195													
86	144	197													
87	145	197-2													
88	146	198													
89	147	198-2													
90	148	200													
91	149	202													
92	150	203													
92-2	151	204													
93	152	208													
94-2	153	209													
95	154	210													
96	155	211													
97	156	212													
98	157	213													
99	158	214													
100	159	215													
101	160	216													
102	161	216-2													
103	162	217													
104	163														
	164														
	165														
	166														
	167														
	168														
	169														
	170														
	171														
	172														
	173														
	174														
	175														
	176														
	177-2														
	178														
	179														
	180														
	181														
	182														
	183														
	184														
	185														
	186														
	187														
	188														
	189														
	190														
	191														
	192														
	193														
	194														
	195														
	196														
	197														
	197-2														
	198														
	198-2														
	199														
	200														
	201														
	201-1														
	202														
	203														
	204														
	205														
	206														
	207														
	208														
	209														
	210														
	211														
	212														
	213														
	214														
	215														
	216														
	216-2														
	217														
	218														
	219														
	220														
	221														
	222														
	223														
	224														
	225														
	226														
	227														
	228														
	229														
	230														
	231														
	232														
	233														
	234														
	235														
	236														
	239														
	240														
	241														
	242														
	243														
	244														
	244-2														
	245														
	246														
	247														
	248														
	249														
	250														
	251														
	252														
	253														
	254														
	255														
	256														
	257														
	258														
	259														
	260														
	261														
	262														
	263														
	264														
	265														
	266														
	267														
	268														
	269														
	270														
	271														
	272														
	273														
	274														
	275														
	276														
	277														
	278														
	279														
	280														
	281														
	282														
	283														
	284														
	285														
	286														
	287														
	288														
	289														
	290														
	291														
	292														
	293														
	294														
	295														
	296														
	297														
	298														
	299														
	300														
	301														
	302														
	303														
	304														
	305														
	306														
	307														
	308														
	309														
	310														
	311														
	312														
	313														
	314														
	315														
	316														
	317														
	318														
	319														
	320														
	321														
	322														
	323														
	324														
	325														
	326														
	327														
	328														
	329														
	330														
	331														
	332														
	333														
	334														
	335														
	336														
	337														
	338														
	339														
	340														
	341														
	342														
	343														
	344														
	345														
	346														
	347														
	348														
	349														
	350														
	351														
	352														
	353														
	354														
	355														
	356														
	357														
	358														
	359														
	360														
	361														
	362														
	363														
	364														
	365														
	366														
	367														
	368														
	369														
	370														
	371														
	372														
	373														
	374														
	375														
	376														
	377														
	378														
	379														
	380														
	381														
	382														
	383														
	384														
	385														
	386														
	387														
	388														
	389														
	390														
	391														
	392														
	393														
	394														
	395														
	396														
	397														
	398														
	399														
	400														

註：白井北中道田道跡の地区名と調査区名は、以下のように対応する。1→I区、2→II区、3→III区、4-1→IV区、4-2→V区。なお、「5」は、土地の形状が縦長く面積が狭いため調査は実施できなかった。

### 第3章 I区の調査

I区は、調査区が一番南に位置する。総面積は、3,461.3㎡である。縄文面の調査は、グリッドを設定して行った。しかしながら、I区では遺構は検出されなかった。また、旧石器時代の遺物も出土しなかった。

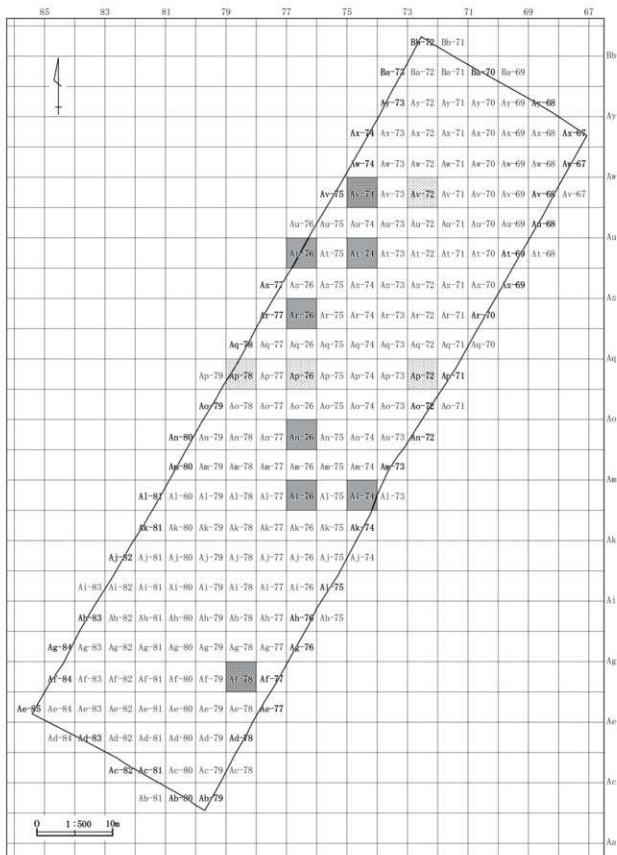
遺構外の掲載遺物は、土器が6のグリッドから6点、石器が8のグリッドから9点の合計15点を掲載した。土器の内訳は、諸磯a式・諸磯b式・諸磯c式が4点、十三菩提～五領ヶ台式が1点、不明が1点で深鉢が多い。石器の内訳は、石鏃5点・打製石斧2点・石核1点・磨製石斧1点で石鏃が多い。土器及び石器は、調査区の北側から多く出土している傾向がある。



第3章写真1 I区縄文面グリッド調査状況 [南→]



第3章 Ⅰ区の調査



□ 土器出土    ■ 石器出土    ▨ 土器・石器出土

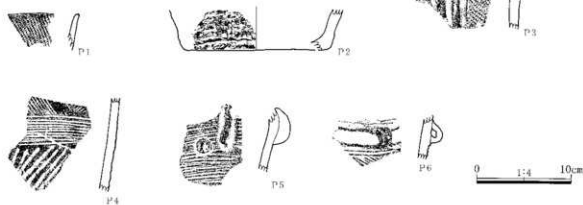
第3章第1図 Ⅰ区グリッド配置図

## 第1節 I区遺構外出土遺物

I区では、遺構は検出されなかった。遺構外出土遺物として、土器6点・石器9点を掲載した。

## 1. 土器

土器は、縄文時代前期の諸磯a・諸磯b・諸磯c式の深鉢が主である。



第3章第2図 I区縄文面 遺構外出土縄文土器

第3章表1 I区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表 (第3章第2図、PL. 2)

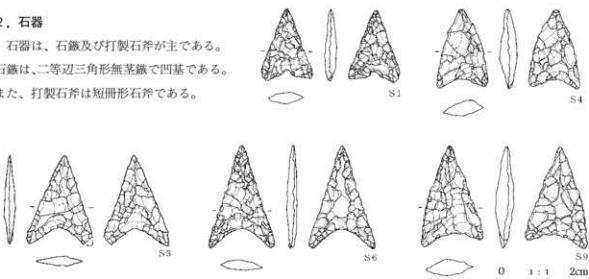
番号	出土位置	器種	残存状態	構成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	Ap-76G IV層	深鉢	口縁破片	貝	にぶい黄褐色	10YR7/2	細かい黒色粒	諸磯a式(新)	縄文原体RL模。
P2	Ap-78G VI層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線に矢羽状の刻み。
P3	Af-78G VIII層	深鉢	破片	不具	橙	5YR7/6	細かい砂粒	加曾利E田式	太い沈線による縦位の区画。
P4	Av-74G VIII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐色	10YR7/3	細かい黒色粒	諸磯c式(古)	集合沈線による横位区画。対弧文施文。
P5	Av-72G VIII層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯c式(古)	集合沈線による横位区画。ボタン状、棒状の刻付文。
P6	Ap-72G VIII層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐色	5YR5/3	φ1~2mmの小石	十三音理~五箇→台式	横位の把手。平行沈線による横位区画。

## 2. 石器

石器は、石鏃及び打製石斧が主である。

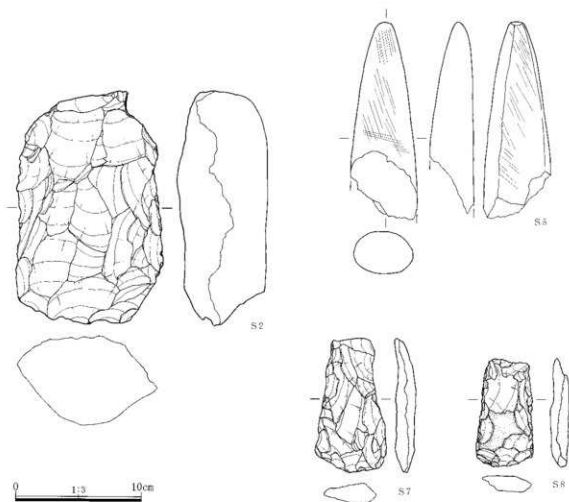
石鏃は、二等辺三角形無茎鏃で凹底である。

また、打製石斧は短冊形石斧である。



第3章第3図 I区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)

第3章 I区の調査



第3章第4図 I区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)

第3章表2 I区縄文面 遺構外出土縄文石器観察表(第3章第3・4図、PL. 2)

番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	At-26G	V層	石鏃	一部欠損	1.80	3.30	0.35	0.57	黒曜石	黒曜石	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 2	At-74G	V層	石鏃	完形	18.40	11.50	7.10	1,925.00	灰青玄武岩	中粒黒灰岩	表面一部残存。
S 3	At-76G	V層	石鏃	一部欠損	2.30	1.70	0.20	0.80	黒色頁岩	無脈晶質安山岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 4	An-26G	V層	石鏃	完形	2.10	1.35	0.40	0.90	黒色安山岩	無脈晶質安山岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 5	An-26G	V層	磨製石棒	2/3	15.70	5.40	3.50	354.90	変玄武岩	変ハンレイ岩	乳棒状石棒。刃部欠損。
S 6	At-26G	V層	石鏃	ほぼ完形	2.60	1.70	0.45	1.36	黒色頁岩	頁岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 7	At-74G	V層	打製石棒	完形	10.60	5.70	1.50	100.80	黒色頁岩	中粒黒灰岩	短冊状石棒。
S 8	At-26G	V層	打製石棒	上下部欠損	8.40	4.60	1.50	72.40	ホルンフェルス	粗質ホルンフェルス	短冊状石棒。
S 9	Av-74G	V層	石鏃	完形	2.70	1.75	0.30	0.82	珪質頁岩	チャート	二等辺三角形無茎鏃。凹基。

## 第4章 II区の調査

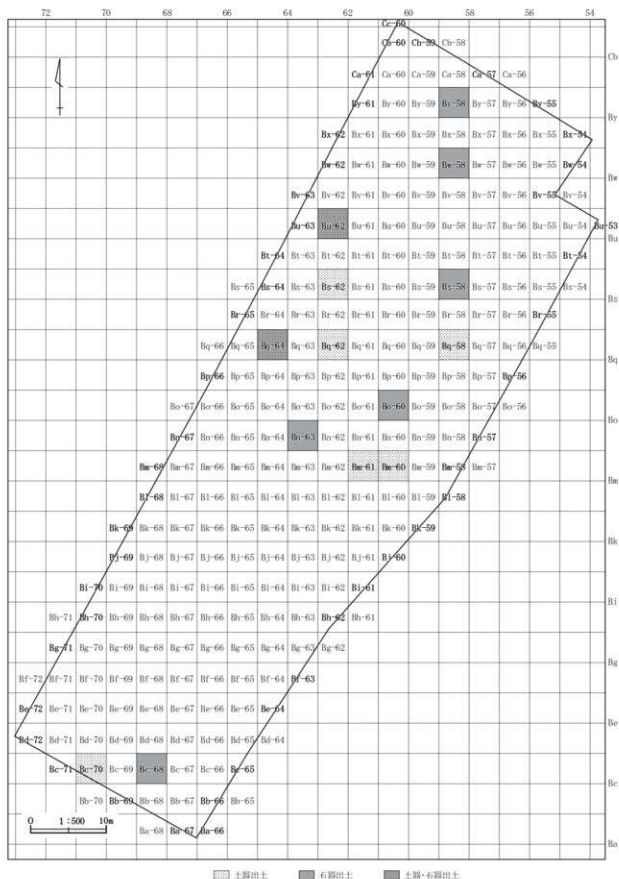
II区の総面積は、4,751.3㎡である。縄文面の調査は、グリッドを設定して行った。II区の縄文面では、遺構として土坑2基が検出された。旧石器時代の遺物は、出土しなかった。

遺構外の掲載遺物は、土器が8つのグリッドから8点、石器が8つのグリッドから8点の合計16点を掲載した。土器の内訳は、諸磯a式・諸磯b式・諸磯c式が6点、大木式が1点、十三普提式が1点で深鉢7点・有孔浅鉢1点で深鉢が多い。石器の内訳は、石鏃3点・打製石斧4点・石核1点で石鏃と打製石斧が多い。土器及び石器は、調査区の北側から多く出土している傾向がある。



第4章写真1 II区縄文面グリッド調査状況〔南→〕

第4章 II区の調査



第4章第1図 II区グリッド配置図

## 第1節 II区遺構

## 1. 土坑

II区では、土坑2基が検出された。この2基の土坑から、遺物は検出されなかった。

## (1) II区J1 (103)号土坑

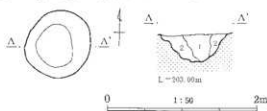
位置：Bd-68Gから検出された。

形状：不整形円形土坑

規模：直径約85cm・深さ約35cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



J1 (103)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色バミス、炭化物、焼土粒、ローム粒を含む。
2. 黒褐色土 黄褐色バミス、炭化物、焼土粒、ロームブロック(φ10mm以下)を含む。

第4章第2図 II区J1 (103)号土坑

## (2) II区J2 (102)号土坑

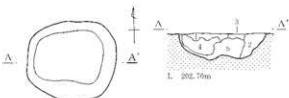
位置：Bf-70Gから検出された。

形状：不整形円形土坑

規模：直径約105cm~115cm・深さ約25cm~35cm

土層：土層は、5層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



J2 (102)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色バミス、礫(φ5mm以下)、ローム粒を含む。
2. 黒褐色土 黄褐色バミス、ローム粒を含む。
3. 黒褐色土 黄褐色バミス、炭化物、ロームブロック(φ10mm以下)を含む。
4. 黒褐色土 黄褐色バミス、ロームブロック(φ20mm以下)を含む。
5. 黒褐色土とロームの混合土

第4章第3図 II区J2 (102)号土坑

## 第2節 II区遺構外

II区では、遺構外出土遺物として土器8点・石器8点を掲載した。



第4章第4図 II区縄文面 遺構外出土縄文土器

第4章表1 II区縄文面 遺構外出土縄文土器観察表 (第4章第4図、PL.5)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色		胎土	分期	文様
					番号	色			
P1	Bq-58G 残片	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR7/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	口唇に彫み、φ16mmの円形刺突。縄文原体RL横。
P2	Bq-64G 甕層一括	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁上部縁部に粘土面による突起。巾5mmの平行沈線による乳線文。
P3	Bq-62G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	5YR7/3	φ1mmの小石	諸磯b式(中)	浮線による横位区画と乳線文。縄文原体RL横。
P4	Bm-60G 甕層	有孔浅鉢	破片	普通	橙	5YR7/6	黒色粒多い	諸磯b式(中)	巾7mmの平行沈線による本葉文。
P5	Bc-70G 甕層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR7/2	φ1mmの小石	諸磯b式(新)	沈線による横位区画。
P6	Bm-60G 甕層	深鉢	口縁破片	良	明黄褐	10YR7/6	細かい砂粒	諸磯c式(古)	口唇部に凹凸文。重合沈線による矢羽根文と横位区画。
P7	Bu-62G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR6/3	砂粒多い	大木5式	折り返し口縁。粘土層を縦面状に貼付。縄文原体LR。
P8	Bs-62G 甕層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄	2.5Y6/3	細かい砂粒	十三番掘式	巾3mmの平行沈線を密集させた矢羽根文。

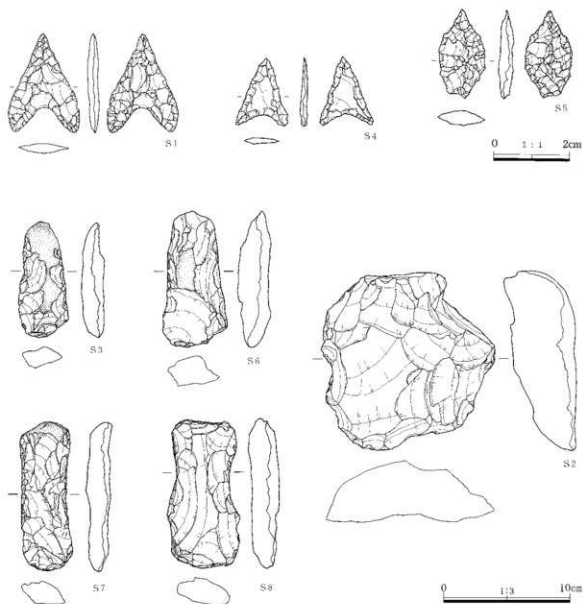
第4章 II区の調査

1. 土器

土器は、縄文時代前期の諸磯a・諸磯b・諸磯c式の深鉢が主である。

2. 石器

石器は、石鏃及び打製石斧が主である。石鏃は、二等辺三角形無茎鏃で凹基である。また、打製石斧は短冊形石斧である。



第4章第5図 II区縄文面 遺構外出土縄文石器

第4章表2 II区縄文面 遺構外出土縄文石器観察表 (第4章第5図、PL. 5)

番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	Bc-68G	Ⅱ層	石鏃	突形	2.60	1.90	0.30	1.11	黒色安山岩	ガラス質安山岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 2	Bn-83G	Ⅱ層	石核	突形	12.90	13.60	4.40	1,059.00	黒色頁岩	頁岩	一面に表面残存。
S 3	Bo-60G	Ⅱ層	打製石斧	突形	9.10	4.00	1.80	70.40	黒色頁岩	細粒凝灰岩	腰形石斧。
S 4	Bq-54G	Ⅱ層	石鏃	短冊形突形	1.73	1.40	0.20	0.45	黒色頁岩	実質凝灰岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 5	Bs-58G	—	石鏃	短冊形突形	2.30	1.25	0.40	0.97	黒曜石	黒曜岩	—
S 6	Bn-82G	Ⅱ層	打製石斧	突形	10.70	5.20	2.40	142.00	細粒輝石安山岩	輝石安山岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 7	Bw-58G	Ⅱ層	打製石斧	突形	11.80	4.70	2.00	114.80	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 8	By-58G	Ⅱ層	打製石斧	突形	11.80	5.80	2.10	175.80	黒色頁岩	細粒凝灰岩	短冊形石斧。

## 第5章 III区の調査

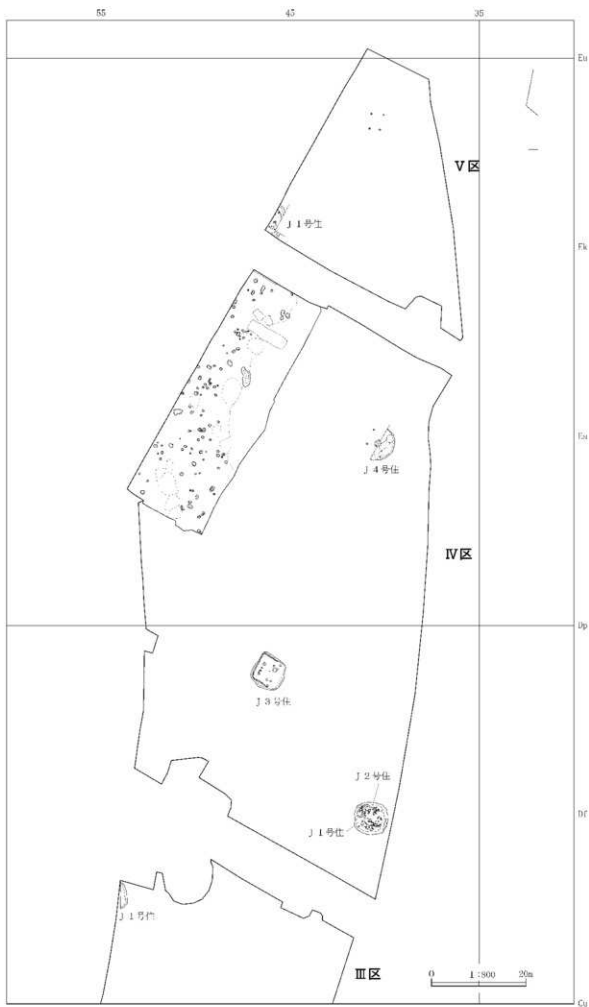
III区の総面積は、5,958.2㎡である。縄文面の調査は、グリッドを設定して行った。III区の縄文面では、遺構として住居1軒・土坑7基が検出された。旧石器時代の遺構は検出されず、遺物は出土しなかった。

遺構外の掲載遺物は、土器が62のグリッドから156点、石器が62のグリッドから88点の合計244点を掲載した。土器の内訳は、諸磯a式・諸磯b式・諸磯c式等諸磯式が112点、大木式が13点、十三善提式が14点で諸磯式が多い。同様に器種は、深鉢144点・有孔浅鉢8点・浅鉢3点・土製品1点で深鉢が多い。石器の内訳は、石鏃20点・石匙4点・石核6点・打製石斧31点・磨石凹石13点・石皿4点・磨製石斧2点で石鏃と打製石斧が多い。土器及び石器は、調査区の北側から多く出土している傾向がある。



第5章写真1 III区J1号住居全景 [東→]





第5章第1回 III・IV・V区縄文面 住居位置図

## 第1節 Ⅲ区遺構

Ⅲ区では、縄文時代前期住居1軒・土坑7基が検出された。

### 1. 住居

住居は、調査区の北西部から縄文時代前期のⅢ区J1号住が1軒検出された。しかしながら、住居主体部は調査区外であり、一部しか検出されておらず、全容は不明である。

#### (1) Ⅲ区J1号住居

**時期**：縄文時代前期に比定される。

**重複**：重複は、認められなかった。

**形状**：一部しか、検出されていないため、正確な形状は不明である。

**規模**：住居の規模は、現状で、南北約5.5m・東西約80cm～1.4mである。

**面積**：住居床面の面積は、約3.83㎡である。

**覆土**：覆土は、9層に分かれる。遺物は、2層に多く含まれている。

**床面**：床面は、比較的平坦である。

**炉**：炉は、検出されなかった。

**埋設土器**：埋設土器は、検出されなかった。

**柱穴**：柱穴は、検出されなかった。

**周溝**：周溝は、検出されなかった。

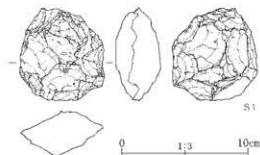
**遺物**：遺物は、土器及び石器が出土した。

(土器) 土器は、32点出土した。いずれも破片であり、完形品は無かった。内訳は、諸磯b式27点・諸磯c式5点である。器種は、深鉢30点・有孔浅鉢2点である。

(石器) 石器は、1点出土した。器種は、黑色安山岩製の石核である。



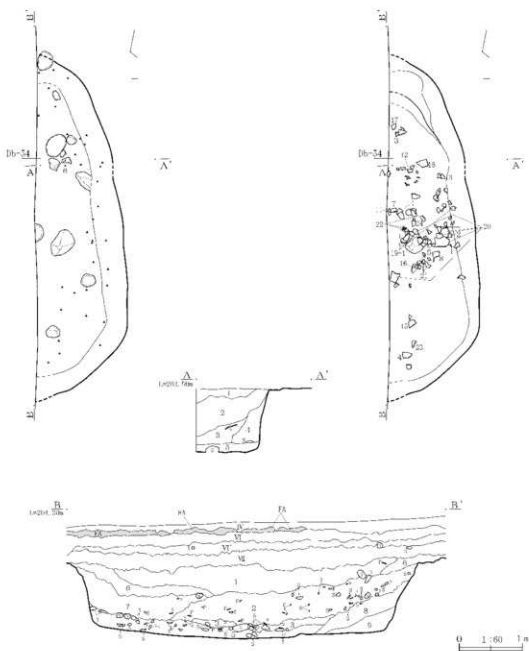
第5章写真2 Ⅲ区J1号住居全景【南→】



第5章第2図 Ⅲ区J1号住居出土縄文石器

第5章表1 Ⅲ区J1号住居出土縄文石器観察表 (第5章第2図、PL. 6)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	埋設土	石核	1/2	7.60	6.90	3.60	169.00	黑色安山岩	泥質ホルンフェルス	一部表面残存。



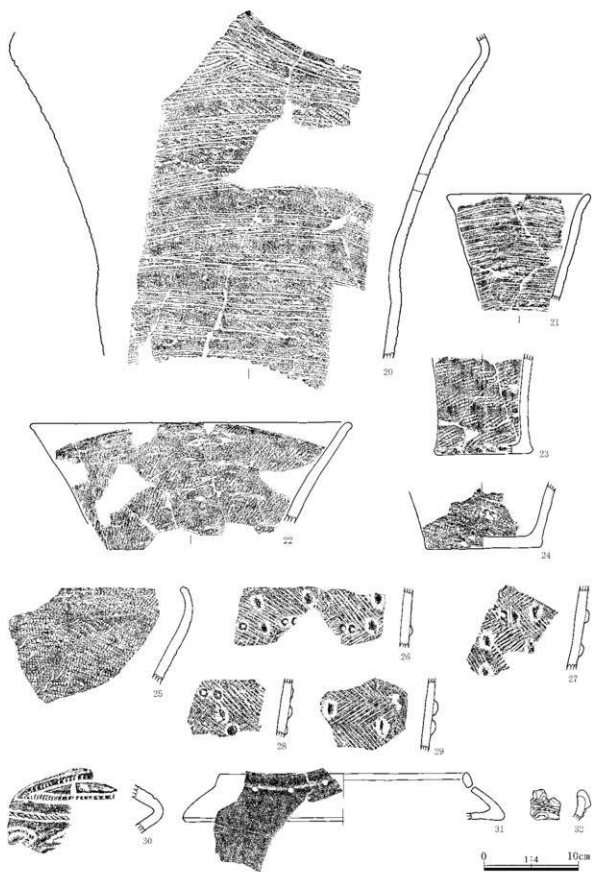
Ⅲ区 J 1号住居 A-A'、B-B'

1. 黒褐色土 褐色土粒、礫(φ 5cm以下)、白色バミス(φ 1mm以下)、黄褐色バミス(φ 3mm以下)、炭化物(φ 3mm以下)を含む。やや固い。
  2. 黒褐色土 礫(φ 5cm以下)、白色バミス(φ 2mm以下)、黄褐色バミス(φ 3mm以下)、炭化物(φ 5mm以下)を含む。固くしまっている。
  3. 暗褐色土 礫(φ 3cm以下)、黄褐色バミス(φ 3mm以下)、炭化物(φ 3mm以下)を含む。粘性があり、やや固くしまっている。
  4. 暗褐色土 礫(φ 3cm以下)、黄褐色バミス(φ 3mm以下)、炭化物(φ 3mm以下)を含む。シルト質でやわらかい。
  5. 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。シルト質でやわらかい。
  6. 黒褐色土 褐色土粒、ブロック(φ 10cm以下)、礫(φ 3cm以下)、白色バミス(φ 1mm以下)、黄褐色バミス(φ 3mm以下)、炭化物(φ 2mm以下)を含む。やや固い。
  7. 黒褐色土 褐色土粒(壁に近づくにつれ多く含む)、礫(φ 3cm以下)、白色バミス(φ 1mm以下)、黄褐色バミス(φ 3mm以下)、炭化物(φ 2mm以下)を含む。やや固い。
  8. 暗褐色土 褐色土粒、礫(φ 3cm以下)を含み、シルト質でやわらかい。
  9. 褐色土 礫(φ 2cm以下)を少量含む。シルト質でやわらかい。
- ※ IV、VI、VII層は基本土層

第5章第3図 Ⅲ区 J 1号住居



第5章第4図 III区J1号住居出土縄文土器(1)



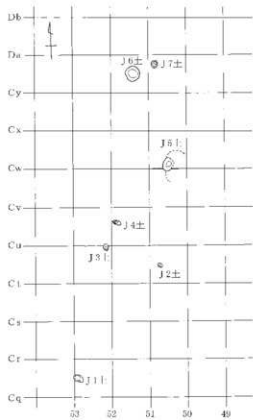
第5章第5図 Ⅲ区J1号住居出土縄文土器(2)

第5章表2 Ⅲ区J1号住居出土縄文土器観察表(第5章第4・5図、PL.7・8)

番号	出土位置	器種	残存状態	地味	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P1	No.37	深鉢	口縁破片	普通	にぶい青	7.5YR6/3	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾8mmの乱形文を横位施文。
P2	No.7・27	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐色	10YR7/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(新)	口縁「く」の字に屈曲。扁平な浮線による横位区画。浮線は矢羽根状の形。浮線の胎土と土器本体の胎土が異なる。
P3	埋没土中	深鉢	口縁破片	普通	にぶい青	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸磯b式(中)	浮線による横位区画と乱線文。浮線には矢羽根状の形。
P4	埋没土中	深鉢	口縁破片	普通	にぶい青	7.5YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(新)	口縁「く」の字に屈曲。扁平な浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の形。
P5	No.70	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐色	10YR6/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(新)	扁平な浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の形。
P6	No.83	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐色	10YR6/3	φ1～3mmの小石	諸磯b式(新)	扁平な浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の形。
P7	No.89	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR7/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(新)	扁平な浮線による横位区画。口縁部文様帯には乱線文施文。浮線は矢羽根状の形。
P8	埋没土中	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐色	10YR7/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(新)	扁平な浮線による横位区画。区画内に矢羽根文。乱線文が施文される。浮線には矢羽根状の形。
P9	埋没土中	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	扁平な浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の形と刺突。
P10	No.24 埋没土	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐色	10YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(新)	扁平な浮線による矢羽根文。乱線文。浮線には矢羽根状の形。縄文原形 L.R.
P11	No.75・76 Da-53	深鉢	胴部破片	良	黄褐色	7.5YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線に乱文が施文される。縄文原形 L.R.
P12	No.72 埋没土	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄褐色	10YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線に乱文が施文される。縄文原形 L.R.
P13	埋没土中	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行浮線による横位区画。口縁部文様帯に乱線文。
P14	埋没土中	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁部部に刺突。口縁に胎土による粘付文。巾5mmの平行浮線による横位区画。区画内に対角文。乱線文。
P15	No.23	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR6/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行浮線による文様区画。区画内に対角文。乱線文。
P16	No.48	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR6/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁部部部に粘土層粘付。巾4mmの平行浮線による横位区画。区画内に対角文。対角文。
P17	埋没土中	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行浮線横位施文。
P18	No.67 埋没土	深鉢	口縁	普通	にぶい黄褐色	10YR4/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行浮線による横位区画。口縁部文様帯に乱線文。
P19	埋没土中	深鉢	口縁	普通	暗褐色	10YR3/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁部部に刺突。口縁に粘土層粘付による突起。巾4mmの平行浮線による横位区画。口縁部に入り組み乱線文。対角文。乱線文施文。縄文原形 RL。
P20	No.2・9・10・12・13・55、 Da-53G、埋 没土	深鉢	口縁→胴部	普通	にぶい黄褐色	10YR5/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁。巾4mmの平行浮線による横位区画。口縁部部に乱線文。縄文原形 RL。
P21	No.93 埋没土	深鉢	口縁→胴部 破片	普通	にぶい青	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(新)	巾4mmの平行浮線横位施文。
P22	No.21・56・51 埋没土	深鉢	口縁	良	にぶい青	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原形 Lr。
P23	No.21 Da-53G 埋没土	深鉢	底部	普通	にぶい青	7.5YR5/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原形 Lr。
P24	埋没土中	深鉢	底部破片	普通	にぶい黄褐色	10YR6/4	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中)	縄文原形 RL。
P25	No.81	深鉢	口縁破片	普通	褐色	10YR4/4	φ1～2mmの小石、軽石	諸磯b式(中)	結節乱線文。縄文原形 RL。
P26	埋没土 Da-53G	深鉢	胴部破片	普通	にぶい青	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	巾4mmの平行浮線を矢羽根状に施文。棒状、ボタン状の粘付文施文。
P27	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	にぶい青	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	巾4mmの平行浮線を矢羽根状に施文。棒状、ボタン状の粘付文施文。
P28	No.15	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	φ1mmの小石、黒色粒	諸磯c式(新)	巾4mmの平行浮線を矢羽根状に施文。
P29	No.4	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(新)	巾5mmの平行浮線を矢羽根状に施文。
P30	埋没土 Da-53G	有孔浅鉢	胴部破片	良	にぶい青	7.5YR6/3	細かい砂粒	諸磯b式(中)	巾10mmの乱形文による木葉文。
P31	No.30 埋没土	有孔浅鉢	胴部破片	普通	にぶい青	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石、軽石	諸磯b式(中2)	—
P32	埋没土中	深鉢	口縁	良	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による文様施文。浮線に刺突。器底把手は口唇に目・鼻・顔部が重なるように粘付される。

2. 土坑

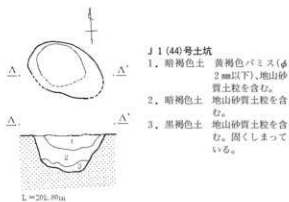
Ⅲ区では、土坑が7基検出された。これらの内、遺物が検出されたのは、Ⅲ区J 5号土坑のみである。



第5章第6図 Ⅲ区縄文面 土坑位置図 (1/400)

(1) Ⅲ区J 1 (44)号土坑

位置：Cq-52Gから検出された。  
 形状：楕円形土坑  
 規模：長軸約105cm・短軸約65cm・深さ約50cm  
 土層：土層は、3層に分かれる。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。



第5章第7図 Ⅲ区J 1 (44)号土坑

(2) Ⅲ区J 2 (48)号土坑

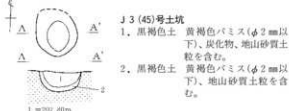
位置：Ct-50Gから検出された。  
 形状：楕円形土坑  
 規模：長軸約50cm・短軸約35cm・深さ約30cm  
 土層：土層は、2層に分かれる。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。



第5章第8図 Ⅲ区J 2 (48)号土坑

(3) Ⅲ区J 3 (45)号土坑

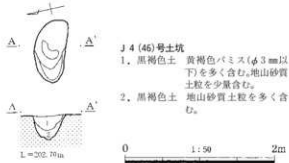
位置：Ct-52Gから検出された。  
 形状：不整形土坑  
 規模：長軸約65cm・短軸約55cm・深さ約25cm  
 土層：土層は、2層に分かれる。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。



第5章第9図 Ⅲ区J 3 (45)号土坑

(4) Ⅲ区J 4 (46)号土坑

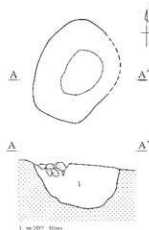
位置：Cu-51Gから検出された。  
 形状：楕円形土坑  
 規模：長軸約85cm・短軸約45cm・深さ約30cm  
 土層：土層は、2層に分かれる。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。



第5章第10図 Ⅲ区J 4 (46)号土坑

## (5) Ⅲ区 J 5 (50)号土坑

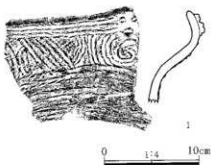
- 位置：Cw-50Gから検出された。  
 形状：楕円形土坑  
 規模：長軸約130cm・短軸約105cm・深さ約45cm  
 土層：土層は、1層である。  
 遺物：遺物は、縄文時代前期の諸磯b式の深鉢口縁部が1点出土している。



J 5 (50)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ2mm以下)、焼土粒(φ1mm以下)を少量含む。粘性弱く、固くしている。

第5章第11図 Ⅲ区 J 5 (50)号土坑



第5章第12図 Ⅲ区 J 5 (50)号土坑出土縄文土器

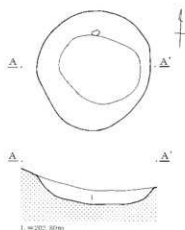
第5章表3 Ⅲ区 J 5 (50)号土坑出土縄文土器観察表  
(第5章第12図、PL. 9)

番号	出土位置	器種	残存状態	構成	色調番号	胎土
P1	50号土坑 No.3・4・6	深鉢	口縁	普通	7.5YR6/6	砂粒、φ1~2mmの小石

分類	文様
諸磯b式(中2)	浮線による模印区画。環状口縁部に獣面文、口縁部文様帯に浮線による渦文、銅文。縄文彫体 LR。

## (6) Ⅲ区 J 6 (49)号土坑

- 位置：Cy-51Gから検出された。  
 形状：不整形円形土坑  
 規模：直径約150cm~155cm・深さ約20cm  
 土層：土層は、1層である。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。



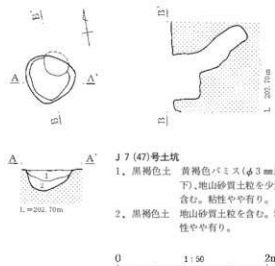
J 6 (49)号土坑

1. 暗褐色土 地山砂質土粒ブロック(φ5cm以下)を多く含む。

第5章第13図 Ⅲ区 J 6 (49)号土坑

## (7) Ⅲ区 J 7 (47)号土坑

- 位置：Cy-50Gから検出された。  
 形状：不整形円形土坑  
 規模：直径約60cm~65cm・深さ約30cm  
 土層：土層は、2層に分かれる。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。



J 7 (47)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色パミス(φ3mm以下)、地山砂質土粒を少量含む。粘性やや有り。地山砂質土粒を含む。粘性やや有り。

第5章第14図 Ⅲ区 J 7 (47)号土坑



## 第2節 Ⅲ区遺構外

Ⅲ区遺構外の掲載遺物は、土器が62のグリッドから156点、石器が62のグリッドから88点の合計244点を掲載した。

出土土器及び石器の内訳は、以下の表通りである。

### 1. 土器

土器の内、型式が判明したものは、諸磯a式5点・諸磯b式61点・諸磯c式41点・諸磯式3点・加曾利式9点・興津式3点・大木式13点・十三菩提式14点である。その他、黒浜式・勝坂式等が出土している。

大きな傾向として、Ⅳ区・Ⅴ区と同様に諸磯b式を中心とした諸磯式が主体である。

土器の器種は、深鉢が大多数を占め、次に有孔浅鉢・浅鉢となる。

### 2. 石器

石器の内、出土点数順に見ると、打製石斧31点・石鎌20点・磨石凹石13点・石核6点・石匙4点・石皿4点等となる。

大きな傾向として、Ⅳ区・Ⅴ区と同様に打製石斧・石鎌・磨石・石匙等が中心である。

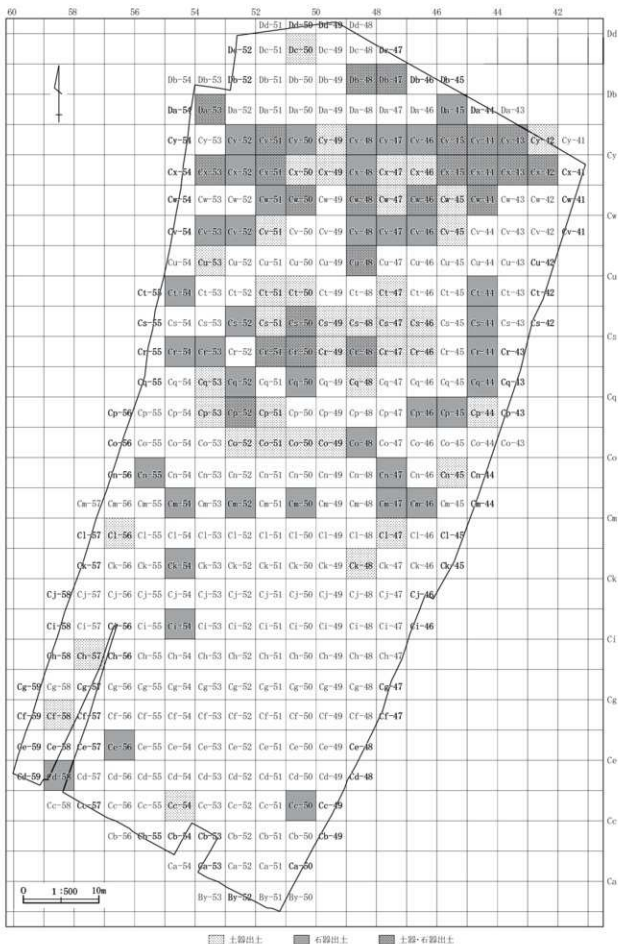
石器の出土層位では、ほとんどの器種がⅥ層及びⅦ層から出土している。

第5章表4 Ⅲ区遺構外縄文土器まとめ

土器型式 器種	諸磯 式	諸磯b式					諸磯c式				諸磯				加曾利			興津			大木		十三菩提		黒浜	勝坂
		古	中2	中	新	不明	古	中1	新	B1	E1	E2	新	新1	新2	新3	大5	大4	大3	大2	大1					
深鉢	3	2	33	4	12	3	11	3	27	2	2	2	1	4	1	1	1	1	13	14	5	2				
浅鉢	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
有孔浅鉢	1	—	1	4	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ミニチュア土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
土製円盤等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総計	5	2	34	8	14	3	11	3	27	3	2	2	1	4	1	1	1	1	13	14	5	2				

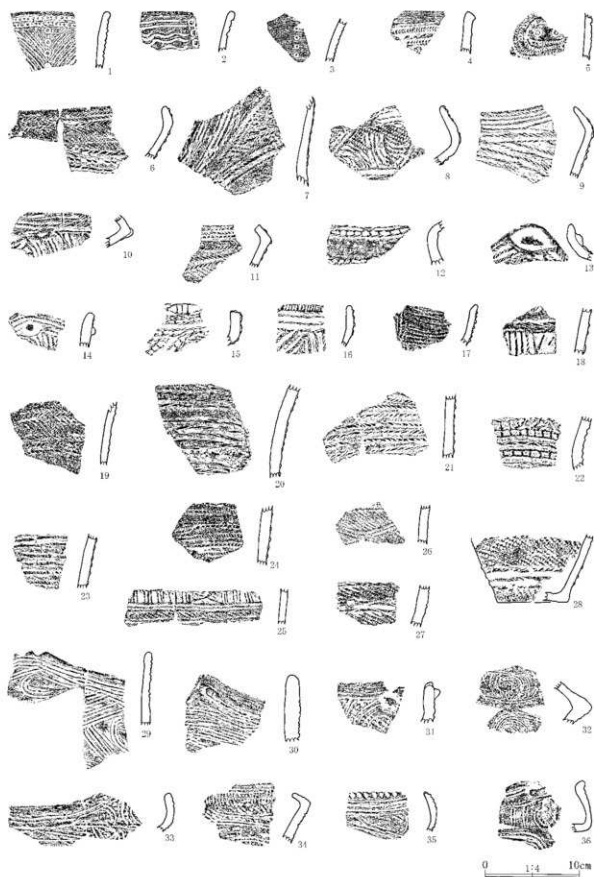
第5章表5 Ⅲ区遺構外出土石器まとめ

	石鎌	実頭錐	石匙	石鏃	打斧	砥石	敲石	石核	磨石	凹石	磨・凹石	多孔石	石皿	楔形	筒形	壺形	磨杵	耳飾り
Ⅵ層	6	—	2	—	17	—	—	2	1	4	2	—	2	—	2	1	1	—
Ⅶ層	10	1	1	—	10	—	1	3	—	2	3	—	—	1	1	—	1	—
Ⅷ層	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Ⅸ層	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
X層	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
層位不明	1	—	1	—	3	—	—	—	1	—	—	—	1	2	—	—	—	—
合計	20	1	4	0	31	0	1	6	2	6	5	1	4	1	3	1	2	0

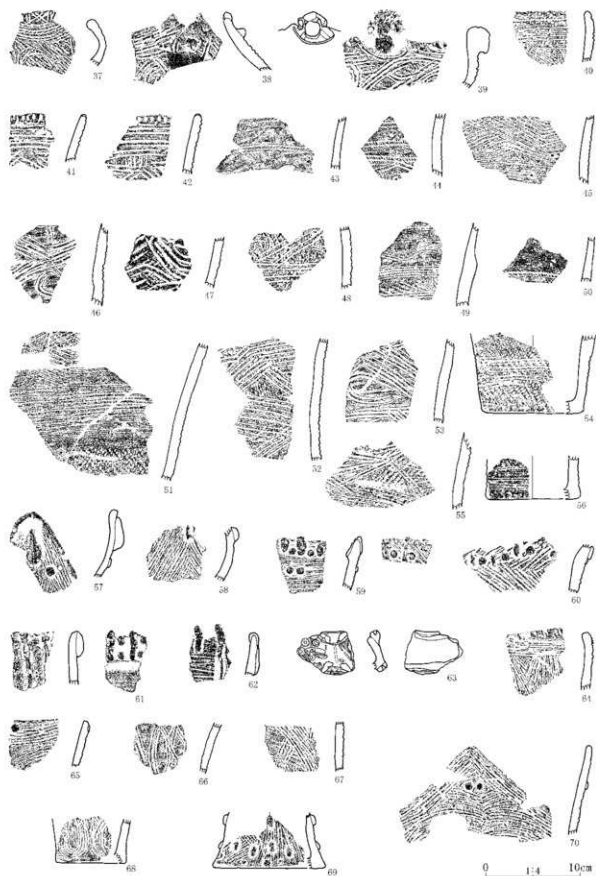


第5章第15図 III区グリッド配置図

第5章 Ⅲ区の調査

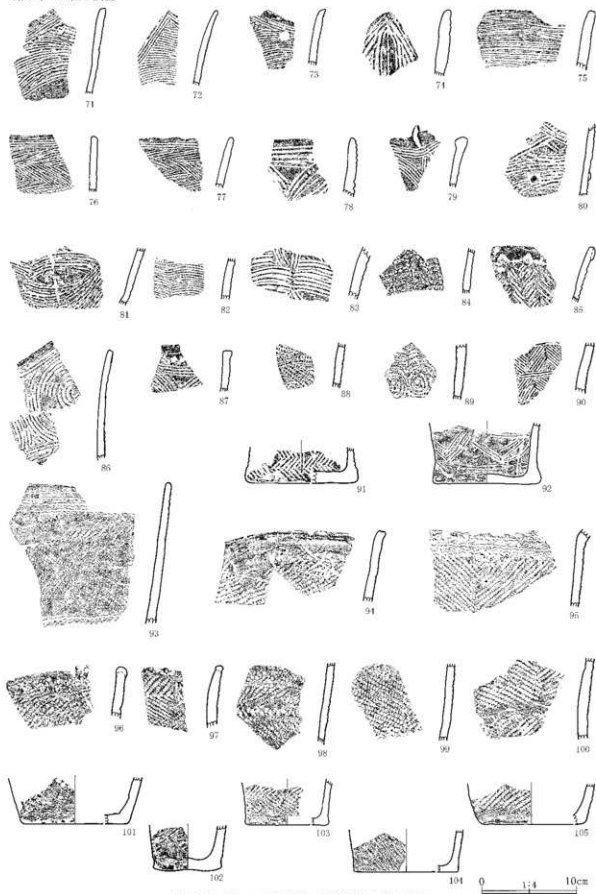


第5章第16図 Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)



第5章第17図 III区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)

第5章 Ⅲ区の調査

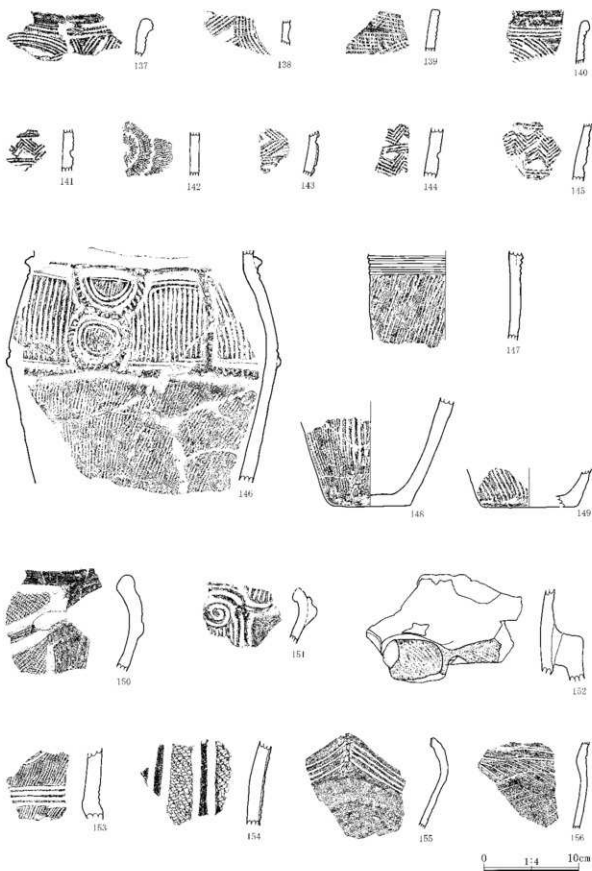


第5章第18図 Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器(3)



第5章第19図 III区縄文面 遺構外出土縄文土器(4)

第5章 Ⅲ区の調査



第5章第20図 Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文土器5)

第5章表6 III区縄文遺構外出土縄文土器観察表(第5章第16~20図, PL.11~14)

番号	出土位置	器種	残存状態	地産	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P1	Cx-50G 甗, No.41	深鉢	口縁破片	良	に, 赤い黄緑	10YR7/3	細かい砂粒	諸織 a 式(新)	口縁に沿って巾5mmの彫形文2条施文。縦線に平行沈線が区画し、赤字文を作る。交点に凹形の刺状文。
P2	Da-53G X層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸織 a 式(新)	φ7mmの彫形刺を縦線に施文。巾2mmの平行沈線で横線波状に施文する。
P3	Da-53G X層	深鉢	口縁破片	良	に, 赤い黄緑	10YR5/4	細かい砂粒	諸織 a 式(新)	φ6mmの彫形刺を縦線に施文。巾2~3mmの平行沈線を集約させ横線に施文。
P4	Cy-45G 甗, No.52	深鉢	口縁破片	普通	に, 赤い褐	7.5YR5/4	砂粒, 白色粒	諸織 b 式(古)	巾8mmの半籠竹管による彫形文。彫形文間に筋目を押す縁線。
P5	Cx-44G 甗, No.87	深鉢	破片	良	に, 赤い黄緑	10YR6/3	φ1mmの小石	諸織 b 式(古)	巾5mmの半籠竹管による木葉文とφ1mmの彫形刺状文。
P6	Cx-42G 甗	深鉢	口縁破片	良	に, 赤い黄緑	10YR6/3	φ1mmの小石	諸織 c 式(中1)	浮線による横線区画。縦文原形 RL 横。
P7	Cx-42G 甗	深鉢	口縁破片	良	に, 赤い黄緑	10YR6/4	φ1~2mmの小石	諸織 b 式(中2)	口縁「く」の字に屈曲する。浮線による文様施文。地文彫文が深い。縦文原形 RL。
P8	Cx-53G X層	深鉢	口縁破片	普通	に, 赤い黄緑	10YR6/3	細かい砂粒	諸織 c 式(中1)	断面凹形の浮線による乳線入り組の渦巻文。縦文原形 RL。
P9	Cy-43G 甗, No.121	深鉢	口縁破片	良	に, 赤い黄緑	10YR6/4	細かい砂粒	諸織 b 式(中2)	偏平な浮線による文様施文。地文彫文が深い。縦文原形 RL。
P10	Cx-44G No.65	深鉢	口縁破片	良	に, 赤い黄緑	10YR6/4	φ1~2mmの小石	諸織 b 式(中2)	口縁「く」の字に屈曲。浮線による縦線。渦巻文。縦文を浮線始付後に施文している。縦文原形 RL。
P11	Cs-49G 甗	深鉢	口縁破片	普通	に, 赤い黄緑	10YR7/3	φ1~2mmの小石	諸織 b 式(新)	口縁「く」の字に屈曲。偏平な浮線による施文。縦文原形 RL。
P12	Cy-44G 甗	浅鉢	破片	良	に, 赤い黄緑	10YR5/3	φ1~2mmの小石	諸織 b 式(中)	浮線による梯子状の文様。
P13	Cw-47G 甗, No.27	深鉢	口縁破片	普通	浅黄	2.5Y7/3	φ1~2mmの小石	諸織 b 式(中2)	波状口縁部側面に粘土層による突起。浮線による乳線。横線。浮線には矢羽根状の筋目。
P14	Cu-53G 甗, No.1	深鉢	口縁破片	良	に, 赤い褐	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸織 b 式(中2)	波状口縁部側面に粘土層による突起。浮線による乳線。横線。浮線には矢羽根状の筋目。
P15	Cw-44G 甗, No.13	深鉢	口縁破片	良	に, 赤い褐	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸織 b 式(中2)	浮線による乳線。横線。浮線には矢羽根状の筋目。口唇には筋目のない浮線で「X」字文。縦文原形 RL。
P16	Cx-44G 甗	深鉢	口縁破片	普通	に, 赤い黄緑	10YR7/4	細かい砂粒	諸織 b 式(中2)	浮線による横線区画線と乳線。口唇に筋目。浮線には矢羽根状の筋目。縦文原形 RL 横。
P17	Cw-47G 甗	深鉢	口縁破片	良	褐	10YR4/4	細かい砂粒	諸織 b 式(中2)	浮線による横線。縦文原形 RL。
P18	Cx-45G 甗, No.84	深鉢	口縁破片	良	に, 赤い黄緑	10YR5/4	細かい砂粒	諸織 b 式(中2)	浮線による横線区画線と縦線。浮線には筋目を持つものと持たないものがある。
P19	Cw-46G 甗, No.2	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	φ1~3mmの小石	諸織 b 式(新)	偏平な浮線による横線区画線。浮線の胎土は土器本体と異なる。矢羽根状の筋目。縦文原形 RL。
P20	Da-53G 甗	深鉢	口縁破片	良	に, 赤い黄緑	10YR6/4	細かい黒色粒	諸織 b 式(中2)	浮線による横線区画。浮線には矢羽根状の筋目。縦文原形 RL。
P21	Cx-42G 甗	深鉢	胴部破片	普通	に, 赤い黄緑	10YR5/3	φ1~3mmの小石, 黒色粒	諸織 b 式(中2)	浮線による横線区画。浮線には矢羽根状の筋目。
P22	Cw-45G 甗, No.51	深鉢	胴部破片	良	に, 赤い黄緑	10YR6/4	細かい砂粒	諸織 b 式(中2)	浮線による横線区画と梯子状文。浮線の横線区画線は筋目を持つ。
P23	Cw-46G 甗, No.25	深鉢	胴部破片	普通	褐	10YR4/6	細かい砂粒	諸織 b 式(中2)	浮線による横線区画。浮線に縦文施文。縦文原形 RL。
P24	Cx-43G 甗, No.2	深鉢	胴部破片	普通	に, 赤い褐	7.5YR5/4	φ1~2mmの小石	諸織 b 式(中)	浮線による横線区画。浮線に矢羽根状の筋目。
P25	Cw-47G 甗, No.16	深鉢	胴部破片	不良	に, 赤い黄緑	10YR6/4	φ1~2mmの小石	諸織 b 式(新)	偏平な浮線による横線区画。区画内には「X」状の文様。浮線には間隔の狭い矢羽根状の筋目。縦文原形 RL。
P26	Cs-47G 甗, No.12	深鉢	胴部破片	普通	に, 赤い橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸織 b 式(新)	偏平な浮線による横線区画と縦線。浮線は胎土を塗り込みを持つ。縦文原形 RL。
P27	Cs-52G 甗	深鉢	胴部破片	普通	に, 赤い黄緑	10YR6/4	細かい黒色粒	諸織 b 式(中)	浮線による横線区画線。浮線には矢羽根状の筋目。縦文原形 RL。
P28	Cy-51G 甗, No.24	深鉢	底部	普通	に, 赤い褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸織 b 式(中)	浮線による横線区画。浮線には矢羽根状の筋目。内面スス付着。縦文原形 RL。
P29	Cx-44G 甗, No.34	深鉢	口縁破片	良	褐	10YR4/4	φ1~2mmの小石	諸織 b 式(中2)	波状口縁部に筋目を持ち突起状にする。巾5mmの平行沈線で斜格子に区画し約り封状文。
P30	Cy-44G 甗, No.13	深鉢	口縁破片	良	褐	7.5YR4/6	細かい砂粒	諸織 b 式(中2)	波状口縁部に筋目を持ち突起状にする。巾3mmの平行沈線による横線区画。
P31	Cy-44G 甗, No.69	深鉢	口縁破片	良	に, 赤い黄緑	7.5YR5/4	細かい黒色粒	諸織 b 式(中2)	波状口縁部に筋目を持ち側面には粘土層を付け、嵌合部にする。巾5mmの沈線による乳線。縦文原形 RL。
P32	Cy-44G 甗, No.98	深鉢	口縁破片	良	に, 赤い赤褐	5YR5/4	φ1~3mmの小石	諸織 b 式(新)	口縁くっ伏状。巾3mmの平行沈線で渦巻文を施文。平行沈線には、矢羽根状の筋目に加えられる。
P33	Da-53G X層	深鉢	口縁破片	良	に, 赤い黄緑	10YR5/4	細かい砂粒	諸織 b 式(中2)	波状口縁。巾6mmの平行沈線による横線区画。区画内乳線。
P34	Cw-47G 甗, No.7	深鉢	口縁破片	普通	に, 赤い褐	7.5YR5/4	φ1~2mmの小石	諸織 b 式(中2)	巾3mmの沈線による横線区画。口縁部区画内には乳線文が充填される。縦文原形 RL。



第5章 田区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	色 調		胎 土	分 類	文 様	
				色	番号				
P35	Cy-51G 甕層, №6	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄緑	10YR6/4	細かい砂粒	諸織り式(中2)	市4mmの平行沈線による横位区画。区画内に弧線文。縄文主体RL。
P36	Cx-50G 甕層, №8	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄緑	10YR5/3	φ1~2mmの小石	諸織り式(新)	口縁に重なり、市4mmの平行沈線による横位文。沈線に垂つて竹管による刺状文。
P37	Cx-51G 甕層, №21	深鉢	口縁破片	普通	濁	10YR4/4	φ1mmの小石	諸織り式(新)	市3mmの平行沈線による横位区画と弧線文。口唇には「×」字文。沈線に矢羽根状の刻み。縄文主体RL。
P38	Cx-46G 甕層, №3・4	深鉢	口縁破片	良	にぶい濁	7.5YR5/4	φ1~2mmの小石	諸織り式(中2)	波状口縁突起部に刻みを入れ、3単位の変形凸を作る。輪縁には粘土層を貼付し、市4mmの平行沈線で平円状に囲む。口縁部文線は沈線により横位区画。弧線文。縄文主体RL。
P39	Cx-51G 甕層, №31	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄緑	10YR6/4	φ1~2mmの小石	諸織り式(中2)	口縁部に粘土層を付け、嵌面把手を作る。口唇部に刻み。口縁には、市4mmの平行沈線による弧線文。縄文主体RL。
P40	Cw-45G 甕層, №6	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1~2mmの小石	諸織り式(中2)	市5mmの平行沈線による横位区画。区画内に斜線文。縄文主体RL。
P41	Cy-51G 甕層, №4	深鉢	口縁破片	普通	にぶい濁	7.5YR5/4	φ1~2mmの小石	諸織り式(中2)	市6mmの平行沈線による横位区画。区画内に斜線文。口唇に刻み列。42と同一個体。
P42	Cy-51G 甕層, №1	深鉢	口縁破片	普通	にぶい濁	7.5YR5/4	φ1~2mmの小石	諸織り式(中2)	41と同一個体。
P43	Cx-50G 甕層, №26	深鉢	胴部破片	良	濁	7.5YR4/6	細かい砂粒	諸織り式(新)	市5mmの平行沈線による横位区画。沈線の上に矢羽根状の刻み。
P44	Cx-50G 甕層, №33	深鉢	胴部破片	普通	にぶい濁	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸織り式(新)	市4mmの平行沈線による横位区画。区画内に弧線文。沈線の上に矢羽根状の刻み。
P45	Cy-44G 甕層, №83	深鉢	胴部破片	良	灰黄濁	10YR4/2	φ1~2mmの小石	諸織り式(中2)	市5mmの平行沈線による横位区画。区画内に斜格子文。縄文主体RL?
P46	Cw-45G 甕層, №31	深鉢	胴部破片	良	にぶい濁	7.5YR5/4	φ1~3mmの小石	諸織り式(中2)	市6mmの平行沈線による横位区画。区画内に斜格子文や約り針状文。
P47	Cx-45G 甕層, №49	深鉢	胴部破片	良	にぶい濁	7.5YR6/3	細かい黒色粒	諸織り式(中1)	市8mmの平行沈線による弧線文。
P48	Cy-44G 甕層, №31	深鉢	胴部破片	普通	濁	7.5YR4/3	φ1~2mmの小石	諸織り式(中2)	市6mmの平行沈線による横位区画。区画内に約り針状文。弧線文。縄文主体RL?
P49	Ct-51G 甕層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄緑	10YR7/4	細かい黒色粒	諸織り式(新)	市3mmの平行沈線による横位区画。縄文主体RL。
P50	Dh-48G 甕層, №10	深鉢	破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸織り式(新)	市4mmの平行沈線による横位区画。沈線の上に爪形状の刻み。
P51	4号トレンチ	深鉢	胴部破片	普通	濁	7.5YR4/3	φ1~2mmの小石	諸織り式(中2)	市5mmの平行沈線による横位区画。区画内斜格子目文。縄文主体RL。
P52	Cx-44G 甕層, №16・81	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄緑	10YR4/3	φ1~2mmの小石	諸織り式(中2)	市4mmの平行沈線による斜格子目文。縄文主体RL。
P53	Cy-45G 甕層, №28	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄緑	10YR4/3	φ1~2mmの小石	諸織り式(中2)	市5mmの平行沈線による格子目文。約り針状文。
P54	Cu-48G 甕層	深鉢	底部破片	良	にぶい濁	7.5YR5/4	φ1mmの小石	諸織り式(中2)	市4mmの平行沈線による横位区画。縄文主体RL。
P55	Cw-50G 甕層, №6	深鉢	胴部破片	普通	濁	7.5YR4/3	φ1~2mmの小石	諸織り式(中2)	市4mmの平行沈線による横位区画。区画内に斜格子目文。縄文主体RL。
P56	Cw-45G 甕層, №32	深鉢	底部破片	不良	にぶい黄緑	10YR6/3	φ1~2mmの小石	諸織り式(新)	市3mmの平行沈線による横位区画。
P57	Cw-47G 甕層, №28・29	深鉢	口縁破片	普通	にぶい濁	7.5YR5/4	φ1~3mmの小石	諸織り式(古)	波状口縁突起部、棒状貼付文。市2mmの平行沈線を集合化させ口縁に沿って施す文。
P58	Cs-47G 甕層, №1	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄緑	10YR7/4	細かい黒色粒	諸織り式(古)	波状口縁突起部、棒状貼付文。市2mmの平行沈線を集合化させ突起部に矢羽根状に施す文。
P59	Cw-47G 甕層, №11	深鉢	口縁破片	普通	にぶい濁	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸織り式(新)	口縁折り返し。内外面に棒状、ボタン状、棒状貼付文。市5mmの平行沈線傾斜、斜位に施す。
P60	Cr-47G 甕層, №24	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄緑	10YR6/3	φ1~3mmの小石	諸織り式(新)	ボタン状、棒状貼付文。市4mmの平行沈線を矢羽根状に施す。
P61	Cs-50G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい濁	7.5YR7/4	細かい砂粒	諸織り式(新)	口縁折り返し。口縁内面から外面に長い棒状貼付文。内面にボタン状貼付文。縄文主体RL。
P62	Cy-49G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい濁	7.5YR5/3	φ1~2mmの小石	諸織り式(新)	口縁内面から外面に長い棒状貼付文。市4mmの平行沈線傾斜施す。
P63	Cp-51G 甕層, №2	深鉢	口縁破片	良	にぶい濁	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸織り式(新)	ボタン状、棒状貼付文。市2mmの平行沈線。
P64	Cy-44G 甕層, №26	深鉢	口縁破片	良	にぶい濁	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸織り式(古)	口唇部刻み。市2mmの平行沈線を集合化させて横位区画。胴部縦位区画と矢羽根状文。
P65	Cs-50G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄緑	10YR5/3	細かい砂粒	諸織り式(古)	波状口縁。市3mmの平行沈線が口縁に沿って施される。
P66	Cs-49G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい濁	7.5YR5/4	細かい黒色粒	諸織り式(古)	市3mmの平行沈線による対気文と斜格子目文。
P67	Cy-44G 甕層, №21	深鉢	胴部破片	普通	濁	7.5YR4/4	φ1~3mmの小石	諸織り式(古)	市3mmの平行沈線による弧線矢羽根状文。縄文主体RL。
P68	Cr-50G 甕層, №2	深鉢	底部破片	良	にぶい濁	7.5YR5/4	細かい黒色粒	諸織り式(古)	市4mmの平行沈線による弧線文。
P69	Cx-51G 甕層, №4・12	深鉢	底部破片	普通	にぶい黄緑	10YR7/3	細かい黒色粒	諸織り式(新)	ボタン状、棒状貼付文。市3mmの平行沈線を集合化させ縦位区画。区画内に斜線。

## 第2節 Ⅲ区遺構外

番号	出土位置	部類	残存状態	色 調		胎 土	分 類	文 様	
				色	番号				
P70	Cs-50G Ⅱ→Ⅲ層 Cs-51G Ⅲ層, No.3	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄緑	10YR5/3	φ1~2mmの小石	諸織c式(新) 下品	波状口縁。巾3mmの平行沈線が口縁に沿って数条施される。口縁部には孤線。波部下にボタン状付文。
P71	Cs-50G Ⅲ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい緑	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸織c式(新) 下品	波状口縁。巾3mmの平行沈線が口縁に沿って数条施される。口縁部には孤線。
P72	Cr-47G Ⅲ層, No.41	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄緑	10YR6/4	細かい砂粒	諸織c式(新) 下品	波状口縁。巾3mmの平行沈線が口縁に沿って数条施される。口縁部には孤線。内面スチ付。
P73	Cr-47G Ⅲ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄緑	10YR6/4	細かい砂粒	諸織c式(新) 下品	波状口縁。巾2mmの平行沈線が口縁に沿って施文。口縁部文様は孤線文。袖形孔あり。
P74	Cr-50G Ⅲ層, No.15	深鉢	口縁破片	良	にぶい緑	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸織c式(新) 下品	波状口縁。巾5mmの平行沈線が口縁に沿って施される。口縁部文様は対弧文。
P75	Cr-50G Ⅲ層, No.13	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	諸織c式(新) 下品	巾4mmの平行沈線を集合させ横位区画。
P76	Cs-48G Ⅲ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい緑	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸織c式(新) 下品	巾3mmの平行沈線を集合させ口縁に沿って施文。矢羽状付文。
P77	Cr-47G Ⅲ層, No.1	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄緑	10YR6/3	細かい砂粒	諸織c式(新) 下品	巾3mmの平行沈線を集合させ口縁に沿って施文。矢羽状付文。
P78	Cr-47G Ⅲ層, No.8	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄緑	10YR6/4	細かい黒色粒	諸織c式(新) 下品	巾5mmの平行沈線を口縁に沿って施文。口縁部文様部に孤線。
P79	Cr-51G Ⅲ層, No.12	深鉢	口縁破片	良	にぶい緑	7.5YR6/4	細かい黒色粒	諸織c式(新) 下品	波状口縁波部部に突起。巾3mmの平行沈線を口縁に沿って施文。渦巻。
P80	Cs-50G Ⅲ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄緑	10YR6/4	φ1~2mmの小石	諸織c式(新) 下品	巾4mmの平行沈線による横位区画。区画内に三角文。ボタン状付文。
P81	Cs-50G Ⅲ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄緑	10YR5/3	φ1~2mmの小石	諸織c式(新) 下品	巾3mmの平行沈線を集合させたレンズ状施文。
P82	Cs-47G Ⅲ層, No.10	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄緑	10YR7/2	細かい砂粒	諸織c式(新) 下品	巾3mmの平行沈線を集合させた選弧状に施文。
P83	Cr-47G Ⅲ層, No.4	深鉢	口縁破片	普通	褐	10YR4/4	φ1~2mmの小石	諸織c式(新) 下品	巾5mmの平行沈線に対弧文や選弧文施文。
P84	Cl-56G Ⅲ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい緑	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸織c式(新) 下品	巾2mmの結節沈線により孤線施文。
P85	Cs-51G Ⅲ層, No.13	深鉢	口縁破片	普通	にぶい緑	7.5YR5/4	φ1~2mmの小石	諸織c式(新) 下品	口縁部肥土させ葉歯状の裝飾部。巾3mmの平行沈線と単沈線で矢羽状文を作る。
P86	Cc-54G Ⅲ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄緑	10YR5/3	φ1~3mmの小石	諸織c式(新) 下品	地に横位の平行沈線。結節浮線による渦巻文を施文。
P87	Cp-44G Ⅲ層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/3	φ1~3mmの小石	諸織c式(新) 下品	口縁部肥土させ葉歯状の裝飾部を作る。巾4mmの平行沈線による孤線。
P88	Cs-46G Ⅲ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄緑	10YR6/3	細かい黒色粒	諸織c式(新) 下品	地に横位の平行沈線。結節浮線を横位。斜位に施文。
P89	Cr-51G Ⅲ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄緑	10YR6/3	細かい砂粒	諸織c式(新) 下品	地に横位の平行沈線。結節浮線で選弧文や渦巻文施文。
P90	Cl-47G Ⅲ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい緑	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石	十三番提式 下品	巾3mmの平行沈線による縦面文。
P91	Cr-51G Ⅲ層, No.29	深鉢	底部破片	普通	にぶい黄緑	10YR7/4	細かい黒色粒	十三番提式 下品	巾4mmの平行沈線による縦位区画と縦面文。
P92	Cr-51G Ⅲ層, No.36~37	深鉢	底部	良	にぶい緑	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸織c式(新) 下品	巾5mmの平行沈線による横位区画。区画内縦面状に施文。
P93	Cr-58G Ⅳ→Ⅴ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄緑	10YR5/3	φ1~2mmの小石、繊維	黒沢式 下品	巾7mmの平縁竹管によるコンパス文を口縁部、胴部に施文。
P94	Cr-51G Ⅲ層, No.44~47	深鉢	口縁破片	普通	褐	10YR4/4	φ1mmの小石	諸織c式(古) 下品	口唇を肥厚させ、横位にナブ象文を作る。縄文原体LR。
P95	Cr-58G Ⅳ層	深鉢	胴部破片	普通	灰黄褐	10YR4/2	φ1~3mmの小石	黒沢式 下品	頸部に巾6mmの平縁竹管によるコンパス文。縄文原体LR。Lr。羽状施文。
P96	Cr-50G Ⅲ層, No.6	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄緑	10YR4/3	φ1mmの小石	諸織c式(古) 下品	口唇部ナブ象文を作る。袖状付文を口唇内外面に付ける。縄文原体LR。
P97	Cr-50G Ⅲ層, No.4	深鉢	口縁破片	普通	褐	10YR4/4	細かい砂粒	諸織c式(古) 下品	口唇部に粘土層を粘付し3単位突起を作る。縄文原体LR。LR。羽状施文。
P98	Cl-56G Ⅳ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄緑	10YR5/3	φ1mmの小石	諸織c式(古) 下品	巾3mmの平行沈線が斜位に乱順に施文。縄文原体RL。LR。羽状施文。
P99	Cr-58G Ⅳ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄緑	10YR5/3	φ1mmの小石、繊維	黒沢式 下品	上部にコンパス文。縄文原体RL。LR。横。羽状施文。
P100	Cr-58G Ⅳ層	深鉢	破片	普通	にぶい緑	7.5YR5/4	φ1~2mmの小石、繊維	黒沢式 下品	縄文原体RL。Lr。羽状施文。
P101	Cx-42G Ⅲ層	深鉢	底部破片	普通	にぶい褐	7.5YR6/3	φ1~2mmの小石	諸織b式(中) 下品	縄文原体RL。
P102	Cl-50G Ⅲ層, No.3	深鉢	底部破片	良	にぶい緑	7.5YR5/4	φ1~3mmの小石	諸織b式 下品	縄文原体Lr。
P103	Cr-47G Ⅲ層, No.39	深鉢	底部破片	普通	にぶい緑	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸織b式 下品	縄文原体RL。LR。羽状施文。
P104	Cw-47G Ⅲ層, No.33	深鉢	底部破片	良	にぶい緑	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸織b式 下品	縄文原体RL附加1種。
P105	Cr-58G Ⅳ層	深鉢	底部破片	普通	にぶい緑	7.5YR6/3	φ1~2mmの小石	黒沢式 下品	縄文原体LR。

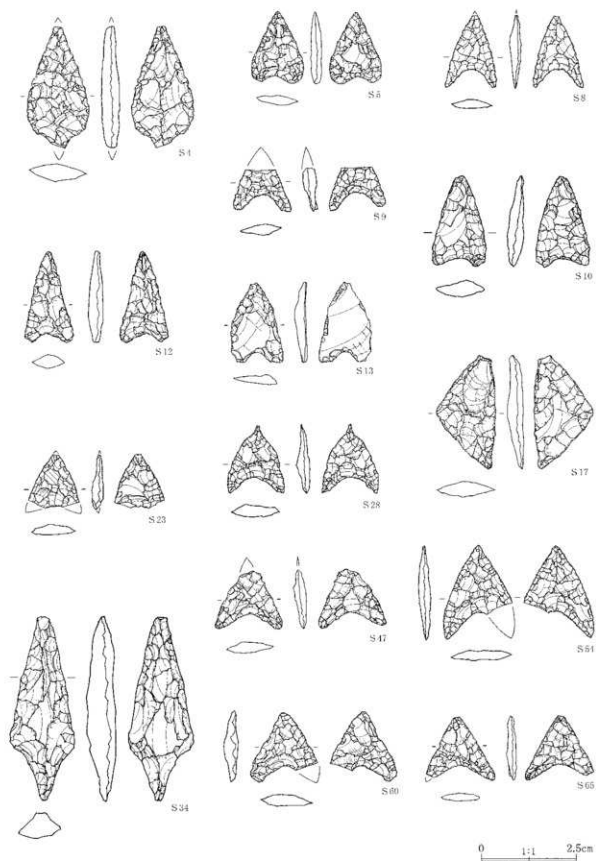
第5章 田区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P106	Db-47G 甕層, No.2・3	深鉢	口縁破片	普通	緑	7.5YR6/6	細かい砂粒	興津1式	口唇部に縦位条線帯, 口縁部に横位の貝殻模線文。
P107	Cw-46G 甕層, No.38	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄緑	10YR5/3	φ1~2mmの小石	浮島田式	口唇部, 口縁部に三角文を持ち, 間に変形扇形文を施文する。
P108	De-50G 甕層, No.6	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄緑	10YR2/4	細かい砂粒	興津田式	貝殻模線文, 凹凸施文。
P109	Cx-49G 甕層, No.7	浅鉢	破片	普通	にぶい橙	7.5YR8/4	φ1~3mmの小石	諸磯	口縁折り返し, 内外面横位のミギキ整形。
P110	Cx-47G 甕層, No.7	浅鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸磯	口縁折り返し, 内外面横位のミギキ整形。
P111	Co-51G 甕層, No.1・2 甕層, No.5	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	大木5	口縁折り返し, 縄文施文。縄文原形 RL, LR, 羽状縄文。
P112	Co-50G 甕層, No.1 Co-49G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1~2mmの小石	大木5	口縁折り返し, 縄文施文。縄文原形 RL, LR, 羽状縄文。
P113	Cp-51G 甕層, No.1・4	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	大木5	口縁折り返し, 縄文施文。縄文原形 RL, LR, 羽状縄文。
P114	Cc-54G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR5/3	細かい砂粒	大木5	粘土紐を縦面状に貼付, ボタン状貼付文, 縄文原形 RL。
P115	Cr-51G 甕層, No.23	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	大木5	粘土紐を縦面状に貼付, 縄文原形 LR。
P116	Ck-48G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR5/4	細かい砂粒	大木5	粘土紐を縦面状に貼付, 縄文原形 RL。
P117	Cj-54G 甕層	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒	大木5	粘土紐を縦面状に貼付, 縄文原形 LR。
P118	Cs-51G 甕層, No.8	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	大木5	粘土紐を縦面状に貼付, 縄文原形 LR。
P119	Cp-44G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	砂粒多い	大木5	粘土紐を縦面状に貼付, 縄文原形 RL。
P120	Cs-50G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒	大木5	粘土紐を縦面状に貼付, 縄文原形 RL。
P121	Cx-46G 甕層, No.37	深鉢	胴部破片	普通	灰黄褐	10YR5/2	細かい砂粒	大木5	粘土紐を縦面状に貼付, 縄文原形 RL, LR, 羽状縄文。
P122	3号トレンチ	深鉢	胴部破片	不良	にぶい黄緑	10YR6/4	砂粒多い	大木5	粘土紐を縦面状に貼付, 縄文原形 RL。
P123	Cs-47G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄緑	10YR7/3	砂粒	大木5	2本の粘土紐を縦面状に貼付, 縄文原形 RL。
P124	Cr-49G 甕層 Cr-50G 甕層, No.25	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中)	口部に別み, 頸部に別みの付けられた隆線が廻る。
P125	Cx-44G 甕層, No.50	有孔浅鉢	口縁破片	普通	にぶい黄緑	10YR2/4	細かい砂粒	諸磯b式(中)	巾10mmの半籠竹管による本葉文。
P126	Cx-45G 甕層, No.30	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中)	巾8mmの半籠竹管による本葉文, 縄文原形 RL 横。
P127	Da-53G X層	有孔浅鉢	胴部破片	良	にぶい黄緑	10YR5/3	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中)	巾13mmの半籠竹管による本葉文。
P128	Cy-42G 甕層	有孔浅鉢	破片	良	灰黄褐	10YR6/2	φ1mmの小石	諸磯b式(新)	無文。
P129	Cy-51G 甕層, No.22	有孔浅鉢	口縁破片	不良	にぶい黄緑	10YR6/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(新)	巾3mmの半籠竹管による本葉文。
P130	Cy-43G 甕層, No.112	有孔浅鉢	胴部破片	普通	にぶい黄緑	10YR6/4	φ1mmの小石	諸磯b式(中)	巾14mmの半籠竹管による本葉文。
P131	Cv-45G 甕層, No.1	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	外面に赤色塗彩。
P132	Da-53G X層	浅鉢	破片	普通	にぶい黄緑	10YR7/3	細かい砂粒	諸磯b式(新)	巾4mmの半籠竹管による扇形文, 赤色塗彩。縄文原形1式。
P133	Cx-46G 甕層	土製品	兜形	良	にぶい橙	7.5YR6/3	細かい砂粒	諸磯	底部編片を打ち突いて土製型にしている。
P134	Cr-47G 甕層, No.12 Cr-48G 甕層, No.6	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄緑	10YR6/4	細かい砂粒, φ1~2mmの小石	十三善院式	故状口縁部直部に2単位の突起, 結節状線による弧線文, 文様間に三角の印。
P135	Cr-47G 甕層, No.11	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR5/4	細かい砂粒, φ1~2mmの小石	十三善院式	結節状線による弧線文, レンズ状の印印を持つ。
P136	Cr-47G 甕層, No.49	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR5/4	細かい砂粒	十三善院式	折り返し口縁で肥厚する。巾2mmの集合沈線により横位区画と縦線文, 三角印。
P137	Cr-48G 甕層, No.8	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR5/3	細かい砂粒, φ1~2mmの小石	十三善院式	口縁上部に3本の結節線が廻る。口縁部文様は, 弧状, 縦面状に結節状線施文, 文様間に印。
P138	Cr-46G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR5/4	細かい砂粒	十三善院式	結節状線による弧線, 斜線文, 文様間に印。
P139	Ch-57G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄緑	10YR6/4	細かい砂粒, 黒色粒	十三善院式	平行沈線による斜線, 弧線を縦位に沈線を施文し, 結節状線状にする。
P140	Cr-51G 甕層, No.2	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄緑	10YR7/4	細かい砂粒, 黒色粒	十三善院式	口縁折り返し肥厚する。肥厚部に沿って4本の沈線が廻り, 下部に弧線が施文される。

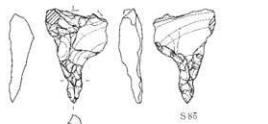
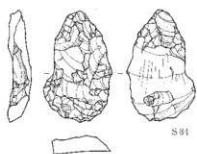
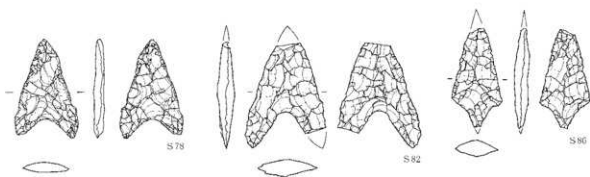
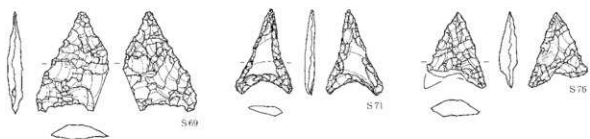
## 第2節 Ⅲ区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P141	Cs-48G 甕層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒、黒色粒	十三善提式	平行沈線による縦位区画。区画内に平行沈線による扇面文。三角の印痕。
P142	Co-49G 甕層、No.4	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒、黒色粒	十三善提式	巾2mmの半截竹管を3個単位で爪形施文する。三角印痕で扇面状に施文。
P143	Cs-47G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	十三善提式	結節沈線による斜格子目文。文様間に印痕。
P144	Cr-46G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい砂粒	十三善提式	半截竹管による平行沈線で扇面状に施文。文様間に三角印痕。
P145	Cq-48G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/3	細かい砂粒	十三善提式	半截竹管による平行沈線で扇面状に施文。文様間に三角印痕。
P146	Cx-50G 甕層、No.37~39	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石	勝取田式	太さ6~8mmの隆線により縦位に文様帯を区画。区画内には隆線に斜めを施したもので円形の文様を描き、沈線が充填される。縄文原体Lr標系。
P147	Cx-50G 甕層、No.19・36	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	勝取田式	胴部に巾5mm程の平行沈線が2単位繰り返し区画する。区画下は標系施文。縄文原体Lr標系。
P148	Cx-50G 甕層、No.37 Cx-49G 甕層、No.49	深鉢	底部	良	にぶい赤褐	5YR5/3	細かい砂粒、φ1mmの小石	加曾利E1式	巾6mmの半截竹管2単位の縦位区画施。縄文原体Lr標系。
P149	Cf-47G 甕層、No.5	深鉢	底部破片	良	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	加曾利E1式	標系施文、Rl標系。
P150	Cl-48G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR6/3	砂粒、φ1mmの小石	加曾利E田式	太い隆沈線により口縁部に楕円の区画。口縁から胴部に縦位の沈線で区画する。縄文原体Rl。
P151	Cv-51G 甕層、No.7	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	加曾利E田式	沈線による渦巻文と胸骨文の縦位区画。
P152	Cn-45G 甕層	両耳壺	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒、黒色粒	加曾利E田式	縄文原体Rl標。
P153	Cw-48G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	褐	7.5YR4/4	φ1~2mmの小石	加曾利E田式	胴部に4本の沈線が廻る。縄文原体Lr標系施。
P154	Ch-57G 甕層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1~2mmの小石、軽石粒	加曾利E田式	太き10mmの沈線2条を対にして重下させる。RlR標。
P155	Cq-53G 甕層、No.2	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/3	細かい黒色粒	加曾利B1式	波状口縁頂部から指頭部のある隆線。4本の沈線が口縁に沿って施文。頸部は太き1mmの沈線が矢羽状に施文される。
P156	Cp-53G 甕層、No.1・2 Cp-53G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR6/4	細かい黒色粒	加曾利B1式	胴部くびれ部に沈線が廻る。太き1mmの沈線が矢羽状に施文。

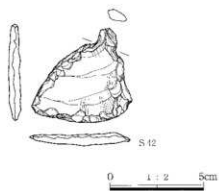
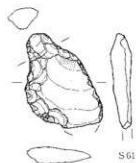
第5章 Ⅲ区の調査



第5章第21図 Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)

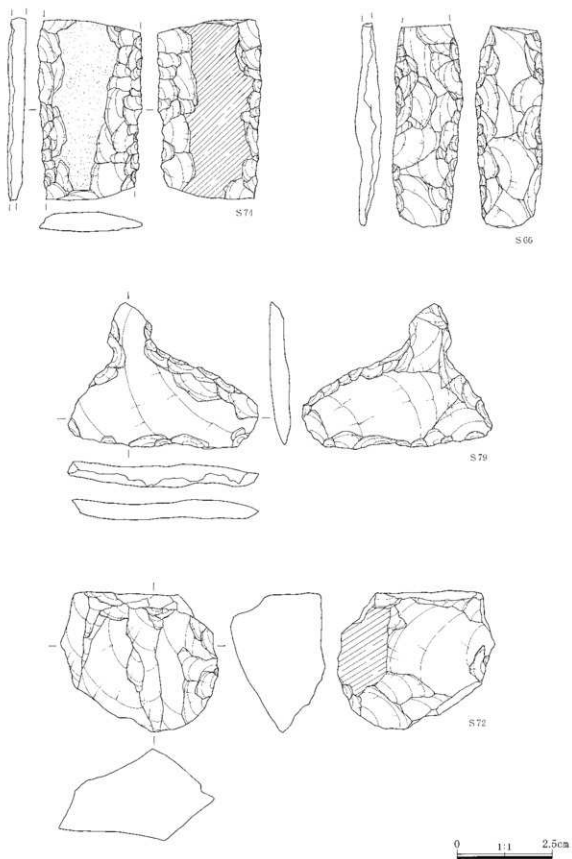


0 1:1 2.5cm

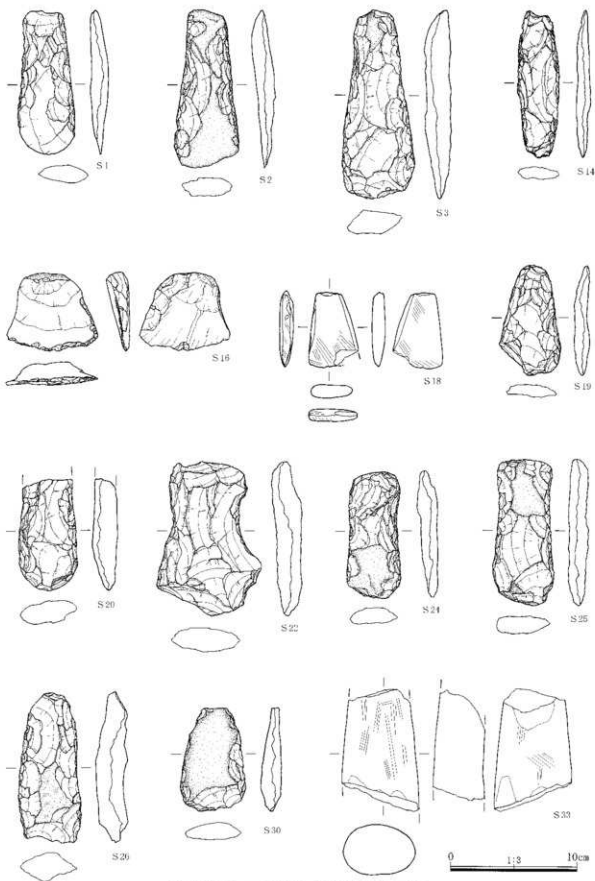


0 1:2 5cm

第5章 Ⅲ区の調査



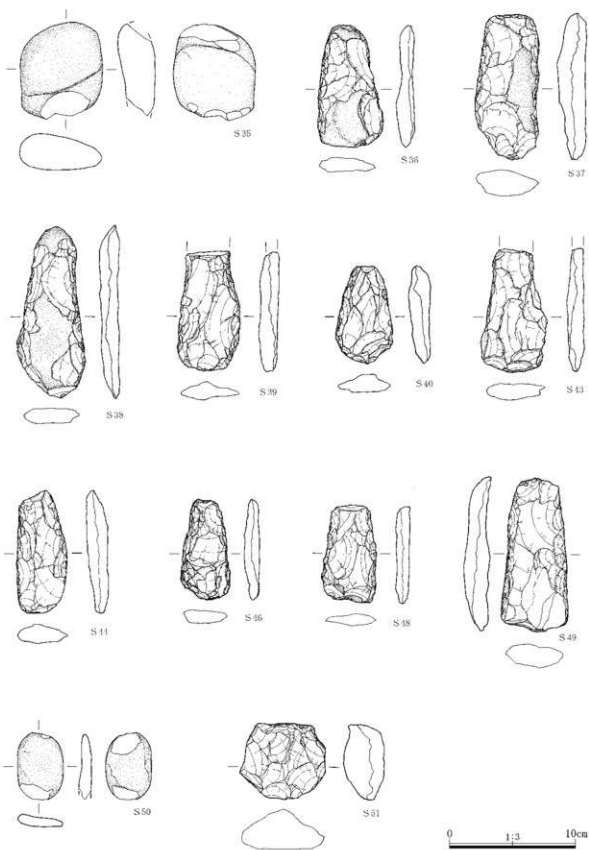
第5章第23図 Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文石器(3)



第5章第24図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(4)



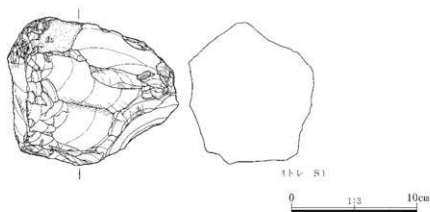
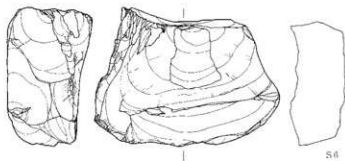
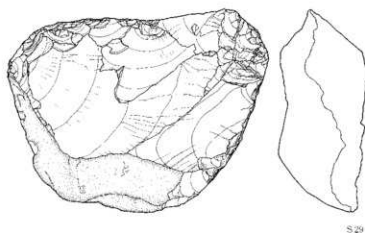
第5章 Ⅲ区の調査



第5章第25図 Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文石器(5)



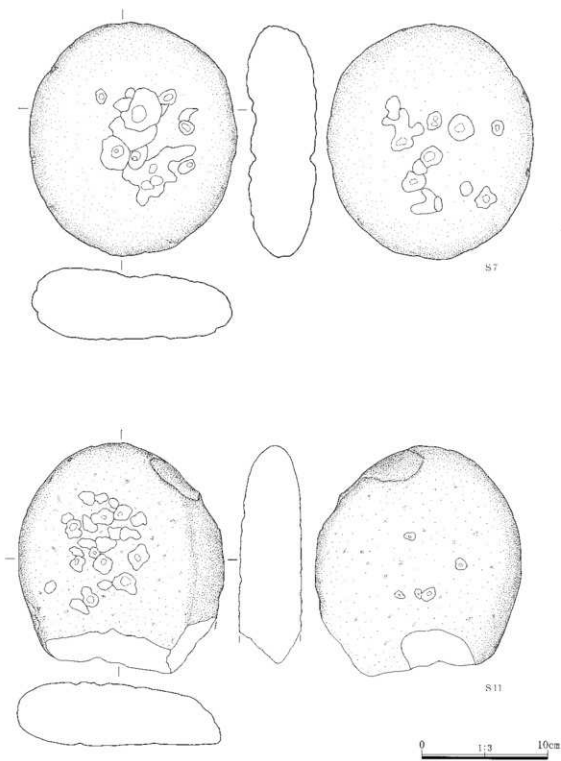
第5章第26図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器(6)



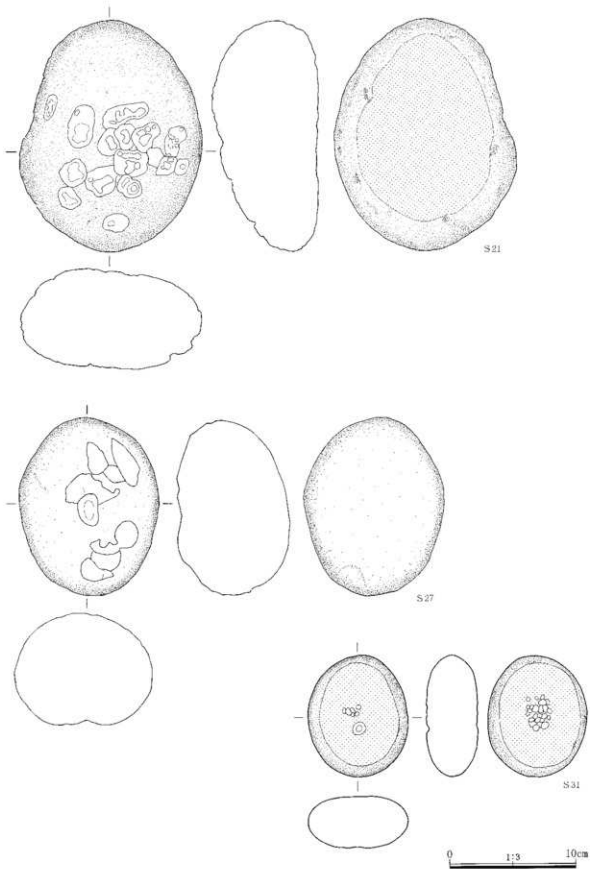
第5章第27図 Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文石器7)

第5章表7 Ⅲ区4号トレンチ出土縄文石器観察表 (第5章第27図、PL.18)

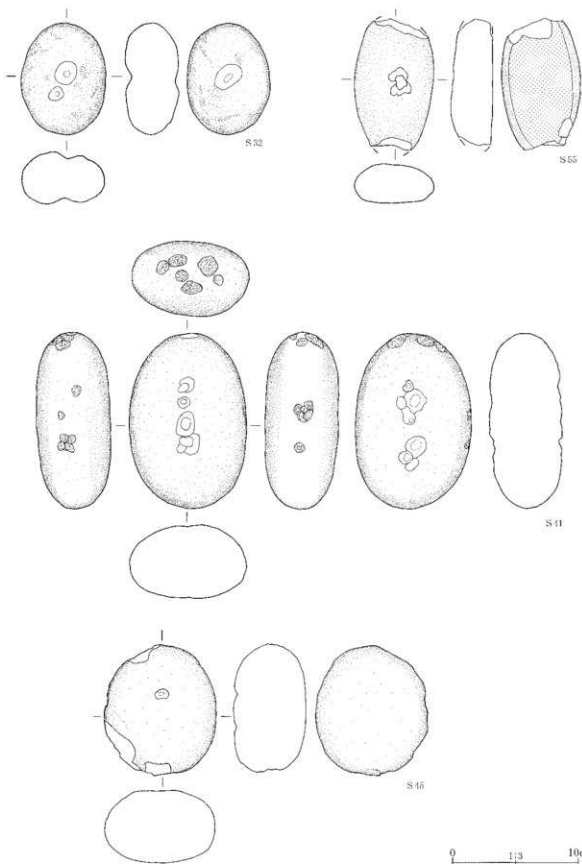
番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	材質		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	埋没土	石核	完形	13.10	11.30	10.70	2,020.00	黒色頁岩	粗粒輝石安山岩	一部表面残存。



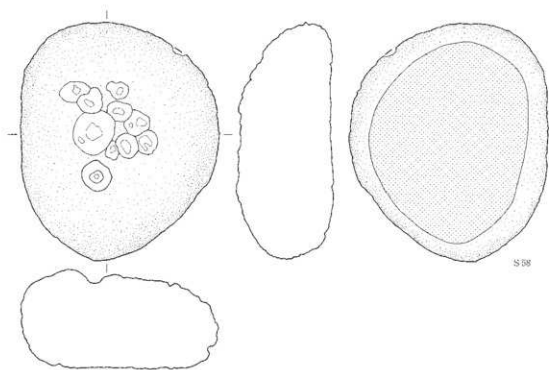
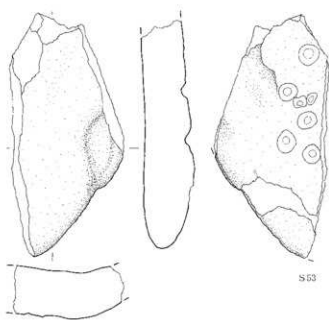
第5章第28図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器⑧



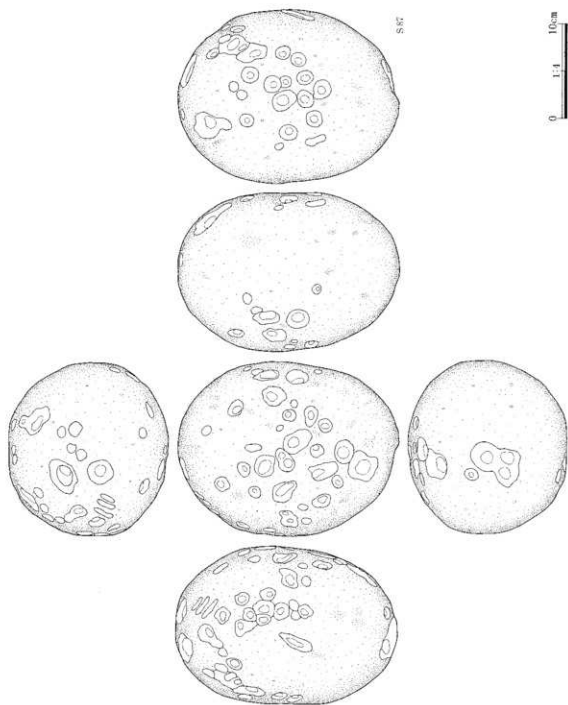
第5章第29図 Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文石器9)



第5章第30図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器10



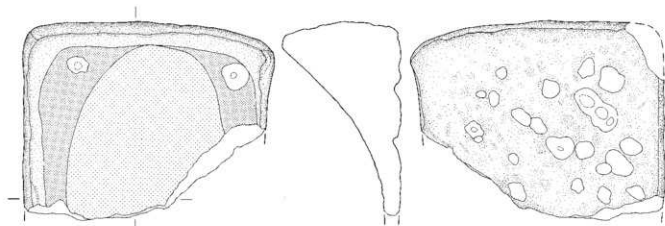
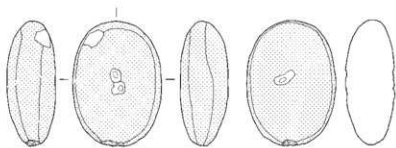
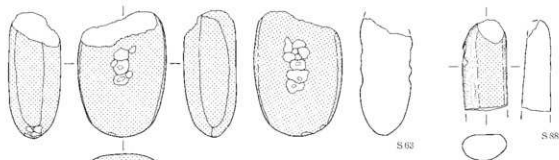
第5章第31図 Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文石器10



第5章第32図 III区縄文面 遺構外出土縄文石器12



第5章 Ⅲ区の調査

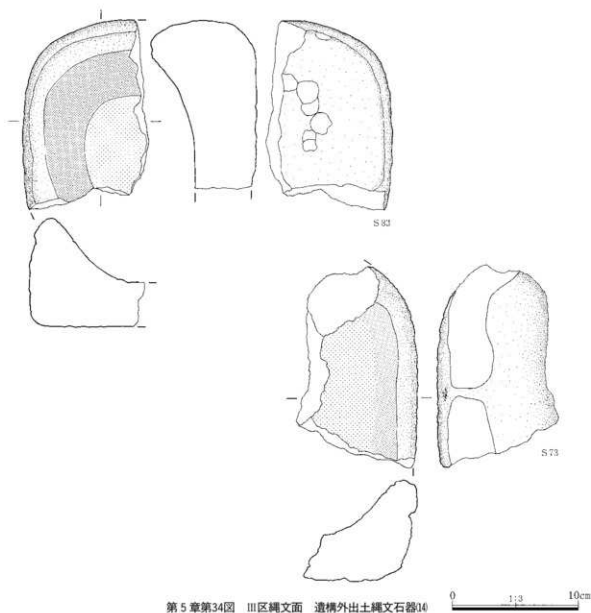


S15



0 1:3 10cm

第5章第33図 Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文石器13



第5章第34図 Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文石器⑩

第5章表8 Ⅲ区縄文面 遺構外出土縄文石器観察表 (第5章第21~34図, PL. 15~20)

番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	Ce-50G	Ⅲ層	打製石斧	ほぼ完形	11.30	4.50	1.40	73.30	黒色頁岩	頁岩(化石入)	短冊形石斧。1面に表面残存。
S 2	Ce-50G	Ⅲ層	打製石斧	完形	12.40	5.10	1.50	97.80	黒色頁岩	砂岩	短冊形石斧。1面に表面残存。
S 3	Ce-50G	Ⅲ層	打製石斧	完形	14.80	5.70	2.00	178.10	黒色頁岩	無結晶質安山岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 4	Cd-58G	Ⅲ層	石鏃	先端部欠損	3.20	1.70	0.45	2.43	黒色頁岩	細粒凝灰岩	有茎鏃。
S 5	Ce-56G	Ⅲ層	石鏃	一部欠損	1.90	1.40	0.30	0.66	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 6	Ct-54G	Ⅲ層	石核	完形	10.75	14.50	4.20	1,175.00	黒色頁岩	珪質頁岩	パティオ付着。
S 7	Ck-54G	Ⅲ層	凹石(四面)	完形	18.40	16.50	5.60	1,990.00	粗粒輝石安山岩	—	2面使用。
S 8	Cm-46G	Ⅲ層	石鏃	先端部欠損	1.85	1.30	0.30	0.50	黒色頁岩	細粒凝灰岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 9	Cm-46G	Ⅲ層	石鏃	先端部欠損	(1.10)	1.50	0.35	0.39	黒曜石	黒曜岩	無茎鏃。凹基。
S 10	Cm-47G	V層	石鏃	ほぼ完形	2.40	1.40	0.40	1.37	チャート	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 11	Cm-50G	Ⅲ層	凹石	一部欠損	24.30	21.60	6.70	4,600.00	粗粒輝石安山岩	—	両面使用。
S 12	Cm-52G	Ⅲ層	石鏃	一部欠損	2.40	1.30	0.40	0.95	チャート	チャート	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 13	Cm-52G	Ⅲ層	石鏃	一部欠損	2.10	1.40	0.30	0.82	黒色頁岩	細粒凝灰岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S 14	Cm-52G	Ⅲ層	打製石斧	完形	11.60	3.30	1.00	46.60	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S 15	Cm-54G	Ⅲ層	石函・凹石	一部のみ	15.30	30.00	9.30	3,340.00	粗粒輝石安山岩	—	一部表面残存。
S 16	Cm-47G	Ⅲ層	石鏃	一部欠損	6.10	7.10	1.80	62.00	黒色頁岩	頁岩	1面に刃部有り。
S 17	Cm-55G	Ⅲ層	石鏃	一部欠損	3.00	1.60	0.40	1.43	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S 18	Co-48G	Ⅲ層	磨製石斧	刃部一部欠損	6.00	3.90	1.00	39.00	蛇紋岩	—	定角式磨製石斧。

第5章 田区の調査

番号	出土位置	部位	器種	残存状態	計測値 (cm)		重量 (g)	石 材		特 徴	
					長さ	幅		A	B		
S19	Cp-45G	甕	打製石片	一部欠損	8.70	4.90	1.20	52.40	黒色頁岩	頁岩	短形石片。
S20	Cp-45G	甕	打製石片	一部欠損	8.80	4.70	1.80	102.00	粗粒礫石	粗粒礫石	短形石片。
S21	Cp-45G	甕	磨石・凹石	完形	18.30	14.40	8.40	1,980.00	粗粒礫石	粗粒礫石	1面磨石、1面凹石として使用。
S22	Cp-46G	甕	打製石片	完形	12.10	8.30	1.90	216.00	黒色頁岩	粗粒礫石	分銅形石片。
S23	Cp-52G	甕	石鏝	一部欠損	(1.40)	(1.30)	0.30	0.42	黒曜石	黒曜石	無基盤、凹基。
S24	Cq-44G	甕	打製石片	完形	10.00	4.30	1.60	86.60	変玄武岩	緑色頁岩	短形石片。
S25	Cq-44G	甕	打製石片	完形	11.50	4.80	1.60	118.00	粗粒礫石	粗粒礫石	短形石片。
S26	Cq-50G	甕	打製石片	一部欠損	11.80	5.00	2.50	148.30	黒色頁岩	粗粒礫石	短形石片。
S27	Cq-52G	甕	凹石	完形	14.10	11.00	8.80	191.00	粗粒礫石	粗粒礫石	1面使用。
S28	Cr-44G	甕	石鏝	完形	1.80	1.50	0.30	0.55	黒曜石	黒曜石	正三角形無基盤、凹基。
S29	Cr-48G	甕	石鏝	完形	15.20	20.50	6.60	2,762.00	黒色頁岩	珩頁頁岩	—
S30	Cr-50G	甕	打製石片	一部欠損	8.20	5.20	1.60	76.60	黒色頁岩	砂岩	短形石片。
S31	Cr-51G	甕	磨石	完形	9.60	7.80	4.10	462.00	石英閃緑岩	—	両面使用。
S32	Cr-53G	甕	凹石	完形	8.90	6.70	4.20	334.00	粗粒礫石	粗粒礫石	両面使用。
S33	Cr-54G	甕	磨製石片	両端欠損	(9.50)	(6.00)	3.90	374.00	変玄武岩	—	乳棒状石片。
S34	Cs-44G	甕	有尖頭磨	尖端欠損	4.85	1.75	0.80	5.07	黒色頁岩	両紋頁	二等辺三角形有基盤、凸基。
S35	Cs-50G	甕	磨石	一部欠損	7.30	6.30	2.80	202.00	黒色頁岩	珩頁頁岩	1面に方部有り。
S36	Cs-50G	甕	打製石片	完形	9.60	5.20	1.40	76.00	ホルンフェルス	珩頁頁岩	短形石片。
S37	Cs-52G	甕	打製石片	完形	11.40	5.10	2.20	151.80	黒色頁岩	砂岩	短形石片。
S38	Cs-52G	甕	打製石片	完形	13.50	5.40	1.60	119.80	黒色頁岩	砂岩	短形石片。
S39	Ct-44G	甕	打製石片	完形	9.50	4.90	1.50	81.20	黒色頁岩	砂岩	短形石片。
S40	Ct-54G	甕	打製石片	完形	7.70	4.60	1.70	62.50	黒色頁岩	頁岩	短形石片。
S41	Cr-48G	甕	凹石	完形	13.80	9.30	5.70	1,400.00	粗粒礫石	粗粒礫石	—
S42	Cr-48G	甕	石鏝	完形	5.30	5.10	0.60	15.03	黒色頁岩	黒色頁岩	横型石鏝、楕円形磨石。
S43	Cr-48G	甕	打製石片	完形	9.70	5.30	1.30	74.60	粗粒礫石	粗粒礫石	短形石片。
S44	Cr-47G	甕	打製石片	完形	9.80	4.10	1.70	75.90	黒色頁岩	頁岩	短形石片。
S45	Cr-48G	甕	磨石・凹石	一部欠損	10.20	8.80	5.70	785.00	粗粒礫石	粗粒礫石	1面磨石、1面凹石として使用。
S46	Cy-52G	甕	打製石片	完形	8.00	3.90	1.20	44.50	黒色頁岩	頁岩	短形石片。
S47	Cy-52G	瓦	石鏝	尖端欠損	1.50	1.80	0.30	0.59	チャート	珩頁頁岩	正三角形無基盤、凹基。
S48	Cw-44G	甕	打製石片	一部欠損	7.80	4.30	1.10	44.10	黒色頁岩	粗粒礫石	短形石片。
S49	Cw-44G	FA下	打製石片	一部欠損	12.20	5.50	2.10	139.60	粗粒礫石	粗粒礫石	短形石片。
S50	Cw-46G	甕	凹石(磨石)	一部欠損	(5.30)	3.60	0.90	29.00	黒色頁岩	—	2面に方部有り。
S51	Cw-46G	甕	石鏝	一部欠損	6.60	6.80	3.20	147.70	黒色頁岩	頁岩	—
S52	Cw-48G	—	打製石片	一部欠損	11.20	5.00	1.60	107.40	黒色頁岩	—	1面磨石、1面に凹石として使用。
S53	Cw-48G	—	石鏝・凹石	一部のみ	19.10	8.70	3.50	1,020.00	緑色頁岩	—	1面磨石、1面に凹石として使用。
S54	Cw-50G	甕	石鏝	一部欠損	2.40	1.80	0.30	0.78	黒曜石	黒曜石	正三角形無基盤、凹基。
S55	Cw-50G	甕	磨石・凹石	左右端欠損	(10.50)	6.20	3.30	338.00	四稜石	—	1面磨石、1面に凹石として使用。
S56	Cw-51G	—	打製石片	完形	9.60	5.35	1.70	94.40	黒色頁岩	砂岩	短形石片。
S57	Cw-51G	甕	打製石片	方部欠損	11.80	5.30	2.20	123.90	黒色頁岩	頁岩	短形石片。
S58	Cw-51G	甕	凹石	完形	18.70	15.80	7.90	2,560.00	粗粒礫石	粗粒礫石	1面に凹石、1面に磨った痕有り。
S59	Cx-42G	甕	石鏝	完形	6.30	5.90	5.95	418.00	黒色頁岩	—	1面に方部有り。
S60	Cx-43G	甕	石鏝	一部欠損	1.80	1.70	0.35	0.73	黒曜石	黒曜石	正三角形無基盤、凹基。
S61	Cx-43G	甕	石鏝	一部欠損	4.65	3.75	1.10	15.50	黒色頁岩	—	横型石鏝、楕円形磨石。
S62	Cx-43G	甕	打製石片	一部欠損	8.90	4.60	1.70	59.40	黒色頁岩	頁岩	短形石片。
S63	Cx-44G	甕	磨石・凹石	一部欠損	(9.90)	6.90	4.10	410.00	粗粒礫石	粗粒礫石	—
S64	Cx-45G	甕	磨石・凹石	完形	9.90	7.00	3.80	440.00	粗粒礫石	粗粒礫石	—
S65	Cx-48G	甕	石鏝	一部欠損	1.80	1.80	0.25	0.46	チャート	チャート	正三角形無基盤、凹基。
S66	Cx-48G	甕	ノコギリ石片	一部欠損	(6.20)	1.70	0.70	7.40	黒色頁岩	—	—
S67	Cx-51G	甕	打製石片	完形	11.20	6.00	2.20	147.40	黒色頁岩	—	短形石片。
S68	Cx-52G	甕	石鏝	完形	9.65	8.30	4.20	472.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S69	Cx-53G	甕	石鏝	一部欠損	2.60	1.80	0.40	1.49	黒曜石	黒曜石	無基盤、凹基。
S70	Cx-53G	甕	打製石片	完形	11.70	5.30	1.50	111.60	黒色頁岩	頁岩	短形石片。
S71	Cy-43G	甕	石鏝	完形	2.20	1.50	0.25	0.51	珩頁頁岩	珩頁頁岩	二等辺三角形無基盤、凹基。
S72	Cy-43G	甕	石鏝	完形	3.65	4.10	2.40	32.40	チャート	—	一部表面残存。
S73	Cy-44G	—	石皿	一部のみ	15.90	9.60	8.00	1,050.00	粗粒礫石	粗粒礫石	1面のみ使用。
S74	Cy-45G	甕	磨石	上下端欠損	4.80	2.80	0.50	10.50	珩頁頁岩	—	方部を両面調整。
S75	Cy-45G	甕	打製石片	一部欠損	10.90	6.20	2.00	138.60	黒色頁岩	砂岩	短形石片。
S76	Cy-46G	甕	石鏝	一部欠損	1.90	1.50	0.50	0.82	黒曜石	黒曜石	正三角形無基盤、凹基。
S77	Cy-47G	甕	打製石片	一部欠損	9.70	5.30	1.70	91.40	黒色頁岩	粗粒礫石	短形石片。
S78	Cy-47G	甕	石鏝	完形	2.60	1.70	0.30	0.93	黒曜石	黒曜石	二等辺三角形無基盤、凹基。
S79	Cy-48G	—	石鏝	完形	5.00	3.80	0.60	10.04	黒色頁岩	黒色頁岩	横型石鏝、楕円形磨石。
S80	Cy-50G	甕	打製石片	一部欠損	9.40	4.80	1.70	90.40	黒色頁岩	頁岩	短形石片。
S81	Cy-51G	甕	打製石片	完形	9.50	5.20	2.00	115.90	黒色頁岩	粗粒礫石	短形石片。
S82	Cy-51G	甕	石鏝	一部欠損	(2.90)	(2.10)	0.45	1.84	黒色頁岩	頁岩	—
S83	Dh-45G	甕	石皿	一部のみ	(15.00)	(9.90)	8.50	1,470.00	粗粒礫石	粗粒礫石	1面磨石、1面に凹石として使用。
S84	Dh-53G	甕	石鏝	完形	2.90	1.70	0.50	2.81	黒曜石	黒曜石	—
S85	Dh-53G	瓦	石鏝	完形	2.40	1.70	0.60	1.48	チャート	ゴダク貫安山岩	ギリル部：長さ1cm、厚3.0、3cm
S86	Dh-47G	FA下	石鏝	尖端欠損	(2.60)	1.30	0.40	1.26	黒色頁岩	無晶質貫安山岩	二等辺三角形有基盤、凸基。
S87	Dh-48G	—	多孔石	完形	23.50	18.40	16.80	7,450.00	粗粒礫石	粗粒礫石	—
S88	包含層	包含層	磨石	一部欠損	7.10	3.50	2.30	86.10	珩頁頁岩	—	1面に磨った痕跡有り。

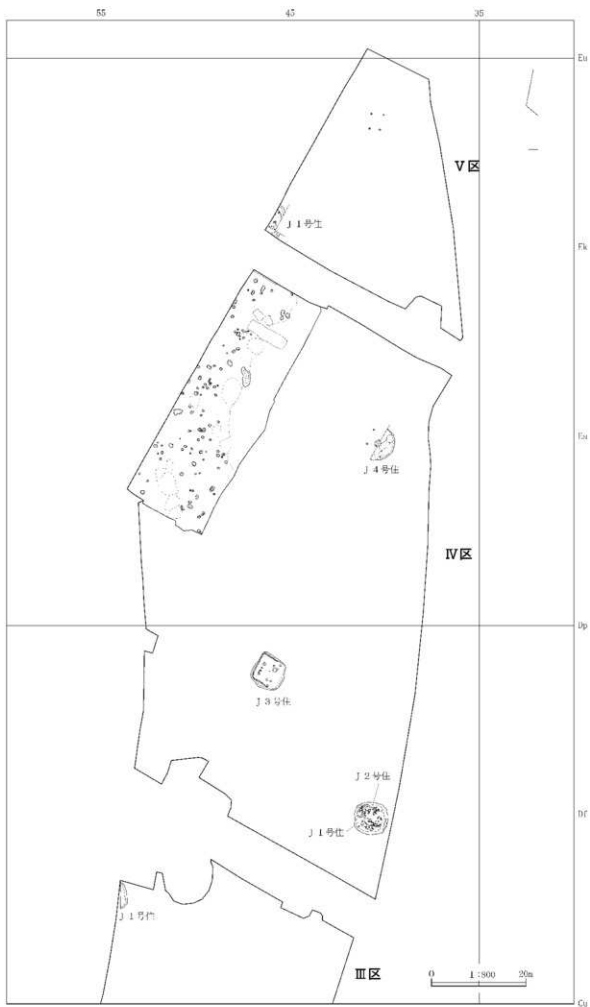
## 第6章 IV区の調査

IV区の総面積は、7,390.5㎡である。IV区の縄文面では、遺構として住居4軒・配石遺構1基・集石遺構2基・埋塞1基・遺物集中6箇所・土坑62基・焼土1基・倒木1箇所が検出された。旧石器時代の遺構は検出されず、遺物は出土しなかった。

遺構外の掲載遺物は、土器が164のグリッドから463点、石器が154のグリッドから325点の合計788点を掲載した。土器の内訳は、諸磯a式・諸磯b式・諸磯c式等諸磯式が198点、大木式が24点、十三菩提式が13点・下島式11点等で諸磯式が多い。同様に器種は、深鉢232点・有孔浅鉢16点で深鉢が多い。石器の内訳は、打製石斧76点・石鏃46点・磨石31点・石匙22点・石皿16点・石錐15点・石核10点・凹石9点・磨製石斧4点等で打製石斧・石鏃が多い。土器及び石器は、調査区の全面から出土している。



第6章写真1 IV区J1(6)号・J2(7)号住居全景【東→】



第6章第1图 III・IV・V区縄文面 住居位置图

## 第1節 IV区遺構

IV区では、縄文時代前期住居4軒・配石遺構1基・集石遺構2基・埋甕1基・遺物集中6箇所・土坑62基・焼土1箇所・倒木1箇所が検出された。また、トレンチ出土遺物も遺構に含めた。

## 1. 住居

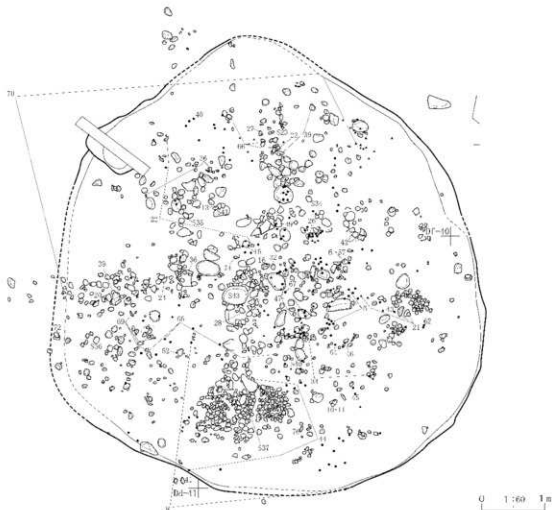
IV区J1(6)号住居・IV区J2(7)号住居は、重複して検出された。当初の検出状況は、第6章第2図のように、平面形が不整形円形を呈し、直径約6.8m～7.2mの状態で住居1軒が検出されたと想定された。

しかしながら、発掘を進めるとこの平面形はほぼIV区J1号住居のもので、このJ1号住居内の北東部～中央部にJ2号住居が重複して存在することが明らかになった。恐らく、J2号住居を拡張してJ

1号住居を構築したものと推定される。

## (1) IV区J1(6)号住居

- 位置：De-40・41G、Df-40・41G  
 時期：縄文時代前期に比定される。  
 重複：J2号住居と重複する。新旧関係は、本J1号住居の方が新しい。  
 形状：正方形を呈する。  
 規模：一辺約6.9m、深さ約1mの規模である。  
 面積：住居床面の面積は、約30.77㎡である。  
 覆土：覆土は、7層に分かれる。遺物は、1層～3層に多く含まれている。  
 床面：床面は、比較的平坦である。  
 炉：炉は、住居中心部南寄りに1基検出された。炉は円形を呈し、規模は直径約70cm・深さ約15cmである。



第6章第2図 IV区J1(6)号住居遺物出土状況

## 第6章 IV区の調査

**埋設土器：**埋設土器は、検出されなかった。

**柱 穴：**柱穴は、31基検出された。規模は、表の通りである。

**周 溝：**周溝は、検出されなかった。

**遺 物：**遺物は、J1号住居及びJ2号住居との区別ができなかったため、一緒に報告する。土器と石器が出土した。

(土器) 土器が85点出土した。内訳は、諸磯b式深鉢65点・諸磯c式深鉢2点・諸磯b式有孔浅鉢8点・諸磯c式有孔浅鉢1点等である。

(石器) 石器が44点出土した。内訳は、石鏃5点・石匙4点・石錐4点・打製石斧13点・石核2点・砥石1点・磨石5点・石皿1点・多孔石2点等である。また、IV区J2号住居出土石器として、石皿1点が出土している。

## (2) IV区J2(7)号住居

**位 置：**De-40G・Df-40G

**時 期：**縄文時代前期に比定される。

**重 複：**IV区J1号住居と重複する。新旧関係は、本IV区J2号住居の方が古い。

**形 状：**隅丸正方形を呈する。

**規 模：**一辺約2.1m、深さ約1.2mの規模である。

**面 積：**住居床面の面積は、約15.45㎡である。

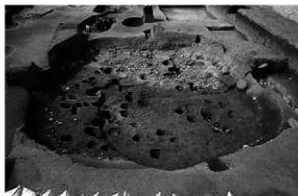
**覆 土：**覆土は、上面はIV区J1号住居部分により認められないが、下部で6層に分かれる。

**床 面：**床面は、比較的平坦である。

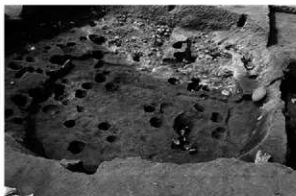
**埋 甕 炉：**炉は、住居南東部に2基の埋甕炉が検出された。

**柱 穴：**柱穴は、35基検出された。規模は、表の通りである。

**周 溝：**周溝は、検出されなかった。



第6章写真2 IV区J1(6)号・J2(7)号住居全景 [東→]



第6章写真3 IV区J2(7)号住居全景 [東→]

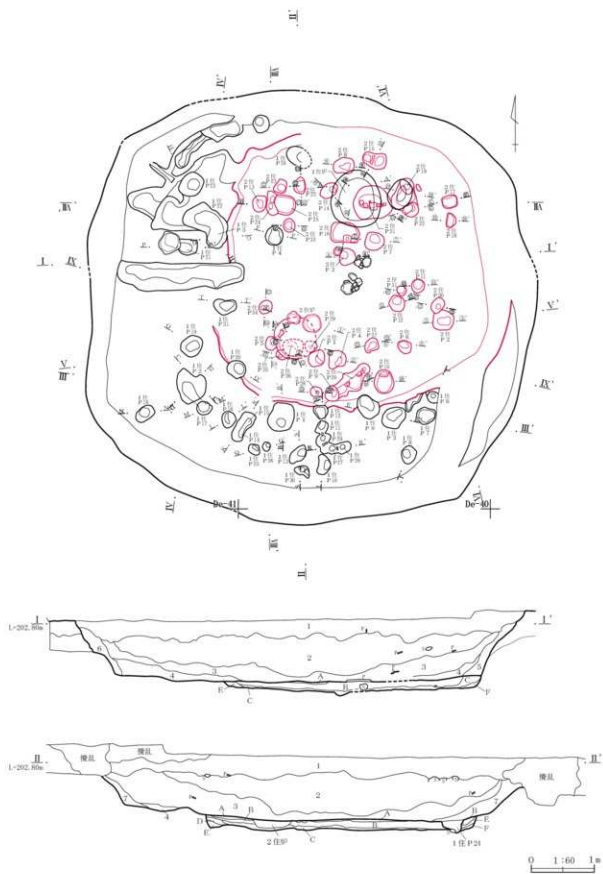
### IV区J1(6)号・J2(7)号住居 A-A'、B-B'

#### J1(6)号住居

- 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)を含む。非常にやわらかい。
- 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)、礫(φ15cm以下)を含む。やや固くしまっている。
- 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)、礫(φ15cm以下)を少量含む。やや固くしまっている。
- 黒褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を極少量含む。やや粘性が有りやわらかい。
- 暗褐色土 褐色土粒、黄褐色シルト質土粒を非常に多く含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を極少量含む。やや粘性が有り、非常にやわらかい。
- 褐色土 黄褐色土粒を非常に多く含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を極少量含む。固くしまっている。
- 暗褐色土 褐色土粒を含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を少量含む。やわらかい。

#### J2(7)号住居

- 暗褐色土を基調に黒褐色土、黄褐色土ブロックを多量に含む。粘性やや弱くしまり有り。焼土、炭化物を少量含む。白色・黄色粒(φ2mm以下)を微量含む。
- 暗褐色土 粘性弱い。しまりやや弱い。焼土、炭化物粒、白色粒を微量含む。
- 暗褐色土 B層より色調暗い。粘性、しまりやや弱い。焼土・炭化物粒(φ5mm以下)をやや多く含む。
- 暗褐色土 B層より色調明るい。粘性弱い。しまりやや弱い。焼土・炭化物粒(φ3mm以下)、白色粒を微量含む。
- 暗褐色土 B層より色調明るい。粘性弱い。しまりやや弱い。焼土、炭化物を微量含む。黄褐色土だらけに少量混じる。
- 鈍い黄褐色土 粘性弱い。しまりやや弱い。やや砂質気味。白色粒を微量含む。黄褐色土だらけに少量混じる。

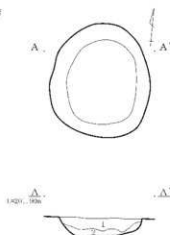


第6章第3図 IV区J1(6)・J2(7)号住居



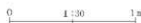
## 第6章 IV区の調査

J 1住居



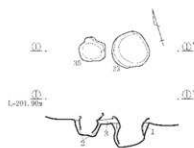
J 1 (6)号住居 炉 A-A'

- 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)、焼土ブロック(φ3cm以下)、礫(φ10cm以下)を含む。
- 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色シルト質土ブロック(φ5cm以下)を多く含む。炭化物(φ5mm以下)、焼土ブロック(φ3cm以下)を少量含む。



第6章第4図 IV区J 1(6)号住居炉

J 2住居



第6章第5図 IV区J 2(7)号住居炉



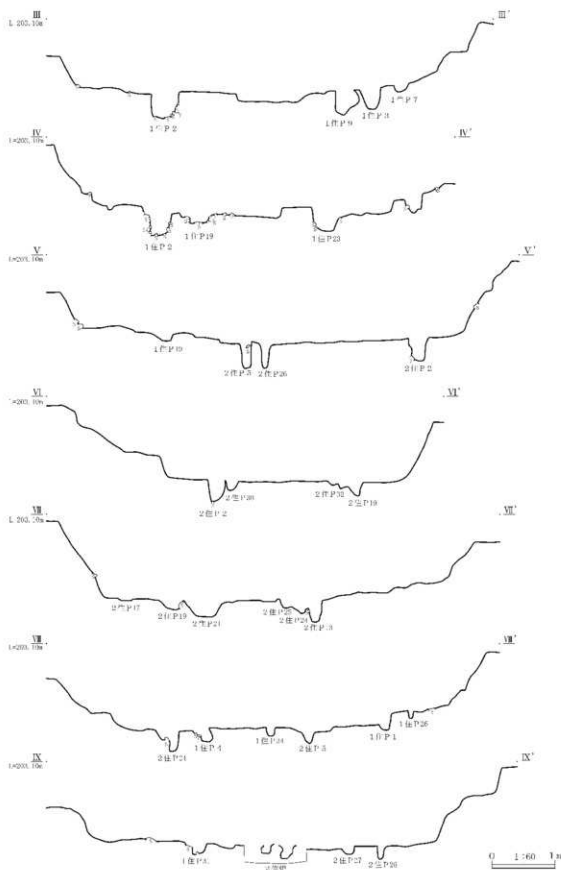
第6章写真4 IV区J 2(7)号住居埋燵炉 [南→]

第6章表1 J 1号住居ビットまとめ

No	直径	深さ	土層	No	直径	深さ	土層	No	直径	深さ	土層
P 1	45cm	60cm	5層	P11	25cm	25cm	1層	P21	(25cm)	25cm	1層
P 2	55cm	35cm	1層	P12	20~25cm	30cm	1層	P22	30cm	20cm	1層
P 3	40cm	45cm	3層	P13	35cm	40cm	1層	P23	40cm	35cm	1層
P 4	25~30cm	15cm	1層	P14	50cm(重複)	18cm(重複)	1層	P24	30cm	—	—
P 5	35cm	30cm	1層	P15	50cm(重複)	18cm(重複)	1層	P25	15~20cm	10cm	1層
P 6	20cm	15cm	1層	P16	30cm	15cm	1層	P26	10~15cm	10cm	1層
P 7	30cm	10cm	1層	P17	20~25cm	20cm	1層	P27	50cm(重複)	30cm	1層
P 8	20cm	20cm	1層	P18	30cm	15cm	1層	P28	50cm(重複)	20cm	1層
P 9	40cm	40cm	1層	P19	30~40cm	10cm	1層	P29	10cm	35cm	1層
P10	30cm	40cm	1層	P20	25~30cm	40cm	1層	P30	15cm	10cm	1層
								P31	40cm	20cm	1層

第6章表2 J 2号住居ビットまとめ

No	直径	深さ	土層	No	直径	深さ	土層	No	直径	深さ	土層
P 1	30cm	25cm	1層	P13	30cm	40cm	1層	P25	(45cm)	2 cm	1層
P 2	35~40cm	35cm	1層	P14	30cm	15cm	1層	P26	30cm	50cm	1層
P 3	25~40cm	35cm	1層	P15	40cm	3 cm	1層	P27	20cm	10cm	1層
P 4	25~30cm	25cm	1層	P16	45cm	3 cm	1層	P28	15~20cm	5 cm	1層
P 5	20~25cm	50cm	1層	P17	25cm	2 cm	1層	P29	15~20cm	35cm	1層
P 6	20~25cm	25cm	1層	P18	20cm	2 cm	1層	P30	25cm	10cm	1層
P 7	30cm	25cm	1層	P19	25cm	10cm	1層	P31	15cm	25cm	1層
P 8	35cm	20cm	1層	P20	30cm	5 cm	1層	P32	20~25cm	10cm	1層
P 9	20~25cm	35cm	1層	P21	50~60cm	20cm	1層	P33	15~20cm	15cm	1層
P10	35cm	10cm	1層	P22	25cm	10cm	1層	P34	20~25cm	35cm	1層
P11	20cm	10cm	1層	P23	20cm	25cm	1層	P35	15~20cm	20cm	1層
P12	25cm	30cm	1層	P24	15cm	20cm	1層				



第6章第6図 IV区J1(6)・J2(7)号住居断面

第6章 IV区の調査



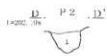
ビット1 B-B'

1. 暗褐色土 褐色土粒を含む。黄褐色バミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 3mm以下)を少量含む。
2. 暗褐色土 褐色土粒、黄褐色バミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 3mm以下)を含む。
3. 褐色土 黄褐色シルト質土粒を少量含む。
4. 褐色土 黄褐色シルト質土粒を多く含む。
5. 褐色土 黄褐色シルト質土粒を非常に多く含む。やや粘性がある。



ビット2 D-D'

1. 暗褐色土 黄褐色砂質土粒、礫(φ 5cm以下)を多く含む。



ビット3 E-E'

1. 暗褐色土 褐色土粒、黄褐色シルト質土粒、炭化物(φ 5mm以下)を含む。
2. 褐色土 黄褐色シルト質土粒を多く含む。炭化物(φ 5mm以下)を少量含む。
3. 褐色土 黄褐色シルト質土粒を非常に多く含む。やや粘性がある。



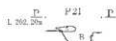
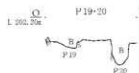
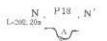
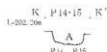
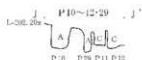
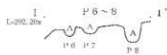
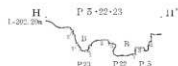
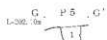
ビット4 F-F'

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色シルト質土粒、礫(φ 2cm以下)を含む。



ビット5 G-G'

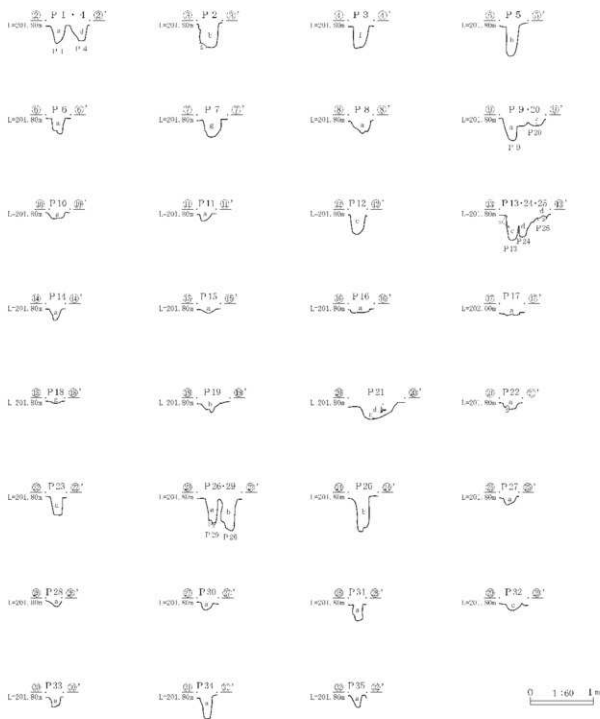
1. 暗褐色土 黄褐色砂質土粒、礫(φ 5cm以下)を多く含む。



ビット共通土層

- A. 暗褐色土 黄褐色砂質土粒を含む。  
 B. 暗褐色土 黄褐色砂質土粒、礫(φ 1~10cm)を含む。  
 C. 暗褐色土 黄褐色砂質土粒、炭化物粒(φ 5mm以下)を含む。

第6章第7図 IV区J1(6)号住居ビット断面

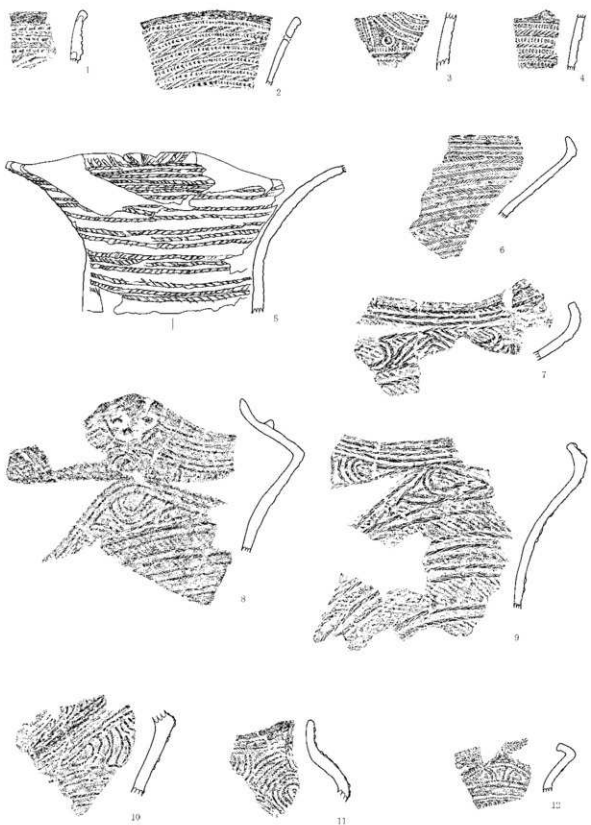


## J 2 (7)号住居 ビット共通土層

- a, 暗褐色土 黄褐色シルト質土粒を含む。粘性が有り固くしまっている。  
 b, 暗褐色土 黄褐色シルト質土粒を含む。やわらかい。  
 c, 暗褐色土 黄褐色シルト質土粒、礫(φ5cm以下)を含む。粘性が有り固くしまっている。  
 d, 暗褐色土 黄褐色シルト質土粒、礫(φ5cm以下)を含む。やわらかい。  
 e, 暗褐色土 黄褐色シルト質土粒、炭化物(φ5mm以下)を含む。粘性が有り固くしまっている。  
 f, 暗褐色土 黄褐色シルト質土粒、炭化物(φ5mm以下)を含む。やわらかい。  
 g, 暗褐色土 黄褐色シルト質土粒、礫(φ5cm以下)、炭化物(φ5mm以下)を含む。粘性が有り固くしまっている。

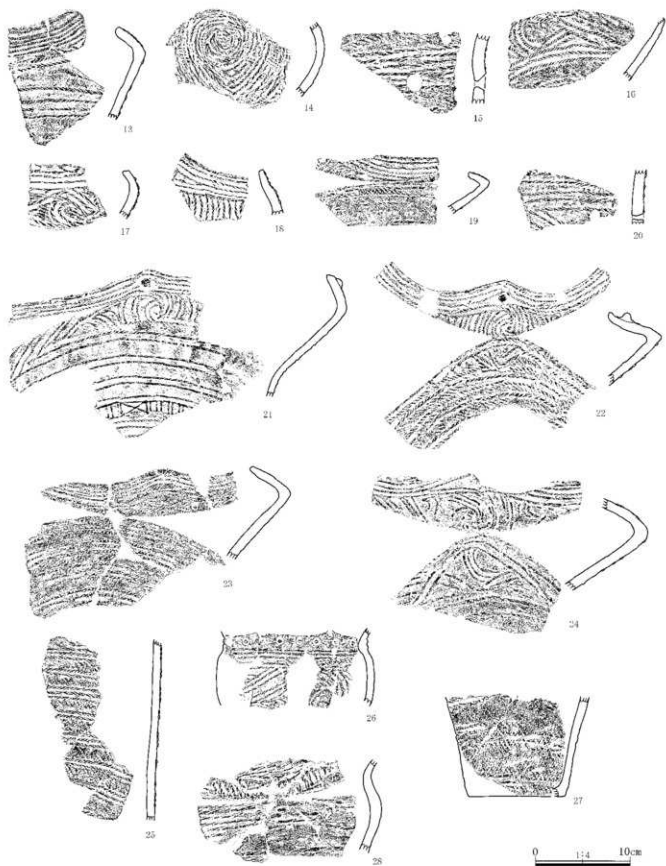
第6章第8図 IV区J 2 (7)号住居ビット断面

第6章 IV区の調査



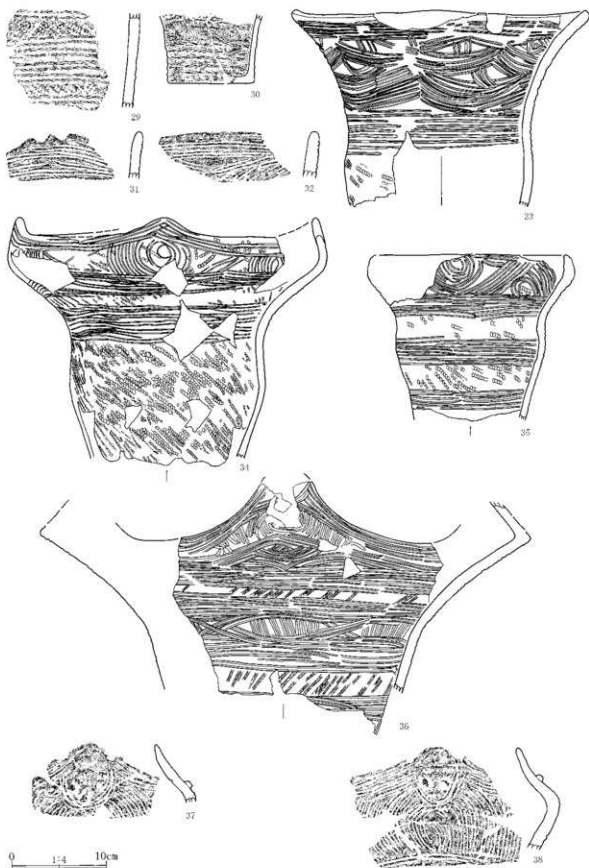
0 1:4 10cm

第6章第9図 IV区J1(6)・J2(7)号住居出土縄文土器1)

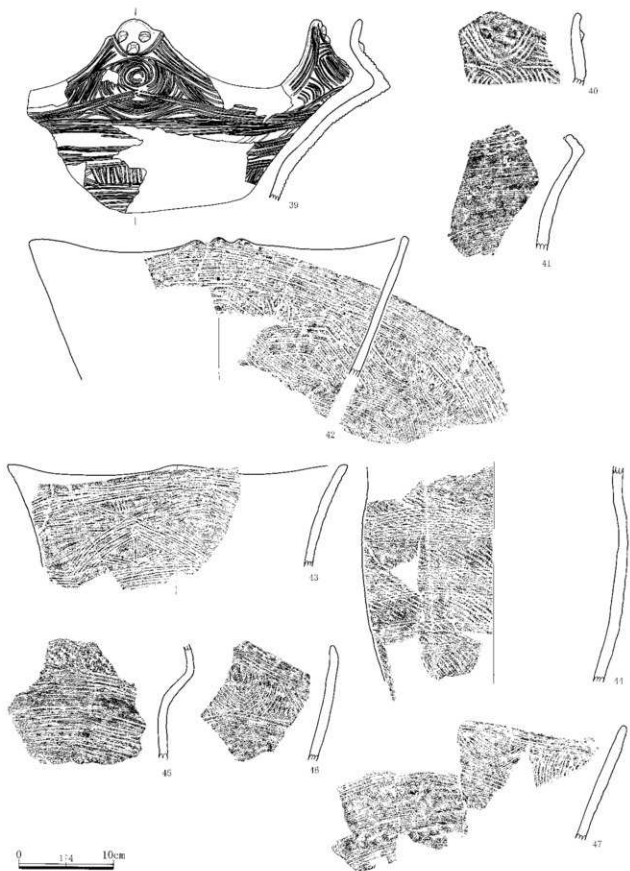


第6章第10図 IV区J1(6)・J2(7)号住居出土縄文土器2

第6章 IV区の調査



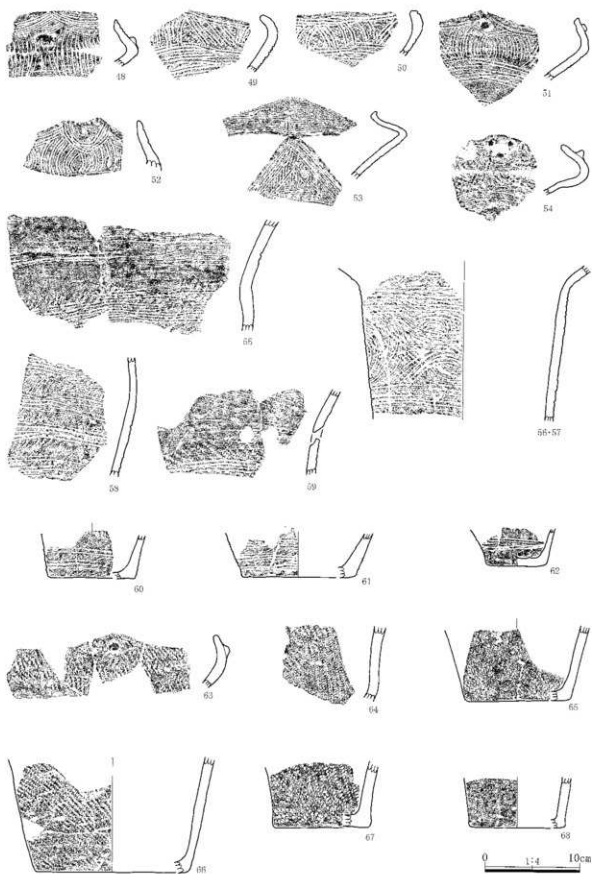
第6章第11図 IV区J1(6)・J2(7)号住居出土縄文土器3)



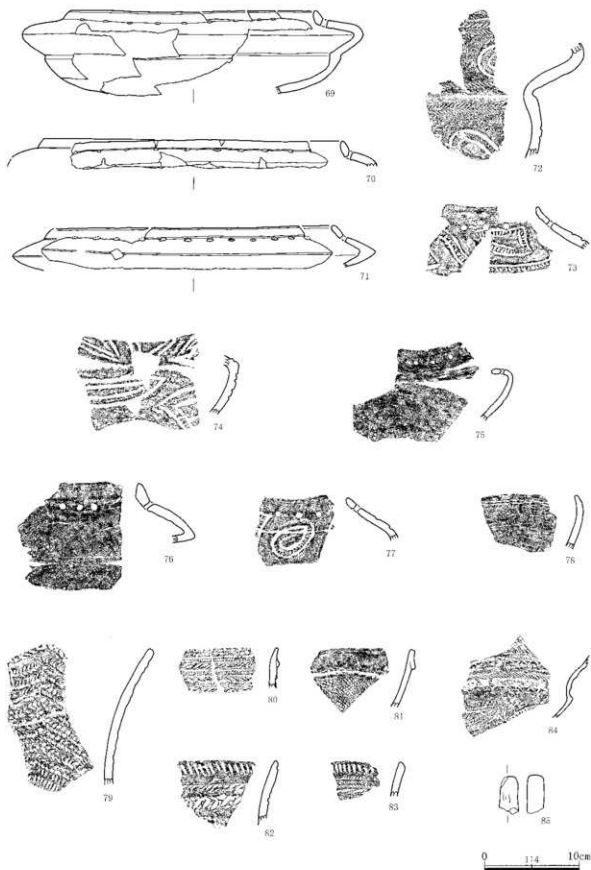
第6章第12図 IV区J1(6)・J2(7)号住居出土縄文土器(4)



第6章 IV区の調査



第6章第13図 IV区J1(6)・J2(7)号住居出土縄文土器5



第6章第14図 IV区J1(6)・J2(7)号住居出土縄文土器(6)

第6章 IV区の調査

第6章表3 IV区J1(6)号・J2(7)号住居出土縄文土器観察表(第6章第9~14図、PL.24~28)

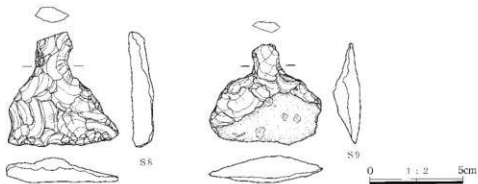
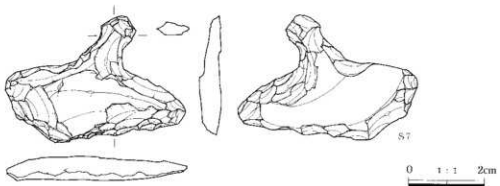
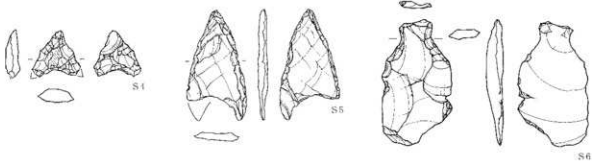
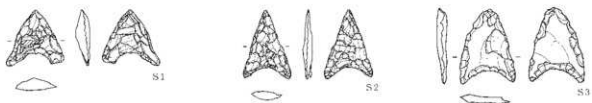
番号	出土位置	器種	残存状態	地産	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P 1	埋没土	深鉢	口縁破片	良	灰青褐色	10YR4/2	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	巾7mmの平縁竹管による平行沈線と爪形文。
P 2	下層	深鉢	口縁破片	良	におい赤褐色	2.5YR4/4	φ1~3mmの小石、片岩	諸磯b式(古)	巾5mmの平縁竹管による平行沈線と爪形文を横位置文、側に斜位方向の沈線を加えて施す。
P 3	下層	深鉢	口縁破片	普通	におい黄褐色	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾6mmの平縁竹管による平行沈線と爪形文で文様を描く。
P 4	下層	深鉢	胴部破片	良	におい黄褐色	10YR7/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	巾6mmの平縁竹管による平行沈線と爪形文で横位置文、側に斜位の刻み。
P 5	No205・207・212、下層	深鉢	胴部	普通	褐色	7.5YR4/3	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中)	矢羽根状に刻みのある浮線で横位置区画する。縄文原形RL。
P 6	No52	深鉢	口縁破片	不負	浅黄褐色	10YR8/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位置区画。浮線は矢羽根状の刻みを持つ。縄文原形RL。
P 7	下層、埋没土	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	φ1~3mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による横位置区画。区画内は、弧線文、約り杖状文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原形RL。
P 8	No36・136、埋没土	深鉢	口縁	不負	におい黄褐色	10YR7/4	φ1~3mmの小石多い	諸磯b式(中2)	波状口縁部3単位の変起。側縁部に粘土層をつけて断面を表す。浮線による横位置区画と溝文。浮線には矢羽根状の刻みを施す。縄文原形RL。
P 9	No170・200、下層、埋没土	深鉢	口縁	良	橙	7.5YR6/6	φ1~3mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による横位置区画。口縁部には弧線文、約り杖状文等が施文される。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原形RL。
P10	No60	深鉢	口縁破片	良	におい黄褐色	10YR7/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位置区画。区画内に弧線文、溝文。浮線には矢羽根状の刻み。
P11	埋没土	深鉢	口縁破片	良	におい黄褐色	10YR7/4	φ1~2mmの小石多い	諸磯b式(中2)	浮線による溝文。弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。
P12	下層	深鉢	口縁破片	不負	におい赤褐色	5YR5/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(中2)	浮線による横位置区画。弧線文。浮線には爪形文が施文される。側部にはφ7mmの円形刻みがある。
P13	No91	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位置区画。区画内に矢羽根状の刻み。浮線の胎土が本体と異なる。
P14	下層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による溝文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原形RL。
P15	No317	深鉢	胴部破片	普通	におい赤褐色	5YR4/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位置区画。浮線には矢羽根状の刻み。補形孔。縄文原形RL。
P16	No49	深鉢	口縁破片	普通	灰褐色	5YR4/2	細かい砂粒	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位置区画と線文、約り杖状文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原形RL。
P17	下層	深鉢	口縁破片	良	灰褐色	5YR4/2	φ1~2mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線で口内に「×」字文。口縁部に弧線、約り杖状文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原形RL。
P18	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	におい褐色	7.5YR5/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(中2)	浮線による文様帯区画。区画内に弧線文。
P19	下層	深鉢	口縁破片	良	におい黄褐色	10YR6/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位置区画。胴部には浮線の貼り付けた痕跡が認められて残る。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原形RL。
P20	No 4	深鉢	胴部破片	良	橙	2.5YR6/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位置区画。浮線には矢羽根状の刻み。補形孔。
P21	No72・73・203	深鉢	口縁	良	におい黄褐色	10YR5/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁部縁に粘土層が付いた変起。浮線による横位置区画。口縁部には、入り組み風車文。胴部には「×」字文。浮線には矢羽根状の刻み。
P22	No251・258・267、埋没土	深鉢	口縁	良	におい黄褐色	10YR6/3	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	口縁つ先状になる。波状口縁部縁に粘土層による変起。浮線による横位置区画。口縁部には入り組み風車文。弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原形RL。
P23	No105	深鉢	口縁破片	普通	におい黄褐色	10YR7/3	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位置区画。浮線には爪形文施文。縄文原形RL。内側明赤褐色。
P24	No286	深鉢	口縁破片	良	赤褐色	5YR4/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位置区画。区画内には入り組み風車文。弧線文。浮線には矢羽根状の刻み。
P25	下層	深鉢	胴部破片	普通	明黄褐色	10YR7/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位置区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原形RL。
P26	No264、埋没土	深鉢	胴部	普通	におい黄褐色	10YR7/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	割くべしにφ6mmの円形凹変形が認められる。浮線による風車文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原形RL。
P27	No09、埋没土	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	φ1~2mmの小石、粒石粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位置区画。浮線貼り残施文施文。縄文原形RL。
P28	No334	深鉢	胴部破片	不負	におい黄褐色	10YR7/3	φ1~2mmの小石多い	諸磯b式(中2)	浮線による横位置区画。浮線には矢羽根状の刻み。
P29	埋没土	深鉢	胴部破片	不負	橙	7.5YR6/6	φ1~2mmの小石、粒石粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位置区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原形RL。
P30	埋没土	深鉢	胴部・底部破片	不負	明黄褐色	10YR7/6	φ1~2mmの小石多い	諸磯b式(中2)	浮線による横位置区画。浮線には矢羽根状の刻み。底部内面にスス付着。縄文原形RL。
P31	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1~2mmの小石多い	諸磯b式(中2)	口縁に3単位の変起。巾4mmの平行沈線横位置施文。

## 第1節 W区遺構

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P32	No332	深鉢	口縁破片	普通	灰赤褐色	7.5YR6/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	市4mmの平行沈線横位施文。三角形の文様。
P33	7住 No1	深鉢	口縁一部破片・O1.4)高・29.7%残	普通	灰赤褐色	2.5YR4/3	φ1～2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	市6mmの平行沈線による横位区画。区画内に扇文。三角文。弧線文施文。縄文原形R。
P34	No178・197、下層	深鉢	口縁一部破片・O1.5)高・26.0%残	普通	赤褐色	2.5YR4/6	φ1～2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	4単位の波状口縁。市4mmの平行沈線による横位区画。口縁部文様帯に渦巻文、弧線文。縄文原形R。
P35	7住 No2	深鉢	口縁一部破片・O1.9)高・17.6%残	普通	赤褐色	2.5YR4/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	市5mmの平行沈線横位区画。口縁部渦巻文、弧線文。胴部外面彫り面スラス付着。縄文原形R。
P36	No78・89・244	深鉢	口縁	良	赤褐色	2.5YR4/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	36と同一個体。
P37	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～3mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁部3単位突起。側縁に粘土層を3個貼付し、断面を表現する。市4mmの平行沈線による弧線文。38と同一個体。
P38	下層埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～3mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	37と同一個体。
P39	No103・111・228	深鉢	口縁	良	赤褐色	2.5YR4/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁部部に割みを入れ3単位突起。側縁に粘土層を貼付し、断面を表現する。市4mmの平行沈線による横位区画。区画内に渦巻文、弧線文。彫部には「×」字文。縄文原形Lr。36と同一個体。
P40	No152	深鉢	口縁破片	不貞	灰赤褐色	10YR7/3	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁部部に粘土層3個貼付し断面を表現する。市4mmの平行沈線による弧線文。
P41	No48	深鉢	口縁破片	良	赤褐色	2.5YR4/6	細かい砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	市4mmの平行沈線横位施文。
P42	No271、下層	深鉢	口縁	普通	赤褐色	2.5YR4/6	φ1～3mmの小石、軽石粒多い	諸磯b式(中2)	口縁部に3単位突起。市5mmの平行沈線による横位区画。区画内波状文。
P43	No292、下層埋没土	深鉢	破片	不貞	暗褐色	10YR4/4	砂粒多い	諸磯b式(中2)	市4mmの平行沈線による文様区画。区画内波状文。釣り針状文。4単位波状口縁。
P44	No127・132・298、下層埋没土	深鉢	胴部	普通	暗赤褐色	5YR3/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	市3mmの平行沈線による横位区画。縄文原形R。
P45	No195	深鉢	胴部破片	普通	灰褐色	5YR4/2	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	市5mmの平行沈線横位施文。縄文原形R。
P46	No214	深鉢	口縁破片	普通	灰褐色	5YR4/2	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	市4mmの平行沈線による横位区画。区画内弧線文。縄文原形R。
P47	No169・171・175・176、下層埋没土	深鉢	口縁破片	普通	灰褐色	5YR4/2	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	市4mmの平行沈線による横位区画。区画内弧線文。縄文原形R。
P48	下層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐色	5YR5/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁部側縁に粘土層貼付。市3mmの平行沈線による弧線文。
P49	No320	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	市3mmの平行沈線による文様区画。区画内弧線、斜線施文。縄文原形R。
P50	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	市3mmの平行沈線による横位区画。区画内弧線、斜線文。縄文原形R。
P51	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	灰褐色	5YR4/2	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁部側縁に粘土層貼付。市4mmの平行沈線による横位区画。区画内弧線文。
P52	No39	深鉢	口縁破片	良	明赤褐色	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁部側縁に粘土層を貼付後側縁、断面を表現。市4mmの平行沈線による文様区画。対弧文。
P53	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	灰赤褐色	10YR7/3	φ1mmの小石、黒色粒	諸磯b式(新)	波状口縁。くつ先状になる。市3mmの平行沈線による文様区画。区画内「×」状文。三角文施文。縄文原形R。
P54	No216	深鉢	口縁破片	不貞	明赤褐色	5YR5/6	砂粒多い	諸磯b式(中2)	波状口縁部部に3単位突起。側縁に粘土層を貼付し断面を表現する。市3mmの平行沈線による横位区画。弧線文。縄文原形R。
P55	No138・141・327	深鉢	胴部	普通	灰褐色	5YR4/2	φ1～2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	市3mmの平行沈線による横位区画。縄文原形Lr。
P56	6住、4住	深鉢	胴部	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	市5mmの平行沈線による横位区画。区画内に渦巻文、弧線文施文。縄文原形R。
P57	No52埋没土	深鉢	胴部	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	56と同一個体。
P58	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	市5mmの平行沈線による横位区画。縄文原形Lr。
P59	下層	深鉢	胴部破片	不貞	灰褐色	7.5YR4/2	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	市3mmの平行沈線による横位区画。袖珍孔。縄文原形R。
P60	埋没土	深鉢	胴部一部破片	普通	明赤褐色	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	市5mmの平行沈線による横位区画。縄文原形Lr。
P61	埋没土	深鉢	底部破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	市3mmの平行沈線横位施文。縄文原形Lr。
P62	No198	深鉢	底部破片	良	明赤褐色	5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	市3mmの平行沈線横位施文。
P63	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	黒褐色	5YR3/1	φ1～2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁部側縁に粘土層貼付。縄文原形R。燃

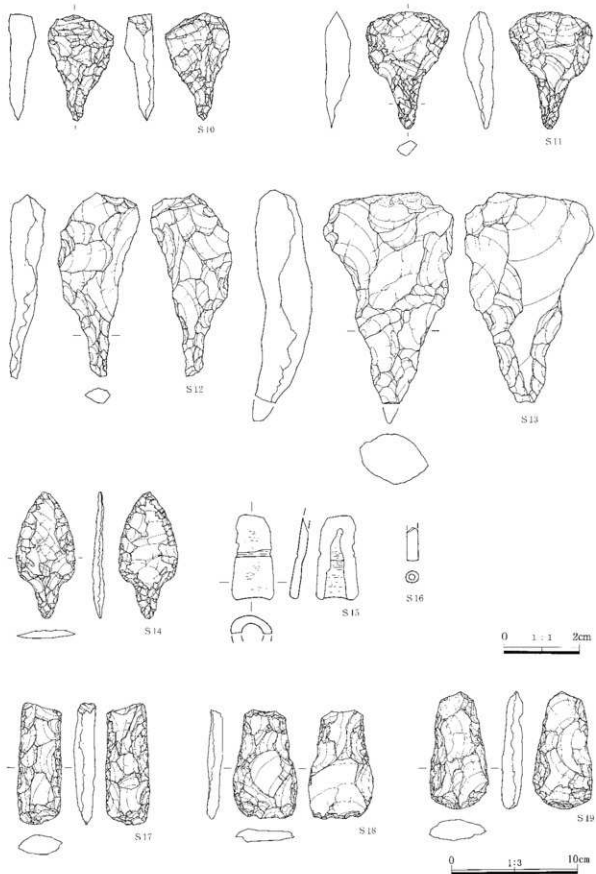
第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P64	埋没土	深鉢	底部破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1～2mmの小石、軽石粒	諾磯b式(中2)	縄文原体 RL。
P65	埋没土	深鉢	底部破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1～2mmの小石、軽石粒	諾磯b式(中2)	縄文原体 RL。
P66	No.95・100・101・104、埋没土、下層	深鉢	底部	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1～2mmの小石、軽石粒	諾磯b式(中2)	縄文原体 RL。
P67	No.30	深鉢	底部破片	良	明赤褐色	5YR5/6	φ1～2mmの小石多い	諾磯b式(中2)	縄文原体 RL。
P68	下層	深鉢	底部破片	不良	明赤褐色	5YR5/6	砂粒多い	諾磯b式(中2)	縄文原体 RL。
P69	No.16・19・21・22、埋没土	有孔浅鉢	口縁～底部	良	灰褐色	7.5YR4/2	細かい砂粒、軽石粒	諾磯b式(中2)	φ6mmの孔列が口縁に廻る。
P70	下層	有孔浅鉢	口縁	良	黒褐色	10YR3/2	細かい砂粒、雲母	諾磯c式(中2)	φ4～5mmの孔列が口縁に廻る。
P71	No.23・337	有孔浅鉢	口縁	良	明黄褐色	10YR6/6	細かい砂粒、軽石粒	諾磯b式(中2)	φ5～6mmの孔列が口縁に廻る。
P72	No.2、埋没土	有孔浅鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐色	10YR7/3	細かい砂粒	諾磯c式(中1)	巾10mmの半籠竹管による平行沈線と爪形文による木葉文。くびれ部に矢羽根状の沈線。
P73	埋没土	有孔浅鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR6/3	細かい砂粒	諾磯b式(中2)	口縁にφ5mmの孔列。沈線による並行線と爪形文で木葉文を描く。
P74	No.56	有孔浅鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諾磯b式(中2)	沈線による並行線と木葉文を描く。
P75	埋没土	有孔浅鉢	口縁破片	普通	灰黄褐色	10YR4/2	φ1～2mmの小石	諾磯b式(中2)	φ4mmの孔列が口縁に廻る。
P76	No.64	有孔浅鉢	口縁破片	良	明赤褐色	5YR5/6	細かい砂粒	諾磯b式(中2)	φ5mmの孔列が口縁に廻る。横方向のミガキ整形。胴部黒黒染。
P77	埋没土	有孔浅鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR4/3	砂粒多い	諾磯b式(中2)	φ5mmの孔列が口縁に廻る。沈線を並行させ爪形文とともに木葉文を描く。
P78	下層	有孔浅鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR5/4	細かい砂粒	浮島田式	口縁に巾4mmの半籠竹管端部の押し引き文が廻る。
P79	埋没土	浅鉢	口縁破片	不良	にぶい黄褐色	10YR4/3	φ1～2mmの小石	浮島田式	口縁に刺突列。巾8mmの変形爪形文を山形に施文。
P80	埋没土	浅鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	北白川下層II c式	間隔の狭い爪形文と刻みを持つ隆線が横位に交互施文。
P81	下層	浅鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	大木5式	折り返し口縁。縄文原体 RL 横。
P82	埋没土	深鉢	口縁破片	良	灰褐色	7.5YR4/2	細かい砂粒	浮島田式	口唇に条線帯。巾16mmの変形爪形文と、斜め刺し切り刻み列。
P83	埋没土	深鉢	口縁破片	良	灰褐色	7.5YR4/2	細かい砂粒	浮島田式	口唇に条線帯。巾3mmの押し引き沈線。胴位の切り刻み列。
P84	下層、埋没土	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄褐色	10YR7/3	細かい砂粒	北白川下層II c式	胴上部刻みを持つ隆線による横位区画。胴下部巾4mmの半籠竹管による平行沈線と爪形文で木葉文を描く。表面ペンダラ。
P85	埋没土	土玉	1/2	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諾磯b式	円筒形で縦位にミガキ整形。



第6章第15回 IV区J1(6)号住居出土縄文石器1

第6章 IV区の調査



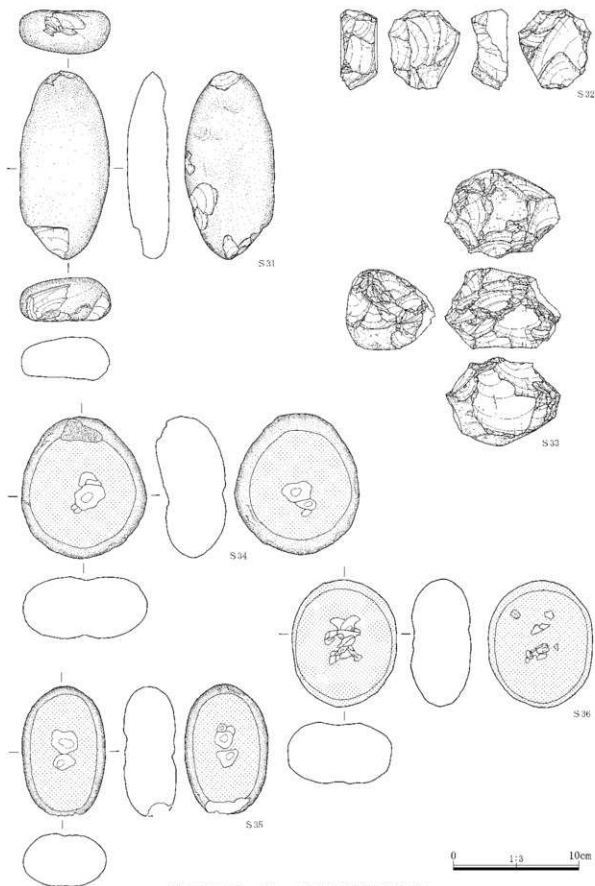
第6章第16図 IV区J1(6)号住居出土縄文石器2)



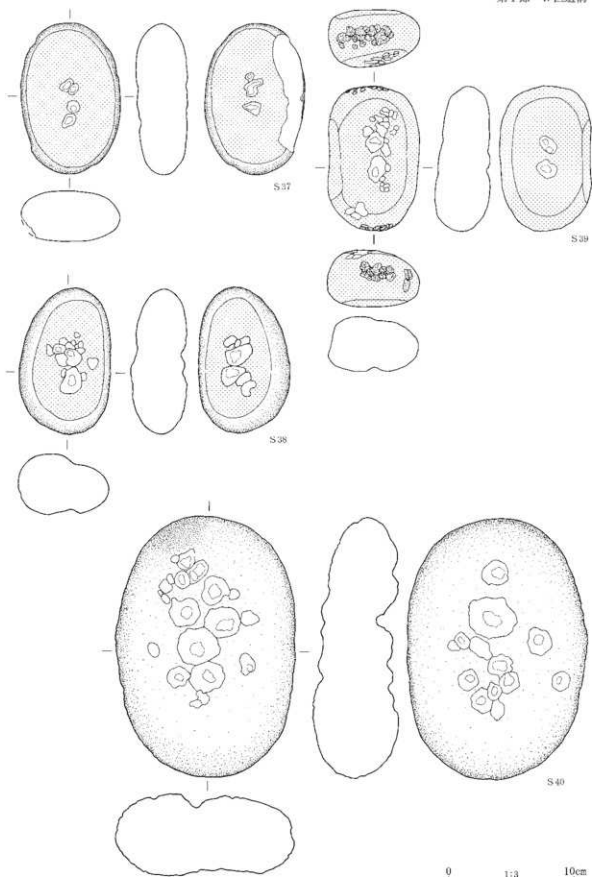
第6章第17回 IV区J1(6)号住居出土縄文石器3)



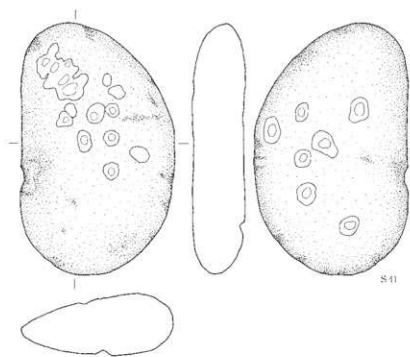
第6章 IV区の調査



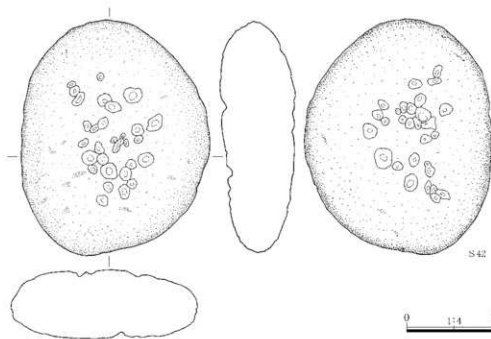
第6章第18回 IV区J1(6)号住居出土縄文石器4)



第6章第19回 IV区J1(6)号住居出土縄文石器5)



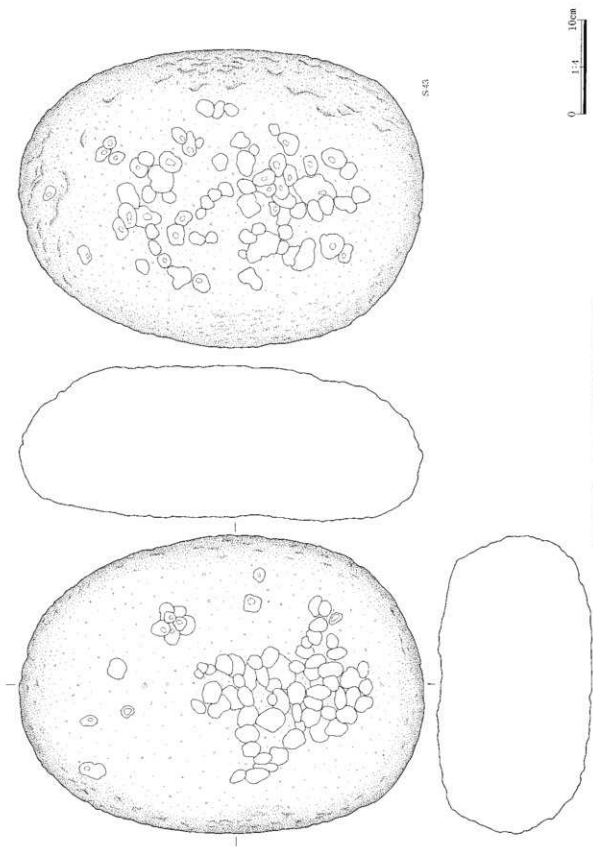
S41



S42

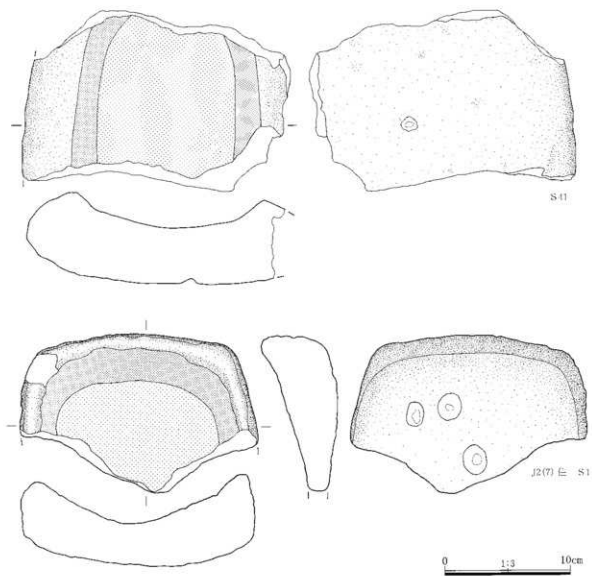
0 1:4 10cm

第6章第20図 IV区J1(6)号住居出土縄文石器6)



第6章第21図 IV区J1(6)号住居出土縄文石器7)

第6章 IV区の調査



第6章第22図 IV区J1(6)号住居出土縄文石器(8)、J2(7)号住居出土縄文石器

第6章表4 IV区J1(6)号住居出土縄文石器観察表(第6章第15~22図、PL.29~32)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	下層 Na135	石鏝	完形	1.50	1.60	0.42	0.63	黒色安山岩	頁岩	正三角形無基縁。凹基。
S2	下層 Na134	石鏝	完形	1.80	1.30	0.30	0.42	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無基縁。凹基。
S3	埋没土	石鏝	完形	1.90	1.50	0.30	0.80	黒色頁岩	—	二等辺三角形無基縁。凹基。
S4	埋没土	石鏝	下端部欠損	(1.20)	1.20	0.40	0.40	黒曜石	黒質母片岩	正三角形無基縁。凹基。
S5	No107	石鏝	一部欠損	2.90	1.60	0.20	1.10	ホルンフェルス?	黒質母片岩	二等辺三角形無基縁。凹基。
S6	埋没土	石鏝	一部欠損	3.10	1.80	0.40	2.50	黒色頁岩	無珪晶質安山岩	縦型石鏝。左右非対称。
S7	No112	石鏝	完形	3.80	4.80	0.50	7.90	黒色頁岩	砂岩	横型石鏝。左右非対称。
S8	No138	石鏝	完形	6.00	5.70	1.15	32.40	黒色頁岩	—	横型石鏝。左右非対称。
S9	下層	石鏝	完形	5.20	5.70	1.40	30.50	黒色頁岩	—	横型石鏝。左右非対称。一部表面残存。
S10	埋没土	石鏝	完形	2.70	1.80	0.70	3.20	チャート	—	刃部長さ約9mm。幅約5mm。
S11	No141	石鏝	刃部破損	3.00	2.30	0.80	4.30	チャート	チャート	刃部長さ約12mm。幅約6mm。
S12	下層	石鏝	完形	4.80	1.90	0.90	6.40	珪質頁岩	—	刃部長さ約13mm。幅約5mm。
S13	埋没土	石鏝	刃部破損	5.40	3.40	1.30	22.10	珪質頁岩	—	—
S14	下層 Na136	尖頭器?	完形	3.30	1.70	0.38	1.53	チャート	チャート	有基尖頭器。
S15	No122	尖頭器	破片	(2.20)	(1.10)	0.35	1.20	滑石	—	—
S16	No1	管玉	一部欠損	0.90	0.30	0.30	0.13	赤碧玉	—	孔径15mm。
S17	Pit 8	打製石斧	上端部欠損	9.50	3.50	1.70	67.10	黒色頁岩	中粒凝灰岩	短冊形石斧。
S18	埋没土	打製石斧	一部欠損	8.60	5.10	1.20	53.50	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S19	下層	打製石斧	一部欠損	9.20	4.60	1.60	78.70	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S20	埋没土	打製石斧	完形	8.70	3.60	1.40	57.90	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S21	埋没土	打製石斧	上端部欠損	8.20	3.90	1.00	38.80	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S22	下層	打製石斧	一部欠損	9.30	4.40	1.30	63.50	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S23	No115	打製石斧	一部欠損	9.80	4.30	1.50	69.60	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S24	埋没土	打製石斧	完形	8.70	4.70	1.00	40.80	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。1面に表面残存。
S25	下層	打製石斧	一部欠損	9.60	5.60	1.20	77.50	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。1面に表面残存。
S26	埋没土	打製石斧	一部欠損	10.40	4.70	2.20	109.10	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S27	埋没土	打製石斧	上端部欠損	10.70	5.20	1.20	76.40	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S28	埋没土	打製石斧	完形	9.70	5.70	1.70	87.60	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S29	埋没土	打製石斧	一部欠損	11.40	5.50	2.00	118.60	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S30	No103	礮石	完形	5.40	3.90	1.00	20.00	凝灰質砂岩	—	直径約4mmの孔1ヶ所有。表面溝有。
S31	埋没土	礮石	一部欠損	14.70	7.00	3.20	520.00	変質玄武岩	凝結凝灰岩	2面に縦打痕有。
S32	埋没土	石核	完形	6.40	5.90	2.80	111.60	珪質頁岩	珪質頁岩	一部表面残存。
S33	埋没土	石核	完形	6.80	8.90	6.00	355.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S34	No118	磨石	完形	11.20	9.80	4.40	870.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S35	埋没土	磨石	一部欠損	10.20	6.50	4.00	308.00	粗粒輝石安山岩	凝結凝灰岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S36	No116	磨石	完形	10.10	8.20	4.80	600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S37	No301	磨石	一部欠損	11.90	7.80	4.00	360.00	石炭閃緑岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S38	No303	磨石	完形	11.40	7.20	4.80	515.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S39	埋没土	磨石・凹石	完形	11.40	7.20	4.30	610.00	粗粒輝石安山岩	凝結凝灰岩	2面使用。2面を凹石としても使用。2面に縦打痕有。
S40	No113	多孔石	完形	26.00	14.10	6.70	1,900.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S41	No338	凹石	完形	26.50	16.00	6.50	3,350.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S42	埋没土	多孔石	完形	24.70	19.70	7.60	4,250.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S43	No306	凹石	完形	41.60	31.40	16.00	27,080.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S44	下層	石皿	破片	(14.20)	(20.20)	7.20	2,600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。

第6章表5 IV区J2(7)号住居出土縄文石器観察表(第6章第22図、PL.32)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	No9	石皿	破片	(12.60)	18.60	7.10	1,270.00	滑結凝灰岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。1面を凹石として使用。

第6章 IV区の調査

(3) IV区J3(4)号住居

位置：Dl-45・46G、Dm-45・46G、Dn-45・46G

時期：縄文時代前期に比定される。

重複：重複は、認められなかった。

形状：正方形を呈する。

規模：住居の規模は、一辺約7mである。

面積：住居床面の面積は、約33.33㎡である。

覆土：覆土は、6層に分かれる。遺物は、1層及び2層に多く含まれている。

床面：床面は、比較的平坦である。

炉：炉は、住居北東部に1基検出された。炉は不整形を呈し、規模は直径約95cmである。但し、この炉は柱穴P10と重複しており、新旧関係は、炉の方が古い。

埋設土器：埋設土器は、検出されなかった。

柱穴：柱穴は、10基検出された。規模は、以下の通りである。

- (P1) 直径約70cm・深さ約45cm、覆土は2層
- (P2) 直径約45～50cm・深さ約40cm、覆土は1層
- (P3) 直径約45～50cm・深さ約40cm、覆土は2層
- (P4) 直径約35～40cm・深さ約20cm、覆土は2層
- (P5) 直径約45cm・深さ約30cm、覆土は3層
- (P6) 直径約40～60cm・深さ約20cm、覆土は1層
- (P7) 直径約35～50cm・深さ約50cm、覆土は3層
- (P8) 直径約25cm・深さ約10cm、覆土は1層
- (P9) 直径約25cm・深さ約10cm、覆土は1層
- (P10) 直径約35～40cm・深さ約50cm、覆土は3層



第6章写真5 IV区J3(4)号住居空撮【上が南】

周溝：周溝は、住居の3辺に検出された。深さは、約10cm～20cmで、覆土は1層～2層である。

(北部：北西～南東) 長さ約3.3m

(西部：北東～南西) 長さ約5.5m

(南部：北西～南東) 長さ約3.9m

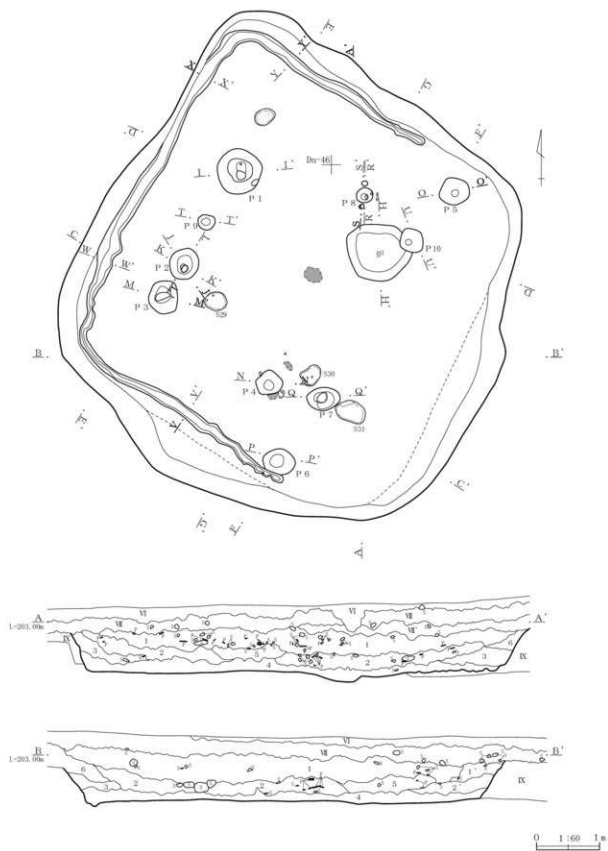
遺物：遺物は、土器と石器が出土した。

(土器) 土器が90点出土した。内訳は、諸磯a式深鉢12点・諸磯b式深鉢39点・諸磯c式深鉢7点・諸磯b式有孔浅鉢7点・諸磯b式浅鉢4点・諸磯c式浅鉢1点等である。

(石器) 石器が31点出土した。内訳は、石鏃5点・石匙4点・打製石斧6点・砥石1点・凹石4点・磨石6点・石皿2点・台石3点である。

IV区J3(4)号住居 A-A'、B-B'

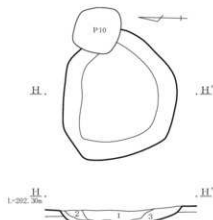
1. 黒褐色土 暗褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、礫(φ8cm以下)、炭化物(φ5mm以下)を含む。固くしまっている。
- 1'. 1層より暗褐色土粒が多い。
2. 1層と同じだが、1層より赤味が強く、粘性が有る。
- 2'. 2層より暗褐色土粒が多い。
3. 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。炭化物(φ2mm以下)を少量含む。やわらかく粘性が有る。
4. 暗褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。粘性が有り固くしまっている。
5. 1層と同じだが、1層より炭化物が多く、焼土粒(φ2mm以下)を含む。
6. 黒色土 暗褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)を少量含む。粘性が有り固くしまっている。(地山の混れ込み)



第6章第23図 IV区J3(4)号住居



第6章 IV区の調査



J 3 (4)号住居 炉 H-H'

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ5cm以下)、炭化物(φ8mm以下)、焼土ブロック(φ3cm以下)を含む。
2. 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。粘性が有る。
3. 褐色土 黒褐色土粒を少量含む。シルト質でやわらかい。

V-V' 1-202.30m



J 3 (4)号住居 周溝 V-V'

1. 暗褐色土 褐色土粒を含む。固くしまっている。

W-W' 1-202.30m



W-W'

1. 暗褐色土 褐色土粒を含む。シルト質でやわらかい。
2. 暗褐色土 褐色土粒を少量含む。シルト質でやわらかい。やや粘性が有る。

X-X' 1-202.30m



X-X'

1. 暗褐色土 褐色土粒を含む。シルト質でやわらかい。

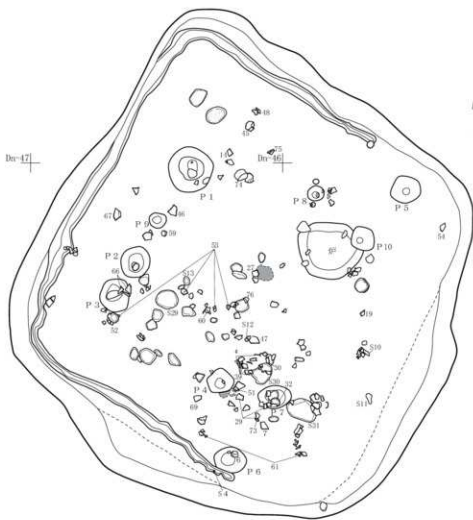
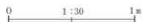
Y-Y' 1-202.30m



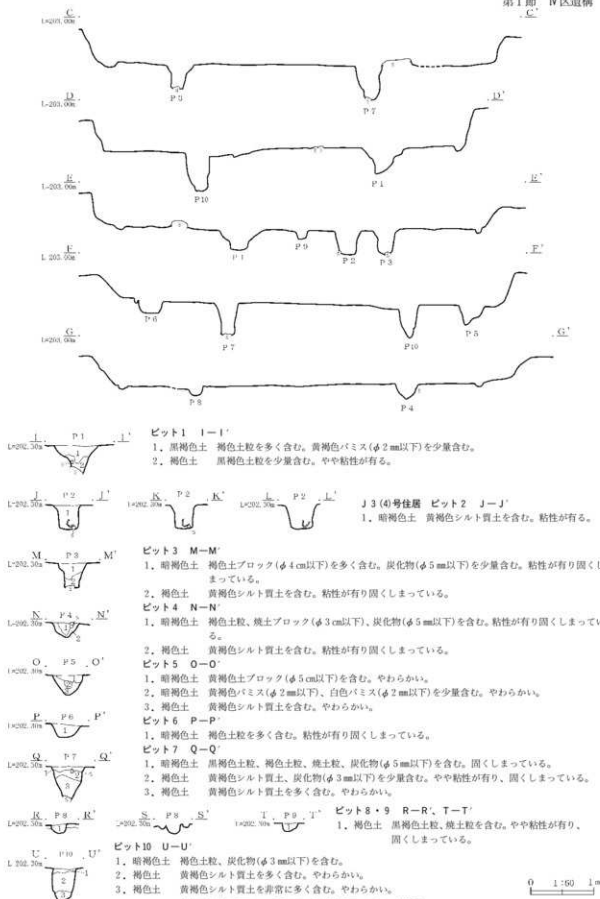
Y-Y'

1. 暗褐色土 褐色土粒を含む。粘性が有り、やや固くしまっている。

第6章第24図 IV区J 3 (4)号住居炉、周溝断面

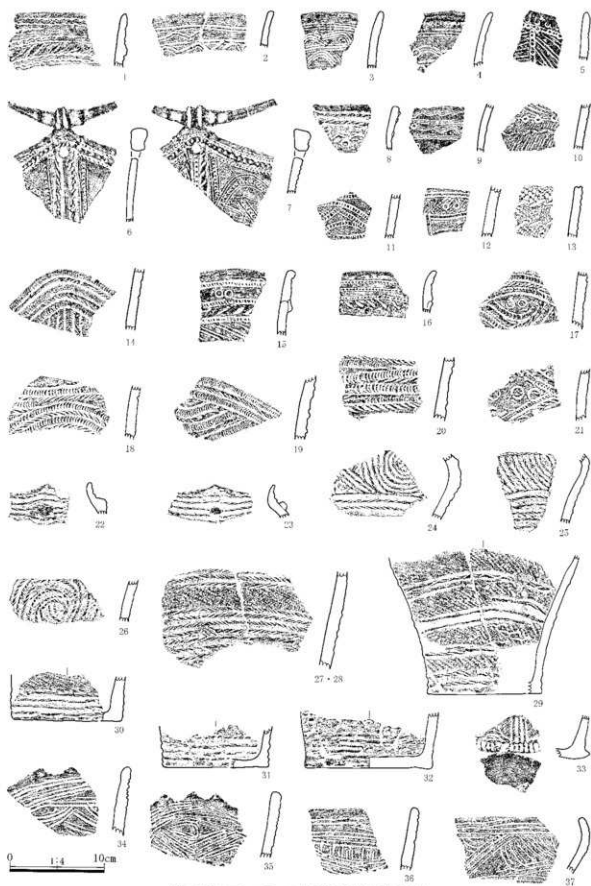


第6章第25図 IV区J 3 (4)号住居遺物出土状況



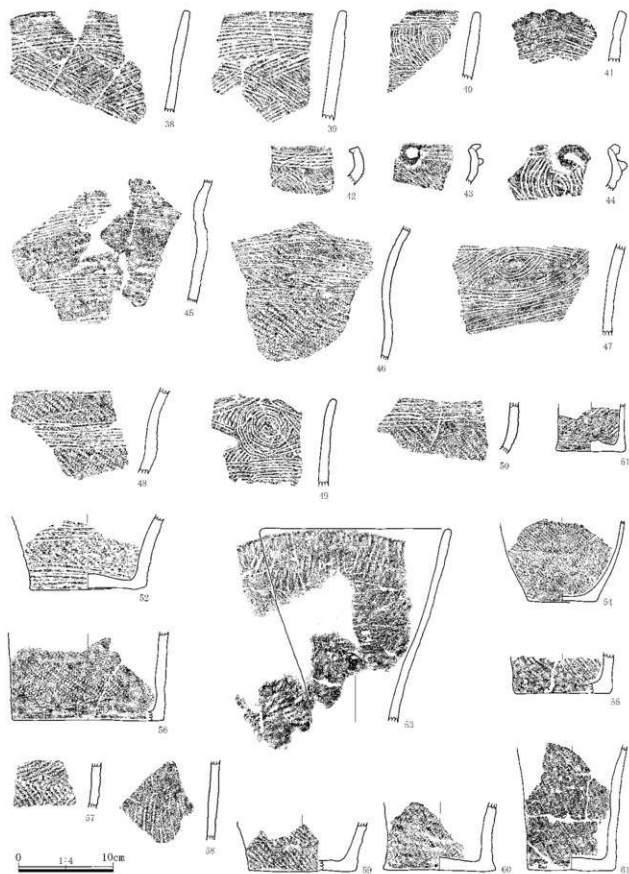
第6章第26図 IV区J3(4)号住居・ピット断面

第6章 IV区の調査



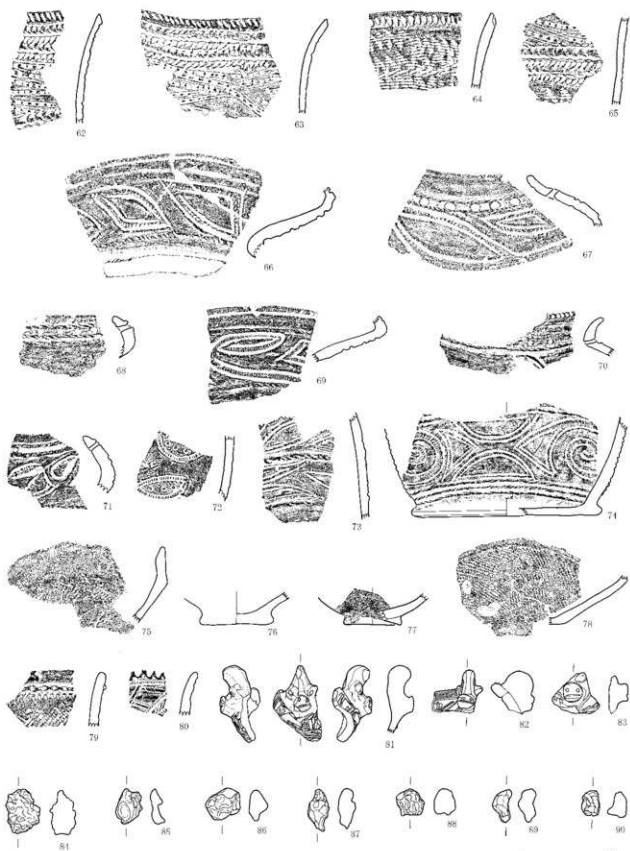
第6章第27回 IV区J3(4)号住居出土縄文土器1

第1節 IV区遺構



第6章第28回 IV区J3(4)号住居出土縄文土器2)

第6章 IV区の調査



第6章第29回 IV区J3(4)号住居出土縄文土器3)

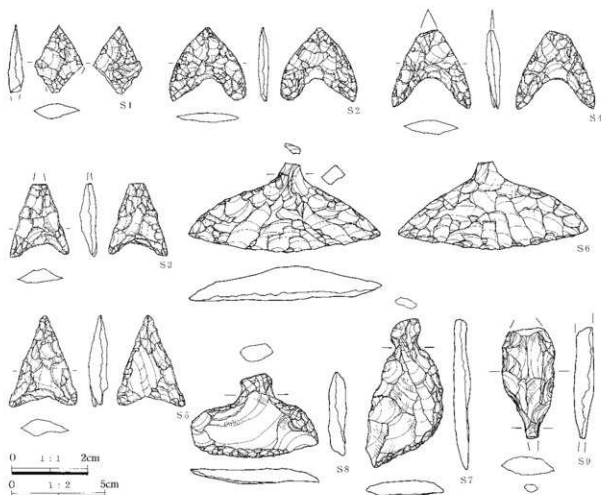
第6章表6 IV区J3(4)号住居出土縄文土器観察表(第6章第27~29図、PL.36~38)

番号	出土位置	器種	保存状態	色 調		胎 土	分 類	文 様	
				色	番号				
P1	埋没土	深鉢	口縁破片	不具	にぶい黄褐色	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾6mmの平行縦管によるコンパス文を横位に施す。縄文原体LR。
P2	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸磯a式(新)	巾6mmの平行沈線による横位区画。区内面に磨面文。
P3	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯a式(新)	巾4mmの平行沈線による横位区画。区内面に磨面文。
P4	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	赤褐色	5YR4/8	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯a式(新)	巾4mmの平行沈線による横位区画と動骨文。φ8mmの円形刺突を縦位に加える。
P5	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯a式(古)	巾4mmの平行沈線による縦位区画と動骨文。φ4mmの円形刺突が口縁と縦位区画線に当たって施される。
P6	No101	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐色	10YR7/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	波状口縁部に刻みを入れて3単位の突起を作る。隆線と彫形文を口縁に沿って施す。波状部下に彫形の孔を穿つ。隆線と彫形文を波状部から垂下させ縦位の区画を作る。7と同一個体。
P7	No102	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐色	10YR7/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾3mmの平行沈線による木葉文。沈線部に彫形文施す。6と同一個体。
P8	埋没土	深鉢	口縁破片	不具	橙	7.5YR6/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	浮線に刻みを持つ。横位区画。φ9mmの円形刺突。
P9	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石多い	諸磯a式(新)	2mm間隔3本の沈線による横位区画と磨面文。φ6mmの円形刺突。
P10	埋没土	深鉢	胴部破片	良	明赤褐色	2.5YR5/8	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾4mmの平行沈線による文様施文。φ6mmの円形刺突。縄文は結節縄文。縄文原体L <sub>1</sub> 。
P11	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐色	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾4mmの彫形文による木葉文。
P12	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	巾5mmの平行沈線による木葉文。φ6mmの円形刺突。縄文原体LR。
P13	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR5/2	φ1mmの小石	諸磯a式(新)	縄文原体LR。
P14	No3	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	巾8mmの彫形文による文様施文。彫形文間に隆線文となり刻みを持つ。
P15	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	赤褐色	5YR4/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯a式(新)	巾5mmの彫形文横位施文。隆線に刻みを持つ。φ8mmの円形刺突。16と同一個体。
P16	埋没土	深鉢	破片	普通	暗褐色	5YR3/3	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯a式(新)	15と同一個体。
P17	埋没土	深鉢	胴部破片	良	褐	7.5YR4/3	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(古)	巾7mmの彫形文による変形木葉文、彫形文間の隆線文に刻み。φ9mmの円形刺突。
P18	埋没土	深鉢	胴部破片	良	明赤褐色	5YR5/6	φ1~2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(古)	巾10mmの彫形文による縦線文。彫形文間の隆線に刻み。
P19	No11	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(古)	巾10mmの彫形文による縦線文。彫形文間に隆線に刻み。
P20	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(古)	巾10mmの彫形文による文様施文。彫形文間に刻み。
P21	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR7/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(古)	巾8mmの彫形文による文様施文。φ18mmの円形刺突。
P22	埋没土	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR7/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁部隆線に粘土層付。浮線による横位施文。浮線に矢羽根状の刻み。
P23	埋没土	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR7/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁部隆線に粘土層付。浮線による横位施文。浮線に矢羽根状の刻み。
P24	埋没土	深鉢	口縁破片	良	灰褐色	5YR5/2	φ1~3mmの小石、軽石粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。区内面調書文。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体LR。
P25	埋没土	深鉢	胴部破片	良	灰褐色	5YR5/2	φ1mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画と調書文。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体LR。
P26	埋没土	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR5/2	φ1~3mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による調書文。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体LR。
P27	No51	深鉢	胴部破片	不具	明赤褐色	5YR5/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体LR。28と同一個体。
P28	埋没土	深鉢	胴部破片	不具	明赤褐色	5YR5/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯c式(中1)	27と同一個体。
P29	No20・21・24	深鉢	胴部~底部破片	不具	にぶい黄褐色	10YR6/4	砂粒多い	諸磯c式(中1)	浮線を2本対して横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体LR。
P30	No28	深鉢	胴部~底部破片	普通	明赤褐色	5YR5/8	φ1mmの小石、白砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体LR。
P31	埋没土	深鉢	胴部~底部破片	普通	明赤褐色	5YR5/8	φ1mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線に矢羽根状の刻み。縄文原体LR。
P32	No19	深鉢	胴部~底部破片	普通	にぶい黄褐色	10YR6/4	φ1mmの小石	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線に動位刻み。
P33	埋没土	深鉢	底部破片	良	明黄褐色	10YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による縦・横線、棒子状文。縄文原体LR。
P34	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	口口に2単位の突起。巾5mmの平行沈線による横線。縦線文。
P35	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁部に3単位の突起。巾4mmの平行沈線による彫形文。釣り針状文。
P36	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画と縦位の施文。
P37	埋没土	深鉢	口縁破片	不具	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。区内面隆線文。縄文原体LR。

第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P38	埋没土	深鉢	口縁破片	不負	橙	5YR6/8	φ1～3mmの小石、 粒石较多い	諸磯b式(中2)	市4mmの平行沈線による横位区画と菱形文。縄文原形Lr。
P39	No.31・52	深鉢	口縁破片	不負	橙	5YR6/8	φ1～3mmの小石、 粒石较多い	諸磯b式(中2)	市4mmの平行沈線による横位区画と菱形文。
P40	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/8	φ1mmの小石	諸磯b式(中2)	市3mmの平行沈線による横位区画。区画内に溝文。縄文原形Lr。
P41	埋没土	深鉢	口縁破片	不負	橙	7.5YR6/6	φ1～3mmの小石 多い	諸磯b式(中2)	放射状口縁口唇部に3単位の変起。市3mmの平行沈線横位区画。
P42	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1～3mmの小石 多い	諸磯b式(中2)	市3mmの平行沈線横位区画。沈線に斜の刻み。区画内縦線文。縄文原形Lr。
P43	埋没土	深鉢	口縁破片	不負	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1mmの小石、粒石	諸磯b式(中2)	口縁に円形の貼付文。市3mmの平行沈線による横位区画と斜線文。
P44	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1～3mmの小石、 粒石	諸磯b式(中2)	口縁部に溝文の突起。市4mmの平行沈線による外環文。
P45	No.2	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1～2mmの小石、 粒石较多い	諸磯b式(中2)	市4mmの平行沈線による横位区画。区画内の縄文を磨り削している。縄文原形Lr。
P46	No.49	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1～3mmの小石、 粒石	諸磯b式(中2)	市4mmの平行沈線による横位区画。縄文原形Lr。
P47	No.77	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石、 粒石	諸磯b式(中2)	市3mmの平行沈線による横位区画と縦線文。釣り針状文。
P48	No.1	深鉢	胴部破片	普通	灰褐	7.5YR4/2	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	市3mmの平行沈線による横位区画。縄文原形Lr。
P49	No.14	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	市3mmの平行沈線による横位区画。区画内に溝文。縄文原形Lr。
P50	埋没土	深鉢	胴部破片	不負	灰褐	7.5YR4/2	砂粒多い	諸磯b式(中2)	市3mmの平行沈線による横位区画。縄文原形Lr。
P51	No.28	深鉢	底部	不負	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	市3mmの平行沈線による横位区画。縄文原形Lr。
P52	No.43	深鉢	底部	普通	明赤褐	2.5YR5/8	φ1～2mmの小石、 粒石较多い	諸磯b式(中2)	市4mmの平行沈線による横位区画。内面スズ付着。縄文原形Lr。
P53	No.38・40・41・ 66、埋没土	深鉢	口縁・胴部	普通	赤褐	5YR4/6	φ1～3mmの小石、 粒石	諸磯b式(中)	縄文原形Lr。
P54	No.103	深鉢	胴部・底部	不負	明赤褐	5YR5/8	砂粒多い	諸磯a式(新)	縄文原形Lr。
P55	埋没土	深鉢	胴部・底部	不負	明赤褐	5YR5/8	φ1～3mmの小石、 粒石	諸磯b式(中)	縄文原形Lr。
P56	埋没土	深鉢	底部	不負	明赤褐	5YR5/8	砂粒多い	諸磯b式(中)	縄文原形Lr。
P57	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中)	結束の羽状縄文。縄文原形Lr、Lr、羽状縄文。
P58	埋没土	深鉢	胴部破片	不負	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	Lr、Rl、Rl。
P59	No.48	深鉢	底部破片	不負	明赤褐	5YR5/8	φ1～2mmの小石 多い	諸磯b式(中)	縄文原形Lr。
P60	No.39	深鉢	底部破片	良	明褐	7.5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原形Lr。
P61	No.18・32	深鉢	胴部・底部 破片	普通	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原形Lr。
P62	埋没土	深鉢	口縁破片	良	暗黄褐	2.5Y3/2	細かい砂粒	浮島田式	口唇に斜位の短い刻み。市12mmの変形爪形文と、市4mmの押し引きの爪形文に施文。菱形文を作る。63・65と同一個体。
P63	埋没土	深鉢	口縁破片	良	黄灰	2.5Y4/1	細かい砂粒	浮島田式	62・65と同一個体。
P64	埋没土	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい黒色粒	浮島田式	口唇に短い斜位の沈線列が施文される。頸部に貝殻破片によるロッキング施文。62・63と同一個体。
P65	埋没土	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい黒色粒	浮島田式	頸部に貝殻破片によるロッキング施文。62・63と同一個体。
P66	No.47、 埋没土	有孔浅鉢	底部破片	不負	にぶい黄褐	10YR4/3	細かい砂粒多い	諸磯b式(中)	沈線により5～8mmの爪形支脚文を作り、木葉文を構成する。
P67	No.46	有孔浅鉢	底部破片	不負	にぶい黄褐	10YR4/3	細かい砂粒多い	諸磯b式(中)	頸部にφ7mmの孔列。沈線によりφ6mmの爪形支脚文を作り、木葉文を構成する。
P68	埋没土	有孔浅鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中)	口縁に刻みのある浮線が2条あり、その間にφ5mmの孔列。
P69	No.34	有孔浅鉢	口縁破片	不負	橙	7.5YR6/8	φ1～3mmの小石、 粒石	諸磯b式(中)	沈線で市4～7mmの並行線を作り、爪形支脚文と木葉文を描く。
P70	埋没土	有孔浅鉢	口縁破片	良	赤褐	2.5YR4/6	φ1mmの小石、粒石	諸磯b式(中)	口唇に刻み。頸部に浮線が磨る。頸部にφ3mmの孔列。
P71	埋没土	有孔浅鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/8	φ1～2mmの小石、 粒石	諸磯b式(中)	口縁部に浮線が磨り間にφ3mmの孔を持つ。沈線により木葉文を描き爪形支脚文が施文される。
P72	埋没土	深鉢	胴部破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯a式	市5mmの半籠竹管による平行沈線と爪形支脚文で木葉文を描く文様内には、縄文とφ5mmの円形刺突。縄文原形Lr。
P73	No.21	有孔浅鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(古)	刻みを持つ浮線が2条磨る。市5mmの平行沈線による木葉文。
P74	No.5、埋没土	浅鉢	胴部・底部	普通	明黄褐	10YR7/6	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	沈線由市5～8mm並行させ木葉文を描く。沈線内には爪形支脚文。底部には矢羽状の刻みのある浮線が3条磨る。
P75	No.104	浅鉢	底部破片	不負	橙	7.5YR6/6	砂粒多い	諸磯b式	全体に磨面多い。縄文原形Lr。
P76	No.37	浅鉢	底部	良	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石、粒石	諸磯b式(中)	横位のナギ型彫。

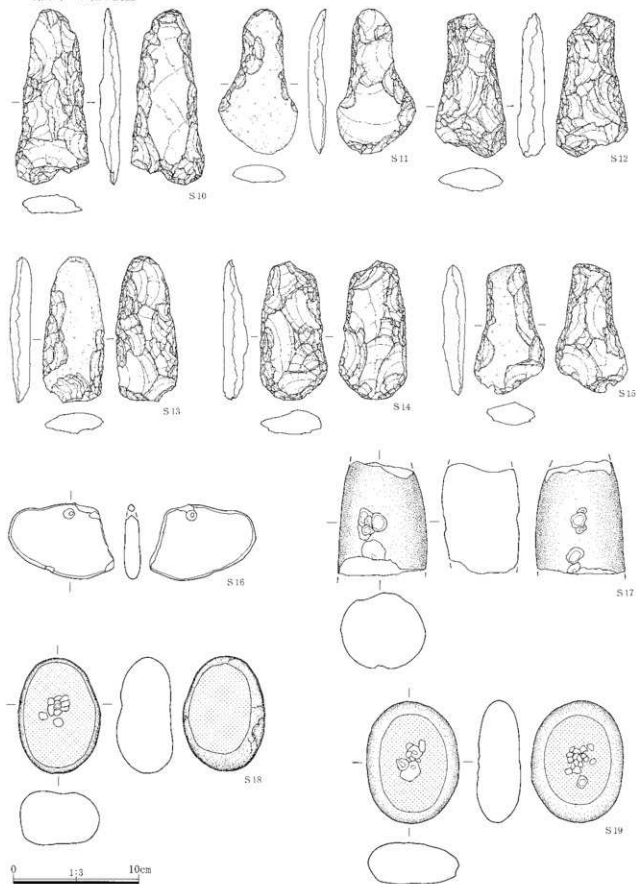
番号	出土位置	器種	残存状態	焼成 色	色調 番号	胎土	分類	文様
P77	埋没土	浅鉢	底部	普通	7.5YR6/6	φ1~3mmの砂粒	諾織り式(中)	底部上げ直で高台状になる。横位の整形痕。
P78	埋没土	浅鉢	底部破片	良	明赤褐 5YR5/8	φ1~3mmの小石	諾織り式(古)	縄文原体LR。
P79	埋没土	浅鉢	口縁破片	普通	赤褐 2.5YR4/6	φ1~3mmの小石	諾織り式	口縁に凸帯が廻る。凸帯には圧痕。縄文原体LR。
P80	埋没土	深鉢	口縁破片	良	褐 7.5YR4/3	細かい砂粒	格子目文土器	口縁に筋みを持ち縦筋状になる。巾5mmの平織竹管による平行沈線で格子目文を作る。沈線間に点刺文が充填される部分もある。交点に凹形の彫突。
P81	No169	深鉢	口縁破片	普通	橙 7.5YR6/6	細かい砂粒	諾織り式(中)	浮線による文様彫文。浮線には矢羽根状の筋み。粘土層を貼り付け器面を表現する。沈線間に点刺文が充填される部分もある。交点に凹形の彫突。
P82	No149	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐 2.5YR5/6	細かい砂粒	諾織り式(中2)	平行沈線による文様区画。粘土層を貼り付け器面を表現する。
P83	No150	深鉢	口縁破片	普通	橙 7.5YR6/6	細かい砂粒	諾織り式(中2)	粘土層貼付による器面表現。
P84	No237	粘土塊	破片	普通	橙 5YR6/8	—	—	—
P85	No238	粘土塊	破片	普通	橙 5YR6/8	—	—	—
P86	No239	粘土塊	破片	普通	橙 5YR6/8	—	—	—
P87	No240	粘土塊	破片	普通	橙 5YR6/8	—	—	—
P88	No241	粘土塊	破片	普通	橙 5YR6/8	—	—	—
P89	No242	粘土塊	破片	普通	橙 5YR6/8	—	—	—
P90	No243	粘土塊	破片	普通	橙 5YR6/8	—	—	—



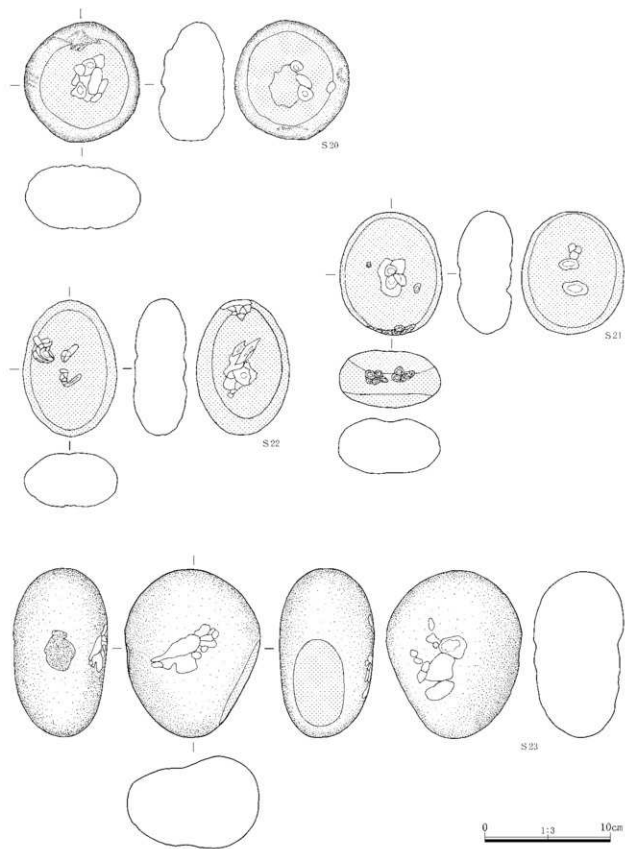
第6章第30図 IV区J3(4)号住居出土縄文石器1)



第6章 IV区の調査

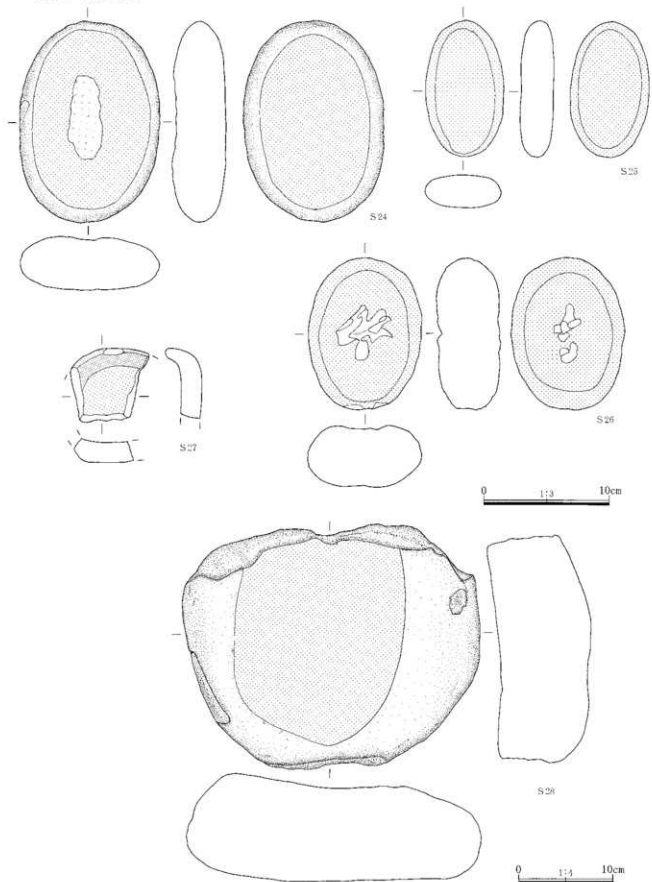


第6章第31回 IV区J3(4)号住居出土縄文石器2

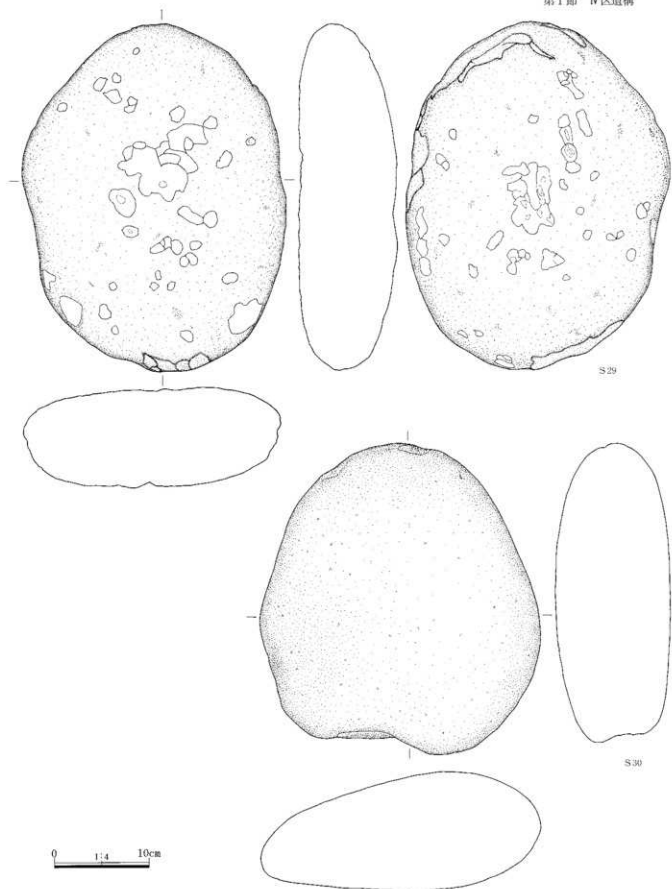


第6章第32回 IV区J3(4)号住居出土縄文石器3)

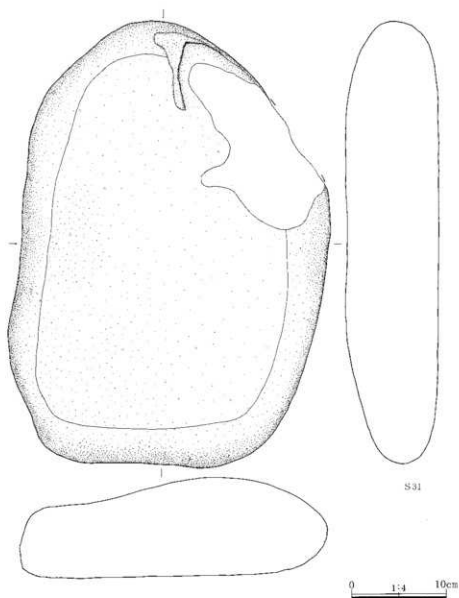
第6章 IV区の調査



第6章第33図 IV区J3(4)号住居出土縄文石器4)



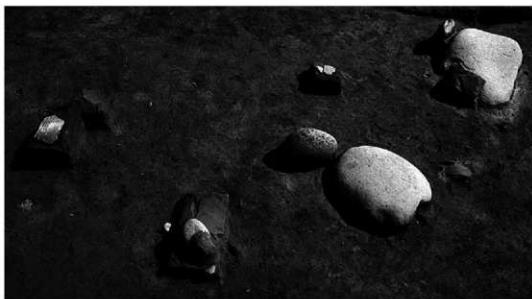
第6章第34回 IV区J3(4)号住居出土縄文石器5)



第6章第35図 IV区J3(4)号住居出土縄文石器(6)

第6章表7 IV区J3(4)号住居出土縄文石器観察表(第6章第30~35図、PL.39~41)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	埋没土	石鏃	一部欠損	(1.75)	(1.30)	0.40	0.60	黒曜石	黒曜岩	—
S2	埋没土	石鏃	完形	1.90	2.00	0.30	0.88	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鎌。凹基。
S3	埋没土	石鏃	先端部欠損	(1.90)	1.50	0.40	0.86	黒色安山岩	無珣晶質安山岩	二等辺三角形無茎鎌。凹基。
S4	Na105	石鏃	先端部欠損	(1.90)	2.10	0.40	1.00	赤碧玉	鉄石英(赤玉石)	正三角形無茎鎌。凹基。
S5	埋没土	石鏃	一部欠損	2.40	1.85	0.50	1.45	黒色安山岩	無珣晶質安山岩	二等辺三角形無茎鎌。凹基。
S6	埋没土	石鏃	完形	2.40	5.00	0.90	7.60	注化凝灰岩	流紋岩	横型石鏃。左右対称。
S7	埋没土	石鏃	完形	6.90	3.90	0.90	24.20	黒色頁岩	—	縦型石鏃。左右非対称。
S8	埋没土	石鏃	完形	4.45	6.55	0.80	20.70	黒色頁岩	—	横型石鏃。左右対称。
S9	埋没土	石鏃	上下端欠損	(5.80)	2.80	1.50	18.90	黒色頁岩	—	刃部破損。
S10	Na63	打製石斧	一部欠損	13.80	5.80	1.60	130.20	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S11	Na94	打製石斧	完形	11.40	6.10	1.40	101.50	黒色頁岩	砂岩	楕形石斧。1面表面残存。
S12	埋没土	打製石斧	一部欠損	11.30	5.70	2.10	140.80	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S13	埋没土	打製石斧	完形	11.50	4.80	1.70	108.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。1面表面残存。
S14	埋没土	打製石斧	一部欠損	11.00	5.40	1.90	119.60	黒色頁岩	頁岩	短冊形石斧。
S15	埋没土	打製石斧	一部欠損	10.20	5.80	1.80	107.20	黒色頁岩	頁岩	楕形石斧。1面表面残存。
S16	Na104	礫石	一部欠損	5.90	(7.60)	1.30	72.00	牛伏砂岩	—	直径約4mmの孔1ヶ所有。
S17	埋没土	凹石	上下端欠損	(9.00)	6.90	6.00	472.00	ダイヤサイト	中粒凝灰岩	2面使用。
S18	埋没土	磨石	完形	9.10	6.50	4.30	386.00	文象理岩	ヒン岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S19	Na03	磨石	完形	9.60	7.30	3.50	378.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S20	埋没土	磨石	完形	9.40	9.10	5.00	585.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S21	埋没土	磨石	完形	9.70	8.00	4.40	484.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。1面に最打痕。
S22	埋没土	磨石	完形	10.70	7.40	4.20	472.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S23	埋没土	凹石	完形	13.30	10.60	7.30	1,470.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。1面を磨石として使用。
S24	埋没土	凹石	完形	15.90	11.00	4.20	995.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。1面を磨石として使用。
S25	埋没土	磨石	完形	10.70	6.10	2.60	279.00	黒色頁岩	頁岩	全面使用。
S26	Pin 4埋没土	凹石	完形	12.00	9.00	5.00	785.00	石英閃緑岩	石英閃緑岩	2面使用。2面を磨石としても使用。
S27	埋没土	石皿	破片	(5.80)	(6.20)	3.10	78.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。
S28	埋没土	石皿	1/2	24.30	(31.30)	11.10	14,350.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。
S29	Na108	台石	完形	36.80	28.10	10.50	14,950.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S30	Na09	台石	完形	32.30	29.60	12.40	17,350.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。
S31	Na107	台石	一部欠損	43.60	32.60	10.40	27,400.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。



第6章写真6 IV区J3(4)号住居遺物出土状況[北→]

第6章 IV区の調査

(4) J 4 (2)号住居

位置：Dx-39・40G、Dy-39・40G、Dz-39・40G

時期：縄文時代前期に比定される。

重複：倒木痕5カ所との重複が認められた。

形状：4期にわたる調査期間の中で、住居中央部で調査区が分かれ、埋め戻しをした後に再度発掘を実施したために、住居西側の検出状況が一部不明瞭である。しかしながら、東側の検出状況から、住居の形状は円形であると推定される。

規模：住居の規模は、直径約7.4mであると推定される。

面積：住居床面の面積は、約35.33㎡である。但し、これは東側半分の面積であり、住居全体では、約70㎡であると推定される。

覆土：覆土は、9層に分かれる。遺物は、2層

に多く含まれている。

床面：床面は、一部倒木痕により攪乱されているが、比較的平坦である。

炉：炉は、住居中央部に1基検出された。炉は円形を呈し、規模は直径約1.5mである。

埋設土器：埋設土器は、検出されなかった。

柱穴：柱穴は、4基検出された。規模は、以下の通りである。

(P 1) 直径約45cm・深さ約25cm、覆土は4層

(P 2) 直径約30cm・深さ約20cm、覆土は2層

(P 3) 直径約35~40cm・深さ約25cm、覆土は3層

(P 4) 直径約35cm・深さ約25cm、覆土は2層

周溝：周溝は、検出されなかった。

遺物：遺物は、石鏃が1点出土した。



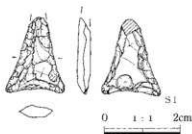
第6章写真7 IV区J 4 (2)号住居全景 [西→]



第6章写真8 IV区J 4 (2)号住居全景 [東→]



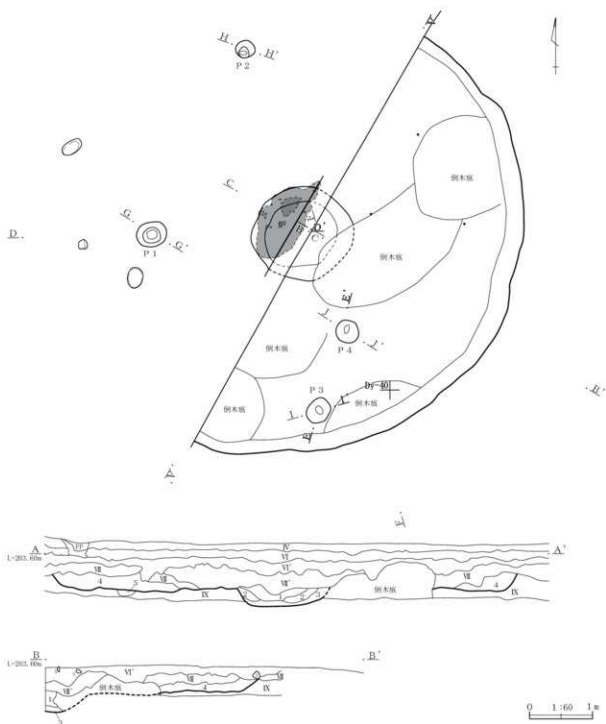
第6章写真9 IV区J 4 (2)号住居炉全景 [東→]



第6章第36図 IV区J 4 (2)号住居出土縄文石器

第6章表8 IV区J 4 (2)号住居出土縄文石器観察表 (第6章第36図、PL.42)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	埋設土	石鏃	尖端部欠損	(2.00)	1.60	0.35	0.92	黒色頁岩	細粒凝灰岩	二等辺三角形無茎部。凹基。

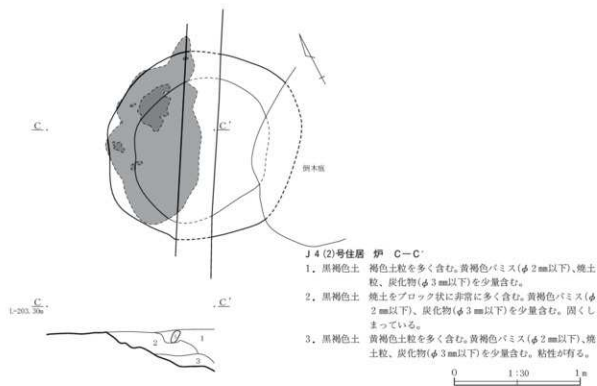


IV区J4(2)号住居 A-A'、B-B'

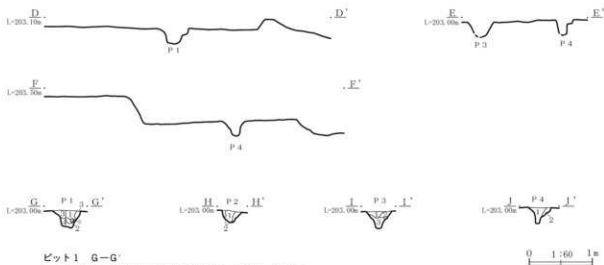
1. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色バミス(φ2mm以下)、焼土粒、炭化物(φ3mm以下)を少量含む。
2. 黒褐色土 焼土をブロック状に非常に多く含む。黄褐色バミス(φ2mm以下)、炭化物(φ3mm以下)を少量含む。固くしまっている。
3. 黒褐色土 黄褐色土粒を多く含む。黄褐色バミス(φ2mm以下)、焼土粒、炭化物(φ3mm以下)を少量含む。粘性が有る。
4. 黒褐色土 黄褐色バミス(φ2mm以下)、炭化物(φ2mm以下)を少量含む。褐色土粒を多く含む。やや固くしまっている。
5. 黒褐色土 黄褐色バミス(φ2mm以下)、褐色土粒、黄褐色土粒を少量含む。柱穴か？
- Ⅵ. 黒褐色土 FA粒、ブロック(φ30mm以下)を非常に多く含む。
- Ⅶ. 黒褐色土 黄褐色バミス(φ3mm以下)、褐色土粒を含む。
- Ⅷ. 黒褐色土 黄褐色バミス(φ3mm以下)を含む。
- Ⅸ. 黒褐色土 黄褐色バミス(φ3mm以下)、褐色土粒を含む。
- Ⅹ. 黒褐色土 黄褐色バミス(φ3mm以下)を少量含む。褐色土粒、ブロック(φ50mm以下)を多く含む。
- Ⅺ. 黄褐色土 黒褐色土粒を含む。
- Ⅻ. 黄褐色土 黒褐色土粒を含む。

\* 1～3層は炉理改土





第6章第38図 IV区J4(2)号住居炉



**ビット1 G—G'**

1. 暗褐色土 黄褐色土粒をやや多く含む。炭化物を少量含む。
2. 黒褐色土 黄褐色バミス(φ2mm以下)、黄褐色土粒を少量含む。粘性が有り、非常に固くしまっている。
3. 暗褐色土 黄褐色土粒を少量含む。粘性が有り、固くしまっている。
4. 黒褐色土 黄褐色土粒を少量含む。粘性が有り、固くしまっている。

**ビット2 H—H'**

1. 暗褐色土 黄褐色土粒をやや多く含む。炭化物を少量含む。
2. 暗褐色土 黄褐色土粒を非常に多く含む。

**ビット3 I—I'**

1. 暗褐色土 黄褐色土粒を多く含む。黄褐色バミス(φ1mm以下)、炭化物を少量含む。
2. 暗褐色土 黄褐色土粒を非常に多く含む。黄褐色バミス(φ1mm以下)を少量含む。

**ビット4 J—J'**

1. 黒褐色土 暗褐色土粒、黄褐色バミス(φ1mm以下)、炭化物を少量含む。
2. 暗褐色土 黒褐色土粒、黄褐色バミス(φ1mm以下)、炭化物を少量含む。
3. 暗褐色土 黄褐色土粒を多く含む。黄褐色バミス(φ1mm以下)、炭化物を少量含む。粘性が有る。

第6章第39図 IV区J4(2)号住居・ビット断面

2. 配石遺構

IV区縄文面から、配石遺構が1基検出された。

(1) IV区J1号配石遺構

位置：Ds-37・38G、Dt-37・38Gから検出された。

規模：長軸(南北)約6.5m・短軸(東西)約3.5mの規模である。

土層：土層は、1層である。

遺物：土器4点・石器2点が出土した。

(土器) 踏碇b式の深鉢4点が出土した。

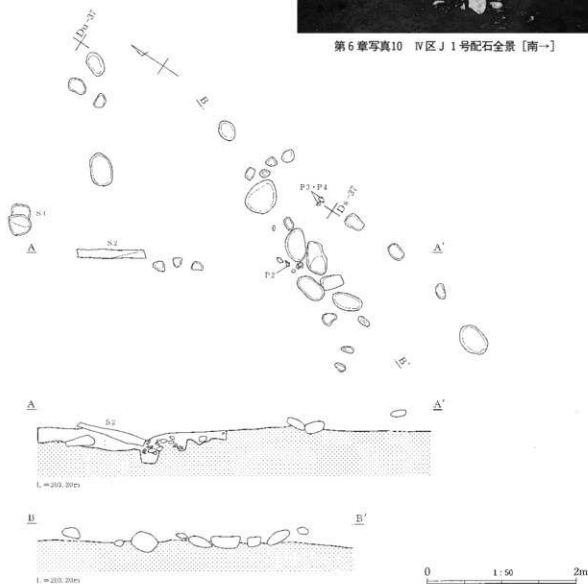
(石器) 多孔石1点・石棒1点が出土した。

重複：重複は、認められなかった。

備考：本配石遺構の石棒は、検出時には倒れていたが、断面を観察すると、ビットが認められるため、石棒は、垂直に立てられていた可能性が高い。

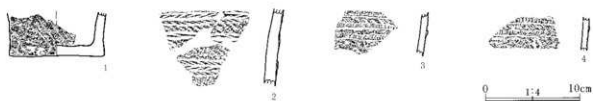


第6章写真10 IV区J1号配石全景【南→】



第6章第40図 IV区J1号配石

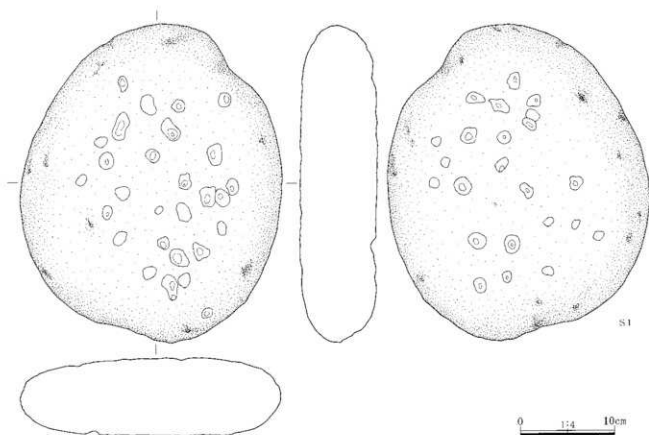
第6章 IV区の調査



第6章第41図 IV区J1号配石出土縄文土器

第6章表9 IV区J1号配石出土縄文土器観察表 (第6章第41図、PL.43)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎土	分類	文 様
					色	番号			
P 1	No.5	深鉢	底部	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文部体RL横。附加糸1横。
P 2	No.4	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線槽位区画。浮線には矢羽眼状の刻み。縄文部体RL。
P 3	No.1	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR7/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	間隔の狭い爪形文。間には刻みのある隆線。4と同一個体。
P 4	No.1	深鉢	破片	普通	橙	5YR6/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	3と同一個体。



第6章第42図 IV区J1号配石出土縄文土器

第6章表10 IV区J1号配石出土縄文土器観察表 (第6章第42図、PL.43)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A		
								B		
S 1	No.6	多孔石	完形	33.40	27.70	8.20	10,750.00	粗粒輝石安山岩	角閃石輝石安山岩	2面を使用。
S 2	No.7	石埴	完形	93.50	10.00	9.50	1,842.00	粗粒輝石安山岩	—	柱状胎理をそのまま使用。

3. 集石

IV区縄文面から、集石遺構が2基検出された。

(1) IV区J1号集石

位置：Eb-46Gから検出された。

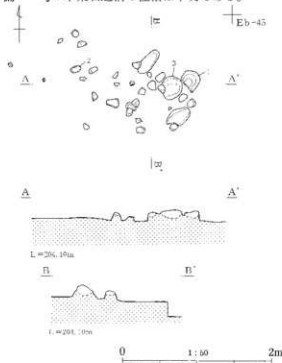
規模：長軸（東西）約2m・短軸（南北）約1.4mの規模である。

土層：土層は、不明である。

遺物：石器3点が出土した。内訳は、石皿1点・磨石1点・多孔石1点である。

重複：重複は、認められなかった。

備考：本集石遺構の性格は不明である。



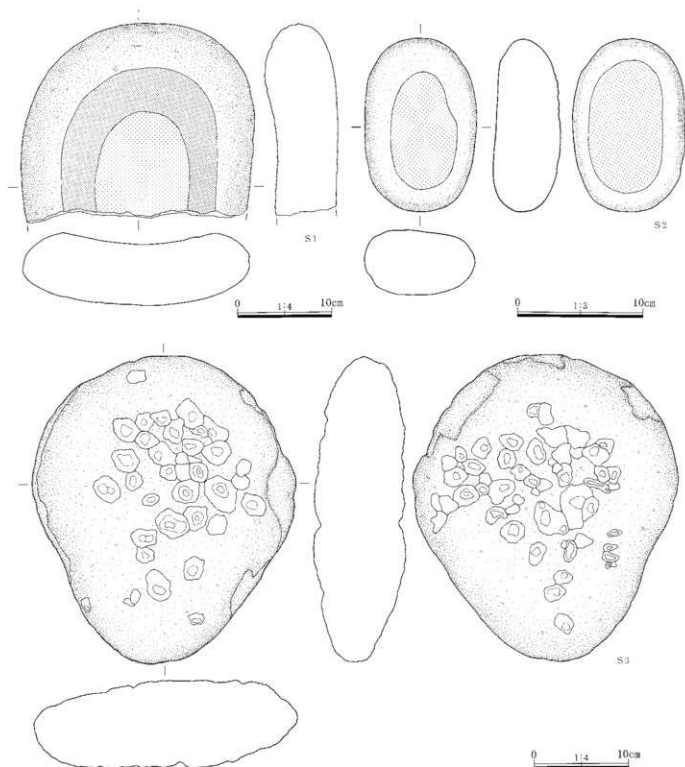
第6章写真11 IV区J1号集石遺物出土状況〔西→〕

第6章第43図 IV区J1号集石



第6章写真12 IV区J1号集石遺物出土状況（近接）〔西→〕

第6章 IV区の調査



第6章第44図 IV区J1号集石出土縄文石器

第6章表11 IV区J1号集石出土縄文石器観察表 (第6章第44図、PL.44・45)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1 No.5	石皿	1/2		29.40	34.50	7.30	5,800.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。
S2 No.7	磨石	完形		13.70	8.80	5.40	1,020.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S3 No.6	多孔石	完形		32.50	27.90	9.50	9,500.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。

## (2) IV区J 2号集石

位 置：Dj-39Gから検出された。

規 模：長軸（東西）約1m・短軸（南北）約0.6mの規模である。

土 層：土層は、不明である。

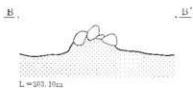
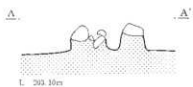
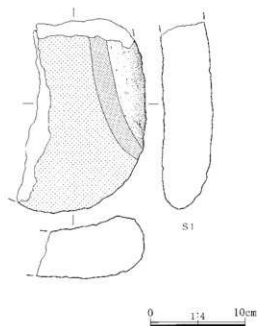
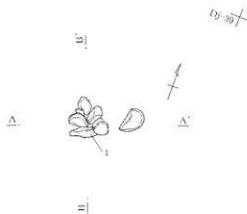
遺 物：破損した石皿1点が出土した。

重 複：重複は、認められなかった。

備 考：本集石遺構の性格は不明であるが、破損した石皿に6点の石を載せた状態で検出されている。何らかの廃棄に伴う儀礼であろうか。



第6章写真13 IV区J 2号集石全景【南→】



第6章第45図 IV区J 2号集石・出土縄文石器

第6章表12 IV区J 2号集石出土縄文石器観察表（第6章第45図、PL.45）

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1 No.1	石皿	破片		20.20	13.70	6.70	2,300.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	録存。1面使用。

第6章 IV区の調査

4. 埋甕

IV区縄文面から、埋甕遺構が1基検出された。

(1) IV区J1号埋甕

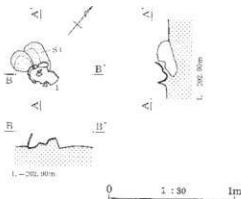
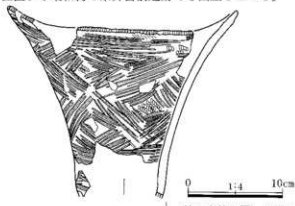
位置：Di-40Gから検出された。

遺物：浮島II式土器深鉢1点・石皿1点が検出。

備考：浮島式土器の主体分布圏は、茨城県・千葉県・栃木県・埼玉県東部であるが、本遺跡の北部に位置する昭和村の糸井宮前遺跡でも出土している。



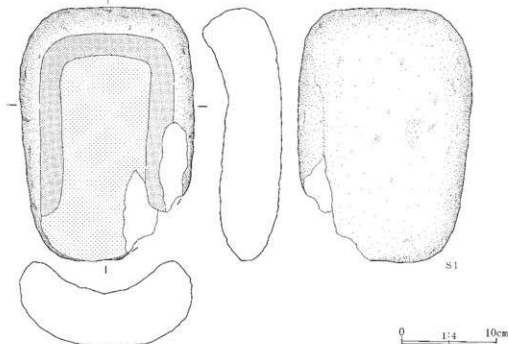
第6章写真14 IV区J1号埋甕遺物出土状況〔南→〕



第6章第46図 IV区J1号埋甕・出土縄文土器

第6章表13 IV区J1号埋甕出土縄文土器観察表 (第6章第46図、PL.45)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	胎土		分類	文様	
					色	番号			
P1	1号埋甕	深鉢	口縁~胴部 口・(24.4) 高・20.0㎝	普通	にぶい	7.3YR5/3	黒かい砂粒	浮島II式	口縁に竹管刺突、大きな2単位波状になる。 口縁部半縦竹管による変形文。



第6章第47図 IV区J1号埋甕出土縄文石器

第6章表14 IV区J1号埋甕出土縄文石器観察表 (第6章第47図、PL.46)

番号	出土位置	器種	残存状態	行測値 (cm)			重量 (g)	石		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	No.2	石皿	一部欠損	26.70	18.20	9.10	5,150.00	粗粒輝石安山岩	細石安山岩	縁存。1面使用。

## 5. 遺物集中

IV区縄文面から、遺物集中遺構が6カ所検出された。

## (1) IV区J1(2)号遺物集中

位置：DI-45Gから検出された。

規模：長軸(南北)約1.7m・短軸(東西)約1mの規模である。

土層：土坑状の掘り込みは、認められなかった。

遺物：遺物は、諸磯式縄文土器深鉢片が7点出土した。内訳は、諸磯a式1点・諸磯b式5点・諸磯式1点である。これらの土器の内、No1は4点・No2は6点・No3は2点・No5は2点・No6は6点を接合して復元している。

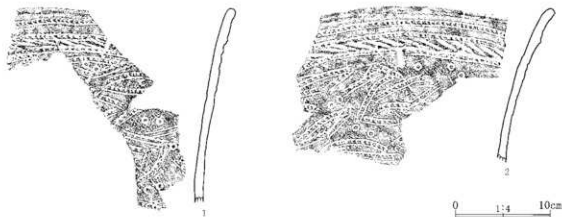
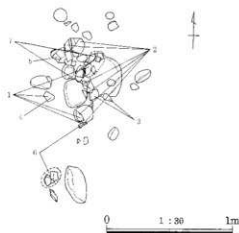
なお、この遺物集中から石も多数検出されたが、明らかな遺物として認められたものはなかった。

重複：重複は、認められなかった。

備考：本遺構の性格は、不明である。



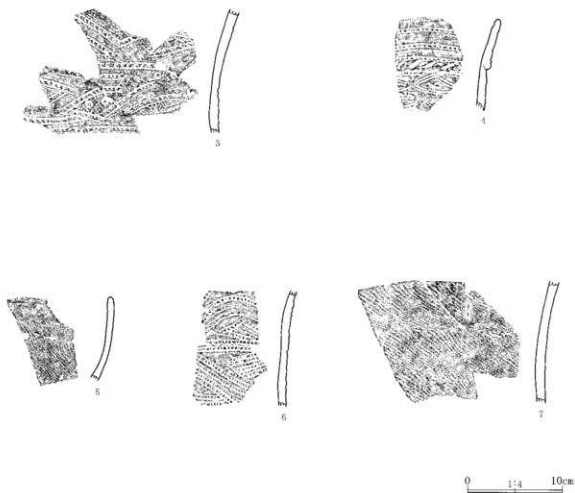
第6章写真15 IV区J1(2)号遺物集中全景【南→】



第6章第48図 IV区J1(2)号遺物集中・出土縄文土器(1)



第6章 IV区の調査



第6章第49図 IV区J1(2)号遺物集中出土縄文土器(2)

第6章表15 IV区J1(2)号遺物集中出土縄文土器観察表(第6章第48・49図、PL.46)

番号	旧遺物番号 出土位置	部種	残存状態	色調		胎土	分類	文様	
				焼成 色	番号				
P1	2号 No.4・5・7・ 15, 埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(古)	巾5mmの半藁竹管による平行沈線と爪形文により木葉文を描く。口縁部に角みを持つ隆線が廻る。磨り削し縄文。縄文原形RL。
P2	2号 No.3, 埋没土	深鉢	口縁	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(古)	1・3と同一個体。
P3	2号 No.5・6	深鉢	破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(古)	1・2と同一個体。
P4	2号 No.16・17	深鉢	口縁破片	普通	暗赤褐色	5YR3/2	φ1mmの小石多い	諸磯b式(古)	巾4mmの半藁竹管による平行沈線と爪形文。角みを持つ隆線が喉位に廻る。頸部に巾4mmの並行沈線による木葉文。
P5	2号 No.14, 埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯a式	附加条1種縄文。縄文原形RL。
P6	2号 No.9	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(古)	巾4mmの半藁竹管による平行沈線と爪形文によるe字、釣り針状文。
P7	2号 No.2	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯式	結節縄文。縄文原形RL。

## (2) IV区J2(3)号遺物集中

位置：Dc-41・42G、Dd-41・42Gから検出された。

規模：長軸（北西～南東）約2.7m・短軸（北東～南西）約1.5mの規模である。

土層：土坑状の掘り込みは、認められなかった。

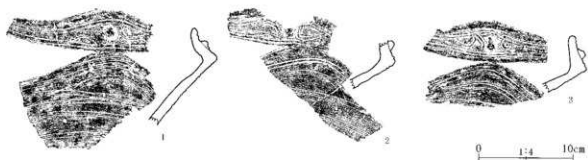
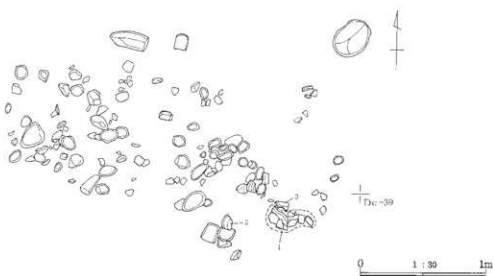
遺物：遺物は、諸磯b式深鉢3点が出土している。

重複：重複は、認められなかった。

備考：本遺構の性格は、不明である。



第6章写真16 IV区J2(3)号遺物集中全景〔西→〕



第6章第50図 IV区J2(3)号遺物集中・出土縄文土器

第6章表16 IV区J2(3)号遺物集中出土縄文土器観察表（第6章第50図、PL.47）

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	形状	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	3号 No.26	深鉢	口縁破片	貝	明赤褐色	5YR5/8	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(新)	口縁くつ先状に屈曲、波状口縁御鉢部に粘土層 貼付。巾5mmの平行波線による横位区画。口縁 部文様は釣り針状文。2・3と同一個体。
P2	3号 No.25・26	深鉢	口縁破片	貝	明赤褐色	5YR5/8	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(新)	1・3と同一個体。
P3	3号 No.21	深鉢	口縁破片	貝	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(新)	1・2と同一個体。

第6章 IV区の調査

(3) IV区J3(4)号遺物集中

位置：Db-41G・Dc-41Gから検出された。

規模：長軸（南北）約3m・短軸（東西）約2mの規模である。

土層：土坑状の掘り込みは、認められなかった。

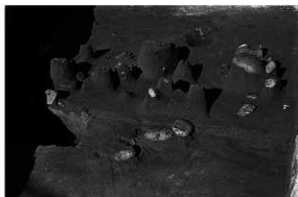
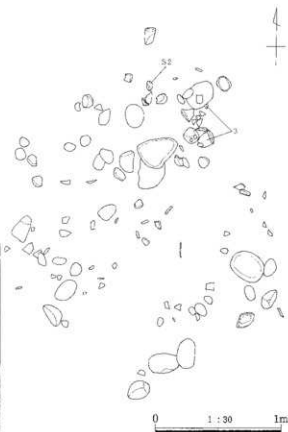
遺物：遺物は、土器と石器が検出された。

（土器） 諸磯b式深鉢3点が出土。

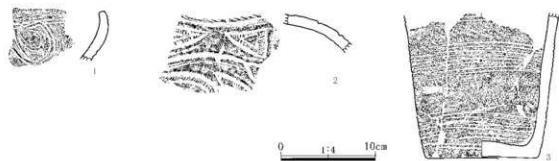
（石器） 磨石1点・凹石1点が出土。

重複：重複は、認められなかった。

備考：本遺構の性格は、不明である。



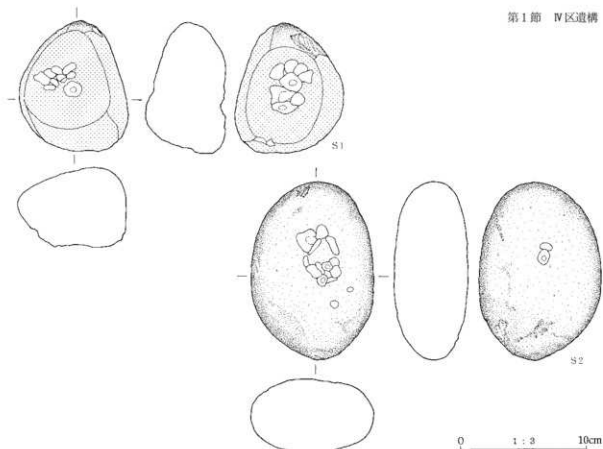
第6章写真17 IV区J3(4)号遺物集中遺物出土状況  
[南→]



第6章第51図 IV区J3(4)号遺物集中・出土縄文土器

第6章表17 IV区J3(4)号遺物集中出土縄文土器観察表（第6章第51図、PL.47）

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	焼成 色	色調		胎土	分類	文様
					番号	番号			
P1	4号 No17	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐色	5YR4/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線を集約化させ渦巻文を作る。縄文器体R1。
P2	4号 埋没土	有孔浅鉢	破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中)	沈線を5~8mm並行させ爪形文を施文し、本葉文を描く。
P3	4号 No17・20	深鉢	胴部~底部	普通	にぶい黄褐色	10YR2/4	φ1~2mmの小石、 白色粒	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。縄文器体R1。



第6章第52図 IV区J3(4)号遺物集中出土縄文石器

第6章表18 IV区J3(4)号遺物集中出土縄文石器観察表 (第6章第52図、PL.47)

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	4号 埋没土	磨石	完形	10.40	8.40	5.80	610.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	3面使用。2面を凹石として使用。
S2	4号 No.6	凹石	完形	14.10	9.70	5.80	800.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。

## (4) IV区J4(5)号遺物集中

位 置：De-42・43Gから検出された。

規 模：長軸（東西）約10m・短軸（南北）約4mの規模である。

土 層：土坑状の掘り込みは、認められなかった。

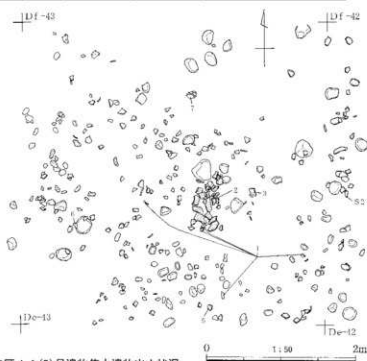
遺 物：遺物は、土器と石器が検出された。

（土器）諸磯b式深鉢6点・諸磯c式深鉢1点・諸磯式ミニチュア土器1点が出土。

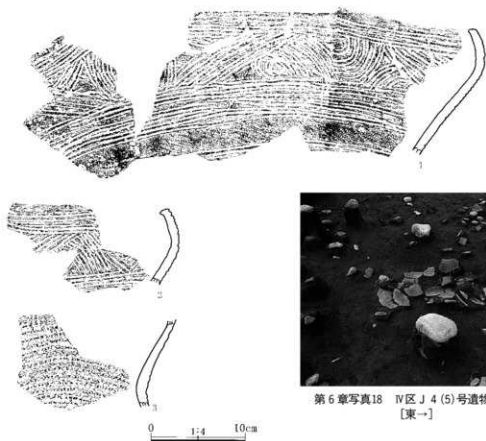
（石器）石錐1点・打製石斧1点が出土。

重 複：重複は、認められなかった。

備 考：本遺構の性格は、不明である。



第6章第53図 IV区J4(5)号遺物集中遺物出土状況

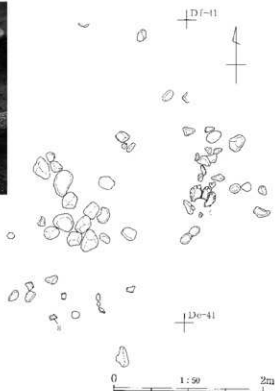
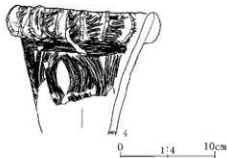


第6章写真18 IV区J4(5)号遺物集中遺物出土状況  
【東→】

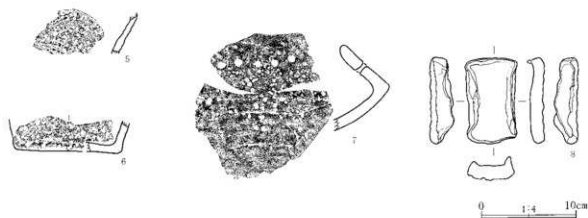
第6章第54図 IV区J4(5)号遺物集中出土縄文土器1)



第6章写真19 IV区J4(5)号遺物集中  
P4出土状況【北→】



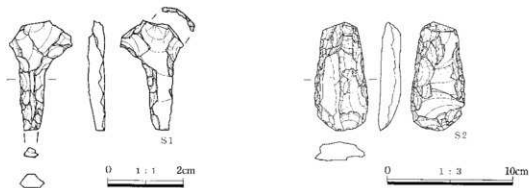
第6章第55図 IV区J4(5)号遺物集中・出土縄文土器2)



第6章第56図 IV区J4(5)号遺物集中出土縄文土器(3)

第6章表19 IV区 J4(5)号遺物集中出土縄文土器観察表 (第6章第54~56図、PL.48)

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	色 調		胎 土	分 類	文 様	
				焼成 色	調 番号				
P1	5号 No40・66・78・ 129	深鉢	口縁	普通	暗赤褐色	5YR3/2	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	巾5mmの平行沈線横位区画。口縁部斜線、弧線文。縄文原体RL。2と同一個体。
P2	5号 No79	深鉢	口縁	普通	暗赤褐色	5YR3/2	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	1と同一個体。
P3	5号 No73・101	深鉢	口縁破片	普通	明褐色	7.5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位施文。浮線には爪形文が施された。縄文原体RL。
P4	5号 No199	深鉢	口縁一部 口・14.6 高・13.3残	普通	にじみ色	5YR6/4	φ1~3mmの小石	諸磯c式(古)	内面スス付着。口縁に棒状見付文、沈線による対弧文。
P5	5号 No64	深鉢	口縁破片	良	明赤褐色	2.5YR5/6	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には爪形文が施文。区画内にはφ1mm以下の刺突によりアーチ形の弧線が施される。縄文原体RL。
P6	5号 No197	深鉢	底部破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1~3mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中)	縄文原体RL。
P7	5号 No88	深鉢	口縁破片	良	明褐色	7.5YR5/6	φ1~3mmの小石、 軽石粒	諸磯b式	φ5~6mmの孔列が口縁に穿る。
P8	5号 No145	ミニチュ ア土器	破片	普通	にじみ色	7.5YR6/4	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯式	石皿の土製模造品。



第6章第57図 IV区J4(5)号遺物集中出土縄文石器

第6章表20 IV区J4(5)号遺物集中出土縄文石器観察表 (第6章第57図、PL.48)

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	5号 No82	石鏃	刃部破損	2.82	1.64	0.37	1.46	珪質頁岩	細粒凝灰岩	刃部長さ約18mm、幅約5mm。
S2	5号 No46	打製石斧	上端部欠損	8.50	4.20	1.60	69.40	黒色頁岩	—	短冊形石斧。

第6章 IV区の調査

(5) IV区J5(6)号遺物集中

位置：Dm-45・46Gから検出された。

規模：約1.3m四方の規模である。

土層：土坑状の掘り込みは、認められなかった。

遺物：土器と石器が検出された。

(土器) 諸磯b式深鉢2点が出土している。

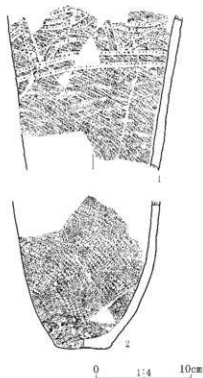
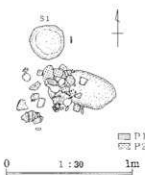
(石器) 石皿1点が出土している。

重複：重複は、認められなかった。

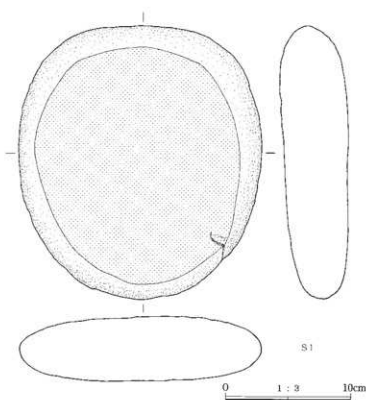
備考：本遺構の性格は、不明である。



第6章写真20 IV区J5(6)号遺物集中遺物出土状況  
[南→]



0 1:4 10cm



0 1:3 10cm

第6章第58図 IV区J5(6)号遺物集中・出土縄文土器・石器

第6章表21 IV区J5(6)号遺物集中出土縄文土器観察表 (第6章第58図、PL.49)

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	6号、No.2~4・ 7・8・12・18・ 19・21・23~27・ 33	深鉢	胴部	普通	暗赤褐	5YR3/3	φ1~3mmの小 石、軽石粒	諸磯b式(古) 石、軽石粒	巾4mmの平織竹管による平行沈線瓦形文により 横位区画し、区画内を縦位に分割する。縦 区画内を対向する弧線文を施文。縄文原形 RL。
P2	6号、No.1・6・ 9~11・13・14・ 17・18・20	深鉢	胴部~底部	普通	明褐	7.5YR3/6	φ1~3mmの小 石、軽石粒	諸磯b式(古) 石、軽石粒	縄文原形 RL。

第6章表22 IV区J5(6)号遺物集中出土縄文石器観察表 (第6章第58図、PL.49)

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	6号 No.34	石皿	完形	21.70	19.10	5.20	3,040.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。

## (6) IV区J6(7)号遺物集中

位置：Db-41・42Gから検出された。

土層：土坑状の掘り込みは、認められなかった。

遺物：遺物は、土器と石器が検出された。

(土器) 諸磯b式深鉢2点・有孔浅鉢1点が出土。

(石器) 石皿1点が出土している。

重複：重複は、認められなかった。

備考：本遺構の性格は、不明である。



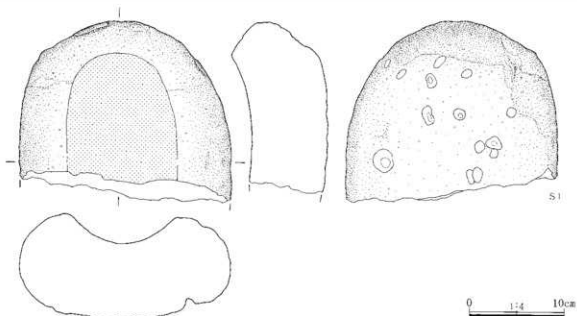
第6章写真21 IV区J6(7)号遺物集中遺物出土状況【南→】



第6章第59図 IV区J6(7)号遺物集中出土縄文土器

第6章表23 IV区J6(7)号遺物集中出土縄文土器観察表 (第6章第59図、PL.50)

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	構成	色 調		胎 土	分 期	文 様
					色	調			
P1	7号	深鉢	口縁破片	長	黒褐色	10YR3/2	細か〜砂粒	諸磯b式(新)	巾4mmの平行沈線で弧線文、渦巻文を描く。
P2	7号	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	2.5YR5/6	φ1〜3mmの小石	諸磯b式(新)	面文層体肌。
P3	7号	有孔浅鉢	口縁〜胴部	良	赤褐色	5YR4/6	細か〜砂粒、黒色	諸磯b式(新)	φ8mmの扁平な孔列が口縁に廻る。無文。



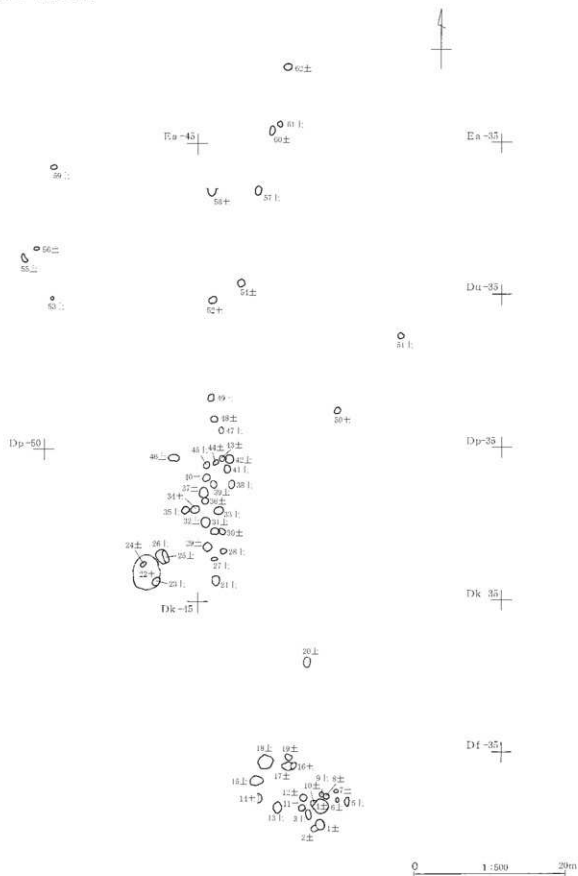
第6章第60図 IV区J6(7)号遺物集中出土縄文石器

第6章表24 IV区J6(7)号遺物集中出土縄文石器観察表 (第6章第60図、PL.50)

番号	旧遺構番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	7号 No1	石皿	1/2	(19.10)	22.30	11.20	5,860.00	滑結面灰岩	アイサイト	縁有。2面使用。1面を凹石として使用。



第6章 IV区の調査



第6章第61図 IV区縄文面 土坑位置図

## 6. 土坑

IV区縄文面から、土坑が62基検出された。

## (1) IV区J1(212)号土坑

位置：Dc-40・41Gから検出された。

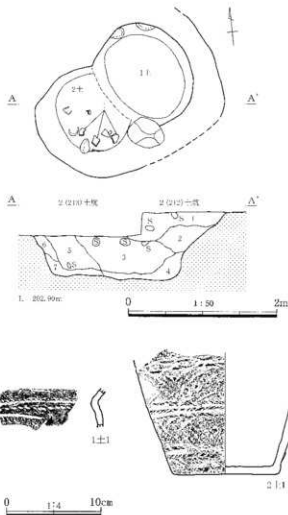
形状：不整形円形土坑

規模：長軸約1.4m・短軸約1.2m・深さ約90cm

土層：土層は、4層である。

遺物：諸磯b式土器の有孔浅鉢1点が出土した。

重複：2号土坑と重複している。新旧関係は、



第6章第62図 IV区J1(212)・J2(213)号土坑、J1(212)号土坑出土縄文土器・石器

## 第6章表25 IV区J1(212)・J2(213)号土坑出土縄文土器観察表(第6章第62図、PL.51)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	破成	色 票		胎 土	分 類	文 様
					番号	番号			
J1土 P1	J1(212)号土坑	有孔浅鉢	胴部破片	普通	褐色	7.5YR4/3	φ1mmの小石、金 雲母	諸磯b式(O)	くびね部に交互斜文。胴部に沈澱による木葉文。
J2土 P1	J2(213)号土坑 No.1・4・5	深鉢	胴部～底部	普通	紅褐色	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石、 磁石粒	諸磯b式(O)	浮線による横位区画。浮線には矢羽状の沈澱。 縄文印体 RL。

## 第6章表26 IV区J1(212)号土坑出土縄文石器観察表(第6章第62図、PL.51)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	寸法値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	J1(212)号埋没土	石皿	1/2	18.40	19.40	9.50	3,160.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁存。1面使用。

本1号土坑の方が新しい。

## (2) IV区J2(213)号土坑

位置：Dc-41Gから検出された。

形状：楕円形であると推定される。

規模：現状で、長軸約2.5m・短軸約1.5m・深さ約55cmである。

土層：土層は、3層に分かれる。

遺物：諸磯b式土器の深鉢1点・石皿1点が出土した。

重複：1号土坑と重複している。新旧関係は、本2号土坑の方が古い。

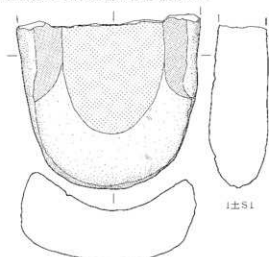
## IV区J1(212)・J2(213)号土坑

## J1(212)号土坑

- 暗褐色土 黄褐色バミス(φ2mm以下)、白色バミス(φ1mm以下)、炭化物(φ3mm以下)、礫(φ10cm以下)を含む。やや固くしまっている。
- 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色バミス(φ2mm以下)、白色バミス(φ1mm以下)、炭化物(φ3mm以下)を少量含む。
- 暗褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色バミス(φ2mm以下)、白色バミス(φ1mm以下)、炭化物(φ3mm以下)、礫(φ10cm以下)を含む。やや固くしまっている。黄褐色土粒を多く含む。やわらかい。
- 暗褐色土

## J2(213)号土坑

- 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色バミス(φ2mm以下)、白色バミス(φ1mm以下)、炭化物(φ3mm以下)、礫(φ10cm以下)を含む。やや固くしまっている。
- 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。やや固くしまっている。
- 暗褐色土 黄褐色土を多く含む。粘性が有る。



第6章 IV区の調査

(3) IV区J3(209)号土坑

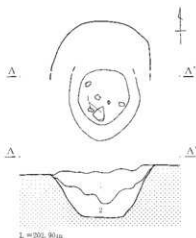
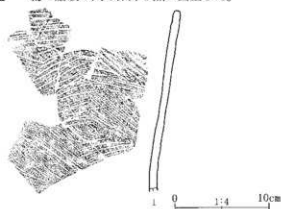
位置：Dc-41G、Dd-41Gから検出された。

形状：南半が不明であるが、恐らく、楕円形土坑であると推定される。

規模：現状で、長軸約(1.55m)・短軸約1.3m・深さ約60cmである。

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：諸磯b式の深鉢1点が出土した。



IV区J3(209)号土坑

1. 黒褐色土 礫(φ5cm以下)、黄褐色バミス(φ2mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)、炭化物、褐色土粒を含む。やや粘性が有り固くしまっている。
2. 黒褐色土 礫(φ3cm以下)、黄褐色バミス(φ2mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)、炭化物を少量含む。褐色土粒を多く含む。やや粘性が有りやや固くしまっている。

第6章第63図 IV区J3(209)号土坑・出土縄文土器

第6章表27 IV区J3(209)号土坑出土縄文土器観察表(第6章第63図、PL.51)

番号	旧土坑番号	出土位置	部種	残存状態	焼成	色	番号	胎土	分類	文	種
P1	209号土坑、No.4・5	深鉢	刷部破片	平良	橙		5YR6/6	凝物粒、砂粒含む	諸磯b式(中?)	市5mmの平行沈積による変形文。釣り針状文。	

(4) IV区J6(242)号土坑

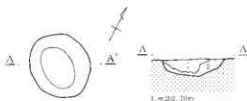
位置：Dd-40Gから検出された。

形状：円形土坑

規模：直径約80cm~90cm・深さ約20cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区J6(242)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)を含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)を少量含む。

第6章第64図 IV区J6(242)号土坑

(5) IV区J7(241)号土坑

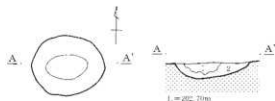
位置：Dd-40Gから検出された。

形状：楕円形土坑

規模：長軸約95cm・短軸約80cm・深さ約20cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区J7(241)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)を含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)を少量含む。

第6章第65図 IV区J7(241)号土坑

## (6) IV区J4(221)号土坑

位置：Dd-40・41Gから検出された。

形状：不整形円形土坑

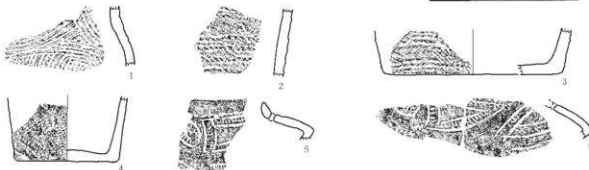
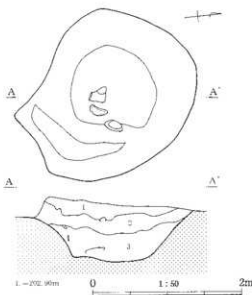
規模：長軸約2.3m・短軸約2m・深さ約75cm

土層：土層は、3層に分かれる。

遺物：諸磯b式深鉢4点・同有孔浅鉢2点が出土した。また、石匙（横型）1点・打製石斧1点が出土した。

## IV区J4(221)号土坑

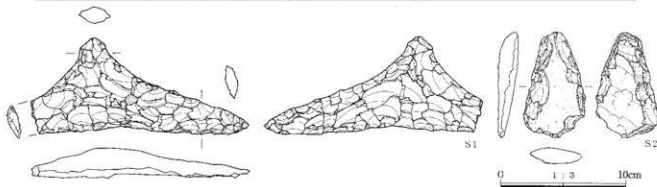
- 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色パミス(φ2mm以下)、白色パミス(φ1mm以下)、炭化物(φ3mm以下)、礫(φ5cm以下)を含む。やや固くしまっている。
- 黒褐色土 1層と同じだが、褐色土粒をより多く含む。
- 暗褐色土 黄褐色土粒を多く含む。炭化物(φ5mm以下)、礫(φ20cm以下)を含む。やわらかい。



第6章第66図 IV区J4(221)号土坑・出土縄文土器

第6章表28 IV区J4(221)号土坑出土縄文土器観察表(第6章第66図、PL.52)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成 色	測 番号	胎土	分類	文 様
P1	221号土坑	深鉢	口縁破片	黄褐色	5YR5/6	細かな砂粒	諸磯b式(中2)	0.5mmの平行波線による瓦罫・湖底文・縄文底付LR。
P2	221号土坑	深鉢	胴部破片	黄褐色	5YR5/6	細かな砂粒	諸磯b式(中2)	字幅横形無文・浮線上に縄文無文・内面ス文付着。縄文彫体付。
P3	221号土坑	深鉢	底面破片	不規則	7.5YR6/6	細かな砂粒	諸磯b式(中2)	浮線横形無文・浮線に目矢形斑状の跡のみ。縄文彫体付。
P4	221号土坑	浅鉢	口縁	黄褐色	5YR5/6	細かな砂粒	諸磯b式(中2)	内面ス文付着。縄文彫体付。
P5	221号土坑	有孔浅鉢	口縁破片	不規則	5YR5/4	φ1~2mmの小石多し	諸磯b式(中2)	口縁にφ4mmの孔列が彫る。洗線を並行させ糸形文を施文し、木葉文を描く。
P6	221号土坑	有孔浅鉢	胴部破片	黄褐色	5YR4/2	φ1~2mmの小石多し	諸磯b式(中2)	φ4mmの孔。洗線を並行させ糸形文を施文し、木葉文を描く。



第6章第67図 IV区J4(221)号土坑出土縄文土器

第6章表29 IV区J4(221)号土坑出土縄文土器観察表(第6章第67図、PL.52)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石		材	特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B		
S1	221号・N139	石匙	一部破損	2.47	(5.67)	0.64	6.37	片貫頁岩	黄褐色頁岩	横型石匙。一部表面残存。	
S2	221号・埋没土	打製石斧	完整	8.80	4.90	1.30	54.90	黒色頁岩	—	横型石斧。1面表面残存。	

第6章 IV区の調査

(7) IV区J5(210)号土坑

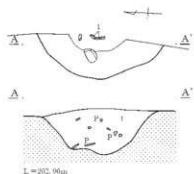
位置：Dd-40Gから検出された。

形状：東半が不明であるが、恐らく、楕円形土坑であると推定される。

規模：現状で、長軸約1.65m・短軸約(55cm)・深さ約60cm

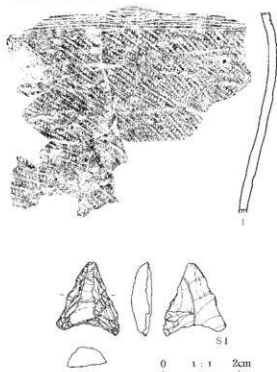
土層：土層は、1層である。

遺物：諸磯b式深鉢2点・浮島Ⅲ式深鉢2点・諸磯c式深鉢1点・同有孔浅鉢1点が出土した。また、石鏝1点が出土した。



IV区J5(210)号土坑

1. 黒褐色土 礫(φ5cm以下)、炭化物(φ1mm以下)、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、褐色土粒を含み、固くまっている。



第6章第68図 IV区J5(210)号土坑・出土縄文土器・石器

第6章表30 IV区J5(210)号土坑出土縄文土器観察表(第6章第68図、PL.52)

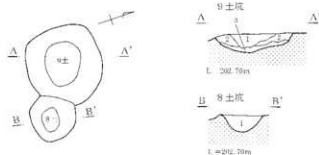
番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	色 調		胎土	分類	文 様	
				視感 色	番号				
P1	210号土坑 No.3, 埋没土	深鉢	割部破片	不具	明赤褐色	5YR5/8	石殻、砂粒含む	諸磯b式(中2)	巾3~4mmの平行沈線を集約させた横位区画、縦文脈体状。
P2	210号土坑 埋没土	深鉢	口縁破片	普通	暗赤褐色	5YR3/3	鉱物粒、砂粒含む	諸磯b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画、区画内に斜線と縦線、縦文脈体状。
P3	210号土坑 埋没土	深鉢	口縁破片	良	暗赤褐色	5YR3/2	細かい砂粒	浮島Ⅲ式	口唇に条線、三角文が散在施される。補修孔。
P4	210号土坑 埋没土	深鉢	割部破片	良	暗赤褐色	5YR3/2	細かい砂粒	浮島Ⅲ式	三角文施文。
P5	210号土坑 埋没土	深鉢	口縁破片	普通	黒褐色	5YR3/1	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画と弧線。
P6	210号土坑 埋没土	有孔浅鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	5YR5/8	砂粒、軽石殻	諸磯b式(中2)	浮線を並行させた葉文を作る。

第6章表31 IV区J5(210)号土坑出土縄文石器観察表(第6章第68図、PL.52)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	210土・No.97	石鏝	尖端部欠面	1.90	1.70	0.56	1.45	チャート	チャート	正三角形無彫、凹基。

## (8) IV区J 8 (240)号土坑

位置：Dd-40Gから検出された。  
 形状：円形土坑  
 規模：直径約60cm・深さ約20cm  
 土層：土層は、1層である。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。



## IV区J 8 (240)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 5mm以下)を含む。

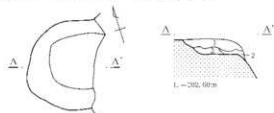
## IV区J 9 (239)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)を含む。  
 2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。  
 3. 黒褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。

## (9) IV区J 9 (239)号土坑

位置：Dd-40Gから検出された。  
 形状：円形土坑  
 規模：直径約1.1m・深さ約25cm  
 土層：土層は、3層に分かれる。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。

## 第6章第69図 IV区J 8 (240)・J 9 (239)号土坑



## IV区J 10 (238)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)を含む。  
 2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)を少量含む。  
 3. 褐色土 黒褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)を少量含む。

## (10) IV区J 10 (238)号土坑

位置：Dd-41Gから検出された。  
 形状：東半が不明であるため、形状は不明である。  
 規模：現状で、長軸約(85cm)・短軸約1.15m・深さ約20cmである。  
 土層：土層は、3層に分かれる。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。

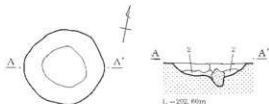
## 第6章第70図 IV区J 10 (238)号土坑

## (11) IV区J 11 (236)号土坑

位置：Dd-41Gから検出された。  
 形状：円形土坑  
 規模：直径約1m~1.1m・深さ約15cm  
 土層：土層は、2層に分かれる。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。

## (12) IV区J 12 (237)号土坑

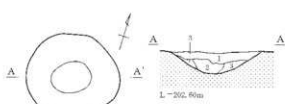
位置：Dd-41Gから検出された。  
 形状：円形土坑  
 規模：1.05m~1.25m・深さ約25cm  
 土層：土層は、3層に分かれる。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。



## IV区J 11 (236)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、白色パミス(φ 2mm以下)、糠(φ 5cm以下)を含む。  
 2. 褐色土 黒褐色土粒、白色パミス(φ 2mm以下)、糠(φ 5cm以下)を少量含む。

## 第6章第71図 IV区J 11 (236)号土坑



## IV区J 12 (237)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、白色パミス(φ 2mm以下)を含む。  
 2. 褐色土 黒褐色土粒、糠(φ 3cm以下)を含む。  
 3. 褐色土 黒褐色土粒を少量含む。

## 第6章第72図 IV区J 12 (237)号土坑

第6章 IV区の調査

⑬ IV区 J 13(214)号土坑

位置：Dd-42Gから検出された。

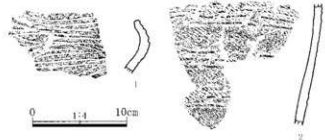
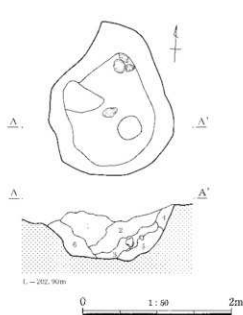
形状：不整形円形土坑

規模：長軸約2m・短軸約1.65m・深さ約55cm

土層：土層は、6層に分かれる。

遺物：諸磯b式深鉢2点・石匙2点が出土した。

性格：風倒木の可能性が高い。



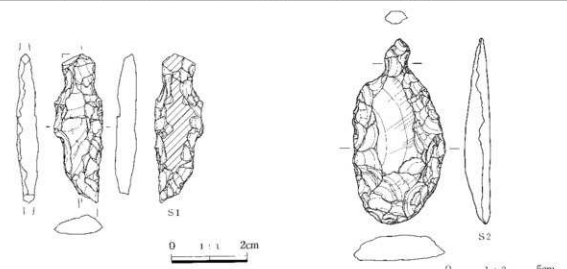
IV区 J 13(214)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、炭化物(φ2mm以下)を極少量含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ2mm以下)を含む。
3. 黒褐色土 4層と同じだが、より黒味が強い。土器片(φ10cm以下)を多く含む。
4. 褐色土 シルト質で非常にやわらかい。
5. 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ2mm以下)を含む。固くしまっている。
6. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ2mm以下)を少量含む。

第6章第73図 IV区 J 13(214)号土坑・出土縄文土器

第6章表32 IV区 J 13(214)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第73図、PL. 53)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成 色	番号	胎土	分類	文様
P 1	214号土坑	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯b式(B2) 市7mmの平行沈積による横位区画。縄文原体R1。
P 2	214号土坑	深鉢	胴部破片	不良	橙	7.5YR7/6	φ1mmの小石、軽石多い	諸磯b式(B2) 浮遊による横位区画。浮遊には矢羽根状の刻み。縄文原体R1。



第6章第74図 IV区 J 13(214)号土坑出土縄文土器

第6章表33 IV区 J 13(214)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第74図、PL. 53)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	214土・No99	石匙	一部欠損	4.00	1.30	0.58	3.25	チャート	チャート	扇型石匙。左右非対称。
S 2	214土・No131	石匙	完好	9.81	4.82	1.30	63.30	黒色頁岩	—	扇型石匙。

## 04 IV区 J 14(218)号土坑

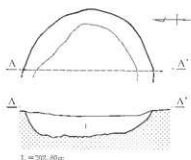
位置：Dd-42Gから検出された。

形状：西半が不明であるが、恐らく円形土坑であると推定される。

規模：現状で、長軸約1.7m・短軸約(90cm)・深さ約25cmである。

土層：土層は、1層である。

遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区 J 14(218)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ3cm以下)を多く含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)、炭化物(φ3mm以下)を少量含む。固くしまっている。

第6章第75図 IV区 J 14(218)号土坑

## 05 IV区 J 15(217)号土坑

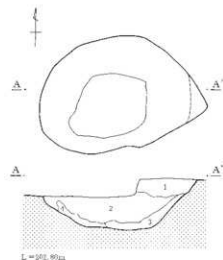
位置：De-42・43Gから検出された。

形状：楕円形土坑

規模：長軸約2.2m・短軸約1.5m・深さ約65cmである。

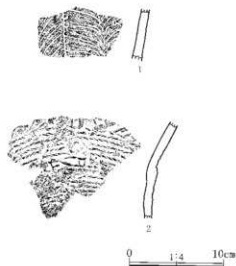
土層：土層は、4層に分かれる。

遺物：諸磯a式深鉢1点・諸磯b式深鉢1点が出土した。



IV区 J 15(217)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ3cm以下)を多く含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)、礫(φ3cm以下)を含む。固くしまっている。
2. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ3cm以下)、黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)、礫(φ5cm以下)を含む。固くしまっている。
3. 暗褐色土 黄褐色土粒、小礫(φ5mm以下)を多く含む。やわらかい。
4. 黒褐色土 黄褐色土ブロック(φ2cm以下)、小礫(φ5mm以下)を含む。



第6章第76図 IV区 J 15(217)号土坑・出土縄文土器

第6章表34 IV区 J 15(217)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第76図、PL.53)

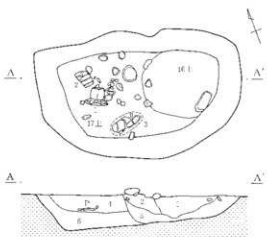
番号	出土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P 1	217号土坑	深鉢	胴部破片	普通	灰褐色	5YR5/2	細かい砂粒	諸磯a式(新)	市4mmの平行沈線による縦紋区画に肋付文。交点に円形の刺突文。
P 2	217号土坑	深鉢	胴部破片	良	橙	5YR6/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	沈線による縦文。浮線には矢羽根状の刻み。



第6章 IV区の調査

⑩ IV区 J 16(245)号土坑

位置：De-41 Gから検出された。  
 形状：円形土坑  
 規模：直径約90cm～1m・深さ約30cmである。  
 土層：土層は、3層に分かれる。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。  
 重複：IV区 J 17号土坑の東部で、重複する。新旧関係は、本 J 16号土坑の方が新しい。



⑪ IV区 J 17(244)号土坑

位置：De-41・42 Gから検出された。  
 形状：円形土坑  
 規模：長軸約2.7m・短軸約1.65m・深さ約40cm  
 土層：土層は、2層に分かれる。  
 遺物：諸磯b式深鉢3点・諸磯c式深鉢1点・諸磯a式深鉢1点が出土した。  
 重複：IV区 J 16号土坑と重複する。新旧関係は、本 J 17号土坑の方が古い。

IV区 J 16(245)・J 17(244)号土坑  
 J 16(245)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ 2 cm以下)、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 5 mm以下)、礫(φ 5 cm以下)を含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 5 mm以下)を含む。
3. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 5 mm以下)を少量含む。

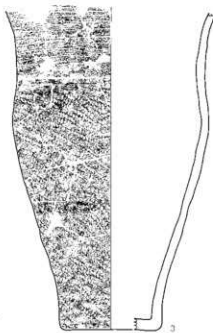
J 17(244)号土坑

4. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 5 mm以下)、礫(φ 5 cm以下)を含む。
5. 褐色土 黒褐色土、黄褐色パミス(φ 3 mm以下)、白色パミス(φ 2 mm以下)、炭化物(φ 5 mm以下)、礫(φ 5 cm以下)を少量含む。

0 1:50 2m



0 1:4 10cm



第6章第77図 IV区 J 16(237)・J 17(244)号土坑、J 17(244)号土坑出土縄文土器

第6章表35 IV区J17(244)号土坑出土縄文土器観察表(第6章第77図、PL.54)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	地成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P1	244号土坑 No.1	深鉢	口縁~胴部 口・20.0 高・21.0 最大径・28.6	普通	橙	7.5YR6/8	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁、胴縁部に粘土層貼付。浮線文横位区画。口縁部風車状渦巻文。浮線に矢羽根状の刻み。内面スス付着。縄文原形RL。
P2	244号土坑 No.2	深鉢	胴部	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1~3mmの小石 多い	諸磯b式(中2)	縄文原形Lr。
P3	244号土坑 No.6	深鉢	胴部~底部	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	くびれ部に沈線で横位区画。内面スス付着。縄文原形RL。附加糸。
P4	244号土坑	深鉢	胴部破片	良	にじい赤褐色	5YR5/3	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線は矢羽根状施文。縄文原形RL。
P5	244号土坑	深鉢	胴部破片	普通	にじい黄褐色	10YR7/4	φ1~3mmの小石	諸磯a式	巾4mmの平行沈線爪形文による本葉文。

## ⑩ IV区J18(215)号土坑

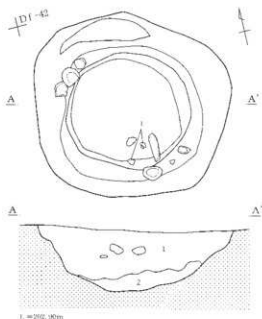
位置：De-42Gから検出された。

形状：不整形円形土坑

規模：直径約2.45m~2.65m・深さ約80cm

土層：土層は、2層に分かれる。

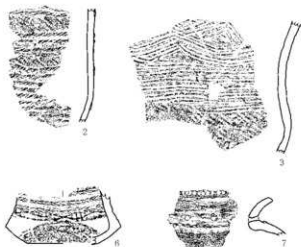
遺物：諸磯b式深鉢6点・同有孔浅鉢1点が出土した。また、磨石1点・石皿1点が出土した。



## IV区J18(215)号土坑

1. 暗褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)、礫(φ15cm以下)を含む。固くしまっている。
2. 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、礫(φ3cm以下)を少量含む。固くしまっている。

0 1:50 2m

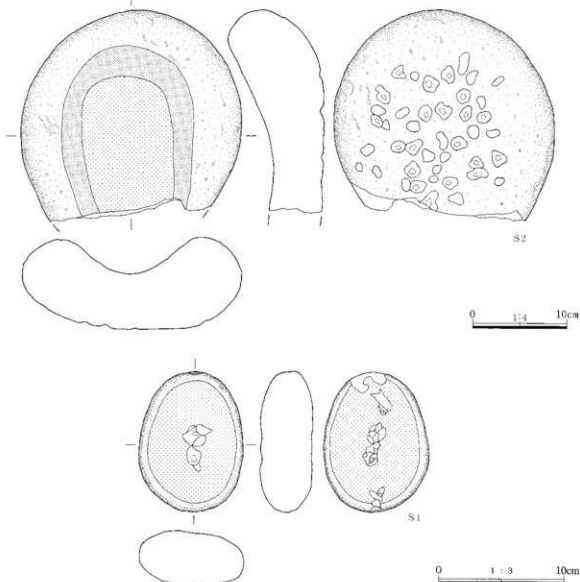


第6章第78図 IV区J18(215)号土坑・出土縄文土器

第6章 IV区の調査

第6章表36 IV区J18(215)号土坑出土縄文土器観察表(第6章第78図、PL.55)

番号	出土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成色調		胎土	分類	文様	
				焼成色	調番号				
P1	215号土坑 No.2・3	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の隅み。内面下部スス付着。縄文原体RL。2と同一個体。
P2	215号土坑	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	1と同一個体。
P3	215号土坑	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	φ1~3mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	市5mmの平行沈線による横位区画。区画内菱形文。縄文原体RL。
P4	215号土坑	深鉢	胴部破片	不貞	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	市5mmの平行沈線による横位区画。弧線、斜線文。
P5	215号土坑	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式	縄文原体Lr。
P6	215号土坑	深鉢	底部	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。1×1状文。浮線には矢羽根状の隅み。
P7	215号土坑	有孔浅鉢	口縁破片	良	赤褐	2.5YR4/6	細かい砂粒	諸磯b式(新)	くびれ部にφ4mmの孔が通る。



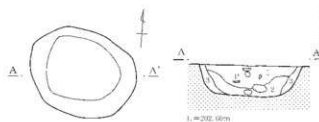
第6章第79図 IV区J18(215)号土坑出土縄文土器

第6章表37 IV区J18(215)号土坑出土縄文土器観察表(第6章第79図、PL.55)

番号	出土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	215土・埋没土	磨石	完整	10.00	8.30	4.30	600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S2	215土・No.5	石皿	下縁部欠損	22.40	23.30	9.70	5,900.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁付。1面使用。1面を凹石としても使用。

## 09 IV区J19(246)号土坑

位置：De-41・42Gから検出された。



形状：不整形円形土坑

規模：長軸約1.45m・短軸約1.2m・深さ約40cm

土層：土層は、3層に分かれる。

遺物：諸磯b式深鉢3点が出土した。



## IV区J19(246)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)、礫(φ5cm以下)を含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を少量含む。礫(φ15cm以下)を多く含む。
3. 褐色土 黒褐色土を少量含む。

0 1:50 2m

0 1:4 10cm

第6章第80図 IV区J19(246)号土坑・出土縄文土器

第6章表38 IV区J19(246)号土坑出土縄文土器観察表(第6章第80図、PL.56)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	色調		胎土	分類	文様	
				構成	番号				
P1	246号土坑	深鉢	底部破片	良	明赤褐色	5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	市3mmの平行沈線を集約化した横位区画。面文原状RL。
P2	246号土坑	深鉢	底部破片	普通	明赤褐色	2.5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	市4mmの平行沈線を集約化した横位区画。
P3	246号土坑	深鉢	底部破片	普通	暗	7.5YR7/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位施文。内面スス付着。

## 00 IV区J20(208)号土坑

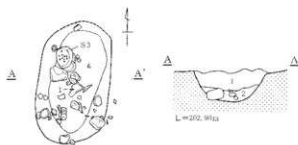
位置：Dh-41G、Di-41Gから検出された。

形状：楕円形土坑

規模：長軸約1.6m・短軸約95cm・深さ約35cm

土層：土層は、2層に分かれる。

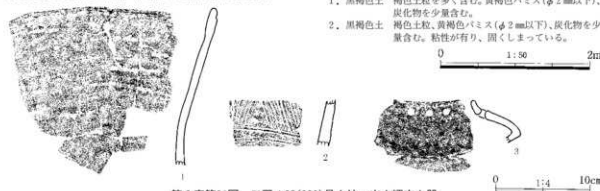
遺物：諸磯b式深鉢2点・同有孔浅鉢1点が出土した。また、多孔石(両面)1点が出土した。



## IV区J20(208)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色バミス(φ2mm以下)、炭化物を少量含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色バミス(φ2mm以下)、炭化物を少量含む。粘性が有り、固くしまっている。

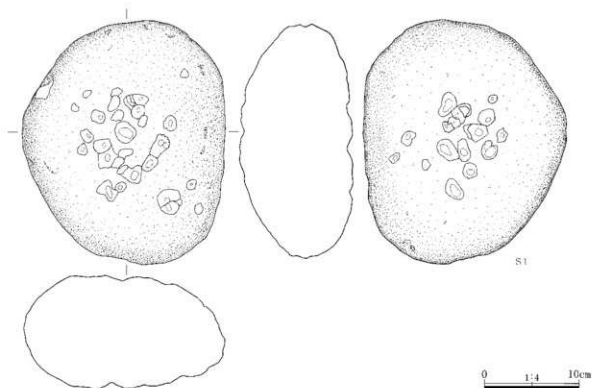
0 1:50 2m



第6章第81図 IV区J20(208)号土坑・出土縄文土器

第6章表39 IV区J20(208)号土坑出土縄文土器観察表(第6章第81図、PL.56)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	色調		胎土	分類	文様	
				構成	番号				
P1	208号土坑 No.1	深鉢	口縁~胴部	良	暗赤褐色	5YR3/2	白色粒・砂粒多い	諸磯b式(中)	外面スス付着。
P2	208号土坑 No.3	深鉢	胴部破片	普通	灰褐色	5YR4/2	砂粒多い	諸磯b式(新)	市3mmの平行沈線による横位区画と斜線。内面明赤褐色。
P3	208号土坑 No.6	有孔浅鉢	口縁破片	不良	明赤褐色~灰褐色	5YR5/8 5YR4/2	砂粒多く含む	諸磯b式(中2)	φ5~6mmの孔列が口縁に廻る。



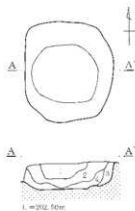
第6章第82図 IV区 J 20(208)号土坑出土縄文石器

第6章表40 IV区 J 20(208)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第82図、PL. 56)

番号	出土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	208土・No14	多孔石	完形	24.70	21.20	11.90	7,600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。

㉒ IV区 J 21(233)号土坑

位 置：Dk-44Gから検出された。  
 形 状：不整形円形土坑  
 規 模：長軸約1.3m・短軸約1.15m・深さ約35cm  
 土 層：土層は、4層に分かれる。  
 遺 物：遺物は、出土しなかった。



IV区 J 21(233)号土坑

1. 黒褐色土 全体的に白色微細粒子が含まれる。
2. 暗褐色土 褐色のブロックを含み、1層との境に白色微細粒子を含む。
3. 褐色土と暗褐色土の混土 下層ほど水分を含み、多少粘性が有る。
4. 褐色土 多少粘性が有り、2層との境に暗褐色のブロックが含まれる。

0 1:50 2m

第6章第83図 IV区 J 21(233)号土坑

## ㉒ IV区J 22(211)号土坑

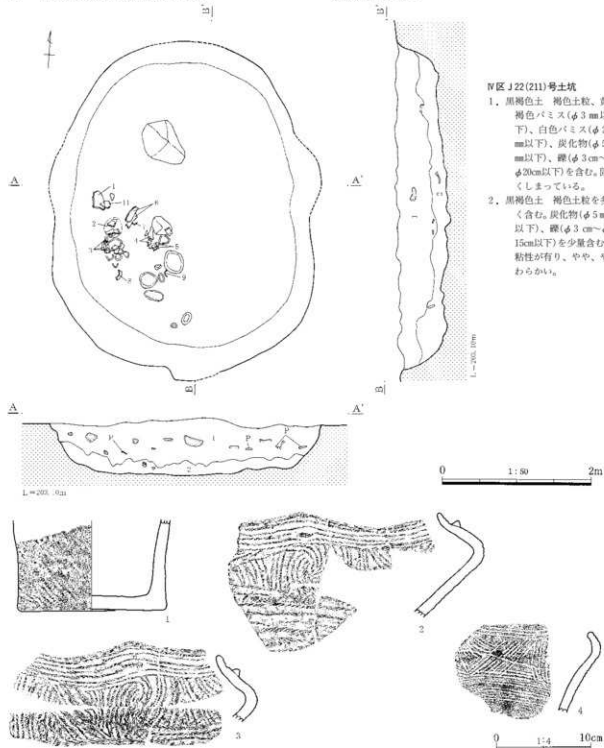
位置：Dk-46G、Dl-46Gから検出された。

形状：楕円形土坑

規模：長軸約4.45m・短軸約3.35m・深さ約65cm

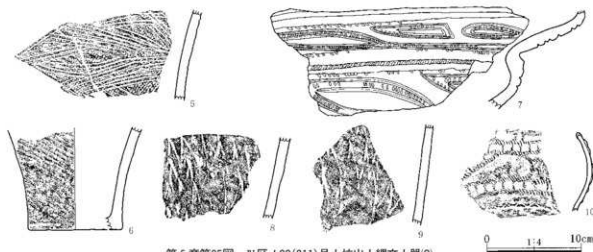
土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：諸磯b式深鉢6点・同有孔浅鉢1点・浮島Ⅲ式深鉢2点・北白川下層Ⅱc式浅鉢1点が出土した。また、砥石1点・石匙1点・尖頭器1点・敲石1点・打製石斧1点・磨石1点・凹石1点・石皿2点が出土した。



第6章第84図 IV区J 22(211)号土坑・出土縄文土器(1)

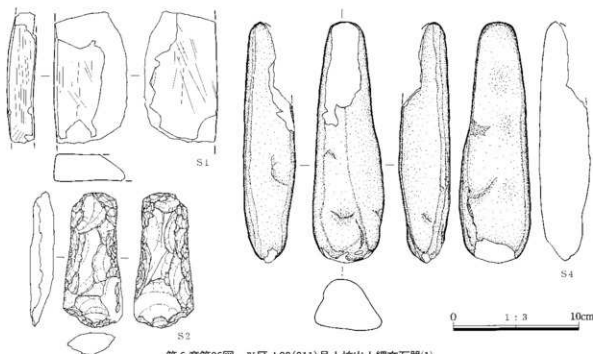
第6章 IV区の調査



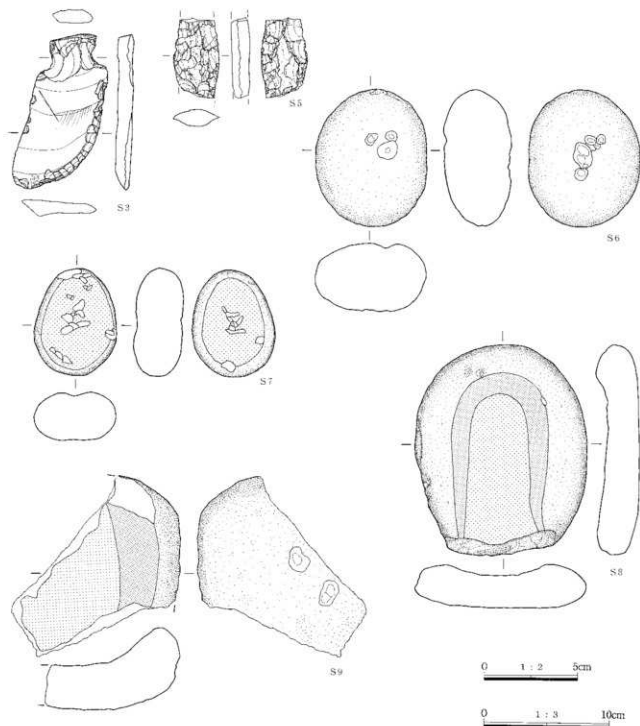
第6章第85図 IV区J22(211)号土坑出土縄文土器(2)

第6章表41 IV区J22(211)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第84・85図、PL.57)

番号	出土番号 出土位置	器種	残存状態	焼成 色	番号	胎土	分類	文様	
									10YR7/6
P1	211号土坑 No.8	深鉢	底部	普通	明黄褐色	10YR7/6	細かい砂粒多い	諸織り式(中)	縄文原体 RL.
P2	211号土坑 No.2・3	深鉢	口縁	普通	にぶい褐色	7.5YR6/3	φ1~2mmの小石、 硬石粒	諸織り式(中2)	波状口縁、頭部細線に粘土層及び、浮線による横位区画、気線状高巻文。浮線には矢羽状の刻み。縄文原体1区横。3と同一個体。
P3	211号土坑 No.4	深鉢	口縁	普通	にぶい褐色	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石、 硬石粒	諸織り式(中2)	2と同一個体。
P4	211号土坑 No.11	深鉢	口縁破片	普通	褐色	7.5YR4/4	φ1mmの小石多い	諸織り式(中2)	市4mmの平行沈線による横位区画、口縁部斜線、気線文様。
P5	211号土坑	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐色	10YR2/3	砂粒、黒色粒	諸織り式(中2)	市4mmの平行沈線による横位区画、区画内斜線、気線文。縄文原体 RL.
P6	211号土坑	深鉢	胴部~底部 破片	不良	明赤褐色	5YR5/8	砂粒多い	諸織り式(中2)	縄文原体 RL.
P7	211号土坑 No.6	有孔浅鉢	胴部	不良	暗褐色	7.5YR3/3	φ1~2mmの小石、 金雲母	諸織り式(中2)	沈線による並行縦線に孔彫文を充塞し、木葉文を作る。
P8	211号土坑 No.11	深鉢	胴部破片	普通	明褐色	7.5YR5/6	細かい砂粒	浮島田式	貝殻破線によるロッキング施文。
P9	211号土坑 No.9	深鉢	胴部破片	普通	褐色	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	浮島田式	貝殻破線によるロッキング施文、内面ス付着。
P10	211号土坑	浅鉢	破片	不良	浅黄褐色	10YR8/4	φ1~2mmの小石	北白川下原II式	刻みを持つ扁平な浮線による棒字状文、気線文。



第6章第86図 IV区J22(211)号土坑出土縄文石器(1)



第6章第87図 IV区J 22(211)号土坑出土縄文石器②

第6章表42 IV区J 22(211)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第86・87図、PL. 58)

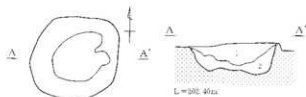
番号	出土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	211土・側辺	磁石	一部破損	(10.20)	5.70	2.20	168.00	頁岩	波紋岩	3面使用。
S 2	211土・トレンチ	打製石片	一部欠損	10.60	4.70	1.80	93.60	黒色頁岩	—	短冊形石片。一部表面残存。
S 3	211土・埋没土	石塊	一部破損	7.85	3.90	0.77	33.10	黒色頁岩	—	扇形石片。左右非対称。
S 4	211土・埋没土	磁石	一部破損	19.00	5.60	4.10	290.00	変変式岩	—	扇形石片。1面に打痕残存。
S 5	211土・埋没土	土器面・楕円	上下端欠損	(6.20)	3.70	1.50	41.80	チャート	—	1面に一部表面残存。
S 6	211土・埋没土	凹石	完形	10.90	8.70	5.30	640.00	粗粒輝石安山岩	—	2面使用。
S 7	211土・埋没土	凹石	完形	8.50	6.60	3.70	304.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S 8	211土・埋没土	石皿	一部欠損	(16.60)	13.50	3.50	1,130.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。1面を凹石として使用。
S 9	211土・埋没土	石皿	破片	(11.50)	(10.70)	5.30	680.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。1面を凹石として使用。



第6章 IV区の調査

㉓ IV区J 23(251)号土坑

位置：Dk-46Gから検出された。  
 形状：不整形土坑  
 規模：直径約1.15m～1.3m・深さ約40cm  
 土層：土層は、2層に分かれる。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。



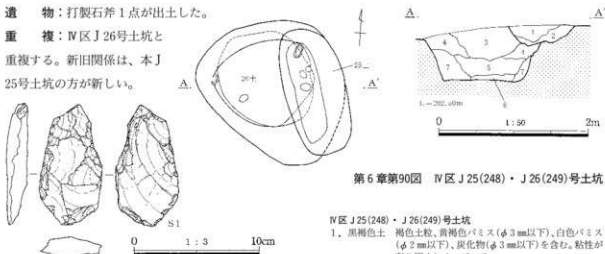
IV区J 23(251)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ3cm以下)を多く含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ3mm以下)を少量含む。粘性が有り、非常に固くしまっている。
2. 褐色土 黒褐色土粒を含む。粘性が有り、非常に固く締まっている。

第6章第88図 IV区J 23(251)号土坑

㉔ IV区J 25(248)号土坑

位置：Dl-46Gから検出された。  
 形状：楕円形土坑  
 規模：長軸約1.7m・短軸約80cm・深さ約25cm  
 土層：土層は、2層に分かれる。  
 遺物：打製石斧1点が出土した。  
 重複：IV区J 26号土坑と重複する。新旧関係は、本J 25号土坑の方が新しい。



第6章第91図 IV区J 25(248)号土坑出土縄文石器

第6章表43 IV区J 25(248)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第91図、PL. 58)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)		
				長さ	幅	厚さ
S1	248a・埋没土	打製石斧	一部欠損	9.50	5.00	1.70
重量 (g)	石材		特徴			
	A	B				
82.50	黒色頁岩	—	短楕円形石斧。			

㉕ IV区J 24(252)号土坑

位置：Dl-46Gから検出された。  
 形状：円形土坑  
 規模：直径約35cm・深さ約45cm  
 土層：土層は、1層である。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。



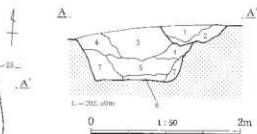
IV区J 24(252)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。粘性が有り固くしまっている。

第6章第89図 IV区J 24(252)号土坑

㉖ IV区J 26(249)号土坑

位置：Dl-46Gから検出された。  
 形状：不整形土坑  
 規模：長軸約2m・短軸約1.9m・深さ約70cm  
 土層：土層は、5層に分かれる。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。  
 重複：IV区26号土坑と重複する。新旧関係は、本土坑の方が古い。



第6章第90図 IV区J 25(248)・J 26(249)号土坑

IV区J 25(248)・J 26(249)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ3mm以下)を含む。粘性が有り固くしまっている。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。粘性が有る。
3. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)を含む。
4. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。粘性が有り固くしまっている。
5. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色土ブロック(φ1cm以下)を含む。粘性が有る。
6. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色土ブロック(φ1cm以下)を含む。粘性が有り、非常に固くしまっている。
7. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色土ブロック(φ1cm以下)を多く含む。粘性が有り固くしまっている。

## ⑦ IV区J 27(243)号土坑

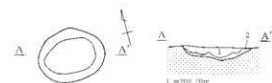
位置：DI-44Gから検出された。

形状：楕円形土坑

規模：長軸約90cm・短軸約70cm・深さ約15cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区J 27(243)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色土粒、黄褐色パミス(φ 3mm以下)、白色パミス(φ 2mm以下)、炭化物(φ 3cm以下)を含む。固くしまっている。
2. 黄褐色土 黒褐色土粒を含む。やや粘性がある。

## 第6章第92図 IV区J 27(243)号土坑

## ⑧ IV区J 28(234)号土坑

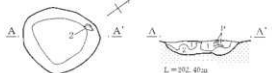
位置：DI-44Gから検出された。

形状：不整形土坑

規模：長軸約1m・短軸約85cm・深さ約15cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：諸磯a式深鉢2点が出土した。



IV区J 28(234)号土坑

1. 暗褐色土 所々に褐色のブロックを含む。
2. 褐色土 暗褐色のブロックを少量含む。粘質性有り。



第6章第93図 IV区J 28(234)号土坑・出土縄文土器

## 第6章表44 IV区J 28(234)号土坑出土縄文土器観察表(第6章第94図、PL. 59)

番号	旧土坑番号 出土位置	部種	残存状態	焼成 色	番号	胎土	分類	文様
P1	234号土坑	深鉢	胴部破片	普通 明赤褐色	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	市2mmの平行沈線彫文が腕部に施す。縄文原形土器。
P2	234号土坑 No.1	深鉢	胴部破片	普通 赤褐色	5YR4/6	φ1mmの小石、軽石粒多い	諸磯a式(新)	市3mmの平行沈線彫文による木文。文様内に縄文、網を磨り消している。φ4mmの円形彫刻。縄文原形土器。

## ⑨ IV区J 29(235)号土坑

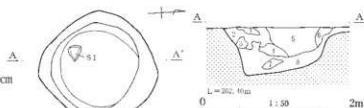
位置：DI-44Gから検出された。

形状：不整形土坑

規模：直径約1.5m~1.6m・深さ約60cm

土層：土層は、8層に分かれる。

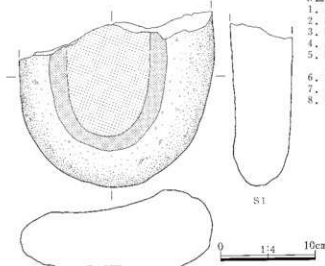
遺物：石皿1点が出土している。



IV区J 29(235)号土坑

1. 黒褐色土 中央部に褐色のブロックを含み、白色及び黄細粒子を含む。
2. 暗褐色土 褐色の粒及び白色微細粒子を含む。
3. 暗褐色土主体で褐色土のブロックが混ざったもの。
4. 黒褐色土 褐色の粒が極少量含まれ、白色の微細粒子を含む。
5. 暗褐色土 褐色のブロック、白色微細粒子が含まれる。2層より明るい。
6. 黒褐色土 褐色の粒を少量含み、白色及び黄細粒子を含む。
7. 黒褐色土 白色の微細粒子が含まれる。
8. 褐色土主体 暗褐色土の土が混ざったもの。

## 第6章第94図 IV区J 29(235)号土坑

第6章表45 IV区J 29(235)号土坑出土縄文土器  
観察表(第6章第95図、PL. 59)

番号	旧土坑番号 出土位置	部種	残存	計測値 (cm)		重量 (g)
				長さ	幅	
S1	235号土坑・No.1	石皿	1/2	18.40	29.70	8,201.3, 829.00
石 材						
A 粘粒類石安山岩 B 輝石安山岩						
特 徴						
粘粒類石安山岩 輝石安山岩 縁有。1面使用。						

第6章第95図 IV区J 29(235)号土坑出土縄文土器

第6章 IV区の調査

③0 IV区 J 30(206)号土坑

- 位置：Dm-44Gから検出された。  
 形状：楕円形土坑  
 規模：長軸約65cm・短軸約50cm・深さ約30cm  
 土層：土層は、1層である。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。

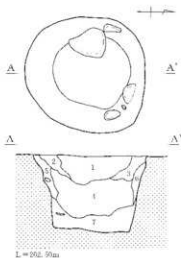


IV区 J 30(206)号土坑  
 1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色バミス(φ2mm以下)、炭化物を含む。

第6章第96図 IV区 J 30(206)号土坑

③1 IV区 J 32(232)号土坑

- 位置：Dm-44Gから検出された。  
 形状：不整形円形土坑  
 規模：直径約1.55m~1.7m・深さ約1m  
 土層：土層は、7層に分かれる。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。

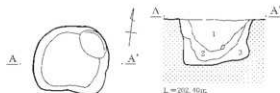


- IV区 J 32(232)号土坑  
 1. 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。炭化物(φ5mm以下)を少量含む。やや粘性が有る。  
 2. 暗褐色土 褐色土粒を少量含む。粘性が有り固くしまっている。  
 3. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ3mm以下)を少量含む。固くしまっている。  
 4. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ3mm以下)を少量含む。粘性が有り固くしまっている。  
 5. 黒褐色土 黄褐色土ブロック(φ5cm以下)、礫(φ5cm以下)を含む。粘性が有り固くしまっている。  
 6. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。粘性が有る。  
 7. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色シルト質土を多く含む。やや粘性が有りやわらかい。

第6章第98図 IV区 J 32(232)号土坑

③2 IV区 J 31(229)号土坑

- 位置：Dm-44Gから検出された。  
 形状：不整形円形土坑  
 規模：直径約1m~1.05m・深さ約60cm  
 土層：土層は、3層に分かれる。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。

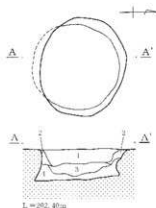


- IV区 J 31(229)号土坑  
 1. 暗褐色土 上層部に白色及び黄色の微細粒子を含む。  
 2. 暗褐色土に褐色の大きなブロックが混ざったもの。  
 3. 褐色土の中に暗褐色土のブロックが含まれる。粘質土。

第6章第97図 IV区 J 31(229)号土坑

③3 IV区 J 33(247)号土坑

- 位置：Dm-44G、Dm-44Gから検出された。  
 形状：不整形円形土坑  
 規模：直径約1.15m~1.3m・深さ約40cm  
 土層：土層は、4層に分かれる。  
 遺物：遺物は、出土しなかった。



- IV区 J 33(247)号土坑  
 1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を含む。  
 2. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色土ブロック(φ1cm以下)を多く含む。  
 3. 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を含む。やや粘性が有る。  
 4. 褐色土 黒褐色土粒を多く含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)を少量含む。やや粘性が有る。



第6章第99図 IV区 J 33(247)号土坑

## ④ IV区 J 34(250)号土坑

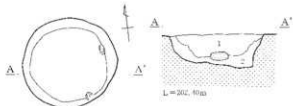
位置：Dm-45G、Dn-45Gから検出された。

形状：円形土坑

規模：直径約1.2m・深さ約40cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



## IV区 J 34(250)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)を含む。粘性が有り固くしまっている。
2. 褐色土 黒褐色土粒を多く含む。粘性が有り、非常に固くしまっている。

## 第6章第100図 IV区 J 34(250)号土坑

## ⑤ IV区 J 35(253)号土坑

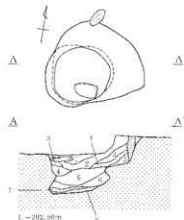
位置：Dm-45G、Dn-45Gから検出された。

形状：不整形円形土坑

規模：直径約1.2m～1.25m・深さ約70cm

土層：土層は、8層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



## IV区 J 35(253)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ2mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)を含む。
2. 黒褐色土 1層より褐色土粒を多く含む。
3. 褐色土 黒褐色土粒、黄褐色シルト質土粒を含む。
4. 褐色土 3層より黒褐色土粒を多く含む。
5. 褐色土 4層よりさらに黒褐色土粒を多く含む。
6. 褐色土 5層より粘性が有る。
7. 暗褐色土 褐色土粒、黄褐色シルト質土粒を含む。粘性が有り固くしまっている。
8. 暗褐色土 7層より粘性が有り、非常に固くしまっている。

## 第6章第101図 IV区 J 35(253)号土坑

## ⑥ IV区 J 36(231)号土坑

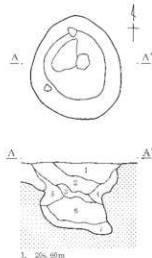
位置：Dn-44Gから検出された。

形状：不整形円形土坑

規模：長軸約1.2m～1.35m・深さ約85cm

土層：土層は、7層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



## IV区 J 36(231)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ5cm以下)、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ3mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ3mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を含む。やや固くしまっている。
3. 黒褐色土 黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ3mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を含む。固くしまっている。
4. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色シルト質土ブロック(φ3cm以下)を多く含む。やや粘性が有る。
5. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ3cm以下)を含む。粘性が有る。
6. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、炭化物(φ5mm以下)を含む。粘性が有りやや固くしまっている。
7. 暗褐色土 黄褐色シルト質土を多く含む。粘性が有りやわらかい。



## 第6章第102図 IV区 J 36(231)号土坑

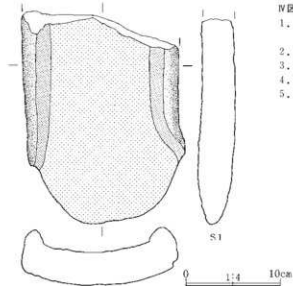
第6章 IV区の調査

(37) IV区J37(228)号土坑

位置：Dn-44Gから検出された。  
形状：不整形円形土坑  
規模：直径約1.2m～1.4m・深さ約60cm

土層：土層は、5層に分かれる。

遺物：石皿1点が出土した。



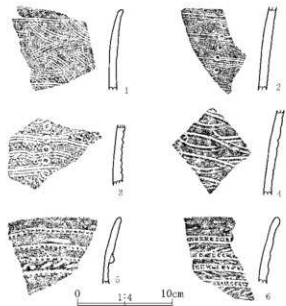
第6章第104図 IV区J37(228)号土坑出土縄文石器

第6章表46 IV区J37(228)号土坑出土縄文石器観察表  
(第6章第104図、PL.60)

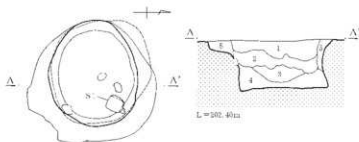
番号	目土坑番号 出土位置	器種	残存	計測値 (cm)			重量 (g)
				長さ	幅	厚さ	
S1	228土・No.1	石皿	2/3	122.300	17.300	0.202	0.0900

石材		特徴
A	B	
粗粒輝石安山岩	細石安山岩	録存。1面使用。



第6章第105図 IV区J40(226)号土坑・出土縄文石器



IV区J37(228)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ2mm以下)を含む。やや固くしまっている。
2. 暗褐色土 褐色土粒を含む。やや粘性がある。
3. 褐色土 黄褐色シルト質土を多く含む。やわらかい。
4. 褐色土 黄褐色シルト質土を少量含む。粘性が有り固くしまっている。
5. 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。やわらかい。

0 1:50 2m

第6章第103図 IV区J37(228)号土坑

(38) IV区J40(226)号土坑

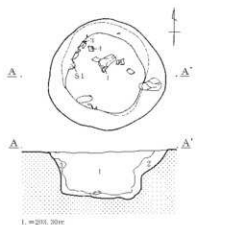
位置：Do-44G、Dp-44Gから検出された。

形状：不整形円形土坑

規模：直径約1.45m～1.55m・深さ約60cm

土層：土層は、3層に分かれる。

遺物：諸磯a式深鉢4点・諸磯b式深鉢2点が出土した。また、磨石1点が出土した。



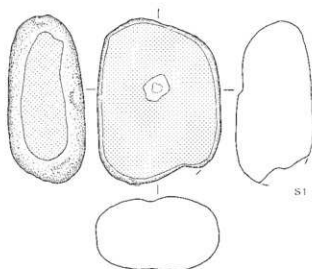
IV区J40(226)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ3mm以下)、炭化物(φ5mm以下)、焼土ブロック(φ3mm以下)を含む。固くしまっている。
2. 暗褐色土 黄褐色シルト質土を含む。やわらかい。
3. 褐色土 黄褐色シルト質土を含む。粘性が有り固くしまっている。

0 1:50 2m

第6章表47 IV区J40(226)号土坑出土縄文土器観察表(第6章第105図、PL.61)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	色 調		胎 土	分 類	文 様	
				地成	番号				
P1	226号土坑 No.4	深鉢	胴部破片	不貞	に濃い橙	7.5YR7/3	砂粒多い	諸磯 $\alpha$ 式(新)	巾2mmの平行沈線による木葉文。縄文原体LR。
P2	226号土坑	深鉢	口縁破片	不貞	赤褐	2.5YR4/6	$\phi$ 1mmの小石、白色粒	諸磯 $\alpha$ 式(新)	巾2mmの平行沈線による横線歯文。縄文原体LR。
P3	226号土坑 No.7	深鉢	胴部破片	不貞	に濃い橙	5YR6/4	$\phi$ 1mmの小石、白色粒多い	諸磯 $\alpha$ 式(新)	巾2mmの平行沈線を重ねた沈線による横波状文。 $\phi$ 8mmの円形竹管を縦位に施文。
P4	226号土坑 No.6	深鉢	胴部破片	不貞	に濃い赤褐	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯 $\alpha$ 式(新)	巾5mmの平行沈線でレンズ状風線文。円形の刺突。
P5	226号土坑 埋没土	深鉢	口縁破片	不貞	暗赤褐	5YR3/3	$\phi$ 1mmの小石多い	諸磯 $\beta$ 式(古)	巾3mmの爪形文横位施文。胴部に刻みのある隆線が彫る。
P6	226号土坑 埋没土	深鉢	口縁破片	普通	に濃い橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯 $\beta$ 式(古)	巾6mmの爪形文が横位に施文。間に刻みのある隆線。



第6章第106図 IV区J40(226)号土坑出土縄文土器

第6章表48 IV区J40(226)号土坑出土縄文土器観察表(第6章第106図、PL.61)

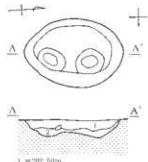
番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)		
				長さ	幅	厚さ
S1	226土・No.9	磨石	一部欠損	(13.20)	9.80	6.20

重量 (g)	石 材		特 徴
	A	B	
1,060.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。1面を凹石としても使用。

## 09 IV区J38(224)号土坑

位 置：Dn-43Gから検出された。  
形 状：楕円形土坑  
規 模：長軸約1.3m・短軸約90cm・深さ約25cm  
土 層：土層は、2層に分かれる。  
遺 物：遺物は、出土しなかった。



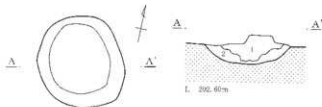
IV区J38(224)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色土ブロックを含む。
2. 黄褐色土 黒褐色土粒を含む。

第6章第107図 IV区J38(224)号土坑

## 40 IV区J39(216)号土坑

位 置：Dn-44Gから検出された。  
形 状：不整形円形土坑  
規 模：直径約1.1m~1.2m・深さ約40cm  
土 層：土層は、2層に分かれる。  
遺 物：遺物は、出土しなかった。



IV区J39(216)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色バミス( $\phi$ 3mm以下)、白色バミス( $\phi$ 2mm以下)、糠( $\phi$ 10cm以下)を含む。固くしまっている。
2. 黒褐色土 黄褐色土粒を非常に多く含む。粘性がある。

0 1:50 2m

第6章第108図 IV区J39(216)号土坑

第6章 IV区の調査

(40) IV区 J 41(225)号土坑

位置：Do-43・44Gから検出された。

形状：楕円形土坑

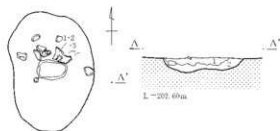
規模：長軸約1.55m・短軸約1.05m・深さ約15cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：諸磯b式土器の深鉢3点が出土した。



第6章第109図 IV区 J 41(225)号土坑・出土縄文土器



IV区 J 41(225)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ3mm以下)を含む。固くしまっている。
2. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ3cm以下)を多く含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ3mm以下)を含む。やや粘性がある。

0 1:50 2m



第6章表49 IV区 J 41(225)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第109図、PL.61)

番号	出土位置	器種	残存状態	色 票		胎土	分類	文 様	
				色	番号				
P 1	225号土坑 No.2	深鉢	割破	普通	にぶい赤褐	2.5YR5/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	巾7mmの平行沈線爪彫文で横位区画。区画内を本業文から変化した袋線文。内形刷突が加えられる。
P 2	225号土坑 No.2	深鉢	破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	巾4mmの平行沈線による本業文。内形刷突。
P 3	225号土坑 No.2	深鉢	割破破片	良	橙	5YR6/6	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯a式(新)	土下部横位ミダヤ。下部縦文施文。縦文形体RL。

(41) IV区 J 42(219)号土坑

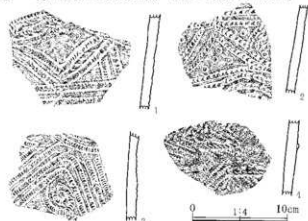
位置：Do-43・44Gから検出された。

形状：不整形円形土坑

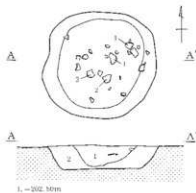
規模：直径約1.45m・深さ約30cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：諸磯c式深鉢4点・石匙1点が出土した。



第6章第110図 IV区 J 42(219)号土坑・出土縄文土器



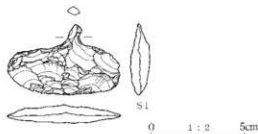
IV区 J 42(219)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ3mm以下)を含む。固くしまっている。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ3mm以下)、白色パミス(φ2mm以下)、炭化物(φ3mm以下)を少量含む。粘性が有り、やわらかい。

0 1:50 2m

第6章表50 IV区J42(219)号土坑出土縄文土器観察表(第6章第110図、PL.62)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成		胎土	分類	文様	
				色	番号				
P1	219号土坑 No.17	深鉢	割破破片	普通	に灰い赤褐色	5YR5/4	細かい砂粒	滑磯C式(中1)	市7mmの平行枕線爪形文による小彫文。
P2	219号土坑 No.19	深鉢	割破破片	普通	に灰い赤褐色	5YR4/4	$\phi$ 1~2mmの砂粒	滑磯C式(中1)	市6mmの爪形文による山形文、円形刺突文。
P3	219号土坑 No.15	深鉢	割破破片	普通	灰褐色	5YR5/2	$\phi$ 1~2mmの小石	滑磯C式(中1)	市6mmの爪形文による山形文、渦巻文。
P4	219号土坑 No.5	深鉢	割破破片	普通	橙	5YR6/6	$\phi$ 1~2mmの砂粒	滑磯C式(中1)	浮線単位施文。浮線の上に縄文。内面スス付着。縄文原形RL、LR。羽状縄文。



第6章第111図 IV区J42(219)号土坑出土縄文石器

## ④3 IV区J44(207)号土坑

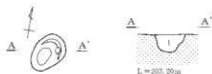
位置: Do-44Gから検出された。

形状: 不整円形土坑

規模: 長軸約55cm・短軸約40cm・深さ約25cm

土層: 土層は、1層である。

遺物: 遺物は、出土しなかった。



## IV区J44(207)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス( $\phi$ 2mm以下)、炭化物を含む。

第6章第112図 IV区J44(207)号土坑

## ④5 IV区J43(230)号土坑

位置: Do-44Gから検出された。

形状: 不整円形土坑

規模: 直径約95cm・深さ約45cm

土層: 土層は、2層に分かれる。

遺物: 磨石1点・凹石1点。

第6章表51 IV区J42(219)号土坑出土縄文石器観察表(第6章第111図、PL.62)

番号	出土位置	器種	残存	計測値 (cm)			重量 (g)
				長さ	幅	厚さ	
S1	219土・No.113	石匙	空形	3.63	3.71	0.98	17.60

石 材		特 徴
A	B	
黒色安山岩	—	楕圓石匙。左右対称。

## ④4 IV区J45(223)号土坑

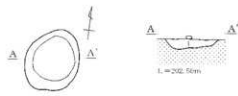
位置: Do-44Gから検出された。

形状: 不整円形土坑

規模: 長軸約85cm・短軸約70cm・深さ約15cm

土層: 土層は、1層である。

遺物: 遺物は、出土しなかった。

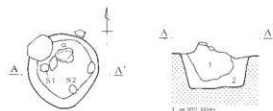


## IV区J45(223)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色土ブロックを含む。



第6章第113図 IV区J45(223)号土坑



## IV区J43(230)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色パミス( $\phi$ 3mm以下)、白色パミス( $\phi$ 3mm以下)、炭化物( $\phi$ 5mm以下)、機土ブロック( $\phi$ 5cm以下)を含む。固くしまっている。

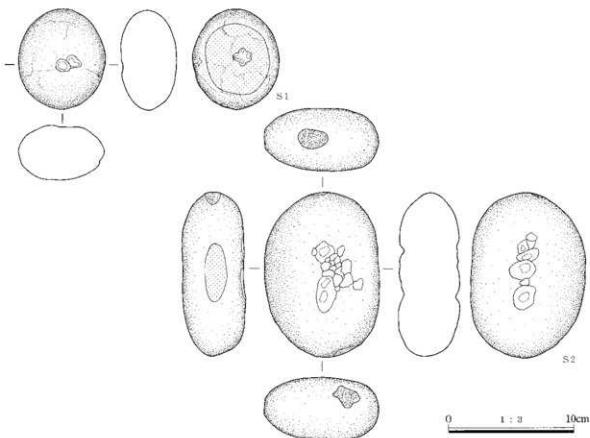
2. 暗褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。粘性が有り固くしまっている。



第6章第114図 IV区J43(230)号土坑



第6章 IV区の調査



第6章第115図 IV区 J43 (230)号土坑出土縄文石器

第6章表52 IV区 J43 (230)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第115図、PL. 62)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	230土・No.3	磨石	完形	7.90	6.80	4.30	232.00	緑灰質砂岩	中粒砂岩	1面使用。1面を凹石として使用。
S 2	230土・No.5	凹石	完形	13.00	9.10	5.00	865.00	粗粒輝石安山岩	中粒砂岩	2面使用。1面を磨石として使用。 2面に敲打痕有。

46 IV区 J46(227)号土坑

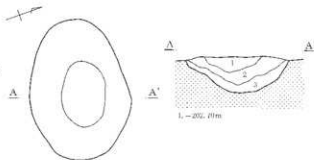
位 置：Do-45Gから検出された。

形 状：楕円形土坑

規 模：長軸約1.85m・短軸約1.35m・深さ約45cm

土 層：土層は、3層に分かれる。

遺 物：諸磯式土器の深鉢1点が出土した。



IV区 J46(227)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒を少量含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)、白色バミス(φ3mm以下)を含む。固くしまっている。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。粘性が有りやや固くしまっている。
3. 褐色土 黄褐色シルト質土を少量含む。粘性が有り固くしまっている。

第6章表53 IV区 J46(227)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第116図、PL. 63)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調	
					色	番号
P 1	227号土坑	深鉢	底面	普通	明赤褐	5YR5/6

胎土	分類	文 様
細かい砂粒	諸磯式	縄文原体・丸柄。

第6章第116図 IV区 J46(227)号土坑・出土縄文土器

## ④⑦ IV区J 47(223)号土坑

位置：Dp-44Gから検出された。

形状：不整形円形土坑

規模：直径約75cm～80cm・深さ約15cm

土層：不明。

遺物：遺物は、出土しなかった。



第6章第117回 IV区J 47(223)号土坑

## ④⑧ IV区J 48(222)号土坑

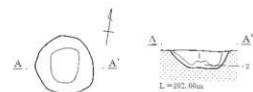
位置：Dp-44G、Dq-44Gから検出された。

形状：不整形円形土坑

規模：直径約75cm・深さ約20cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



## IV区J 48(222)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色土ブロックを少量含む。
2. 黄褐色土 黒褐色土粒を含む。

第6章第118回 IV区J 48(222)号土坑

## ④⑨ IV区J 49(220)号土坑

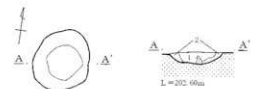
位置：Dq-44Gから検出された。

形状：不整形円形土坑

規模：直径約75cm～80cm・深さ約15cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



## IV区J 49(220)号土坑

1. 暗褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色バミス(φ2mm以下)、白色バミス(φ1mm以下)を少量含む。
2. 暗褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。粘性が有りやわらかい。

第6章第119回 IV区J 49(220)号土坑

## ⑤① IV区J 50(204)号土坑

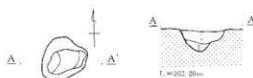
位置：Dq-40Gから検出された。

形状：不整形円形土坑

規模：直径約55cm～65cm・深さ約25cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



## IV区J 50(204)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒、黄褐色バミス(φ2mm以下)、炭化物を含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色バミス(φ2mm以下)、炭化物を少量含む。

第6章第120回 IV区J 50(204)号土坑

## ⑤② IV区J 51(205)号土坑

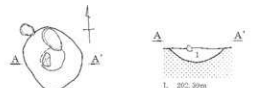
位置：Ds-38Gから検出された。

形状：不整形円形土坑

規模：直径約70cm～80cm・深さ約15cm

土層：土層は、1層である。

遺物：遺物は、出土しなかった。



## IV区J 51(205)号土坑

1. 暗褐色土 隙(φ5cm以下)、黄褐色バミス(φ2mm以下)、炭化物、褐色土粒を含む。

0 1:50 2m

第6章第121回 IV区J 51(205)号土坑

第6章 IV区の調査

50 IV区 J 52(102)号土坑

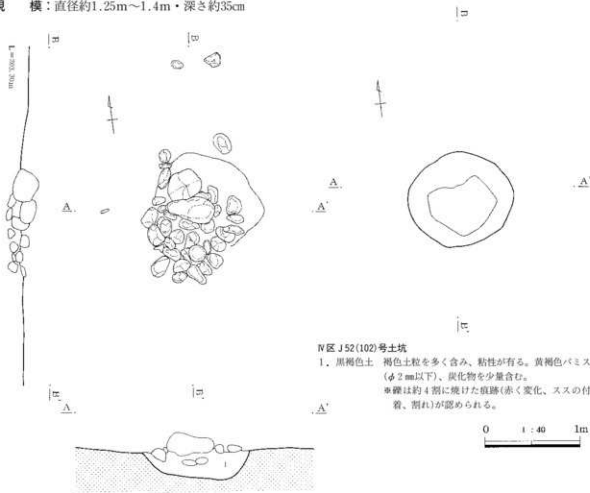
位置：Dt-44Gから検出された。

形状：不整円形土坑

規模：直径約1.25m～1.4m・深さ約35cm

土層：土層は、1層である。

遺物：遺物は、出土しなかった。



第6章第122図 IV区 J 52(102)号土坑

53 IV区 J 53(399)号土坑

位置：Du-49Gから検出された。

形状：不整円形土坑

規模：直径約40cm～45cm・深さ約25cm

土層：土層は、1層である。

遺物：踏碇c式深鉢1点が出土した。

IV区 J 52(102)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒を多く含み、粘性がある。黄褐色パミス(φ2mm以下)、炭化物を少量含む。  
 ※礫は約4割に焼けた痕跡(赤く変化、ススの付着、割れ)が認められる。



IV区 J 53(399)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ1cm以下)、黄褐色パミス(φ3mm以下)を少量含む。



第6章第123図 IV区 J 53(399)号土坑・出土縄文土器

第6章表54 IV区 J 53(399)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第123図、PL.64)

番号	出土坑番号 出土位置	器種	残存状態	焼成 色	色 調		胎土	分類	文 様
					色	番号			
P 1	399号土坑	深鉢	割断破片	良	黒い	7.5YR5/3	砂粒、白色粒	踏碇c(式)	集合沈線による縦位弧線、ボタン状貼付文。

## 50 IV区 J 54(103)号土坑

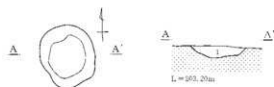
位置：Du-43Gから検出された。

形状：不整形土坑

規模：直径約70cm～80cm・深さ約15cm

土層：土層は、1層である。

遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区 J 54(103)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土粒を多く含む。黄褐色パミス(φ2mm以下)、炭化物を少量含む。

0 1:50 2m

第6章第124図 IV区 J 54(103)号土坑

## 55 IV区 J 55(392)号土坑

位置：Dv-50Gから検出された。

形状：不整形土坑

規模：長軸約1m・短軸約30cm・深さ約30cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：土器型式不明で、縄文前期末の深鉢1点が出土した。



IV区 J 55(392)号土坑

1. 暗褐色土 褐色土ブロック(φ1cm以下)、黄褐色パミス(φ3mm以下)を極少量含む。
2. 1層と同様だが、黒褐色土ブロック(φ1cm以下)を少量含む、固くしまっている。

0 1:50 2m



第6章第125図 IV区 J 55(392)号土坑・出土縄文土器

第6章表55 IV区 J 55(392)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第125図、PL. 64)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	構成 色調 番号	胎土	分類	文様
P 1	392号土坑	深鉢	口縁破片	普通 褐色 5YR6/6	細かい砂粒	前期末	折り返し口縁、巾4mmの平行波線を矢羽根状に施文。

## 56 IV区 J 56(390)号土坑

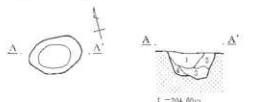
位置：Dv-50Gから検出された。

形状：楕円形土坑

規模：長軸約70cm・短軸約50cm・深さ約35cm

土層：土層は、4層に分かれる。

遺物：諸磯C式深鉢2点が出土した。



IV区 J 56(390)号土坑

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ1cm以下)、黄褐色パミス(φ3mm以下)を少量含む。
2. 暗褐色土 褐色土ブロック(φ1cm以下)、黄褐色パミス(φ3mm以下)を極少量含む。
3. 2層と同様だが、黒褐色土ブロック(φ1cm以下)を少量含む、固くしまっている。
4. 2層と同様だが、黄褐色土ブロック(φ2cm以下)を少量含む、やわらかい。

0 1:50 2m



第6章第126図 IV区 J 56(390)号土坑・出土縄文土器

第6章表56 IV区 J 56(390)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第126図、PL. 64)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	構成 色調 番号	胎土	分類	文様
P 1	390号土坑	深鉢	胴部破片	普通 濃い黄褐色 10YR7/4	細かい砂粒、黒色粒	深鉢C式(前)	平行波線を集合させ褐色文を施す。
P 2	390号土坑	深鉢	胴部破片	普通 濃い黄褐色 7.5YR6/4	細かい砂粒	深鉢C式(前)	縄文羽根状、L、R帯。羽根状施文。

第6章 IV区の調査

57) IV区 J 57(105)号土坑

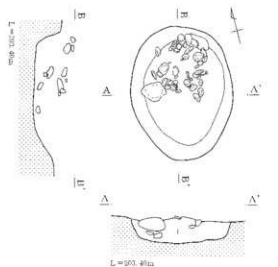
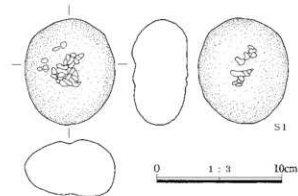
位置：Dx-42・43Gから検出された。

形状：楕円形土坑

規模：長軸約1.75m・短軸約1.35m・深さ約30cm

土層：土層は、1層である。

遺物：凹石1点が出土した。



IV区 J 57(105)号土坑

1. 暗褐色土 黄褐色土ブロック(φ3cm以下)を多く含む。炭化物を少量含む。非常に固くしまっている。

第6章第127図 IV区 J 57(105)号土坑・出土縄文石器

第6章表57 IV区 J 57(105)号土坑出土縄文石器観察表 (第6章第127図、PL. 64)

番号	旧土坑番号 出土位置	部類	残存	計測値 (cm)			重量 (g)
				長さ	幅	厚さ	
S 1	105土・埋没土	凹石	完形	8.30	7.10	4.50	360.00
石 材		特 徴					
A		B					
粗粒輝石安山岩		輝石安山岩					
		2面使用。					

58) IV区 J 58(101)号土坑

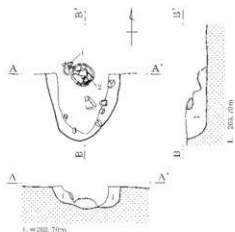
位置：Dx-44Gから検出された。

形状：北半部が不明であるが、恐らく、楕円形土坑であると推定される。

規模：現状で、長軸約(1m)・短軸約95cm・深さ約30cm

土層：土層は、1層である。

遺物：諸磯b式深鉢1点・同有孔浅鉢1点出土。



IV区 J 58(101)号土坑

1. 暗褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。黄褐色バミス(φ2mm以下)、炭化物を少量含む。

第6章第128図 IV区 J 58(101)号土坑・出土縄文土器

第6章表58 IV区 J 58(101)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第128図、PL. 65)

番号	旧土坑番号 出土位置	部類	残存状態	焼成	色 調		胎土	分類	文 様
					色	番号			
P 1	101号土坑 No.2	深鉢	口縁一部	普通	にじみ色	7.3YR6/4	砂粒含む	諸磯b式	縄文原形 RL
P 2	101号土坑 No.1	有孔浅鉢	底部	良	にじみ色	7.3YR7/4	φ1~2mmの小石、黒色粒	諸磯b式(中2)	外周面削たテラ整形

## 59 IV区J 59(372)号土坑

位置：Dy-49Gから検出された。

形状：楕円形土坑

規模：長軸約80cm・短軸約60cm・深さ約10cm

土層：土層は、1層である。

遺物：諸磯b式深鉢1点が出土した。



IV区J 59(372)号土坑

1. 暗褐色土 褐色土ブロック(φ1cm以下)、黄褐色パミス(φ3mm以下)を極少量含む。



第6章第129図 IV区J 59(372)号土坑・出土縄文土器

第6章表59 IV区J 59(372)号土坑出土縄文土器観察表 (第6章第129図、PL.64)

番号	旧土坑番号 出土位置	面積	残存状態	色調		胎土	分類	文様
				洗成色	番号			
P1	372号土坑	深鉢	胴部破片	良	灰黄褐色	10YR4/2	細かい砂粒	諸磯b式(中) 巾4mmの平行沈線による横位区画と山形文。

## 60 IV区J 60(99)号土坑

位置：Ea-42Gから検出された。

形状：楕円形土坑

規模：長軸約55cm・短軸約35cm・深さ約15cm

土層：土層は、1層である。

遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区J 60(99)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色土パミス、礫(φ2cm以下)、褐色土粒を含む。

第6章第130図 IV区J 60(99)号土坑

## 61 IV区J 61(98)号土坑

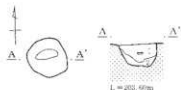
位置：Ea-42Gから検出された。

形状：不整形土坑

規模：直径約50cm・深さ約25cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区J 61(98)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色土パミス、炭化物、褐色土粒を含む。
2. 黒褐色土 褐色土粒を非常に多く含む。

第6章第131図 IV区J 61(98)号土坑

## 62 IV区J 62(100)号土坑

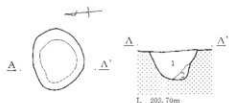
位置：Ec-42Gから検出された。

形状：不整形土坑

規模：直径約65cm～80cm・深さ約35cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区J 62(100)号土坑

1. 黒褐色土 黄褐色土パミス、炭化物、褐色土粒を含む。固くしまっている。
2. 黒褐色土 黄褐色土パミスを少量含む。褐色土粒を多く含む。



第6章第132図 IV区J 62(100)号土坑

7. 焼土

IV区縄文面から、焼土遺構が1基検出された。この焼土遺構は、3箇所に分かれているので、便宜的に分けた。重複は認められず、遺物は出土しなかった。土層には、炭化物や焼土ブロックが認められる。

(1) IV区J1号焼土-1 [A-A']

形状：楕円形を呈する。

規模：長軸(南北)約1.2m・短軸(東西)約95cm・深さ約15cmの規模である。

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。

(2) IV区J1号焼土-2 [B-B']

形状：楕円形を呈する。

規模：長軸(北東～南西)約80cm・短軸(北西～南東)約60cm・深さ約10cmの規模である。

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



第6章写真22 IV区J1号焼土出土状況[南→]

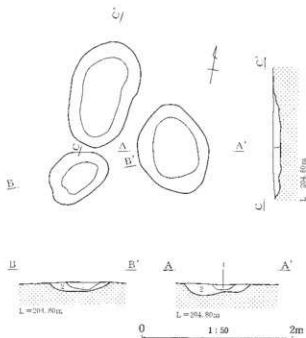
(3) IV区J1号焼土-3 [C-C']

形状：楕円形を呈する。

規模：長軸(南北)約1.4m・短軸(東西)約80cm・深さ約10cmの規模である。

土層：土層は、1層である。

遺物：遺物は、出土しなかった。



IV区J1号焼土 A-A'

1. 褐色土 焼土ブロック(φ2cm以下)を非常に多く含む。
2. 暗褐色土 褐色土ブロック(φ1cm以下)、黄褐色パミス(φ3mm以下)、礫(φ2cm以下)を少量含む。

B-B'

1. 褐色土 焼土ブロック(φ2cm以下)を非常に多く含む。
2. 暗褐色土 褐色土ブロック(φ1cm以下)、黄褐色パミス(φ3mm以下)、礫(φ2cm以下)、炭化物(φ5mm以下)を少量含む。

C-C'

1. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ1cm以下)、炭化物(φ5mm以下)、礫(φ1cm以下)、黄褐色パミス(φ3mm以下)を少量含む。

第6章第133図 IV区J1号焼土

## 8. 倒木

IV区縄文面から、倒木遺構が1基検出された。発掘調査時は、294号・295号・296号土坑の3基の土坑として調査されていたが、遺物整理の段階で、倒木痕に分類し直した。その理由として、平面形状が2面(FP下)で検出された倒木痕跡に似ていること・土層に炭化物を多数含むこと等である。

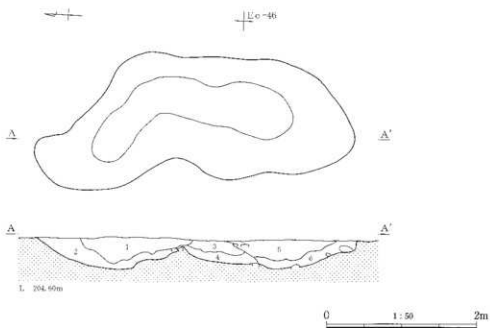
## (1) J1(8)号倒木

形状：不整楕円形を呈する。

規模：長軸(南北)約4.25m・短軸(東西)約1.3m~1.6m・深さ約10cm~40cmの規模である。

土層：土層は、6層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。

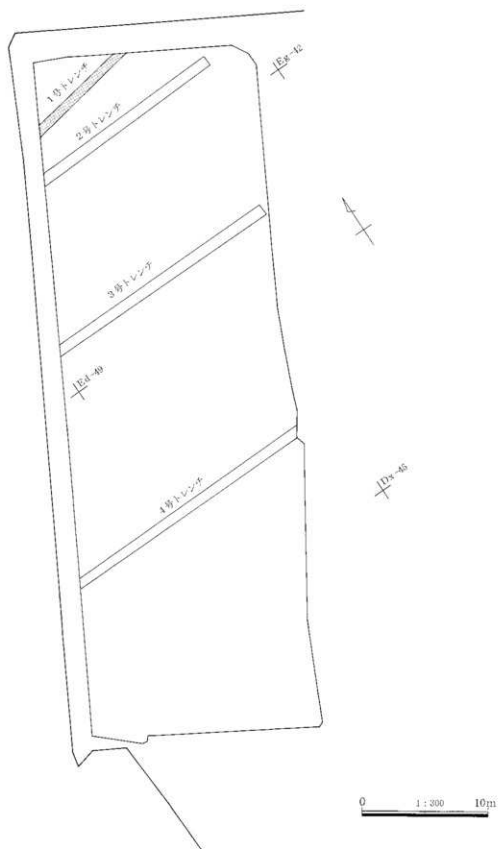


## IV区J1号倒木痕

1. 黒褐色土 黄褐色バミス(φ3mm以下)をやや多く含む。炭化物(φ5mm以下)、籾(φ3cm以下)を少量含む。
2. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ2cm以下)を多く含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)を少量含む。
3. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ1cm以下)、炭化物(φ3mm以下)、黄褐色バミス(φ3mm以下)を少量含む。
4. 黒褐色土 炭化物(φ1cm以下)、籾(φ5cm以下)、黄褐色バミス(φ3mm以下)を少量含む。
5. 黒褐色土 黄褐色バミス(φ3mm以下)、籾(φ5cm以下)をやや多く含む。
6. 黒褐色土 褐色土ブロック(φ2cm以下)、籾(φ10cm以下)を多く含む。黄褐色バミス(φ3mm以下)を少量含む。

第6章第134図 IV区J1号倒木痕





第6章第135図 IV区トレンチ位置図

## 9. トレンチ

IV区の1号トレンチから、土器と石器が出土した。土器は、十三舌提式深鉢1点・興津Ⅱ式深鉢1点・諸磯b式有孔深鉢1点を掲載した。石器は、石核1

点・打製石斧1点を掲載した。

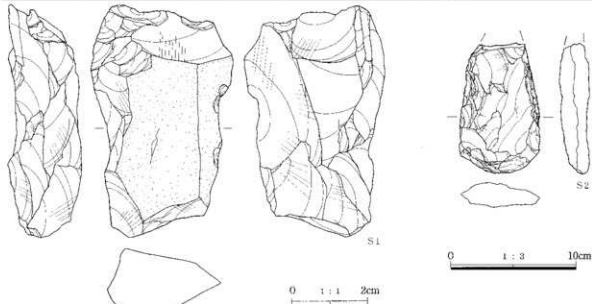
また、グリッドが特定できない遺構外出土物の内、土器3点を掲載した。



第6章第136図 IV区1号トレンチ出土縄文土器

第6章60 IV区1号トレンチ出土縄文土器観察表(第6章第136図、PL.66)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成		胎土	分類	文様
				色	番号			
P1	1号トレンチ	深鉢	口縁破片	赤褐色	7.5YR2/4	細かい砂粒	十三舌提式	集合沈線による菊南文、三角印刻。
P2	1号トレンチ	深鉢	胴部破片	赤褐色	5YR5/6	φ1~2mmの小石	興津Ⅱ式	凹文。
P3	1号トレンチ	有孔深鉢	破片	黄	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	沈線を出さ8~10mmに並行させ彫刻文を施し木槌文を模す。



第6章第137図 IV区1号トレンチ出土縄文石器

第6章61 IV区1号トレンチ出土縄文石器観察表(第6章第137図、PL.66)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値(cm)			重量(g)	石		特徴
				長さ	幅	厚さ		材		
								A	B	
S1	埋没土	石核	完整	5.84	3.63	1.79	40.55	黒曜石	—	2面に一部表面残存。
S2	埋没土	打製石斧	土曜部欠損	(10.13)	6.30	2.40	206.00	安山玄武岩	—	彫刻形石斧。



第6章第138図 IV区一括出土縄文土器

第6章62 IV区一括出土縄文土器観察表(第6章第138図、PL.66)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成		胎土	分類	文様		
				色	番号					
P1	IVC区	深鉢	口縁破片	黄	5YR6/6	細かい砂粒	十三舌提式	集合沈線による菊形文、スズ行着。		
P2	IVC区	一括	深鉢	破片	赤褐色	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	十三舌提式	集合沈線部凹文、菊南文。	
P3	IVC区	一括	深鉢	口縁破片	黄	明黄褐色	10YR7/6	砂粒	興津Ⅱ式	凹文。

## 第2節 IV区遺構外

IV区遺構外の掲載遺物は、土器が165のグリッドから463点、石器が154のグリッドから325点の合計503点を掲載した。

出土土器及び石器の内訳は、以下の表通りである。

## 1. 土器

土器の内、型式が判明したものは、諸磯a式55点・諸磯b式443点・諸磯c式62点・諸磯式4点・浮島式38点・興津式9点・大木式30点・十三菩提式32点である。その他、北白川下層IIc式・下島式・有尾式等が出土している。

大きな傾向として、V区と同様に諸磯b式を中心

とした諸磯式が主体である。

土器の器種は、深鉢が大多数を占め、次に有孔浅鉢・浅鉢となる。

## 2. 石器

石器の内、出土点数順にみると、打製石斧101点・石鏃56点・磨石37点・凹石34点・石匙20点・石核20点・石皿12点等となる。

大きな傾向として、V区と同様に打製石斧・石鏃・磨石・凹石・石匙等が中心である。

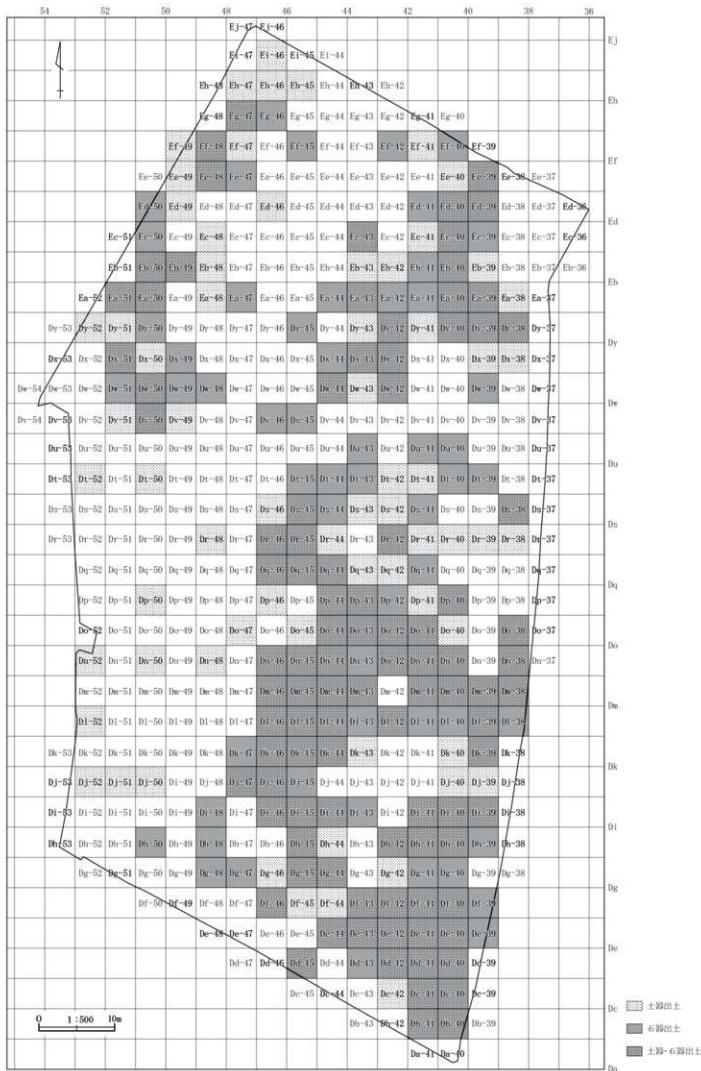
石器の出土層位では、V区と同様にほとんどの器種がVI層及びVII層から出土している。

第6章表63 IV区縄文面 遺構外縄文土器まとめ

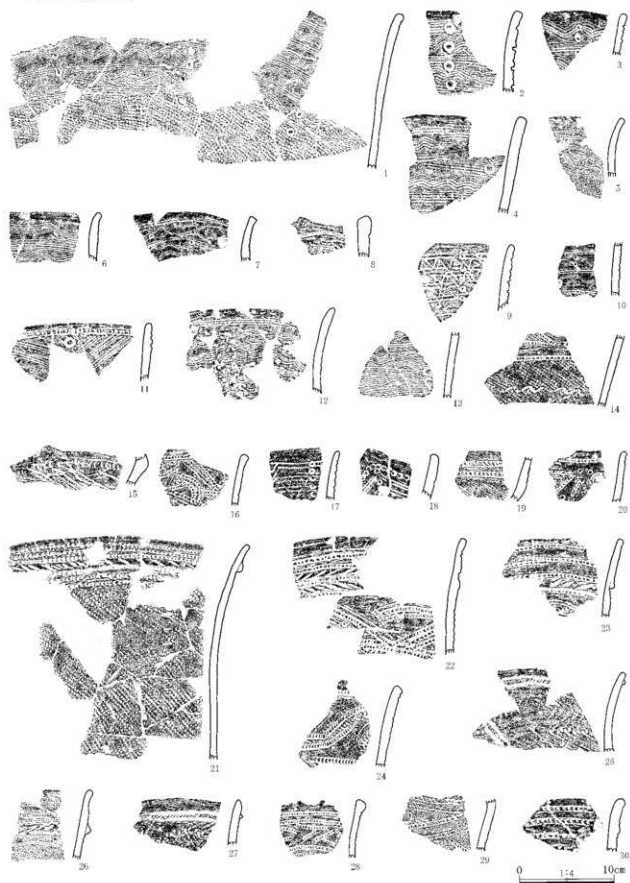
土器型式	諸磯a式				諸磯b式				諸磯c式				諸磯(中)	浮島			興津		大木		十三菩提		
	古	新	不明		古	中1	中2	中	新	不明	古	中1		不明	古	中	不明	興津I	興津II	大木I		大木II	不明
深鉢	4	42	4	58	3	200	56	31	19	10	28	4	1	2	2	18	1	1	8	23	3	4	32
浅鉢	—	—	—	—	2	32	10	2	2	—	9	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
有孔浅鉢	—	4	1	2	—	2	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
ミニチュア土器	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
土製円盤等	—	—	—	—	2	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
総計	4	46	5	60	5	236	66	33	33	10	48	4	1	3	3	19	1	1	8	23	3	4	32

第6章表64 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器まとめ

	層	石鏃	尖頭鏃	石匙	石鏃	打斧	砥石	敲石	石核	磨石	凹石	多孔石	石皿	台石	異形	石刀	磨器	台形	石鏃	剥片	磨斧	耳飾り	
		16	1	6	1	38	—	1	9	10	10	2	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—
VI	層	25	—	7	3	54	6	1	8	17	19	5	8	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
VII	層	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
VIII	層	4	—	5	2	8	—	1	2	10	5	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
IX	層	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
X	層	10	—	2	2	1	—	—	1	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
層位不明		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		56	2	20	8	101	6	3	20	37	34	9	12	—	1	1	3	—	—	2	4	1	—

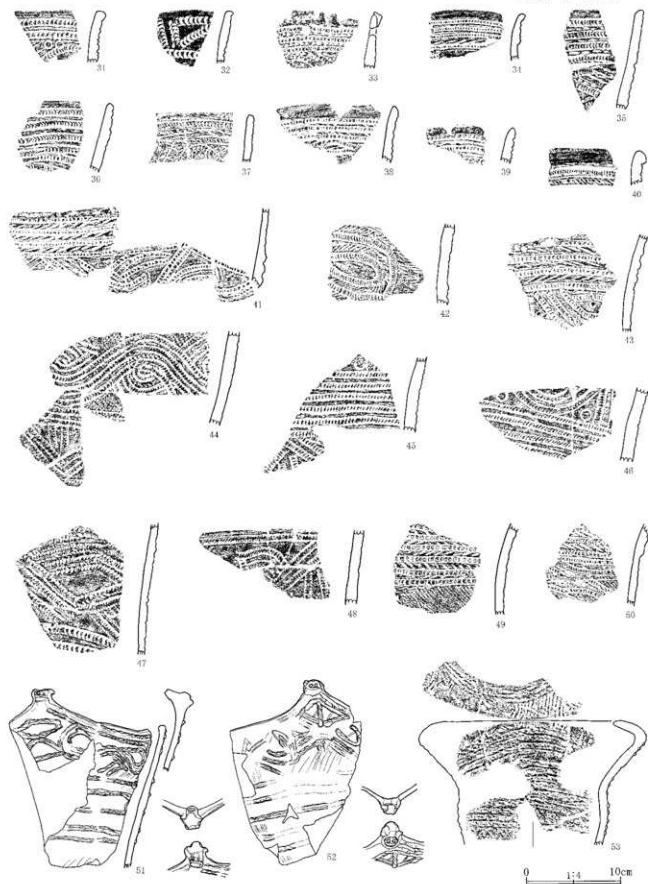


第6章第139図 IV区グリッド配置図



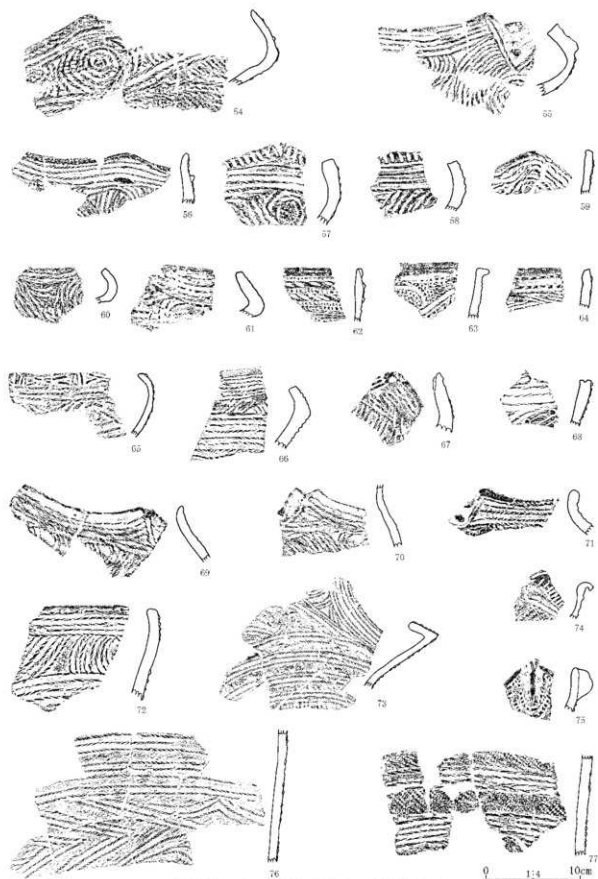
第6章第140回 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)

第2節 IV区遺構外



第6章第141回 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)

第6章 IV区の調査



第6章第142回 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(3)



第6章第143回 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(4)



第6章 IV区の調査

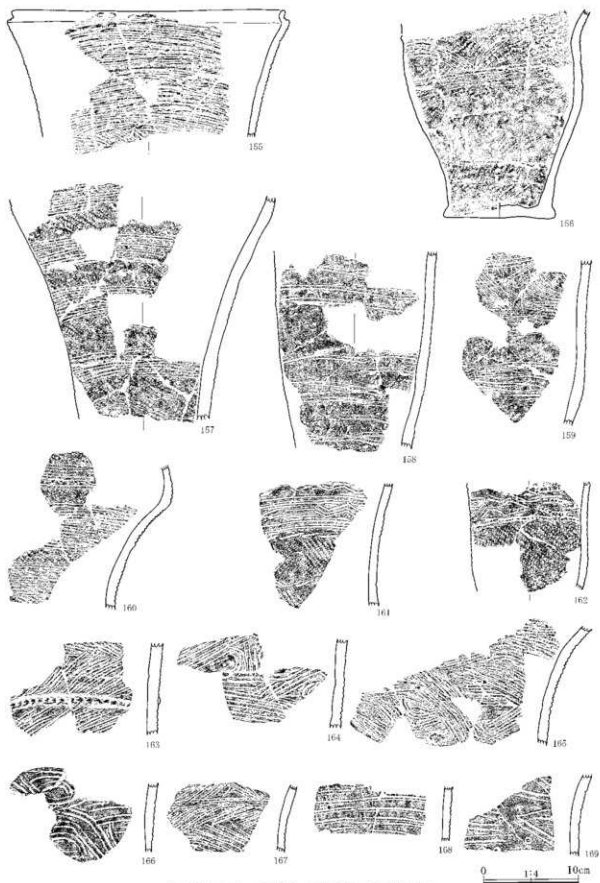


第6章第144回 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(5)



第6章第145回 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(6)

第6章 IV区の調査

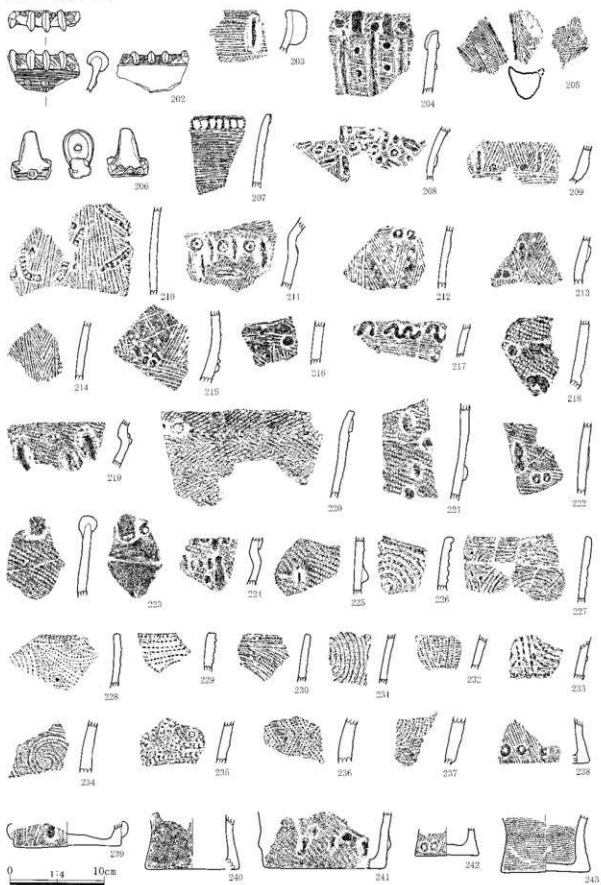


第6章第146回 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(7)

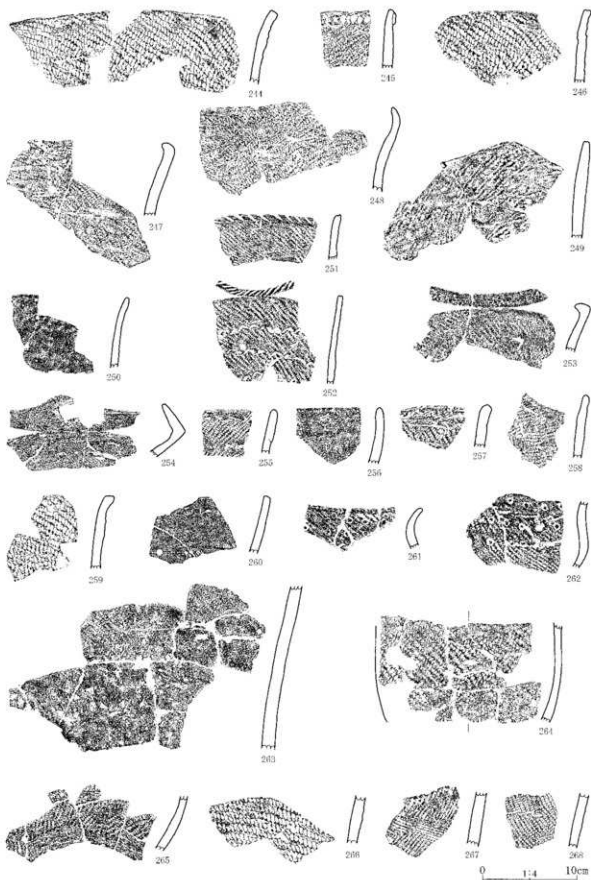


第6章第147回 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(8)

第6章 IV区の調査

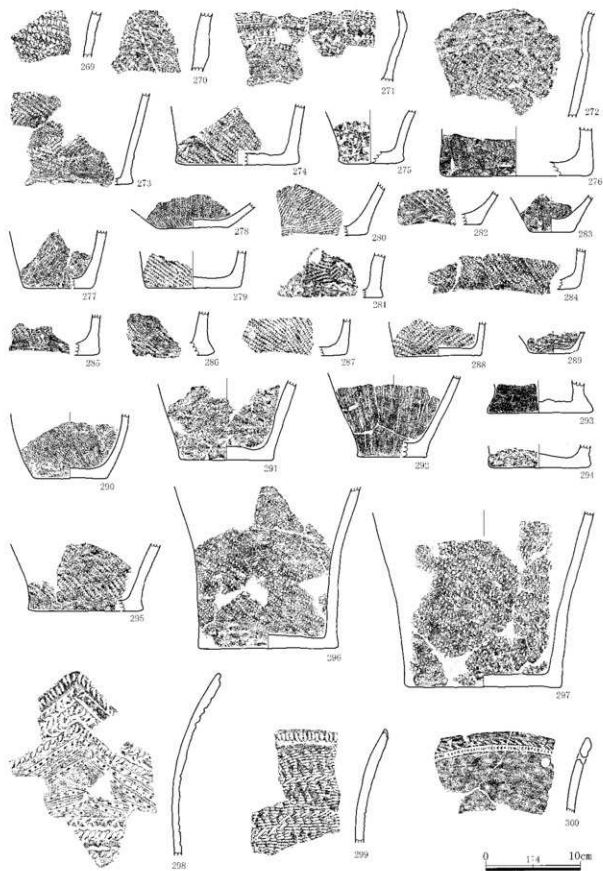


第6章第148回 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(9)



第6章第149回 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器10

第6章 IV区の調査



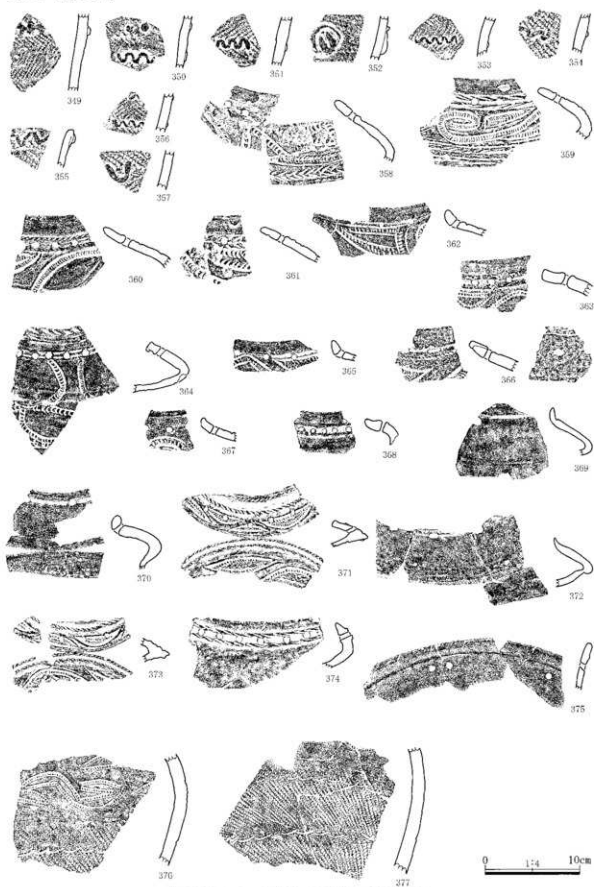
第6章第150回 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)



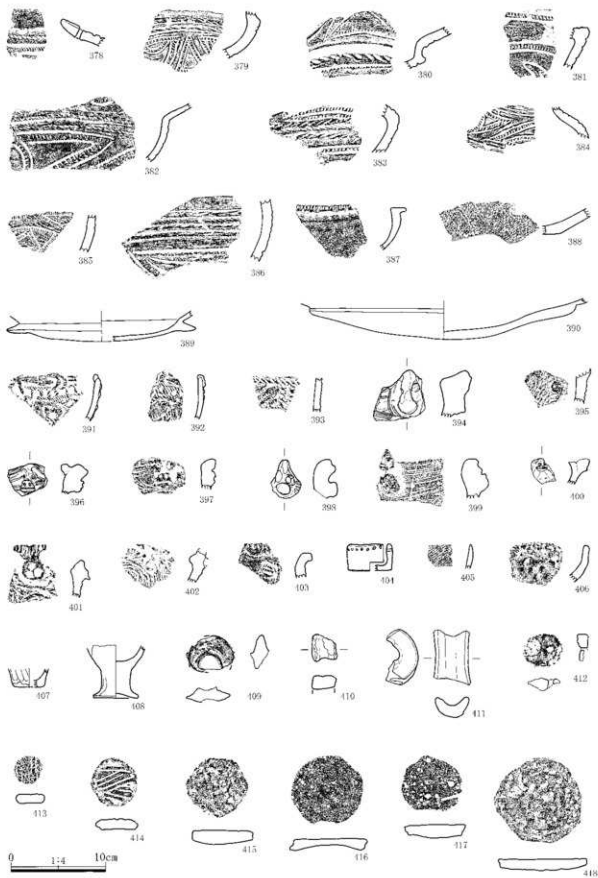
第6章第151回 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器⑫



第6章 IV区の調査

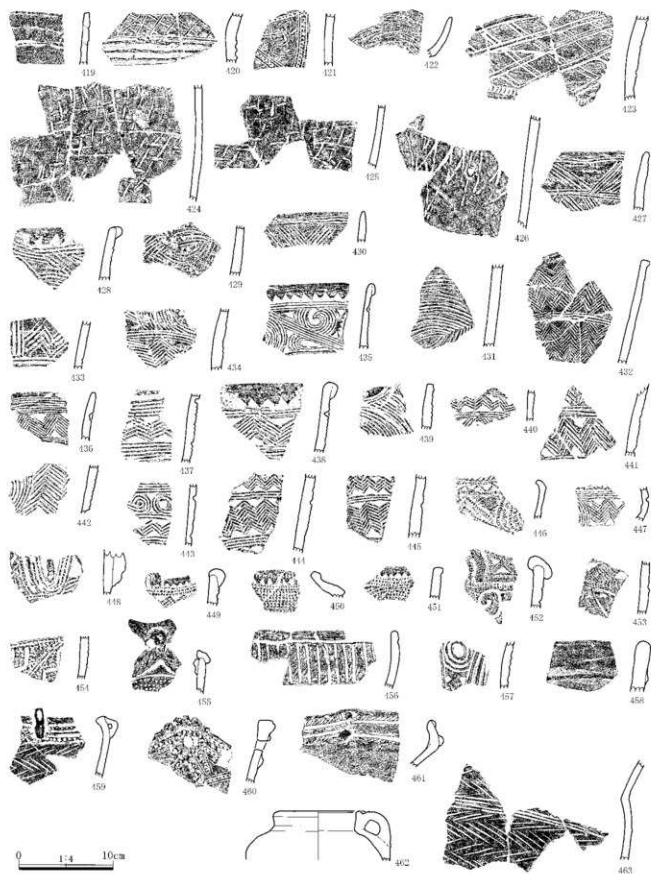


第6章第152回 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器13



第6章第153回 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器14

第6章 IV区の調査



第6章第154図 IV区縄文面 遺構外出土縄文土器15

第6章表65 IV区縄文遺構出土土器文土器観察表(第6章第140~154図、PL.67~82)

番号	出土位置	器種	残存状態	地味	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	Dm-44G 甕・灰層	深鉢	口縁	普通	明赤褐色	2.5YR5/6	細かい砂粒多い	諸磯a式(新)	市2mmの平行沈線を2重にして横線と波状線を描く。φ8mmの円形刺突が縦位に施文。縄文原形RL。
P2	Dm-42G	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	平截竹管を束ねた櫛状の工具で、横線、波状線を描く。φ12mmの円形刺突が縦位に施文される。
P3	Dm-39G 甕層	深鉢	口縁破片	良	におい赤褐色	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯a式(新)	平截竹管を束ねた櫛状の工具による横線、波状線。φ6mmの円形刺突が縦位に施文される。
P4	Dm-44G 甕層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐色	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	櫛状の工具による横線と波状線。φ10mmの円形竹管を縦位に施文。
P5	Dp-42G 灰層	深鉢	口縁破片	普通	におい赤褐色	5YR4/3	φ1mmの紅石粒	諸磯a式(新)	市3mmの波状線。φ5mmの円形竹管縦位施文。縄文原形RL。
P6	Dm-42G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	黄褐色	10YR6/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	櫛状工具による横線と波状線。
P7	Dp-44G 灰層	深鉢	口縁破片	良	灰褐色	5YR4/2	細かい砂粒	諸磯a式(新)	市3mmの沈線による横線、波状線。φ4mmの円形刺突。
P8	Dm-42G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	市3mmの沈線による横線。
P9	Dm-43G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	におい黄褐色	10YR7/3	細かい砂粒	諸磯a式(新)	市5mmの平行沈線による横線、波状線。φ5mmの円形刺突を縦位に施文。
P10	Dp-44G 灰層	深鉢	口縁破片	良	におい赤褐色	2.5YR5/4	φ1~2mmの小石	諸磯a式(新)	市2mmの平行沈線による横線、波状線。φ4mmの円形刺突を縦位に施文。
P11	Dm-43G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	灰赤色	2.5YR4/2	φ1~2mmの小石	諸磯a式(古)	市5mmの平行沈線爪形文が施文される。φ10mmの円形刺突と米字文。
P12	Eg-39G 甕層	深鉢	口縁破片	不良	暗赤褐色	5YR3/2	φ1~2mmの小石多い	諸磯a式(新)	櫛状工具による横線と波状線。
P13	Eg-40G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	におい褐色	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯a式(新)	櫛状工具による横線、波状線。φ8mmの円形刺突を縦位に施文。
P14	Eg-39G 甕層	深鉢	胴部破片	不良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	市4mmの平截竹管爪形文による木葉文、磨り消し縄文。胴下部縄文は結節縄文になる。縄文原形RL。
P15	Dl-44G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	灰褐色	5YR4/2	φ1~3mmの小石多い	諸磯a式(古)	口唇に突起。口縁に沿って爪形文施文。市5mmの平行沈線による米字文。
P16	Eg-44G 甕層	深鉢	口縁破片	良	におい赤褐色	5YR5/3	細かい砂粒	諸磯a式(新)	市4mmの平行沈線爪形文による木葉文。
P17	Dp-46G 灰層	深鉢	口縁破片	不良	淡黄	2.5Y8/3	細かい砂粒	諸磯a式(新)	市5mmの横位の平行沈線と円形刺突を縦位に施文。
P18	Eg-39G 甕層 Eg-40G 甕層	深鉢	口縁破片	不良	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	市4mmの平行沈線、円形刺突、口縁に沿って施文。
P19	Dp-42G 甕層	浅鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	市5mmの平行沈線爪形文横位施文。縄文原形RL。
P20	Dk-41G 甕層	浅鉢	口縁破片	良	におい褐色	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯a式	市4mmの平行沈線爪形文による木葉文、磨り消し縄文。縄文原形RL。
P21	Dr-44G 甕・灰層	深鉢	口縁	普通	におい褐色	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸磯b式(古)	市4mmの爪形文横位施文。爪形文間に刻みを持つ隆線。縄文原形RL。
P22	Dl-46G 甕・灰層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(古)	市5mmの平行沈線爪形文による変形木葉文。
P23	Dp-44G 甕・灰層	深鉢	口縁破片	良	褐色	7.5YR4/3	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	市4mmの爪形文横位施文。隆線に斜の刻み。
P24	Dl-46G 灰層	深鉢	口縁破片	普通	褐色	7.5YR4/3	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	市6mmの平行沈線爪形文による変形木葉文。27と同一個体。
P25	Dq-45G 灰層	深鉢	口縁破片	良	におい赤褐色	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	太さ3mmの浮線が口縁に廻り、口縁文様を描く。浮線には刻み、断面形は凸形。縄文原形RL。L.R.26と同一個体。
P26	Dm-44G 甕層	深鉢	口縁破片	良	におい褐色	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	太さ3mmの平截竹管による平行沈線爪形文による木葉文、文様間に刻みを持つ隆線。縄文原形RL。25と同一個体。
P27	Dq-45G 灰層	深鉢	破片	良	におい褐色	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	24と同一個体。
P28	Dm-41G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	明褐色	7.5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	口唇部に2単位の突起。市5mmの平行沈線爪形文による木葉文から変化した文様施文。
P29	Dm-40G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	におい褐色	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	市4mmの平行沈線に刻みを加えたため、木葉文を描く。
P30	Dm-47G 甕層	深鉢	口縁破片	不良	橙	5YR6/8	砂粒、紅石粒	諸磯b式(古)	市6mmの平行沈線爪形文横位施文。間の隆線には斜位の刻み。
P31	Ea-38G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(古)	市7mmの平行沈線爪形文による文様施文と円形刺突。
P32	Dm-42G	深鉢	口縁破片	良	におい赤褐色	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	市8~9mmの平行沈線爪形文による文様施文。
P33	Ea-38G	深鉢	口縁破片	不良	黄褐色	7.5YR7/8	砂粒多い	諸磯b式(古)	口唇部に突起。市5mmの平行沈線爪形文による文様施文、袖形孔。
P34	Dp-38G	深鉢	口縁破片	良	におい褐色	7.5YR6/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(古)	市5mmの平行沈線爪形文による文様施文。間に刻みを持つ隆線。
P35	Dp-44G	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(古)	市7mmの平行沈線爪形文による文様施文。間に横長の刺突列が加えられる。

第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成色	調査番号	胎土	分類	文様
P36	Dk-45G 甕層	深鉢	口縁破片	不負 に赤い赤褐色	5YR5/4	φ1mmの小石、白色粒多い	諸磯b式(古)	市8mmの平行沈線爪形文による文様施文。
P37	Df-44G W・甕層	深鉢	口縁破片	普通 に赤い橙	7.5YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	市8mmの平行沈線爪形文による文様施文。
P38	Ed-40G 甕層	深鉢	口縁破片	不負 に赤い橙	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石、粒石粒	諸磯b式(古)	市7mmの平行沈線爪形文による文様施文。
P39	Do-45G 甕層	深鉢	口縁破片	良 稀	7.5YR4/3	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	市7mmの平行沈線爪形文による文様施文。
P40	Dn-42G 甕層	深鉢	口縁破片	良 に赤い橙	5YR6/4	φ1mmの小石	諸磯b式(古)	市11mmの平行沈線爪形文による文様施文。間に刻みのある隆線。
P41	Di-46G Ⅱ層、 Dh-46G 甕層、 Dk-45・石G	深鉢	口縁破片	普通 に赤い橙	7.5YR7/4	細かい砂粒、黒色粒	諸磯b式(古)	市5mmの平行沈線爪形文による変形木葉文。口縁部文様を区画する隆線には斜位の刻み。
P42	Dr-44G 甕層	深鉢	口縁破片	普通 に赤い橙	7.5YR5/3	φ1~2mmの小石、粒石粒	諸磯b式(古)	市8mmの平行沈線爪形文との間の刻みを持つ隆線による横刃文様施文。
P43	Dy-38G 甕層	深鉢	口縁破片	普通 灰褐色	7.5YR4/2	細かい砂粒、粒石粒	諸磯b式(古)	市7mmの平行沈線爪形文による横位区画と変形木葉文。間の隆線には斜位の刻み。
P44	Eb-39G 甕層、 Ec-39G 甕層	深鉢	胴部破片	普通 橙	5YR6/6	細かい砂粒、黒色粒	諸磯b式(古)	市8mmの平行沈線爪形文による波状文、蕨手文、縄文原体 RL。
P45	Eb-39G Ⅱ層・Ⅱ層	深鉢	胴部破片	普通 橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(古)	市8mmの平行沈線爪形文による文様施文。
P46	Eb-39G Ⅱ層	深鉢	胴部破片	普通 橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式(古)	市8mmの平行沈線爪形文による文様区画。
P47	Ds-43G 甕層	深鉢	胴部破片	良 に赤い橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(古)	市8~10mmの平行沈線爪形文による変形文。
P48	Eb-39G Ⅱ層、 Ec-39G Ⅱ層	深鉢	胴部破片	不負 に赤い赤褐色	5YR5/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(古)	市8mmの平行沈線爪形文による文様施文。
P49	Dm-38G Ⅱ層、 Dn-39G 甕層	深鉢	胴部破片	普通 に赤い橙	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石、黒色粒	諸磯b式(古)	市6mmの平行沈線爪形文横位施文。間の隆線に刻み。縄文原体 RL。
P50	Dk-39G 甕層	深鉢	胴部破片	良 に赤い赤褐色	10YR5/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(古)	市5mmの平行沈線爪形文による木葉文、磨り消し縄文。隆線には斜位の刻み。縄文原体 RL。
P51	Dm-48G 甕層	深鉢	口縁・胴部	良 に赤い橙	7.5YR5/4	φ1~3mmの小石	諸磯c式(中1)	波状口縁部に腹面肥子。内面から腹面表現があり二面性を持つ。浮線による横位区画。口縁に渦巻文、e字文、浮線断面凸形。刻み。縄文原体 RL。52と同一個体。
P52	Dn-48G 甕層	深鉢	口縁・胴部	良 に赤い橙	7.5YR5/4	φ1~3mmの小石	諸磯c式(中1)	51と同一個体。
P53	De-42G 甕層、 Df-42G Ⅱ層・FA下	深鉢	口縁・胴部	普通 に赤い橙	7.5YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。口縁部文様は弧線、渦巻文施文。縄文原体 RL。
P54	Df-43G Ⅱ層、 Df-47G 甕層	深鉢	口縁破片	普通 明赤褐色	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。口縁部文様渦巻文。浮線に刻み。縄文原体 RL。
P55	Dm-46G Ⅱ層・Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良 に赤い赤褐色	5YR5/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁部には切り込みを持つ3単位突起になる。胴縁に粘土層を貼付し腹面を表現する。浮線による渦巻文。
P56	Dv-44G 甕層	深鉢	口縁破片	良 明赤褐色	10YR6/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による対角状渦巻文。浮線には刻み。縄文原体 RL。
P57	Dq-45G 甕層	深鉢	口縁破片	良 稀	7.5YR4/3	φ1~3mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による文様区画。口縁部には渦巻文。浮線に棒状のもので押圧を加える。口唇部は刻み。浮線の断面凸形。58と同一個体。
P58	Dk-46G 甕層	深鉢	破片	良 稀	7.5YR4/3	φ1~3mmの小石	諸磯c式(中1)	57と同一個体。
P59	Dg-42G 甕層	深鉢	口縁破片	良 に赤い橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による渦巻文。浮線に刻み。浮線断面凸形。
P60	Dh-41G 甕層	深鉢	口縁破片	不負 に赤い橙	7.5YR7/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(中2)	浮線による弧線文。浮線に刻み。
P61	Dd-42G 甕層	深鉢	口縁破片	良 明赤褐色	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による弧線文。浮線に刻み。
P62	Di-39G 甕層	深鉢	口縁破片	良 に赤い赤褐色	5YR4/3	φ1~2mmの小石	諸磯b式(古)	市5mmの平行沈線爪形文と間の隆線に刻みを持つ。
P63	Dy-51G 甕層	深鉢	口縁破片	良 明赤褐色	5YR5/6	細かい砂粒	下高式	結節状施文による渦巻文。
P64	Dv-44G 甕層	深鉢	口縁破片	良 に赤い赤褐色	5YR4/3	細かい砂粒	諸磯b式(中)	口縁に沿って浮線2条が走る。口縁に市4mmの平行沈線が格子目状に施文。

## 第2節 W区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P65	Df-46G 瓦層、 Dg-42G 瓦層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐色	5YR4/3	φ1~2mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による渦巻文、「×」字文。浮線には刷み、縄文原形 RL。
P66	Df-40G 瓦層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐色	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画と弧線。浮線には矢羽根状の刷み。
P67	Dg-45G 瓦層	深鉢	口縁破片	普通	黄	5YR6/6	細かい砂粒多い	諸磯b式(中2)	浮線による文様施文。浮線には縄文が施文される。縄文原形 RL。
P68	Do-44G 瓦層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐色	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	口唇部には彫刻と捺線施文。浮線による文様区画。区内内にφ8mmの平行沈線と円形刷り。
P69	Do-47G 瓦層	深鉢	口縁破片	不良	明赤褐色	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	扁平な浮線による文様施文。口縁には大波状になり頂部微面に断面を表現する。浮線には矢羽根状の刷みのみ。
P70	Do-47G 瓦層	深鉢	口縁破片	不良	明赤褐色	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁になり、頂部微線には断面を表現する。浮線による弧線文等。浮線には刷み。
P71	De-41G 瓦層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄褐色	2.5Y6/3	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部微面に粘土層付し断面を表現する。浮線による文様施文。浮線には刷み。
P72	DI-45G 瓦層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR7/4	細かい砂粒、黒色粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。区内内に弧線文。浮線には矢羽根状の刷み。縄文原形 RL。
P73	Dd-42G 瓦層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR7/3	細砂、黒色粒	諸磯b式(新)	口縁くつ先状になる。扁平な浮線による横位区画。区内内には弧線文、渦巻文。
P74	Dk-43G 瓦層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄褐色	10YR6/4	φ1mmの小石多い	諸磯c式(中1)	波状口縁。口唇部に刷み。浮線による山形文。浮線には渦巻文。縄文原形 RL。
P75	Dq-41G 瓦層	深鉢	口縁破片	普通	黄	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(新)	波状口縁頂部微面に棒状の刷り付け。結節浮線による弧線文。
P76	Dm-46G 瓦層、 Dn-40G 瓦層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐色	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。区内内に矢羽根状の文様施文。浮線には矢羽根状の刷み。縄文原形 RL。
P77	Do-39G 瓦層、 Do-40G 瓦層	深鉢	胴部破片	普通	黄	5YR6/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刷み。内面スス付着。縄文原形 RL。
P78	Do-47G 瓦層	深鉢	胴部破片	不良	明赤褐色	5YR5/8	φ1~3mmの小石、 軽石粒多い	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画と弧線文。浮線には矢羽根状の刷み。縄文原形 RL。
P79	Do-44G 瓦層	深鉢	胴部破片	良	にぶい褐色	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刷み。縄文原形 RL。
P80	Do-44G 瓦層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐色	7.5YR5/3	φ1mmの小石	諸磯b式(中2)	陸地に爪形の刷りを持つもので横位区画。市3mmの平行沈線と矢羽根状に施文。
P81	Do-44G 瓦層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐色	7.5YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刷み。
P82	Ds-42G 瓦層、 Ds-43G 瓦層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐色	7.5YR5/4	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刷み。縄文原形 RL。
P83	Db-41G 瓦層	深鉢	胴部破片	不良	にぶい褐色	7.5YR7/4	細かい砂粒、軽石粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刷み。縄文原形 RL。
P84	Dd-42G 瓦層	深鉢	胴部破片	不良	にぶい褐色	7.5YR7/4	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	扁平な浮線による横位区画。区内内に弧線文。浮線には矢羽根状の刷み。縄文原形 RL。
P85	Dm-46G 瓦層	深鉢	口縁-胴部破片	良	にぶい褐色	7.5YR5/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線による弧線文。浮線には矢羽根状の刷み。
P86	Ds-38G 瓦層、 Dt-38G 瓦層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐色	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線には「×」字状、矢羽根状の刷みを持つ。縄文原形 RL。
P87	Dh-45G 瓦層、 Di-45G 瓦層	深鉢	胴部破片	不良	灰褐色	7.5YR5/2	φ1~2mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による口縁部横位区画。区内内縦位弧線文。浮線には矢羽根状の刷み。縄文原形 RL。
P88	De-41G 瓦層	深鉢	胴部破片	良	にぶい褐色	5YR6/4	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刷み。縄文原形 RL。
P89	Dp-46G 瓦層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐色	5YR4/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刷み。縄文原形 RL。
P90	Dr-44G 瓦層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR5/3	φ1~2mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による口縁部横位区画。浮線には矢羽根状の刷み。断面刷り。縄文原形 RL。
P91	Dj-40G 瓦層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐色	10YR6/4	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刷み。内面スス付着。縄文原形 RL。
P92	Dd-41G 瓦層	深鉢	胴部破片	普通	黄	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刷み。縄文原形 RL。
P93	Dd-40G 瓦層、 Do-40G 瓦層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐色	7.5YR7/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には刷みのみ。
P94	Dr-44G 瓦層	深鉢	胴部破片	不良	にぶい褐色	7.5YR7/4	細かい砂粒、白色粒	諸磯b式(中1)	浮線による渦巻文。浮線には矢羽根状の刷み。縄文原形 RL。
P95	Do-43G 瓦層	深鉢	胴部破片	不良	にぶい黄褐色	10YR7/4	細かい砂粒、黒色粒多い	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線にはやや大きめの刷み。断面には凸形になる。縄文原形 RL。
P96	Dd-43G 瓦層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい褐色	7.5YR7/4	細かい砂粒、黒色粒	諸磯b式(中1)	浮線による横位施文。浮線には爪形文が施文される。

第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P97	Do-40G Ⅱ層	深鉢	底部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画、梯子状施文。浮線には「×」状の跡あり。
P98	De-40G Ⅱ層	深鉢	底部	普通	にぶい橙	7.5YR7/3	φ1～2mmの小石、 粒石粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の跡あり。 縄文原体 RL。
P99	Dd-40G Ⅱ層	深鉢	底部破片	不具	にぶい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒、粒石粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の跡あり。 縄文原体 RL。
P100	Dk-46G Ⅱ層	深鉢	底部	不具	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	偏平な浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の跡あり。 縄文原体 RL。
P101	Df-41G Ⅱ層	深鉢	底部破片	良	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	偏平な浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の跡あり。
P102	Dd-46G Ⅱ層	深鉢	底部	不具	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯b式(新)	浮線による横位区画。浮線に縄文施文。浮線の胎土と本体の胎土が異なる。縄文原体 RL。
P103	Dd-40G Ⅱ層	深鉢	底部	不具	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒多い	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の跡あり。 縄文原体 RL。
P104	Dm-46G Ⅱ層	深鉢	口縁-胴部 破片	普通	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石、 粒石粒	諸磯b式(中2)	市6mmの平行浮線による横位区画。区内面に菱形文。 縄文原体 RL。
P105	Dm-46G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石、 粒石粒	諸磯b式(中2)	市3mmの平行浮線による横位区画。菱形文。縄文原体 RL。
P106	Dd-40G Ⅱ層、 De-41G Ⅱ層	深鉢	口縁-胴部 破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	市4mmの平行浮線による横位区画。口縁部文様帯には弧線文。
P107	Dm-46G Ⅱ層	深鉢	胴部-底部	普通	にぶい橙	7.5YR5/4	φ1mmの小石	諸磯b式(中2)	市5mmの平行浮線を集合させた横位区画を作る。 縄文原体 RL。
P108	Dm-45G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石、 粒石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁口唇部に3単位の変り。市4mmの平行浮線による横位区画。縄文原体 RL。
P109	Dk-46G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	濁	7.5YR4/4	細かい砂粒多い	諸磯b式(中2)	口縁に「の」の字形の粘土瘤が付し、市3mmの平行浮線による文様区画。口縁部には弧線文。釣り針状文などが施文される。
P110	Elb-30G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	濁	7.5YR4/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	市3mmの平行浮線による文様区画。区内面に新緑線文。
P111	De-42G Ⅱ層	深鉢	口縁-胴部 破片	普通	明濁	7.5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	市3mmの平行浮線による横位区画。波状口縁側に粘土瘤による突起。
P112	Dd-41G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	市4mmの平行浮線による横位区画。
P113	Do-42G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	明濁濁	10YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁部側面に粘土瘤を付し版面把手を作る。市4mmの平行浮線による弧線文。縄文原体 RL。
P114	Dx-42G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	市3mmの平行浮線を数本単位で集合させた横位区画とする。
P115	Dl-41G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	濁濁	10YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	市3mmの平行浮線横位施文。縄文原体 RL。
P116	Dd-41G Ⅱ層、 Ⅲ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁。市3mmの平行浮線による横位区画。
P117	Dm-45G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	明濁	7.5YR5/6	φ1mmの小石	諸磯b式(中2)	市5mmの平行浮線による文様施文。
P118	Dd-42G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	市4mmの平行浮線による横位施文。縄文原体 RL。
P119	Dq-45G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒、白色粒	諸磯b式(中2)	市5mmの平行浮線を集合させた文様施文。
P120	Dl-46G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	市5～6mmの平行浮線を集合させた文様施文。縄文原体 RL。
P121	De-44G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中1)	市5mmの平行浮線による同心円状の弧線。縄文原体 RL。
P122	Dq-44G Ⅱ層、 Ⅲ層	深鉢	口縁破片	普通	濁	7.5YR4/3	細かい砂粒、粒石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁3単位の小突起。市5mmの平行浮線による弧線文。
P123	Dh-41G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	濁	7.5YR4/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁3単位の小突起。市5mmの平行浮線による弧線文。釣り針状文。
P124	Df-41G Ⅱ層、 Dg-41G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁+突起。市4mmの平行浮線による横位区画。区内面に弧線文。釣り針状文。縄文原体 RL。
P125	Dp-43G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	濁	7.5YR4/4	φ1～2mmの小石	諸磯c式(中1)	口縁部に版面が把手状にのり。市3mmの平行浮線による弧線文。釣り針状文。平行浮線に矢羽根状の跡が加えられる。縄文原体 RL。
P126	De-43G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	明濁	7.5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁部側面に粘土瘤が付し版面を表現する。市5mmの平行浮線による弧線施文。
P127	De-42G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい濁	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁側に粘土瘤が付し版面を表現する。市5mmの平行浮線による弧線文。
P128	De-44G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	明濁	7.5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	太い「の」の字形の隆線を口縁に貼り付け。市4mmの平行浮線横位施文。
P129	Dd-40G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	明赤濁	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(新)	波状口縁部側面に粘土瘤が付し、市4mmの平行浮線による文様施文。
P130	Dk-46G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい濁	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁部側面に粘土瘤が付し、市3mmの平行浮線による弧線施文。縄文原体 RL。

## 第2節 IV区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P131	De-41G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	褐色	7.5YR4/6	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸織b式(中2)	浅い沈線による横位区画。
P132	De-40G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	褐色	7.5YR4/6	φ1~3mmの小石	諸織b式(中2)	波状口縁部側面に粘土層貼付。巾3mmの平行沈線による横位区画。縄文原体 R <sub>1</sub> 。
P133	Dd-41G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐色	5YR5/6	細かい砂粒、黒色 粒	諸織b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。
P134	Dg-46G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐色	7.5YR5/4	φ1mmの小石、黒 色粒	諸織b式(中2)	巾3mmの平行沈線による横位区画。
P135	Dh-41G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄褐色	10YR7/4	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸織b式(中2)	巾4mmの平行沈線による文様施文。縄文原体 R <sub>1</sub> 。
P136	Dd-42G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	褐色	10YR4/6	細かい砂粒	諸織b式(新)	巾3mmの平行沈線を集合させ文様を描く。
P137	Eb-40G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	褐色	7.5YR6/6	砂粒、軽石粒	諸織b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画。
P138	Dm-52G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	細かい砂粒	諸織c式(古)	巾3~4mmの平行沈線横位区画し、断面施文、ボタン状模様の押状貼付文。
P139	Dk-46G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	赤褐色	5YR4/6	細かい砂粒、軽石 粒	諸織b式(中2)	巾4mmの平行沈線による横位区画と対弧線文。
P140	Dd-45G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐色	5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸織b式(中2)	巾4mmの平行沈線による弧線文。
P141	Dh-44G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐色	5YR5/4	φ1~2mmの小石	諸織a式(古)	巾4mmの平行沈線による米字文。交点に円形の 刺突。
P142	De-42G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	褐色	10YR4/4	φ1mmの小石	諸織b式(中2)	巾3~4mmの平行沈線横位に施文。縄文原体 R <sub>1</sub> 。
P143	Dq-43G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐色	10YR6/6	φ1~2mmの小石	諸織c式(古)	巾3mmの平行沈線下、矢羽根文。
P144	De-40G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	不良	黄褐色	2.5YR6/3	細かい砂粒	諸織b式(中2)	波状口縁口唇に3単位突起。巾4mmの平行沈 線。縄文原体 R <sub>1</sub> 横。
P145	Dm-40G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐色	5YR5/4	細かい砂粒	諸織b式(中2)	口唇に2単位の小突起。巾4mmの平行沈線横位 施文。
P146	Dh-41G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐色	5YR5/6	φ1mmの小石、黒 色粒	諸織b式(新)	波状口縁部側面にボタン状貼付。くつ先状に 屈曲。巾2mmの平行沈線による風車状施文。
P147	De-41G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	褐色	5YR6/6	細かい砂粒、黒色 粒	諸織b式(新)	波状口縁部側面にボタン状貼付。くつ先状に 屈曲。巾2mmの平行沈線による弧線文。風車 状施文。
P148	Dp-44G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR7/4	φ1mmの小石多い	諸織b式(新)	大波状口縁。くつ先状に屈曲。巾3mmの平行沈 線を数本集合させ弧線文、対弧文を施文。
P149	Ea-40G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	明褐色	7.5YR5/6	φ1mmの小石多い	諸織b式(新)	波状口縁。くつ先状に屈曲。巾2mmの平行沈線 による風車状施文。
P150	Dh-40G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	褐色	7.5YR4/1	細かい砂粒	諸織b式(新)	波状口縁。くつ先状に屈曲。巾3mmの平行沈線 を集合させ弧線文。対弧文を施文。
P151	Dx-39G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR7/4	φ1mmの小石	諸織b式(新)	波状口縁部側面にボタン状貼付。集合沈線に よる風車状施文。対弧文を施文。
P152	De-40G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐色	7.5YR5/4	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸織b式(中2)	波状口縁巾3mmの平行沈線による文様施文。縄 文原体 R <sub>1</sub> 。
P153	Do-45G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	褐色	7.5YR6/6	φ1mmの小石	諸織b式(新)	波状口縁。くつ先状に屈曲。巾2mmの平行沈線 を集合させ風車状施文。
P154	Df-45G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐色	5YR5/8	細かい砂粒	諸織b式(新)	波状口縁。くつ先状に屈曲。巾5mmの平行沈線 による渦巻文、弧線文。縄文原体 R <sub>1</sub> 。
P155	Dh-41G Ⅷ層	深鉢	胴部	良	褐色	5YR6/6	φ1~2mmの小石	諸織b式(新)	平行沈線を集合させ横位に区画。矢羽根状施文。
P156	Dw-43G Ⅷ層	深鉢	胴部	普通	褐色	7.5YR4/3	φ1~2mmの小石 多い	諸織b式(中2)	巾3~4mmの平行沈線を集合させ横位区画。区 画内に弧線文。縄文原体 R <sub>1</sub> 。
P157	Dd-42G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐色	5YR5/8	φ1~2mmの小石	諸織b式(中2)	巾3~4mmの平行沈線を集合させ横位区画。内面スス付 着。
P158	Dh-40G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐色	5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸織b式(中2)	巾5mmの平行沈線による横位区画。
P159	Dh-41G Ⅷ+Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐色	5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸織b式(中2)	巾5mmの平行沈線による横位区画。
P160	Dd-42G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸織b式(中2)	巾4mmの平行沈線を集合させ横位区画。縄文 原体 R <sub>1</sub> 。
P161	Dm-45G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐色	5YR4/3	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸織b式(中1)	平行沈線を2段に重ねて横位の区画と裏面側の 施文。施文の末端の結び目施文。縄文原体 R <sub>1</sub> 。
P162	Dm-45G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸織a式(新)	巾4mmの平行沈線扇形文で文様帯を区画し、木 葉文を施文。縄文原体 R <sub>1</sub> 。
P163	Dv-44G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐色	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸織c式(新)	結節形縁を胴部に施す。上下に巾4mmの平行 沈線を矢羽根状に施文。
P164	Dg-42G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐色	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸織b式(中2)	巾5~6mmの平行沈線による菱形区画内に釣り 針状文を施文。
P165	Dm-46G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐色	5YR5/4	細かい砂粒	諸織b式(中2)	巾5~6mmの平行沈線による菱形区画内に釣り 針状文を施文。
P166	Dp-44G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐色	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸織c式(中1)	巾7mmの平行沈線による波状文、葉手文。
P167	De-41G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐色	10YR7/4	細かい砂粒	諸織c式(新)	巾3mmの平行沈線による横位区画。その上下に 矢羽根状施文。



第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P168	Dm-50G 甕層	深鉢	胴部破片	不負	橙	7.5YR6/6	砂较多い	諸織り式(中2)	市4mmの平行沈線による横位区画。
P169	Ed-40G 甕・皿層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR4/4	φ1～2mmの小石	諸織り式(古)	市8mmの平行沈線による変形葉文・凹形刺文。
P170	Ec-48G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄緑	10YR5/4	細かい砂粒	諸織り式(中1)	市4mmの平行沈線による横位区画。縄文原体RL。
P171	Dm-45G 甕層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸織り式(中2)	市3mmの平行沈線横位施文。沈線に斜み、内面スス付着。
P172	Dc-41G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1～2mmの小石、軽石粒多い	諸織り式(中2)	市3mmの平行沈線による横位区画。平行沈線に斜文が加えられる。
P173	Dc-41G 甕層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒、黒色粒	諸織り式(中2)	市2mmの平行沈線による横位区画。
P174	Dc-42G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石、軽石粒	諸織り式(中2)	市3～4mmの平行沈線による横位施文。区画内に變形文。縄文原体Lr。
P175	Dc-42G 甕層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸織り式(中2)	市2mmの平行沈線による横位区画。縄文原体Lr。
P176	Dc-52G 甕層	深鉢	底部	普通	明褐	7.5YR5/6	φ1mmの小石、黒色粒	諸織り式(中2)	市3mmの平行沈線を集合化させて横位区画。
P177	Df-42G 甕層	深鉢	底部	普通	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸織り式(中2)	市3mmの平行沈線を集合化させて横位区画。縄文原体RL。
P178	Dc-41G 甕層	深鉢	底部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸織り式(中2)	市3mmの平行沈線による横位区画。内面スス付着。
P179	Dc-41G 甕層	深鉢	胴部～底部	良	橙	7.5YR7/7	細かい砂粒	諸織り式(中2)	市4mmの平行沈線横位区画。
P180	Dc-41G 甕層	深鉢	胴部～底部	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸織り式(新)	市3mmの平行沈線による横位区画。胴部には対弧文。沈線には半截竹管の断面による刺文。
P181	Dm-41G 甕層	深鉢	胴部～底部	良	にぶい橙	5YR6/4	φ1～2mmの小石、軽石粒多い	諸織り式(中2)	市5mmの平行沈線横位区画。内面スス付着。
P182	Dm-45G 甕層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸織り式(中2)	市3mmの平行沈線による横位区画。内面スス付着。縄文原体RL。
P183	Ds-42G 甕層	深鉢	底部	良	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒、軽石粒	諸織り式(中2)	縄文原体RL。
P184	Dc-41G 甕層	深鉢	胴部～底部	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸織り式(中2)	市5mmの平行沈線による横位区画。
P185	Dc-41G 皿層	深鉢	底部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸織り式(中2)	市4mmの平行沈線横位施文。
P186	Df-41G 甕層	深鉢	底部破片	普通	にぶい黄緑	10YR7/4	細かい砂粒	諸織り式(中2)	市3mmの平行沈線による横位区画。縄文原体RL。
P187	Ee-44G 皿層	深鉢	底部	普通	にぶい橙	5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸織り式(中2)	市3mmの平行沈線横位施文。縄文原体RL。
P188	Eb-39G 甕層	深鉢	底部	良	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸織り式(新)	市2mmの平行沈線を集合化させ横位施文。内面スス付着。
P189	Df-46G 甕層	深鉢	底部	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒多い	諸織り式(新)	市2～3mmの平行沈線を集合化させ横位施文。
P190	Dm-41G 甕層	深鉢	底部破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒、黒色粒	諸織り式(新)	市2mmの平行沈線を集合化させ横位施文。
P191	Df-52G 甕層	深鉢	底部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸織り式(中)	市5mmの平行沈線横位施文。
P192	Ef-49G 甕層	深鉢	底部破片	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸織り式(新)	市2mmの平行沈線を集合化させ横位施文。
P193	Df-42G 甕層	深鉢	底部破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸織り式(中2)	市3mmの平行沈線による横位区画。
P194	Db-41G 甕層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸織り式(中2)	市3mmの平行沈線横位区画。
P195	Dc-41G 甕層	深鉢	底部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸織り式(中2)	市4mmの平行沈線横位施文。
P196	Ea-40G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄緑	10YR5/3	砂粒、黒色粒	諸織り式(新)	口唇部凹凸文。棒状、ボタン状貼付文。内面の棒状貼付文には凹形刺文。地文に横位の沈線施文。
P197	Df-44G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸織り式(新)	市4mmの平行沈線を集合化させ横位、斜位に施文。棒状、ボタン状貼付文。
P198	Dr-46G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR5/4	砂粒、黒色粒	諸織り式(新)	集合沈線による矢羽根状文、横線文。棒状、ボタン状貼付文。
P199	Dp-50G 甕層	深鉢	口縁破片	不負	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸織り式(古)	市3mmの平行沈線で口縁部矢羽根文。頸部横位施文。胴部に縦位区画。棒状、ボタン状貼付文。
P200	Dy-44G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸織り式(新)	地文に斜線、横線、ボタン状、棒状貼付文。
P201	Eb-43G 甕層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR4/4	細かい砂粒	諸織り式(新)	地文に斜線、横線、ボタン状、棒状貼付文。
P202	Dp-44G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸織り式(新)	集合沈線による斜線、横線、ボタン状、棒状の貼付文。
P203	Dc-41G 甕層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	細かい砂粒	諸織り式(古)	市3mmの平行沈線を集合化させ口縁部横位施文。胴部対弧文、棒状貼付文。
P204	Dy-43G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1mmの小石、軽石粒	諸織り式(新)	沈線により口縁内面斜線、外面横線。長い棒状、ボタン状貼付文。
P205	Ds-42G 甕層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸織り式(新)	大波状口縁の突起部。集合沈線による矢羽根文。

## 第2節 IV区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P206	Dl-42G	深鉢	口縁破片	良	にぶい梅	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯c式(新)	集合沈積横位施文。ボタン状の貼付文。環状なる突起。
P207	Dr-41G	深鉢	口縁破片	良	にぶい梅	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(古)	口縁に凹凸文。集合沈積横位施文。外面スス付着。
P208	Dp-44G W・覆層 Dq-41G W・覆層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい梅	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯c式(新)	平行沈線を集約させ、斜線、弧線を施文。棒状ボタン状貼付文。
P209	Eb-43G	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(新)	平行沈線を集約させ矢羽根状文。ボタン状、棒状貼付文。内面スス付着。
P210	Dm-46G	深鉢	胴部破片	良	にぶい梅	7.5YR7/4	細かい砂粒	諸磯c式(新)	市3mmの平行沈線を集約させ縦位区画。矢羽根状文を施文。太い浮線で斜線や弧線を描く。浮線には点彩文施文。
P211	Ed-40G	深鉢	胴部破片	良	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	平行沈線を集約させ、矢羽根状に施文。棒状、ボタン状の貼付文。
P212	Eh-46G	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	集合沈線による縦位区画と矢羽根文。ボタン状貼付文。
P213	Ea-48G	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	集合沈線による矢羽根状、格子状文。棒状、ボタン状貼付文。
P214	Ea-51G	深鉢	胴部破片	普通	黄褐色	10YR5/6	細かい砂粒	諸磯c式(古)	集合沈線による縦位区画と矢羽根状文。
P215	Dy-49G	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/8	φ1～3mmの小石	諸磯c式(新)	市4mmの平行沈線を集約させ弧線施文。
P216	Dv-51G	深鉢	胴部破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式	平行沈線による文様施文。ボタン状貼付文。
P217	Ea-43G	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(新)	市3mmの平行沈線を集約させ横位区画。粘土粒を断面状に貼付。ボタン状貼付文。
P218	Dr-45G	深鉢	口縁破片	不良	橙	5YR6/8	黒色粒	諸磯c式(新)	粘土断面状に貼付。ボタン状貼付文。縄文原体RL。
P219	Ea-43G	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	縄文原体 RL。
P220	Ea-43G W・覆層	深鉢	口縁破片	良	橙	2.5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯c式(新)	縄文原体 RLとLRの結束引線施文。縄の末端に結節が行われている。ボタン状貼付文。縄文原体RL、LR。
P221	Dm-50G W・覆層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/8	細かい砂粒	諸磯c式(新)	縄文原体 RL。
P222	Dy-43G	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐色	5YR4/3	細かい砂粒	諸磯c式(新)	短の棒状貼付文。縄文原体 RL。
P223	Dy-41G	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(新)	棒状、ボタン状貼付文。縄文原体 RL。
P224	Do-43G	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(新)	棒状、ボタン状貼付文。縄文原体 RL。
P225	Dr-38G	深鉢	胴部破片	普通	灰褐色	5YR5/2	細かい砂粒	諸磯c式(古)	ボタン状貼付文。縄文原体 RL。
P226	Df-52G	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐色	5YR5/4	細かい砂粒	下島式	地文に横位の沈線。結節浮線による渦巻文。
P227	Dy-40G	深鉢	口縁破片	不良	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	下島式	地文横位の沈線。結節浮線による渦巻文。浮線の胎土は土器本体と異なる。ボタン状貼付文。
P228	Dd-45G	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	下島式	地文横位の沈線。結節浮線による渦巻文。
P229	Eb-43G	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石、黒色粒	下島式	結節浮線による渦巻文。
P230	Ef-49G	深鉢	口縁破片	普通	にぶい梅	5YR6/4	φ1～2mmの小石、黒色粒	下島式	結節浮線による渦巻文。浮線と土器の胎土が異なる。231と同一個体。
P231	Ea-51G	深鉢	口縁破片	普通	にぶい梅	5YR6/4	φ1～2mmの小石、黒色粒	下島式	230と同一個体。
P232	Eh-47G	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	下島式	地文に横位の沈線。結節浮線による対角文。浮線と土器の胎土が異なる。
P233	Dk-39G	深鉢	口縁破片	普通	黄褐色	10YR7/6	φ1～3mmの小石	下島式	地文に横位の沈線。結節浮線による渦巻文。
P234	Dm-43G	深鉢	胴部破片	良	にぶい梅	7.5YR7/4	細かい砂粒、黒色粒	諸磯b式(新)	扁平な浮線による渦巻文。浮線には矢羽根状の格子。浮線と土器の胎土が異なる。縄文原体RL。
P235	Dg-40G	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	下島式	結節浮線による渦巻文。ボタン状貼付文。縄文原体 RL。
P236	Dy-40G	深鉢	胴部破片	普通	暗赤褐色	5YR3/2	細かい砂粒、粒石粒	下島式	地文に市2mmの平行沈線横位施文。結節浮線による対角文。矢羽根文。
P237	Eb-50G	深鉢	胴部破片	普通	にぶい梅	5YR6/4	砂粒、粒石粒	下島式	地文横位の沈線施文。結節浮線による渦巻文。
P238	Eb-42G	深鉢	底部破片	普通	明赤褐色	2.5YR5/6	砂粒、白色粒	諸磯c式(新)	市4mmの平行沈線による縦位施文。棒状貼付文。内面スス付着。
P239	Eb-43G	深鉢	底部	普通	橙	5YR6/6	砂粒、白色粒	諸磯c式(新)	市2～3mmの平行沈線による縦位施文。ボタン状、棒状貼付文。

第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P240	Dv-50G 甕層	深鉢	底部破片	普通	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒、黒色粒	諸磯c式	無文。
P241	Ea-43G 甕層	深鉢	胴部・底部破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(新)	棒状、ボタン状貼付文。縄文原形RL。
P242	Di-40G 甕層	深鉢	底部破片	良	明赤褐	5YR5/6	砂粒	諸磯c式(新)	集合洗線による矢羽根文。棒状、ボタン状貼付文。
P243	Dr-42G 甕層	深鉢	底部	良	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯c式(古)	集合洗線による横位区画。
P244	Do-44G 甕層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR4/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式	縄文原形RL。
P245	Dh-40G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	口唇に凹凸文、円形貼付文。縄文原形LR。
P246	Do-44G 甕層	深鉢	口縁破片	良	におい橙	7.5YR5/3	φ1～3mmの小石	諸磯b式	縄文原形RL。
P247	Dh-41G 甕層	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原形RL。
P248	Df-46G 甕層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	原形未端を結節。縄文原形LR。
P249	Dh-41G 甕層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原形Lr。
P250	Do-40G 甕層	深鉢	口縁破片	良	におい赤褐	5YR4/3	砂粒、軽石粒	諸磯b式(中)	縄文原形Lr。
P251	Dp-41G 甕層	深鉢	口縁破片	良	明黄褐	10YR6/6	φ1mmの小石	諸磯b式(中)	口唇に筋目。縄文原形RL。
P252	Ec-41G 甕層	深鉢	口縁破片	良	におい黄橙	10YR7/4	φ1mmの小石	諸磯b式	口唇に筋目。原形未端結節。内面スス付着。縄文原形LR。
P253	De-42G 甕層	深鉢	口縁破片	良	におい橙	7.5YR6/4	砂粒多い	諸磯b式(中)	縄文原形RL。
P254	De-41G 甕層	深鉢	口縁破片	良	明褐	7.5YR5/6	φ1mmの小石、黒色粒	諸磯b式(中)	縄文原形RL。
P255	Dn-38G 甕層	深鉢	口縁破片	良	におい橙	5YR6/4	砂粒	諸磯b式	縄文原形LR。
P256	Df-46G 甕層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式	無文。
P257	Dh-41G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	におい橙	7.5YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式	縄文原形RL。
P258	Dv-50G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	におい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式	内外面スス付着。縄文原形LR。
P259	Dp-44G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	におい橙	7.5YR6/4	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式	縄文原形RL。
P260	Dk-44G 甕層	鉢	口縁破片	普通	におい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式	貫通していないφ4mmの孔がある。
P261	Dk-46G 甕層	深鉢	口縁破片	不貞	橙	7.5YR7/6	砂粒、軽石粒	諸磯a式(新)	φ5mmの円形刺突列。縄文原形RL。362と同一個体。
P262	Dk-45G 甕層	深鉢	破片	不貞	橙	5YR7/6	砂粒、軽石粒	諸磯a式(新)	261と同一個体。
P263	Dm-45G 甕層	深鉢	胴部	良	橙	5YR6/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中)	内外面スス付着。縄文原形RL。
P264	Dp-43G 甕層	深鉢	胴部	普通	橙	7.5YR7/6	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原形RL。
P265	Df-40G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	明黄褐	10YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式	縄文原形LR。
P266	Do-44G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式	縄文原形RL。
P267	Dn-44G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	明黄褐	10YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式	縄文原形LR、RL。
P268	Dk-42G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	砂粒	諸磯b式	原形の未端結節。縄文原形RL。
P269	Do-44G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	におい橙	5YR6/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式	縄文原形RL。
P270	Df-46G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原形RL。
P271	Do-44G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	浮島田式	貝殻敷線によるロッキング。
P272	Dk-46G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	明褐	7.5YR5/6	φ1mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原形RL。
P273	Dq-45G 甕層	深鉢	底部破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	羽状縄文。縄文原形RL、LR。
P274	Dn-46G 甕層	深鉢	底部破片	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原形RL。
P275	Do-44G 甕層	深鉢	底部破片	普通	におい橙	5YR6/4	細かい砂粒	浮島田式	貝殻敷線によるロッキング。
P276	Dj-39G 甕層	深鉢	底部破片	良	におい赤褐	5YR5/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式	無文。
P277	Dp-43G 甕層	深鉢	底部破片	不貞	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯b式	縄文原形LR。

## 第2節 W区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P278	Ee-29G 甕層	残鉢	底部破片	良	灰褐色	5YR5/2	砂粒、軽石粒	諸磯a式(新)	縄文原体 RL。
P279	Eh-46G 甕層	深鉢	底部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P280	Dp-43G 甕層	深鉢	底部破片	不具合	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 Lr。
P281	Ec-44G 甕層	深鉢	底部破片	不具合	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL、LR。
P282	Fa-46G 甕層	深鉢	底部破片	不具合	橙	5YR6/8	φ1～2mmの白色粒	諸磯b式(中)	原体未端を結節。縄文原体 RL。
P283	Ec-43G 甕層	深鉢	底部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	小石、白色粒	諸磯b式(中)	—
P284	Dp-44G 甕層	深鉢	底部	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P285	Dr-45G 甕層	深鉢	底部破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P286	Dq-42G 甕層	深鉢	底部破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P287	Ed-40G 甕層	深鉢	底部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	砂粒	諸磯b式(中)	内面スス付着。縄文原体 RL。
P288	Dr-45G 甕層	深鉢	底部	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒、繊維	有尾式	羽文縄文。縄文原体 RL、LR。
P289	Dd-40G 甕層	深鉢	底部	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P290	Df-46G 甕層、 Dk-45G Ⅷ+Ⅷ層	深鉢	底部	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯a式(新)	縄文原体 RL。
P291	Db-41G 甕層	深鉢	底部	良	明赤褐色	5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P292	Eb-43G 甕層	深鉢	底部	普通	にぶい橙	5YR6/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	肩位のミゴキ整形。
P293	Dy-46G 甕層	深鉢	底部	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯b式(中)	無文。
P294	Dq-42G 甕層	深鉢	底部	普通	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯c式	縄文原体 RL。
P295	Dw-43G Ⅷ2	深鉢	底部	普通	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石、軽石粒多い	諸磯b式(中)	原体未端結節。縄文原体 RL。
P296	Dm-45G 甕層	深鉢	底部	普通	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P297	Dw-44G Ⅷ1	深鉢	底部	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中)	縄文原体 RL。
P298	Dv-45G 甕層、 Dn-46G 甕層、 Dm-46G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR5/4	砂粒	浮島田式	口唇に条線部。貝殻散粒によるロッキング施文。斜位の羽み列。
P299	Dl-46G 甕層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	浮島田式	口唇部に条線部。貝殻散粒によるロッキング施文。斜位の羽み列。
P300	Dy-41G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR7/4	細かい砂粒	浮島田式	口縁部に羽みを持つ隆線と平行沈線彫形文が顕る。穂形孔。
P301	Es-51G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	浮島田式	折り返し口縁彫形文列飾位施文。
P302	De-43G 甕層	深鉢	口縁破片	良	灰褐色	5YR5/2	砂粒	浮島田式	市6mmの半截竹管による両端押し引きの平行沈線。彫形文が口縁に顕る。斜位に押し引きの沈線。
P303	Da-38G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR7/4	砂粒、黒色粒	浮島田式	半截竹管の押し引き沈線による格子目文。
P304	Di-39G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR5/4	細かい砂粒	浮島田式	口唇に竹管による突起。市4mmの平行沈線による彫形文。縄文原体 RL。
P305	Dn-45G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR6/4	砂粒	浮島田式	口唇に最位条線部。市15mmの半截竹管による変形彫形文。
P306	Dd-42G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR7/4	細かい砂粒	浮島田式	口唇に羽み。市3mmの平行沈線横位施文。
P307	Di-45G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR5/4	φ1～2mmの小石	浮島田式	市6mmの沈線による文様施文。口縁に平行沈線彫形文が顕る。
P308	Dx-51G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～3mmの小石	浮島田式	胴上半に凹凸文。下半に平行沈線による斜線文。
P309	Dy-47G 甕層、 Dk-47G 甕層	深鉢	胴部破片	不具合	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	浮島田式	市6mmの沈線と3mmの平行沈線による斜線文。胴下半に貝殻散粒によるロッキング。

第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P310	Dj-47G 甕層、 Dk-47G Ⅱ層	深鉢	割部破片	普通	にぶい様	7.5YR5/4	砂粒、黒色粒	浮島Ⅱ式	巾6mmの平行沈線横位区画。目取復縁によるロッキング。
P311	Dd-42G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい様	7.5YR5/3	φ1mmの小石	浮島式	半截竹管両端による平行刺突文。
P312	Dc-46G 甕層	深鉢	口縁破片	不具	にぶい様	7.5YR5/4	砂粒	浮島Ⅱ式	横位に変形爪形文施文。
P313	Dc-40G Ⅴ・Ⅵ層	深鉢	割部破片	良	汎用	7.5YR4/2	細かい砂粒	浮島Ⅱ式	横位に変形爪形文と平行沈線を施文する。
P314	Dx-51G 甕層	深鉢	割部破片	普通	にぶい黄褐色	10YR6/4	砂粒多い	淡褐色・興津式	横位の結節浮線文と平行沈線。下部に凹凸文。
P315	Dm-46G 甕層	深鉢	割部破片	良	にぶい黄褐色	10YR5/3	砂粒	浮島Ⅱ式	三角文横位施文。
P316	Df-38G Ⅴ・Ⅵ層	深鉢	割部破片	良	明黄褐色	10YR7/6	砂粒、黒色粒	興津Ⅰ式	目取復縁によるロッキングと横位の沈線。
P317	Dh-41G 甕層	深鉢	割部破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	浮島Ⅱ式	半截竹管両端による連続刺突文。赤色塗彩。
P318	Dm-45G Ⅱ層	深鉢	割部一部破片	普通	明褐色	7.5YR6/6	砂粒	浮島Ⅱ式	細かい目取復縁によるロッキング。
P319	Do-43G Ⅱ層	深鉢	割部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、黒色粒	浮島Ⅱ式	目取復縁によるロッキング。
P320	Dc-42G 甕層	深鉢	割部破片	不具	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	浮島Ⅱ式	目取復縁によるロッキング。
P321	Dx-50G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	興津Ⅱ式	凹凸文。
P322	Dv-50G 甕層	深鉢	口縁破片	良	明黄褐色	10YR7/6	細かい砂粒	興津Ⅱ式	凹凸文。
P323	Dx-51G 甕層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	興津Ⅱ式	凹凸文。
P324	Eh-46G 甕層	深鉢	割部破片	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	興津Ⅱ式	凹凸文。
P325	Eh-40G 甕層	深鉢	割部破片	良	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒、黒色粒	興津Ⅱ式	凹凸文。
P326	Dq-44G 甕層	深鉢	割部破片	良	橙	7.5YR7/6	φ1～3mmの小石	興津Ⅱ式	凹凸文。
P327	Ef-41G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒、黒色粒	大木Ⅴ式	折り返し口縁。原体結束。縄文原体 RL、LR。
P328	Ee-48G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、黒色粒	大木Ⅴ式	口縁に鋸歯文が磨る。頸部に粘土結による山形文。縄文原体 RL。
P329	Df-40G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR7/3	φ1～2mmの小石、砂粒	大木Ⅴ式	粘土結による山形文。縄文原体 RL、LR。
P330	Dv-50G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～3mmの小石	大木Ⅴb式	口縁に2段の山形文。両明によって作られる。頸部には平行沈線。
P331	Eh-46G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、白色粒	大木Ⅴ式	口縁折り返し。縄文原体 RL、LR。
P332	Ee-48G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木Ⅴ式	口縁に山形文が磨る。折り返し口縁の肥厚部を削って作り出す。縄文原体 RL。
P333	Eg-47G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木Ⅴ式	口縁折り返し。縄文原体 RL。
P334	Dp-43G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	5YR5/8	φ1mmの小石、軽石粒	大木Ⅴ式	口縁折り返し。縄文原体 LR、RL。
P335	Dq-44G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石	大木Ⅴ式	口縁折り返し。縄文原体 LR。
P336	Dy-51G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	大木Ⅴ式	原体結束。口縁折り返し。縄文原体 RL、LR。
P337	Dy-51G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	大木Ⅴ式	口縁折り返し。縄文原体 RL、LR。
P338	Dy-41G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木Ⅴ式	口縁折り返し。縄文原体 RL。
P339	Dv-50G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	5YR6/4	φ1～3mmの小石	大木Ⅴb式	口縁に鋸歯文。頸部に山形文。横位の把手が付く。折り返し口縁を削って鋸歯文を作っている。
P340	Dv-50G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	5YR6/4	φ1～3mmの小石	大木Ⅴb式	口縁に鋸歯文。頸部に山形文。折り返し口縁を削り出して作っている。
P341	Dv-50G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR6/4	φ1mmの小石、軽石粒	大木Ⅴ式	口縁折り返し削って鋸歯文を作る。頸部は巾4mmの平行沈線による文様施文。
P342	Eh-45G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	φ1～2mmの小石、白色粒	大木・興津式	口縁折り返し。両明による鋸歯文。頸部に凹凸文。
P343	Dv-51G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石	大木式	口縁折り返し込みによる鋸歯文。原体未端の結節。縄文原体 RL。
P344	Ea-43G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	明褐色	7.5YR5/6	砂粒	大木式	粘土細貼付による山形文。縄文原体 RL、LR。
P345	Dm-38G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	大木式	粘土細貼付による山形文。縄文原体 RL。
P346	Df-38G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒	大木Ⅴ式	粘土細貼付による山形文。縄文原体 RL。

## 第2節 W区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P347	Ea-51G Ⅷ層	深鉢	割部破片	普通	にぶい赤褐色	5YR5/3	砂粒、軽石粒	大木5式	粘土細胎付による山形文。縄文原形 RL、LR。
P348	Ds-46G Ⅷ層	深鉢	割部破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒、黒色粒	大木5式	粘土細胎付による山形文。縄文原形 RL。
P349	Dw-44G Ⅷ層	深鉢	割部破片	良	明赤褐色	5YR5/8	φ1～3mmの小石、軽石粒	大木5式	粘土細胎付による山形文。縄文原形 RL、LR。
P350	Dy-39G Ⅷ層	深鉢	割部破片	普通	にぶい褐色	7.5YR5/4	砂粒、黒色粒	諸磯c・大木5式	ボテテ状胎付文と粘土細胎付による山形文。縄文原形 LR。
P351	Dz-45G Ⅷ層	深鉢	割部破片	普通	にぶい褐色	7.5YR5/3	砂粒、軽石粒	大木5式	原形結束。粘土細胎付による副歯文。縄文原形 RL、LR。
P352	Ea-43G Ⅷ層	深鉢	割部破片	普通	にぶい褐色	7.5YR5/4	砂粒、黒色粒	大木5式	円形の胎付文。縄文原形 RL。
P353	Eb-48G Ⅷ層	深鉢	割部破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、軽石粒	大木5式	粘土細胎付による山形文。縄文原形 RL、LR。
P354	Eb-49G Ⅷ層	深鉢	割部破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	砂粒、黒色粒	大木5式	粘土細胎付による山形文。縄文原形 RL。
P355	Ds-44G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐色	5YR5/4	砂粒	大木5式	折り返し口縁。粘土細胎付による山形文。縄文原形 RL Ⅷ。
P356	Dq-44G Ⅷ層	深鉢	割部破片	不良	明黄褐色	10YR7/6	砂粒、白色粒	大木5式	粘土細胎付による山形文。縄文原形 RL、LR。
P357	Dy-52G Ⅷ層	深鉢	割部破片	普通	にぶい褐色	5YR6/4	細かい砂粒	大木式	粘土細胎付による山形文。縄文原形 RL。
P358	Dm-38G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐色	5YR5/4	砂粒、軽石粒	諸磯c式(中1)	巾7mmの平行沈線爪形文による木葉文。φ5mmの孔列が口縁に施す。
P359	Ds-44G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯c式(中1)	φ5mmの孔列が口縁に施す。巾6mmの平行沈線爪形文による木葉文。黄褐色。
P360	Df-45G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石、白色粒、金雲母	諸磯b式(中2)	φ6mmの孔列が口縁に施す。孔の上下に別々を持つ浮線沈線による並行線と爪形文による木葉文。
P361	Dm-38G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐色	5YR5/4	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	φ5mmの孔。巾7mmの平行沈線爪形文による木葉文。
P362	Dd-41G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい褐色	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	φ4mmの孔列が口縁に施す。沈線による並行線と爪形文による木葉文。
P363	Dy-43G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	不良	黄褐色	2.5Y7/4	φ1～2mmの小石	諸磯c式(中1)	φ5mmの孔列が口縁に施す。孔の上下に別々を持つ浮線沈線による並行線と爪形文による木葉文。
P364	Df-46G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	口唇部に斜位の筋のみ。φ5mmの孔列が口縁に施す。孔を平行沈線が気取文を描く。側面には沈線による並行線と爪形文が気取文を描く。
P365	Dd-41G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐色	5YR5/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	φ4mmの孔列が口縁に施す。沈線による並行線と爪形文で木葉文を描く。
P366	Dh-46G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい褐色	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	口縁に短やかな孔を持つ。縄文原形 RL の原形正頭が口縁下に施す。沈線と爪形文による木葉文。縄文原形 RL。
P367	Dc-40G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR5/3	砂粒、黒色粒	諸磯c式(中1)	φ5mmの孔列が口縁に施す。巾10mmの平行沈線爪形文による木葉文。
P368	Dm-45G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい褐色	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	φ4mmの孔列が口縁に施す。孔の上下に施線縁が施す。
P369	Eb-39G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい褐色	5YR6/4	細かい砂粒、金雲母	諸磯b式(中2)	口縁にφ6mmの孔。
P370	Dc-41G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	良	明赤褐色	5YR5/6	φ1mmの小石、黒色粒	諸磯b式(中2)	口縁にφ6mmの孔。
P371	Df-46G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁→割部破片	良	にぶい橙	5YR6/4	砂粒	諸磯b式(中1)	口縁に筋のみある縁線が2条施す。肩部にφ3mmの孔列。巾4mmの平行沈線爪形文による木葉文。373と同一個体。
P372	Dh-41G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	口縁に縦5mm、横6mmの孔列が施す。
P373	Dw-44G Ⅷ層、 Dp-44G Ⅷ層	有孔浅鉢	破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	砂粒	諸磯b式(中1)	371と同一個体。
P374	Dc-45G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	口縁に筋のみを持つ浮線が2条施す。間にφ6mmの孔列。
P375	Dz-44G Ⅷ層	浅鉢	口縁破片	良	明褐色	7.5YR5/6	砂粒	諸磯a式(新)	口縁に隆起線が施す。φ4mmの孔が焼成後あけられる。
P376	Ef-40G Ⅷ層	浅鉢	割部破片	良	明赤褐色	2.5YR5/6	細かい砂粒	諸磯a式(新)	巾3mmの平行沈線爪形文による木葉文。縄文原形結束。縄文原形 RL、377と同一個体。
P377	Ef-40G Ⅷ層	浅鉢	破片	良	橙	5YR6/8	細かい砂粒	諸磯a式(新)	376と同一個体。
P378	Dm-46G Ⅷ層	有孔浅鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR6/3	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	口縁に縦5mm、横10mmの斜平な孔。縄文原形正頭が施す。沈線と爪形文施す。縄文原形 RL。
P379	Df-41G Ⅷ層	有孔浅鉢	割部破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	沈線3条が横位に施す。間を矢羽根状の筋のみ。沈線による並行線と爪形文による木葉文。
P380	Dm-46G Ⅷ層	有孔浅鉢	割部破片	良	明黄褐色	10YR7/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	沈線による並行線と爪形文による木葉文。
P381	Dj-50G Ⅷ層	有孔浅鉢	割部破片	普通	明褐色	7.5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	沈線による並行線と爪形文で木葉文施す。

第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P382	De-40G Ⅳ層	有孔浅鉢	割部破片	普通	にぶい赤褐色	5YR5/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	沈線による並行線と爪彫文で木葉文施文。
P383	Df-45G Ⅳ層	有孔浅鉢	割部破片	良	明赤褐色	5YR5/6	φ1~2mmの小石	諸磯b式(中2)	矢羽状の刻みを持つ沈線が施す。沈線による並行線と爪彫文で木葉文施文。
P384	Ds-43G Ⅳ層	有孔浅鉢	割部破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(中2)	沈線による並行線と爪彫文で木葉文を施文。
P385	Dj-40G Ⅳ層	有孔浅鉢	割部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(中1)	巾5mmの平行沈線による木葉文。
P386	Dk-46G Ⅳ層	有孔浅鉢	割部破片	良	明褐色	7.5YR5/6	φ1~3mmの小石	諸磯b式(中2)	沈線を横位に施文。沈線間に刻み。
P387	Dm-45G Ⅳ層	浅鉢	口縁破片	良	明赤褐色	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式	口唇に刻み。
P388	Dp-38G Ⅳ・Ⅴ層	浅鉢	底部破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(古)	縄文原形 LR。
P389	Dj-47G Ⅳ層	有孔浅鉢	底部	不良	にぶい黄褐色	10YR7/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式	無文。
P390	Dw-42G Ⅳ層	有孔浅鉢	底部	良	橙	7.5YR6/6	φ1~2mmの砂粒、 軽石粒、金箔片	諸磯b式	無文。
P391	DI-44G Ⅳ層、 Dk-44G Ⅳ層	浅鉢	口縁破片	良	浅黄褐色	10YR8/4	細かい砂粒	北白川下層IIc式	隆部に刻みを加える。赤色塗彩。392と同一個体。
P392	Dk-46G Ⅳ層	浅鉢	口縁破片	良	浅黄褐色	10YR8/3	細かい砂粒	北白川下層IIc式	391と同一個体。
P393	Dm-46G Ⅳ層	浅鉢	割部破片	普通	にぶい黄褐色	10YR6/4	細かい砂粒	北白川下層IIc式	隆部に刻み。縄文原形 LR。
P394	DI-45G Ⅳ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐色	7.5YR5/4	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	口縁部縁に粘土層を貼付し断面を表現する。
P395	DI-46G Ⅳ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐色	5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁部縁に断面を表現する。巾3mmの平行沈線による渦巻文。
P396	DI-45G Ⅳ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐色	7.5YR5/4	細粒	諸磯b式(中2)	口縁部縁に粘土層貼付による断面を表現する。 平行沈線単位施文。口唇に「×」字状の刻み。
P397	DI-20G Ⅳ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR7/3	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	波状口縁部縁に断面を表現する。巾4mmの平行沈線による渦巻文。
P398	DI-45G Ⅳ層	深鉢	口縁破片	普通	褐色	7.5YR4/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	粘土層貼付による断面表現。
P399	Dm-45G Ⅳ層	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	口縁部縁に断面を表現する突起。巾4mmの平行沈線横位施文。
P400	De-40G Ⅳ層	深鉢	口縁破片	普通	暗褐色	7.5YR3/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	粘土層貼付による断面表現。
P401	Dr-45G Ⅳ層	深鉢	口縁破片	普通	黄褐色	10YR8/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(中1)	波状口縁部縁に突起。口唇に刻み。浮線による渦巻文。浮線には刻み。縄文原形 LR。
P402	Dh-45G Ⅳ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐色	7.5YR5/4	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	口縁部縁に粘土層を貼付し断面を表現する。巾3mmの平行沈線による渦巻文。
P403	Do-44G Ⅳ層	深鉢	口縁破片	不良	褐色	7.5YR7/6	細かい砂粒、白色粒	諸磯b式(中2)	口縁部縁に粘土層による突起。
P404	Dq-44G Ⅳ層	ミニチュア土器	破片 口・(4.0) 高・2.9 底・(4.6)	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式	有孔浅鉢の複製。口縁にφ1mmの孔列。
P405	DI-45G Ⅳ層	ミニチュア土器	破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式	縄文原形 Lr。
P406	Dm-45G Ⅳ層	ミニチュア土器	破片	普通	にぶい褐色	7.5YR5/4	砂粒、軽石粒	諸磯b式	指環状。
P407	De-40G Ⅳ層	ミニチュア土器	破片 高・(2.1) 底・(3.4)	普通	にぶい橙	5YR7/3	細かい砂粒	諸磯b式	—
P408	De-40G Ⅳ層	ミニチュア土器	破片	良	にぶい褐色	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸磯b式	高杯形の土器。指環状。
P409	Do-38G Ⅳ層	土製品	破片	良	にぶい褐色	7.5YR7/4	砂粒、黒色粒	諸磯c式	—
P410	Dp-50G Ⅳ層	耳栓	破片	普通	暗褐色	7.5YR3/3	砂粒	諸磯式	側縁内に刻み。
P411	Dw-44G Ⅳ層	土製品	破片	良	褐色	7.5YR4/3	砂粒	前期	無文。
P412	Dr-42G Ⅳ層	土製品	突起	良	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式	φ4mmの横成前の孔。
P413	Dd-42G Ⅳ層	土製円盤	突起	良	にぶい赤褐色	5YR4/3	小石	諸磯b式(中2)	外縁ミギキ成形。刻みのある浮線。縄文原形 LR。
P414	Dr-45G Ⅳ層	土製円盤	突起	普通	灰褐色	5YR4/2	φ1mmの小石、砂粒	諸磯b式(中2)	外縁ミギキ成形。平行沈線矢羽状文。
P415	Dh-41G Ⅳ層	土製円盤	突起	普通	にぶい黄褐色	10YR7/4	φ1mmの小石	諸磯b式	外縁打ち欠き成形。底部片利用。
P416	DI-45G Ⅳ層	土製円盤	突起	普通	にぶい黄褐色	10YR7/4	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式	外縁打ち欠き成形。底部片利用。

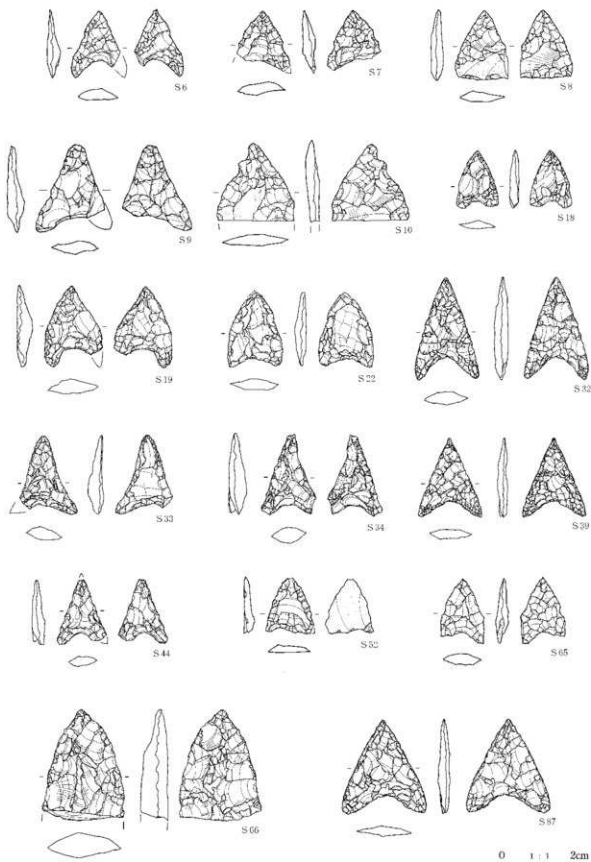
## 第2節 IV区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P417	Dr-44G Ⅱ層	土製円盤	完形	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、紅石粒	諸織b式	外縁打ち欠き成形。底部片利用。
P418	De-42G Ⅱ層	土製円盤	完形	良	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒	諸織b式	外縁打ち欠き成形。底部片利用。
P419	Dj-50G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	細かい砂粒	前期末	無文。折り返し口縁。
P420	Do-42G Ⅱ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	φ1～3mmの小石	格子目土文様	厚縁3条横線に磨る。頸部には市3mmの平行沈線による格子目文。厚縁には縄文施文。
P421	Dl-46G Ⅱ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい橙	7.5YR5/3	細かい砂粒	諸織b式(古)	市3mmの平行沈線による三角文。波状文。平行沈線の間に爪形施文。
P422	Dq-46G Ⅱ層	深鉢	口縁-底部破片	普通	にぶい黄緑	10YR6/4	砂粒	諸織a式	市2mmの平行沈線横位施文。口縁に円形刺突、爪形文列。
P423	Ed-40G Ⅱ層	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/8	細かい砂粒	格子目土文様	頸部の横位区画に爪形文。市7mmの平行沈線による格子目文。
P424	Df-46G Ⅱ層、 Dh-46G Ⅱ層、 Di-45G Ⅱ層下	深鉢	胴部	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒	前期後半	附加条3種の縄文施文。縄文原形 Lr. 425と同一個体。
P425	Dk-46G Ⅱ層	深鉢	破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/3	砂粒	前期後半	424と同一個体。
P426	Dl-47G Ⅱ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、紅石粒	厚島式	貝殻残片によるロッキング。
P427	Dv-49G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	明褐	7.5YR5/6	砂粒、黒色粒	前期末	市4～5mmの平行沈線による縦溝文。
P428	Ec-50G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	口縁に粘土縞を貼り付け縦溝間に刻む。4mmの平行沈線による文様施文。
P429	Ef-49G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	十三番視式	市4mmの平行沈線による渦巻文。ボタン状貼付文。
P430	Dy-52G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	明褐	7.5YR5/6	細かい砂粒	十三番視式	市3～4mmの平行沈線による三角文。
P431	Ee-48G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐	10YR5/3	細かい砂粒	十三番視式	市4mmの平行沈線による渦巻文。
P432	Dt-50G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	砂粒、黒色粒	十三番視式	市2～3mmの平行沈線を重ねた山形文施文。
P433	Ef-49G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	明褐	7.5YR5/8	砂粒、黒色粒	十三番視式	市5mmの平行沈線による横位区画、縦位区画。区画内山形文。
P434	Ee-49G Ⅱ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄緑	10YR7/4	φ1～3mmの小石、 紅石粒	十三番視式	市3mmの平行沈線による横位区画。上部は渦巻文。下部は山形文。内部スス付着。
P435	Ea-51G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YR5/4	細かい砂粒	十三番視式	口縁に三角の刻みを加えた縦溝文。口縁部に市2mmの平行沈線による渦巻文。斜線文。沈線間に印刷を加える。
P436	Ea-51G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、黒色粒	十三番視式	市2mmの平行沈線による横位区画。区画内山形文。三角の印刷。
P437	Dv-50G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい赤褐	5YR4/3	砂粒	十三番視式	市2mmの平行沈線による横位区画。区画内山形文。三角の印刷。
P438	Ea-49G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄緑	10YR6/4	φ1mmの小石、黒色粒	十三番視式	口縁上部に三角の刻みによる縦溝文。口縁部に市2mmの平行沈線による横位区画。区画内平行沈線による山形文と三角印刷。
P439	Ea-51G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	砂粒	十三番視式	市3mmの平行沈線による渦巻文。内部スス付着。
P440	Ea-51G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	砂粒	十三番視式	市2mmの平行沈線による横位区画。区画内山形文と三角印刷。
P441	Ee-49G Ⅱ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	十三番視式	市3mmの平行沈線による横位区画。区画内山形文と三角印刷。
P442	Dw-50G Ⅱ層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石	十三番視式	市2mmの平行沈線による渦巻文と山形文。
P443	Dm-49G Ⅱ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄褐	10YR7/4	細かい砂粒	十三番視式	市3mmの平行沈線による横位区画。区画内渦巻文。山形文。円形、三角の印刷。
P444	Ef-48G Ⅱ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR5/3	細かい砂粒	十三番視式	市3mmの平行沈線による横位区画。区画内山形文と三角印刷。
P445	Ef-47G Ⅱ層	深鉢	胴部破片	不良	明黄褐	10YR6/6	砂粒、黒色粒	十三番視式	市3mmの平行沈線による横位区画。区画内山形文と三角印刷。
P446	Ds-51G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1～2mmの小石	十三番視式	口縁上部に結節縞文による山形文。下部に渦巻文。山形文。縄文原形 L.R Ⅱ Ⅱ。
P447	Dk-49G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/4	砂粒、黒色粒	十三番視式	結節沈線による横位区画。区画内山形文。渦巻文。三角印刷。
P448	Dq-44G Ⅱ層	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	砂粒	十三番視式	市4mmの結節沈線による文様施文。棒状の貼付文。印刷。
P449	Eh-47G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	細かい砂粒	十三番視式	口縁上部に三角の刻みによる縦溝文。結節沈線による山形文と三角印刷。
P450	Dn-45G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	不良	橙	7.5YR7/6	φ1～2mmの小石	十三番視式	口縁上部に三角の刻みによる山形文。結節沈線による文様施文。
P451	Ei-46G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	十三番視式	口縁上部に三角の刻みによる山形文。結節沈線による渦巻文。



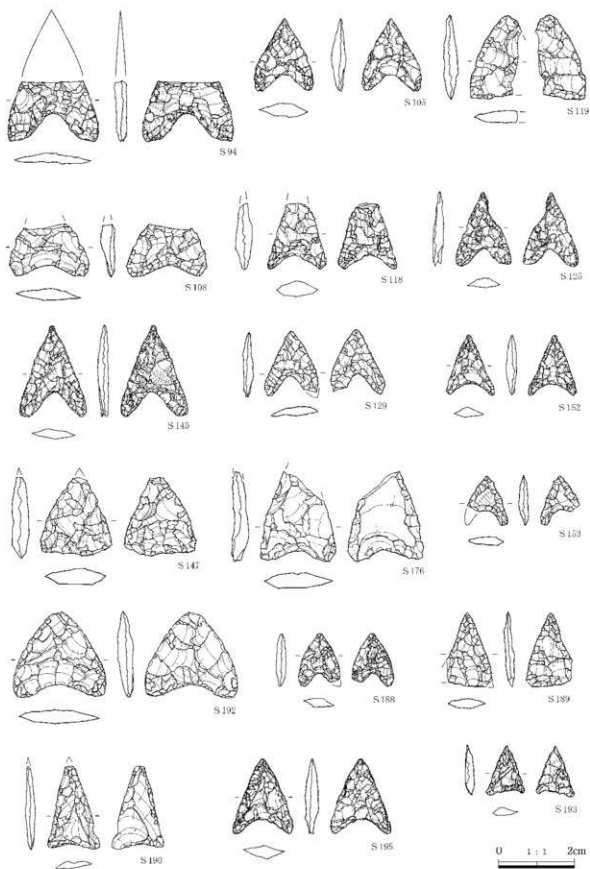
## 第6章 IV区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P452	Ea-51G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	10YR6/6	細かい砂粒	十三善提式	口縁を肥厚させ粘土層貼付。結節沈線による山形文、渦巻文施文。間に印刻文。
P453	Dy-45G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	十三善提式	沈線による弧線文、貝殻腹線による連続刺突文、三角印刻。
P454	Dp-46G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	不貞	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	十三善提式	平行沈線による文様区画と太い沈線による山形文。
P455	Di-42G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい褐	7.5YK5/4	φ1～2mmの小石、白色粒	十三善提式	波状口縁で折り返して口縁部肥厚させる。爪形文列。口縁内面に「の」の字形の貼付。縄文原体LR。
P456	Dk-45G Ⅷ層、 Dk-46G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	明褐	7.5YR5/6	φ1～2mmの小石	十三善提式	沈線による口縁部文様区画、区内縦位の沈線。
P457	Es-38G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	砂粒	十三善提式	平行沈線による縦位区画。同心円文、三角印刻、円形印刻。
P458	Dp-43G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒	加曾利EⅡ式	口縁部に隆起線が廻る。
P459	Dd-41G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石	加曾利BⅠ式	口縁部に隆起線が廻る。「8」の字文様。口縁部文様は横位の平行沈線を施文し、刻みを加える。胴部沈線による矢羽根文。
P460	Dj-47G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YK5/4	砂粒	加曾利BⅠ式	波状口縁頂部頸縁に孔を持つ。刻みを持つ隆線による斜格子目文。隆線に爪形文が附って施文される。
P461	De-48G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	加曾利BⅠ式	口縁に粘土層貼付。平行沈線による横位区画。縄文原体LR。
P462	Dr-39G Ⅷ層	注口土器	口縁破片	普通	にぶい褐	7.5YR6/3	砂粒、黒色粒	加曾利BⅠ式	構状把手。口縁部に刻みを持つ隆線が廻る。
P463	De-39G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	φ1～2mmの小石	加曾利BⅠ式	胴くびれ部に横位の沈線。矢羽根文。内面スス付着。

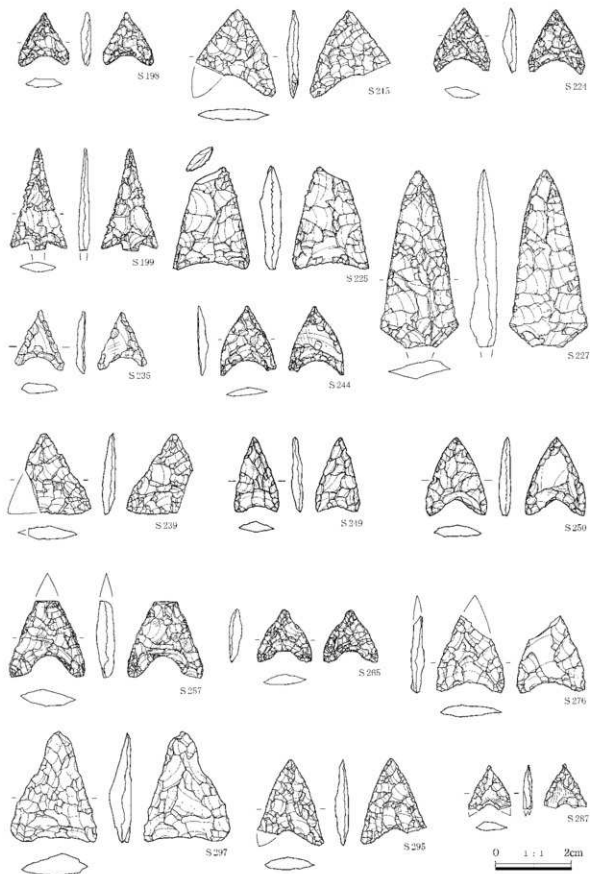


第6章第155図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)

第6章 IV区の調査

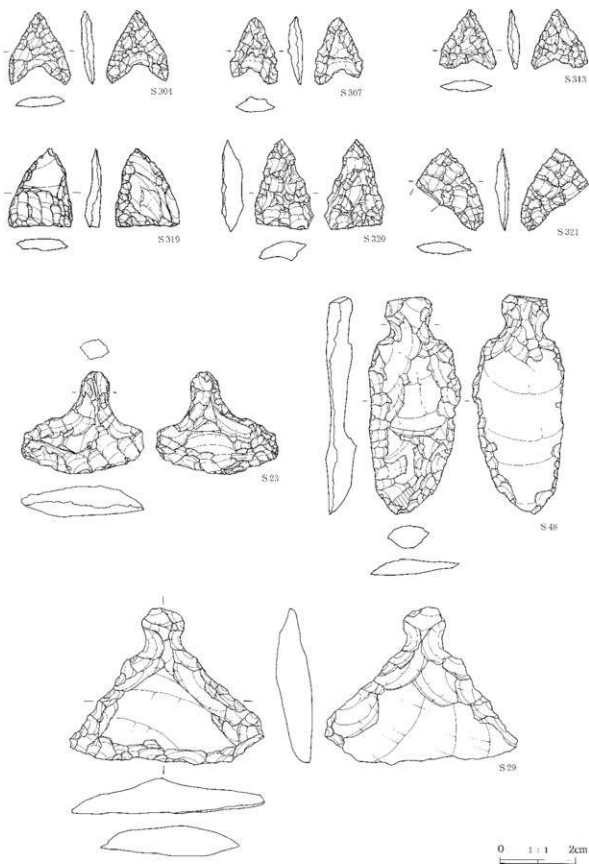


第6章第156回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)

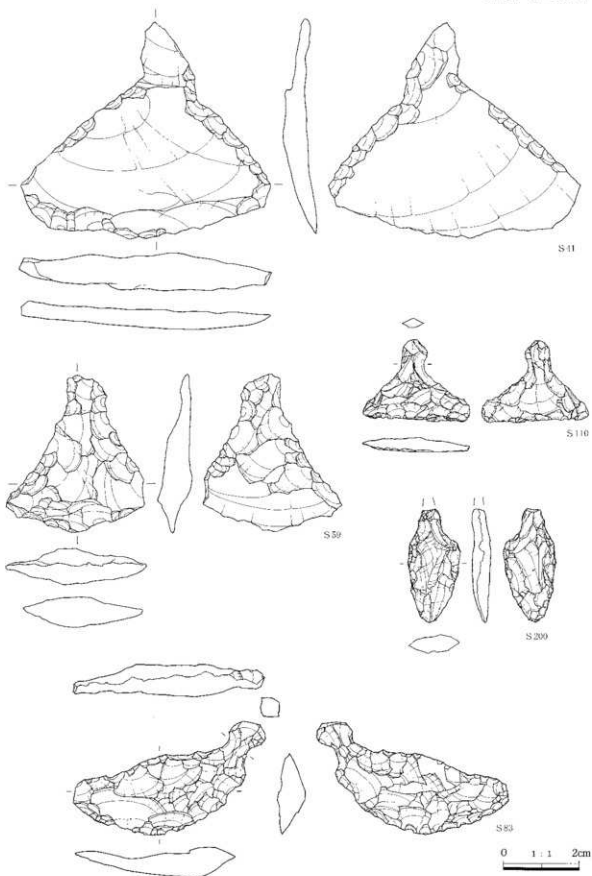


第6章第157回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(3)

第6章 IV区の調査

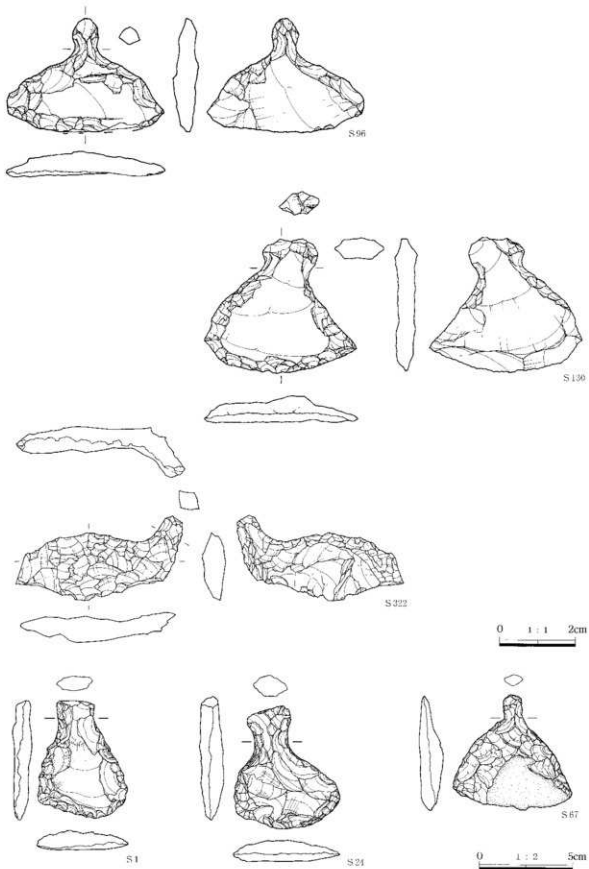


第6章第158回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(4)



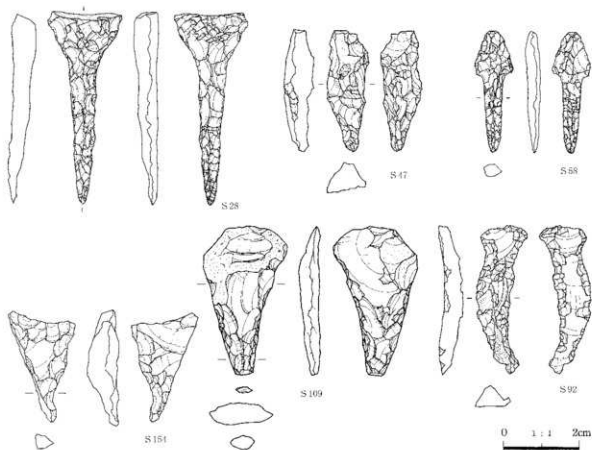
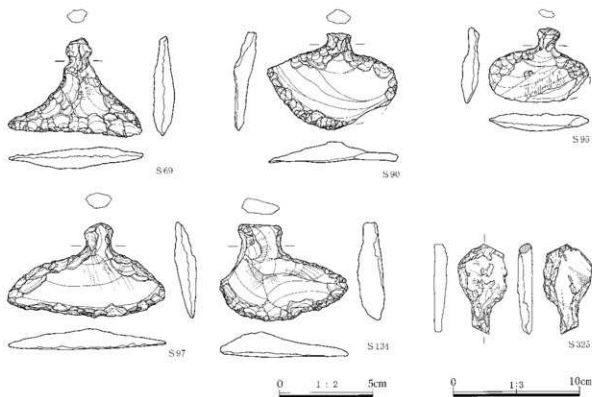
第6章第159回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(5)

第6章 IV区の調査



第6章第160回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(6)

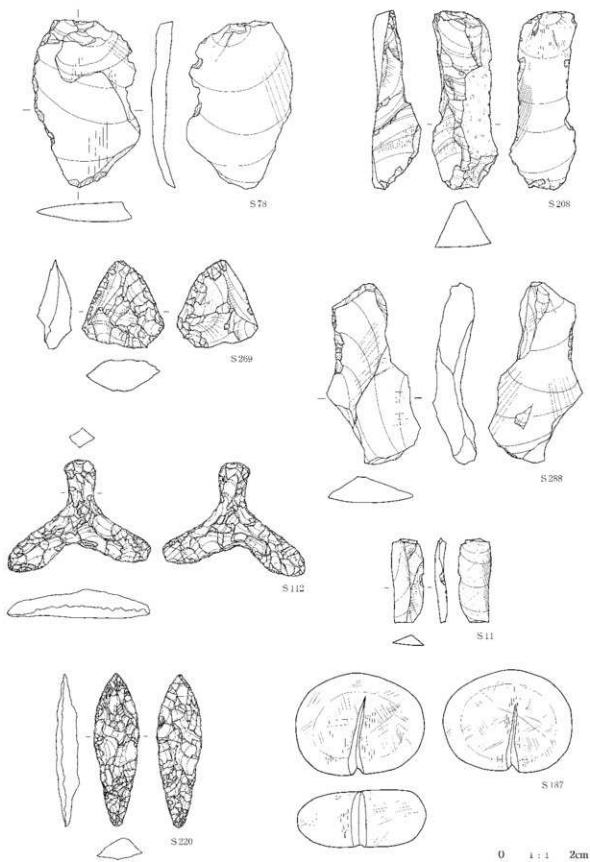
第2節 IV区遺構外



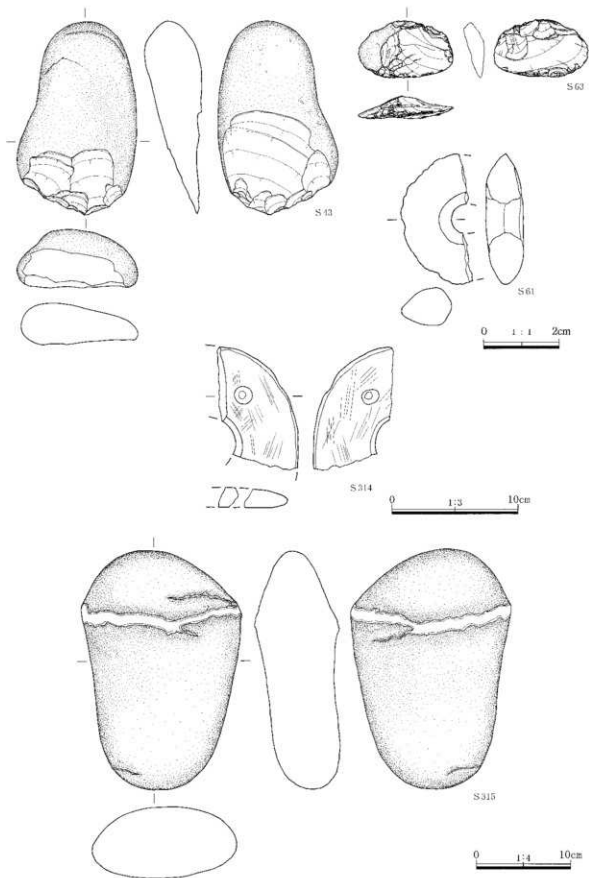
第6章第161回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(7)



第6章 IV区の調査

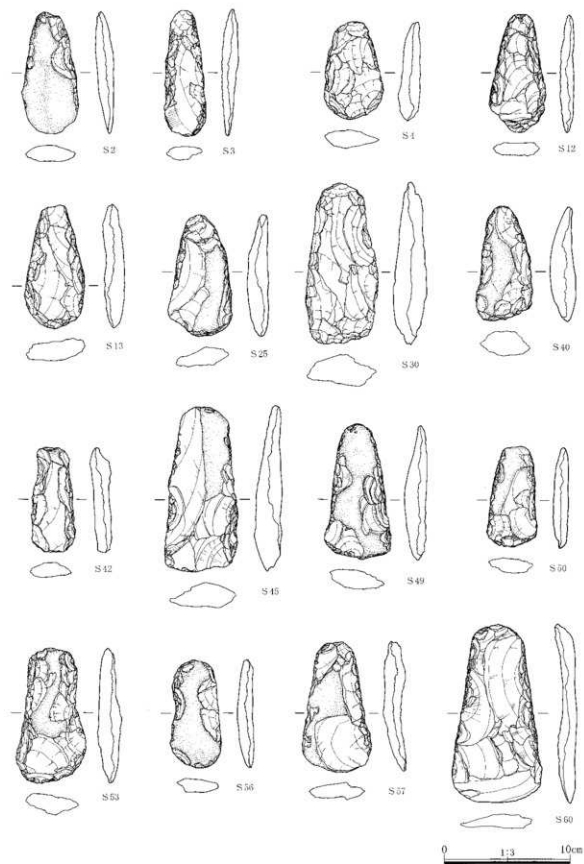


第6章第162図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(8)

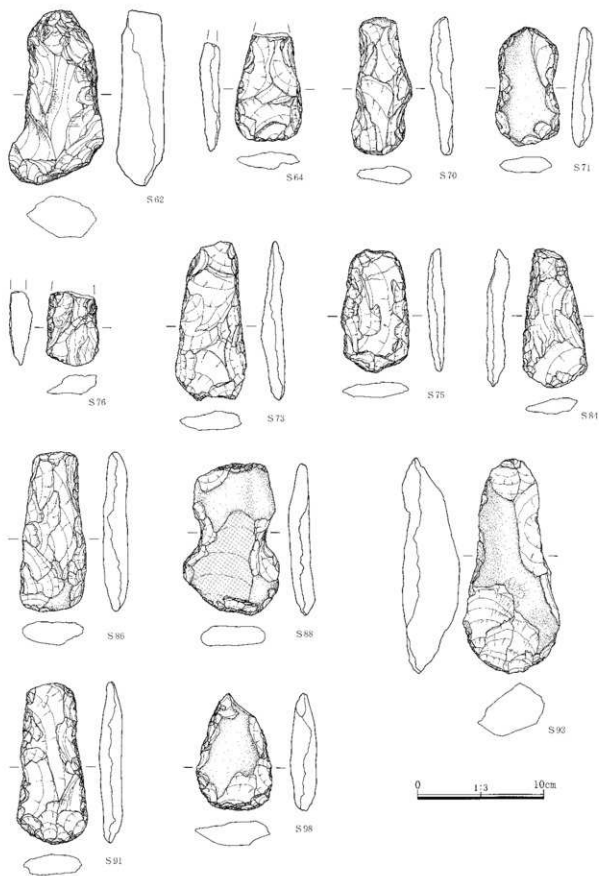


第6章第163回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(9)

第6章 IV区の調査

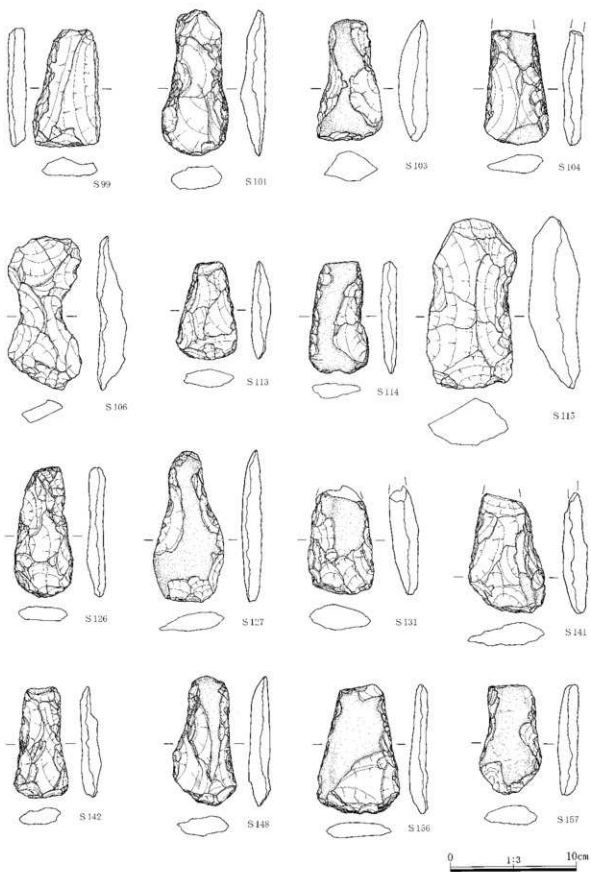


第6章第164回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器10

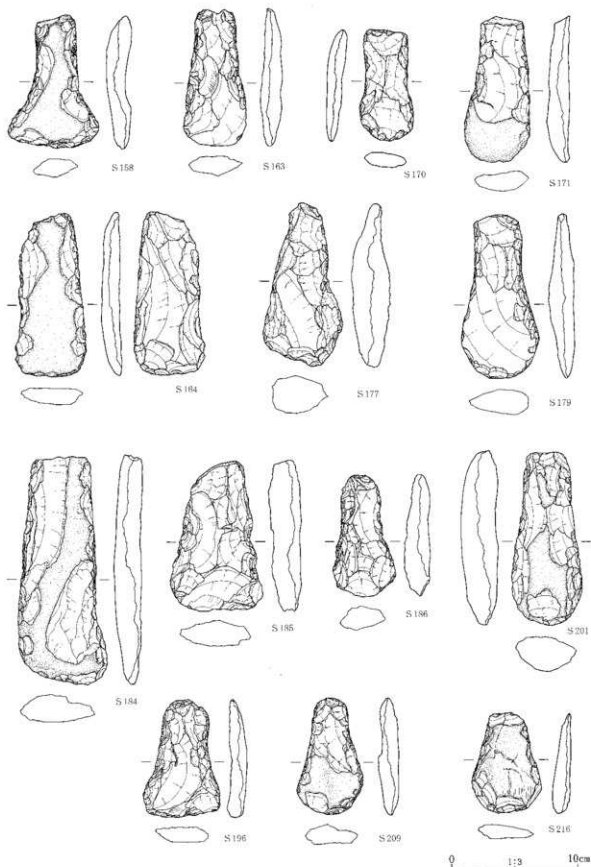


第6章第165図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)

第6章 IV区の調査

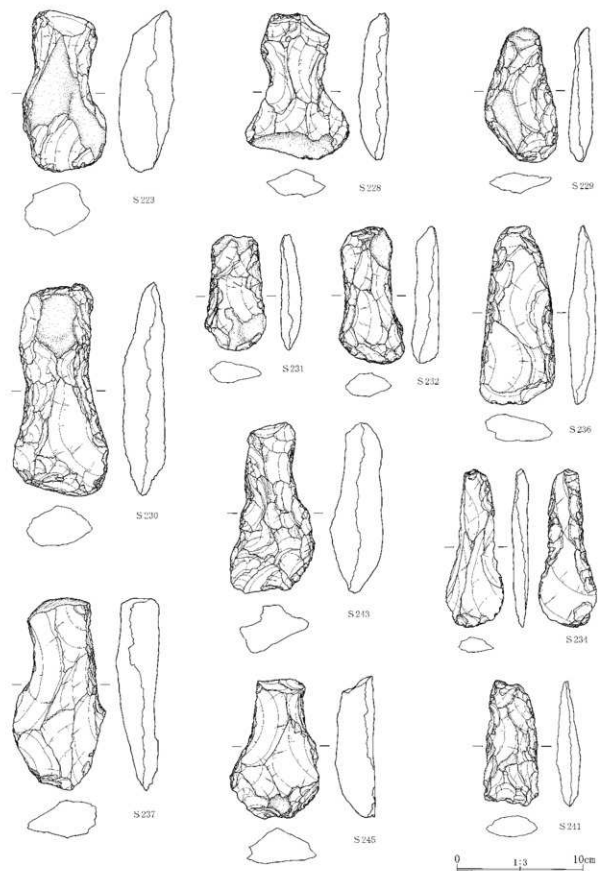


第6章第166図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器⑫

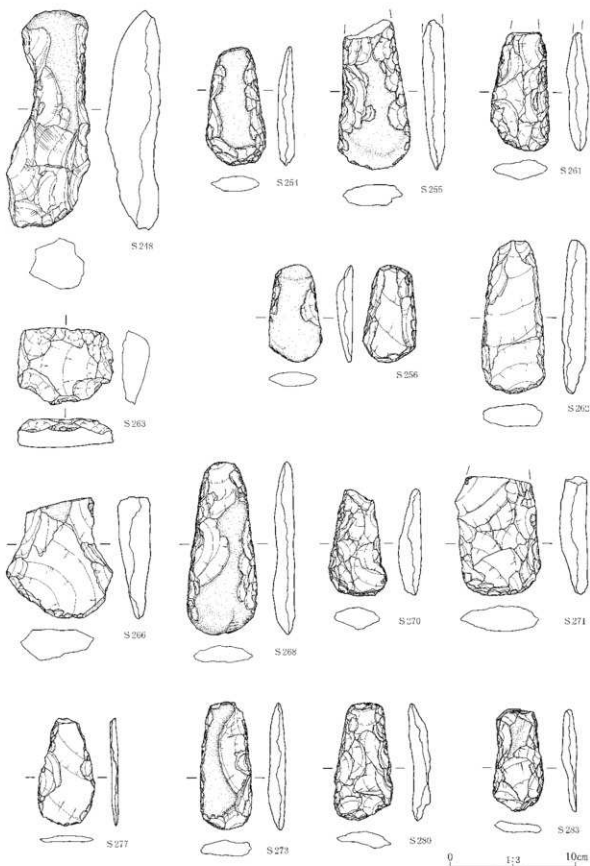


第6章第167回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器13

第6章 IV区の調査



第6章第168回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器14



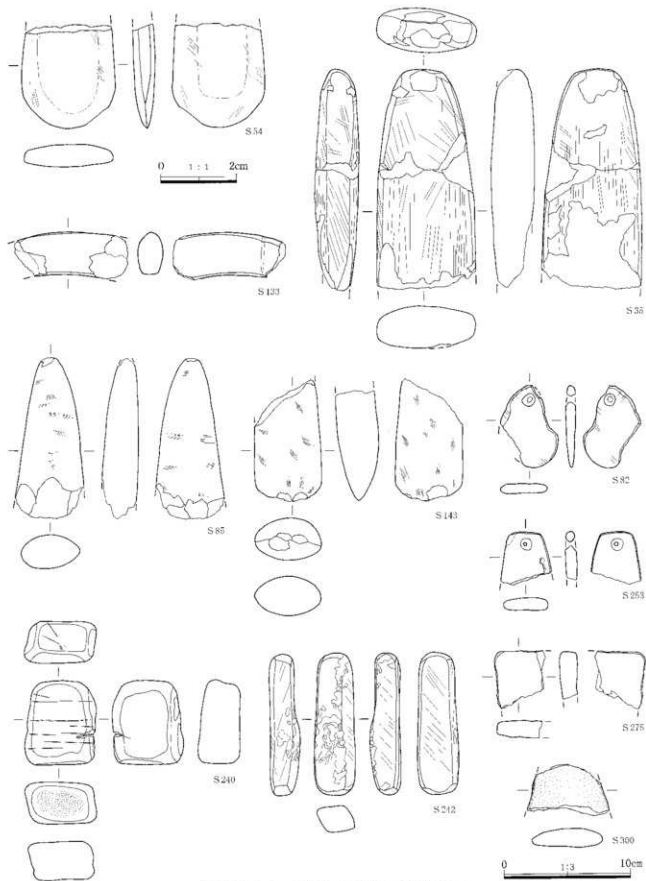
第6章第169図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器15



第6章 IV区の調査

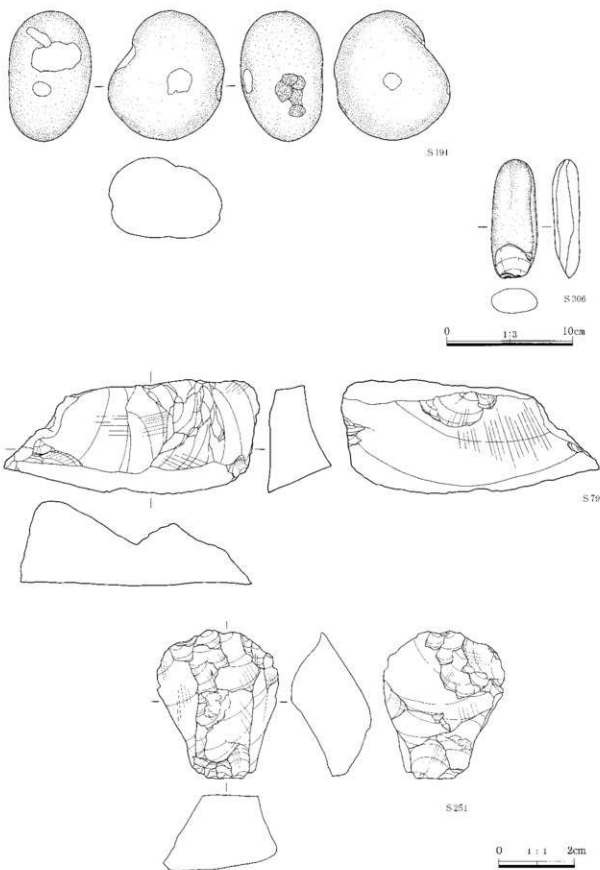


第6章第170回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器16

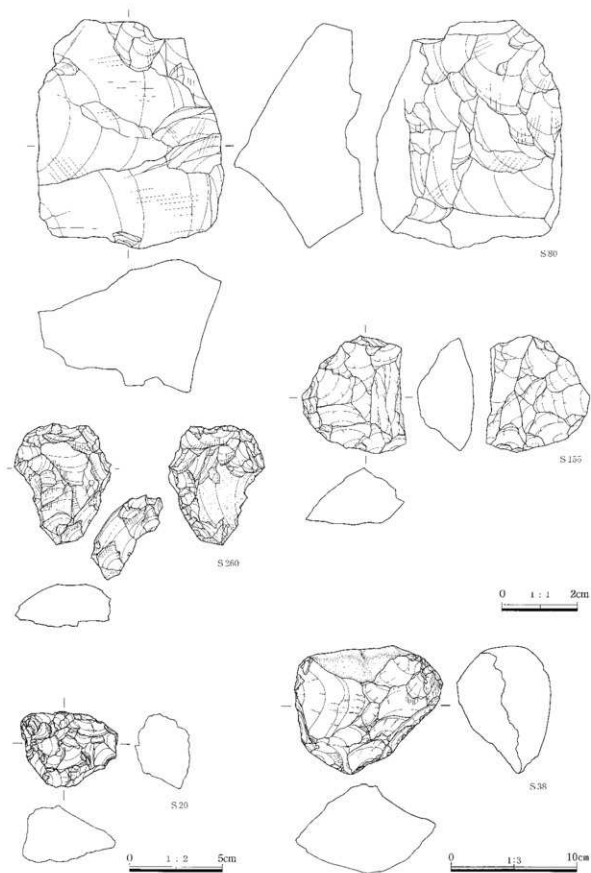


第6章第171回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器17

第6章 IV区の調査

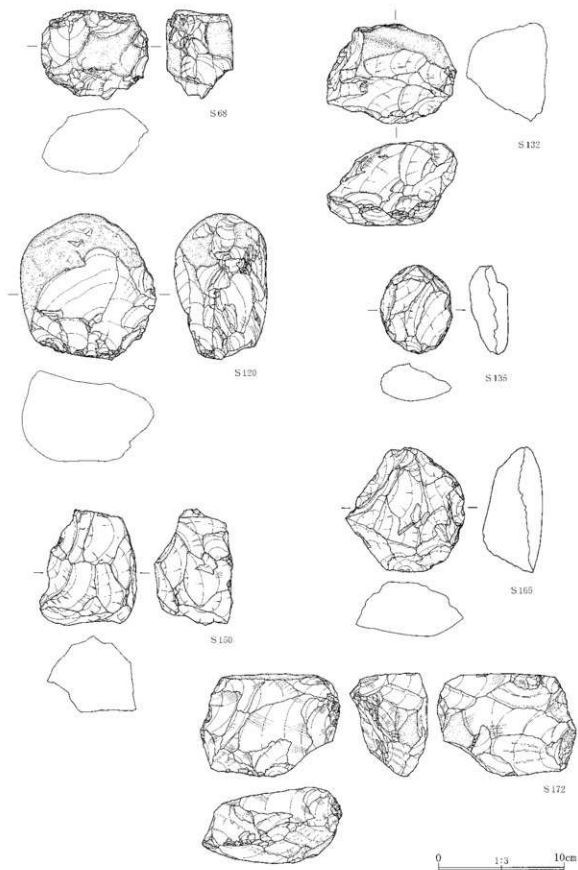


第6章第172図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器⑩

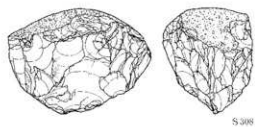
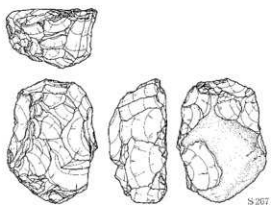
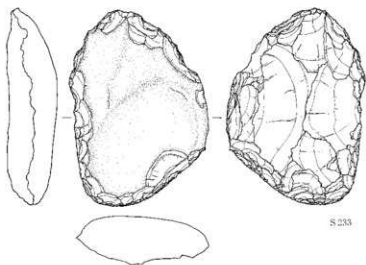
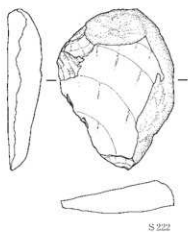
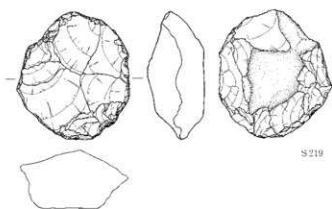
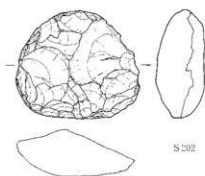


第6章第173回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器19

第6章 IV区の調査

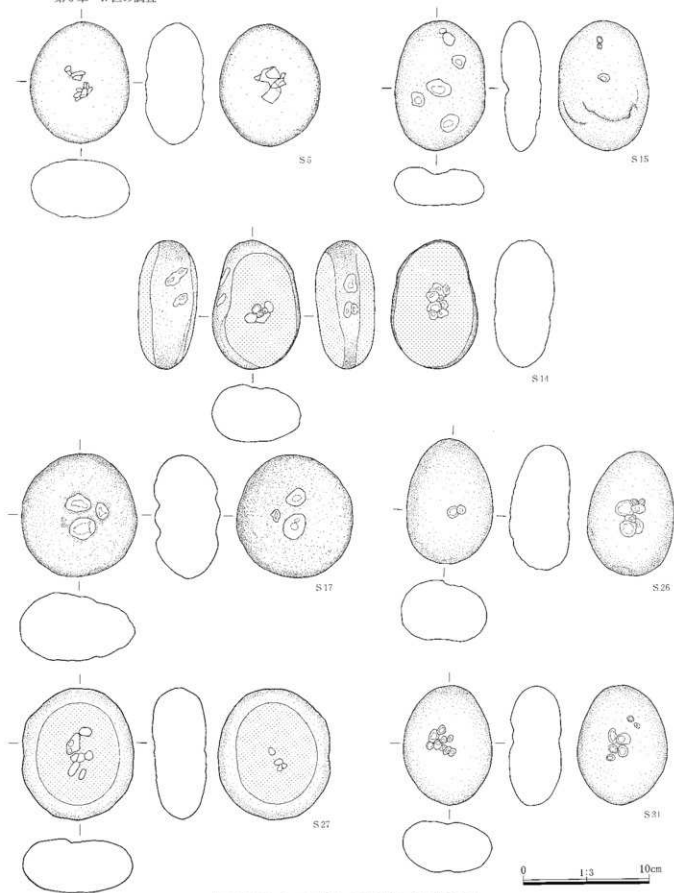


第6章第174回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器20

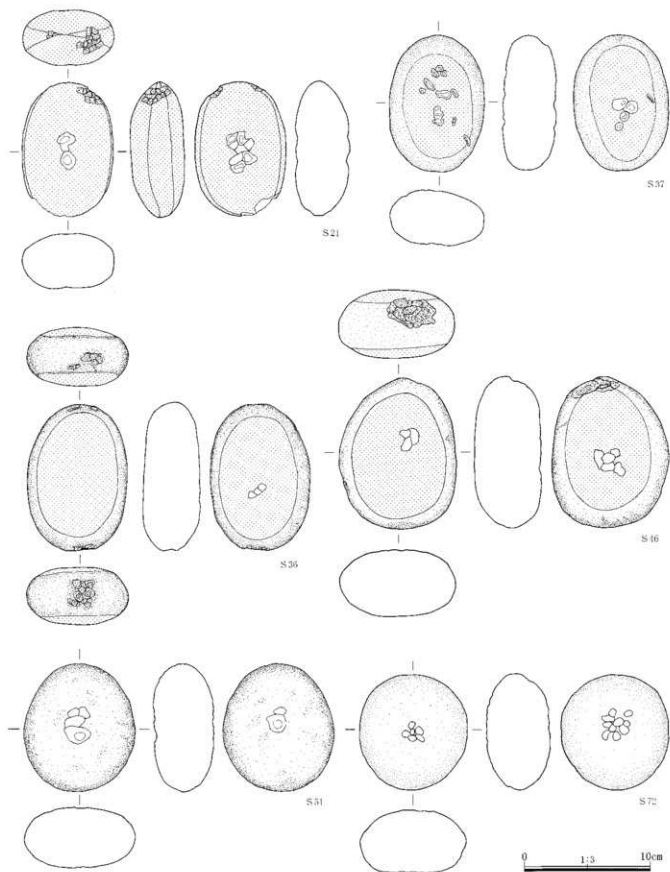


第6章第175回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)

第6章 IV区の調査



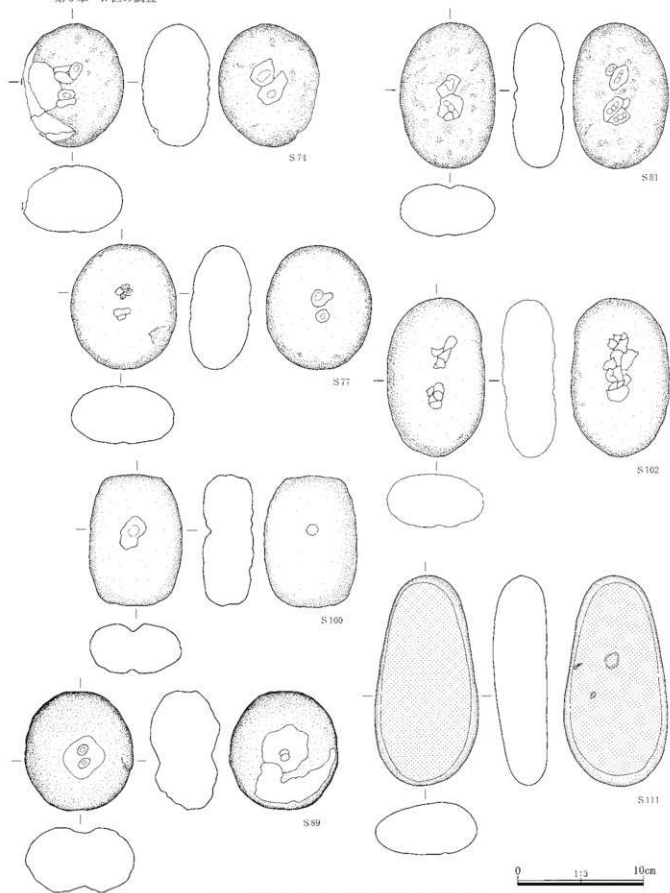
第6章第176図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器②



第6章第177回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器②

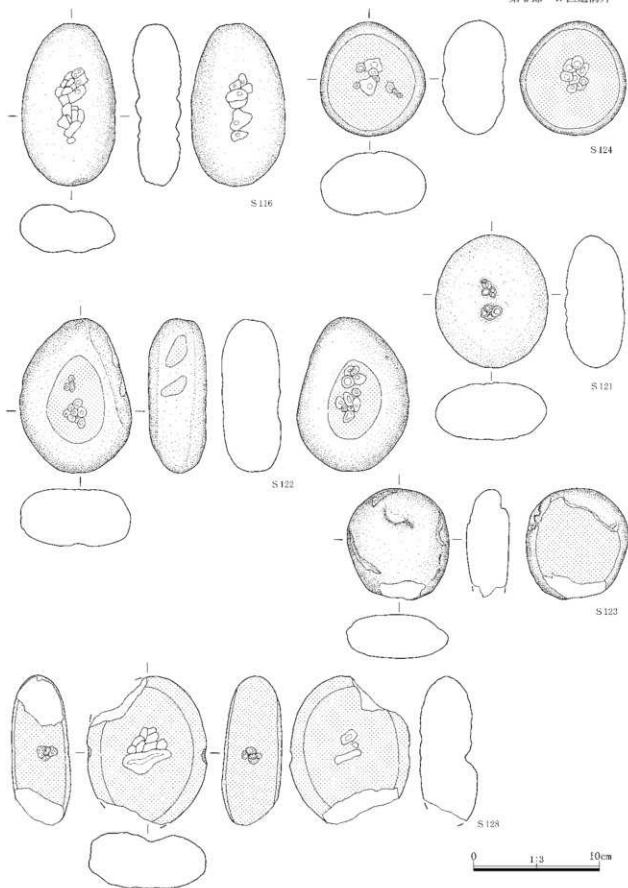


第6章 IV区の調査



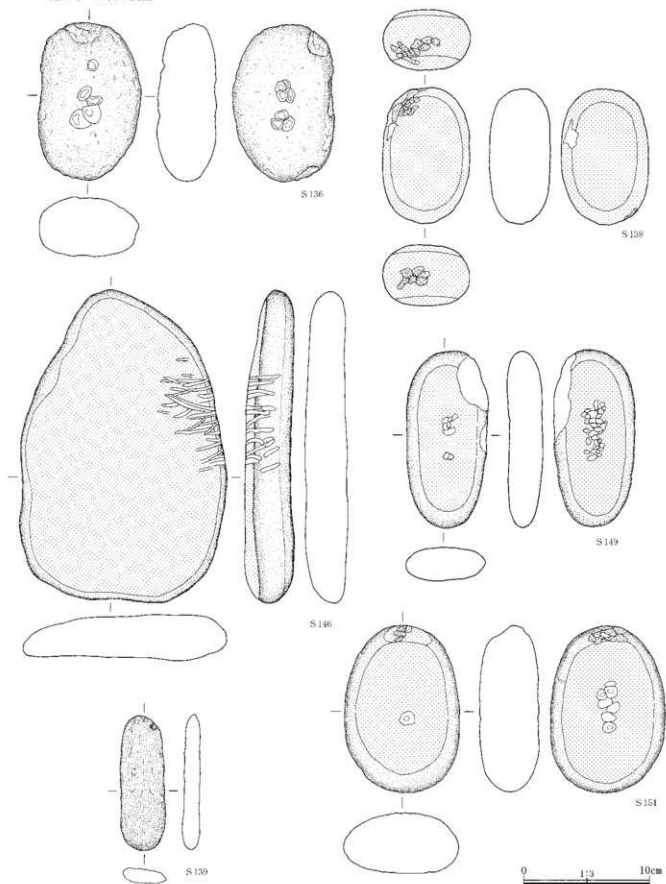
第6章第178回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器24

第2節 IV区遺構外

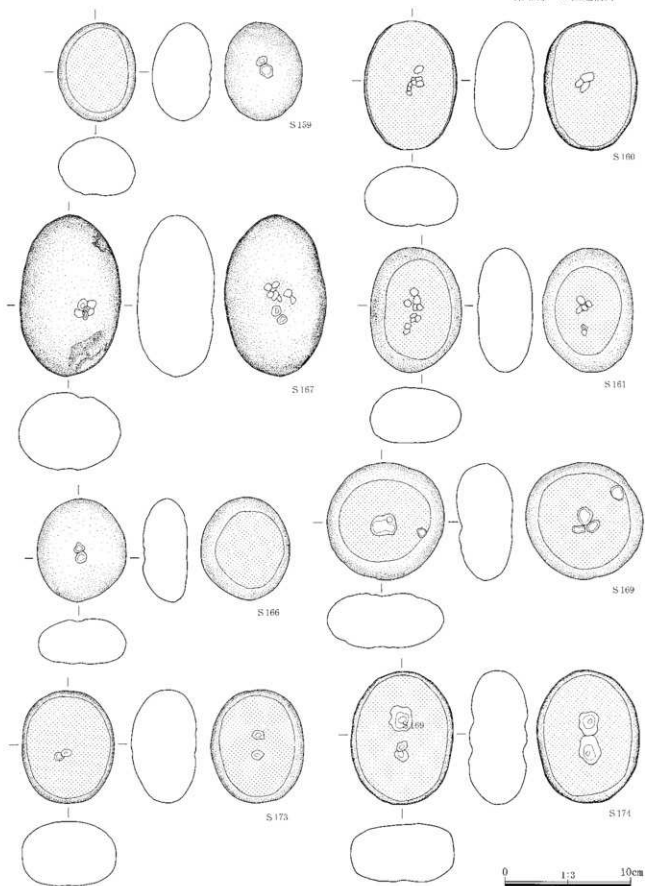


第6章第179回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器の2

第6章 IV区の調査



第6章第180回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器29



第6章第181回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器⑦

第6章 IV区の調査

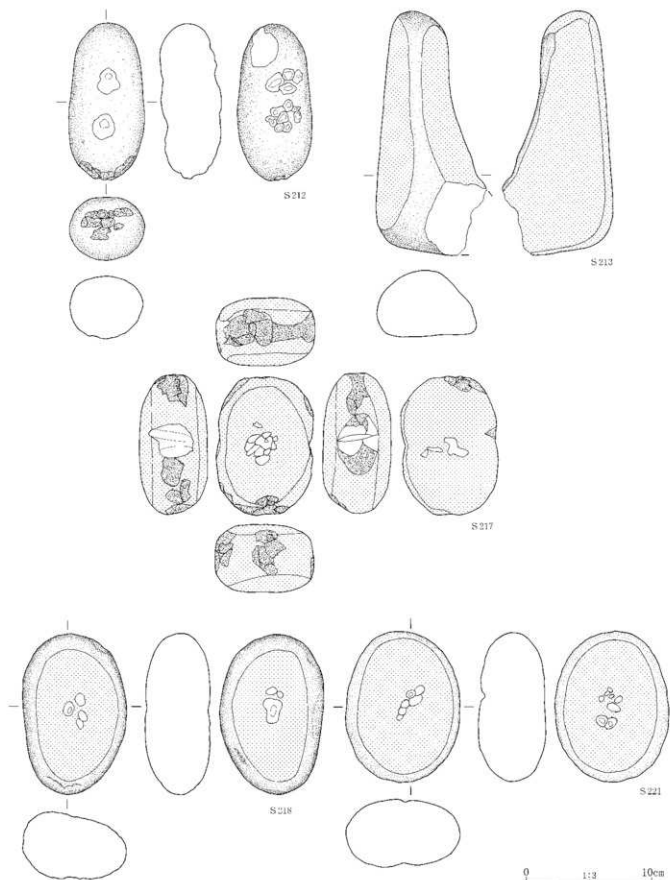


第6章第182回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器②

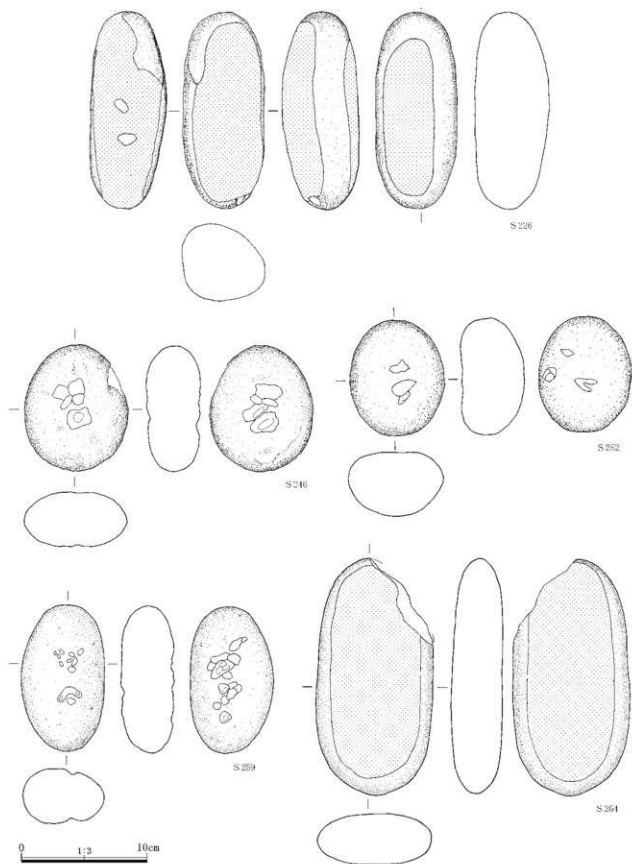


第6章第183回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器②

第6章 IV区の調査



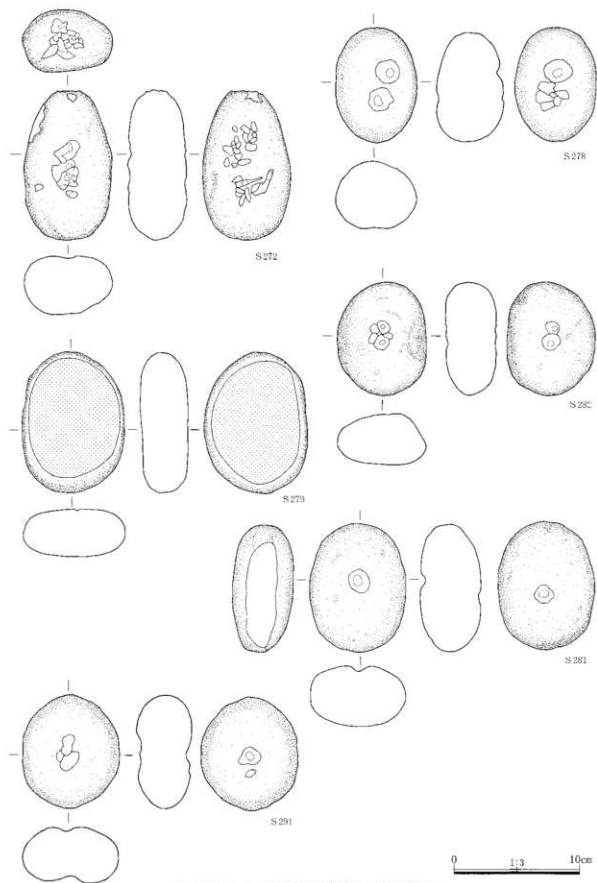
第6章第184回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器30



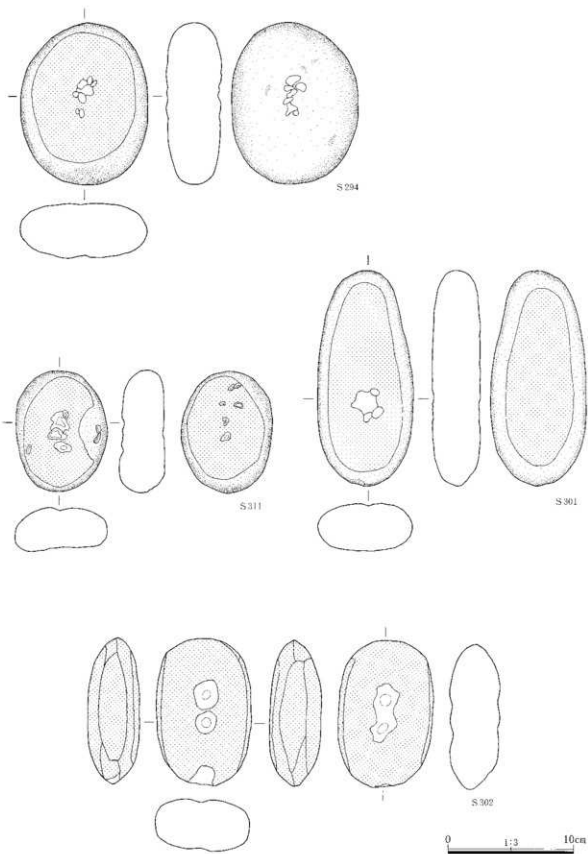
第6章第185図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器③



第6章 IV区の調査

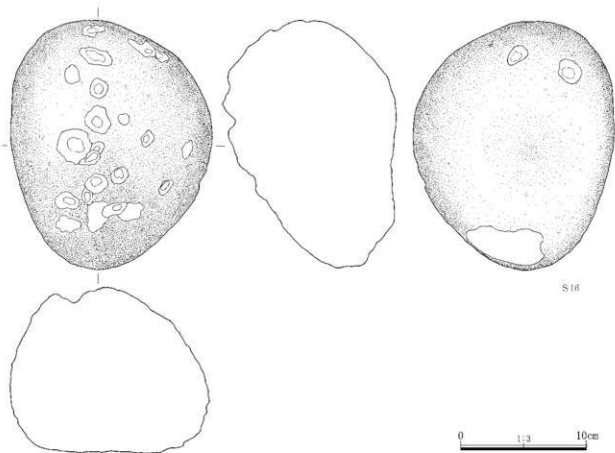


第6章第186図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器②



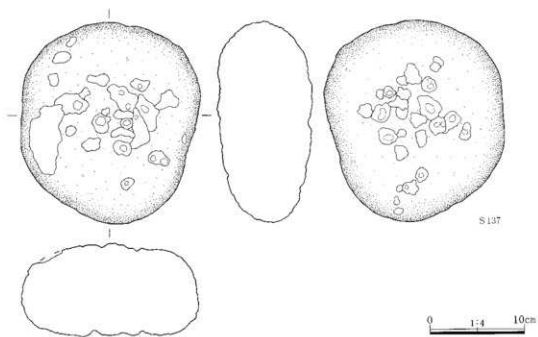
第6章第187回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器33

第6章 IV区の調査



S 16

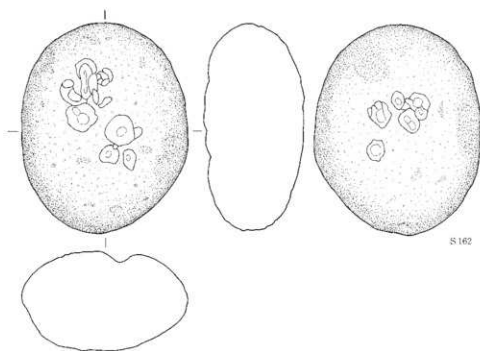
0 1:3 10cm



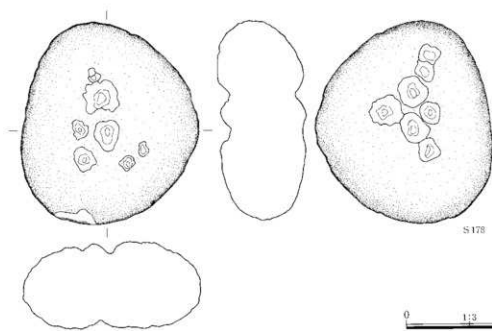
S 137

0 1:4 10cm

第6章第188回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器94



S162

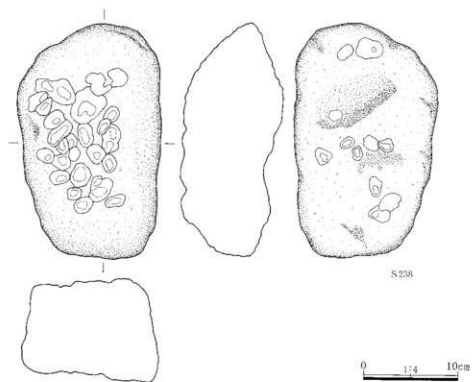
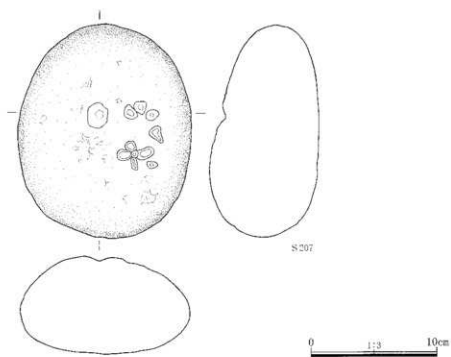


S178

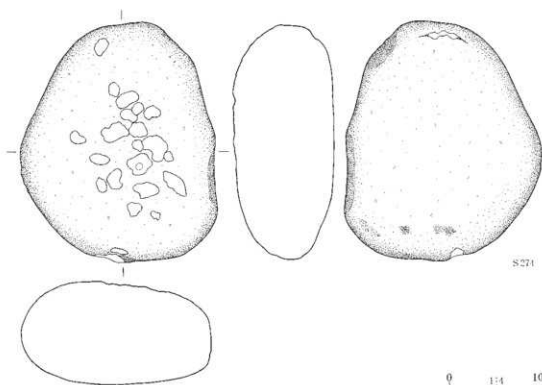
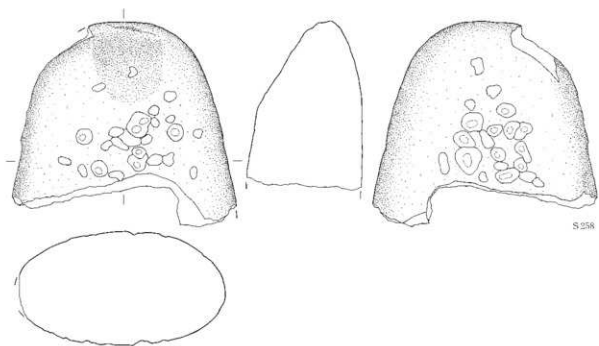
0 1:3 10cm

第6章第189図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器35

第6章 IV区の調査



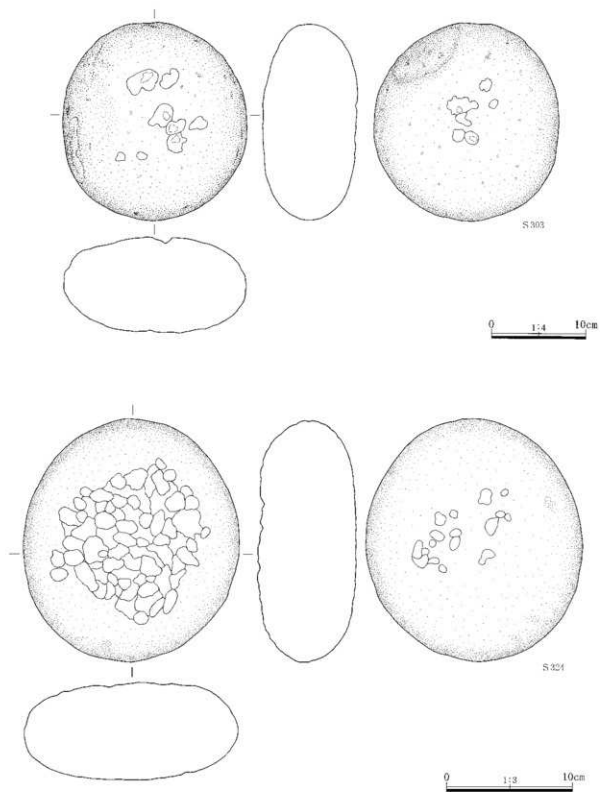
第6章第190図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器③



0 1.74 10cm

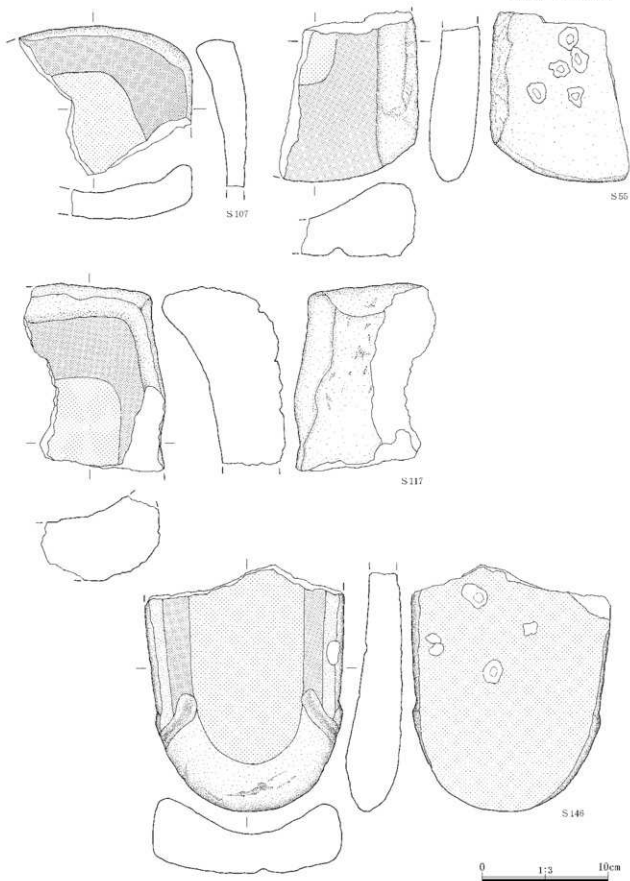
第6章第191図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器⑦

第6章 IV区の調査



第6章第192図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器30

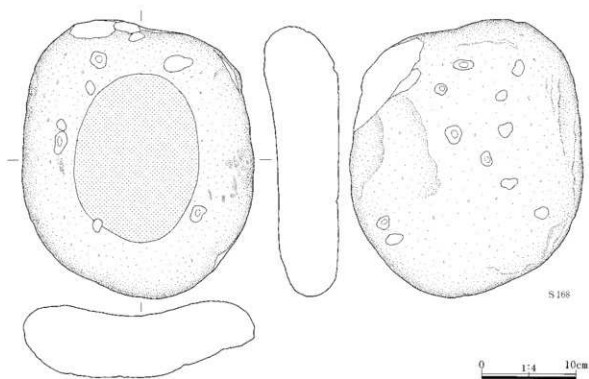
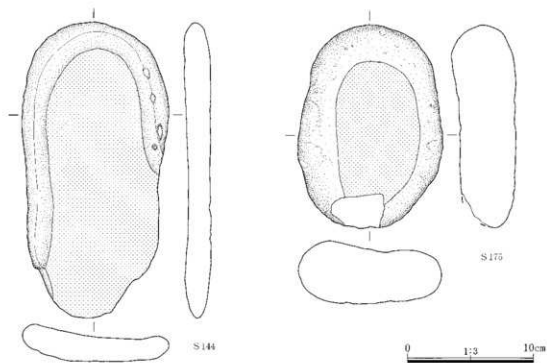
第2節 IV区遺構外



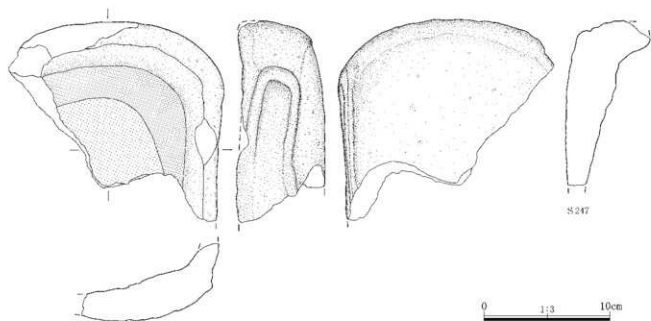
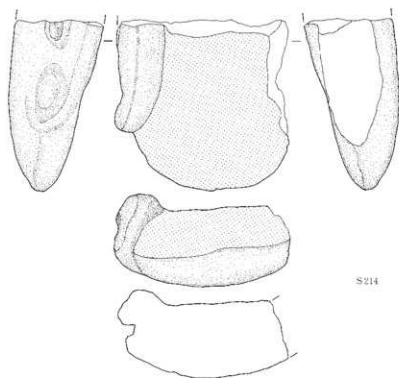
第6章第193回 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器39



第6章 IV区の調査

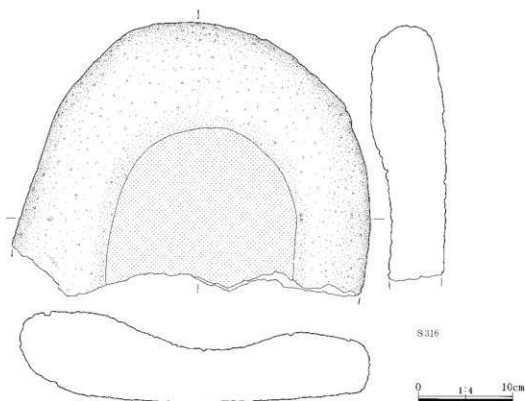


第6章第194図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器40



第6章第195図 IV区縄文面 遺構外出土縄文石器40

第6章 IV区の調査



第6章第196図 IV区縄文遺構外出土縄文石器42

第6章表66 IV区縄文遺構外出土縄文石器観察表 (第6章第155~196図、PL. 83~102)

番号	出土位置	部位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	Db-40G	甕原 石籠	定形	一部欠損	0.63	0.48	0.90	27.70	黒色頁岩	—	磨製石籠。左右非対称型。
S 2	Db-40G	甕原 打製石斧	定形	—	9.60	4.45	1.35	62.00	変質玄武岩	細粒凝灰岩	知明形石斧。1面に表面残存。
S 3	Db-40G	甕原 打製石斧	定形	—	9.85	3.30	1.35	41.00	変質玄武岩	細粒凝灰岩	知明形石斧。
S 4	Db-41G	甕原 打製石斧	定形	—	7.70	4.60	1.40	66.00	黒色頁岩	頁岩	知明形石斧。
S 5	Db-41G	甕原 凹石	定形	—	9.60	7.80	4.50	505.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 6	Dc-40G	— 石籠	—	一部欠損	1.70	1.25	0.35	0.43	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎錐。凹基。
S 7	Dc-40G	— 石籠	—	一部欠損	1.60	1.40	0.30	0.51	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎錐。凹基。
S 8	Dc-40G	— 石籠	—	一部欠損	1.80	1.40	0.30	0.75	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎錐。平基。
S 9	Dc-40G	— 石籠	—	一部欠損	2.30	1.90	0.50	1.13	チャート	チャート	二等辺三角形無茎錐。凹基。
S 10	Dc-40G	— 石籠?	—	下部欠損	0.003	0.04	0.32	1.20	黒曜石	黒曜岩	磨製石籠の可能性有り。
S 11	Dc-40G	— 石斧	定形	—	2.20	0.85	0.30	0.45	黒曜石	黒曜岩	—
S 12	Dc-40G	甕原 打製石斧	定形	一部欠損	9.35	4.40	1.10	46.00	黒色頁岩	—	知明形石斧。
S 13	Dc-40G	甕原 打製石斧	定形	—	9.60	4.70	1.60	87.00	変質玄武岩	細粒凝灰岩	知明形石斧。
S 14	Dc-40G	甕原 磨石・凹石	定形	—	10.20	6.95	4.50	396.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	磨石基本で凹石としても使用。
S 15	Dc-40G	甕原 凹石	定形	—	10.30	7.10	3.10	322.00	滑結凝灰岩	輝石安山岩	2面使用。
S 16	Dc-40G	甕原 多孔石	定形	—	19.50	16.00	13.80	4,230.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	4面使用。
S 17	Dc-40G	甕原 凹石	定形	—	9.70	9.10	5.30	580.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 18	Dc-41G	甕原 石籠	定形	—	1.50	1.15	0.25	0.42	チャート	チャート	二等辺三角形無茎錐。凹基。
S 19	Dc-41G	甕原 石籠	定形	一部欠損	2.00	1.60	0.40	0.99	チャート	チャート	正三角形無茎錐。凹基。
S 20	Dc-41G	甕原 石籠	定形	—	5.14	4.20	2.90	61.65	赤碧玉	—	1面に表面残存。
S 21	Dc-41G	甕原 磨石	ほぼ定形	—	10.60	7.20	4.30	494.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	磨石基本で凹石・磨石としても使用。
S 22	Dd-40G	甕原 石籠	ほぼ定形	—	1.90	1.50	0.30	0.92	黒色安山岩	細粒凝灰岩	二等辺三角形無茎錐。凹基。
S 23	Dd-40G	甕原 石籠	定形	—	3.40	2.70	1.00	5.95	珪質頁岩	珪質頁岩	磨製石籠。横み部中心よりややずれる。
S 24	Dd-40G	甕原 石籠	定形	—	5.60	6.50	1.10	37.39	黒色安山岩	黒色頁岩	磨製石籠。横み部中心よりややずれる。
S 25	Dd-40G	甕原 打製石斧	定形	—	9.65	5.10	1.65	84.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	知明形石斧。一部表面残存。
S 26	Dd-40G	甕原 凹石	定形	—	9.80	6.80	4.80	420.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 27	Dd-40G	甕原 磨石	定形	—	10.40	8.80	4.30	560.00	チャート	輝石安山岩	磨石基本で凹石としても使用。
S 28	Dd-41G	甕原 石籠	定形	—	5.10	2.60	0.55	3.60	チャート	チャート	磨製全長9mm。幅0mm。
S 29	Dd-41G	甕原 石籠	定形	—	5.10	4.20	0.70	12.65	黒色頁岩	黒色頁岩	磨製石籠。横み部中心。
S 30	Dd-41G	甕原 打製石斧	一部欠損	—	12.50	5.50	2.40	191.00	黒色頁岩	砂岩	知明形石斧。
S 31	Dd-41G	甕原 凹石	定形	—	9.40	7.00	4.10	374.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 32	Dd-42G	甕原 石籠	定形	—	2.70	1.70	0.35	0.96	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎錐。凹基。
S 33	Dd-42G	甕原 石籠	一部欠損	—	2.10	1.35	0.40	0.81	珪質頁岩	チャート	二等辺三角形無茎錐。凹基。
S 34	Dd-42G	甕原 石籠	一部欠損	—	2.15	1.30	0.50	0.90	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎錐。凹基。
S 35	Dd-42G	甕原 磨製石斧	一部欠損	—	17.30	7.90	3.40	575.00	蛇紋岩	—	定角式磨製石斧。

## 第2節 W区遺構外

番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)		重量 (g)	石 材		特 徴	
					長さ	幅		石	目		
S36	Dd-42G	埋藏	磨石	完整	11.60	7.90	4.50	650.00	石炭燧岩質	礫石山笠岩	2面磨石、2面を磨石として使用。
S37	Dd-42G	埋藏	磨石	完整	10.80	7.50	4.70	434.00	イイイイ緑泥岩質	黒炭岩	磨石本体で磨石としても使用。
S38	Dd-42G	埋藏	石楨	完整	10.10	11.65	2.30	828.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S39	Dd-43G	一石籠	完整	2.10	1.70	0.30	0.62	チャート	チャート	二等辺三角形無蓋蓋。凹基。	
S40	Dd-43G	埋藏	打製石斧	一部欠損	8.95	4.40	0.20	80.00	黒色頁岩	—	知母形石斧。一部表面残存。
S41	Dd-45G	埋藏	石籠	一部欠損	6.50	0.57	0.70	17.98	黒色頁岩	黒色頁岩	楕圓石籠。組み部詰め。
S42	Dd-39G	埋藏	打製石斧	完整	8.10	3.40	1.40	50.00	黒色頁岩	頁岩(化石入り)	知母形石斧。一部表面残存。
S43	Dd-39G	埋藏	打製石斧	完整	15.30	9.20	4.20	715.00	粗粒礫石山笠岩	礫石山笠岩	一面に凸部有り。
S44	Dd-40G	埋藏	石籠	一部欠損	1.65	1.30	0.35	0.51	チャート	チャート	二等辺三角形無蓋蓋。凹基。
S45	Dd-41G	埋藏	打製石斧	完整	13.10	5.70	2.25	162.00	黒色頁岩	—	知母形石斧。一部表面残存。
S46	Dd-41G	埋藏	磨石	ほぼ完整	12.00	9.10	5.30	950.00	粗粒礫石山笠岩	礫石山笠岩	磨石本体で磨石・磨石としても使用。
S47	Dd-42G	一石籠	完整	3.20	1.15	0.85	2.20	黒曜石	黒曜岩	—	
S48	Dd-42G	埋藏	石籠	一部欠損	5.70	2.50	0.70	9.29	黒色頁岩	—	楕圓石籠。左右非対称型。
S49	Dd-42G	埋藏	打製石斧	完整	10.65	5.30	1.75	94.00	変質玄武岩	—	知母形石斧。一部表面残存。
S50	Dd-42G	埋藏	打製石斧	完整	7.95	3.95	1.20	44.00	黒色頁岩	—	知母形石斧。一部表面残存。
S51	Dd-42G	埋藏	磨石	完整	10.10	8.70	4.70	555.00	粗粒礫石山笠岩	礫石山笠岩	2面使用。
S52	Dd-43G	埋藏	石籠	一部欠損	1.50	1.25	0.30	0.40	黒曜石	黒曜岩	正三角形無蓋蓋。凹基。
S53	Dd-43G	埋藏	打製石斧	完整	10.65	5.25	1.80	97.00	黒色頁岩	砂岩	知母形石斧。一部表面残存。
S54	Dd-44G	埋藏	磨石	上部部欠損	2.70	2.40	0.60	6.19	緑泥岩	—	一定角式磨石。夏動島の石斧？
S55	Dd-44G	埋藏	石皿	破片	(13.60)	(11.60)	3.00	905.00	粗粒礫石山笠岩	礫石山笠岩	1面に凸部。1面を凹凸として使用。
S56	Dd-39G	埋藏	打製石斧	完整	8.40	4.00	1.10	58.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	知母形石斧。一部表面残存。
S57	Dd-40G	埋藏	打製石斧	完整	10.25	5.45	1.70	87.00	変質玄武岩	変質玄武岩	知母形石斧。一部表面残存。
S58	Dd-41G	埋藏	石籠	完整	3.20	1.10	0.37	0.91	珪質頁岩	無蓋品晋安山岩	断面全長20mm、幅3mm。
S59	Dd-41G	埋藏	石籠	ほぼ完整	3.70	4.20	0.80	2.22	珪質頁岩	珪質頁岩	楕圓石籠。組み部中心よりややずれる。
S60	Dd-41G	埋藏	打製石斧	ほぼ完整	14.10	7.10	1.40	149.00	黒色頁岩	—	知母形石斧。表面残存。
S61	Dd-42G	埋藏	磨石	1/2	10.30	5.20	2.90	192.00	粗粒礫石山笠岩	礫石山笠岩	中央の穴は、直径約25mm。
S62	Dd-43G	埋藏	打製石斧	一部欠損	13.30	7.20	3.70	408.00	黒色頁岩	—	知母形石斧。
S63	Dd-46G	埋藏	スクレーパー	不明	4.50	7.40	1.35	47.00	黒色頁岩	—	3面に凹部有り。一部表面残存。
S64	Dd-40G	埋藏	打製石斧	上部部欠損	(8.00)	5.20	1.60	74.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	知母形石斧。
S65	Dd-41G	埋藏	石籠	一部欠損	1.70	1.20	0.30	0.51	チャート	—	二等辺三角形無蓋蓋。凹基。
S66	Dd-44G	埋藏	石籠	1/2?	(2.90)	2.20	0.70	3.50	黒曜石	黒曜岩	矢頭型か？
S67	Dd-44G	埋藏	石籠	完整	6.30	6.10	1.30	35.47	黒色山笠岩	黒色山笠岩	楕圓石籠。左右対称。
S68	Dd-44G	埋藏	石籠	完整	6.90	8.40	0.25	385.00	黒色頁岩	—	一部表面残存。
S69	Dd-45G	埋藏	石籠	ほぼ完整	7.10	5.10	1.10	21.75	珪質頁岩	珪質頁岩	楕圓石籠。組み部中心。
S70	Dd-47G	埋藏	打製石斧	ほぼ完整	10.80	4.40	1.70	97.00	黒色頁岩	頁岩(化石入り)	知母形石斧。一部表面残存。
S71	Dd-48G	埋藏	打製石斧	ほぼ完整	9.30	1.60	4.90	96.00	黒色頁岩	—	知母形石斧。一部表面残存。
S72	Dd-39G	埋藏	磨石	完整	9.10	8.50	5.10	560.00	粗粒礫石山笠岩	礫石山笠岩	2面使用。
S73	Dd-48G	埋藏	打製石斧	完整	12.45	5.55	1.55	122.00	黒色頁岩	頁岩(化石入り)	知母形石斧。
S74	Dd-40G	埋藏	磨石	完整	9.70	7.90	5.10	545.00	粗粒礫石山笠岩	礫石山笠岩	2面使用。
S75	Dd-41G	埋藏	打製石斧	完整	9.70	5.25	1.30	83.00	黒色頁岩	砂岩	知母形石斧。
S76	Dd-42G	埋藏	打製石斧	1/2	(5.85)	4.40	1.80	43.00	チャート	—	知母形石斧。
S77	Dd-42G	埋藏	磨石	完整	9.80	8.30	4.80	540.00	粗粒礫石山笠岩	礫石山笠岩	2面使用。
S78	Dd-45G	埋藏	銅片石籠	完整	4.40	2.80	0.61	6.80	黒曜石	—	—
S79	Dd-45G	埋藏	石楨	完整	3.01	8.30	2.95	75.40	黒曜石	—	—
S80	Dd-45G	埋藏	石楨	完整	5.70	4.90	3.63	98.80	黒曜石	—	—
S81	Dd-45G	埋藏	磨石	完整	11.50	7.50	4.10	450.00	粗粒礫石山笠岩	礫石山笠岩	2面使用。
S82	Dd-48G	埋藏	磨石	一部破損	6.50	4.40	0.78	33.14	牛伏砂岩	—	1ヶ所孔有り。携帯用磨石か？
S83	Dd-39G	埋藏	石籠	完整	5.40	2.10	0.80	6.79	黒色頁岩	細粒凝灰岩	楕圓石籠。左右非対称型。
S84	Dd-39G	埋藏	打製石斧	完整	11.00	5.10	1.50	69.00	黒色頁岩	頁岩	知母形石斧。
S85	Dd-39G	埋藏	磨製石斧	部分欠損	(12.70)	2.20	2.80	266.00	変質玄武岩	変質玄武岩	片状状磨製石斧。
S86	Dd-40G	埋藏	打製石斧	完整	12.50	5.20	1.80	167.00	粗粒礫石山笠岩	細粒凝灰岩	知母形石斧。
S87	Dd-41G	埋藏	石籠	完整	2.50	2.30	0.35	1.40	チャート	チャート	正三角形無蓋蓋。凹基。
S88	Dd-41G	埋藏	打製石斧	完整	11.95	7.50	1.65	186.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	2面磨石石斧。一部表面残存。
S89	Dd-43G	埋藏	石籠	ほぼ完整	9.30	8.50	5.40	510.00	粗粒礫石山笠岩	礫石山笠岩	2面使用。
S90	Dd-44G	埋藏	石籠	一部欠損	6.90	5.20	0.55	21.90	珪質頁岩	珪質頁岩	楕圓石籠。組み部中心。
S91	Dd-45G	埋藏	打製石斧	完整	12.15	5.35	1.70	154.00	黒色頁岩	無蓋品晋安山岩	知母形石斧。
S92	Dd-46G	埋藏	打製石斧	完整	3.90	3.20	0.60	1.64	黒曜石	—	楕圓石籠か？
S93	Dd-48G	埋藏	打製石斧	完整	16.80	7.60	4.40	493.00	黒色頁岩	—	知母形石斧。一部表面残存。
S94	Dd-45G	埋藏	石籠	上部部欠損	1.60	2.40	0.30	1.63	黒曜石	無蓋蓋	凹基。
S95	Dd-45G	埋藏	石籠	一部欠損	5.30	4.00	0.80	14.04	黒色頁岩	黒色頁岩	楕圓石籠。組み部中心よりややずれる。
S96	Dd-46G	埋藏	石籠	一部欠損	4.20	3.00	0.60	5.61	黒色山笠岩	無蓋品晋安山岩	楕圓石籠。組み部中心よりややずれる。
S97	Dd-46G	埋藏	石籠	完整	8.40	5.10	0.90	30.69	珪質頁岩	—	楕圓石籠。組み部中心よりややずれる。
S98	Dd-46G	埋藏	打製石斧	一部欠損	(9.20)	5.90	2.05	119.00	黒色頁岩	頁岩	知母形石斧。一部表面残存。
S99	Dd-46G	埋藏	打製石斧	ほぼ完整	9.20	4.80	1.50	84.00	黒色頁岩	—	知母形石斧。
S100	Dd-46G	埋藏	磨石	完整	10.40	7.30	4.00	410.00	粗粒礫石山笠岩	礫石山笠岩	2面使用。
S101	Dd-47G	埋藏	打製石斧	完整	11.50	5.20	1.95	119.00	黒色頁岩	—	知母形石斧。
S102	Dd-47G	埋藏	磨石	完整	12.60	7.60	4.30	565.00	粗粒礫石山笠岩	礫石山笠岩	2面使用。
S103	Dd-39G	埋藏	打製石斧	完整	9.50	4.80	2.30	122.00	黒色頁岩	—	知母形石斧。一部表面残存。
S104	Dd-39G	埋藏	打製石斧	一部欠損	(9.00)	5.15	1.60	89.00	黒色頁岩	—	知母形石斧。一部表面残存。
S105	Dd-44G	埋藏	石籠	完整	1.85	1.60	0.40	0.74	黒曜石	黒曜岩	正三角形無蓋蓋。凹基。
S106	Dd-44G	埋藏	打製石斧	完整	12.10	5.80	2.00	102.00	黒色頁岩	頁岩	分銅形石斧。
S107	Dd-44G	埋藏	石皿	破片	(11.70)	(13.50)	4.20	422.00	粗粒礫石山笠岩	礫石山笠岩	1面のみ使用。
S108	Dd-45G	石籠	上部部欠損	(1.30)	2.10	0.40	0.85	黒曜石	—	無蓋蓋。凹基。	
S109	Dd-45G	埋藏	打製石斧	一部欠損	(2.90)	(2.50)	0.95	13.95	黒色頁岩	無蓋品晋安山岩	ハート型か？
S110	Dd-45G	埋藏	石籠	一部欠損	2.85	2.10	0.35	1.46	黒色頁岩	無蓋品晋安山岩	楕圓石籠。組み部中心よりややずれる。
S111	Dd-45G	埋藏	磨石	完整	16.60	8.10	4.10	885.00	粗粒礫石山笠岩	礫石山笠岩	2面使用。

## 第6章 IV区の調査

番号	出土位置	副位	器種	残存状態	計測値 (cm)		重量 (g)	石 料		特 徴
					長さ	幅		A	B	
S112	Dk-46G	甕	黒形石	完整	3.90	2.90	0.70	4.25 赤褐色石	鉄石系(赤玉石)	三脚石。 (鈴木, 1981)
S113	Dk-46G	甕	黒形石	完整	7.60	4.80	1.40	56.00 黒色頁岩	砂岩	短冊形石片。
S114	Dk-46G	甕	黒形石	一部欠損	8.90	4.60	1.15	113.00 黒色頁岩	—	短冊形石片。一部表面残存。
S115	Dk-46G	甕	黒形石	ほぼ完整	13.30	6.40	3.70	385.00 黒色頁岩	砂岩	短冊形石片。
S116	Dk-46G	甕	黒形石	完整	12.80	7.40	3.80	444.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S117	Dk-46G	甕	黒形石	破片	(14.20)	(10.60)	5.10	1,250.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面のみ使用。
S118	Dk-47G	甕	黒形石	上部部欠損	(11.70)	1.50	0.40	0.70 黒曜石	黒曜岩	二等辺三角無蓋蓋。凹基。
S119	Dk-47G	甕	黒形石	一部欠損	2.30	1.40	0.40	0.84 黒曜石	—	正三角無蓋蓋。凹基。
S120	Dk-47G	甕	黒形石	完整	11.30	10.55	7.30	138.00 黒色安山岩	—	一部表面残存。
S121	Dk-47G	甕	黒形石	完整	10.50	8.80	4.60	600.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面のみ使用。
S122	Dk-38G	甕	黒形石	完整	12.10	8.90	4.70	680.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。磨石としても使用。
S123	Dk-39G	甕	黒形石	ほぼ完整	8.80	8.10	3.40	350.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面のみ使用。
S124	Dk-39G	甕	黒形石	完整	9.00	8.30	5.00	515.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。磨石としても使用。
S125	Dk-40G	甕	黒形石	一部欠損	1.90	1.50	0.30	0.46 黒曜石	黒曜岩	二等辺三角無蓋蓋。凹基。
S126	Dk-41G	甕	黒形石	完整	10.25	4.55	1.40	76.00 黒色頁岩	岩質カンパニエス	短冊形石片。
S127	Dk-42G	甕	黒形石	一部欠損	11.80	5.60	1.30	108.00 粗粒輝石安山岩	粗粒輝石	短冊形石片。一部表面残存。
S128	Dk-43G	甕	黒形石	一部欠損	11.20	9.40	4.50	630.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。今後に磨った痕跡有。
S129	Dk-44G	甕	黒形石	一部欠損	1.65	1.40	0.30	0.41 黒曜石	—	正三角無蓋蓋。凹基。
S130	Dk-44G	甕	黒形石	完整	4.00	3.60	0.50	7.92 黒色安山岩	輝石安山岩	横置石。組み部中心。
S131	Dk-44G	甕	黒形石	完整	8.60	5.30	2.15	101.00 黒色頁岩	粗粒輝石	短冊形石片。一部表面残存。
S132	Dk-44G	甕	黒形石	完整	7.80	10.10	6.20	568.00 黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S133	Dk-45G	甕	黒形石	破片	3.30	(8.90)	2.00	116.00 安摩緑岩	ヒン岩	短冊形石片。一部表面残存。
S134	Dk-45G	甕	黒形石	ほぼ完整	6.80	5.30	3.20	32.81 黒色頁岩	—	横置石。組み部中心よりややずれる。
S135	Dk-45G	甕	黒形石	一部欠損	6.90	5.70	3.00	134.00 黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。
S136	Dk-45G	甕	黒形石	ほぼ完整	12.30	7.90	4.60	625.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S137	Dk-45G	甕	黒形石	完整	21.30	19.60	30.10	5,100.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S138	Dk-45G	甕	黒形石	完整	10.80	6.80	4.80	530.00 かくろう岩	アブラウト	一部表面残存。
S139	Dk-45G	甕	黒形石	完整	10.60	3.40	1.20	89.00 黒色片岩	黒雲母片岩	2面使用。
S140	Dk-45G	甕	黒形石	1/2	(19.50)	15.70	5.90	1,860.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面を凹石として使用。
S141	Dk-46G	甕	黒形石	一部欠損	8.80	6.00	1.80	106.00 黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。
S142	Dk-46G	甕	黒形石	完整	8.80	4.20	1.60	58.00 黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。一部表面残存。
S143	Dk-46G	甕	黒形石	上部部欠損	9.60	5.20	3.40	256.00 安武片岩	安ハレイ石	乳鉢形石片。
S144	Dk-38G	甕	黒形石	完整	23.30	11.60	2.10	1,090.00 緑色片岩	黒曜岩	乳鉢形石片。
S145	Dk-39G	甕	黒形石	完整	2.40	1.75	0.30	0.72 黒曜石	—	二等辺三角無蓋蓋。凹基。
S146	Dk-39G	甕	黒形石	ほぼ完整	24.60	16.10	3.60	2,550.00 安武玄武岩	緑輝石	横置石。
S147	Dk-40G	甕	黒形石	上部部欠損	(12.10)	1.90	0.40	16.25 黒曜石	黒曜岩	正三角無蓋蓋。凹基。
S148	Dk-41G	甕	黒形石	完整	10.20	4.80	1.15	82.00 黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。一部表面残存。
S149	Dk-41G	甕	黒形石	ほぼ完整	14.00	6.50	2.80	420.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S150	Dk-41G	甕	黒形石	完整	9.15	7.45	6.20	488.00 黒色頁岩	頁岩	2面使用。
S151	Dk-42G	甕	黒形石	完整	13.20	9.10	4.80	915.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S152	Dk-44G	甕	黒形石	ほぼ完整	1.60	1.20	0.20	0.23 黒曜石	—	二等辺三角無蓋蓋。凹基。
S153	Dk-45G	甕	黒形石	一部欠損	1.10	1.60	0.20	0.21 黒曜石	黒曜岩	正三角無蓋蓋。凹基。
S154	Dk-45G	甕	黒形石	1/2?	2.88	1.73	0.80	3.63 赤褐色石	—	—
S155	Dk-45G	甕	黒形石	完整	3.12	2.70	1.54	12.31 チャート	—	一部表面残存。
S156	Dk-45G	甕	黒形石	完整	10.20	6.55	1.45	102.00 黒色頁岩	頁岩(化石入り)	短冊形石片。一部表面残存。
S157	Dk-45G	甕	黒形石	完整	8.60	4.80	1.50	83.00 黒色頁岩	岩質カンパニエス	短冊形石片。一部表面残存。
S158	Dk-45G	甕	黒形石	完整	10.50	7.30	1.85	112.00 黒色頁岩	砂岩	横置石片。一部表面残存。
S159	Dk-45G	甕	黒形石	完整	7.80	6.10	4.50	266.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面を磨石。1面を凹石として使用。
S160	Dk-45G	甕	黒形石	ほぼ完整	10.10	7.30	4.70	350.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S161	Dk-45G	甕	黒形石	完整	9.90	7.10	4.40	494.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S162	Dk-45G	甕	黒形石	完整	16.70	13.10	7.90	1,650.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S163	Dk-46G	甕	黒形石	完整	10.25	4.90	1.65	92.00 黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。
S164	Dk-46G	甕	黒形石	完整	12.70	5.60	1.30	120.00 黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。一部表面残存。
S165	Dk-46G	甕	黒形石	完整	9.80	9.45	4.60	120.00 黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S166	Dk-46G	甕	黒形石	完整	8.20	7.00	3.50	298.00 石炭四緑岩	ヒン岩	1面を磨石。1面を凹石として使用。
S167	Dk-46G	甕	黒形石	完整	12.70	8.00	6.10	780.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S168	Dk-38G	甕	黒形石	完整	29.20	24.60	7.90	350.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面を石。1面を凹石として使用。
S169	Dk-40G	甕	黒形石	完整	9.20	9.20	4.20	525.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S170	Dk-41G	甕	黒形石	完整	8.70	4.20	1.20	62.00 粗粒輝石安山岩	粗粒輝石	短冊形石片。
S171	Dk-41G	甕	黒形石	完整	11.50	5.00	1.70	124.00 黒色頁岩	岩質カンパニエス	短冊形石片。一部表面残存。
S172	Dk-41G	甕	黒形石	完整	8.20	6.40	5.50	603.00 黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S173	Dk-41G	甕	黒形石	完整	8.90	7.40	5.10	494.00 石炭四緑岩	—	2面使用。
S174	Dk-42G	甕	黒形石	完整	10.50	8.00	4.60	630.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。凹石としても使用。
S175	Dk-43G	甕	黒形石	ほぼ完整	16.00	11.90	4.80	1,330.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	横置石。
S176	Dk-43G	甕	黒形石	上部部欠損	(12.30)	2.80	0.40	2.94 黒色安山岩	—	横置石。凹基。
S177	Dk-44G	甕	黒形石	完整	11.90	6.10	2.90	232.00 黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。
S178	Dk-44G	甕	黒形石	完整	16.00	14.00	7.00	1,700.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S179	Dk-45G	甕	黒形石	完整	13.00	6.20	2.00	146.00 黒色頁岩	中粒緑岩	短冊形石片。
S180	Dk-45G	甕	黒形石	ほぼ完整	12.60	6.70	4.10	565.00 石炭四緑岩	—	2面使用。
S181	Dk-45G	甕	黒形石	完整	10.90	8.50	4.90	675.00 石炭四緑岩	—	2面使用。
S182	Dk-45G	甕	黒形石	完整	10.10	7.40	4.30	476.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。凹石としても使用。
S183	Dk-45G	甕	黒形石	完整	10.40	7.40	5.10	580.00 粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面を磨石。1面を凹石として使用。
S184	Dk-46G	甕	黒形石	完整	17.90	6.80	2.10	330.00 粗粒輝石安山岩	粗粒輝石	短冊形石片。一部表面残存。
S185	Dk-38G	甕	黒形石	一部欠損	11.90	6.55	2.45	215.00 黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。一部表面残存。
S186	Dk-41G	甕	黒形石	完整	9.65	4.75	1.10	80.00 黒色頁岩	粗粒輝石	短冊形石片。
S187	Dk-42G	甕	黒形石	完整	3.40	2.70	1.50	22.24 粗粒輝石	—	切り石。一端に切込み有。

番号	出土位置	階位	遺構	残存状態	計測値 (cm)		重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅		A	B	
S188	Do-43G	甕原石礎	一部欠損	1.40	1.20	0.30	0.31	黒曜石	黒曜岩	正三角形無基盤。凹基。
S189	Do-43G	甕原石礎	一部欠損	1.90	1.22	0.23	0.49	黒曜石	—	二等辺三角形無基盤。平基。
S190	Do-43G	甕原石礎	尖頭部欠損	2.20	1.40	0.30	0.73	黒色頁岩	無垢品質安山岩	二等辺三角形無基盤。凹基。
S191	Do-44G	甕原石礎	尖頭部欠損	16.20	9.10	6.30	295.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面に敲打痕有。
S192	Dp-49G	甕原石礎	尖頭部欠損	2.20	2.50	0.40	1.83	黒曜石	黒曜岩	正三角形無基盤。凹基。
S193	Dp-42G	甕原石礎	一部欠損	1.30	1.00	0.25	0.26	黒曜石	—	二等辺三角形無基盤。凹基。
S194	Dp-42G	甕原石礎	完整	11.30	8.40	5.00	579.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S195	Dp-42G	甕原石礎	完整	1.90	1.60	0.40	0.71	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無基盤。凹基。
S196	Dp-43G	甕原石礎	完整	9.30	6.00	1.35	83.00	黒色頁岩	粗粒輝石	楕形石片。
S197	Dp-43G	甕原石礎	ほぼ完整	13.40	8.50	5.20	650.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S198	Dp-44G	甕原石礎	一部欠損	1.40	1.30	0.30	0.34	黒曜石	黒曜岩	正三角形無基盤。凹基。
S199	Dp-44G	甕原石礎	一部欠損	2.70	1.60	0.35	0.87	珪質頁岩	チャート	二等辺三角形有基盤。凸基。
S200	Dp-44G	甕原石礎	一部欠損	3.00	1.45	0.50	2.29	黒色安山岩	無垢品質安山岩	縦長石礎。左右非対称型。
S201	Dp-44G	甕原石礎	完整	13.80	5.50	2.70	250.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	短冊形石片。一部表面残存。
S202	Dp-44G	甕原石礎	完整	8.50	9.50	3.80	361.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S203	Dp-44G	甕原石礎	完整	10.40	8.00	4.10	474.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S204	Dp-44G	甕原石礎	完整	11.10	9.30	4.50	695.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S205	Dp-44G	甕原石礎	完整	9.00	9.00	5.00	630.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S206	Dp-44G	甕原石礎	完整	15.00	8.50	4.50	795.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。1面を凹石として使用。
S207	Dp-44G	甕原石礎	完整	17.00	13.70	8.50	1,130.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面に敲打痕有。
S208	Dp-44G	甕原石礎	完整	4.70	1.70	1.30	7.37	黒曜石	黒曜岩	一部表面残存。
S209	Dp-41G	甕原石礎	完整	9.25	5.10	1.60	76.00	粗粒輝石安山岩	黒炭岩	短冊形石片。一部表面残存。
S210	Dp-44G	甕原石礎	一部欠損	12.50	7.50	4.50	690.00	閃緑岩	—	2面に敲打痕有。
S211	Dp-44G	甕原石礎	完整	12.40	7.40	3.30	466.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S212	Dp-44G	甕原石礎	一部欠損	12.30	5.90	4.90	422.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。1面に敲打痕有。
S213	Dp-45G	甕原石礎	一部欠損	119.00	18.70	5.30	1,140.00	変質安山岩	輝石安山岩	3面使用。
S214	Dp-45G	甕原石礎	破片	113.00	13.40	6.80	1,230.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。
S215	Dp-46G	甕原石礎	一部欠損	2.20	2.10	0.30	0.97	黒曜石	黒曜岩	正三角形無基盤。凹基。
S216	Dp-46G	甕原石礎	一部欠損	7.90	5.50	1.10	57.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。一部表面残存。
S217	Dp-42G	甕原石礎	完整	11.00	7.80	5.30	730.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	全面積として使用。一部敲打痕有。
S218	Dp-42G	甕原石礎	完整	12.80	8.20	5.00	805.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S219	Dp-42G	甕原石礎	完整	10.00	8.90	4.50	437.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S220	Dp-46G	甕原石礎	ほぼ完整	4.00	1.25	0.60	2.49	チャート	チャート	尖頭型。
S221	Dp-46G	甕原石礎	完整	12.00	9.00	5.40	840.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S222	Dp-41G	甕原石礎	完整	12.70	9.30	2.60	315.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S223	Dp-44G	甕原石礎	完整	12.70	7.00	4.40	328.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。一部表面残存。
S224	Dp-45G	甕原石礎	完整	1.70	1.50	0.40	0.61	黒曜石	黒曜岩	正三角形無基盤。凹基。
S225	Dp-39G	甕原石礎	尖頭部欠損	2.70	2.00	0.55	2.56	黒色頁岩	粗粒輝石	二等辺三角形無基盤。凹基。
S226	Dp-39G	甕原石礎	完整	15.50	6.40	6.10	840.00	流紋岩	—	3面使用。
S227	Dp-40G	甕原石礎	下部部欠損	4.70	2.10	0.70	5.05	黒色頁岩	粗粒輝石	二等辺三角形有基盤。凸基。基部接着痕有。
S228	Dp-43G	甕原石礎	完整	11.50	8.20	2.25	190.00	黒色頁岩	頁岩	分剝形石片。一部表面残存。
S229	Dp-44G	甕原石礎	完整	9.90	5.60	1.90	104.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。一部表面残存。
S230	Dp-44G	甕原石礎	完整	16.60	7.30	3.15	410.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	短冊形石片。一部表面残存。
S231	Dp-45G	甕原石礎	完整	9.00	4.80	1.50	74.00	黒色頁岩	粗粒輝石	短冊形石片。一部表面残存。
S232	Dp-45G	甕原石礎	完整	10.20	5.00	2.10	126.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。一部表面残存。
S233	Dp-45G	甕原石礎	完整	15.30	10.50	3.80	785.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S234	Dp-48G	甕原石礎	完整	23.50	4.55	1.25	65.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。
S235	Do-40G	甕原石礎	完整	1.51	1.30	0.23	0.30	黒曜石	黒曜岩	正三角形無基盤。凹基。
S236	Do-41G	甕原石礎	完整	14.05	5.85	2.10	192.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。
S237	Do-43G	甕原石礎	完整	15.10	7.35	3.35	332.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。一部表面残存。
S238	Dp-45G	一 多孔石	完整	24.80	15.20	10.90	4,800.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S239	Dp-46G	甕原石礎	一部欠損	2.20	1.70	0.40	0.99	黒曜石	黒曜岩	正三角形無基盤。平基。
S240	Dp-50G	甕原石礎	完整	6.70	5.50	3.30	220.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面に敲打痕有。
S241	Dp-50G	甕原石礎	一部欠損	9.65	4.65	1.85	220.00	黒色頁岩	—	短冊形石片。
S242	Dp-39G	甕原石礎	完整	11.20	3.10	2.10	144.00	珪質頁岩	粗粒輝石	3面使用。
S243	Dp-39G	甕原石礎	完整	13.55	6.50	4.20	317.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S244	Dp-42G	甕原石礎	一部欠損	1.80	1.50	0.30	0.48	黒曜石	黒曜岩	正三角形無基盤。凹基。
S245	Dp-44G	甕原石礎	一部欠損	11.00	7.00	3.10	246.00	黒色頁岩	頁岩	楕形石片。
S246	Dp-44G	甕原石礎	ほぼ完整	10.00	8.20	4.30	482.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S247	Dp-44G	甕原石礎	破片	13.00	16.60	3.90	1,100.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。
S248	Dp-48G	甕原石礎	完整	16.90	6.20	4.05	474.00	黒色頁岩	—	一部表面残存。
S249	Dp-49G	甕原石礎	完整	2.00	1.20	0.30	0.38	チャート	チャート	二等辺三角形無基盤。凹基。
S250	Dp-49G	甕原石礎	完整	2.10	1.60	0.20	0.95	黒色頁岩	無垢品質安山岩	正三角形無基盤。凹基。
S251	Dp-49G	甕原石礎	完整	3.86	3.33	1.80	22.15	黒曜石	黒曜岩	一部表面残存。
S252	Dp-50G	甕原石礎	完整	9.20	7.40	5.00	505.00	石英閃緑岩	—	2面使用。
S253	Dp-51G	甕原石礎	1/2	4.20	3.90	1.00	24.00	珪石珪緑岩	その他(熱水)	直径約3mmの1ヶ所有。
S254	Dp-49G	甕原石礎	完整	9.30	4.20	1.20	69.00	黒色頁岩	粗粒輝石	短冊形石片。一部表面残存。
S255	Dp-43G	甕原石礎	一部欠損	11.20	5.60	1.60	144.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	短冊形石片。一部表面残存。
S256	Dp-43G	甕原石礎	一部欠損	7.60	4.20	1.20	48.00	黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。一部表面残存。
S257	Dp-44G	甕原石礎	尖頭部欠損	2.00	2.00	0.50	1.50	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無基盤。凹基。
S258	Dp-48G	甕原石礎	1/2	23.30	23.70	11.90	450.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S259	Dp-44G	甕原石礎	完整	11.60	6.70	4.30	402.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S260	Dp-38G	一 石礎	完整	3.13	2.55	1.21	9.35	黒曜石	黒曜岩	一部表面残存。
S261	Dp-39G	甕原石礎	一部欠損	9.30	4.60	1.50	72.00	黒色頁岩	粗粒輝石	短冊形石片。
S262	Dp-39G	甕原石礎	完整	12.10	4.60	1.80	157.00	ホルンフェルス	黒炭岩片	短冊形石片。

第6章 IV区の調査

番号	出土位置	単位	器種	残存状態	計測値 (cm)		重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅 厚さ		A	B	
S263	Dy-39G	甕	石椀	完整	6.10	7.50	2.15	126.60	黒色頁岩	一部表面残存。
S264	Dy-39G	甕	打製石斧	一部欠損	18.70	9.20	4.00	1,200.00	燧石	2面使用。
S265	Dy-40G	甕	石椀	一部欠損	1.40	1.40	0.30	0.45	黒曜石	正三角形無蓋。凹基。
S266	Dy-42G	甕	打製石斧	1/2	9.20	8.40	2.50	185.00	黒色頁岩	楕形石斧。一部表面残存。
S267	Dy-45G	甕	石椀	完整	9.80	6.90	4.60	377.00	黒色頁岩	一部表面残存。
S268	Dy-50G	甕	打製石斧	完整	13.65	5.50	1.70	167.00	黒色頁岩	— 知母形石斧。一部表面残存。
S269	Ea-39G	甕	石椀	完整	2.20	2.20	0.90	2.50	黒曜石	2面使用。
S270	Ea-39G	甕	打製石斧	完整	8.40	4.45	1.80	62.00	黒色頁岩	知母形石斧。
S271	Ea-40G	甕	打製石斧	1/2	9.40	6.80	2.10	161.00	黒色頁岩	知母形石斧。
S272	Ea-40G	甕	石椀	完整	11.80	6.80	4.70	565.00	粗粒輝石安山岩	礫石安山岩 3面使用。
S273	Ea-41G	甕	打製石斧	完整	10.10	4.10	1.35	71.00	黒色頁岩	知母形石斧。一部表面残存。
S274	Ea-41G	甕	多孔石	完整	25.20	29.80	10.80	9,000.00	粗粒輝石安山岩	— 1面使用。
S275	Ea-41G	甕	粗石	破片	(4.50)	(4.00)	1.30	27.00	牛伏砂岩	— 磨り切り風有。
S276	Ea-42G	甕	石椀	上部欠損	(2.00)	1.75	0.30	0.99	珪質頁岩	チャート 二等辺三角形無蓋。凹基。
S277	Ea-42G	甕	打製石斧	完整	8.50	4.40	0.60	28.00	黒色頁岩	知母形石斧。磨面の可能性有。
S278	Ea-42G	甕	石椀	完整	9.10	6.40	3.20	382.00	粗粒輝石安山岩	礫石安山岩 2面使用。
S279	Ea-42G	甕	石椀	完整	11.20	8.00	3.80	565.00	粗粒輝石安山岩	礫石安山岩 2面使用。
S280	Ea-43G	甕	打製石斧	完整	9.30	4.50	1.40	68.50	黒色頁岩	頁岩 知母形石斧。
S281	Ea-43G	甕	石椀	完整	10.10	7.60	4.80	505.00	粗粒輝石安山岩	礫石安山岩 2面使用。
S282	Ea-43G	甕	石椀	完整	8.90	6.90	4.00	402.00	石英閃緑岩	— 2面使用。
S283	Ea-44G	甕	打製石斧	完整	8.10	4.00	1.10	40.00	黒色頁岩	頁岩 知母形石斧。一部表面残存。
S284	Ea-44G	甕	打製石斧	完整	8.20	5.30	1.30	52.00	黒色頁岩	頁岩 楕形石斧。一部表面残存。
S285	Ea-47G	甕	打製石斧	完整	11.15	4.25	1.80	123.00	粗粒輝石安山岩	— 知母形石斧。一部表面残存。
S286	Ea-47G	甕	打製石斧	一部欠損	11.20	6.00	1.90	165.00	黒色頁岩	— 分刺石斧。一部表面残存。
S287	Ea-50G	甕	石椀	下部欠損	(1.20)	(1.10)	0.20	0.22	黒曜石	無蓋 正三角形無蓋。凹基。
S288	Ea-50G	甕	磨石	一部欠損	4.64	2.22	1.00	7.16	黒曜石	無蓋 2辺に刃磨有。
S289	Ea-51G	甕	打製石斧	完整	10.25	4.85	1.70	80.00	黒色頁岩	— 知母形石斧。一部表面残存。
S290	Eb-40G	甕	打製石斧	完整	10.10	4.20	1.20	62.00	黒色頁岩	頁岩 知母形石斧。一部表面残存。
S291	Eb-40G	甕	石椀	完整	9.10	7.10	4.40	406.00	粗粒輝石安山岩	礫石安山岩 2面使用。
S292	Eb-41G	甕	打製石斧	完整	10.50	4.50	1.90	121.00	粗粒輝石安山岩	礫石安山岩 知母形石斧。一部表面残存。
S293	Eb-49G	甕	打製石斧	一部欠損	10.90	4.75	1.45	46.00	黒色頁岩	— 知母形石斧。一部表面残存。
S294	Eb-50G	甕	磨石	完整	12.80	10.00	4.40	825.00	変質安山岩	1面磨石。2面凹石としても使用。
S295	Ec-39G	甕	石椀	一部欠損	2.20	1.70	0.30	0.82	黒曜石	— 二等辺三角形無蓋。凹基。
S296	Ec-39G	甕	打製石斧	完整	10.20	6.00	1.10	84.00	黒色頁岩	頁岩(化石入り) 知母形石斧。
S297	Ec-40G	甕	石椀	完整	2.90	2.25	0.60	2.30	黒色安山岩	頁岩 二等辺三角形無蓋。平基。
S298	Ec-43G	甕	打製石斧	完整	10.80	4.60	1.20	99.00	黒色頁岩	頁岩 知母形石斧。一部表面残存。
S299	Ec-50G	甕	打製石斧	一部欠損	9.50	4.30	1.40	62.00	黒色頁岩	— 知母形石斧。一部表面残存。
S300	Ed-39G	甕	粗石	破片	(3.40)	(6.30)	1.45	39.00	牛伏砂岩	— 2面使用。
S301	Ed-40G	甕	磨石	完整	17.10	7.60	3.70	740.00	凝灰質砂岩	粗粒砂岩 2面使用。
S302	Ed-41G	甕	打製石斧	ほぼ完整	11.60	7.40	4.05	535.00	粗粒輝石安山岩	礫石安山岩 全面使用。2面を凹石としても使用。
S303	Ed-41G	甕	多孔石	完整	20.80	19.40	10.00	9,600.00	粗粒輝石安山岩	礫石安山岩 2面使用。
S304	Ed-50G	甕	石椀	完整	1.90	1.60	0.30	0.72	チャート	チャート 正三角形無蓋。凹基。
S305	Ee-39G	甕	打製石斧	完整	9.70	5.50	1.40	84.00	黒色頁岩	頁岩 知母形石斧。一部表面残存。
S306	Ee-39G	甕	磨石	一部欠損	9.30	3.70	2.00	110.00	黒色頁岩	砂岩 1面使用。
S307	Ee-42G	甕	石椀	一部欠損	1.70	1.20	0.40	0.62	珪質変質岩	或成岩 二等辺三角形無蓋。凹基。
S308	Ee-47G	甕	石椀	完整	8.25	11.20	7.10	716.00	黒色安山岩	— 一部表面残存。
S309	Ee-48G	甕	打製石斧	完整	9.00	4.50	1.40	62.00	黒色頁岩	— 知母形石斧。
S310	Ee-49G	甕	打製石斧	一部欠損	10.20	6.90	1.50	110.00	黒色頁岩	粗粒凝灰岩 楕形石斧。一部表面残存。
S311	Ee-42G	甕	石椀	完整	9.60	7.20	3.60	309.00	粗粒輝石安山岩	2面使用。凹石としても使用。
S312	Ee-45G	甕	打製石斧	一部欠損	8.50	4.30	1.40	68.00	粗粒輝石安山岩	知母形石斧。
S313	Ee-48G	甕	石椀	完整	1.50	1.40	0.32	0.68	黒曜石	無蓋 正三角形無蓋。凹基。
S314	Ee-48G	甕	鍬状貝割	1/4	(3.18)	(1.80)	0.53	5.04	凝灰岩	— 直径約2mmの孔1ヶ所有。
S315	Ee-46G	甕	石椀	完整	25.20	17.10	8.90	4,950.00	変質玄武岩	変質凝灰岩 自然磨石を成形に利用。
S316	Ee-46G	甕	石椀	1/2	(28.40)	(37.60)	9.60	1,195.00	粗粒輝石安山岩	礫石安山岩 縁有。
S317	Ee-46G	甕	石椀	一部欠損	45.00	37.00	13.00	34,440.00	変質安山岩	変質珪石 石石とした石。
S318	Ee-47G	甕	打製石斧	完整	8.60	4.40	1.00	70.00	黒色頁岩	— 知母形石斧。一部表面残存。
S319	IVB区	—	石椀	完整	2.10	1.70	0.20	1.17	チャート	チャート 二等辺三角形無蓋。平基。
S320	IVB区	—	石椀	一部欠損	2.40	1.60	0.60	1.50	黒曜石	無蓋 二等辺三角形無蓋。平基。
S321	IVB区	—	石椀	一部欠損	1.90	(1.80)	0.30	0.76	黒曜石	無蓋 正三角形無蓋。凹基。
S322	グリップ柄	—	石椀	一部欠損	4.70	2.60	0.70	5.68	チャート	— 楕形石椀。
S323	グリップ柄	—	打製石斧	完整	9.40	5.50	1.10	62.00	黒色頁岩	粗粒凝灰岩 知母形石斧。一部表面残存。
S324	表土	—	多孔石	完整	19.20	17.10	7.70	2,610.00	粗粒輝石安山岩	礫石安山岩 2面使用。
S325	1掘3土坑	—	石椀	另部欠損	(7.10)	4.00	1.10	35.00	珪質頁岩	— 另部破損。

## 第7章 V区の調査

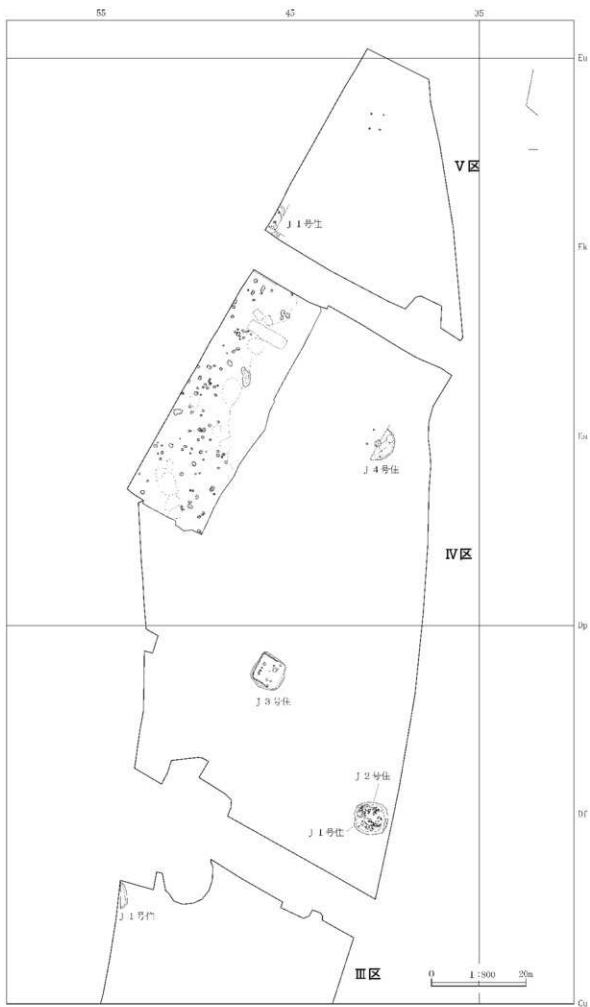
V区の総面積は、2,545.1㎡である。V区からは、弥生時代終末期～古墳時代初頭の住居が5軒検出されたため、縄文面の調査はグリッドではなく、ほぼ全面に下げて調査を行った。V区の縄文面では、遺構として住居1軒・掘立柱建物1棟・集石2基・土坑7基が検出された。旧石器時代の遺構は検出されず、遺物は出土しなかった。

遺構外の掲載遺物は、土器が48のグリッドから237点、石器が66のグリッドから266点の合計503点を掲載した。また、すでに「白井北中道Ⅲ遺跡(1)：弥生時代以降編」で掲載した弥生時代終末期～古墳時代初頭の住居出土石器49点も比較検討のために再掲載した。これらの石器は、住居構築の際に下の面の縄文面の石器が掘り出されたものと推定される。土器の内訳は、諸磯a式・諸磯b式・諸磯c式等諸磯式が146点、大木式が21点、十三菩提式が12点、下島式9点等で諸磯式が多い。同様に器種は、深鉢115点・有孔浅鉢6点・浅鉢5点・耳飾り4点・ミニチュア土器3点・土製円盤2点・土偶1点・土製品1点で深鉢が多い。石器の内訳は、打製石斧76点・石鏃47点・磨石32点・石匙22点・石皿16点・石錐15点・石核10点・凹石9点・磨製石斧4点等で打製石斧と石鏃が多い。土器及び石器は、調査区の全面から出土している。



第7章写真1 V区J1(4)号住居全景〔南→〕





第7章第1图 III・IV・V区縄文面 住居位置图

## 第1節 V区遺構

V区では、縄文時代前期住居1軒・掘立柱建物1棟・集石2基・土坑7基が検出された。

### 1. 住居

住居は、調査区の南西部から縄文時代前期のV区J1号住が1軒検出された。しかしながら、住居主体部は調査区外であり、一部しか検出されておらず、全容は不明である。

#### (1) V区J1(4)号住居

位置：Ek-45・46G、Ei-45・46G

時期：縄文時代前期に比定される。

重複：重複は、認められなかった。

形状：一部しか、検出されていないため、正確な形状は不明である。

規模：住居の規模は、現状で、北東～南西約6m・北西～南東約3mである。

面積：住居床面の面積は、約18.18㎡である。

覆土：覆土は、8層に分かれる。遺物は、1層に多く含まれている。

床面：床面は、比較的平坦である。

炉：炉は、検出されなかった。しかしながら、焼土がP8近辺でまとまって検出されている。

埋設土器：埋設土器は、検出されなかった。

柱穴：柱穴は、P1～P8まで8基検出されたが、明瞭な柱穴は、この内、P1・P2・P6の3基である。

周溝：周溝は、検出されなかった。

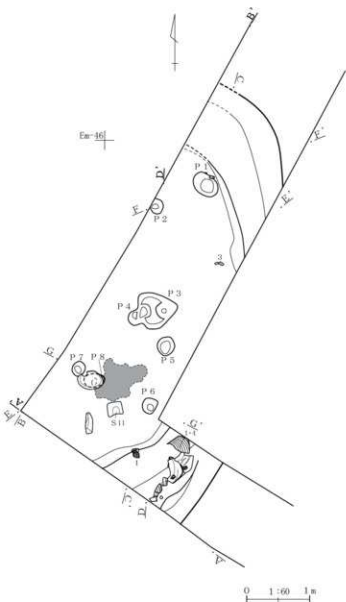
遺物：遺物は、土器及び石器が出土した。

(土器) 土器は、25点出土した。完形品は無かったが、Na1～Na3の諸磯b式土器の深鉢は、比較的保存状態が良い。内訳は、諸磯b式深鉢14点・諸磯c式深鉢4点・下島式深鉢1点・大木5式深鉢1点・諸磯b式有孔浅鉢4点・諸磯b式皿形土器1点である。

(石器) 石器は、11点出土した。内訳は、石匙4点・尖頭器1点・打製石斧2点・砥石1点・磨石1点・石皿2点である。

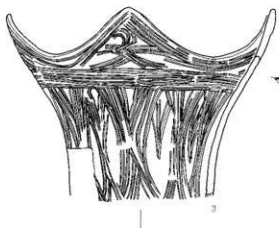
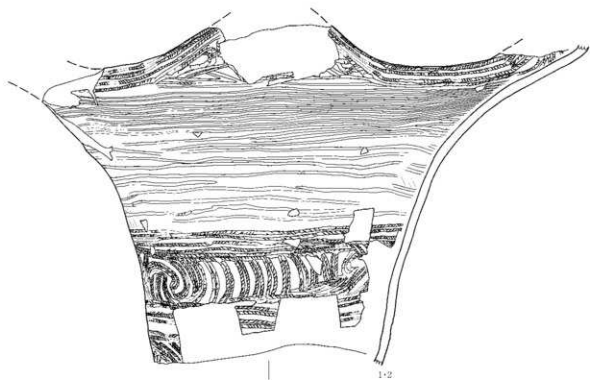


第7章写真2 V区J1(4)号住居全景【南→】



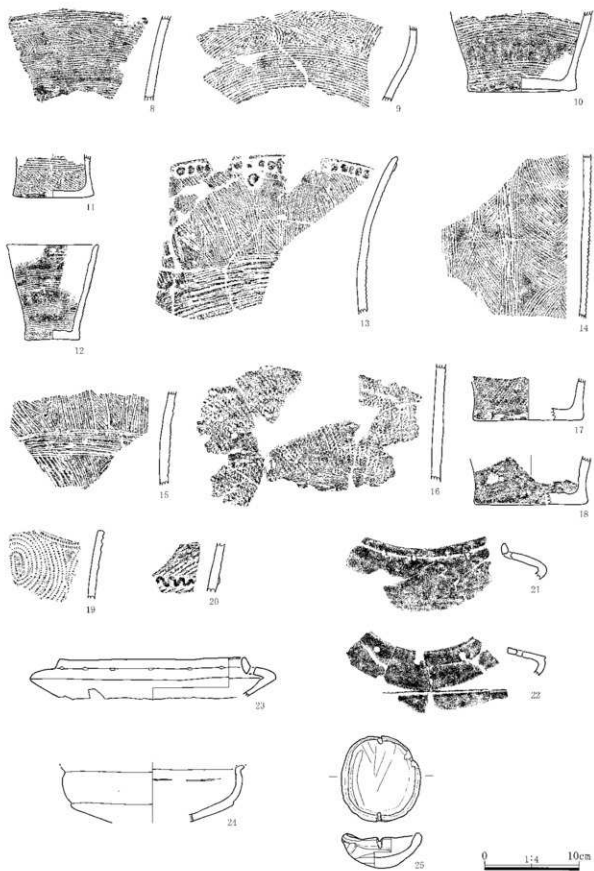
第7章第2図 V区J1(4)号住居





第7章第4回 V区J1(4)号住居出土縄文土器1

第7章 V区の調査

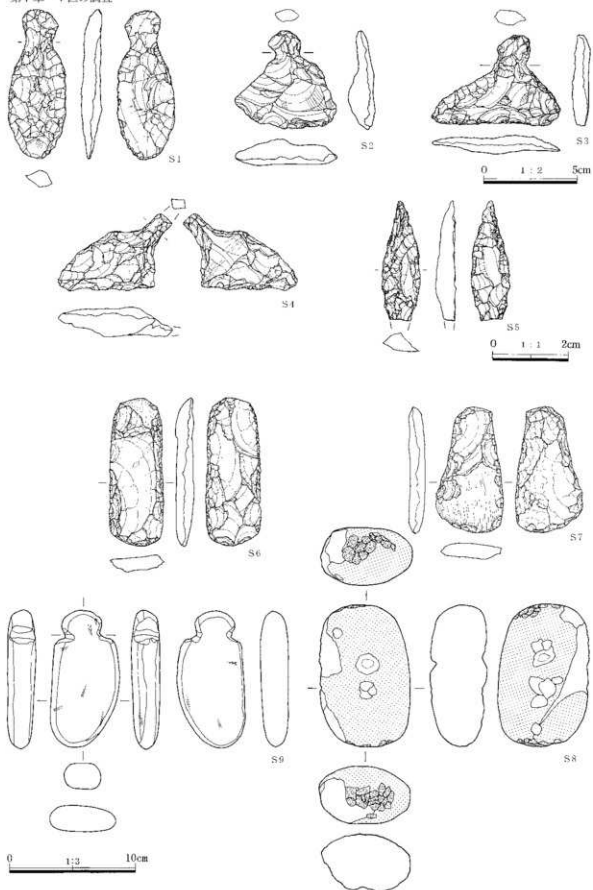


第7章第5図 V区J1(4)号住居出土縄文土器2)

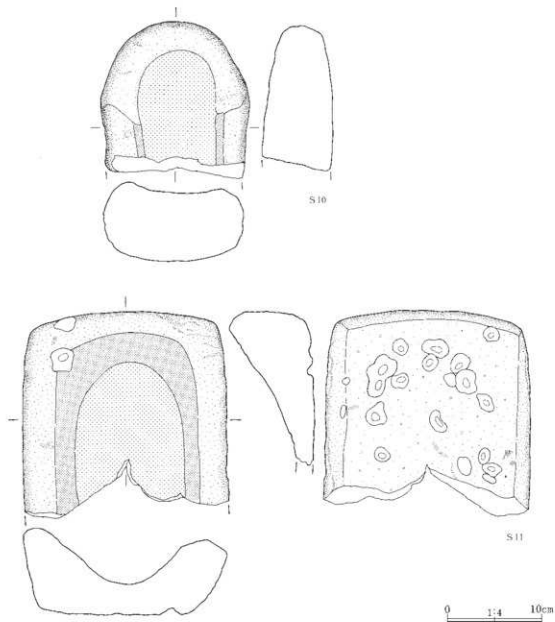
第7章表1 V区J1(4)号住居出土縄文土器観察表(第7章第4・5図、PL.104・105)

番号	出土位置	器種	残存状態	地成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P1	No.5 埋没土	深鉢	口縁→胴部	良	淡黄	2.5YR4/4	φ1~2mmの小石、 白色粒	諸磯b式(新)	偏平な浮線により狭い間隔の横線区画。口縁部は弧線文。胴部風車状渦巻文。くつ先状口縁。2と同一器体。縄文原形Lr。
P2	No.5・6 埋没土	深鉢	口縁→胴部	良	淡黄	2.5YR4/4	φ1~2mmの小石、 白色粒	諸磯b式(新)	1と同一器体。
P3	埋没土	深鉢	口縁→胴部 口・(08.4) 高・19.6残	良	にぶい橙	7.5YR7/4	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯c式(古)	集合沈線による口縁部縦線区画。口縁部文様帯3mmの平行沈線による弧線文。対弧文。胴部縦線区画し、対弧文。
P4	No.6 埋没土	深鉢	口縁	良	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1~2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(新)	波状口縁頂部の突起が外側に湾曲する。胴縁部にも突起。偏平な浮線による風車状渦巻文。弧線文。浮線には矢羽根状の筋み。くつ先状口縁。
P5	埋没土	深鉢	口縁	普通	明赤褐	2.5YR5/6	φ1mmの小石	諸磯b式(新)	波状口縁頂部の突起が外側に湾曲する。偏平な浮線による風車状渦巻文。弧線文。浮線には矢羽根状の筋み。くつ先状口縁。
P6	埋没土	深鉢	口縁破片	良	灰褐	5 YR4/2	φ1~2mmの小石、 白色粒	諸磯b式(新)	市1mmの平行沈線による文様区画。口縁上部に三角文。下部に曲線文。
P7	埋没土	深鉢	口縁	普通	にぶい赤褐	5 YR4/4	細粒	諸磯b式(新)	小波状口縁頂部が内湾し切り込みが入る。市4mmの平行沈線を集合化させ横線文。
P8	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5 YR4/3	φ1~3mmの小石	諸磯b式(新)	市4mmの平行沈線を集合化させ市状の横線区画を作る。区画内に弧線文。矢羽根文。
P9	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5 YR5/4	φ1~3mmの小石	諸磯b式(新)	市3mmの平行沈線を集合化させ市状の横線区画を作る。区画内に弧線文。弧線文。縄文原形Lr。
P10	埋没土	深鉢	底部	普通	にぶい赤褐	5 YR4/4	φ1mmの小石、白 色粒	諸磯b式(新)	市2mmの平行沈線を集合化させ横線区画する。内面スス付着。
P11	埋没土	深鉢	底部	良	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1mmの小石	諸磯b式(新)	市2mmの平行沈線を集合化させ横線区画する。内面スス付着。
P12	埋没土	深鉢	底部	良	にぶい赤褐	2.5YR4/3	砂粒	諸磯b式(新)	市2mmの平行沈線を集合化させ横線の区画を作る。
P13	埋没土	深鉢	口縁	良	明赤褐	5 YR5/6	砂粒	諸磯c式(古)	口縁上部にφ7mmのボタン状付付文列。口縁にφ10mmのボタン状付付。集合沈線による縦線区画。口縁部には対弧文、斜線文。
P14	埋没土	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5 YR5/6	砂粒	諸磯c式(古)	集合沈線による縦線区画。矢羽根文。
P15	埋没土	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5 YR5/6	砂粒	諸磯c式(古)	集合沈線で胴部縦線区画。縦線区画、斜線文、弧線文。
P16	埋没土	深鉢	胴部	良	にぶい赤褐	5 YR5/4	細かい砂粒、軽石 粒	諸磯b式(新)	附加糸1縷縄文施文。縄文原形Lr。
P17	埋没土	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	細かい砂粒	諸磯b式(新)	縄文原形Lr。
P18	埋没土	深鉢	底部破片	不良	明赤褐	5 YR5/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(新)	無文。内面スス付着。
P19	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5 YR5/4	砂粒、軽石粒	下島式	地文横線の沈線。結節沈線による渦巻文。
P20	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	橙	5 YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	細かい粘土粒による山形文。縄文原形Lr。
P21	埋没土	有孔浅鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(新)	φ4mmの孔列が口縁に施る。
P22	埋没土	有孔浅鉢	破片	良	赤褐	2.5YR4/6	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯b式(新)	φ5~6mmの孔列が口縁に施る。
P23	埋没土	有孔浅鉢	口縁 口・(19.6)	良	赤褐	2.5YR4/6	φ1mmの小石、軽 石粒	諸磯b式(新)	φ7mmの孔列が口縁に施る。
P24	埋没土	有孔浅鉢	底部	普通	橙	5 YR6/6	砂粒	諸磯b式(新)	無文。
P25	埋没土	皿形土器	完形 口・8.4~ 9.0 高・3.7	普通	褐	7.5YR4/3	細かい砂粒	諸磯b式	手捏による皿形土器。指面痕が残る。楕円形で長軸方向の両端に筋み。

第7章 V区の調査



第7章第6図 V区J1(4)号住居出土縄文石器1)



第7章第7図 V区J1(4)号住居出土縄文石器②

第7章表2 V区J1(4)号住居出土縄文石器観察表 (第7章第6・7図, PL.106)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S 1	No45	石器	完形	3.90	1.60	0.56	3.20	赤碧玉	鉄石夾(赤玉石)	縦型石器。左右対称。
S 2	埋没土	石器	完形	5.25	5.10	1.30	26.55	黒色頁岩	—	横型石器。左右非対称。
S 3	埋没土	石器	完形	4.70	6.60	0.90	21.33	チャート	—	横型石器。左右非対称。
S 4	No93	石器	完形	2.70	2.10	0.70	3.70	黒色安山岩	頁岩	横型石器。左右非対称。
S 5	No50	尖頭部	基部欠損	13.20	1.00	0.53	1.30	黒曜石	黒曜岩	柳葉型鏃。
S 6	埋没土	打製石斧	一部欠損	11.60	4.30	1.40	86.30	黒色頁岩	粗粒凝灰岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 7	埋没土	打製石斧	完形	9.80	5.30	1.20	83.10	細粒輝石安山岩	輝石安山岩	短冊形石斧。一部表面残存。
S 8	埋没土	磨石	一部欠損	11.20	7.30	4.60	330.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面を凹石として使用。2面に敲打痕。
S 9	埋没土	砥石	完形	10.80	5.30	2.20	144.00	凝灰質砂岩	中粒凝灰岩	条痕有。
S 10	埋没土	石皿	1/2	(15.30)	14.90	8.40	2,350.00	溶結凝灰岩	アイサイト	縁有。
S 11	No 4	石皿	1/2	(21.80)	21.60	9.20	4,250.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面を石皿。1面を凹石として使用。



2. 掘立柱建物

V区縄文面から、掘立柱建物が1棟検出された。本J1号掘立柱建物は、調査区中央部に位置する。

(1) V区J1号掘立柱建物

**規模**：1間×1間である。柱穴の中心から計測して、桁行（長軸）約3.2m・梁行（短軸）約2.2m～2.6mである。

**柱 穴**：柱穴は、全部で4基検出された。柱穴の大きさは、直径約25cm～35cm・深さ約15cm～40cmである。しかしながら、検出状況から、P1の約40cmが通常であると推定される。

**土 層**：土層は、4基ともに1層である。

**遺 物**：遺物は、検出されなかった。

**時 期**：時期を推定できる遺物は検出されなかった。

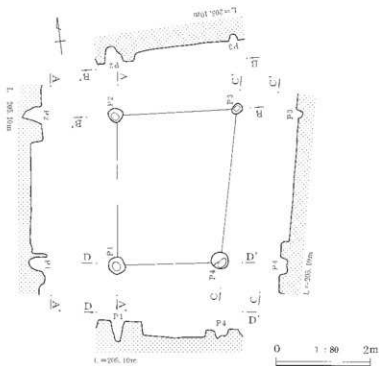
**重 複**：重複は、認められなかった。



第7章写真3 V区J1号掘立柱建物全景〔南→〕

第7章表3 V区J1号掘立柱建物ピットまとめ

番号	形状	規 模		土層
		直径	深さ	
P 1	円形	35cm	40cm	1層
P 2	不整円形	30cm	40cm	1層
P 3	不整円形	20～25cm	(15cm)	1層
P 4	円形	35cm	(20cm)	1層



第7章第8図 V区J1号掘立柱建物

## 3. 集石

V区から、1号集石・2号集石の2基の集石遺構が検出された。

## (1) V区J1号集石

位置：Em-40Gに位置する。

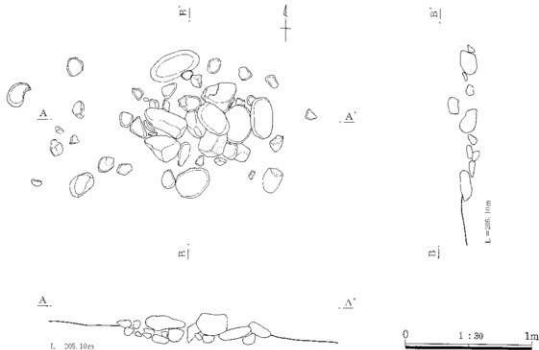
規模：主体部は、東西約1.2m・南北約1.15mの

規模である。

遺物：土器と石器が出土した。

(土器) 諸磯b式土器の深鉢1点・十三菩提式土器の深鉢1点が出土している。

(石器) 石鎌1点・磨石1点・多孔石1点が出土している。



第7章第9図 V区J1号集石



第7章写真4 V区J1号集石全景【西→】



第7章写真5 V区J1号集石全景【東→】

第7章表4 V区J1号集石出土縄文土器観察表(第7章第10図、PL.107)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成		胎土	分類	文様
				色	温度			
P1	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	紅・黄橙	10YR7/4	細か・砂粒	諸磯b式(中2)
P2	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	砂粒、黄色粒	十三菩提式

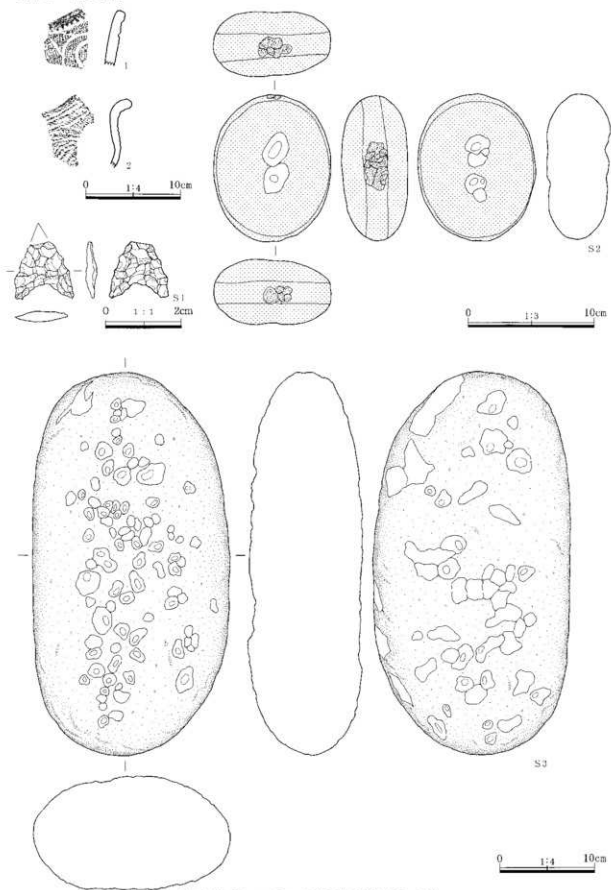
注記による溝巻文。浮線には、矢羽根状の刻み、縄文部体刻。

口縁に三角刻みによる副面文。沈線による弧線文。目取部縦線文。

第7章表5 V区J1号集石出土縄文石器観察表(第7章第10図、PL.107)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石		特徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	No.3	石鎌	先端欠損	11.50	1.60	0.30	0.47	珪質頁岩	輝石安山岩	無基線。凹溝。
S2	埋没土	磨石	完整	11.60	9.20	5.20	770.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面を両石としても使用。3面に縦行痕石。
S3	埋没土	多孔石	一部欠損	40.30	20.90	12.00	14,500.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。

第7章 V区の調査



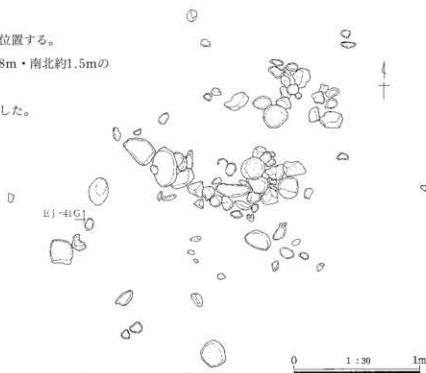
第7章第10図 V区J1号集石出土縄文土器・石器

## (2) V区J2号集石

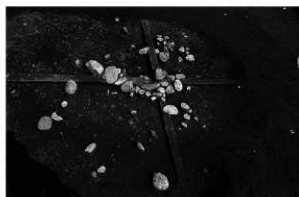
位置：Ei-40G・Ej-40Gに位置する。

規模：主体部は、東西約1.8m・南北約1.5mの規模である。

遺物：打製石片1点が出土した。



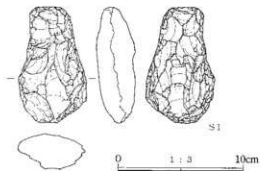
第7章第11図 V区J2号集石



第7章写真6 V区J2号集石全景 [南→]



第7章写真7 V区J2号集石近接 [南→]



第7章第12図 V区J2号集石出土縄文石器



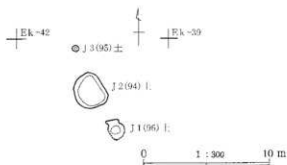
第7章写真8 V区J2号集石全景 [東→]

第7章表6 V区J2号集石出土縄文石器観察表 (第7章第12図、PL.108)

番号	出土位置	器種	残存状態	打製部 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	埋没土	打製石片	完形	9.20	5.30	2.10	150.50	黒色頁岩	砂岩	楕形石片。

4. 土坑

V区縄文面から、土坑が7基検出された。これらの内、V区J1号・J2号・J5号土坑の3基の土坑から遺物が出土した。



第7章第13図 V区J1号～J3号土坑位置図

(1) V区J1(96)号土坑

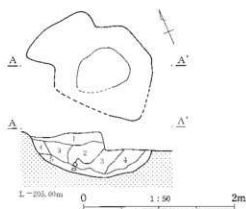
位置：Ei-40G・Ej-41Gから検出された。

形状：不整形土坑

規模：長軸約1.7m・短軸約1.2m・深さ約60cm

土層：土層は、5層に分かれる。

遺物：遺物は、縄文時代前期の諸磯c式の深鉢口縁部1点及び同底部1点が出土した。



V区J1(96)号土坑

1. 黒褐色土 粘性弱い、しまりやや弱い、粒粒(φ1mm以下)を微量・白色粒(φ1mm未満)を微量含む。
2. 黒褐色土 粘性弱い、しまりやや弱い、粒粒(φ1mm以下)を微量・白色粒(φ1mm未満)を微量・炭化物(φ2mm以下)を微量含む。
3. 黒色土 粘性強い、しまりやや弱い、粒粒(φ1mm以下)を微量・白色粒(φ1mm未満)を微量含む。
4. 黒褐色土 粘性弱い、しまりやや弱い、粒粒(φ1mm以下)を微量・白色粒(φ1mm未満)を微量含む。
5. 黒褐色土 粘性弱い、しまりやや弱い、粒粒(φ1mm以下)を微量・白色粒(φ1mm未満)を微量含む。



第7章第14図 V区J1(96)号土坑・出土縄文土器

第7章表7 V区J1(96)号土坑出土縄文土器観察表(第7章第14図、PL.109)

番号	出土位置	部類	残存状態	構成	色	番号	胎土	分期	文様
P1	96号土坑	深鉢	口縁破片	貝	灰褐色	5YR4/2	砂粒	諸磯c式(新)	集合沈線により、口縁矢羽状文、胴部縦区画、胴部対弧文、棒状、ボタン状胎付文、内面スス付着
P2	96号土坑	深鉢	底部	貝	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯c式	内面スス付着、縄文原産 KL

(2) V区J3(95)号土坑

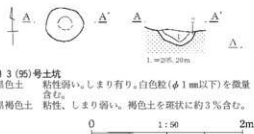
位置：Ej-41Gから検出された。

形状：円形土坑

規模：直径約45cm～50cm・深さ約20cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



V区J3(95)号土坑

1. 黒色土 粘性強い、しまり有り。白色粒(φ1mm以下)を微量含む。
2. 黒褐色土 粘性、しまり弱い、褐色土を頭状に約3%含む。

第7章第15図 V区J3(95)号土坑

(3) V区J4(126)号土坑

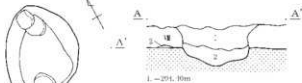
位置：Ep・Eq-25・26Gから検出された。

形状：楕円形土坑

規模：長軸約1.25m・短軸約95cm・深さ約50cm

土層：土層は、2層に分かれる。

遺物：遺物は、出土しなかった。



V区J4(126)号土坑

1. 暗褐色土 1層と同様の粒粒を含む。
2. 黒褐色土 地山の暗褐色土ブロックを含む。粒粒を微量含む。ややしまり有り。

第7章第16図 V区J4(126)号土坑

## (4) V区J2(94)号土坑

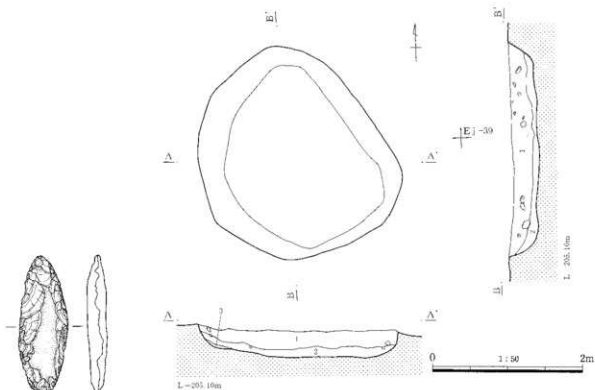
位置: Ei-41G・Ej-41Gから検出された。

形状: 不整形土坑

規模: 長軸約2.75m・短軸約2.45m・深さ約35cm。

土層: 土層は、3層に分かれる。

遺物: 遺物は、縄文時代前期の諸磯b式の深鉢口縁部3点及び器台脚部1点が出土した。また、石槍1点が出土した。



## V区J2(94)号土坑

1. 黒色土 粘性弱い。しまりやや有り。小円礫を1%弱・橙粒( $\phi$ 4mm以下)を微量含む。  
 2. 黒褐色土 粘性弱い。しまり有り。小円礫を微量・橙粒( $\phi$ 2mm以下)を微量含む。  
 3. 黒褐色土 粘性弱い。しまり有り。橙粒( $\phi$ 1mm以下)を微量含む。

0 1:2 5cm



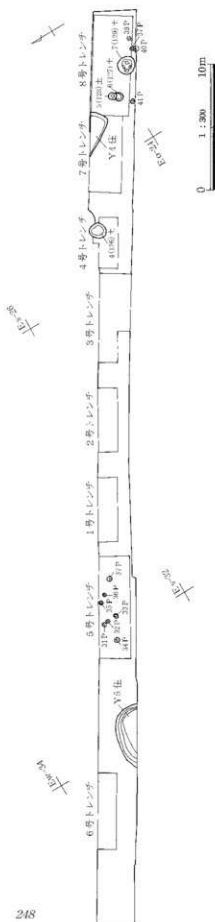
第7章第17図 V区J2(94)号土坑・出土縄文土器・石器

第7章表8 V区J2(94)号土坑出土縄文土器観察表(第7章第17図、PL.109)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	色 調		胎土	分類	文 様
				色	番号			
P1	94号土坑	深鉢	口縁	良	橙	7.5YR6/6	$\phi$ 1~2mmの小石、諸磯b式(中2)砂粒	波状口縁。無文。
P2	94号土坑	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	5YR5/8	細かい砂粒	諸磯b式(中2) 巾3mmの平行沈線施位無文。縄文原形L <sub>2</sub> 。
P3	94号土坑	器台	脚部7破片	良	明黄褐色	10YR2/6	$\phi$ 1~2mmの小石、諸磯b式(中2)	巾2mmの平行沈線が傾位に施す。脚部に内彫の透かし。縄文原形R <sub>1</sub> 。
P4	94号土坑	深鉢	口縁破片	不良	明赤褐色	5YR5/6	$\phi$ 1~2mmの小石、諸磯b式(中2)	巾3mmの平行沈線による渦巻文、斜線文。縄文原形R <sub>1</sub> 類。

第7章表9 V区J2(94)号土坑出土縄文石器観察表(第7章第17図、PL.109)

番号	旧土坑番号 出土位置	器種	残存状態	経路径 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	94土・埋没土	石槍	完形	7.25	2.60	1.90	25.89	黒色頁岩	—	一部表面残存。



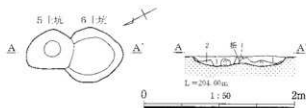
第7章第18図 V区遺構位置図

(5) V区J5(128)号土坑

位置: Eo-23Gから検出された。  
 形状: 楕円形土坑  
 規模: 長軸約60cm・短軸約50cm・深さ約10cm  
 土層: 土層は、2層である。  
 遺物: 遺物は、石製耳飾り1点が出土した。  
 重複: 本土坑南部は、J6号土坑と重複する。  
 新旧関係は、本J5号土坑の方が新しい。

(6) V区J6(127)号土坑

位置: Eo-23・24Gから検出された。  
 形状: 楕円形土坑  
 規模: 長軸約(65)cm・短軸約70cm・深さ約15cm  
 土層: 土層は、2層である。  
 遺物: 遺物は、出土しなかった。  
 重複: 本土坑北部は、J5号土坑と重複する。  
 新旧関係は、本J6号土坑の方が古い。



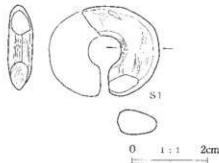
V区J5(128)号土坑

1. 黒褐色土 比較的均質で、白色粒を含む。
2. 濃い黄褐色土 ローム粒を含む。

V区J6(127)号土坑

1. 黒褐色土 粒粒・白色粒・炭化物を含む。
2. 濃い黄褐色土 ローム粒を含む。

第7章第19図 V区J5(128)・J6(127)号土坑



第7章第20図 V区J5(128)号土坑出土縄文石器

第7章表10 V区J5(128)号土坑出土縄文石器観察表  
 (第7章第20図、PL.109)

番号	旧土坑番号 出土位置	図様	残存	計測値 (cm)		重量 (g)	石材		特徴
				長さ	幅		A	B	
S1	128土・埋没土	耳飾り	破片	2.35	(1.65)	0.65	3.20	滑石	孔部直径約7mm。

## (7) V区J7(129)号土坑

位置: En-23Gから検出された。

形状: 不整形円形土坑

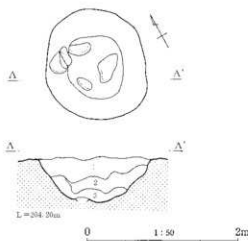
規模: 直径約1.3m~1.45m・深さ約60cm

土層: 土層は、3層に分かれる。

遺物: 遺物は、出土しなかった。

## V区J7(129)号土坑

1. 黒褐色土 橙粒・白色粒・ローム粒を含む。VI・VII層よりも硬い。
2. 黒褐色土 白色粒を極少量含む。ロームブロック(1~2cm大)を含む。1層よりも硬い。
3. 灰黄褐色土 ローム主体で均質。礫(5cm大)を含む。



第7章第21図 V区J7(129)号土坑

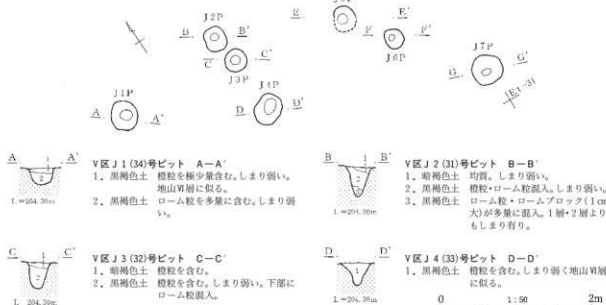
第7章表11 V区土坑まとめ

土坑番号	旧土坑番号	規模			遺物		重複	備考
		長軸	短軸	深さ	土器	石器		
J1号土坑	96号土坑	1.7m	1.2m	60cm	諸磯c深鉢	—	無し	—
J2号土坑	94号土坑	2.75m	2.45m	35cm	諸磯b深鉢	石槍	無し	—
J3号土坑	95号土坑	直径45~50cm		20cm	—	—	無し	—
J4号土坑	126号土坑	1.25m	95cm	50cm	—	—	無し	—
J5号土坑	128号土坑	60cm	50cm	10cm	—	—	J6号土坑	—
J6号土坑	127号土坑	65cm	70cm	15cm	—	石製耳飾り	J5号土坑	—
J7号土坑	129号土坑	直径1.3~1.45m		60cm	—	—	無し	—

## 5. ビット

V区縄文面から、ビットが11基検出された。しかしながら、これらのビットで掘立柱建物を復元することはできなかった。

ビットは、円形あるいは不整形円形を呈し、直径が約25cm~45cm・深さ約15cm~60cmである。11基のビットから遺物は出土しなかった。



第7章第22図 V区J1号~J7号ビット、J1号~J4号ビット断面



## 第7章 V区の調査



V区J5(35)号ビット E-E'  
1. 黒褐色土 覆土はW層に似る。やや粒粒が少ない。



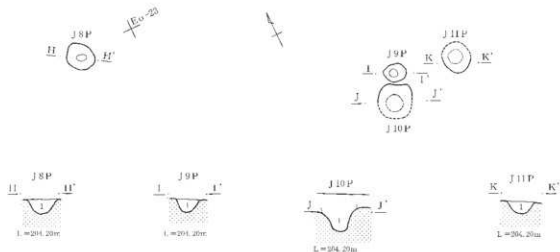
V区J6(36)号ビット F-F'  
1. 黒褐色土 ローム粒・粒粒を極少量含む。しまり強い。地山W層に似る。



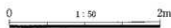
V区J7(37)号ビット G-G'  
1. 黒褐色土 粒粒を含む。ローム粒を極少量含む。しまりやや弱い。地山W層に似る。



第7章第23図 V区J5号～J7号ビット断面



V区J8～11号ビット H-H'～K-K'  
共通土層  
1. 黒褐色土 粒粒を含む。W層に似る。



第7章第24図 V区J8号～J11号ビット

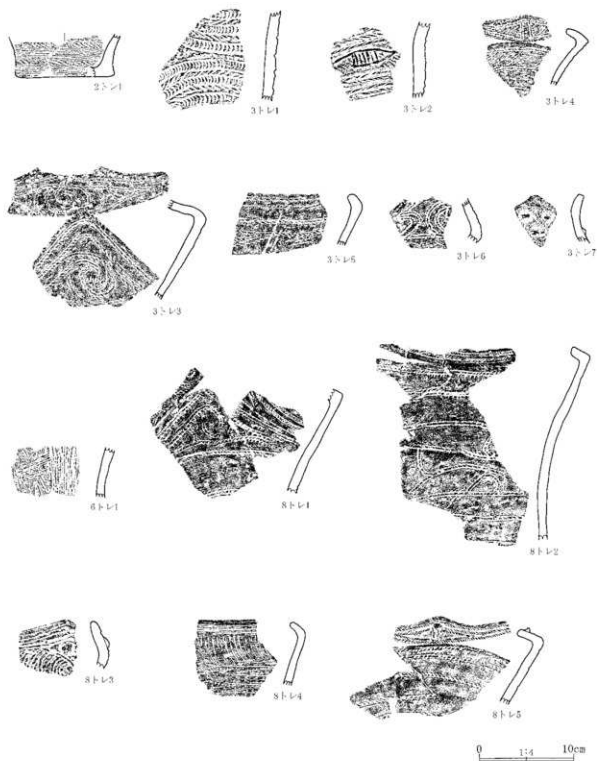
第7章表12 V区ビットまとめ

ビット番号	旧ビット番号	形状	規 模		土層	遺 物		重複	備考
			直径	深さ		土器	石器		
J1号ビット	34号ビット	不整形	35cm	60cm	2層	—	—	無し	—
J2号ビット	31号ビット	不整形	35cm	35cm	3層	—	—	無し	—
J3号ビット	32号ビット	円形	30cm	35cm	2層	—	—	無し	—
J4号ビット	33号ビット	不整形	30～40cm	30cm	1層	—	—	無し	—
J5号ビット	35号ビット	不整形	30cm	25cm	1層	—	—	無し	—
J6号ビット	36号ビット	不整形	25cm	20cm	1層	—	—	無し	—
J7号ビット	37号ビット	円形	40cm	15cm	1層	—	—	無し	—
J8号ビット	41号ビット	不整形	35cm	20cm	1層	—	—	無し	—
J9号ビット	39号ビット	不整形	30cm	15cm	1層	—	—	無し	—
J10号ビット	40号ビット	不整形	45cm	30cm	1層	—	—	無し	—
J11号ビット	38号ビット	不整形	40cm	15cm	1層	—	—	無し	—

## 6. トレンチ

V区の6つのトレンチから、土器と石器が出土した。2号トレンチからは土器と石器が、3号トレンチからは土器と石器が、4号トレンチからは石器が、

6号トレンチからは土器が、7号トレンチからは石器が、8号トレンチからは土器と石器が出土している。土器は、諸磯b式が主体である。



第7章第25図 V区2号・3号・6号・8号トレンチ出土縄文土器

第7章 V区の調査

第7章表13 V区2号トレンチ出土縄文土器観察表(第7章第25図、PL.110)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	V1層	深鉢	底部	普通	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石、黒色粒	諸磯b式(新)	集合沈線による横位区画。縄文原体RL。

第7章表14 V区3号トレンチ出土縄文土器観察表(第7章第25図、PL.111)

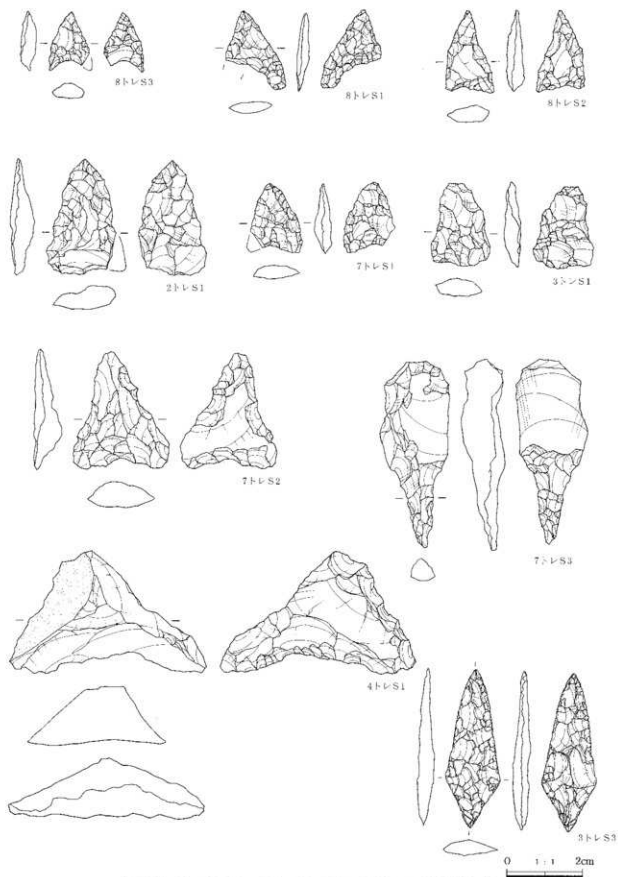
番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	V1層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR6/3	φ1～3mmの小石	諸磯b式(古)	市1mmの平行沈線爪形文による弧線文。文様間に斜位の筋み。
P2	V1層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1～2mmの小石、軽石粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。区画内に弧線文。浮線には矢羽根状の筋み。縄文原体RL。
P3	V1層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1～3mmの小石、軽石粒	諸磯b式(新)	波状口縁でくつ先状に屈曲。市3mmの平行沈線で横位区画。褐色文、沈線には矢羽根状の筋み。
P4	V1層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	半截竹管の両端を刺突する平行沈線による横位区画。口縁には三角文。縄文原体Lr。
P5	V1層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1～3mmの小石、軽石粒	諸磯b式(新)	市4mmの平行沈線による横位区画。沈線に筋み。
P6	V1層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	半截竹管の両端を刺突する平行沈線による横位区画と弧線文。
P7	V1層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	細かい砂粒	諸磯b式(新)	波状口縁側部に粘土層を貼付し獣文を表現する。

第7章表15 V区6号トレンチ出土縄文土器観察表(第7章第25図、PL.111)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	V1層	深鉢	胴部破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒、軽石粒	諸磯c式(新)	集合沈線による横位区画と対弧文。

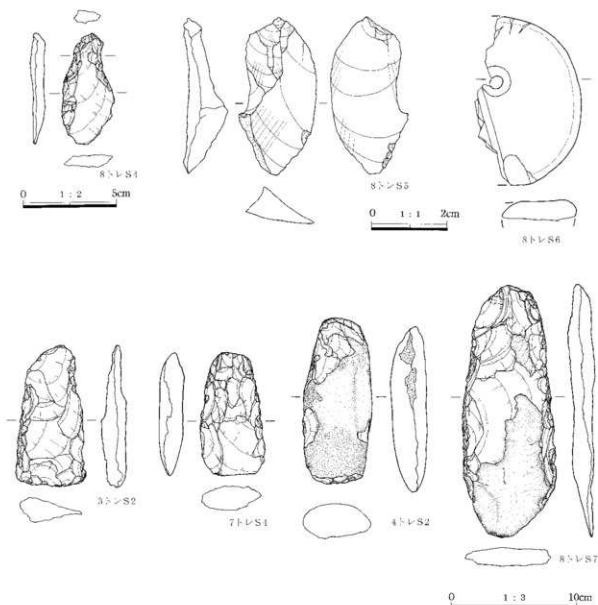
第7章表16 V区8号トレンチ出土縄文土器観察表(第7章第25図、PL.112)

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P1	8号トレンチ V1層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/8	φ1～3mmの小石、軽石粒	諸磯b式(新)	市4mmの平行沈線による横位区画線。褐色文。沈線に筋み。波状口縁下くつ先状になる。
P2	8号トレンチ V1層	深鉢	口縁・胴部 破片	良	橙	5YR6/6	φ1～3mmの小石、軽石粒	諸磯b式(新)	市4mmの平行沈線による横位区画。区画内に弧線文。平行沈線に筋み。
P3	8号トレンチ V1層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁側部に粘土層貼付。市4mmの平行沈線による弧線文。
P4	7号・8号ト レンチ V1層	深鉢	口縁破片	良	赤褐	5YR4/8	細かい砂粒	諸磯b式(新)	波状口縁側部に粘土層貼付。口縁部文様帯は偏平な浮線による三角文。浮線には矢羽根状の筋み。腹部は市4mmの平行沈線による横位区画。沈線に筋み。
P5	8号トレンチ V1層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR4/3	砂粒	諸磯b式(中2)	市4mmの平行沈線による平行沈線横位区画。区画内に弧線文。



第7章第26図 V区2号・3号・4号・7号・8号トレンチ出土縄文石器

第7章 V区の調査



第7章第27図 V区3号・4号・7号・8号トレンチ出土縄文石器

第7章表17 V区トレンチ出土縄文石器観察表 (第7章第26・27図、PL.110~112)

番号	出土遺構	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	2号トレンチ	埋没土	石鏃	一部欠損	3.10	1.90	0.60	2.45	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。平底。
S1	3号トレンチ	埋没土	石鏃	尖端部破損	2.40	1.65	0.50	1.43	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。平底。
S2	3号トレンチ	甕層	打製石片	一部欠損	11.20	5.50	1.95	97.00	細粒輝石(安山岩)	輝石安山岩	短冊形石片。
S3	3号トレンチ	甕層	尖頭部	完形	4.15	1.45	0.48	2.00	黒色頁岩	細粒麻灰岩	尖基鏃。
S1	4号トレンチ	埋没土	石鏃	柄こ部破損	3.40	5.20	1.50	13.79	珪質頁岩	—	楔形石鏃。一部表面残存。
S2	4号トレンチ	甕層	磨製石片	一部欠損	13.15	5.35	2.80	313.00	安山武岩	緑色片岩	孔棒状磨製石片。
S1	7号トレンチ	甕層	石鏃	一部欠損	1.80	1.33	0.42	0.80	黒曜石	黒曜岩	三角形無茎鏃。凹基。
S2	7号トレンチ	甕層	石鏃	一部欠損	3.20	2.60	1.70	3.75	黒色安山岩	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S3	7号トレンチ	甕層	石鏃	完形	5.00	1.80	1.00	6.37	黒曜石	黒曜岩	刃部長さ約20mm、幅約6mm。
S4	7号トレンチ	甕層	打製石片	完形	9.70	5.10	1.90	115.10	黒色頁岩	頁岩	短冊形石片。
S1	8号トレンチ	甕層	石鏃	一部欠損	2.16	(1.64)	0.28	0.61	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S2	8号トレンチ	甕層	石鏃	完形	2.09	1.31	0.45	1.23	クォーツ	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S3	8号トレンチ	甕層	石鏃	下部欠損	1.54	1.08	0.35	0.44	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S4	8号トレンチ	甕層	石鏃	完形	3.80	2.75	0.73	12.46	黒色安山岩	—	磨製石鏃。左右非対称。
S5	8号トレンチ	甕層	削片石鏃	完形	4.14	2.01	0.77	4.95	黒曜石	黒曜岩	—
S6	8号トレンチ	甕層	刮削り	破片	4.40	2.80	(0.55)	7.30	麻灰質砂岩	—	刃部約3mmの孔1ヶ所有。条痕有。
S7	8号トレンチ	甕層	打製石片	一部欠損	19.90	7.30	2.00	301.00	黒色頁岩	細粒麻灰岩	短冊形石片。一部表面残存。



第7章第28図 V区Y1(2)号住居出土縄文土器

## 第7章 V区の調査

第7章表18 V区Y1(2)号住居出土縄文土器観察表(第7章第28図、PL.113)

番号	出土位置	器種	残存状態	地産	色調		胎土	分期	文様	備考
					色	番号				
P1	V層 埋没土	深鉢	口縁破片	普通	灰黄	2.5YR/3	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	文	市4mmの平行沈線による横位区画と波状線。円形の窪みに縦位に施される。
P2	周壁帯	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR/6	砂粒、粒石粒	諸磯b式(古)	文	口唇部に波状の突起。口縁に若干の隆線が施される。胴縁にφ10mmの孔。市7mmの平行沈線爪形文と円形刺突文施文。
P3	V層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	5YR/7/4	砂粒	諸磯b式(古)	文	市8mmの平行沈線爪形文施文。爪形文間に斜位の筋。
P4	掘り方	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR/6	砂粒、粒石粒	諸磯b式(古)	文	市4mmの平行沈線爪形文による弧線文。文様間に斜位の筋をもつ隆線。
P5	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR/6	細かい砂粒	諸磯b式(古)	文	市6mmの平行沈線爪形文による弧線文。円形刺突。
P6	周壁帯	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR/6	φ1mmの小石	諸磯c式(古)	文	浮線による横位区画と縦位の浮線。浮線には矢羽根状の筋。縄文原形 RL。
P7	No.56	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄橙	10YR/7/4	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	文	浮線による横位区画。区画内溝文。浮線には矢羽根状の筋。
P8	埋没土	深鉢	底部破片	普通	にぶい黄橙	10YR/7/4	砂粒、黒色粒	諸磯c式(中1)	文	浮線による横位区画。浮線には「×」状の筋。
P9	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	明黄橙	10YR/7/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(中1)	文	波状口縁頂部に突起。平行沈線による溝文。
P10	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR/7/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	文	市3mmの平行沈線による横位区画。縄文原形 L。
P11	周壁帯	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR/4/4	砂粒	諸磯c式(古)	文	波状口縁縁部部に棒状貼付文部分で内側に凹む。口唇と胴部間に凹凸。ボタン状貼付文。内面スス付着。
P12	埋没土	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR/7/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	文	口唇部凹凸。棒状貼付文。集合沈線による横位区画。縦位区画。斜線文。
P13	周壁帯	深鉢	口縁-胴部破片	普通	橙	5YR/6	砂粒、粒石粒	諸磯c式(新)	文	集合沈線による矢羽根文横位区画。胴部対称文。棒状、ボタン状貼付文。
P14	埋没土	深鉢	胴部破片	不良	橙	5YR/6	細かい砂粒	下品式	文	結節状沈線による溝文。
P15	周壁帯	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR/6	細かい砂粒	諸磯c式(新)	文	口唇に棒状貼付文。胴縁にボタン状貼付文。縄文原形 L。
P16	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	文	折り返し口縁。沈線矢羽根状に施文。ボタン状貼付文。
P17	埋没土	深鉢	口縁破片	不良	明黄橙	10YR/7/6	砂粒、黒色粒	浮島田式	文	口唇に斜位の筋。市20mmの変形爪形文。平行沈線による変形文。
P18	周壁帯	深鉢	胴部破片	良	にぶい黄橙	10YR/7/3	砂粒	浮島田式	文	貝殻模様によるロッキング。
P19	周壁帯	深鉢	胴部破片	良	橙	2.5YR/6	砂粒、黒色粒	興津甘式	文	凹文。
P20	周壁帯	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	2.5YR/5/6	砂粒	大木5式	文	口縁を彫厚くせ三角に作り加施文。胴縁に粘土塗り加施文。縄文原形 L、L、L。
P21	埋没土	深鉢	口縁破片	不良	にぶい赤褐	5YR/5/4	砂粒	大木5式	文	折り返し口縁。縄文原形 L、L、L。
P22	周壁帯	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR/5/6	砂粒	大木5式	文	折り返し口縁。縄文原形 L、L、L。
P23	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	にぶい赤褐	5YR/5/3	砂粒	大木5式	文	円形の貼付文。粘土層による山形文。縄文原形 L、L、L。
P24	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR/6	砂粒	諸磯c式(中1)	文	断面凸形の浮線による文様施文。浮線には矢羽根状の筋。縄文原形 RL。
P25	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR/6	砂粒、黒色粒	大木5式	文	粘土層貼付による山形文。縄文原形 RL、横。
P26	埋没土	深鉢	破片	普通	にぶい赤褐	5YR/4/3	砂粒	大木式	文	ボタン状貼付文。粘土層貼付による山形文。縄文原形 RL、横。
P27	周壁帯	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR/6/6	φ1mmの小石	十三善裡式	文	口唇に棒状貼付文。結節沈線による山形文。
P28	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR/7/4	細かい砂粒	十三善裡式	文	口縁部部に三角の筋みによる弧線文。貝殻模様を連続して刺突。三角凹目。
P29	埋没土	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR/7/3	砂粒、黒色粒	十三善裡式	文	三角の筋みによる弧線文。結節沈線による文様施文。
P30	掘り方	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR/7/6	砂粒	十三善裡式	文	印明による山形文。結節沈線による弧線文。
P31	埋没土	深鉢	口縁破片	良	明黄橙	10YR/7/6	砂粒	諸磯c式(中1)	文	口縁部縁に目・鼻・口を貼り付け版面を表現している。浮線による文様施文。浮線には矢羽根状の筋。縄文原形 L。
P32	周壁帯	深鉢	口縁破片	不良	明黄橙	10YR/7/6	砂粒	諸磯b式(中2)	文	口縁部縁に鼻・口を貼り付け版面を表現する。
P33	掘り方	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR/7/6	細かい砂粒	諸磯b式(中2)	文	口縁部縁に胴部、胴縁に鼻・口を貼り付け版面を表現する。
P34	埋没土	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR/6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(中1)	文	口縁部縁に目・鼻・口を貼り付け版面を表現する。平行沈線による文様施文。
P35	周壁帯	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR/4/3	砂粒	諸磯c式(中1)	文	口縁部部に胴部把手を結合している。
P36	周壁帯	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR/6/6	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	文	口縁部部に胴部把手を結合している。
P37	埋没土	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR/6/6	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	文	口縁部縁に目・鼻・口を貼り付け版面を表現する。平行沈線による文様施文。
P38	周壁帯	ミニチュア土器	破片	普通	橙	5YR/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式	文	深鉢底部に沈線を施す。
P39	埋没土	ミニチュア土器	破片	普通	橙	7.5YR/7/6	砂粒	前期	文	底部上げ筋。
P40	周壁帯	ミニチュア土器	破片	普通	橙	2.5YR/6/6	細かい砂粒	前期	文	深鉢模倣。無文。

## 第2節 V区遺構外

V区遺構外の掲載遺物は、土器が48のグリッドから237点、石器が66のグリッドから266点の合計503点を掲載した。

出土土器及び石器の内訳は、以下の表通りである。

## 1. 土器

土器の内、型式が判明したものは、諸磯a式9点・諸磯b式95点・諸磯c式70点・諸磯式6点・浮島式7点・興津式11点・大木式23点・十三菩提式13点である。その他、北白川下層IIc式・下島式・阿玉台式等が出土している。

大きな傾向として、IV区と同様に諸磯b式を中心

とした諸磯式が主体である。

土器の器種は、深鉢が大多数を占め、次に有孔浅鉢・浅鉢となる。

## 2. 石器

石器の内、出土点数順に見ると、打製石斧76点・石鏃46点・磨石31点・石匙22点・石錐16点・石皿16点・石核12点・凹石10点等となる。

大きな傾向として、IV区と同様に打製石斧・石鏃・磨石・凹石・石匙等が中心である。

石器の出土層位では、ほとんどの器種がVI層及びVII層から出土している。

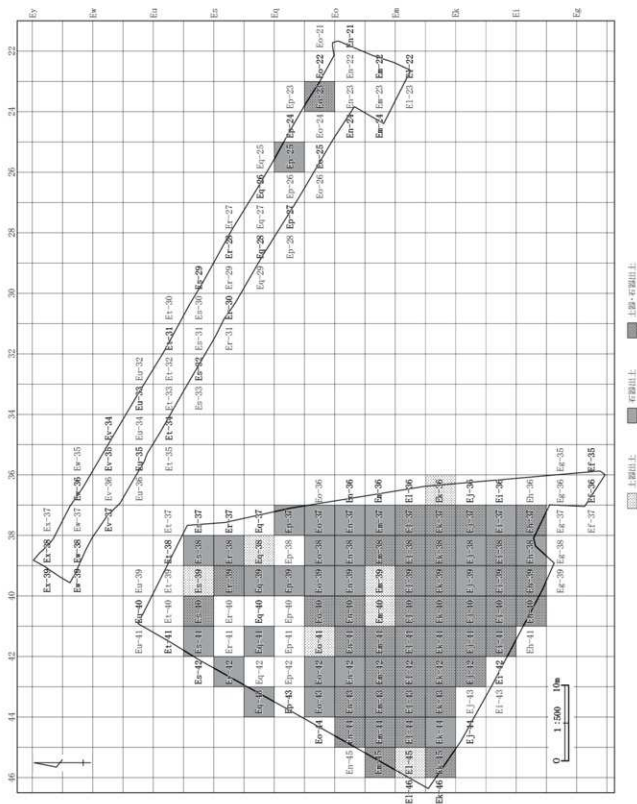
第7章表19 V区縄文面 遺構外縄文土器まとめ

土器型式	諸磯a式				諸磯b式				諸磯c式				諸磯			浮島		興津		大木		十三菩提
	古	新	不明	計	古	中1	中2	新	不明	計	古	中1	新	不明	計	浮島II	浮島I	不明	興津I	興津II	大木I	
深鉢	7	2	8	—	37	—	34	1	29	14	25	2	—	—	3	3	1	1	10	22	1	13
浅鉢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
有孔浅鉢	—	—	—	—	1	5	—	4	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ミニチュア土器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—
土製円盤等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
総計	7	2	8	1	42	—	38	6	29	14	25	2	6	3	3	1	1	10	22	1	13	

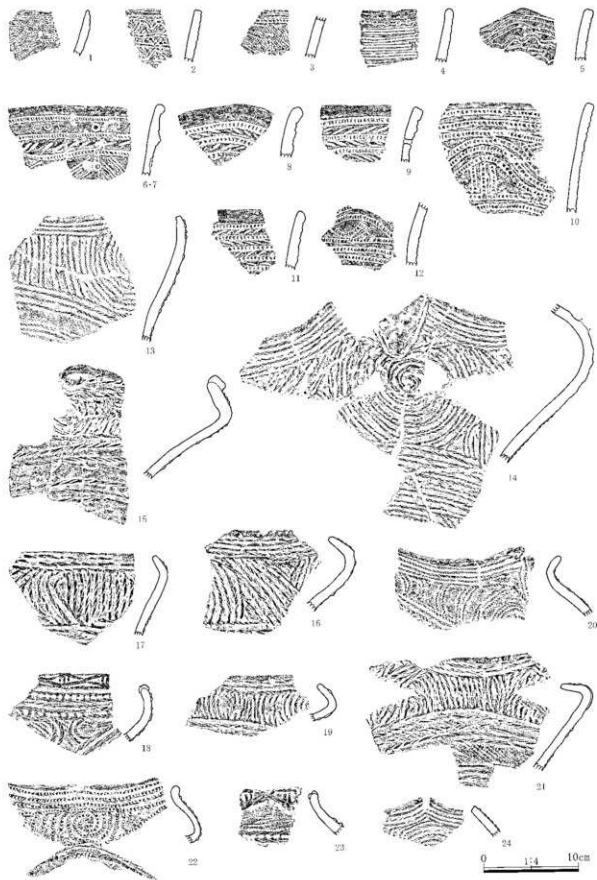
第7章表20 V区縄文面 遺構外出土縄文石器まとめ

	石鏃	尖頭器	石匙	石鏃	打斧	砥石	磨石	石核	磨石	凹石	多孔石	石皿	異形	石刀	削器	台形	石鏃	銅片	磨石	耳飾り
IV層	3	—	—	1	1	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
V層	4	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
VI層	22	1	7	9	28	1	1	4	16	6	3	7	—	1	1	1	1	2	—	1
VII層	12	2	9	5	43	1	2	7	13	4	4	8	—	—	—	—	—	—	—	3
VIII層	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
IX層	—	—	2	—	1	—	2	—	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
層位不明	4	—	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	1
合計	46	3	22	16	76	2	5	12	31	10	8	16	1	2	2	1	1	2	4	3



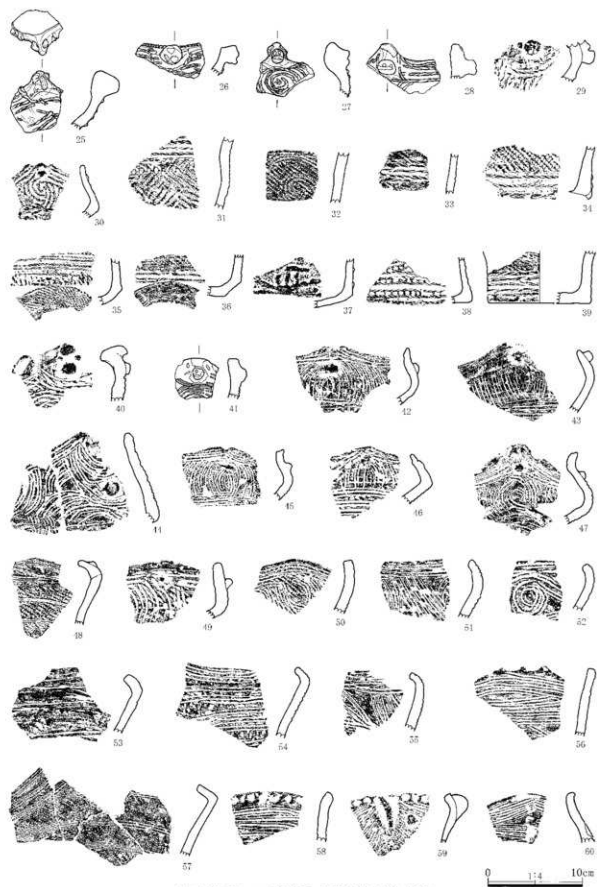


第7章第29図 V区グリッド配置図

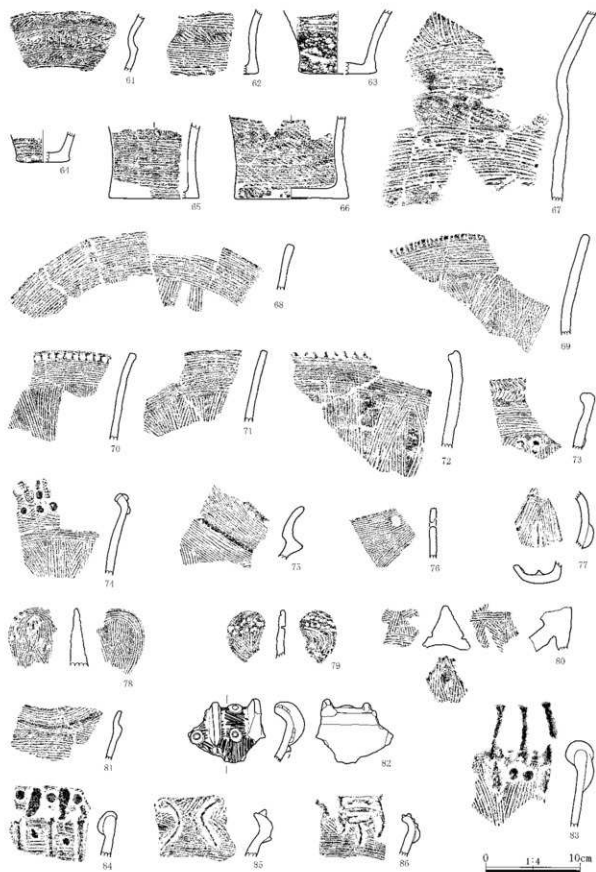


第7章第30図 V区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)

第7章 V区の調査



第7章第31図 V区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)

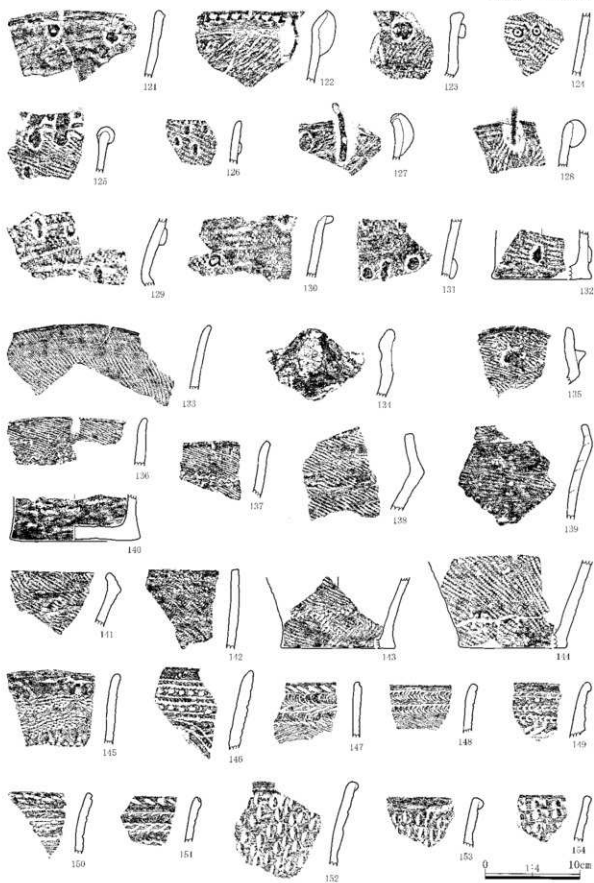


第7章第32図 V区縄文面 遺構外出土縄文土器(3)

第7章 V区の調査

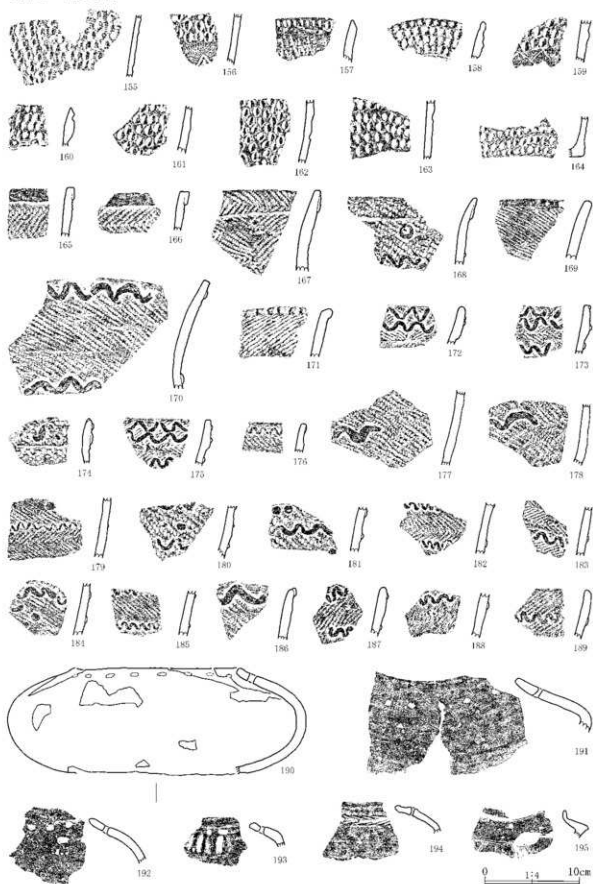


第7章第33図 V区縄文面 遺構外出土縄文土器(4)

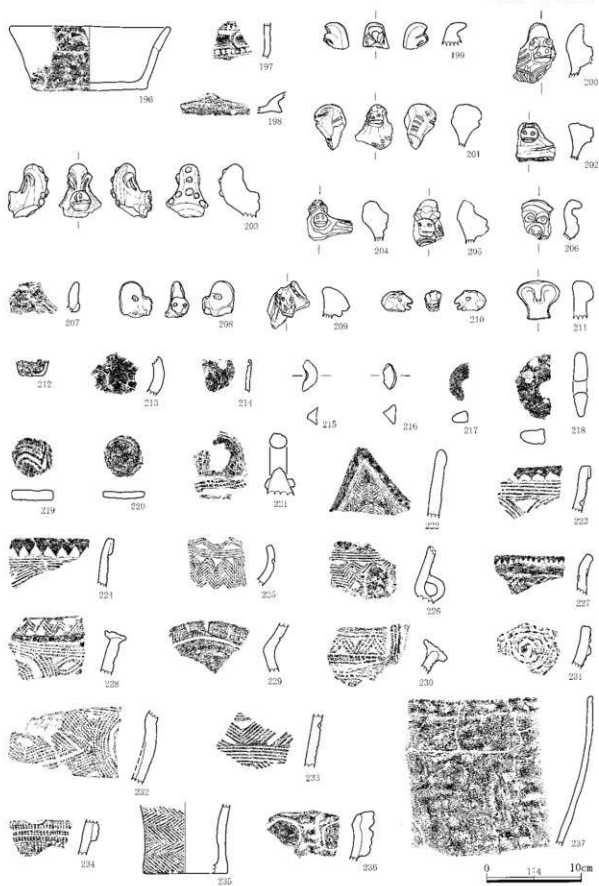


第7章第34図 V区縄文面 遺構外出土縄文土器(5)

第7章 V区の調査



第7章第35図 V区縄文面 遺構外出土縄文土器⑥



第7章第36図 V区縄文面 遺構外出土縄文土器(7)



第7章 V区の調査

第7章表21 V区縄文遺構外出土縄文土器観察表(第7章第30~36図、PL.117~122)

番号	出土位置	器種	残存状態	地産	色 調		胎 土	分 類	文 様 種
					色	番号			
P1	Ek-41G 甕	浅鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR7/3	砂粒	諸磯a式(新)	巾2mmの平行沈線瓦形文による木葉文。磨り消し縄文。縄文原形RL。
P2	Ek-41G 甕	深鉢	口縁破片	良	褐	7.5YR4/3	φ1mmの小石、白色粒	諸磯a式(新)	巾3mmの平行沈線横位施文と波状文。縄文原形RL。
P3	Ek-37G 甕	深鉢	胴部破片	不良	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯a式(新)	巾4mmの平行沈線瓦形文による木葉文。凹形刺突文。縄文原形RL。
P4	Ek-39G 甕	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR7/3	砂粒、黒色粒	諸磯a式(新)	口縁に平行沈線を施す。φ4mmの円形刺突横位施文。横位の沈線。
P5	Ej-40G 甕	深鉢	口縁破片	良	明赤褐色	10YR6/6	砂粒	諸磯b式(古)	巾5mmの平行沈線による波状文。
P6	Ek-39G 甕	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR5/4	砂粒、紅石粒	諸磯a式(新)	口縁部削みのある縁縁で横位区画。巾4mmの平行沈線瓦形横位施文。胴部は平行沈線と凹形刺突による米字文。7と同一個体。
P7	Ej-40G 甕	深鉢	口縁破片	普通	橙	2.5YR6/6	砂粒、紅石粒	諸磯a式(新)	巾5mmの平行沈線瓦形文による文様施文。瓦形文間を縁縁状にし削みの施み。
P8	Ek-41G 甕	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR7/3	φ1mmの小石、黒色粒	諸磯b式(古)	巾7mmの平行沈線瓦形文による文様施文。瓦形文間を縁縁状にし削みの施み。
P9	Ek-43G 甕	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	2.5YR5/6	砂粒、紅石粒	諸磯b式(古)	巾7mmの平行沈線瓦形文による文様施文。瓦形文間を縁縁状にし削みの施み。
P10	Ek-40G 甕	深鉢	口縁破片	良	明赤褐色	2.5YR5/6	砂粒、紅石粒	諸磯b式(古)	巾6mmの平行沈線瓦形文による弧線文。
P11	Ek-37G 甕	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR7/3	砂粒、黒色粒	諸磯b式(古)	巾4mmの平行沈線瓦形横位施文。用形文間に斜位の施み。
P12	Ek-39G 甕	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄褐色	10YR4/3	砂粒、黒色粒	諸磯b式(古)	巾5mmの平行沈線瓦形文による「ㄦ」状文。弧線文。
P13	Ei-39G 甕	深鉢	口縁破片	良	橙	2.5YR6/6	細かい砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。区画内渦巻文。浮線には矢羽根状の施み。縄文原形RL。
P14	Ej-41G 甕	深鉢	口縁	普通	浅黄褐色	10YR8/3	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	波状口縁の側縁に粘土層を貼り付け、肌面を表現する。浮線による間隔の狭い横位区画。口縁部には渦巻文様。浮線には矢羽根状の施み。
P15	Ek-38G 甕	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐色	2.5YR4/3	砂粒、紅石粒	諸磯b式(中2)	浮線による間隔の狭い横位区画。口縁部には渦巻文。「口」に「口」の字形の粘土層を貼付。浮線には矢羽根状の施み。
P16	Ek-41G 甕	浅鉢	口縁破片	普通	灰褐色	5YR4/2	φ1mmの小石、紅石粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。弧線文、斜線文。浮線には矢羽根状の施み。縄文原形RL。
P17	Ek-41G 甕	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR7/3	砂粒、紅石粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。弧線文。浮線には斜位の施み。縄文原形RL。
P18	Ej-37G 甕	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	砂粒	諸磯c式(中1)	口唇に浮線による「×」字文。口縁には棒子状文。弧線文。浮線には矢羽根状の施み。縄文原形RL。
P19	Ek-39G 甕	深鉢	口縁破片	不良	にぶい黄褐色	10YR7/3	砂粒、黒色粒多い	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。区画内対渦文。浮線には矢羽根状の施み。縄文原形RL。
P20	Eo-40G 甕	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐色	10YR6/3	砂粒、紅石粒	諸磯b式(新)	浮線による文様区画。口縁部には渦巻文。浮線には矢羽根状の施み。φ2つ先状口縁。縄文原形RL。
P21	Ek-38G 甕	深鉢	口縁	普通	にぶい黄褐色	10YR6/3	φ1mmの小石、紅石粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。口縁部は弧線文。浮線には矢羽根状の施み。縄文原形RL。
P22	Ei-41G 甕	深鉢	口縁	良	橙	7.5YR7/6	細かい砂粒	諸磯b式(新)	浮線による文様区画。口縁部渦巻文。浮線には瓦形施文。内面スス状。
P23	Ej-37G 甕	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒	諸磯c式(中1)	口唇に浮線による「×」字文。口縁には棒子状文。浮線には矢羽根状文。縄文原形RL。
P24	En-41G 甕	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒	諸磯b式(中2)	浮線による渦巻文。浮線には矢羽根状の施み。縄文原形RL。
P25	Em-45G 甕	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	5YR5/6	φ1mmの小石	諸磯c式(中1)	口縁縁部に肌面表現の把手を貼付。浮線による文様施文。浮線には矢羽根状の施み。断面形凸形になる。
P26	Ei-40G 甕	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(中1)	口唇に削み。側縁に粘土層を貼付。浮線による弧線文。浮線には矢羽根状の施み。縄文原形RL。
P27	Ei-41G 甕	深鉢	口縁破片	良	明赤褐色	5YR5/6	砂粒	諸磯c式(中1)	口縁縁部に肌面表現の把手を貼付。浮線による渦巻文。浮線には斜位の施み。断面形凸形になる。
P28	Ei-40G 甕	深鉢	口縁破片	良	明赤褐色	2.5YR5/6	砂粒	諸磯c式(中1)	口縁縁部に「口」を表現した粘土層を貼付。浮線による文様施文。浮線には矢羽根状の施み。断面形凸形になる。
P29	Ek-41G 甕	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐色	2.5YR5/6	砂粒、紅石粒	諸磯c式(中2)	口縁縁部に「口」を表現した粘土層を貼付し肌面を表現する。浮線による弧線文。浮線には削み。
P30	Ek-37G 甕	深鉢	口縁破片	良	黒褐色	10YR2/2	砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁縁部から3単位位の突起になる。側縁に粘土層を貼付。浮線による風車状渦巻文。浮線には矢羽根状の施み。

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P31	Eh-39G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体RL。L区。
P32	Eh-39G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	灰黄褐	10YR4/2	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(新)	扁平な浮線による渦文。浮線には矢羽根状の刻み。浮線間に縦列列。縄文原体RL。
P33	Eh-39G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(中)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P34	Eh-37G 甕層	深鉢	底部破片	良	橙	7.5YR7/6	φ1mmの小石	諸磯c式(中1)	浮線横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P35	Ek-37G 甕層	深鉢	底部破片	普通	橙	7.5YR6/8	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。梯子状文。浮線には矢羽根状の刻み。縄文原体RL。
P36	Ei-37G 甕層	深鉢	底部破片	普通	赤褐	2.5YR4/6	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	浮線横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。
P37	Ej-37G 甕層	深鉢	底部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯c式(中1)	浮線による「×」字文。縄文原体LR。
P38	Eh-39G 甕層	深鉢	底部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1mmの小石	諸磯b式(中2)	浮線による横位区画。梯子状文。浮線には矢羽根状の刻み。
P39	Ej-42G 甕層	深鉢	底部破片	普通	赤褐	2.5YR4/6	砂粒、軽石粒	諸磯c式(中1)	浮線による横位区画。浮線には矢羽根状の刻み。
P40	Ei-42G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側に粘土層を貼付し波線を表現する。市4mmの平行浮線による弧線文。
P41	Ei-42G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	細かい砂粒、黒色 粒	諸磯b式(中2)	口縁線跡に「日・虫・口」を表現した粘土層を貼付し、彫面を表現する。市3mmの平行浮線による渦文。
P42	Ek-37G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻み、側縁に粘土層貼付。市4mmの平行浮線による横位区画。口縁部対弧文。
P43	Ek-37G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/8	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻み、側縁に粘土層貼付。市4mmの平行浮線による横位区画弧線文。
P44	Ek-37G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/4	φ1～3mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻み、側縁に粘土層貼付。市4mmの平行浮線による弧線文。
P45	Ek-37G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻み、側縁に粘土層貼付。市4mmの平行浮線による横位区画に対弧文。
P46	Em-41G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/8	砂粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側に粘土層貼付。市4mmの平行浮線区画。区画内対弧文。
P47	Ei-42G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部に刻み3単位の変位。側縁に粘土層貼付。市4mmの平行浮線横位区画。区画内風車状渦文。
P48	Em-38G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR7/6	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁側縁に粘土層貼付。市2mmの平行浮線による横位区画。縄文原体RL。
P49	Ek-37G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁頂部側に粘土層貼付。市6mmの平行浮線による横位区画。区画内弧線文。
P50	Ei-39G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	市4mmの平行浮線による渦文。縄文原体RL。
P51	Ek-40G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	市4mmの平行浮線による弧線文。
P52	Er-39G 甕層	深鉢	口縁破片	不具	にぶい橙	7.5YR7/4	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	市4mmの平行浮線による渦文。
P53	Ek-45G 甕層	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	市4mmの平行浮線による横位区画。
P54	Ek-45G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	市4mmの平行浮線による横位区画。縄文原体RL。
P55	Eh-41G 甕層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1～2mmの小石	諸磯b式(中2)	市5mmの平行浮線による弧線文。
P56	Ej-42G 甕層	深鉢	口縁破片	不具	灰褐	7.5YR4/2	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(中2)	口唇に3単位の小突起。市3mmの平行浮線による横位区画と弧線文。
P57	Eo-23G 甕層	深鉢	口縁	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1～2mmの小石、 軽石粒	諸磯b式(中2)	市3mmの平行浮線による横位区画。縄文原体RL。
P58	Em-42G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/3	砂粒、黒色粒	諸磯b式(新)	口唇に凹凸文。集合沈積横位区画。
P59	Ek-40G 甕層	深鉢	口縁破片	不具	灰褐	7.5YR4/2	φ1mmの小石多い	諸磯b式(古)	口唇に凹凸文。棒状粘付文部分濁入する。ボタン状粘付文。集合沈積による施文。
P60	Em-43G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	赤褐	2.5YR4/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式(新)	市3mmの平行浮線を集合させた三角形に文様区画する。波状口縁頂部が濁入する。側縁に粘土層貼付。
P61	Eh-40G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR5/3	φ1mmの小石、軽石粒	諸磯b式(新)	市2mmの平行浮線による横位区画。「×」字文。内面スス付着。縄文原体LR。
P62	Ek-39G 甕層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、軽石粒	諸磯b式(新)	市3mmの平行浮線を集合させた横位区画。縄文原体LR。
P63	Eo-40G 甕層	深鉢	底部破片	不具	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式(新)	市4mmの平行浮線による横位区画。
P64	Ek-45G 甕層	深鉢	底部破片	不具	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒多い	諸磯b式(新)	市3mmの平行浮線横位区画。内面スス付着。

第7章 V区の調査

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色	番号			
P65	Ek-37G 甕層	深鉢	胴部~底部 破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1~2mmの小石 少	諸磯c式(古)	市2mmの平行沈線による底部横位施文。胴部縦位の区画。
P66	Es-40G Ⅱ層	深鉢	底部	普通	橙	7.5YR6/6	φ1~2mmの小石、 靑石粒	諸磯b式(新)	市4mmの平行沈線による横位区画。内面スス付着。縄文原形体R。
P67	EI-38G 甕層	深鉢	胴部	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1mmの小石、靑 石粒	諸磯b式(新)	市4mmの平行沈線横位区画。胴上半部には弧線 施文。縄文原形体R。
P68	EJ-40G 甕層	深鉢	口縁~胴部 破片	普通	黒褐	10YR3/2	φ1mmの小石、靑 石粒	諸磯c式(古)	口縁部に棒状貼付文。集合沈線横位施文。胴部 に縦位の区画文。
P69	EI-44G 甕層	深鉢	口縁~胴部 破片	良	明赤褐	5YR5/8	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	口唇に筋目。集合沈線による口縁横位施文。胴 部縦位区画と対弧文、斜線文。
P70	Eq-38G Ⅱ層	深鉢	口縁~胴部 破片	良	灰褐	5YR4/2	砂粒、靑石粒	諸磯c式(古)	口唇に凹凸文。集合沈線による口縁横位施文、 胴部対弧文。
P71	EI-38G Ⅱ層	深鉢	口縁~胴部 破片	良	灰褐	5YR4/2	φ1~3mmの小石	諸磯c式(古)	集合沈線による口縁横位施文。胴部縦位区画、 斜線対弧文。
P72	EJ-37G Ⅱ層	深鉢	口縁~胴部 破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	φ1~3mmの小石	諸磯c式(古)	口唇凹凸文。集合沈線による口縁横位施文。胴 部縦位区画、対弧文。
P73	Ek-37G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、靑石粒	諸磯c式(新)	口唇に沈線による矢羽根文、口縁横位の施文。 胴部縦位区画と対弧文、ボタン状貼付文。
P74	Eq-38G Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁~胴部 破片	良	明黄褐	10YR7/6	φ1mmの小石	諸磯c式(新)	集合沈線により口縁部縦位区画、口縁矢羽根文。 胴部縦位区画と対弧文。矢羽根文、内面の貼付文 には彫削文、ボタン状貼付文。内面スス付着。
P75	Ek-37G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	灰褐	7.5YR4/2	砂粒	諸磯c式(古)	大波状口縁の集合沈線施文。
P76	EI-38G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR7/3	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	集合沈線施文。補修孔。
P77	Ek-38G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒	諸磯c式(古)	大波状口縁突起部集合沈線施文。棒状、ボタン 状貼付文。
P78	EI-38G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	5YR5/6	φ1mmの小石、白 色粒	諸磯c式(古)	集合沈線による対弧文。大波状口縁突起部。
P79	EI-40G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1~2mmの小石	諸磯c式(古)	深鉢口縁把手部。集合沈線による弧線文。両面 に彫削文。
P80	EI-39G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	φ1mmの小石	諸磯c式(古)	深鉢口縁把手部。市3mmの平行沈線を集合させ 矢羽根文等を施文。三角の透し。
P81	EJ-40G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR5/3	細かい砂粒	諸磯c式(古)	市3mmの平行沈線を集合させ横位の施文。
P82	Es-37G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	諸磯c式(新)	口縁集合沈線による矢羽根文。胴部縦位区画。 胴部縦位区画に矢羽根文、棒状、ボタン状貼付 文。
P83	En-44G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR7/3	φ1~2mmの小石	諸磯c式(新)	集合沈線による縦位の弧線、棒状、ボタン状貼 付文。
P84	Ek-40G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい赤褐	5YR4/3	φ1~2mmの小石	諸磯c式(新)	集合沈線横位施文。棒状、ボタン状貼付文。
P85	Ek-37G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	口縁市3mmの平行沈線を集合させ矢羽根文を施 文。胴部縦位の施文。耳たぶ状の貼付文。
P86	Ek-43G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	5YR6/4	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	口縁部市3mmの平行沈線を集合させ矢羽根文を 施文。胴部縦位施文。棒状貼付文。
P87	Ek-43G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	諸磯c式(新)	集合沈線による横位施文。ボタン状、棒状貼付 文。
P88	Em-38G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	明黄褐	10YR7/6	φ1~3mmの小石	諸磯c式(古)	口縁に集合沈線による矢羽根文。胴部縦位施文。 口縁に三角の印紋。棒状、ボタン状貼付文。
P89	EI-39G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	灰褐	7.5YR4/2	口唇に凹凸文	諸磯c式(古)	口唇に凹凸文。口縁部に集合沈線による矢羽根 文。胴部に横位施文。棒状、ボタン状貼付文。
P90	Eq-40G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	浅黄橙	10YR8/4	φ1mmの小石、黒 色粒	諸磯c式(古)	集合沈線による矢羽根文様。棒状、ボタン状貼 付文。
P91	Eq-38G Ⅱ層	深鉢	口縁	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、靑石粒	諸磯c式(新)	集合沈線による矢羽根文。胴部に横位施文。棒 状、ボタン状貼付。貼付文に竹管による刺突列 が施文される。内面スス付着。
P92	EJ-40G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒、黒色粒	諸磯c式(古)	口唇に凹凸文。平行沈線を集合させ横位区画し、 区内に弧線彫文施文。ボタン状貼付文。
P93	EI-40G Ⅱ層	深鉢	口縁	良	赤褐	2.5YR4/6	φ1~3mmの小石	諸磯c式(新)	市3mmの平行沈線横位施文。棒状、ボタン状貼 付文。
P94	Ek-39G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	市4mmの平行沈線を集合させ横位に施文。棒 状、耳たぶ状、ボタン状貼付文。
P95	Em-41G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒、黒色粒	諸磯c式(新)	市4mmの平行沈線横位施文。棒状、ボタン状貼 付文。
P96	EJ-40G Ⅱ・Ⅲ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	φ1~2mmの小石、 靑石粒	諸磯c式(新)	地文縄文施文。棒状、ボタン状貼付文。縄文原 形体Lr。
P97	Ek-37G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	褐	7.5YR4/3	φ1~3mmの小石	諸磯c式(新)	市3mmの平行沈線を集合させ横位の施文。棒 状、ボタン状貼付文。
P98	Ek-37G Ⅱ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	φ1~2mmの小石、 白色粒	諸磯c式(古)	市3mmの平行沈線による口縁横位施文。胴部縦 位区画と斜線文。棒状貼付文。

## 第2節 V区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色 調		胎 土	分 類	文 様
					色 色	番 号			
P99	E1-39G Ⅷ層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	φ1~2mmの小石	譚織C式(新)	巾3mmの平行沈線による対弧文。ボタン状貼付文。
P100	E1-40G Ⅷ層	深鉢	底部	良	にぶい黄緑	10YR7/3	φ1~3mmの小石	譚織C式(古)	巾3mmの平行沈線横位施文。
P101	E1-43G Ⅷ層	深鉢	口縁-胴部破片	普通	灰褐	7.5YR4/2	φ1~2mmの小石、 軽石粒	譚織C式(新)	巾3~4mmの平行沈線による口縁矢羽根文。胴部縦位区画。胴部縦位区画。矢羽根文。棒状、ボタン状貼付文。ボタン状貼付文に刺交。
P102	E1-42G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	譚織C式(新)	巾3mmの平行沈線による縦位区画縦文。棒状、ボタン状貼付文。
P103	E1-39G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい赤褐	5YR4/4	砂粒	下島式	地文横位の沈線。結節浮線による縦位区画と渦巻文。
P104	E1-39G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	砂粒	下島式	地文横位の沈線。胎土の異なる結節浮線による対弧文。ボタン状貼付文。
P105	E1-39G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	下島式	地文横位の沈線。胎土の異なる結節浮線による渦巻文。
P106	E1-39G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、白色粒	下島式	地文平行沈線横位施文。胎土の異なる結節浮線による渦巻文。
P107	E1-42G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	下島式	地文平行沈線横位施文。胎土の異なる結節浮線による渦巻文。
P108	E1-40G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	φ1mmの小石、軽石粒	大木5式	巾4mmの平行沈線による矢羽根文。粘土紐による波状文。ボタン状貼付文。
P109	E1-42G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR6/6	砂粒	大木5式	巾4mmの平行沈線による矢羽根文。粘土紐による波状文。ボタン状貼付文。
P110	E1-39G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	φ1~2mmの小石	下島式	巾3mmの平行沈線横位施文。口唇部に太めの粘土紐を貼り付け瓜形文刺交。棒状の結節浮線文。ボタン状貼付文。
P111	E1-37G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	暗赤褐	5YR3/6	砂粒、白色粒	下島式	地文横位の沈線。結節浮線による渦巻文。
P112	E1-42G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	灰褐	7.5YR4/2		大木5式	巾4mmの平行沈線による矢羽根状文。粘土紐波状に刺交。ボタン状貼付文。
P113	E1-40G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	良	暗赤褐	5YR3/6	砂粒、白色粒	下島式	巾4mmの平行沈線横位区画。結節浮線棒状に施文。
P114	E1-40G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石	譚織C・下島・大木式	巾2~3mmの平行沈線横位施文。結節浮線による縦位文。ボタン状貼付文。粘土紐による縦位文。114~117同一個体。
P115	E1-40G Ⅷ層	深鉢	破片	良	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	譚織C・下島・大木式	114~117同一個体。
P116	E1-42G Ⅷ層	深鉢	破片	良	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	譚織C・下島・大木式	114~117同一個体。
P117	E1-42G Ⅷ層	深鉢	破片	良	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	譚織C・下島・大木式	114~117同一個体。
P118	E1-45G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい褐	7.5YR6/3	砂粒、黒色粒	譚織C・大木・下島式	巾3mmの平行沈線横位施文。結節浮線による棒状貼付文。ボタン状貼付文。粘土紐縦面状に貼り付け。
P119	E1-42G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1~2mmの小石	下島式	巾3mmの平行沈線横位施文。結節浮線による棒状貼付文。ボタン状貼付文。内面スス付着。
P120	E1-42G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石多い	譚織C・下島・大木5式	巾2mmの平行沈線横位区画。結節浮線縦位施文。ボタン状貼付文。粘土紐による縦位文。
P121	Em-41G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	暗赤褐	5YR3/2	砂粒、白色粒多い	譚織C式(古)	波状口縁にボタン状貼付文。
P122	Eh-41G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	砂粒、黒色粒	譚織C式(古)	口唇に凹凸文。棒状の貼付文。縄文原形Lr。
P123	Em-39G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、黒色粒	譚織C式(古)	波頭部に突起。ボタン状貼付文。縄文原形Lr。
P124	E1-39G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	赤褐	2.5YR4/6	砂粒、黒色粒	譚織C式(新)	胴部に円形刺交されたボタン状刺交文。縄文原形Lr。
P125	E1-40G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	不良	明赤褐	2.5YR5/8	砂粒、黒色粒	譚織C式(新)	口唇に横位の波線。棒状、ボタン状貼付文。縄文原形Lr。
P126	En-44G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	不良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、白色粒	譚織C式(新)	口唇に竹管刺交例。棒状貼付文。縄文原形Lr。
P127	E1-40G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、黒色粒	譚織C式(古)	棒状、ボタン状貼付文。縄文原形Lr。
P128	Em-41G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	砂粒、黒色粒	譚織C式(古)	棒状貼付文。縄文原形Lr。
P129	E1-39G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	明赤褐	5YR5/8	砂粒、黒色粒	譚織C式(新)	縄文原形Lr。
P130	E1-39G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	細かい砂粒	譚織C式(新)	棒状貼付文。縄文原形Lr。
P131	E1-41G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、黒色粒	譚織C式(新)	棒状、ボタン状貼付文。縄文原形Lr。

第7章 V区の調査

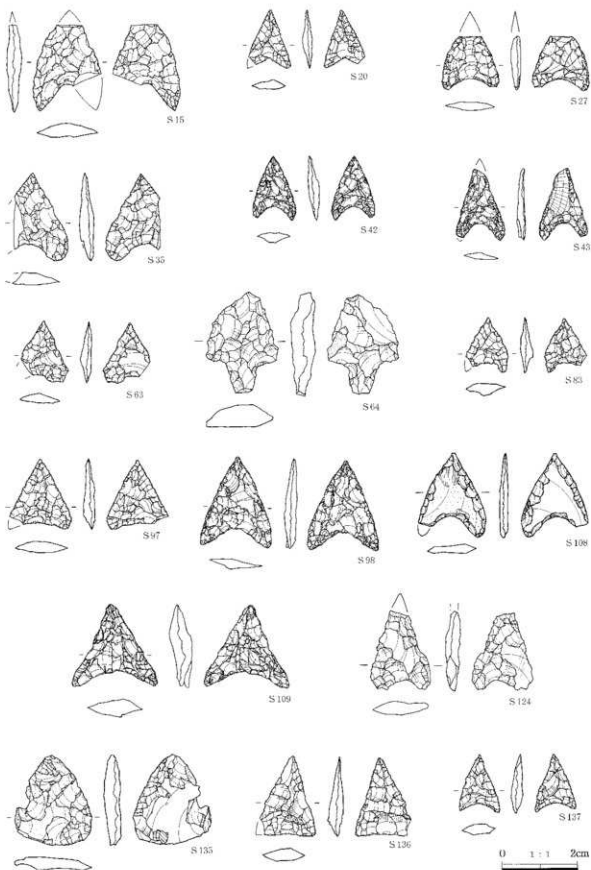
番号	出土位置	器種	残存状態	色 調		胎 土	分 類	文 様	
				構成	色 番				
P132	Ek-40G 甕層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	細かい砂粒	諾織c式(新)	棒状貼付文。縄文原形 RL。
P133	Ej-45G 甕層	深鉢	口縁	良	赤褐	5YR4/8	砂粒、黒色粒	諾織a式(新)	縄文原形 RL。
P134	Ej-42G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1~2mmの小石	諾織b式(中2)	波状口縁3単位の突起。刷毛状の工具による押痕。
P135	Eo-40G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒	諾織b式(中2)	波状口縁頂部側縁に粘土層貼付。縄文原形 RL。
P136	Ei-39G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	赤褐	5YR4/8	φ1~2mmの小石	諾織a式	原体端部結節。縄文原形 RL。
P137	Ej-40G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/3	砂粒、小石	諾織a式	原体端部結節。縄文原形 RL。
P138	En-40G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	明黄褐	10YR7/6	砂粒、黒色粒	諾織b式(中2)	縄文原形 RL。
P139	Ej-40G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR6/3	砂粒、黒色粒	諾織b式(中2)	巾3~4mmの浅い平行波線横位施文。
P140	Ek-37G 甕層	深鉢	底部	普通	にぶい赤褐	5YR5/4	φ1~2mmの小石	諾織b式(中2)	無文。
P141	Ek-40G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/4	砂粒、黒色粒	諾織b式(中2)	縄文原形 RL。
P142	En-43G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR6/4	砂粒	諾織b式	縄文原形 RL。
P143	En-43G 甕層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	5YR5/6	砂粒、黒色粒	諾織b式(中)	原体に結実している。縄文原形 RL、Lr。
P144	En-40G 甕層	深鉢	底部	普通	明赤褐	5YR5/8	φ1mmの小石、白色粒	諾織b式(中)	縄文原形 RL。
P145	Em-41G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄褐	10YR4/3	砂粒	浮島II式	口縁部貝殻敷縁による横位の連続刷突。胴部には貝殻敷縁によるロッキング。
P146	Ek-38G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	褐	7.5YR4/6	φ1~2mmの小石	浮島II式	変形爪形文による文様施文。
P147	Ek-41G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい黄橙	10YR7/4	砂粒、黒色粒	興津1式	口唇に斜めの条線。巾18mmの変形爪形文。平行波線による変形文。
P148	Em-38G 甕層	深鉢	口縁破片	良	明黄褐	10YR7/6	砂粒	浮島II式	巾10mmの変形爪形文と斜位の波線。
P149	Ei-38G 甕層	深鉢	口縁破片	不良	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒、粗石粒多い	浮島式	爪形文横位施文。
P150	Ek-41G 甕層	深鉢	口縁破片	良	にぶい橙	7.5YR7/4	砂粒	浮島田式	口唇に横位の刷突列。口縁に横位の押し引き波線と平行波線文。
P151	Ej-31G 甕層	深鉢	口縁破片	良	浅黄橙	10YR6/4	砂粒	浮島田式	口唇に斜位の条線。巾12mmの変形爪形文。
P152	Ek-37G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1~2mmの小石、粗石粒	興津II式	凹凸文。
P153	Ek-37G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR7/6	φ1~3mmの小石	興津II式	凹凸文。
P154	Em-45G 甕層	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	砂粒	興津II式	横位の凹凸文。
P155	Ek-39G 甕層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	興津II式	横位の凹凸文。
P156	Ek-39G 甕層	深鉢	胴部破片	良	灰褐	5YR4/2	砂粒	興津II式	凹凸文。貝殻敷縁文。波線文。
P157	Ej-37G 甕層	深鉢	口縁破片	良	浅黄橙	10YR8/3	砂粒	浮島田式	口唇に条線。貝殻敷縁によるロッキング。
P158	Eo-40G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	φ1mmの小石	興津II式	横位の凹凸文。補修孔。
P159	Ek-39G 甕層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	興津II・大木5式	横位の凹凸文。波線による刷突文。
P160	Em-43G 甕層	深鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	砂粒	興津II・諾織c式(新)	口縁に4段の凹凸文。平行波線横位施文。凹形貼付文。
P161	Ei-39G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	興津II式	凹凸文。
P162	Ek-39G 甕層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	5YR5/6	砂粒、黒色粒	興津II式	凹凸文。
P163	Ek-39G 甕層	深鉢	胴部破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、黒色粒	興津II式	横位の凹凸文。
P164	Ek-36G 甕層	深鉢	底部破片	普通	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、粗石粒	興津II式	横位の凹凸文。
P165	Ek-39G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	折り返し口縁。縄文原形 LR。
P166	Em-44G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	折り返し口縁。原体結実。縄文原形 RL、LR。

## 第2節 V区遺構外

番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P167	Ek-40G 甕層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	大木5式	折り返し口縁。縄文原体 RL, LR.
P168	EI-44G 甕層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	大木5・諸織c	折り返し口縁、ボタン状付文。粘土細貼付による副文。縄文原体 RL.
P169	EI-40G 甕層	深鉢	破片	普通	明赤褐	5YR5/6	φ1~2mmの小石	前期後半	縄文原体 RL.
P170	EI-40G 甕層	深鉢	口縁	普通	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、黒色粒	大木5式	粘土細貼付による副文。縄文原体 RL.
P171	Ek-29G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	灰褐	5YR4/2	砂粒、黒色粒	前期後半	口唇に凹凸文。縄文原体 Lr.
P172	Ek-39G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい橙	7.5YR7/3	砂粒、黒色粒	大木5式	口縁肥厚する。粘土細貼付による副文。縄文原体 RL, LR.
P173	Ek-36G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/3	砂粒、黒色粒	大木5式	口縁肥厚する。粘土細貼付による副文。縄文原体 RL, LR.
P174	Ej-37G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	φ1~2mmの小石、 粒石粒	大木5式	折り返し口縁。粘土細貼付による副文。縄文原体 RL.
P175	Ek-40G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	口縁肥厚。粘土細貼付による副文。原体結束。縄文原体 LR, RL.
P176	Ek-29G 甕層	深鉢	胴部破片	不貞	橙	5YR6/6	砂粒	大木5式	粘土細貼付による副文。縄文原体 RL.
P177	Ek-42G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	明黄褐	10YR7/6	砂粒	大木5式	粘土細貼付による副文。縄文原体 RL.
P178	Ek-42G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	粘土細貼付による副文。縄文原体 RL.
P179	Ek-40G 甕層	深鉢	胴部破片	不貞にぶい黄橙	10YR6/4	砂粒、黒色粒	大木5・諸織c	細い粘土細貼付による副文。ボタン状付文。原体結束。縄文原体 RL, LR.	
P180	Em-40G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5・諸織c	粘土細貼付による副文。ボタン状付文。縄文原体 RL.
P181	Ek-42G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄橙	10YR5/4	砂粒、黒色粒	大木5・諸織c	粘土細貼付による副文。ボタン状付文。縄文原体 RL.
P182	Ek-40G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	細い粘土細貼付による副文。原体結束。縄文原体 RL, LR.
P183	Ek-39G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	にぶい黄褐	10YR5/4	砂粒、黒色粒	大木5式	粘土細貼付による副文。縄文原体 RL, LR.
P184	Ek-40G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	黒褐	10YR3/1	砂粒、白色粒	大木5・諸織c	粘土細貼付による副文。ボタン状付文。縄文原体 RL.
P185	Em-42G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	大木5式	粘土細貼付による副文。縄文原体 RL.
P186	EI-43G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	灰黄褐	10YR4/2	砂粒	大木5式	粘土細貼付による副文。縄文原体 RL.
P187	Ek-42G 甕層	深鉢	口縁破片	不貞にぶい黄橙	10YR7/4	砂粒	大木5式	粘土細貼付による副文。縄文原体 LR.	
P188	Ek-40G 甕層	深鉢	胴部破片	普通	灰褐	7.5YR4/2	砂粒	大木5式	粘土細貼付による副文。縄文原体 Lr.
P189	Ek-43G 甕層	深鉢	胴部破片	不貞にぶい黄橙	10YR7/4	砂粒、黒色粒	大木5式	粘土細貼付による副文。縄文原体 LR.	
P190	Ej-40G 甕層	有孔浅鉢	口縁 口・(17.3) 高・11.2残	普通	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸織b式(中)	φ6mmの孔列。無文。外面横位のナナ整形。
P191	Ek-41G 甕層	有孔浅鉢	口縁破片	良	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	諸織b式(中2)	φ5mmの孔列が口縁に廻る。外面横位のナナ整形。
P192	Eo-40G 甕層	有孔浅鉢	口縁破片	良	浅黄橙	10YR6/3	砂粒	諸織b式(中2)	φ5mmの孔列が口縁に廻る。外面横位のナナ整形。
P193	Eq-37G 甕層	有孔浅鉢	破片	良	橙	5YR6/6	φ1~2mmの小石	諸織b式(中2)	口縁に大きなさのうろを持つ。肩部に縦位の隆線。
P194	Ek-45G 甕層	有孔浅鉢	破片	良	にぶい橙	5YR6/4	砂粒、白色粒	諸織b式(中2)	口縁に2条の矢羽状の筋みを持つ浮線が廻る。間にφ3mmの孔が廻る。
P195	Ek-36G 甕層	有孔浅鉢	破片	良	にぶい橙	7.5YR6/4	φ1~2mmの小石	諸織b式(中2)	口縁部にφ5mmの孔列。
P196	Em-49G 甕層	浅鉢	口縁~底部 破片	良	浅黄橙	10YR8/4	砂粒、黒色粒	諸織c式	無文。
P197	Ek-38G 甕層	浅鉢	破片	良	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒	北白川下層Hc 式	浮線による縦線、梯子状文様。外側ベンガラ付着。
P198	Ek-38G 甕層	浅鉢	底部破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒、白色粒	諸織b式	外側ベンガラ付着。
P199	Eh-29G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	明赤褐	5YR5/8	砂粒、粒石粒	諸織b式(中)	口唇に縦面を表現した頭部を乗せる。
P200	Eo-39G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒、黒色粒	諸織b式(中1)	波状口縁の頂部を頭にし、側縁に目・鼻・口を表現した粘土層を貼付。
P201	EI-38G 甕層	深鉢	口縁破片	普通	にぶい黄橙	10YR7/3	砂粒、黒色粒	諸織b式(中)	口唇に縦面を表現した頭部を乗せる。縄文原体 RL.

第7章 V区の調査

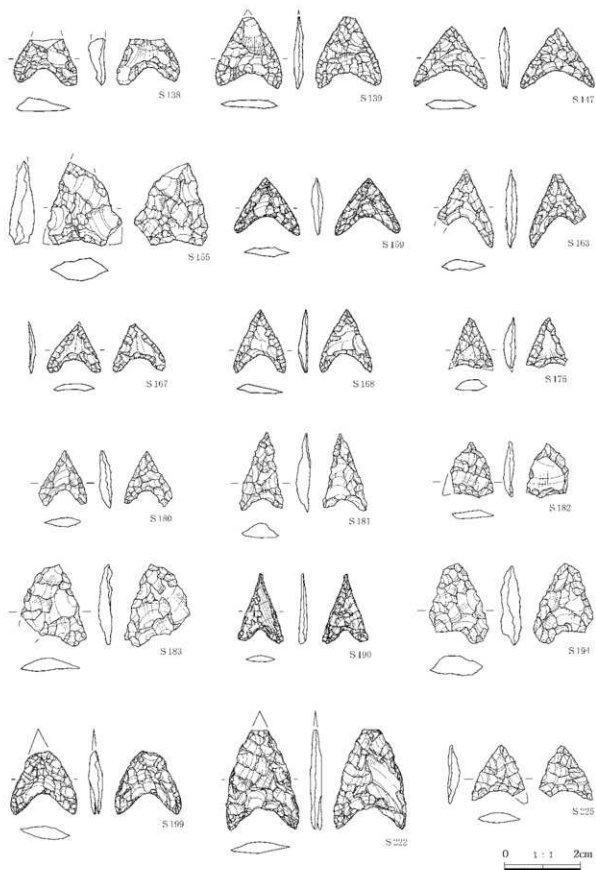
番号	出土位置	器種	残存状態	焼成	色調		胎土	分類	文様
					色	番号			
P202	Ek-43G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	赤褐色	10YR7/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中)	口唇に縦溝を表現した肩部を乗せる。
P203	Ek-38G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	赤褐色	10YR4/3	砂粒	諸磯b式(中)	波状口縁部を肩部にし、胴部に鼻・口を貼付する。
P204	Ek-40G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒	諸磯b式(中)	口縁部側縁に縦溝を表現した肩部を貼付する。
P205	El-41G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	赤褐色	5YR5/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中)	口縁部側縁に縦溝を表現した肩部を貼付する。
P206	El-42G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒	諸磯b式(中)	口縁部側に目・鼻・口を表現した粘土層を貼付する。
P207	Ek-42G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒、粒石粒	諸磯b式(中2)	波状口縁部縁に粘土層を貼付して縦溝を表現する。
P208	Ek-38G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	不良	浅黄橙	10YR8/4	砂粒	諸磯b式(中)	口唇に縦溝を表現した肩部を乗せる。
P209	Ek-38G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	浅黄橙	10YR8/4	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中)	口縁部側縁に縦溝を表現した肩部を貼付する。
P210	Ek-36G	土製品	破片	良	橙	5YR6/6	砂粒、黒色粒	前期	縦溝を表現している。底面あるいは腹を模しているかもしれない。
P211	Ek-38G Ⅷ層	土偶	面部	普通	橙	7.5YR6/6	砂粒、黒色粒	前期	隆起により肩部を表現し、鼻にあたる部分には小さな孔が2つあけられている。
P212	El-37G Ⅷ層	ミニチュア土器	破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒	諸磯	手捏ね土器。深鉢形。
P213	El-37G Ⅷ層	ミニチュア土器	破片	良	灰褐	7.5YR4/2	砂粒	諸磯	手捏ね土器。椀形。
P214	El-42G Ⅷ層	ミニチュア土器	破片	良	橙	5YR6/6	砂粒、粒石粒	諸磯	手捏ね土器。深鉢形。
P215	Ek-38G Ⅷ層	耳飾り	破片	普通	橙	7.5YR7/6	砂粒、粒石粒	前期	無文。滑車形。
P216	Ek-38G Ⅷ層	耳飾り	破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒	前期	無文。滑車形。
P217	En-43G Ⅷ層	耳飾り	破片	普通	橙	5YR6/6	砂粒	諸磯	土製の塊状耳飾り。
P218	Ek-37G Ⅷ層	耳飾り	破片	良	橙	7.5YR6/8	砂粒	諸磯	土製の塊状耳飾り。
P219	Eq-38G Ⅷ層	土製円盤	破片	普通	明黄褐	10YR7/6	砂粒、黒色粒	諸磯b式(中2)	外縁打ち欠き成形。矢羽状の刻みを持つ縁線による文様施文。
P220	En-43G Ⅷ層	土製円盤	破片	普通	灰	5Y4/1	砂粒	諸磯	底面を転用。外縁打ち欠き成形。
P221	Ek-37G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	橙	2.5YR6/6	砂粒	前期末	深鉢形手。平行沈線による縦施文。
P222	El-42G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	灰褐	7.5YR4/2	砂粒、粒石粒	十三善院式	巾2mmの平行沈線による縦施文。
P223	Ek-39G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	赤褐色	5YR6/3	砂粒	十三善院式	口縁部厚させ三角に斜め縦施文にする。平行沈線を集合させ横位や弧線を描く。文様間に印刻。
P224	El-40G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	十三善院式	口縁部厚させ三角に斜め縦施文にする。平行沈線を集合させ横位や弧線を描く。
P225	Ek-40G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	十三善院式	結節沈線による縦位、縦位区画。縦施文。文様間に三角印刻。
P226	Ek-39G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	灰褐	7.5YR4/2	φ1~2mmの小石	十三善院式	口縁折り返しを肥厚する。平行沈線を集合させ横位区画、区画内縦施文。三角印刻。櫛状把手。
P227	En-38G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	赤褐色	5YR5/4	砂粒、黒色粒	大木5b式	口縁折り返しを肥厚させる。三角の刻みを加え縦施文にする。縦文主体LR様。
P228	Ek-39G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	赤褐色	5YR6/4	細かい砂粒	十三善院式	口唇に平行沈線による縦施文と印刻。口縁に沿って平行沈線が通る。弧線文、渦巻文。文様間に印刻。
P229	Ek-39G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	赤褐色	7.5YR7/4	砂粒、黒色粒	十三善院式	沈線による横位の区画。細い竹管を並べて連続して彫形文を施文。文様中に縦長の印刻。
P230	Ek-37G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	橙	2.5YR6/6	φ1~2mmの小石	十三善院式	口唇部に結節沈線による文様区画と縦施文。棒状の貼付文。
P231	El-38G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	良	明赤褐	2.5YR5/6	砂粒、黒色粒	下島式	地文横位の沈線。結節沈線による渦巻文。口縁部に粘土層貼付。
P232	Ek-39G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	赤褐色	10YR5/4	砂粒、白色粒	十三善院式	平行沈線を集合させ渦巻、変形文を作る。沈線には刻み。文様間に印刻。
P233	Ek-39G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	良	橙	7.5YR7/6	砂粒、黒色粒	十三善院式	平行沈線を集合させ横位区画、区画内三角文。文様間に三角印刻。
P234	El-37G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	普通	赤褐色	10YR7/4	砂粒、黒色粒	十三善院式	胴部に隆線3条を廻らす。全体に巾2mm以下の市川彫り彫形文を並べて、密に施文。
P235	Ek-39G Ⅷ層	深鉢	胴部破片	良	橙	5YR6/6	砂粒、白色粒	十三善院式	平行沈線を集合化させて矢羽状文を施文。
P236	Eq-38G Ⅷ層	深鉢	口縁破片	普通	橙	7.5YR6/6	φ1mmの小石、粒石粒	阿玉白式	口唇に縦位の輪線痕を残す隆線。口縁部内横位区画。区画内押し引きの縦施文。
P237	Eq-38G Ⅷ層	深鉢	口縁+胴部	普通	橙	7.5YR7/6	φ1~2mmの小石、粒石粒	後期	口唇に輪線痕。前面による整形取手。外面スス付着。



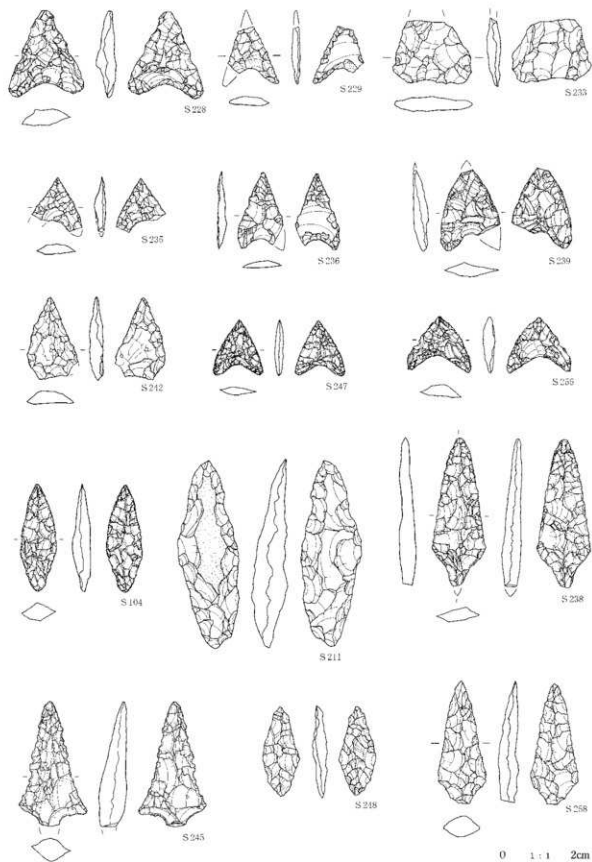
第7章第37図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(1)



第7章 V区の調査

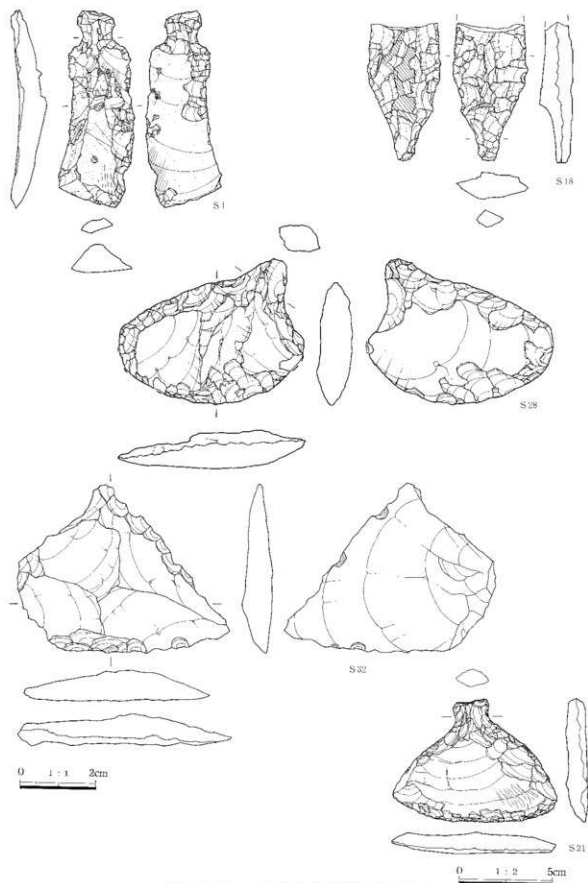


第7章第38図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(2)

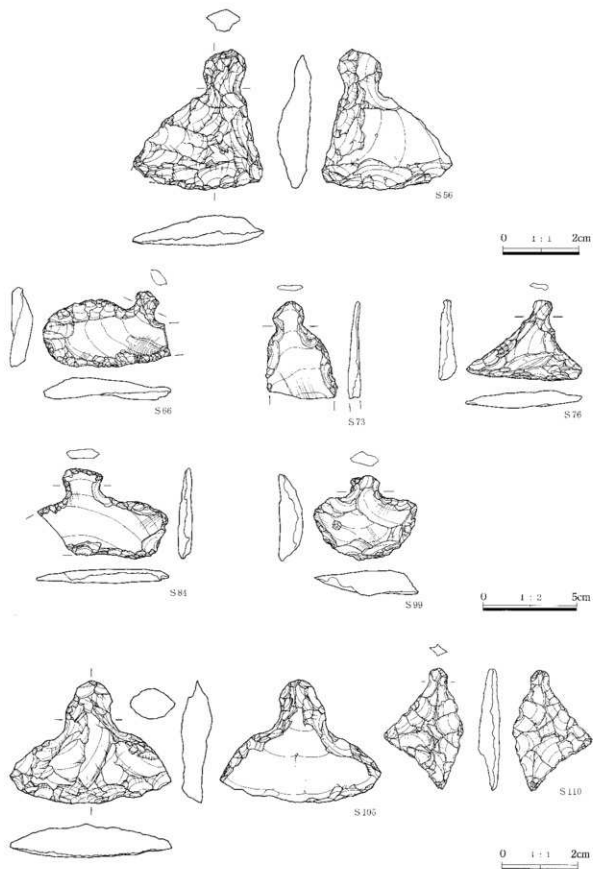


第7章第39図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(3)

第7章 V区の調査

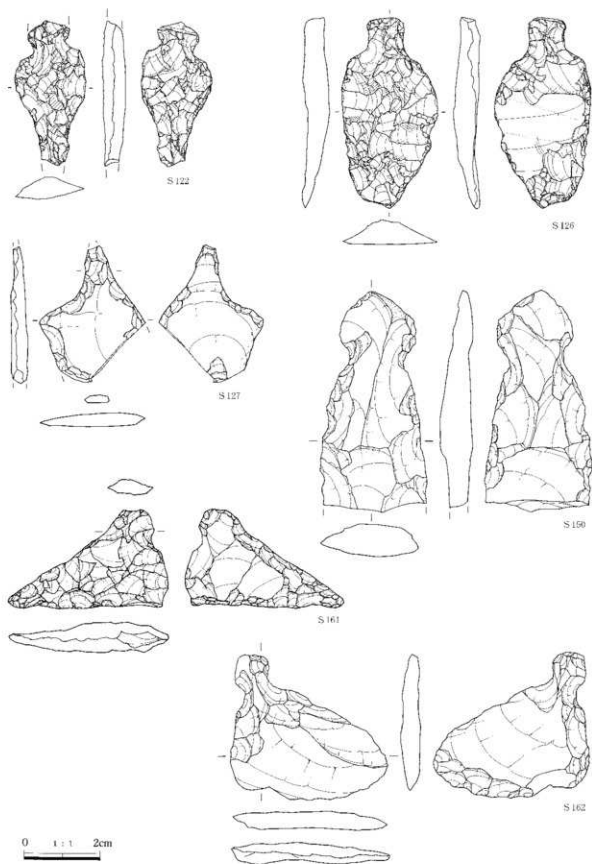


第7章第40図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(4)

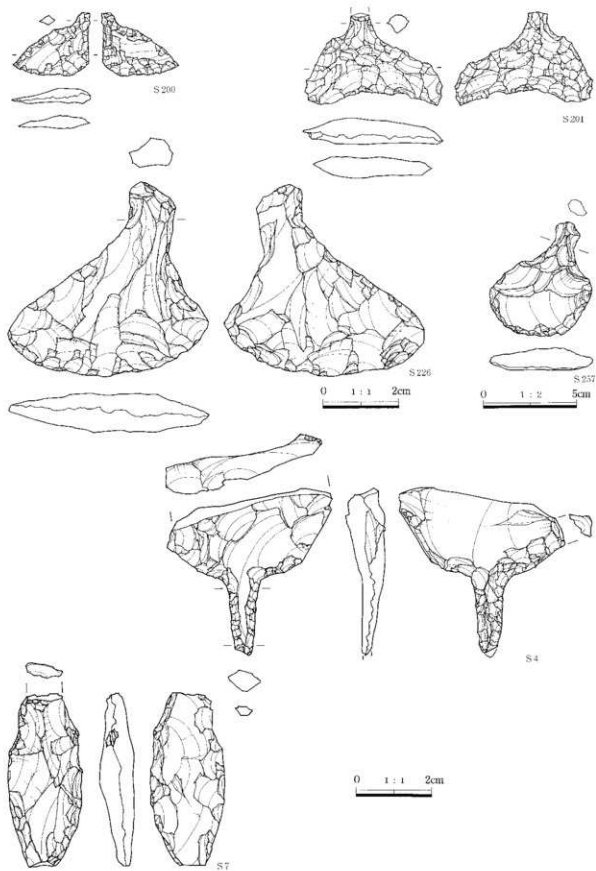


第7章第41図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(5)

第7章 V区の調査

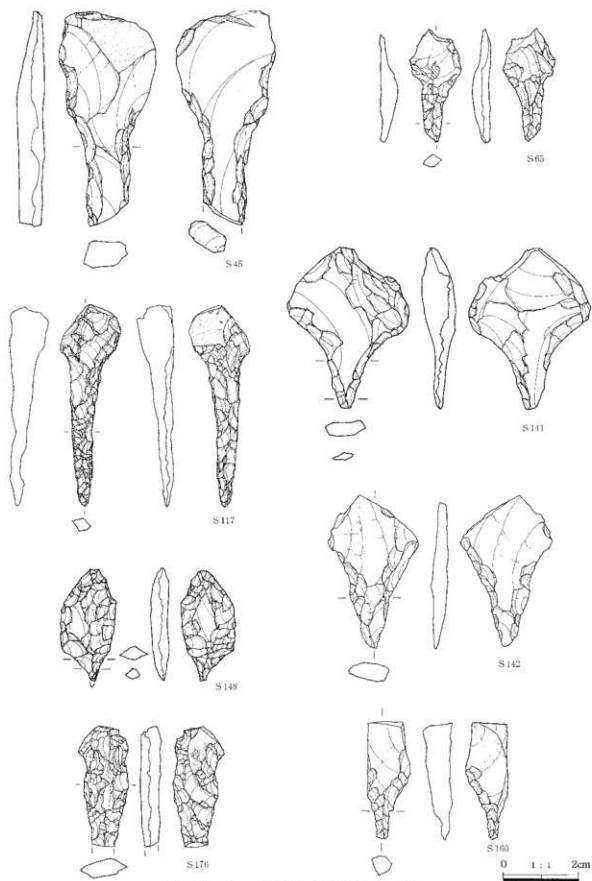


第7章第42図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(6)

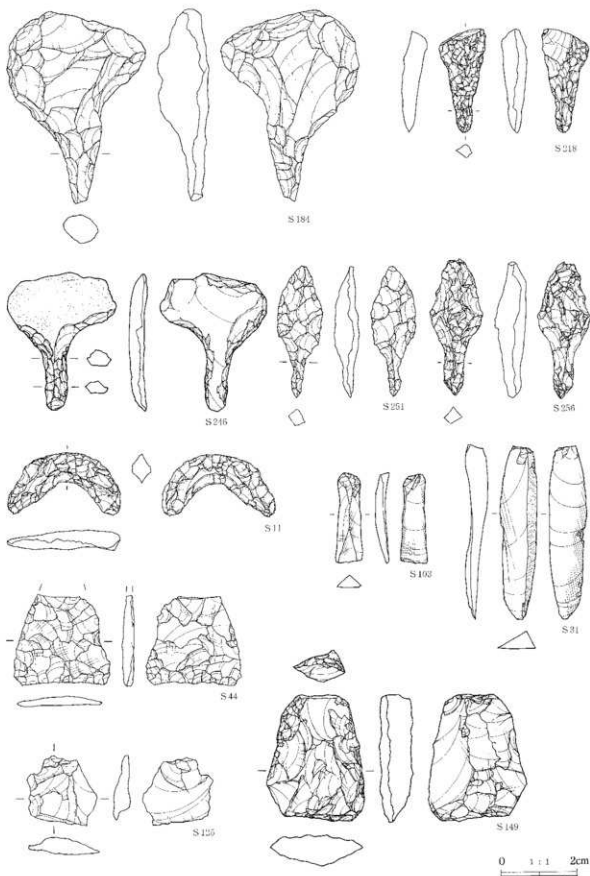


第7章第43図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(7)

第7章 V区の調査



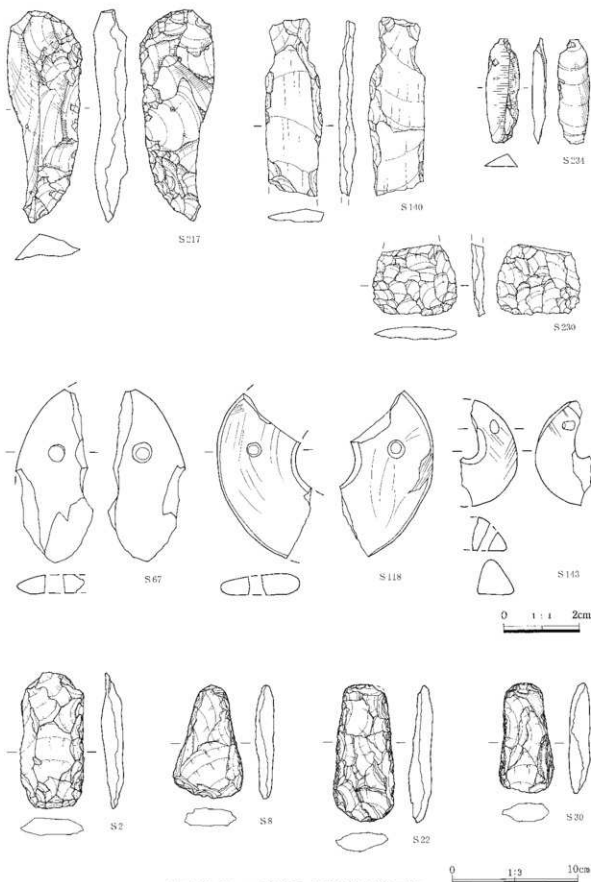
第7章第44図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器⑧



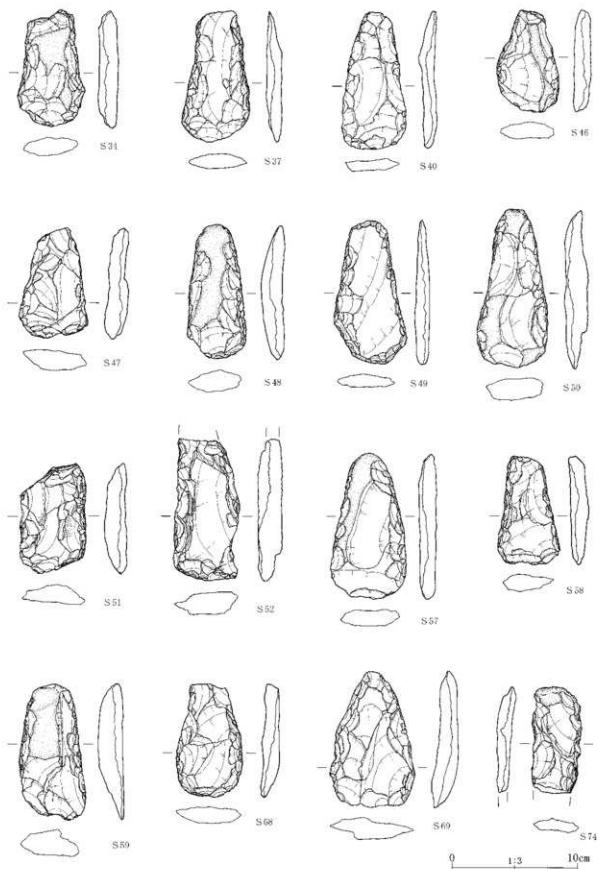
第7章第45図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器9)



第7章 V区の調査

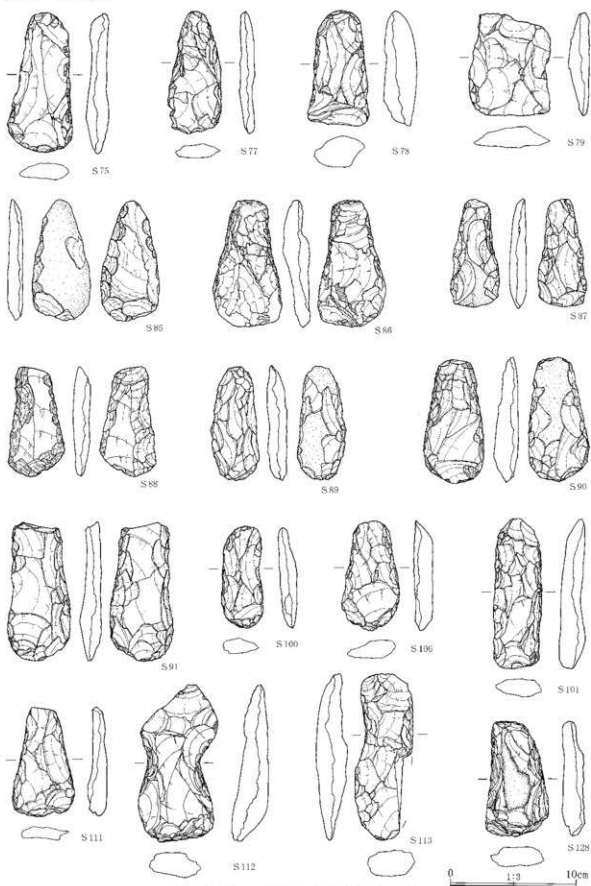


第7章第46図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器10

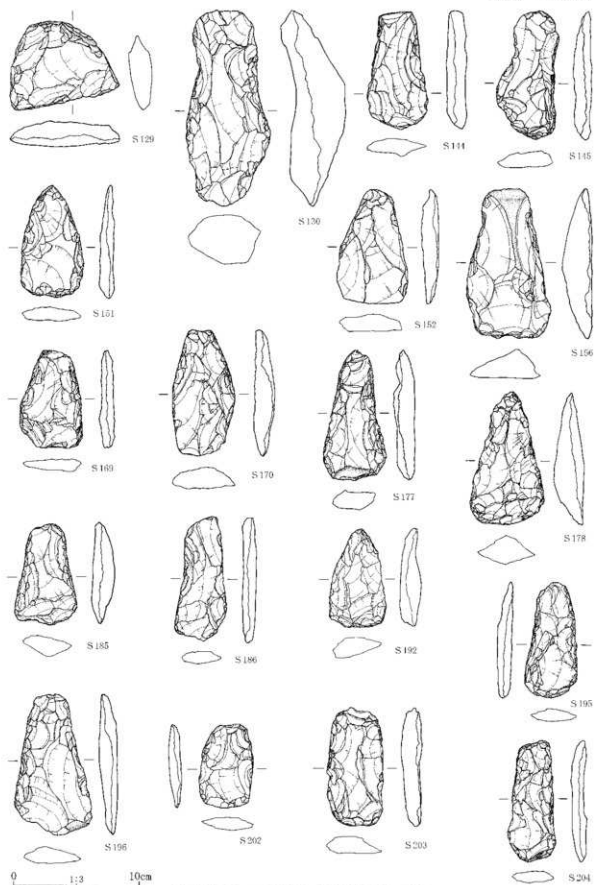


第7章第47図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器11

第7章 V区の調査

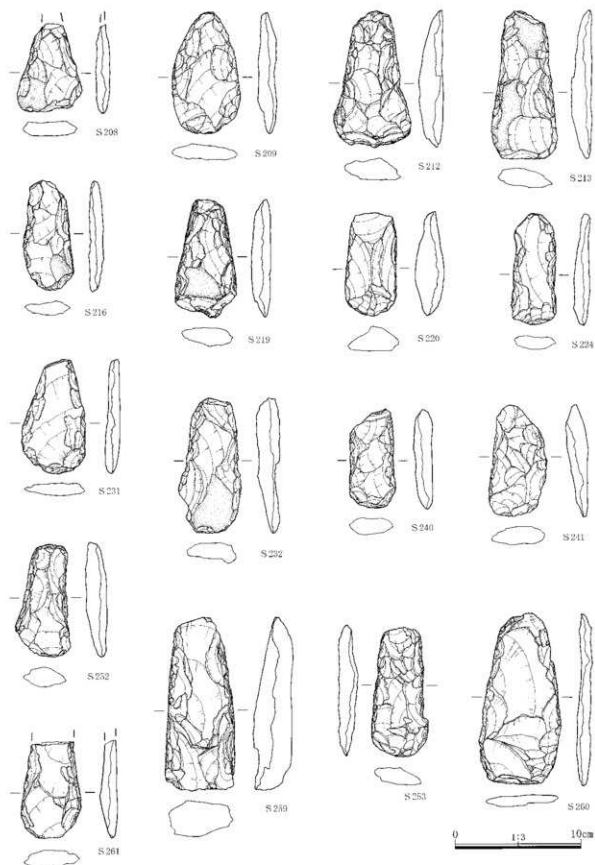


第7章第48図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器⑫

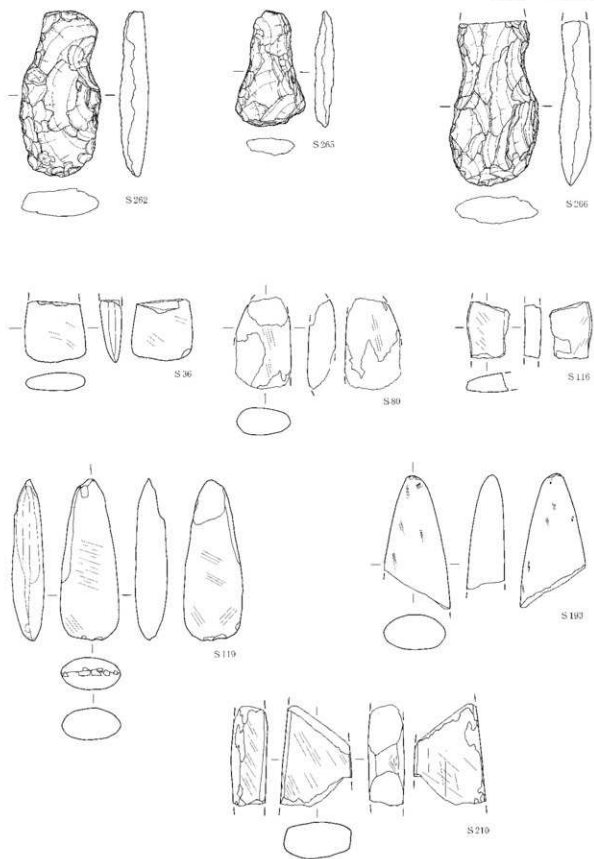


第7章第49図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器13

第7章 V区の調査

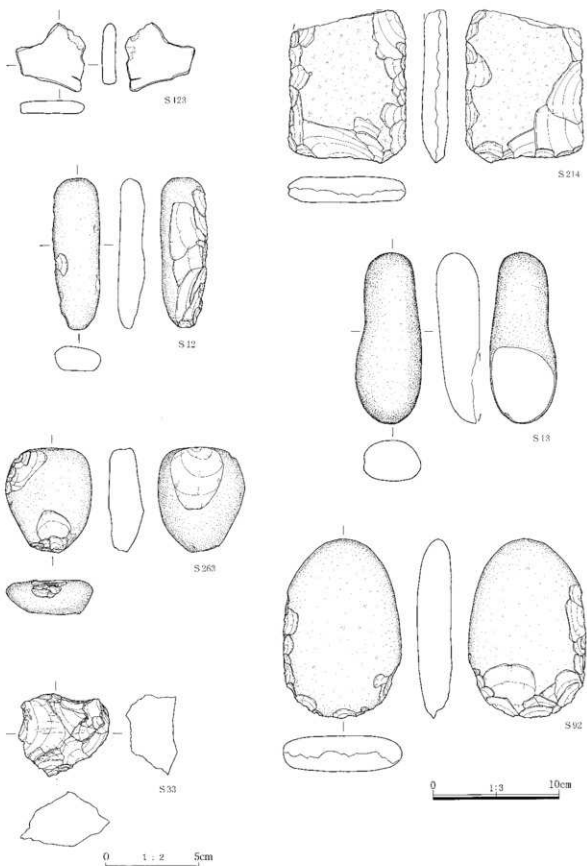


第7章第50図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器16

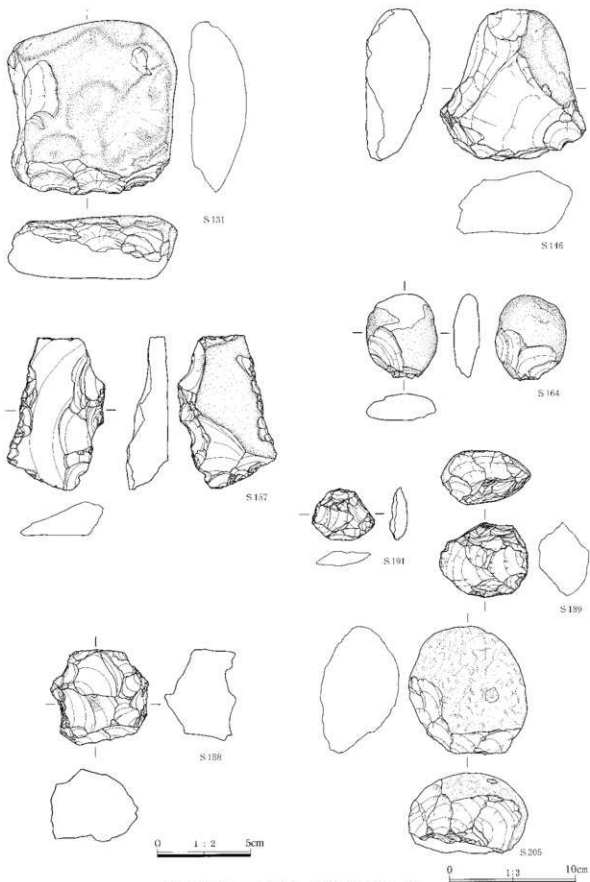


第7章第51図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器15

第7章 V区の調査



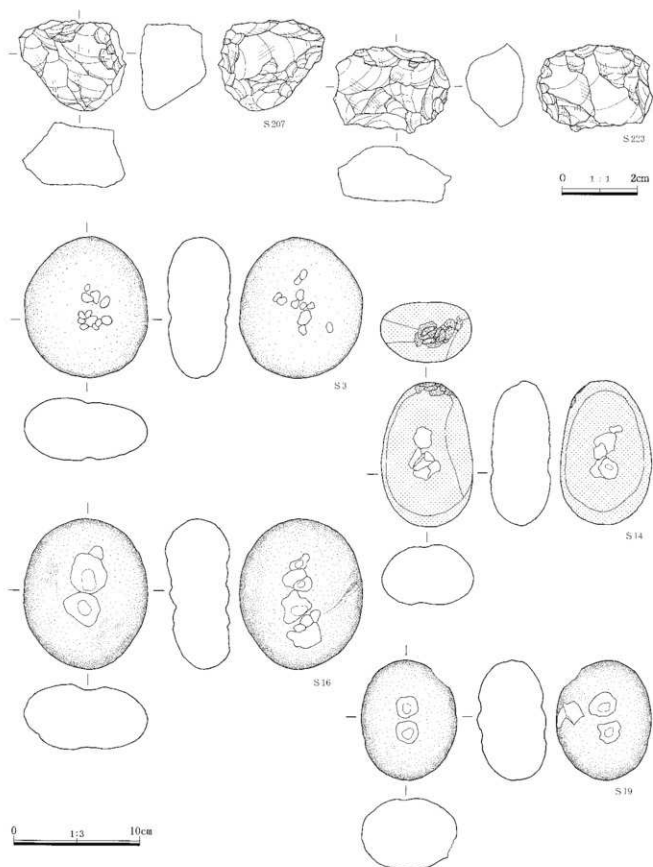
第7章第52図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器16



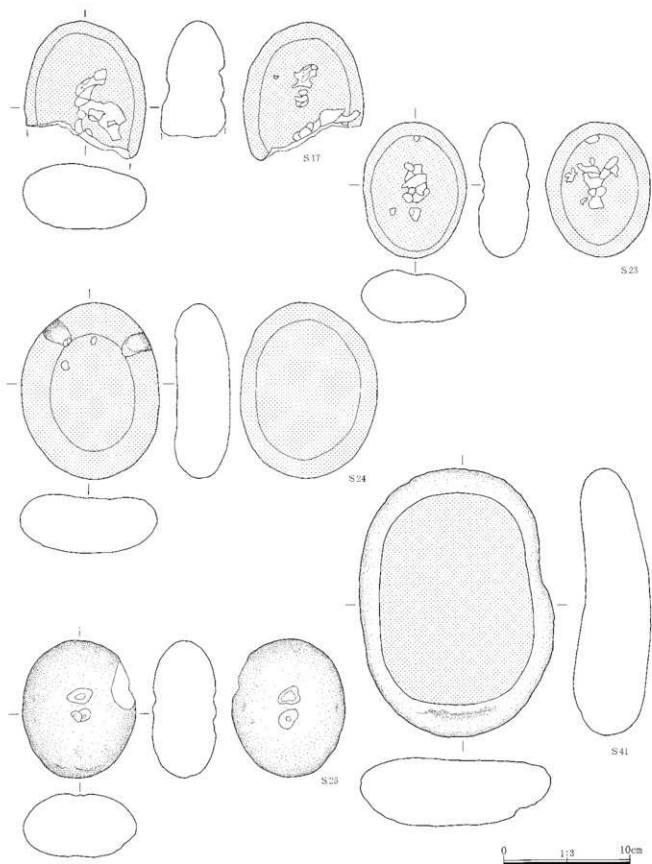
第7章第53図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器(7)



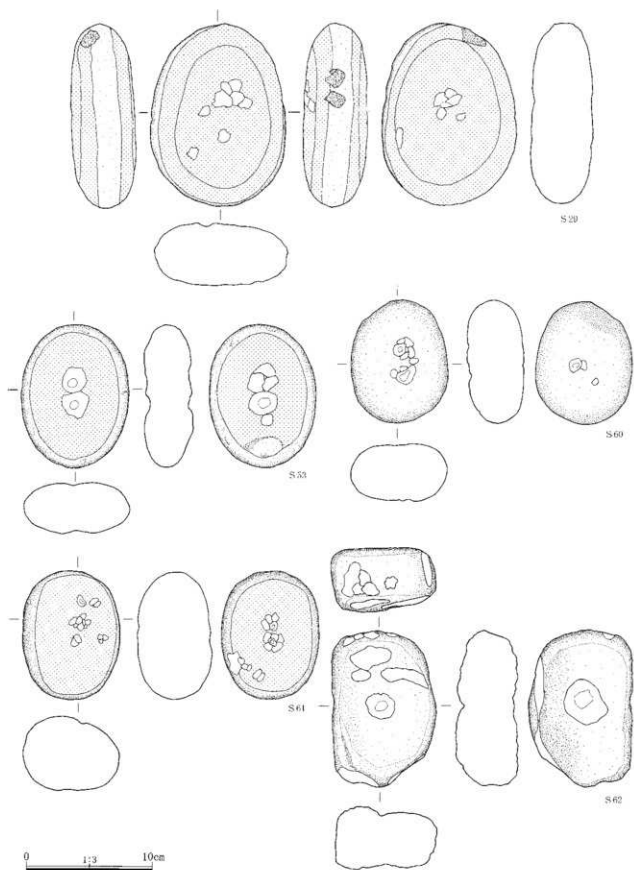
第7章 V区の調査



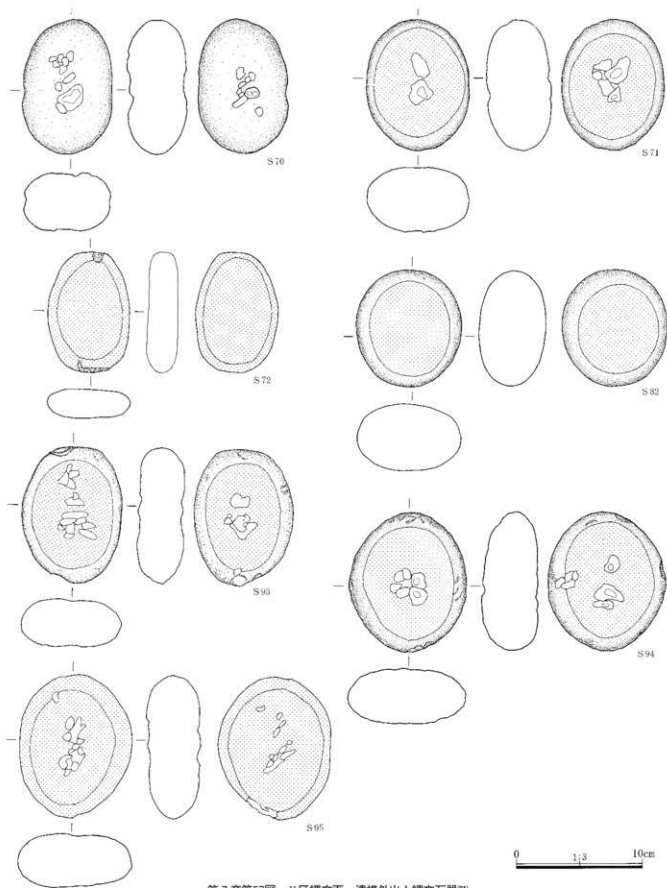
第7章第54図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器18



第7章第55図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器19

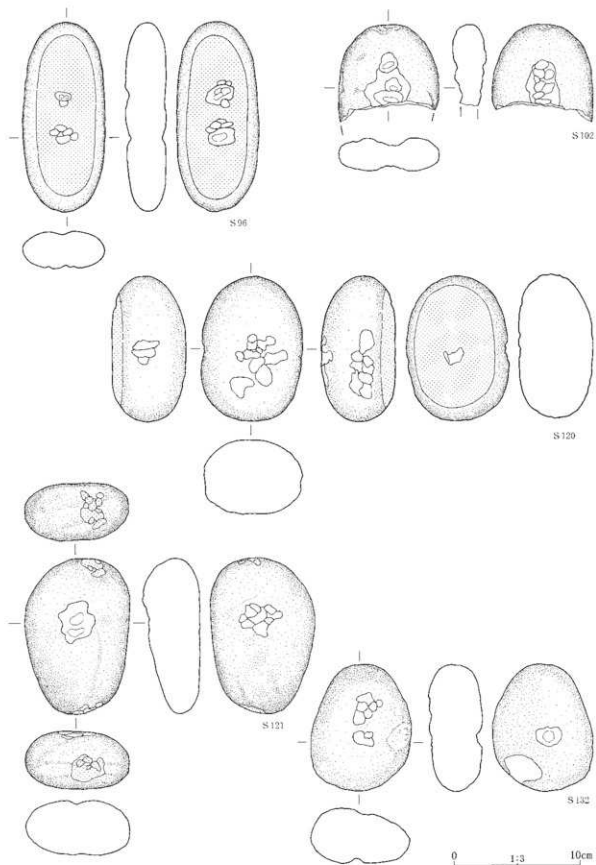


第7章第56図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器20

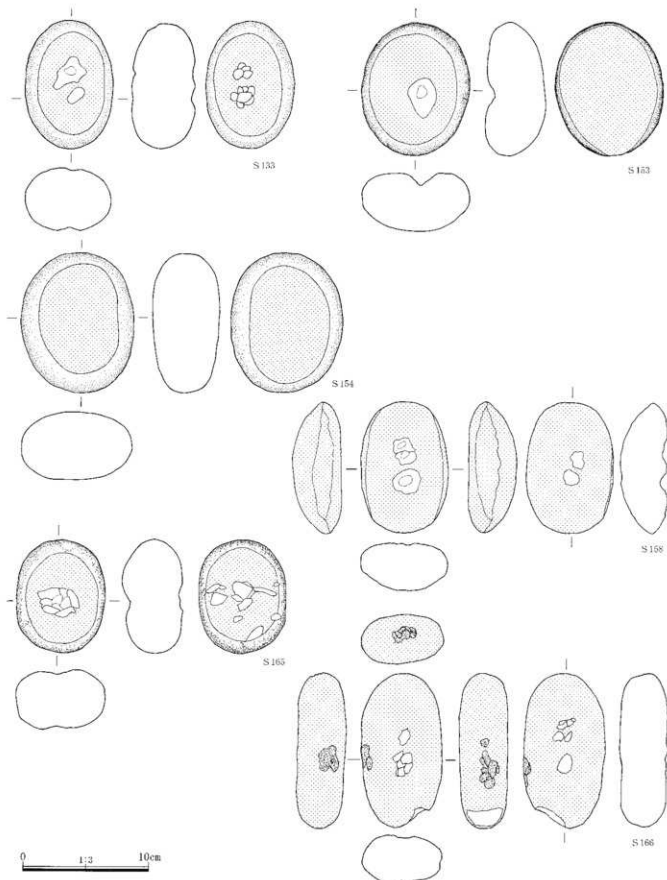


第7章第57図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器2D

第7章 V区の調査

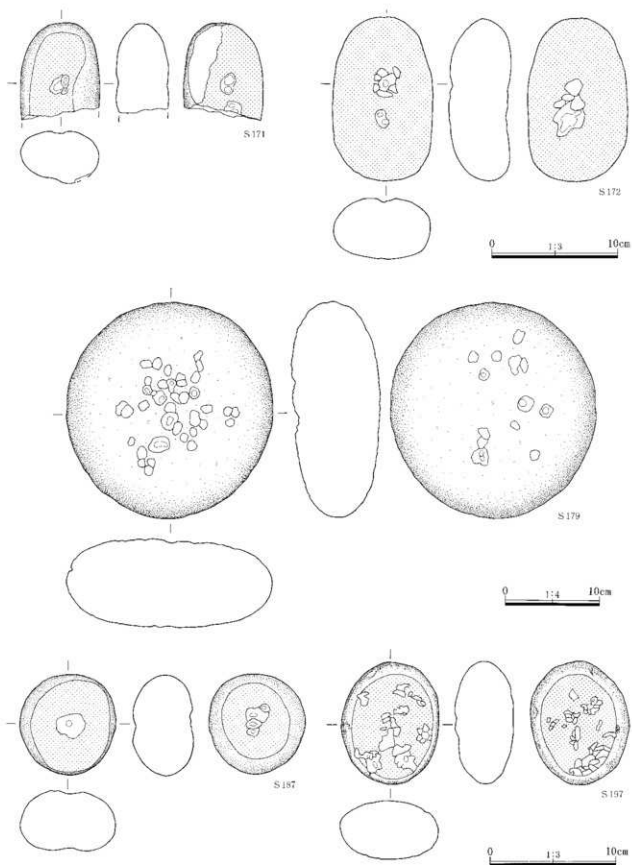


第7章第58図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器22

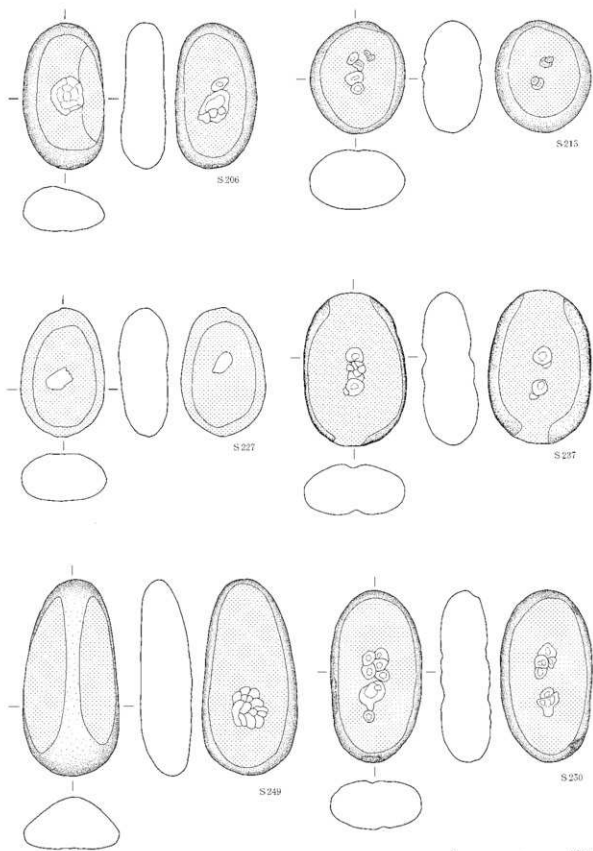


第7章第59図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器23

第7章 V区の調査



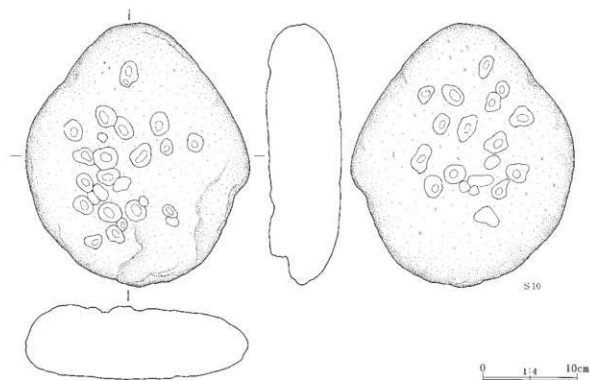
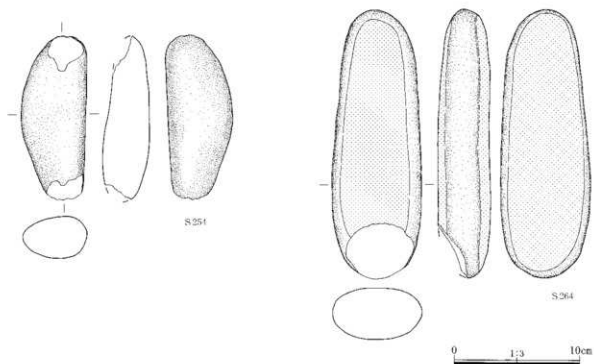
第7章第60図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器24



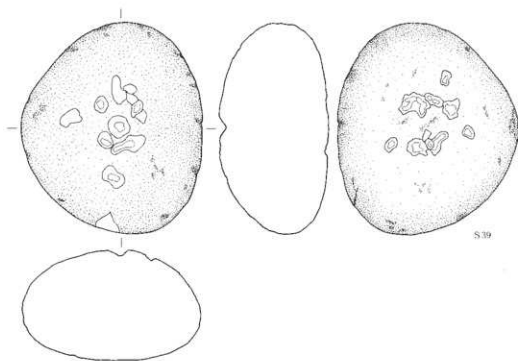
第7章第61図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器25



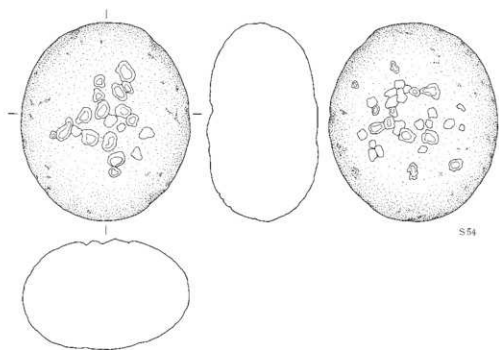
第7章 V区の調査



第7章第62図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器26



S39

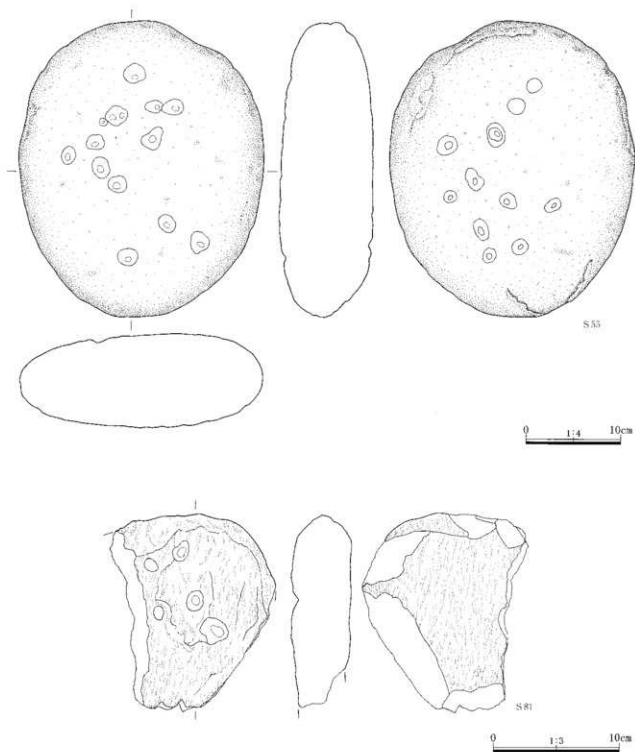


S54

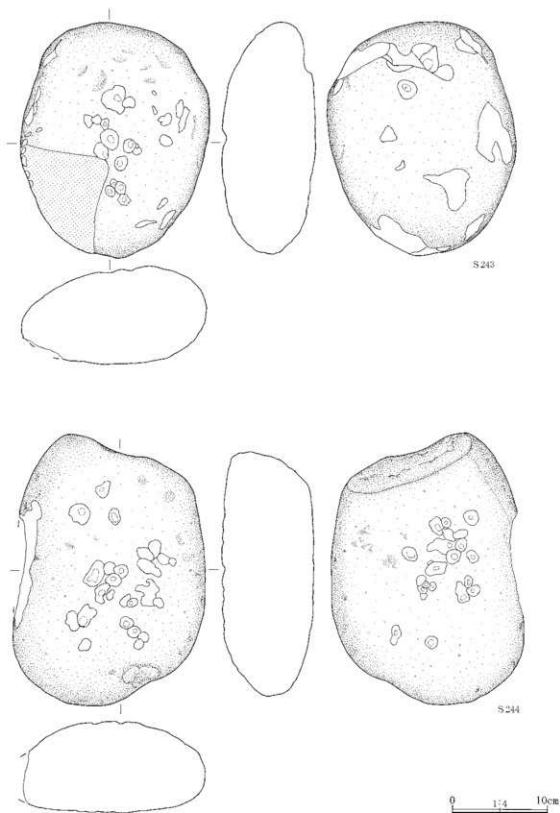
0 1:4 10cm

第7章第63図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器2)

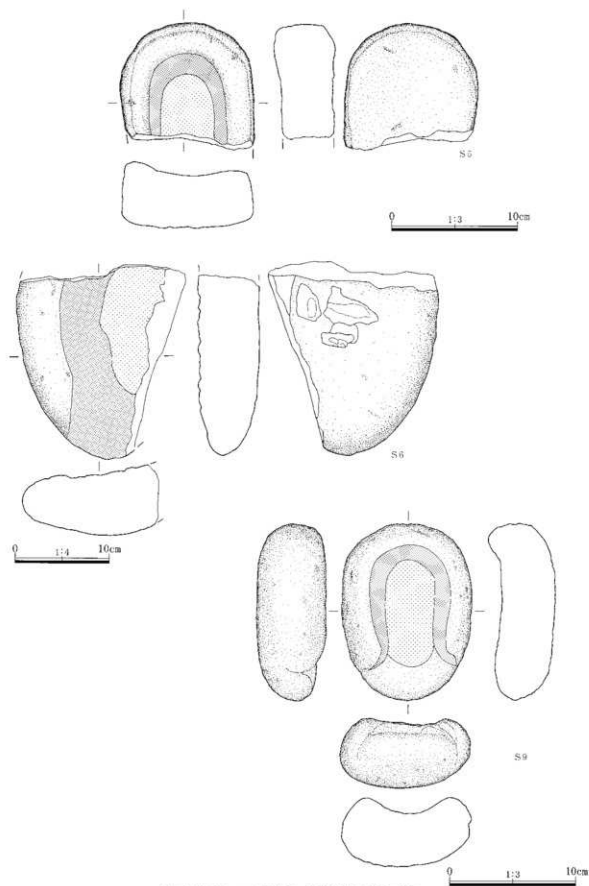
第7章 V区の調査



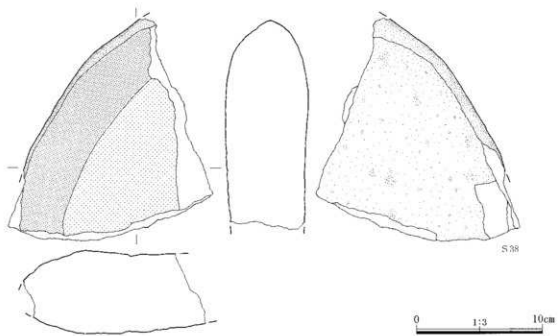
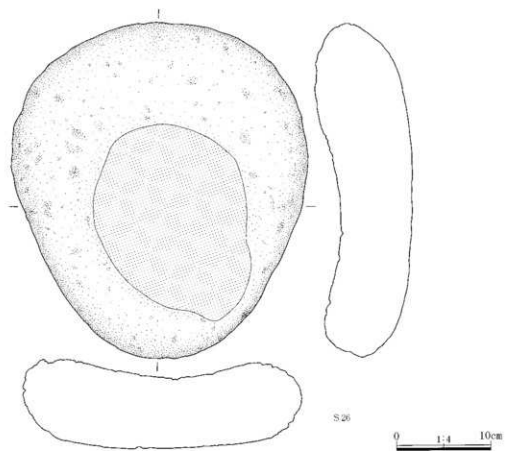
第7章第64図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器28



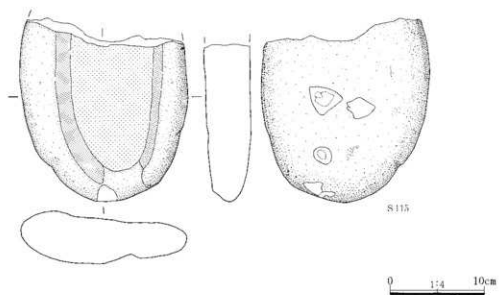
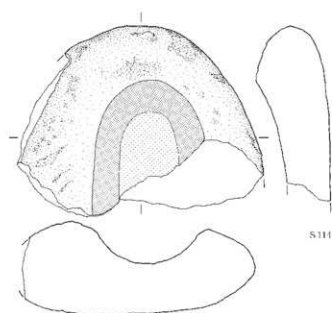
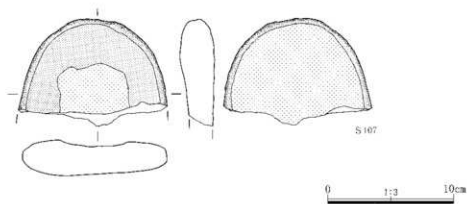
第7章第65図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器29



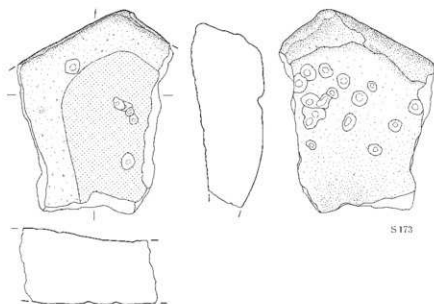
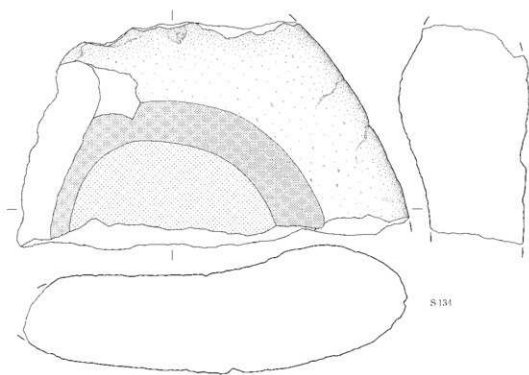
第7章第66図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器30



第7章第67図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器30



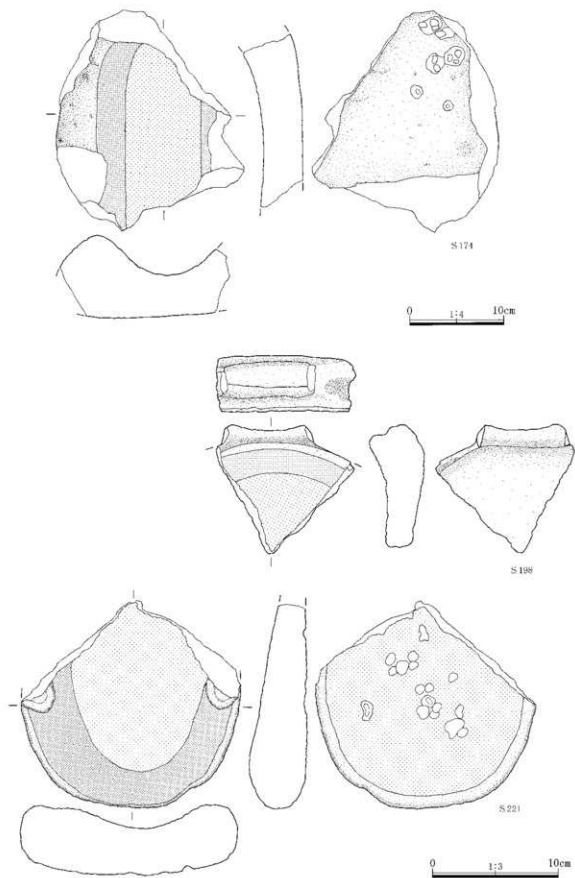
第7章第68図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器32



0 1:4 10cm

第7章第69図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器33





第7章第70図 V区縄文面 遺構外出土縄文石器30

第7章表22 V区縄文遺構外出土縄文石器観察表(第7章第37~70図、PL.123~140)

番号	出土位置	部位	器種	残存状態	計測値 (cm)		重量 (g)	材		特徴	
					長さ	厚さ		A	B		
S 1	Eh-37G	燧石	一部欠損	5.13	1.79	0.79	6.00	黒曜石	黒曜石	槌形、左右非対称。	
S 2	Eh-37G	燧石	一部欠損	10.80	5.00	1.30	110.00	黒色頁岩	無銘品質安山岩	2面使用。	
S 3	Eh-37G	燧石	完形	11.10	9.20	5.00	250.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。	
S 4	Eh-38G	燧石	一部欠損	4.03	4.43	0.91	10.23	珪質頁岩	無銘品質安山岩	両面一部破損。	
S 5	Eh-38G	燧石	1/2	(9.50)	10.30	5.20	280.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。	
S 6	Eh-38G	燧石	破片	(20.50)	(14.90)	7.50	2,800.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面を右面、1面を凹石として使用。	
S 7	Eh-39G	燧石	一部欠損	14.80	1.92	0.90	8.58	黒色頁岩	粗粒輝石安山岩	刃部破損。	
S 8	Eh-39G	燧石	完形	9.00	5.60	1.50	74.00	粗粒輝石安山岩	無銘品質安山岩	槌形石片。	
S 9	Eh-39G	燧石	完形	13.90	10.30	5.50	960.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。	
S 10	Eh-39G	燧石	多孔石	一部欠損	27.70	23.70	7.90	6,500.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S 11	Eh-40G	燧石	完形	3.00	1.50	0.50	1.90	赤碧玉	赤碧玉	ブーメラン形。	
S 12	Eh-40G	燧石	完形	11.90	3.60	2.10	150.00	砂岩	砂岩	一部表面残存。	
S 13	Eh-40G	燧石	一部欠損	13.50	5.30	3.30	332.00	変質玄武岩	砂岩	全面使用。	
S 14	Eh-40G	燧石	完形	11.40	7.30	4.80	565.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	全面使用。	
S 15	Eh-37G	燧石	右面	一部欠損	(2.20)	1.70	0.35	1.29	黒色安山岩	無銘品質安山岩	二等辺三角形無銘品。凹基。
S 16	Eh-37G	燧石	完形	11.90	9.70	4.60	750.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。	
S 17	Eh-37G	燧石	破片	10.90	9.60	5.10	580.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	全面使用。	
S 18	Eh-38G	燧石	右面	下部欠損	(3.50)	1.85	0.78	5.64	チャート	チャート	—
S 19	Eh-38G	燧石	完形	9.50	7.50	5.40	575.00	石灰質緑岩	石灰質緑岩	2面使用。	
S 20	Eh-39G	燧石	完形	1.47	1.06	0.24	0.29	チャート	チャート	二等辺三角形無銘品。凹基。	
S 21	Eh-39G	燧石	完形	6.55	8.70	1.10	60.12	黒色頁岩	—	槌形石片。	
S 22	Eh-39G	燧石	一部欠損	10.85	4.85	1.90	103.00	黒色頁岩	砂岩(ホルンフェルス)	知照形石片。	
S 23	Eh-39G	燧石	完形	10.60	8.20	4.10	520.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	全面使用。	
S 24	Eh-39G	燧石	右面	完形	13.80	10.80	4.60	1,015.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面のみ使用。
S 25	Eh-39G	燧石	完形	10.80	8.90	5.00	635.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。	
S 26	Eh-39G	燧石	完形	35.30	29.50	10.40	14,250.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面のみ使用。	
S 27	Eh-40G	燧石	尖端欠損	(1.40)	1.50	0.28	0.50	黒曜石	黒曜石	無銘品。凹基。	
S 28	Eh-40G	燧石	完形	4.17	4.73	0.90	16.47	黒色安山岩	無銘品質安山岩	槌形石片。	
S 29	Eh-40G	燧石	完形	14.50	10.70	5.10	1,070.00	溶結凝灰岩	輝石安山岩	2面使用。	
S 30	Eh-41G	燧石	完形	8.70	4.35	1.70	74.80	ホルンフェルス	天鼓板状	知照形石片。	
S 31	Eh-37G	燧石	完形	4.53	0.92	0.46	1.70	黒曜石	黒曜石	凹石。	
S 32	Eh-37G	燧石	完形	5.80	4.52	0.80	15.73	黒色安山岩	—	左石非対称。	
S 33	Eh-37G	燧石	完形	4.48	4.73	2.70	58.06	黒色安山岩	無銘品質安山岩	一部表面残存。	
S 34	Eh-37G	燧石	上部欠損	9.20	5.30	1.60	94.90	粗粒輝石安山岩	粗粒輝石安山岩	知照形石片。	
S 35	Eh-38G	燧石	完形	2.23	(3.30)	0.33	0.77	黒曜石	黒曜石	正三角形無銘品。凹基。	
S 36	Eh-38G	燧石	上部欠損	(4.80)	4.80	1.50	60.00	珪質頁岩	—	正三角形磨製石片。	
S 37	Eh-38G	燧石	完形	10.40	5.40	1.20	69.00	黒色頁岩	粗粒輝石安山岩	知照形石片。	
S 38	Eh-38G	燧石	破片	(17.60)	(16.10)	6.50	2,140.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。	
S 39	Eh-38G	燧石	多孔石	22.40	19.10	11.60	6,100.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	12面使用。	
S 40	Eh-39G	燧石	一部欠損	10.80	5.10	1.20	69.00	黒色頁岩	頁岩	知照形石片。	
S 41	Eh-39G	燧石	完形	21.10	15.50	6.10	2,810.00	石灰質緑岩	変質安山岩	1面使用。	
S 42	Eh-40G	燧石	完形	1.70	1.20	0.29	0.33	黒曜石	黒曜石	—	
S 43	Eh-40G	燧石	尖端欠損	(1.80)	1.30	0.20	0.35	黒曜石	黒曜石	二等辺三角形無銘品。凹基。	
S 44	Eh-40G	燧石	一割片	2.33	2.53	0.28	1.79	黒曜石	黒曜石	—	
S 45	Eh-40G	燧石	刃部破損	5.57	2.66	0.70	10.39	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。	
S 46	Eh-40G	燧石	完形	8.10	4.95	1.40	62.00	黒色頁岩	頁岩	槌形石片。	
S 47	Eh-40G	燧石	一部欠損	8.50	3.30	1.60	76.00	黒色頁岩	粗粒輝石安山岩	知照形石片。	
S 48	Eh-40G	燧石	完形	10.60	4.70	1.60	95.00	黒色頁岩	頁岩	知照形石片。	
S 49	Eh-40G	燧石	完形	11.30	5.80	1.90	84.00	黒色頁岩	粗粒輝石安山岩	知照形石片。	
S 50	Eh-40G	燧石	完形	12.50	5.60	1.80	123.00	黒色頁岩	頁岩	知照形石片。	
S 51	Eh-40G	燧石	1/2	8.70	5.15	1.65	123.00	黒色頁岩	頁岩	知照形石片。	
S 52	Eh-40G	燧石	一部欠損	11.20	5.10	1.80	142.70	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	知照形石片。	
S 53	Eh-40G	燧石	完形	11.30	8.50	4.00	496.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。	
S 54	Eh-40G	燧石	多孔石	20.90	17.80	11.70	5,600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。	
S 55	Eh-40G	燧石	多孔石	31.20	25.70	9.70	10,950.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。	
S 56	Eh-41G	燧石	完形	3.59	3.43	0.79	7.46	黒色安山岩	無銘品質安山岩	槌形石片。	
S 57	Eh-41G	燧石	刃部破損	11.50	6.00	1.40	110.10	黒色頁岩	頁岩	知照形石片。	
S 58	Eh-41G	燧石	一部欠損	8.60	4.90	1.40	65.90	黒色頁岩	粗粒輝石安山岩	知照形石片。	
S 59	Eh-41G	燧石	一部欠損	10.80	5.30	1.80	105.70	黒色頁岩	頁岩	知照形石片。	
S 60	Eh-41G	燧石	完形	9.70	7.70	4.00	480.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。	
S 61	Eh-41G	燧石	完形	10.10	7.60	5.80	720.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。	
S 62	Eh-41G	燧石	一部欠損	12.30	8.30	5.00	645.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	3面使用。	
S 63	Eh-42G	燧石	完形	1.62	(1.28)	0.24	0.36	黒曜石	黒曜石	三角形無銘品。凹基。	
S 64	Eh-42G	燧石	尖端破損	2.62	1.90	0.63	2.57	黒曜石	黒曜石	有銘品。凸基。	
S 65	Eh-42G	燧石	完形	2.96	1.32	0.47	1.32	珪質頁岩	—	刃部長さ約16mm、幅約5mm。	
S 66	Eh-42G	燧石	完形	3.85	(6.83)	0.73	24.88	珪質頁岩	—	槌形石片。	
S 67	Eh-42G	燧石	破片	(4.40)	(1.80)	0.57	6.61	砂岩	—	長さ約1mmの孔1ヶ所有。	
S 68	Eh-42G	燧石	完形	9.00	5.30	1.50	72.30	黒色頁岩	頁岩	知照形石片。	
S 69	Eh-42G	燧石	完形	10.80	6.70	1.40	128.80	黒色頁岩	粗粒輝石安山岩	知照形石片。	
S 70	Eh-42G	燧石	完形	10.60	7.30	4.70	470.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。	

第7章 V区の調査

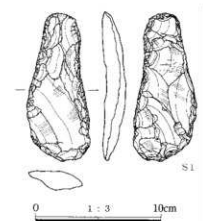
番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	行		特 徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S71	E1-42G	甕原 磨石	完整		10.30	8.10	4.90	660.00	石炭灰緑岩	石炭灰緑岩	2面使用。2面を凹台としても使用。
S72	E1-42G	甕原 磨石	完整		9.50	6.50	3.40	220.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	全面使用。
S73	E1-37G	甕原 石籠	下部欠損		15.20	3.54	0.50	12.93	黒色頁岩	—	縦平石籠。
S74	E1-37G	甕原 打製石斧	下部欠損		18.35	3.70	1.15	48.00	黒色頁岩	頁岩	知形形石斧。一部表面残存。
S75	E1-37G	甕原 打製石斧	一部欠損		11.00	5.20	1.60	104.00	黒色頁岩	粗粒輝石岩	知形形石斧。一部表面残存。
S76	E1-38G	甕原 石籠	完整		4.25	6.16	0.77	15.10	黒色頁岩	横型石籠。左右対称。	
S77	E1-38G	甕原 打製石斧	完整		9.80	4.20	1.10	54.00	黒色頁岩	粗粒輝石岩	知形形石斧。
S78	E1-38G	甕原 打製石斧	刃部破損		9.00	4.80	2.50	141.00	砂岩	中粒輝石岩	知形形石斧。1面に表面残存。
S79	E1-38G	甕原 石核	完整		8.15	6.15	1.65	85.00	黒色頁岩	粗粒輝石岩	—
S80	E1-38G	甕原 磨製石斧	一部破損		17.20	4.30	2.20	110.00	軟泥岩	軟泥岩	定角式磨製石斧。
S81	E1-38G	甕原 多孔石	破片		(30.60)	(22.40)	9.30	1,350.00	緑色片岩	緑色片岩	1面使用。
S82	E1-38G	甕原 磨石	完整		9.20	8.20	3.30	580.00	実質安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S83	E1-39G	甕原 石籠	一部欠損		1.40	(1.13)	0.30	0.31	黒曜石	黒曜石	二角形無蓋鉢。凹基。
S84	E1-39G	甕原 石籠	一部欠損		4.30	(6.89)	0.69	22.18	黒色頁岩	—	横型石籠。
S85	E1-39G	甕原 打製石斧	完整		9.50	4.70	1.30	22.00	黒色頁岩	粗粒輝石岩	知形形石斧。1面に表面残存。
S86	E1-39G	甕原 打製石斧	完整		9.80	5.20	2.00	93.00	黒色頁岩	頁岩	知形形石斧。一部表面残存。
S87	E1-39G	甕原 打製石斧	完整		8.40	3.50	1.30	46.00	黒色頁岩	頁岩	知形形石斧。一部表面残存。
S88	E1-39G	甕原 打製石斧	完整		8.60	4.50	1.50	55.00	黒色頁岩	粗粒輝石岩	知形形石斧。
S89	E1-39G	甕原 打製石斧	完整		9.00	3.70	1.50	64.00	黒色頁岩	頁岩	知形形石斧。一部表面残存。
S90	E1-39G	甕原 打製石斧	完整		9.80	4.80	1.90	86.00	黒色頁岩	粗粒輝石岩	知形形石斧。一部表面残存。
S91	E1-39G	甕原 打製石斧	一部欠損		10.80	4.90	6.90	102.00	黒色頁岩	砂岩	知形形石斧。
S92	E1-39G	甕原 石核	完整		14.10	9.20	2.70	570.00	実質安山岩	表面残存。	
S93	E1-39G	甕原 磨石	完整		10.20	7.90	3.20	484.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S94	E1-39G	甕原 磨石	完整		11.00	9.20	4.40	590.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S95	E1-39G	甕原 磨石	完整		10.30	9.00	4.20	575.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S96	E1-39G	甕原 磨石	完整		15.00	6.50	3.20	440.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S97	E1-40G	甕原 石籠	下部欠損		1.75	(1.10)	0.30	0.61	黒曜石	黒曜石	三角形無蓋鉢。凹基。
S98	E1-40G	甕原 石籠	下部欠損		2.35	(1.90)	0.30	1.00	チャート	チャート	二等三角形無蓋鉢。凹基。
S99	E1-40G	甕原 石籠	完整		3.47	3.45	1.24	27.00	黒色頁岩	—	横型石籠。左右対称。
S100	E1-40G	甕原 打製石斧	完整		8.10	3.40	1.30	45.10	黒色頁岩	頁岩	知形形石斧。
S101	E1-40G	甕原 打製石斧	一部欠損		11.70	3.80	1.80	112.00	黒色頁岩	頁岩	知形形石斧。
S102	E1-40G	甕原 凹石	1/2		(7.20)	7.90	2.60	164.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S103	E1-41G	甕原 一 磨石	完整		2.34	0.67	0.28	0.45	黒曜石	黒曜石	—
S104	E1-41G	甕原 尖頭部	完整		2.80	0.90	0.50	1.07	珪質頁岩	無晶質安山岩	横型石籠。
S105	E1-41G	甕原 一 石籠	完整		3.07	4.16	0.82	9.08	黒色安山岩	無晶質安山岩	横型石籠。左右対称。
S106	E1-41G	甕原 打製石斧	完整		8.70	4.50	1.40	116.00	黒色頁岩	頁岩	知形形石斧。一部表面残存。
S107	E1-41G	甕原 石籠	1/4?		(8.40)	11.70	2.80	340.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S108	E1-42G	甕原 石籠	下部欠損		2.30	1.78	0.70	0.78	黒色頁岩	炭泥岩	二等三角形無蓋鉢。凹基。
S109	E1-42G	甕原 石籠	完整		2.20	3.30	0.60	1.50	チャート	チャート	三角形無蓋鉢。凹基。
S110	E1-42G	甕原 石籠	完整		3.20	2.60	0.48	2.10	褐色碧玉	チャート	縦型石籠。左右対称。
S111	E1-42G	甕原 打製石斧	完整		8.60	5.00	1.50	59.10	黒色頁岩	粗粒輝石岩	知形形石斧。
S112	E1-42G	甕原 打製石斧	一部欠損		12.20	5.90	2.70	190.00	黒色頁岩	粗粒輝石岩	知形形石斧。一部表面残存。
S113	E1-42G	甕原 打製石斧	一部欠損		13.20	4.20	2.50	159.10	黒色頁岩	中粒輝石岩	知形形石斧。一部表面残存。
S114	E1-42G	甕原 凹石	1/3		(20.00)	(26.10)	9.60	5,300.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。
S115	E1-42G	甕原 石籠	1/2		(19.50)	17.80	5.60	2,300.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。1面は凹台としても使用。
S116	E1-43G	甕原 磨石	破片		4.22	3.04	1.50	26.98	牛伏砂岩	—	縁有。
S117	E1-44G	甕原 石籠	完整		5.30	1.70	1.00	3.70	黒曜石	黒曜石	刃部長径約38mm、幅5mm。一部表面残存。
S118	E1-44G	甕原 塊状磨り	破片		(4.27)	(2.24)	0.43	6.90	滑石	—	底径約3mmの孔1ヶ所有。
S119	E1-44G	甕原 磨製石斧	一部欠損		12.60	4.60	2.00	222.00	実質玄武岩	緑色片岩	横型打製石斧。
S120	E1-44G	甕原 磨石	完整		11.40	8.00	5.90	735.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。4面は凹台としても使用。
S121	E1-44G	甕原 凹石	完整		12.30	8.20	4.40	630.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S122	E1-45G	甕原 一 石籠	一部欠損		(3.70)	1.90	0.60	4.00	チャート	チャート	縦型石籠。左右対称。
S123	E1-45G	甕原 磨石	破片		5.34	5.45	1.09	33.60	牛伏砂岩	—	縁有。
S124	E1-37G	甕原 石籠	下部欠損		(2.65)	1.55	0.36	0.97	黒曜石	黒曜石	二等三角形無蓋鉢。凹基。
S125	E1-37G	甕原 石籠	完整		1.99	1.80	0.40	1.50	実質玄武岩	—	縁有。
S126	E1-37G	甕原 石籠	完整		5.00	2.70	0.60	7.00	黒曜石	黒曜石	縦型石籠。左右対称。
S127	E1-37G	甕原 石籠	1/2		3.61	3.73	0.40	3.82	黒色頁岩	炭泥岩	—
S128	E1-37G	甕原 打製石斧	一部欠損		9.10	4.90	1.25	88.00	黒色頁岩	粗粒輝石岩	知形形石斧。一部表面残存。
S129	E1-37G	甕原 打製石斧	1/2		8.60	7.10	2.00	137.00	黒色頁岩	粗粒輝石岩	知形形石斧。
S130	E1-37G	甕原 打製石斧	一部欠損		15.60	6.70	4.30	420.00	黒色頁岩	実質マンツェルス	知形形石斧。一部表面残存。
S131	E1-37G	甕原 石核	完整		13.75	13.25	4.20	1,003.00	実質玄武岩	中粒輝石岩	2面使用。
S132	E1-37G	甕原 凹石	一部欠損		9.95	7.90	4.30	432.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S133	E1-37G	甕原 磨石	完整		10.10	6.90	5.00	434.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹台としても使用。
S134	E1-37G	甕原 石皿	破片		(23.80)	(41.60)	13.60	17,350.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。
S135	E1-38G	甕原 石籠	一部欠損		2.32	1.93	0.38	1.89	黒曜石	黒曜石	正三角形無蓋鉢。平底。
S136	E1-38G	甕原 石籠	下部欠損		2.11	(1.43)	0.37	0.82	黒曜石	黒曜石	二等三角形無蓋鉢。平底。
S137	E1-38G	甕原 石籠	完整		1.40	1.10	0.32	0.34	黒曜石	黒曜石	二等三角形無蓋鉢。凹基。
S138	E1-38G	甕原 石籠	上部欠損		(1.77)	1.67	0.34	0.57	黒曜石	黒曜石	二等三角形無蓋鉢。凹基。
S139	E1-38G	甕原 石籠	下部欠損		(1.81)	1.74	0.23	0.64	黒曜石	黒曜石	正三角形無蓋鉢。凹基。
S140	E1-38G	甕原 石刀	下部欠損		(4.67)	1.50	0.36	3.80	緑色片岩	—	縦型石籠と似た形。
S141	E1-38G	甕原 石籠	完整		4.04	3.85	0.56	8.30	マンツェルス	無晶質安山岩	刃部長径15mm、幅約4〜9mm。
S142	E1-38G	甕原 石籠	下部欠損		3.97	3.36	0.48	3.73	珪質頁岩	—	刃部長径16mm、幅約4〜9mm。

## 第2節 V区遺構外

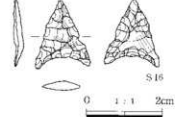
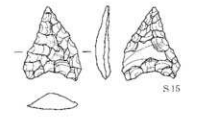
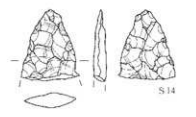
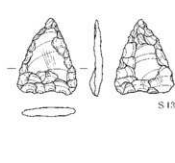
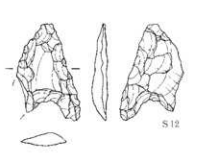
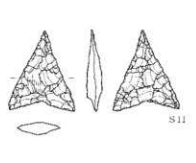
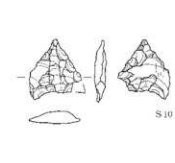
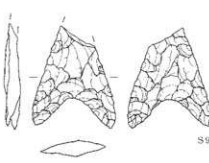
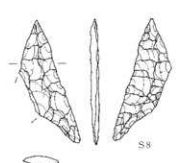
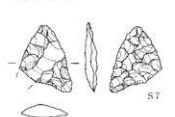
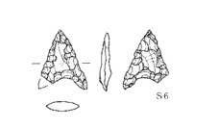
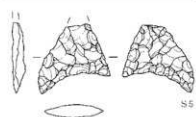
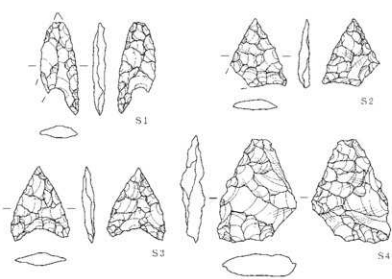
番号	出土位置	層位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	行		特徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S143	E1-38G	噴筒	耳輪取り	1/2	12.80	1(4.0)	0.90	4.40	燧石	—	直径約2mmの孔1ヶ所有、中央孔直径約8mm。
S144	E1-38G	噴筒	打製石片	完形	9.10	4.80	1.40	77.90	黒色頁岩	細粒凝灰岩	知照形石片。
S145	E1-38G	噴筒	打製石片	一部欠損	10.10	4.50	1.20	72.00	黒色頁岩	頁岩	知照形石片。
S146	E1-38G	噴筒	石核	完形	11.90	11.20	5.00	762.00	黒色頁岩	砂岩	一部表面残存。
S147	E1-39G	噴筒	石核	完形	1.56	1.32	0.74	1.07	輝綠岩	輝綠岩	正三角形無蓋部。凹基。
S148	E1-39G	噴筒	石核	完形	2.93	1.43	0.48	2.08	珪質頁岩	頁岩	—
S149	E1-39G	噴筒	台形石核	劣部破損	3.31	2.71	0.84	9.17	チャート	チャート	—
S150	E1-39G	噴筒	石核	下部欠損	5.78	2.73	0.85	14.27	黒色頁岩	—	縦型石核。左右対称。
S151	E1-39G	噴筒	打製石片	完形	8.80	4.90	1.10	55.00	黒色頁岩	頁岩	知照形石片。
S152	E1-39G	噴筒	打製石片	完形	8.80	5.60	1.30	75.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	知照形石片。
S153	E1-39G	噴筒	石皿	完形	10.50	8.50	4.50	630.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。1面を磨石として使用。
S154	E1-39G	噴筒	石核	完形	9.90	8.80	5.40	810.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S155	E1-40G	—	石核	下部欠損	12.280	1(98)	0.53	2.20	黒曜石	黒曜石	無蓋部。凹基。
S156	E1-40G	噴筒	打製石片	完形	11.75	6.30	3.35	174.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	知照形石片。一部表面残存。
S157	E1-40G	噴筒	燧石	完形	12.00	6.50	3.30	177.00	珪質頁岩	無形燧石安山岩	—
S158	E1-40G	噴筒	燧石	完形	10.30	6.80	3.70	248.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S159	E1-41G	噴筒	石核	完形	1.50	1.80	0.30	0.43	珪質頁岩	チャート	正三角形無蓋部。凹基。
S160	E1-41G	噴筒	石核	下部欠損	2.00	1.10	0.70	2.87	チャート	—	刃長約約8mm、幅約4mm。
S161	E1-41G	噴筒	石核	完形	2.70	4.60	0.80	7.81	珪質頁岩	珪質頁岩	楕圓形石核。左右非対称。
S162	E1-41G	噴筒	石核	一部欠損	3.80	4.10	0.60	7.72	黒色安山岩	—	楕圓形石核。左右非対称。
S163	E1-42G	V層	石核	下部欠損	1.90	1(50)	0.28	0.51	チャート	チャート	二等辺三角形無蓋部。凹基。
S164	E1-42G	噴筒	石核	一部欠損	6.60	5.60	2.10	98.00	黒色頁岩	頁岩	一部表面残存。
S165	E1-42G	噴筒	燧石	完形	8.90	6.90	4.70	398.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S166	E1-42G	噴筒	燧石	一部欠損	12.10	6.50	3.80	416.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	3面に敲打痕有。
S167	E1-43G	噴筒	石核	尖端欠損	1.30	1.40	0.14	0.17	黒曜石	黒曜石	正三角形無蓋部。凹基。
S168	E1-43G	噴筒	石核	完形	1.67	1.40	0.20	0.30	チャート	チャート	二等辺三角形無蓋部。凹基。
S169	E1-43G	噴筒	打製石片	一部欠損	7.75	4.85	1.15	50.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	知照形石片。
S170	E1-43G	噴筒	打製石片	一部欠損	9.95	4.95	1.60	86.00	砂岩	細粒凝灰岩	知照形石片。
S171	E1-43G	噴筒	燧石	1/2	17.40	6.30	4.15	292.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S172	E1-43G	噴筒	燧石	完形	12.90	7.90	4.80	740.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S173	E1-43G	噴筒	石皿	破片	(21.50)	(15.90)	7.90	2,800.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。1面を多孔石としても使用。
S174	E1-43G	噴筒	石皿	破片	(23.30)	(19.70)	(8.60)	3,600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。1面を凹石として使用。
S175	E1-44G	V層	石核	下部欠損	1(30)	1(00)	0.30	0.34	黒曜石	黒曜石	正三角形無蓋部。平基。
S176	E1-44G	噴筒	石核	下部欠損	13.10	1.30	0.60	2.50	黒曜石	黒曜石	刃部破損。
S177	E1-44G	噴筒	石核	一部欠損	12.60	4.90	1.70	79.00	黒色頁岩	炭素コンクリート	刃部破損。一部表面残存。
S178	E1-44G	噴筒	打製石片	一部欠損	14.00	5.90	3.35	111.00	黒色頁岩	細粒凝灰岩	知照形石片。
S179	Em-37G	噴筒	多孔石	完形	22.80	21.20	9.30	6,050.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S180	Em-38G	噴筒	石核	一部欠損	1.40	1.30	0.30	0.30	黒曜石	黒曜石	正三角形無蓋部。凹基。
S181	Em-38G	噴筒	石核	完形	2.07	1.14	0.30	0.50	黒曜石	黒曜石	二等辺三角形無蓋部。凹基。
S182	Em-38G	噴筒	石核	一部欠損	1.44	1(10)	0.22	0.34	黒曜石	黒曜石	正三角形無蓋部。平基。
S183	Em-38G	噴筒	石核	下部欠損	2.10	1(70)	0.32	1.63	黒曜石	黒曜石	正三角形無蓋部。平基。
S184	Em-38G	噴筒	石核	下部欠損	5.00	2.70	1.30	17.35	黒色頁岩	—	刃長約約18mm、幅約6-9mm。
S185	Em-38G	噴筒	打製石片	一部欠損	8.00	5.00	3.80	66.30	黒色頁岩	頁岩	知照形石片。
S186	Em-38G	噴筒	打製石片	一部欠損	9.90	4.10	1.00	48.00	黒色頁岩	頁岩	知照形石片。
S187	Em-38G	噴筒	燧石	完形	7.90	7.60	4.80	374.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S188	Em-41G	噴筒	石核	完形	4.90	5.10	3.60	112.00	珪質頁岩	チャート	一部表面残存。
S189	Em-41G	噴筒	石核	完形	5.90	6.90	4.00	184.00	黒色安山岩	炭素コンクリート	一部表面残存。
S190	Em-42G	噴筒	石核	一部欠損	3.80	1.30	0.20	0.30	黒曜石	黒曜石	二等辺三角形無蓋部。凹基。
S191	Em-42G	噴筒	石核	完形	4.10	4.90	1.70	29.00	珪質頁岩	珪質頁岩	一部表面残存。
S192	Em-42G	噴筒	打製石片	一部欠損	7.80	4.50	1.70	60.00	黒色頁岩	凝灰岩	知照形石片。一部表面残存。
S193	Em-42G	噴筒	燧石	下部欠損	(10.50)	4.80	2.80	200.00	変変玄武岩	変変ハニレ岩	乳棒状知照形石片。
S194	Em-43G	噴筒	石核	上下端欠損	2.12	1.61	0.50	1.29	黒曜石	黒曜石	二等辺三角形無蓋部。凹基。
S195	Em-43G	噴筒	打製石片	一部欠損	9.20	4.15	1.10	46.00	黒色頁岩	無形燧石安山岩	知照形石片。
S196	Em-43G	噴筒	打製石片	一部欠損	11.50	6.00	1.30	88.00	黒色頁岩	無形燧石安山岩	知照形石片。
S197	Em-43G	噴筒	燧石	完形	9.70	7.70	4.60	476.00	凝灰岩	凝灰岩	2面使用。
S198	Em-43G	噴筒	石皿	破片	(10.10)	(10.90)	4.20	384.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	縁有。1面使用。
S199	Em-44G	噴筒	石核	尖端欠損	(1.70)	1.70	0.36	0.73	珪質頁岩	—	正三角形無蓋部。凹基。
S200	Em-44G	V層	石核	完形	1.83	1.94	0.35	0.86	黒曜石	黒曜石	楕圓形石核。左右非対称。
S201	Em-44G	噴筒	石核	上部欠損	(2.41)	3.65	0.71	4.29	珪質頁岩	頁岩	楕圓形石核。左右非対称。
S202	Em-44G	噴筒	打製石片	一部欠損	6.15	4.15	0.95	35.00	黒色頁岩	無形燧石安山岩	知照形石片。
S203	Em-44G	噴筒	打製石片	一部欠損	9.35	4.40	1.15	79.00	黒色頁岩	凝灰岩	知照形石片。
S204	Em-44G	噴筒	打製石片	完形	9.45	3.15	1.20	43.00	黒色頁岩	無形燧石安山岩	知照形石片。
S205	Em-44G	噴筒	燧石	完形	10.60	8.20	6.10	753.00	黒色安山岩	頁岩	表面多孔残存。
S206	Em-44G	噴筒	燧石	完形	11.50	6.50	3.50	412.00	石英閃緑岩	石英閃緑岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S207	Em-45G	—	石核	完形	2.34	2.78	1.70	12.00	黒曜石	黒曜石	一部表面残存。
S208	Em-45G	噴筒	打製石片	一部欠損	7.00	5.10	1.10	43.00	細粒輝石安山岩	無形燧石安山岩	楕圓形石片。一部表面残存。
S209	Em-45G	噴筒	打製石片	完形	9.60	5.40	1.50	83.00	粗粒輝石安山岩	凝灰岩	知照形石片。

## 第7章 V区の調査

番号	出土位置	方位	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	材質		特徴
					長さ	幅	厚さ		A	B	
S210	En-45G	西	磨製石斧	破片	17.80	(5.50)	2.90	192.00	粗粒頁岩	粗粒頁岩	定角式磨製石斧。
S211	En-37G	南	尖頭部	完形	5.00	1.60	0.92	6.28	黒色頁岩	—	一部表面残存。
S212	En-37G	南	打製石斧	完形	10.80	6.10	1.85	116.00	黒色頁岩	頁岩	短形石斧。
S213	En-37G	南	打製石斧	一部欠損	11.70	5.00	1.40	109.00	黒色頁岩	無機質安山岩	短形石斧。一部表面残存。
S214	En-37G	南	石鏢	1/2	12.00	9.20	2.90	342.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	戦国時代の遺物か？
S215	En-37G	南	磨石	完形	8.80	7.50	4.70	438.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S216	En-38G	南	打製石斧	一部欠損	8.70	3.80	1.10	43.00	黒色頁岩	頁岩	短形石斧。一部表面残存。
S217	En-37G	南	磨石	完形	5.50	1.95	0.84	7.54	黒曜石	黒曜石	1/4片。
S218	En-39G	南	石鏢	完形	2.70	1.30	0.66	1.85	チャート	チャート	刃部長さ約15mm、幅約4～6mm。
S219	En-39G	南	打製石斧	一部欠損	9.40	4.30	1.50	77.00	黒色頁岩	頁岩	短形石斧。一部表面残存。
S220	En-40G	南	打製石斧	上部欠損	8.20	4.40	2.30	70.00	黒色頁岩	粗粒輝石	短形石斧。
S221	En-40G	南	磨石	1/3	(16.80)	(17.30)	3.50	1,530.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	1面使用。1面を凹石としても使用。
S222	En-41G	—	石鏢	尖頭部欠損	12.60	1.95	0.32	1.30	黒曜石	黒曜石	二等辺三角形無基錐。凹基。
S223	En-41G	南	石鏢	完形	2.16	3.03	1.50	10.46	黒曜石	—	—
S224	En-41G	南	打製石斧	一部欠損	8.90	3.60	1.20	47.00	黒色頁岩	頁岩	短形石斧。
S225	En-42G	南	石鏢	下部欠損	1.46	(1.32)	0.24	0.33	黒曜石	黒曜石	正三角形無基錐。凹基。
S226	En-42G	南	石鏢	完形	4.91	5.28	1.01	19.28	黒色頁岩	頁岩	横型石鏢。左右非対称。
S227	En-42G	南	磨石	完形	10.10	6.60	3.50	402.00	石英閃緑岩	石英閃緑岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S228	En-43G	南	石鏢	完形	2.20	3.00	0.54	1.45	チャート	チャート	正三角形無基錐。凹基。
S229	En-43G	—	石鏢	上下部欠損	(1.45)	(1.32)	0.20	0.28	黒曜石	黒曜石	二等辺三角形無基錐。凹基。
S230	En-43G	—	磨石	上部欠損	(1.87)	2.20	0.34	1.96	チャート	—	石鏢の可能性有。
S231	En-43G	南	打製石斧	一部欠損	9.00	5.00	1.00	62.00	粗粒輝石安山岩	粗粒輝石	短形石斧。一部表面残存。
S232	En-44G	南	打製石斧	一部欠損	10.70	5.00	1.80	95.00	粗粒輝石安山岩	粗粒輝石	短形石斧。一部表面残存。
S233	En-44G	—	石鏢	上部欠損	(1.67)	2.08	0.35	1.39	チャート	—	無基錐。平基。
S234	En-37G	南	磨石	完形	2.74	0.82	0.34	0.77	黒曜石	黒曜石	—
S235	En-38G	南	石鏢	一部欠損	(1.32)	1.27	0.24	0.30	黒曜石	黒曜石	正三角形無基錐。凹基。
S236	En-38G	南	磨石	一部欠損	2.00	(1.15)	0.21	0.40	黒曜石	—	二等辺三角形無基錐。凹基。
S237	En-39G	南	磨石	完形	12.10	8.10	4.40	600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S238	En-40G	南	尖頭部	尖頭部欠損	13.85	1.50	0.43	1.98	黒色頁岩	無機質安山岩	有古尖頭部。
S239	En-41G	南	石鏢	一部欠損	(2.10)	(1.65)	0.40	1.04	黒曜石	黒曜石	正三角形無基錐。凹基。
S240	En-42G	南	打製石斧	上部欠損	7.90	3.70	1.50	55.00	黒色頁岩	無機質安山岩	短形石斧。
S241	En-42G	南	打製石斧	上部欠損	8.80	4.30	1.40	67.00	黒色頁岩	チャート	短形石斧。一部表面残存。
S242	En-43G	南	石鏢	一部欠損	2.15	(1.37)	0.35	0.94	黒色安山岩	無機質安山岩	二等辺三角形無基錐。
S243	En-43G	南	多孔石	一部欠損	24.60	19.80	10.20	6,600.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S244	En-43G	南	多孔石	一部欠損	28.60	30.30	9.70	7,550.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S245	Ep-25G	南	石鏢	下部欠損	13.25	1.80	0.70	2.35	黒色頁岩	—	有基錐。
S246	Ep-37G	南	石鏢	完形	3.63	3.89	0.46	3.56	黒色頁岩	頁岩	刃部長さ約16mm、幅約5～6mm。
S247	Ep-39G	南	石鏢	完形	1.40	1.30	0.25	0.32	黒曜石	黒曜石	正三角形無基錐。凹基。
S248	Ep-39G	南	石鏢	完形	2.32	0.95	0.35	0.71	黒曜石	黒曜石	尖頭部か？
S249	Ep-39G	南	磨石	完形	15.40	7.50	4.10	660.00	ひん岩	石英閃緑岩	3面使用。1面に縦紋有。
S250	Eq-37G	南	磨石	完形	13.50	7.20	4.80	570.00	滑結輝石	輝石安山岩	2面使用。2面を凹石としても使用。
S251	Eq-39G	南	石鏢	完形	3.45	1.23	0.66	2.14	頁頁頁岩	—	刃部長さ約10mm、幅約3mm。
S252	Eq-39G	南	打製石斧	一部欠損	8.90	4.20	1.50	66.00	砂岩	砂岩	短形石斧。
S253	Eq-41G	南	打製石斧	一部欠損	13.70	5.45	3.05	274.00	黒色頁岩	頁岩	短形石斧。一部表面残存。
S254	Eq-42G	南	磨石	完形	12.80	5.10	3.60	310.00	石英閃緑岩	石英閃緑岩	磨石として使用。
S255	Eq-43G	南	石鏢	完形	1.40	1.70	0.30	0.52	チャート	チャート	正三角形無基錐。凹基。
S256	Eq-43G	南	石鏢	完形	3.60	1.40	0.80	2.90	チャート	チャート	刃部長さ約14mm、幅約5mm。
S257	Er-38G	南	石鏢	完形	6.11	5.42	1.04	28.37	黒色頁岩	—	横型石鏢。左右非対称。
S258	Er-39G	南	石鏢	基部一部欠損	3.20	1.27	0.58	1.79	チャート	—	尖頭部か？
S259	Er-42G	南	打製石斧	一部欠損	13.00	4.45	1.50	63.00	黒色頁岩	頁岩	短形石斧。
S260	Es-38G	南	打製石斧	一部欠損	13.60	6.20	0.80	104.00	黒色頁岩	頁岩	短形石斧。
S261	Es-40G	南	打製石斧	上部欠損	(7.70)	4.70	1.30	59.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	短形石斧。
S262	Es-40G	南	打製石斧	一部欠損	13.15	6.20	2.30	240.00	粗粒輝石安山岩	粗粒輝石	1面に表面残存。
S263	Es-40G	南	磨石	一部欠損	8.20	6.80	2.70	224.00	黒色頁岩	頁岩	1面に縦紋有。
S264	Es-40G	南	磨石	一部欠損	21.10	7.00	4.10	1,000.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	2面使用。
S265	Es-41G	南	打製石斧	一部欠損	9.20	5.40	1.40	67.00	黒色頁岩	粗粒輝石	短形石斧。一部表面残存。
S266	Es-41G	南	打製石斧	上部欠損	(13.10)	7.00	2.50	282.00	粗粒輝石安山岩	輝石安山岩	非割石斧。一部表面残存。

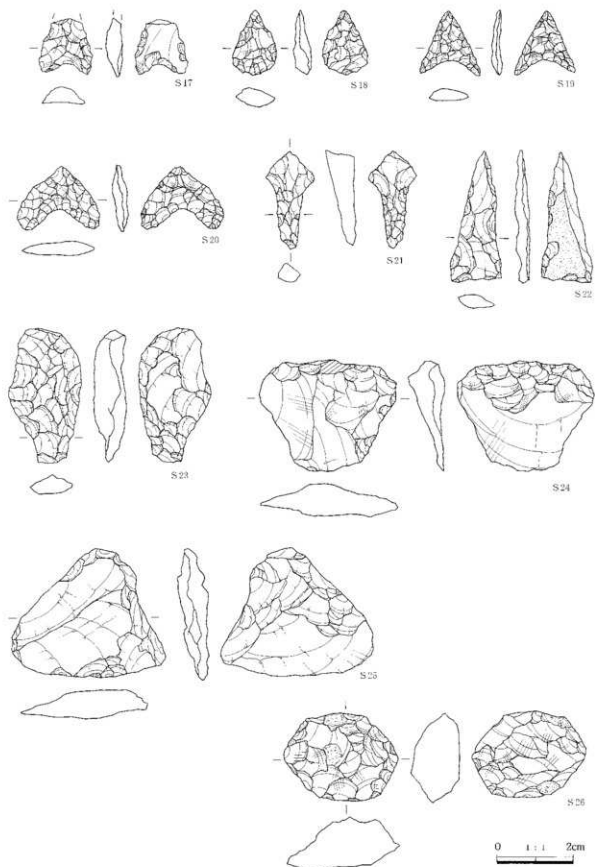


第7章第71図 IV区Y1号住居出土石器〔「白井北中道Ⅲ遺跡1」より再掲載〕

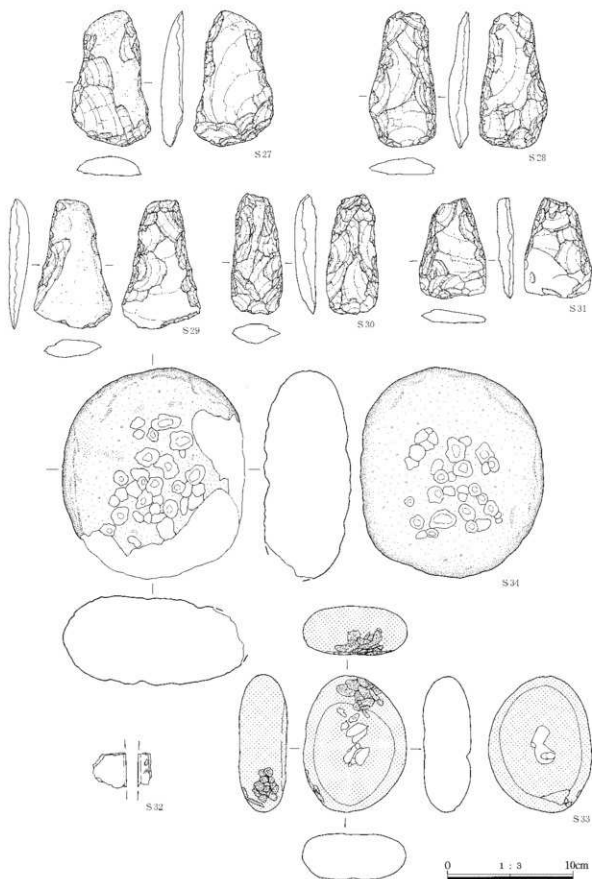


第7章第72図 V区Y1号住居出土石器1〔「白井北中道Ⅲ遺跡1」より再掲載〕

第7章 V区の調査



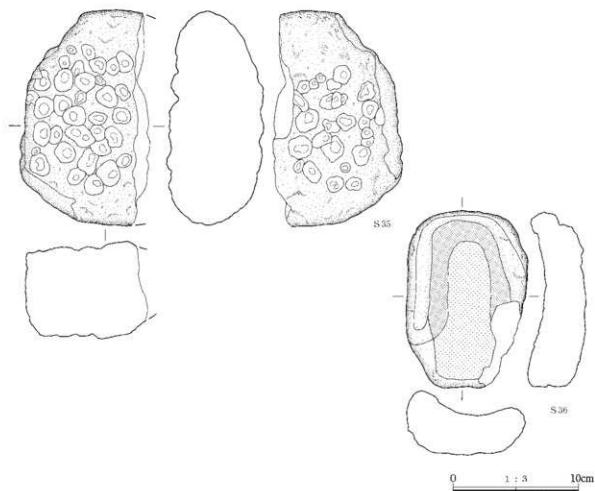
第7章第73図 V区Y1号住居出土石器②〔「白井北中道Ⅲ遺跡1」より再掲載〕



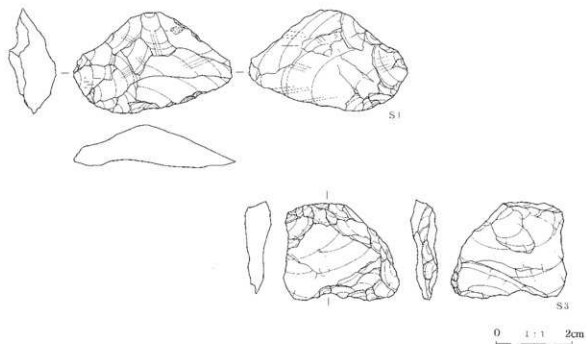
第7章第74図 V区Y1号住居出土石器(3) [[白井北中道Ⅲ遺跡1]より再掲載]



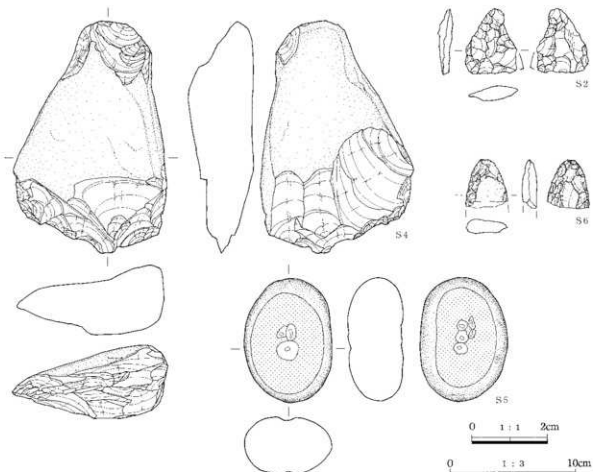
第7章 V区の調査



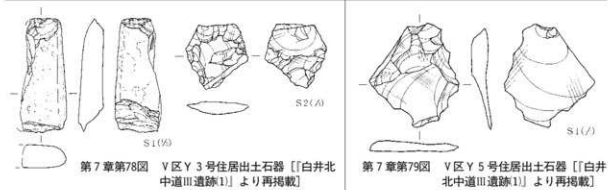
第7章第75図 V区Y1号住居出土石器(4) [[白井北中道Ⅲ遺跡1]]より再掲載



第7章第76図 V区Y2号住居出土石器(1) [[白井北中道Ⅲ遺跡1]]より再掲載

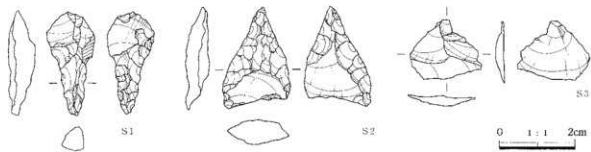


第7章第77図 V区Y2号住居出土石器②〔「白井北中道Ⅲ遺跡1」より再掲載〕



第7章第78図 V区Y3号住居出土石器〔「白井北中道Ⅲ遺跡1」より再掲載〕

第7章第79図 V区Y5号住居出土石器〔「白井北中道Ⅲ遺跡1」より再掲載〕



第7章第80図 V区Y4号住居出土石器〔「白井北中道Ⅲ遺跡1」より再掲載〕

第7章 V区の調査

第7章表23 IV区Y1号住居出土石器観察表 (第7章第71図、PL.114)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	埋没土	打製石斧	ほぼ完形	11.54	4.85	1.57	96.40	瑠璃頁岩	—	短冊形石斧。

第7章表24 V区Y1号住居出土石器観察表 (第7章第72～75図、PL.114・115)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	No.1	石鏃	一部欠損	(2.40)	(1.65)	0.37	0.80	チャート	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S2	No.2	石鏃	一部欠損	(1.76)	(1.50)	0.30	0.60	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S3	No.3	石鏃	完形	1.88	1.55	0.29	0.60	チャート	—	正三角形無茎鏃。凹基。
S4	No.4	石鏃	一部欠損	(2.66)	(2.06)	0.60	2.60	黒曜石	黒曜岩	—
S5	No.5	石鏃	一部欠損	(1.63)	(1.93)	0.32	0.80	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S6	No.10	石鏃	一部欠損	(1.53)	(1.20)	0.21	0.70	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S7	周縁帯	石鏃	一部欠損	(1.77)	(1.44)	0.34	0.60	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S8	No.8	石鏃	一部欠損	(3.19)	(1.70)	0.24	0.70	チャート	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S9	IV層	石鏃	尖頭部欠損	(2.61)	2.22	0.41	1.60	黒色安山岩	—	—
S10	周縁帯	石鏃	一部欠損	(1.53)	(1.38)	0.26	0.40	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S11	周縁帯	石鏃	完形	2.12	1.77	0.38	0.90	瑠璃頁岩	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S12	埋没土	石鏃	一部欠損	(2.60)	(1.70)	0.39	1.20	黒色頁岩	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S13	埋没土	石鏃	完形	1.97	1.57	0.30	0.70	黒曜石	黒曜岩	—
S14	埋没土	石鏃	1/2?	(1.88)	(1.54)	0.40	0.90	黒曜石	—	—
S15	掘り方覆土	石鏃	完形	1.90	1.51	0.40	0.80	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S16	掘り方覆土	石鏃	ほぼ完形	1.73	1.48	0.25	0.30	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S17	掘り方覆土	石鏃	一部欠損	1.44	1.40	0.30	0.70	黒曜石	黒曜岩	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S18	掘り方覆土	石鏃	一部欠損	1.67	1.15	0.48	0.80	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S19	掘り方覆土	石鏃	完形	1.65	1.63	0.27	0.40	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S20	掘り方覆土	石鏃	完形	1.64	2.15	0.42	1.00	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S21	周縁帯No.3	石鏃	一部欠損	2.65	1.30	0.41	1.60	黒色頁岩	—	刃部長さ約5mm。幅5mm。
S22	埋没土	石鏃	一部欠損	3.40	1.33	0.39	1.50	黒色頁岩	—	二等辺三角形無茎鏃。凹基。
S23	埋没土	石鏃	刃部欠損	3.58	1.90	0.90	5.90	チャート	—	—
S24	掘り方覆土	削片	ほぼ完形	2.93	3.63	0.90	6.40	黒曜石	黒曜岩	—
S25	埋没土	削片	一部欠損	3.40	3.80	0.67	8.30	黒色安山岩	—	スクレーパー
S26	埋没土	石核(コア)	ほぼ完形	2.28	3.05	1.31	7.90	黒曜石	黒曜岩	—
S27	No.7	打製石斧	ほぼ完形	10.70	6.40	1.70	114.20	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S28	No.9	打製石斧	完形	10.20	5.30	1.50	89.80	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S29	No.10	打製石斧	完形	10.20	6.10	1.60	95.50	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S30	No.11	打製石斧	完形	9.40	4.10	1.70	72.90	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S31	No.7	打製石斧	土端部欠損	7.80	5.30	1.10	55.40	黒色頁岩	—	短冊形石斧。
S32	埋没土	磨製石斧	破片	(2.70)	(2.60)	(1.00)	9.80	軟状岩	—	定角式磨製石斧。
S33	No.63	磨石	完形	10.80	8.20	3.70	329.00	細粒輝石安山岩	—	表面に凹部有り。縦打痕有り。
S34	No.8	多孔石	一部欠損	(22.10)	(19.30)	9.40	4,750.00	細粒輝石安山岩	—	表面に凹部有り。
S35	No.96	多孔石	一部欠損	22.80	(13.50)	10.00	3,700.00	細粒輝石安山岩	—	表面に凹部有り。
S36	No.97	石皿	一部欠損	18.60	13.00	6.90	1,800.00	細粒輝石安山岩	—	楕円形を呈し、3方に縁がある。

第7章表25 V区Y2号住居出土石器観察表 (第7章第76・77図、PL.116)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	周縁帯	削片	一部欠損	2.50	4.23	0.98	8.30	黒曜石	黒曜岩	スクレーパー
S2	埋没土	削片	一部欠損	(1.50)	(1.67)	0.36	0.70	黒曜石	黒曜岩	正三角形無茎鏃。凹基。
S3	埋没土	削片	完形	2.54	3.06	0.70	5.80	チャート	—	スクレーパー
S4	No.11	石核(コア)	一部欠損	18.30	12.20	5.30	1,369.00	砂岩	—	一部表面残存。
S5	No.9	磨石	一部欠損	9.90	7.00	4.40	456.00	細粒輝石安山岩	—	表面に凹部有り。
S6	No.12	打製石斧?	一部欠損	(3.80)	(3.30)	(1.20)	15.80	黒色頁岩	—	—

第7章表26 V区Y3号住居出土石器観察表 (第7章第78図、PL.116)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	No.3	磨製石斧	破片	(8.90)	(3.60)	(1.90)	90.90	黒色頁岩	—	短冊形石斧?
S2	No.1	削片	一部欠損	(1.69)	(1.66)	0.35	0.90	黒曜石	黒曜岩	—

第7章表27 V区Y4号住居出土石器観察表 (第7章第80図、PL.116)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	No.1	石鏃	ほぼ完形	2.74	1.27	0.72	1.60	黒曜石	黒曜岩	—
S2	周縁帯	石鏃	ほぼ完形	2.72	1.80	0.65	2.30	チャート	—	正三角形無茎鏃。凹基。
S3	IV層 No.75	削片	ほぼ完形	1.57	1.94	0.26	0.50	赤碧玉	—	スクレーパー

第7章表28 V区Y5号住居出土石器観察表 (第7章第79図、PL.116)

番号	出土位置	器種	残存状態	計測値 (cm)			重量 (g)	石 材		特 徴
				長さ	幅	厚さ		A	B	
S1	周縁帯	削片	一部欠損	(2.62)	(2.34)	0.56	1.90	黒曜石	黒曜岩	—

## 第8章 まとめ

白井北中道Ⅲ遺跡では、遺構として、縄文時代前期の竪穴住居6軒・掘立柱建物1棟・配石遺構1基・集石遺構4基・埋甕1基・遺物集中6箇所・土坑76基・ピット11基・焼土1基・倒木1箇所が検出された。また、遺物として土器は諸磯b式の深鉢・浅鉢・有孔浅鉢が中心であり、石器は石鏃と打製石斧が中心である。土器は1,232点・石器は866点を掲載した。



第8章写真1 白井北中道Ⅲ遺跡空撮

## 第1節 白井北中道Ⅲ遺跡 縄文面遺構・遺物まとめ

植崎修一郎

白井北中道Ⅲ遺跡の縄文面は、Ⅰ区～Ⅴ区までⅤ区画の総面積24,154.9m<sup>2</sup>である。

各区の遺構の概要は、以下の通りである。

### 1. Ⅰ区の遺構と遺物

Ⅰ区では、遺構は検出されなかった。遺構外の遺物は、土器と石器が出土した。

#### (1) 遺構外

- ①土器：土器は、6点出土した。  
②石器：石器は、9点出土した。

### 2. Ⅱ区の遺構と遺物

Ⅱ区では土坑2基が検出された。遺構外の遺物は、土器と石器が出土した。

#### (1) 遺構

遺構の土坑からは、遺物は出土しなかった。

#### (2) 遺構外

- ①土器：土器は、8点出土した。  
②石器：石器は、8点出土した。

### 3. Ⅲ区の遺構と遺物

Ⅲ区では、住居1軒と土坑7基が検出された。

#### (1) 遺構

- ①土器：土器は、33点出土した。

- ②石器：石器は、1点出土した。

#### (2) 遺構外

- ①土器：土器は、156点出土した。  
②石器：石器は、88点出土した。

### 4. Ⅳ区の遺構と遺物

Ⅳ区では、住居4軒・配石遺構1基・集石遺構2基・埋壘1基・遺物集中6箇所・土坑6基・焼土1基・倒木1箇所が検出された。

#### (1) 遺構

- ①土器：土器は、282点出土した。  
②石器：石器は、135点出土した。

#### (2) 遺構外

- ①土器：土器は、463点出土した。  
②石器：石器は、325点出土した。

### 5. Ⅴ区の遺構と遺物

Ⅴ区では、住居1軒・掘立柱建物1棟・集石遺構2基・土坑7基・ビット11基が検出された。

#### (1) 遺構

- ①土器：土器は、47点出土した。  
②石器：石器は、34点出土した。

#### (2) 遺構外

- ①土器：土器は、237点出土した。  
②石器：石器は、266点出土した。

第8章表1 白井北中道Ⅲ遺跡縄文遺構まとめ

	住居	掘立柱建物	配石遺構	集石遺構	埋壘	遺物集中	土坑	ビット	焼土	倒木
Ⅰ区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅱ区	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
Ⅲ区	1	0	0	0	0	0	7	0	0	0
Ⅳ区	4	0	1	2	1	6	60	0	1	1
Ⅴ区	1	1	0	2	0	0	7	11	0	0
合計	6	1	1	4	1	6	76	11	1	1

第8章表2 白井北中道Ⅲ遺跡縄文遺物まとめ

	住居		掘立柱建物		配石遺構		集石遺構		埋壘		遺物集中		土坑		ビット		焼土		倒木		トレンチ		遺構外		
	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	土器	石器	
Ⅰ区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	9
Ⅱ区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	8
Ⅲ区	32	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	156	88
Ⅳ区	175	77	—	4	2	0	4	1	1	26	6	70	25	—	0	0	0	0	0	6	20	463	325		
Ⅴ区	25	11	0	0	—	2	4	—	—	—	6	2	0	0	—	—	—	—	—	14	17	237	266		
合計	232	89	0	0	4	2	2	8	1	1	26	6	77	27	0	0	0	0	0	20	37	870	696		

## 第2節 鯉沢バイパス縄文面調査 遺跡集成

植崎修一郎

### 1. はじめに

一般国道17号は、関東と北陸を結ぶ大動脈である。群馬県においても、県北の山間部と県南部の平野部とを結ぶ主要道路であるが、交通渋滞が恒常化していた。その交通渋滞解消のため、全長5.5kmの鯉沢バイパスが計画され、平成8(1996)年10月には、渋川市東町から国道353号バイパスとの交差点までの2.3kmが開通した。さらに、終点の渋川市(旧子持村)上白井までの3.2kmも、平成20(2008)年7月に開通し、全長5.5kmの鯉沢バイパスが全面開通した。

なお、これらの遺跡は、調査時には住所が子持村であったが、平成18(2006)年2月の市町村合併に伴い、渋川市に変更となった。

この鯉沢バイパスの改築工事に伴い、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団による発掘調査が国道17号部分と国道353号部分との2箇所に分けてそれぞれ2期にわたって行われ、多数の遺跡及び遺構が出土し、すでに国道17号関連で14冊・国道353号関連で7冊・周辺遺跡2冊の合計23冊の報告書が刊行されている。

### 2. 鯉沢バイパス概要

鯉沢バイパスは、南北の国道17号部分と東西の国道353号線との2箇所に分かれる。これらの調査は、それぞれ、第1期及び第2期に分けて発掘調査が行われた。

#### (1) 国道17号

国道17号部分の発掘調査は、第1期と第2期に分かれる。

##### ①第1期発掘調査

第1期の発掘調査は、平成2(1990)年4月～平成5(1993)年3月まで、3年を費やした。

第1期の発掘調査報告書は、第1集～第8集として完結した。この第1期の遺跡は、北から、白井北中道遺跡・白井丸岩遺跡・白井南中道遺跡・白井二位屋遺跡・東町関下遺跡の5つの遺跡に分かれる。

##### ②第2期発掘調査

第2期の発掘調査は、平成14(2002)9月～平成17(2005)年7月まで、約3年を費やした。第2期の発掘調査報告書は、これまでに第1集～第5集までがすでに刊行されている。平成21年度内に、本書を含めて「上白井西伊熊遺跡：旧石器時代編」・「上白井西伊熊遺跡：古墳時代以降編」・「中郷遺跡(2)：縄文時代編」の4冊が刊行されて第9集ですべて終了する予定である。この第2期の遺跡は、北から、上白井西伊熊遺跡・中郷遺跡・吹屋遺跡・吹屋伊勢森遺跡・白井十二遺跡・白井北中道Ⅲ遺跡の6つの遺跡に分かれる。

#### (2) 国道353号

国道353号部分の発掘調査は、国道17号と同様に第1期と第2期に分かれる。

##### ①第1期発掘調査

第1期の発掘調査は、平成3(1991)年7月～平成6(1994)年3月まで、約3年を費やして実施された。第1期の発掘調査報告書は、第1集～第2集として完結した。この第1期の遺跡は、東から、白井北中道Ⅱ遺跡・吹屋犬子塚遺跡・吹屋中原遺跡の3つの遺跡に分かれる。

##### ②第2期発掘調査

第2期の発掘調査は、平成11(1999)年9月～平成16(2004)年3月まで、約4年を費やして実施された。第2期の発掘調査報告書は、第3集～第7集として完結した。この第2期の遺跡は、東から、中郷惠久保遺跡・吹屋三角遺跡・中郷田尻遺跡・吹屋椋屋遺跡・北牧大境遺跡の5つの遺跡に分かれる。

### 3. 出土遺構

鯉沢バイパス関連遺跡の縄文面でも出土した遺構の基本は、国道17号と国道353号に共通して、住居・土坑である。この2種類の遺構は、ほぼ、どの遺跡にも共通して認められる。但し、遺構の検出状況は、多少地域により異なる。

この3種類の遺構に、屋外炉・掘立柱建物・配石遺構・集石遺構・埋室・土器集中・遺物集中・墓坑・陥穴・ピット・焼土・立木・倒木等が加わる。

## 第8章 まとめ

### (1) 国道17号

国道17号関連の遺跡は、第1期及び第2期を含めて11の遺跡に分かれている。これらの遺跡は、北から上白井西伊熊遺跡・中郷遺跡・吹屋遺跡・吹屋伊勢森遺跡・白井十二遺跡・白井北中道Ⅲ遺跡・白井北中道遺跡・白井丸岩遺跡・白井南中道遺跡・白井二位屋遺跡・東町関下遺跡である。

これら、11遺跡の縄文面の遺構は、住居164軒・屋外炉1基・掘立柱建物1棟・配石遺構2基・集石遺構8基・埋壘2基・土器集中1箇所・遺物集中6箇所・墓坑1基・陥穴2基・土坑1,195基・ピット35基・焼土8箇所・立木2箇所・倒木396箇所である。

この遺構分布の特徴は、北に多く、南に少ないことで、この傾向は、1面（FP上）の遺構分布と逆である。実際、北に位置する上白井西伊熊遺跡・中郷遺跡・吹屋遺跡・吹屋伊勢森遺跡・白井十二遺跡・白井北中道Ⅲ遺跡の6遺跡のみで、住居164軒及び土坑1,181基が検出されている。

一方、南に位置する白井北中道遺跡・白井丸岩遺跡・白井南中道遺跡・白井二位屋遺跡の4遺跡では、住居は検出されておらず、土坑は14基のみである。

したがって、縄文時代の居住区は、北側にあったと推定される。但し、南側の遺跡には、倒木が多く

検出されており、北側の前出の6遺跡では13箇所のみであるが、南側の4遺跡では383箇所もの倒木が検出されている。

### (2) 国道353号

国道353号関連の遺跡は、第1期及び第2期を含めて8つの遺跡に分かれている。これらの遺跡は、東から白井北中道Ⅱ遺跡・吹屋犬子塚遺跡・吹屋中原遺跡・中郷恵久保遺跡・吹屋三角遺跡・中郷田尻遺跡・吹屋糶屋遺跡・北牧大境遺跡である。

これら、8遺跡の縄文面の遺構は、住居4軒・集石遺構1基・陥穴5基・土坑164基・焼土8箇所・倒木111箇所・木組状遺構4基である。

この遺構分布の特徴は、東に多く、西に少ないことで、この傾向は、1面（FP上）の遺構分布と逆である。

実際、東に位置する白井北中道Ⅱ遺跡・吹屋犬子塚遺跡・吹屋中原遺跡の3遺跡のみで、住居4軒・集石遺構1基・陥穴5基・土坑110基・焼土8箇所・倒木111箇所が検出されている。

一方、西に位置する中郷恵久保遺跡・吹屋三角遺跡・中郷田尻遺跡・吹屋糶屋遺跡・北牧大境遺跡の5遺跡では、土坑54基・木組状遺構4基が検出されているにすぎない。

第8章表3 国道17号（鯉沢バイパス）縄文面検出遺構まとめ

No.	遺跡名	住居	屋外炉	掘立柱建物	配石	集石	埋壘	土器集中	遺物集中	墓坑	陥穴	土坑	ピット	焼土	立木	倒木	備考
I	上白井西伊熊遺跡	3	—	—	—	—	1	—	—	—	—	32	—	—	—	—	報告書未
II	中郷遺跡	131	—	—	1	—	—	—	—	—	—	939	—	—	—	—	報告書未
III	吹屋遺跡	7	—	—	—	—	—	1	—	1	2	53	—	—	—	—	4
IV	吹屋伊勢森遺跡	5	—	—	—	2	—	—	—	—	—	47	21	—	—	—	8
V	白井十二遺跡	12	—	—	—	2	—	—	—	—	—	34	—	2	—	—	—
VI	白井北中道Ⅲ遺跡	6	—	1	1	4	1	—	6	—	—	26	11	1	—	1	—
VII	白井北中道遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	2	103	—
VIII	白井丸岩遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3	3	—	64	—
IX	白井南中道遺跡	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	10	—	2	—	204	—
X	白井二位屋遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	—
XI	東町関下遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	総計	164	1	1	2	8	2	1	6	1	2	1,195	35	8	2	396	

注：遺跡の「No.」は、第8章第1図の番号と一致する。



第8章第1図 周辺遺跡分布図 (S=1:20,000)



## 第8章 まとめ

第8章表4 国道353号道路（鯉沢バイパス）縄文面検出遺構まとめ

No.	遺跡名	住居	屋外炉	集積所	配石	集石	埋蔵	土器集中	遺物集中	墓坑	竈穴	土坑	ピット	焼土	立木	倒木	総面積
1	白井北中道日遺跡	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	24
2	吹屋犬子塚遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	64	—	6	—	—	66
3	吹屋中原遺跡	3	—	—	—	—	—	—	—	—	1	44	—	2	—	—	21
4	中郷志久保遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—
5	吹屋三角遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
6	中郷田尻遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51	—	—	—	—	—
7	吹屋萩原遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	北牧大塚遺跡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総計		4	0	0	0	1	0	0	0	0	5	164	0	8	0	111	4

第8章表5 国道353号道路縄文面検出遺構まとめ

No.	遺跡名	住居	屋外炉	集積所	配石	集石	埋蔵	土器集中	遺物集中	墓坑	竈穴	土坑	ピット	焼土	立木	倒木	総面積
①	白井北中道遺跡 (道の駅)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
②	白井大宮遺跡	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—
③	白井大宮遺跡II	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—	230	—	—	—	—	—
総計		0	0	0	2	1	0	0	3	0	0	230	0	0	0	0	0

### 引用文献

#### 〔国道17号（鯉沢バイパス）関連報告書〕

##### ・第1期編

群理文第148集 1993 『白井遺跡群：中世編（白井二位屋遺跡・白井南中道遺跡）』〔一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第1集〕

群理文第160集 1994 『白井遺跡群：集落編1（白井二位屋遺跡）』〔一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第2集〕

群理文第202集 1996 『白井遺跡群：集落編II（白井南中道遺跡）』〔一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第3集〕

群理文第219集 1997 『白井遺跡群：古墳時代編（白井二位屋遺跡・白井南中道遺跡・白井丸岩遺跡・白井北中道遺跡）』〔一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第4集〕

群理文第232集 1998 『白井遺跡群：縄文時代編（白井二位屋遺跡・白井南中道遺跡・白井丸岩遺跡・白井北中道遺跡）』〔一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第5集〕

群理文第235集 1998 『白井遺跡群：中世・近世編（白井丸岩遺跡・白井北中道遺跡）』〔一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第6集〕

群理文第236集 1998 『東町下遺跡』〔一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第7集〕

群理文第269集 2000 『白井北中道遺跡（道の駅地点）』〔一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第8集〕

##### ・第2期編

群理文第373集 2006 『吹屋伊勢森遺跡』〔一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（その2）報告書第1集〕

群理文第405集 2007 『吹屋遺跡』〔一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（その2）報告書第2集〕

群理文第422集 2008 『中郷遺跡I』〔一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（その2）報告書第3集〕

### 集

群理文第427集 2008 『白井十二遺跡』〔一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（その2）報告書第4集〕

群理文第455集 2009 『白井北中道田遺跡I』〔一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（その2）報告書第5集〕

群理文第470集 2009 『白井北中道田遺跡II』〔一般国道17号（鯉沢バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（その2）報告書第6集〕（本書）

#### 〔国道353号線（鯉沢バイパス）関連報告書〕

##### ・第1期編

群理文第207集 1996 『白井北中道日遺跡・吹屋犬子塚遺跡・吹屋中原遺跡：第1冊（古代・中近世編）』〔国道353号（鯉沢バイパス）報告書第1集〕

群理文第241集 1998 『白井北中道日遺跡・吹屋犬子塚遺跡・吹屋中原遺跡：第2冊（石器・縄文時代編）』〔国道353号（鯉沢バイパス）報告書第2集〕

##### ・第2期編

群理文第339集 2004 『北牧大塚遺跡』〔国道353号（鯉沢バイパス）報告書第3集〕

群理文第364集 2006 『中郷志久保遺跡』〔国道353号（鯉沢バイパス）報告書第4集〕

群理文第404集 2007 『吹屋萩原遺跡』〔国道353号（鯉沢バイパス）報告書第5集〕

群理文第409集 2007 『吹屋三角遺跡』〔国道353号（鯉沢バイパス）報告書第6集〕

群理文第412集 2007 『中郷田尻遺跡』〔国道353号（鯉沢バイパス）報告書第7集〕

#### 〔周辺遺跡〕

群理文第150集 1993 『白井大宮遺跡』〔群馬県企業局渋川工業用水貯水池関係に係る埋蔵文化財発掘調査報告書〕

群理文第301集 2002 『白井大宮II遺跡』〔渋川工業用水道天日乾欄床増設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〕

## 第3節 白井北中道Ⅲ遺跡出土 縄文獣面付き土器

橋崎修一郎・関根慎二

### はじめに

獣面付き土器は、縄文前期の諸磯式土器の深鉢口縁部に多く認められる。この、「獣面付き土器」は「獣面把手」とも呼称されるが、ここでは、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団の関根慎二が提唱する呼称「獣面付き土器」を使用することとする(関根、2001・2004・2005)。

諸磯式土器の編年は、関根(2008)を使用した。この編年では、古い方から諸磯a(古)→諸磯a(新)→諸磯b(古)→諸磯b(中1)→諸磯b(中2)→諸磯b(新)→諸磯c(古)→諸磯c(新)という順番になる。

### 1. 獣骨の比率

国立歴史民俗博物館の動物考古学者の西本豊弘が、1991年時点で、縄文時代早期～晩期の日本国内45遺跡から出土した4,666個体の獣骨の種を集成した研究によると、シカ[1,836個体]・イノシシ[1,761個体]・タヌキ[314個体]・ノウサギ[156個体]・アナグマ[134個体]・サル[103個体]・その他[362個体]となる(設楽、2008)。

この個体を百分率で示すと、シカ[39.3%]・イノシシ[37.7%]・タヌキ[6.7%]・ノウサギ[3.3%]・アナグマ[2.9%]・サル[2.2%]・ムササビ[2.0%]・カワウソ[1.2%]・テン[1.1%]・その他[3.5%]となり、圧倒的にシカとイノシシが多いことがわかる(西本、2008)。この2種で、全体の77%を占めている。

### 2. 造形動物の比率

#### (1) 獣面付き土器

安中市教育委員会の考古学者の大工原 豊によると、獣面付き土器には、これまで、イノシシ・クマ・サル・トリ・ヘビ・コウモリ・カエル・ヤモリ等を造形したと考えられる事例が知られているという(大工原、2008)。

#### (2) 動物形土製品

駒沢大学の考古学者の設楽博己が、1996年時点で、174点の縄文時代の動物形土製品を集成した研究に

よると、イノシシ[89個]・貝[11個]・クマ[9個]・サル[9個]・トリ[9個]・イヌ[6個]・シカ[3個]・カメ[3個]・その他[35個]となる(設楽、2008)。

この個体を百分率で示すと、イノシシ[51.1%]・貝[6.3%]・クマ[5.2%]・サル[5.2%]・トリ[5.2%]・イヌ[3.4%]・シカ[1.7%]・カメ[1.7%]・その他[20.1%]となり、イノシシが約半分を占めることがわかる。

奇妙なことに、獣骨の比率ではほぼ同程度の出土となるイノシシとシカであるが、獣面付き土器ではイノシシが圧倒的に多いのに対しシカは事例が無く、造形動物ではイノシシは約51%であるのに対し、シカはわずかに1.7%しかない。

この理由として、①シカの雄の角が表現しにくかった・②シカの角で呪術的道具が製作されているので土製品にする必要がなかった・③イノシシは多産であるがシカは少産である等の理由が挙げられている(設楽、2008)。前出の西本豊弘は、これらの理由について、イノシシは縄文人と共に埋葬される例が1例あり、イノシシの仔も人やイヌと埋葬されていることを指摘した上で、イノシシについては家畜化が行われた可能性があるが、シカについては全くないことも指摘している。さらに、理由はイノシシの多産という単純なものではなく、社会的変革にとりもなう現象により、縄文中期後半から縄文人の動物観の変遷を示唆している(西本、2008)。

### 3. 白井北中道Ⅲ遺跡の獣面付き土器

白井北中道Ⅲ遺跡のⅣ区・Ⅴ区出土獣面付き土器の内、保存状態の良い20点を以下に検討する。これら、20点の獣面付き土器のほとんどは、遺構外からの出土である。

#### (1) イノシシ

イノシシと推定される獣面は、20点中、18点に認められた。本稿の図2・3でのNo.1～No.18にあたる。いずれも、2つの目、鼻の穴を表現したと推定される2つの点、口を表現したと推定される水平の切れ込みが特徴である。

(2) ヒト

本稿の図3での、№20にあたる。器種は土偶で、土器分類は縄文前期としかわからない。頭部のみで、下半部は欠けており、全容は不明である。造形は、所謂ハート形土偶に似通っている。2つの目はくぼんでおり、鼻の穴は2つの点で小さく表現している。

この土偶の眉間部～鼻部にかけては、かなり隆起した状態に表現している。これは、縄文時代人骨に認められる、眉弓の発達及び高い鼻を写實的に表現したものであると推定される。ちなみに、渡来系の弥生時代人骨では、眉弓の発達は弱く、鼻も低くなる傾向にあり、縄文時代人骨とは対照的である。

(3) 不明

本稿の図3での、№19にあたる。土器分類は、縄文前期としかわからない。2つの目は真横に付けられ、口吻部には鼻の穴は表現されておらず、口を表現したと推定される水平の切れ込みがあるだけである。ただし、本獣面土器の口吻部は、イノシシとは明らかに異なり、突出しているところである。

その口元は、本報告者の内、橋崎修一郎にはシカあるいはカモシカに似通っていると見える。本報告者の内、関根慎二は、シカ類あるいはヘビであろうと推定している。なお、縄文土器及び獣骨に詳しい文化庁主任調査官の土肥 孝氏に実見していただいたところ、トリであろうとのご指摘をいただいた。但し、特定の動物ではなく精霊だという意見もある。

このように、本獣面土器の動物種は、意見が異なり、シカ・ヘビ・カモシカ・トリという結論が出ないままとなっている。いずれ、他遺跡の出土例を参考にしながら再検討を加えたい。

まとめ

白井北中道Ⅲ遺跡の縄文面から、獣面付き土器が出土した。それらは諸磯式土器で、ほとんどが、イノシシを造形していると推定された。また、縄文前期と推定された土偶1点はヒトの顔を表現したものであると推定された。さらに、縄文前期と推定された土製品は、ヘビ・トリ・シカ・カモシカという異なる意見が提唱された。

謝辞

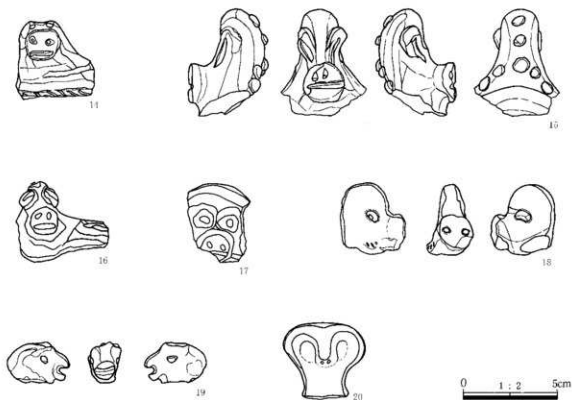
本稿をまとめるにあたり、文化庁記念物課の土肥 孝主任調査官には遺物を実見していただき貴重なご指摘をいただいた。ここに記して感謝申し上げます。

引用・参考文献 [著者名の五十音順]

設楽博己 2008 「縄文人の動物観」、『人と動物の日本史1、動物の考古学』(西本堂弘編)、吉川弘文館、p.10-34。  
 関根慎二 2001 「諸磯式獣面付き土器考」、『赤城村歴史資料館紀要』、(3)：p.1-7。  
 関根慎二 2004 「諸磯b式土器に付けられたイノシシ顔」、『研究紀要』、(22)：p.109-124。  
 関根慎二 2005 「発掘こぼれ話①：峠の釜飯とイノシシ顔の付いた土器」、『群馬の遺跡2、縄文時代』、上毛新聞社、p.30-31。  
 関根慎二 2008 「諸磯式土器」、『総覧縄文土器』(小林達雄編)、アム・プロモーション、p.282-289。  
 大工原 豊 2008 「獣面把手」、『総覧縄文土器』(小林達雄編)、アム・プロモーション、p.1194-1196。  
 福田友之 2008 「動物美術付き土器と動物形土製品」、『総覧縄文土器』(小林達雄編)、アム・プロモーション、p.1189-1193。



第6章第2図 白井北中道Ⅲ遺跡出土縄文獣面付き土器(1)



第8章第3図 白井北中道Ⅲ遺跡出土縄文獣面付き土器②

第8章表6 縄文獣面付き土器観察表

No	番号	出土位置	器種	土器分類	推定造形種
1	Ⅲ区1住32	埋没土中	深鉢	諸磯c式(中1)	イノシシ
2	Ⅳ区3住81	No169	深鉢	諸磯b式(中)	イノシシ
3	Ⅳ区3住82	No149	深鉢	諸磯b式(中2)	イノシシ
4	Ⅳ区遺構外125	Dp-43G	深鉢	諸磯c式(中1)	イノシシ
5	Ⅳ区遺構外396	Dl-45G	深鉢	諸磯b式(中2)	イノシシ
6	V区Y1号住居31	埋没土	深鉢	諸磯c式(中1)	イノシシ
7	V区Y1号住居33	掘り方	深鉢	諸磯b式(中2)	イノシシ
8	V区Y1号住居34	埋没土	深鉢	諸磯c式(中1)	イノシシ
9	V区Y1号住居35	周堤帯	深鉢	諸磯c式(中1)	イノシシ
10	V区Y1号住居37	周堤帯	深鉢	諸磯c式(中1)	イノシシ
11	V区遺構外27	Ei-41G	深鉢	諸磯c式(中1)	イノシシ
12	V区遺構外200	Eo-39G	深鉢	諸磯b式(中1)	イノシシ
13	V区遺構外201	Ei-38G	深鉢	諸磯b式(中)	イノシシ
14	V区遺構外202	Ek-43G	深鉢	諸磯b式(中)	イノシシ
15	V区遺構外203	Ek-38G	深鉢	諸磯b式(中)	イノシシ
16	V区遺構外204	Ek-40G	深鉢	諸磯b式(中)	イノシシ
17	V区遺構外206	Ej-42G	深鉢	諸磯b式(中)	イノシシ
18	V区遺構外208	Ek-38G	深鉢	諸磯b式(中)	イノシシ
19	V区遺構外210	Ek-36G	土製品	前期	シカ・カモシカ・ヘビ・トリ
20	V区遺構外211	Ek-38G	土偶	前期	ヒト

註：「No.」は、実測図の番号に符合する。

## 報告書抄録

書名ふりがな	しろいきたなかみちさんいせき に：じょうもんじだいへん
書名	白井北中道Ⅲ遺跡(2)：縄文時代編
副書名	一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査(その2)報告書
巻次	6
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	470
編著者名	橋崎修一郎・関根慎二
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20090731
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橋町下箱田784番地2
遺跡名ふりがな	しろいきたなかみちさんいせき
遺跡名	白井北中道Ⅲ遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけしんしよかわしろい
遺跡所在地	群馬県渋川市白井
市町村コード	10341
遺跡番号	K0126
北緯(日本測地系)	363052~363107
東経(日本測地系)	1390120~1390126
北緯(世界測地系)	363103~363118
東経(世界測地系)	1390108~1390114
調査期間	20030106-20030331/20030401-20040331/20050208-20050331/20050401-20050729
調査面積	24,154.9㎡
調査原因	道路建設工事
種別	集落
主な時代	縄文
遺跡概要	集落一縄文一竪穴住居6+掘立柱建物1+配石遺構1+集石遺構4+埋塞1+遺物集中6+土坑76+ピット11+焼土1+倒木1+土器+石器
特記事項	縄文前期の竪穴住居6軒を中心とした調査。土器は、諸磯b式の深鉢・浅鉢・有孔浅鉢が中心。石器は、石鏃と打製石斧が中心。
要約	縄文前期の竪穴住居6軒を中心とした調査。住居の他に、掘立柱建物・配石遺構・集石遺構・埋塞・遺物集中・土坑・ピット・焼土・倒木の遺構が検出されている。出土遺物は、土器は諸磯b式の深鉢・浅鉢・有孔浅鉢が中心であり、石器は石鏃・打製石斧が中心である。

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第470集

## 白井北中道Ⅲ遺跡(2) —縄文時代編：本文編—

一般国道17号(鯉沢バイパス) 改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査(その2) 報告書 第6集

---

平成21年(2009年)7月24日 印刷

平成21年(2009年)7月31日 発行

編集・発行/財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

電話 (0279) 52-2511 (代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷/朝日印刷工業株式会社

---

# 白井北中道Ⅲ遺跡(2)

— 縄文時代編：本文編 —

一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査(その2)報告書 第6集

2009

国 土 交 通 省  
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



# 白井北中道Ⅲ遺跡(2)

— 縄文時代編：写真編 —

一般国道17号(鯉沢バイパス)改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査(その2)報告書 第6集

2009

国 土 交 通 省  
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

# 写真図版目次

- IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居全景 [東→]  
 IV区 J 2(7)号住居埋蔵物 [南→]  
 IV区 J 3(4)号住居全景 [東→]  
 IV区 J 1号集石遺物出土状況 [西→]  
 IV区 J 58(101)号土坑遺物出土状況 [北→]  
 V区 J 1号掘立柱建物全景 [南→]  
 P.L. 1 1. I区縄文面 調査区全景 [南→]  
 2. I区縄文面 調査風景 [南→]  
 3. I区 A1-76 G 遺物出土状況 [南→]  
 4. I区 An-76 G 遺物出土状況 [南→]  
 5. I区 An-76 G S5出土状況 [南→]  
 6. I区 Ap-72 G 遺物出土状況 [南→]  
 7. I区 Ap-76 G 遺物出土状況 [南→]  
 8. I区 Av-72 G 遺物出土状況 [南→]  
 P.L. 2 1. I区縄文面 遺構外出土縄文土器・縄文石器  
 P.L. 3 1. II区縄文面 調査区全景 [東→]  
 2. II区 J 1(4)号例木全景 [東→]  
 3. II区 J 1(4)号例木セクション [北東→]  
 4. II区 Bc-68 G 1号土坑・遺物出土状況 [南→]  
 5. II区 Bc-68 G 1号土坑・自然礫出土状況 [南→]  
 P.L. 4 1. II区 J 1(103)号土坑全景 [南→]  
 2. II区 J 1(103)号土坑セクション [南→]  
 3. II区 Be-70 G 遺物出土状況 [南→]  
 4. II区 J 2(102)号土坑全景 [南→]  
 5. II区 J 2(102)号土坑セクション [南→]  
 6. II区 Bm-60 G 遺物出土状況 [南→]  
 7. II区 試験トレンチ1 セクション [南→]  
 8. II区 試験トレンチ2 セクション [南→]  
 P.L. 5 1. II区縄文面 遺構外出土縄文土器・縄文石器  
 P.L. 6 1. III区 J 1号住居遺物出土状況 [東→]  
 2. III区 J 1号住居全景 [東→]  
 3. III区 J 1号住居全景 [南→]  
 4. III区 J 1号住居全景 [東→]  
 5. III区 J 1号住居セクション [南→]  
 6. III区 J 1号住居出土縄文土器 S1(表裏)  
 P.L. 7 1. III区 J 1号住居出土縄文土器 (1)  
 P.L. 8 1. III区 J 1号住居出土縄文土器 (2)  
 P.L. 9 1. III区 J 1(44)号土坑全景 [南→]  
 2. III区 J 2(48)号土坑全景 [南→]  
 3. III区 J 3(45)号土坑全景 [南→]  
 4. III区 J 4(46)号土坑全景 [南→]  
 5. III区 J 5(50)号土坑遺物出土状況  
 6. III区 J 5(50)号土坑全景 [南→]  
 7. III区 J 5(50)号土坑出土縄文土器 P 1  
 8. III区 J 6(49)号土坑全景 [南→]  
 9. III区 J 7(47)号土坑全景 [南→]  
 P.L. 10 1. III区縄文面 調査風景 [南→]  
 2. III区縄文面 調査風景 [南→]  
 3. III区 Cc-50 G 遺物出土状況 [南→]  
 4. III区 Cc-50 G S1・S2・S3出土状況 [東→]  
 5. III区 Ck-54 G 遺物出土状況 [南→]  
 6. III区 Cm-52 G 遺物出土状況 [南→]  
 7. III区 Cx-50 G P 146出土状況 [南→]  
 8. III区 Cx-50 G P 147・P 148出土状況 [北→]  
 P.L. 11 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器 (1)  
 P.L. 12 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器 (2)  
 P.L. 13 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器 (3)  
 P.L. 14 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器 (4)  
 P.L. 15 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器 (1)  
 P.L. 16 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器 (2)  
 P.L. 17 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器 (3)  
 P.L. 18 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器 (4)  
 P.L. 19 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器 (5)  
 P.L. 20 1. III区縄文面 遺構外出土縄文土器 (6)  
 P.L. 21 1. IV区 J 1(6)号住居全景 [東→]  
 2. IV区 J 1(6)号住居遺物出土状況 [東→]  
 3. IV区 J 1(6)号住居セクション [東→]  
 4. IV区 J 1(6)号住居遺物出土状況 [東→]  
 5. IV区 J 1(6)号住居全景 [西→]  
 6. IV区 J 1(6)号住居遺物出土状況 [西→]  
 7. IV区 J 1(6)号住居全景 [北→]  
 8. IV区 J 1(6)号住居遺物出土状況 [南→]  
 P.L. 22 1. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居空堀 [上が北西]  
 2. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居空堀 [上が北西]  
 3. IV区 J 2(7)号住居全景 [東→]  
 4. IV区 J 2(7)号住居セクション (P33・P35) [南→]  
 5. IV区 J 2(7)号住居セクション (P33・P35) [南→]  
 6. IV区 J 2(7)号住居 P33・P35出土状況 [南→]  
 P.L. 23 1. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居全景 [東→]  
 2. IV区 J 1(6)号住居炉1全景 [東→]  
 3. IV区 J 1(6)号住居炉2全景 [南→]  
 4. IV区 J 1(6)号住居ピット1全景 [西→]  
 5. IV区 J 1(6)号住居ピット2全景 [西→]  
 6. IV区 J 1(6)号住居ピット3全景 [西→]  
 7. IV区 J 1(6)号住居ピット4全景 [南→]  
 8. IV区 J 1(6)号住居ピット5全景 [北→]  
 P.L. 24 1. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居出土縄文土器 (1)  
 P.L. 25 1. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居出土縄文土器 (2)  
 P.L. 26 1. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居出土縄文土器 (3)  
 P.L. 27 1. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居出土縄文土器 (4)  
 P.L. 28 1. IV区 J 1(6)号・J 2(7)号住居出土縄文土器 (5)  
 P.L. 29 1. IV区 J 1(6)号住居出土縄文土器 (1)  
 P.L. 30 1. IV区 J 1(6)号住居出土縄文土器 (2)  
 P.L. 31 1. IV区 J 1(6)号住居出土縄文土器 (3)  
 P.L. 32 1. IV区 J 1(6)号住居出土縄文土器 (4)、J 2(7)号住居出土縄文土器  
 P.L. 33 1. IV区 J 3(4)号住居空堀 [上が北]  
 2. IV区 J 3(4)号住居調査風景 [西→]  
 3. IV区 J 3(4)号住居遺物出土状況 [西→]  
 4. IV区 J 3(4)号住居遺物出土状況 [東→]  
 5. IV区 J 3(4)号住居遺物出土状況 [北→]  
 6. IV区 J 3(4)号住居空堀 [上が南]  
 P.L. 34 1. IV区 J 3(4)号住居全景 [東→]  
 2. IV区 J 3(4)号住居全景 (近接) [東→]  
 3. IV区 J 3(4)号住居遺物出土状況 [北→]  
 4. IV区 J 3(4)号住居遺物出土状況 [北→]  
 5. IV区 J 3(4)号住居炉全景 [南→]  
 6. IV区 J 3(4)号住居炉全景 (近接) [南→]

7. IV区 J 3(4)号住居ビット1 全景 [南→]  
 8. IV区 J 3(4)号住居ビット2 全景 [南→]  
 P.L. 35 1. IV区 J 3(4)号住居ビット3 全景 [南→]  
 2. IV区 J 3(4)号住居ビット4 全景 [南→]  
 3. IV区 J 3(4)号住居ビット5 全景 [南→]  
 4. IV区 J 3(4)号住居ビット6 全景 [南→]  
 5. IV区 J 3(4)号住居ビット7 全景 [南→]  
 6. IV区 J 3(4)号住居ビット8 全景 [東→]  
 7. IV区 J 3(4)号住居ビット9 全景 [西→]  
 8. IV区 J 3(4)号住居ビット10 全景 [西→]  
 P.L. 36 1. IV区 J 3(4)号住居出土縄文土器 (1)  
 P.L. 37 1. IV区 J 3(4)号住居出土縄文土器 (2)  
 P.L. 38 1. IV区 J 3(4)号住居出土縄文土器 (3)  
 P.L. 39 1. IV区 J 3(4)号住居出土縄文土器 (1)  
 P.L. 40 1. IV区 J 3(4)号住居出土縄文土器 (2)  
 P.L. 41 1. IV区 J 3(4)号住居出土縄文土器 (3)  
 P.L. 42 1. IV区 J 4(2)号住居全景 [西→]  
 2. IV区 J 4(2)号住居全景 [東→]  
 3. IV区 J 4(2)号住居9号 全景 [東→]  
 4. IV区 J 4(2)号住居9号セクション [南→]  
 5. IV区 J 4(2)号住居ビット1 全景 [南→]  
 6. IV区 J 4(2)号住居ビット2 全景 [南→]  
 7. IV区 J 4(2)号住居ビット3 全景 [南→]  
 8. IV区 J 4(2)号住居ビット4 全景 [南→]  
 9. IV区 J 4(2)号住居出土縄文土器 S 1(表裏)  
 P.L. 43 1. IV区 J 1号配石全景 [南→]  
 2. IV区 J 1号配石全景 (近接) [南→]  
 3. IV区 J 1号配石全景 (近接) [南→]  
 4. IV区 J 1号配石出土縄文土器  
 5. IV区 J 1号配石出土縄文土器  
 P.L. 44 1. IV区 J 1号集石全景 [西→]  
 2. IV区 J 1号集石遺物出土状況 [西→]  
 3. IV区 J 1号集石遺物出土状況 (近接) [西→]  
 4. IV区 J 1号集石出土縄文土器  
 P.L. 45 1. IV区 J 1号集石出土縄文土器 S 3(表裏) [1/4]  
 2. IV区 J 2号集石全景 [南→]  
 3. IV区 J 2号集石出土縄文土器 S 1(表裏) [1/4]  
 4. IV区 J 1号埋裏遺物出土状況 [表裏]  
 5. IV区 J 1号埋裏出土縄文土器 P 1  
 P.L. 46 1. IV区 J 1号埋裏出土縄文土器 S 1(表裏) [1/4]  
 2. IV区 J 1(2)号遺物集中全景 [南→]  
 3. IV区 J 1(2)号遺物集中出土縄文土器  
 P.L. 47 1. IV区 J 2(3)号遺物集中全景 [西→]  
 2. IV区 J 2(3)号遺物集中出土縄文土器  
 3. IV区 J 3(4)号遺物集中全景 [西→]  
 4. IV区 J 3(4)号遺物集中遺物出土状況 [南→]  
 5. IV区 J 3(4)号遺物集中出土縄文土器・縄文土器  
 P.L. 48 1. IV区 J 4(5)号遺物集中全景 [南→]  
 2. IV区 J 4(5)号遺物集中遺物出土状況 [南→]  
 3. IV区 J 4(5)号遺物集中遺物出土状況 (近接) [東→]  
 4. IV区 J 4(5)号遺物集中 P 4 出土状況 [北→]  
 5. IV区 J 4(5)号遺物集中出土縄文土器・縄文土器  
 P.L. 49 1. IV区 J 5(6)号遺物集中遺物出土状況 [北→]  
 2. IV区 J 5(6)号遺物集中遺物出土状況 [南→]  
 3. IV区 J 5(6)号遺物集中出土縄文土器・縄文土器  
 P.L. 50 1. IV区 J 6(7)号遺物集中遺物出土状況 [南→]  
 2. IV区 J 6(7)号遺物集中遺物出土状況 (近接) [南→]  
 3. IV区 J 6(7)号遺物集中出土縄文土器・縄文土器  
 P.L. 51 1. IV区 J 1(212)号土坑全景 [西→]  
 2. IV区 J 2(213)号土坑全景 [西→]  
 3. IV区 J 1(212)・J 2(213)号土坑出土縄文土器・縄文土器  
 4. IV区 J 3(209)号土坑全景 [南→]  
 5. IV区 J 3(209)号土坑出土縄文土器 P 1  
 6. IV区 J 4(221)号土坑全景 [西→]  
 7. IV区 J 4(221)号土坑セクション [東→]  
 P.L. 52 1. IV区 J 4(221)号土坑出土縄文土器・縄文土器  
 2. IV区 J 5(210)号土坑セクション [西→]  
 3. IV区 J 5(210)号土坑出土縄文土器・縄文土器  
 P.L. 53 1. IV区 J 6(242)・J 7(241)・J 8(240)・J 9(239)号土坑全景 [東→]  
 2. IV区 J 10(238)・J 11(236)・J 12(237)号土坑全景 [西→]  
 3. IV区 J 13(214)号土坑全景 [南→]  
 4. IV区 J 13(214)号土坑出土縄文土器  
 5. IV区 J 13(214)号土坑出土縄文土器  
 6. IV区 J 14(218)号土坑全景 [西→]  
 7. IV区 J 15(217)号土坑全景 [北→]  
 8. IV区 J 15(217)号土坑出土縄文土器  
 P.L. 54 1. IV区 J 16(245)・J 17(244)号土坑全景 [南→]  
 2. IV区 J 16(245)・J 17(244)号土坑遺物出土状況 [西→]  
 3. IV区 J 16(245)・J 17(244)号土坑セクション [南→]  
 4. IV区 J 17(244)号土坑出土縄文土器  
 P.L. 55 1. IV区 J 18(215)号土坑遺物出土状況 [北→]  
 2. IV区 J 18(215)号土坑全景 [北→]  
 3. IV区 J 18(215)号土坑遺物出土状況 (近接) [北→]  
 4. IV区 J 18(215)号土坑 S 1・S 2 出土状況 [北→]  
 5. IV区 J 18(215)号土坑出土縄文土器・縄文土器  
 P.L. 56 1. IV区 J 19(246)号土坑全景 [南→]  
 2. IV区 J 19(246)号土坑出土縄文土器  
 3. IV区 J 20(208)号土坑遺物出土状況 [南→]  
 4. IV区 J 20(208)号土坑出土縄文土器  
 5. IV区 J 20(208)号土坑出土縄文土器 S 1(表裏) [1/4]  
 P.L. 57 1. IV区 J 21(233)号土坑全景 [南→]  
 2. IV区 J 22(211)号土坑全景 [東→]  
 3. IV区 J 22(211)号土坑遺物出土状況 [東→]  
 4. IV区 J 22(211)号土坑南東部遺物出土状況 [南→]  
 5. IV区 J 22(211)号土坑出土縄文土器  
 P.L. 58 1. IV区 J 22(211)号土坑出土縄文土器  
 2. IV区 J 23(251)号土坑全景 [南→]  
 3. IV区 J 24(252)号土坑全景 [南→]  
 4. IV区 J 25(248)号土坑(249)号土坑全景 [南→]  
 5. IV区 J 25(248)号土坑出土縄文土器 S 1(表裏)  
 P.L. 59 1. IV区 J 27(243)号土坑全景 [南→]  
 2. IV区 J 27(243)号土坑セクション [南→]  
 3. IV区 J 28(234)号土坑全景 [南→]  
 4. IV区 J 28(234)号土坑出土縄文土器  
 5. IV区 J 29(235)号土坑全景 [東→]  
 6. IV区 J 29(235)号土坑出土縄文土器 S 1 [1/4]  
 7. IV区 J 30(206)号土坑全景 [北→]  
 8. IV区 J 31(229)号土坑全景 [南→]  
 P.L. 60 1. IV区 J 32(232)号土坑全景 [南→]  
 2. IV区 J 33(247)号土坑全景 [東→]

3. IV区 J 34(250)号土坑全景 [南→]  
 4. IV区 J 35(253)号土坑全景 [南→]  
 5. IV区 J 36(231)号土坑全景 [東→]  
 6. IV区 J 36(231)号土坑セクション [北→]  
 7. IV区 J 37(228)号土坑全景 [東→]  
 8. IV区 J 37(228)号土坑出土縄文石器 S 1(表裏) [1/4]
- P.L. 61
1. IV区 J 38(224)号土坑全景 [南→]  
 2. IV区 J 39(216)号土坑全景 [南→]  
 3. IV区 J 40(226)号土坑全景 [南→]  
 4. IV区 J 40(226)号土坑セクション [南→]  
 5. IV区 J 40(226)号土坑出土縄文石器  
 6. IV区 J 40(226)号土坑出土縄文石器 S 1  
 7. IV区 J 41(225)号土坑全景 [南→]  
 8. IV区 J 41(225)号土坑出土縄文石器
- P.L. 62
1. IV区 J 42(219)号土坑全景 [北→]  
 2. IV区 J 42(219)号土坑遺物出土状況 [北→]  
 3. IV区 J 42(219)号土坑出土縄文石器  
 4. IV区 J 42(219)号土坑出土縄文石器 S 1(表裏) [1/2]  
 5. IV区 J 43(230)号土坑全景 [南→]  
 6. IV区 J 43(230)号土坑セクション [南→]  
 7. IV区 J 43(230)号土坑出土縄文石器
- P.L. 63
1. IV区 J 44(207)号土坑全景 [南→]  
 2. IV区 J 45(223)号土坑全景 [南→]  
 3. IV区 J 46(227)号土坑全景 [東→]  
 4. IV区 J 46(227)号土坑出土縄文石器 P 1  
 5. IV区 J 48(222)号土坑全景 [南→]  
 6. IV区 J 49(220)号土坑全景 [南→]  
 7. IV区 J 50(204)号土坑全景 [北→]  
 8. IV区 J 51(205)号土坑全景 [南→]
- P.L. 64
1. IV区 J 53(399)・J 55(392)・J 56(390)号土坑出土縄文石器  
 2. IV区 J 57(105)号土坑全景 [南→]  
 3. IV区 J 57(105)号土坑出土縄文石器 S 1(表裏)  
 4. IV区 J 59(372)号土坑セクション [南→]  
 5. IV区 J 59(372)号土坑出土縄文石器 P 1  
 6. IV区 J 60(99)号土坑全景 [東→]  
 7. IV区 J 61(98)号土坑全景 [南→]
- P.L. 65
1. IV区 J 58(101)号土坑遺物出土状況 [西→]  
 2. IV区 J 58(101)号土坑遺物出土状況 [北→]  
 3. IV区 J 58(101)号土坑遺物出土状況(近接) [北→]  
 4. IV区 J 58(101)号土坑出土縄文石器
- P.L. 66
1. IV区 J 1号焼土出土状況 [南→]  
 2. IV区 J 1号焼土セクション [南→]  
 3. IV区 1号トレンチ全景 [東→]  
 4. IV区 1号トレンチ出土縄文石器  
 5. IV区 2号トレンチ全景 [東→]  
 6. IV区 3号トレンチ全景 [東→]  
 7. IV区 4号トレンチ全景 [西→]  
 8. IV区 1号トレンチ→一括出土縄文石器
- P.L. 67
1. IV区 Dw-42 G P 390出土状況 [南→]  
 2. IV区 Dw-42 G P 390出土状況 [東→]  
 3. IV区 Dw-42 G P 390出土状況(近接) [東→]  
 4. IV区 Dw-42 G 出土縄文石器 P 390  
 5. IV区 Dw-43 G P 156出土状況 [南→]  
 6. IV区 Dw-43 G 出土縄文石器 P 156  
 7. IV区 Dw-44 G P 297出土状況 [南→]

8. IV区 Dw-44 G 出土縄文石器 P 297
- P.L. 68
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (1)  
 P.L. 69
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (2)  
 P.L. 70
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (3)  
 P.L. 71
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (4)  
 P.L. 72
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (5)  
 P.L. 73
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (6)  
 P.L. 74
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (7)  
 P.L. 75
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (8)  
 P.L. 76
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (9)  
 P.L. 77
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (10)  
 P.L. 78
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (11)  
 P.L. 79
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (12)  
 P.L. 80
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (13)  
 P.L. 81
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (14)  
 P.L. 82
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (15)  
 P.L. 83
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (1)  
 P.L. 84
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (2)  
 P.L. 85
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (3)  
 P.L. 86
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (4)  
 P.L. 87
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (5)  
 P.L. 88
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (6)  
 P.L. 89
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (7)  
 P.L. 90
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (8)  
 P.L. 91
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (9)  
 P.L. 92
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (10)  
 P.L. 93
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (11)  
 P.L. 94
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (12)  
 P.L. 95
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (13)  
 P.L. 96
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (14)  
 P.L. 97
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (15)  
 P.L. 98
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (16)  
 P.L. 99
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (17)  
 P.L. 100
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (18)  
 P.L. 101
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (19)  
 P.L. 102
1. IV区縄文面 遺構外出土縄文石器 (20)  
 P.L. 103
1. V区 J 1(4)号住居全景 [南→]  
 2. V区 J 1(4)号住居全景 [東→]  
 3. V区 J 1(4)号住居遺物出土状況 [西→]  
 4. V区 J 1(4)号住居遺物出土状況 [西→]  
 5. V区 J 1(4)号住居 P 1・P 4出土状況 [西→]  
 6. V区 J 1(4)号住居 S 11出土状況 [東→]  
 7. V区 J 1(4)号住居ビット 1 [東→]  
 8. V区 J 1(4)号住居ビット 2 [東→]
- P.L. 104
1. V区 J 1(4)号住居ビット 4 [東→]  
 2. V区 J 1(4)号住居ビット 5 [東→]  
 3. V区 J 1(4)号住居ビット 6 [東→]  
 4. V区 J 1(4)号住居ビット 7 [東→]  
 5. V区 J 1(4)号住居出土縄文石器 (1)  
 P.L. 105
1. V区 J 1(4)号住居出土縄文石器 (2)  
 P.L. 106
1. V区 J 1(4)号住居出土縄文石器  
 P.L. 107
1. V区 J 1号掘立柱建物全景 [南→]  
 2. V区 J 1号掘立柱建物ビット 1 [南→]  
 3. V区 J 1号集石全景 [西→]  
 4. V区 J 1号集石全景 [東→]  
 5. V区 J 1号集石出土縄文石器・縄文石器

- P.L. 108 1. V区 J 2号集石全景 [南→]  
 2. V区 J 2号集石近接 [南→]  
 3. V区 J 2号集石全景 [南→]  
 4. V区 J 2号集石全景 [東→]  
 5. V区 J 2号集石出土縄文石器 S1(表裏)  
 6. V区縄文面 調査風景  
 7. V区縄文面 調査風景  
 8. V区縄文面 調査風景
- P.L. 109 1. V区 J 1(96)号土坑全景 [南→]、出土縄文土器  
 2. V区 J 2(94)号土坑遺物出土状況 [東→]  
 3. V区 J 2(94)号土坑全景 [南→]  
 4. V区 J 2(94)号土坑出土縄文土器・縄文石器  
 5. V区 J 3(95)号土坑全景 [南→]  
 6. V区 J 4(126)号土坑全景 [南西→]  
 7. V区 J 5(128, 右)・J 6(127, 左)号土坑全景 [西→]  
 8. V区 J 5(128)号土坑出土縄文石器 S1(表裏)
- P.L. 110 1. V区 J 7(129)号土坑全景 [北東→]  
 2. V区 J 7(129)号土坑セクション [北→]  
 3. V区縄文面 ビット群全景 [南西→]  
 4. V区 J 6(31)号ビット [南→]  
 5. V区 1号トレンチ全景 [南西→]  
 6. V区 2号トレンチ全景 [南西→]  
 7. V区 2号トレンチ出土縄文土器・縄文石器  
 8. V区縄文面 調査風景 [北東→]
- P.L. 111 1. V区 3号トレンチ遺物出土状況 [南西→]  
 2. V区 3号トレンチ出土縄文土器  
 3. V区 3号トレンチ出土縄文石器  
 4. V区 5号トレンチ全景 [南西→]  
 5. V区 4号・6号トレンチ出土縄文土器・縄文石器  
 6. V区 7号トレンチ出土縄文石器
- P.L. 112 1. V区 8号トレンチ全景 [西→]  
 2. V区 8号トレンチ遺物出土状況 [南西→]  
 3. V区 8号トレンチ遺物出土状況 [東→]  
 4. V区 8号トレンチ ビット群全景 [北東→]  
 5. V区 8号トレンチ出土縄文土器・縄文石器
- P.L. 113 1. V区 Y1(2)号住居出土縄文土器
- P.L. 114 1. N区 Y1号住居出土石器 No1(表裏) [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]  
 2. V区 Y1号住居出土石器(1) [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]
- P.L. 115 1. V区 Y1号住居出土石器(2) [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]
- P.L. 116 1. V区 Y2号住居出土石器 [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]  
 2. V区 Y3号住居出土石器 [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]  
 3. V区 Y5号住居出土石器 No1(表裏) [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]  
 4. V区 Y4号住居出土石器 [『白井北中道Ⅲ遺跡(1)』より再掲載]
- P.L. 117 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)
- P.L. 118 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)
- P.L. 119 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(3)
- P.L. 120 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(4)
- P.L. 121 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(5)
- P.L. 122 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(6)
- P.L. 123 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(1)
- P.L. 124 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(2)
- P.L. 125 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(3)
- P.L. 126 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(4)
- P.L. 127 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(5)
- P.L. 128 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(6)
- P.L. 129 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(7)
- P.L. 130 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(8)
- P.L. 131 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(9)
- P.L. 132 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(10)
- P.L. 133 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(11)
- P.L. 134 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(12)
- P.L. 135 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(13)
- P.L. 136 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(14)
- P.L. 137 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(15)
- P.L. 138 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(16)
- P.L. 139 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(17)
- P.L. 140 1. V区縄文面 遺構外出土縄文土器(18)